

徳丸高堰遺跡

北関東自動車道(高崎～伊勢崎)地域
埋蔵文化財発掘調査報告書 第31集

2005

日 本 道 路 公 団
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

TOKU MARU TAKA ZEKI
徳丸高堰遺跡

北関東自動車道(高崎～伊勢崎)地域
埋蔵文化財発掘調査報告書 第31集

2005

日 本 道 路 公 団
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

序

北関東自動車道は、群馬県高崎市の関越自動車道高崎ジャンクションから分岐し、茨城県に至る延長150kmの高速道路です。内陸の群馬県から栃木県を経て太平洋側の茨城県に至るルート上には、北関東の主要都市や東北自動車道、常磐自動車道が結ばれ、これらの高速道路網の整備によって首都圏外郭地域の発展に大きく寄与するものと期待されています。

徳丸高堰遺跡は前橋市南部の北関東自動車道建設予定地内にあり、埋蔵文化財保護と開発の調整を図るため、工事に先立って発掘調査が行われました。調査は平成10年度から11年度のあしかけ2年にわたり、多大な成果を収めることができました。そしてこの度、その成果を「群馬県埋蔵文化財発掘調査報告書第348集」として刊行する運びとなりました。

本遺跡の発掘調査では、中世末期から江戸時代にかけての屋敷跡が発見されています。屋敷の中枢部にあたる建物址群の配置や、時代を経るにしたがって新たに掘削されてゆく大規模な堀のあり方などから、屋敷跡の歴史的変遷もある程度まで判明することができました。前橋市南部の平野地帯に多数分布すると考えられている中～近世の環濠屋敷を、発掘調査によってその具体的な年代や構造などについて明らかにできたことは大きな成果であったと考えています。

ここに、徳丸高堰遺跡の発掘調査の成果を公表することで、国民共有の財産として広く活用されることを願う次第であります。

終わりに、発掘調査にあたって惜しみないご指導とご協力を頂いた群馬県教育委員会、前橋市教育委員会、そして調査の進捗に多大なるご理解を頂いた前橋市徳丸地区の皆様にご心から感謝の意を表すとともに、調査に携わった担当者と作業員の方々の労をねぎらい序といたします。

平成17年3月

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 小野宇三郎

例

1 本書は北関東自動車道（高崎－伊勢崎）の工事に伴う徳丸高堰遺跡（遺跡略号KT-090）の発掘調査報告書である。

2 徳丸高堰遺跡の所在地は以下の通り

群馬県前橋市徳丸町13～16、18、20、21、24～33、61～68番地

3 遺跡名称は大字「徳丸」と小字「高堰」を組み合わせ徳丸高堰（とくまるたかぜき）遺跡とする。

4 事業主体は日本道路公団、調査及び整理事業主体は財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団である。

5 発掘調査期間

平成10年5月1日～平成11年4月30日

6 調査組織

理事長 菅野 清（平成10年度）
小野宇三郎（平成11年度）

常務理事 赤山容造

事務局長 赤山容造（兼務）

管理部長 渡辺 健（平成10年度）
住谷 進（平成11年度）

調査研究第2部長 神保侑史（平成10年度）
水田 稔（平成11年度）

管理部総務課長 坂本敏夫

調査研究部第6課長 佐藤明人

管理部総務課事務担当 笠原秀樹・須田朋子・小山建夫・吉田有光・柳岡良宏・岡嶋伸昌・宮崎忠司・片岡徳雄・大沢友治

事務補助 吉田恵子・並木綾子・今井もと子・内山佳子・若田 誠・佐藤美佐子・本間久美子・北原かおり・安藤友美・松下次男・浅見宣記・吉田 茂・狩野真子

調査担当 大木紳一郎・麻生敏隆・南雲芳昭・矢口裕之・勢藤（瀧野）暁美・蜂須賀里佳・西原和久・斉藤幸男

調査囑託員 小宮山達雄

7 整理期間

平成15年1月1日～平成17年3月31日

言

8 整理組織

理事長 小野宇三郎

常務理事 吉田 豊（平成14年度）
住谷永市（平成15・16年度）

事業局長 神保侑史

管理部長 萩原利通（平成14・15年度）
矢崎俊夫（平成16年度）

調査研究部長 巾 隆之（平成14年度）
右島和夫（平成15・16年度）

管理部総務課長 植原恒夫・丸岡道雄

資料整理課長 西田健彦・相京建史

管理部総務課事務担当 小山建夫・高橋房雄・須田朋子・吉田有光・森下弘美・田中賢一

事務補助 内山佳子・若田 誠・佐藤美佐子・本間久美子・北原かおり・松下次男・吉田 茂・狩野真子

整理担当 大木紳一郎

整理補助 関 正江・星野春子・宮沢房子・小林恵美子・伊藤幸代・萩野恵子・須田育美・高梨房枝・羽鳥望東子・丸橋富美子・竹鶴小百合

遺物写真撮影 佐藤元彦

保存処理 関 邦一・土橋まり子・横倉知子・大野容子・小材浩一

9 本書の作成は以下の者が行った。

編集 大木紳一郎

執筆 第1～4章 大木紳一郎
第6章-1 植崎修一郎

なお、第5章は陶磁器類観察表記載には大西雅広、板碑は新倉明彦、鉄器には大江正行の協力を得た。

10 漆椀及び脆弱な木製品の保存処理は、株式会社文化財ユニオンに依頼した。

11 出土遺物と発掘調査記録資料、記録写真は群馬県埋蔵文化財センターで保管している。

12 下記協力者に厚く御礼申し上げます（敬称略）
群馬県教育委員会・前橋市教育委員会・玉村町教育委員会・飯島静男・飯森康広・中東彰子

凡 例

1 遺構の位置は国家座標に基づいた数値で示した。数値は、日本平面直角座標系（平成10年度）第IX系の原点である北緯36度0分0秒0000、東経139度0分0秒0000を（0.0）とした。

2 遺構名称は各区のアルファベット名A、B、Cに続けて数字、遺構の種類順で呼称する。

3 本書の編集は大まかに時代区分した上で掲載してある。時代区分は以下の通りである。

古墳時代 4世紀～6世紀の遺構と遺物

古 代 7世紀～11世紀の遺構と遺物

中・近世 12世紀以降の遺構と遺物

時代区分に従って遺構を掲載したため、必ずしも遺構番号は順番にはなっていないので注意されたい。

4 遺構名称と遺構番号は、発掘調査時点のものを用いた。そのため、検討後に遺構と認められないものに関しては欠番とした。また井戸、土坑、ピットに関しては、あらためて分類した上で記載してある。そのため分類項目と遺構名称が一致しない場合もあるので誤解のないようお願いしたい。

5 挿図の縮尺は、住居跡・掘立柱建物跡・井戸・土坑などを1/50としたが、水田跡・水路・河川跡などの大きな遺構についてはこの限りではなく、各挿図に付したスケールを参照されたい。なお、遺物については土器・陶磁器類を1/3、玉・銭貨などの小型品を1/1～2、大型木製品1/6とした。

6 遺構規模の計測については、平面では上端間の最大値、深さは検出レベルからの最大値を記録したが、数値の偏差の大きいものには最大値～最小値を記した。

7 遺構平面図に示した方位記号はすべて国家座標上の北を指す。

8 遺構断面図には標高値（m）を数値で表記した。

9 遺構図の線種については、上端線を太く、下端線を細くしてある。また、推定線については破線で表現している。

10 遺物番号は掲載順に全て通番とし、古墳時代、古代、中世・近世の各節毎にまとめて図示した。

11 遺物の表現では、文様以外に刷毛目・削り・なで・研磨・指押さえ等の整形技法を表し、方向のわかる削りは→を記した。また、施釉部分については網目のトーンで表現してある。

12 本書記載に用いたテフラ略称は以下の通り。

As-A：浅間山A軽石（天明3年 1783年）

As-B：浅間山B軽石（天仁元年 1108年）

As-C：浅間山C軽石（紀元300年前後説採用）

As-YP：浅間山板鼻黄色軽石（1.3～1.4万年前）

Hr-FA：榛名山二ツ岳テフラ（6世紀初）

Hr-FP：榛名山二ツ岳テフラ（6世紀中頃）

13 本書で使用したテフラの名称や地層層序は以下の文献によった。

矢口裕之 1998「テフラの編年」『群馬県遺跡大事典』付録 p2～3

矢口裕之 1999a「群馬県北西部のテフラとローム層の層序」『研究紀要16』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 p61～91

矢口裕之 1999b「群馬県徳丸仲田遺跡の縄文時代草創期遺物包含層の層序と古環境」『研究紀要17』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 p13～24

矢口裕之 2001「第1章 5 遺跡周辺の層序」『徳丸仲田遺跡（1）縄文時代草創期編』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 p11～18

14 土層注記の色名は『新版標準土色帖』（小山正忠・竹原秀雄編著 1996）に従って記載した。

目次

序		(3) 井戸	73
例言・凡例		(4) 墓墳	82
目次		(5) 集石遺構	84
抄録		(6) 土坑	84
第1章 発掘調査の経過	1	2 B・C区の遺構	89
1 調査に至る経緯	1	(1) 掘立柱建物跡	89
2 周辺の地形環境	3	(2) 溝	120
3 周辺の歴史的環境	6	(3) 井戸	147
4 調査の方法と経過	10	(4) 墓墳	162
5 遺跡の基準層序	12	(5) 土坑・ピット	162
第2章 古墳時代の遺構と遺物	13	3 A・B・C区土坑及びピット一覧表	171
1 B区の遺構と遺物	13	4 中・近世出土遺物図	195
(1) 住居跡	13	第5章 出土遺物観察表	336
(2) 土坑	13	第6章 自然科学分析	353
(3) 溝	17	1 B区1号墓墳出土人骨について	353
(4) ピット	18	(榑崎修一郎)	
2 C区の遺構	21	2 徳丸高堰遺跡出土木製品の樹種同定について	
(1) 水田跡	21	(株式会社パレオ・ラボ)	356
3 遺構外出土遺物	23	第7章 まとめ	363
第3章 古代の遺構と遺物	25	写真図版	
1 A区の遺構と遺物	25	付 図 A区遺構分布図	
(1) 土坑	25	B区遺構分布図	
2 B区の遺構と遺物	25	C区遺構分布図	
(1) 住居跡	25		
(2) 溝	26		
(3) 土坑	26		
3 C区の遺構と遺物	29		
(1) 水田跡	29		
4 遺構外出土遺物	35		
第4章 中・近世の遺構と遺物	36		
1 A区の遺構と遺物	36		
(1) 掘立柱建物跡	36		
(2) 溝	59		

挿 図 目 次

第1図	徳丸高堰遺跡の位置	1	第59図	A区16～24号井戸	81	第116図	B区方形土坑(2)	167
第2図	前橋南部における路線図	2	第60図	A区墓壇及び集石遺構	83	第117図	B区隅丸方形・楕円形土坑	168
第3図	群馬県央地域の等高線	3	第61図	A区円形土坑	86	第118図	B区楕円形・不定形土坑	169
第4図	遺跡周辺の地形と土地利用	5	第62図	A区方形土坑	87	第119図	C区土坑	170
第5図	周辺の遺跡分布	8	第63図	A区楕円形・不定形土坑	88	第120図	A区1号溝出土遺物	195
第6図	調査区分図と国家座標	10	第64図	B区北部柱穴・ピット群分布	90	第121図	A区4・8号溝出土遺物	196
第7図	遺跡の基準層序	12	第65図	B区北部1～3号掘立柱建物跡	90	第122図	A区9・12号溝出土遺物	197
第8図	古墳時代の住居跡・土坑	14	第66図	B区1・3号掘立柱建物跡	91	第123図	A区13・15・16号溝出土遺物	198
第9図	古墳時代の土坑	16	第67図	B区2号掘立柱建物跡	92	第124図	A区16号溝出土遺物	199
第10図	古墳時代の溝	19	第68図	B区2号掘立柱建物跡柱穴断面	93	第125図	A区1号井戸出土遺物(1)	199
第11図	古墳時代のピット	20	第69図	B区南西部柱穴・ピット群分布	94	第126図	A区1号井戸出土遺物(2)	200
第12図	C区古墳時代水田跡	21	第70図	B区4～12号掘立柱建物跡	95	第127図	A区1号井戸出土遺物(3)	201
第13図	古墳時代の遺物(1)	22	第71図	B区4号掘立柱建物跡	96	第128図	A区1号井戸出土遺物(4)	202
第14図	古墳時代の遺物(2)	23	第72図	B区5号掘立柱建物跡	97	第129図	A区1号井戸出土遺物(5)	203
第15図	古墳時代の遺物(3)	24	第73図	B区6号掘立柱建物跡	98	第130図	A区1号井戸出土遺物(6)	204
第16図	A区206号土坑及び出土遺物	25	第74図	B区7号掘立柱建物跡	99	第131図	A区1号井戸出土遺物(7)	205
第17図	古代の住居跡・溝	27	第75図	B区8号掘立柱建物跡	100	第132図	A区1号井戸出土遺物(8)	206
第18図	古代の土坑	28	第76図	B区9号掘立柱建物跡	101	第133図	A区1号井戸出土遺物(9)	207
第19図	C区古代水田区画の呼称	29	第77図	B区10号掘立柱建物跡	102	第134図	A区1号井戸出土遺物(10)	208
第20図	C区浅間B軽石下水田	30	第78図	B区11号掘立柱建物跡	103	第135図	A区1号井戸出土遺物(11)	209
第21図	C区と徳丸仲田遺跡A・B区の 浅間B軽石下水田	31	第79図	B区12号掘立柱建物跡	104	第136図	A区1号井戸出土遺物(12)	210
第22図	C区の基準層序	31	第80図	B区欄列	105	第137図	A区1号井戸出土遺物(13)	211
第23図	C区浅間B軽石下水田断面図	32	第81図	B区南東部柱穴・ピット群分布	106	第138図	A区1号井戸出土遺物(14)	212
第24図	古代の遺物(1)	33	第82図	B区13～16号掘立柱建物跡	107	第139図	A区1号井戸出土遺物(15)	213
第25図	古代の遺物(2)	34	第83図	B区13・16号掘立柱建物跡	109	第140図	A区1号井戸出土遺物(16)	214
第26図	古代の遺物(3)	35	第84図	B区14号掘立柱建物跡A案	111	第141図	A区1号井戸出土遺物(17)	215
第27図	鶴光路榎橋遺跡・徳丸高堰遺跡の溝 分布図	36	第85図	B区14号掘立柱建物跡B案	112	第142図	A区1号井戸出土遺物(18)	216
第28図	A区南部柱穴・ピット群の分布	39	第86図	B区15号掘立柱建物跡	113	第143図	A区1号井戸出土遺物(19)	217
第29図	A区1～8号掘立柱建物跡	41	第87図	B区1(2)号溝	121	第144図	A区1号井戸出土遺物(20)	218
第30図	A区1号掘立柱建物跡	43	第88図	B区5・6・11・12号溝	123	第145図	A区1号井戸出土遺物(21)	219
第31図	A区2号掘立柱建物跡	44	第89図	B区3・4・7～10・13・14号溝	127	第146図	A区1号井戸出土遺物(22)	220
第32図	A区2号掘立柱建物跡柱穴断面	45	第90図	B区15・17号溝	128	第147図	A区1号井戸出土遺物(23)	221
第33図	A区3・4号掘立柱建物跡	46	第91図	B区18・19号溝	131	第148図	A区1号井戸出土遺物(24)	222
第34図	A区5・6号掘立柱建物跡	47	第92図	B区20～22号溝	132	第149図	A区1号井戸出土遺物(25)	223
第35図	A区7・8号掘立柱建物跡	47	第93図	B区23号溝	133	第150図	A区1号井戸出土遺物(26)	224
第36図	A区北部柱穴・ピット群の分布	48	第94図	B区26・28・34・35・38・46号溝	135	第151図	A区1号井戸出土遺物(27)	225
第37図	A区9～11号掘立柱建物跡	51	第95図	B区24・37・47・63・64号溝	137	第152図	A区1号井戸出土遺物(28)	226
第38図	A区9～11号掘立柱建物跡と欄列	53	第96図	B区47号溝橋脚柱穴部分	138	第153図	A区1号井戸出土遺物(29)	227
第39図	A区9～11号掘立柱建物跡断面	54	第97図	B区25・53～56号溝	141	第154図	A区1号井戸出土遺物(30)	228
第40図	A区1・2号溝	60	第98図	B区59～61・68・69号溝	142	第155図	A区1号井戸出土遺物(31)	229
第41図	A区3・4号溝	61	第99図	B区27・29・31～33号溝	145	第156図	A区1号井戸出土遺物(32)	230
第42図	A区5～7号溝	62	第100図	B区30・36・42～45・48～ 50・52・57・70～72号溝	146	第157図	A区1号井戸出土遺物(33)	231
第43図	A区8号溝	64	第101図	B区井戸分布図	148	第158図	A区2・3・4・8・9号井戸 出土遺物	232
第44図	A区9号溝	65	第102図	B区井戸断面分布図	148	第159図	A区14・16・19号井戸出土遺物	233
第45図	A区10・11号溝	66	第103図	B区1～3号井戸	149	第160図	A区1・16・32・52・57号土坑 出土遺物	234
第46図	A区10・11号溝土層断面	67	第104図	B区4～8号井戸	150	第161図	A区62・79・115・163・202・207 号土坑、82ピット、1・2号集石 出土遺物	235
第47図	A区12号溝	69	第105図	B区9～11号井戸	153	第162図	A区遺構外出土遺物(1)	236
第48図	A区13・14号溝	70	第106図	B区12～14・28号井戸	154	第163図	A区遺構外出土遺物(2)	237
第49図	A区15～17号溝	71	第107図	B区15～19号井戸	155	第164図	A区遺構外出土遺物(3)	238
第50図	近世絵図と照合する溝	72	第108図	B区20～24号井戸	156	第165図	B区1号溝出土遺物(1)	239
第51図	A区井戸分布図	73	第109図	B区25～27・29～31号井戸	157	第166図	B区1号溝出土遺物(2)	240
第52図	A区井戸断面分布図	73	第110図	B区32～37号井戸	158	第167図	B区1号溝出土遺物(3)	241
第53図	A区1号井戸	75	第111図	B区38号井戸・203号土坑	161	第168図	B区1号溝出土遺物(4)	242
第54図	A区1号井戸遺物出土分布図	76	第112図	B区1号墓壇及び41号土坑	162	第169図	B区2・6号溝出土遺物	243
第55図	A区2号井戸	77	第113図	B区円形土坑(1)	164	第170図	B区6号溝出土遺物	244
第56図	A区3・4号井戸	78	第114図	B区円形土坑(2)	165	第171図	B区13～15・18・19号溝出土遺物	245
第57図	A区5～9号井戸	79	第115図	B区方形土坑(1)	166			
第58図	A区10～15号井戸	80						

第172図	B区23号溝出土遺物(1)	246		302	
第173図	B区23号溝出土遺物(2)	247	第229図	A区11号溝、B区1・6・23・24号溝出土金属製品	303
第174図	B区23号溝出土遺物(3)	248	第230図	B区24・56号溝、27号井戸、16・212号土坑出土金属製品	304
第175図	B区24号溝出土遺物(1)	249	第231図	B区86号土坑出土金属製品	305
第176図	B区24号溝出土遺物(2)	250	第232図	A区12・16号溝、54号土坑出土銭貨	306
第177図	B区24号溝出土遺物(3)	251	第233図	A区40・50・59～61・114号土坑、121ピット、B区5・20・24・37・38号溝、1号墓壇出土銭貨	307
第178図	B区24号溝出土遺物(4)	252	第234図	A区4・9・12号溝出土砥石	308
第179図	B区24号溝出土遺物(5)	253	第235図	A区1・4号井戸、127・176号土坑出土砥石	309
第180図	B区24号溝出土遺物(6)	254	第236図	B区1号溝出土砥石	310
第181図	B区24号溝出土遺物(7)	255	第237図	B区1・6・13・22号溝出土砥石	311
第182図	B区24号溝出土遺物(8)	256	第238図	B区23・24号溝出土砥石	312
第183図	B区24号溝出土遺物(9)	257	第239図	B区34・37号溝出土砥石	313
第184図	B区24号溝出土遺物(10)	258	第240図	B区38・60号溝、1・11・14・26号井戸、8・15・45号土坑、C区出土砥石	314
第185図	B区24・26・34号溝出土遺物	259	第241図	A区4・12号溝、1井戸出土石臼	315
第186図	B区37号溝出土遺物(1)	260	第242図	A区1・4・14井戸出土石臼	316
第187図	B区37号溝出土遺物(2)	261	第243図	A区16井戸、1集石、163土坑、遺構外出土石臼	317
第188図	B区37号溝出土遺物(3)	262	第244図	B区1号溝、11・12号井戸出土石臼	318
第189図	B区37・38・47・53・54・56号溝出土遺物	263	第245図	B区12・16・25・35号井戸出土石臼	319
第190図	B区59～61・63号溝出土遺物	264	第246図	B区15号土坑出土石臼	320
第191図	B区1号井戸出土遺物	265	第247図	A区8号井戸、B区4・13号井戸、6号溝出土石製品	321
第192図	B区4・7・9号井戸出土遺物	266	第248図	A区56号溝、78ピット、1号集石、B区遺構外出土石製品	322
第193図	B区9・11～13号井戸出土遺物	267	第249図	A区1集石、遺構外出土石製品	323
第194図	B区13・14号井戸出土遺物	268	第250図	A区1溝、1・4井戸出土石製品	324
第195図	B区14・24号井戸出土遺物	269	第251図	B区5号土坑出土石製品	325
第196図	B区26・27号井戸出土遺物	270	第252図	A区1・4井戸、B区368ピット出土石製品	326
第197図	B区29・32・37・38号井戸、1号墓壇出土遺物	271	第253図	A区1・4号溝出土板碑	327
第198図	B区13・15号土坑出土遺物	272	第254図	A区8・13号溝出土板碑	328
第199図	B区15・17・37・45・48号土坑出土遺物	273	第255図	A区1・2号井戸出土板碑	329
第200図	B区68・74号土坑出土遺物	274	第256図	A区15井戸、1集石、104土坑出土板碑	330
第201図	B区76・81・212・214号土坑出土遺物	275	第257図	B区15・24・47号溝、2井戸、791ピット出土板碑	331
第202図	B区ピット出土遺物	276	第258図	B区7号井戸出土板碑	332
第203図	遺構外出土遺物	277	第259図	A区1・14・15井戸出土五輪塔	333
第204図	A区1・19号井戸出土木製品	278	第260図	A区163土坑、B区15号溝、4・11井戸出土五輪塔	334
第205図	A区19号井戸出土木製品	279	第261図	B区13号井戸出土五輪塔、6号溝出土地藏菩薩	335
第206図	A区20号井戸、207号土坑出土木製品	280	第262図	B区1号墓壇人骨出土状況	353
第207図	B区1号溝出土木製品	281	第263図	出土頭骨断面の状況	354
第208図	B区23・24号溝出土木製品	282	第264図	出土歯の状態	354
第209図	B区24号溝出土木製品(1)	283	第265図	出土大腿骨の状態	354
第210図	B区24号溝出土木製品(2)	284	第266図	出土した歯の病理状態	355
第211図	B区24号溝出土木製品(3)	285	第267図	徳丸高堰地区の近世絵図	364
第212図	B区24号溝出土木製品(4)	286	第268図	徳丸高堰地区の近世地籍図	365
第213図	B区25・37号溝出土木製品	287	第269図	徳丸高堰遺跡～鶴光路榎橋遺跡の屋敷跡推定図	366
第214図	B区37号溝出土木製品(1)	288			
第215図	B区37号溝出土木製品(2)	289			
第216図	B区37・61号溝出土木製品	290			
第217図	B区1・3号井戸出土木製品	291			
第218図	B区7・13号井戸出土木製品	292			
第219図	B区13・14号井戸出土木製品	293			
第220図	B区14・15号井戸出土木製品	294			
第221図	B区15号井戸出土木製品	295			
第222図	B区23号井戸出土木製品(1)	296			
第223図	B区23号井戸出土木製品(2)	297			
第224図	B区24号井戸出土木製品	298			
第225図	B区24・25号井戸出土木製品	299			
第226図	B区25号井戸出土木製品	300			
第227図	B区25・26・29号井戸出土木製品	301			
第228図	B区15・17・76号井戸出土木製品				

表目次

第1表	周辺遺跡一覧	8
第2表	古墳時代の土坑	18
第3表	A区掘立柱建物跡柱穴計測値	55
第4表	A区中・近世井戸一覧表	74
第5表	A区中・近世土坑一覧表	85
第6表	B区掘立柱建物跡柱穴計測値	114
第7表	B区中・近世井戸一覧表	160
第8表	B区中・近世土坑一覧表	163
第9表	中・近世土坑及びピット一覧表	171
第10表	出土遺物観察表	336
第11表	徳丸高堰遺跡出土人骨歯冠計測値及び比較表	355
第12表	器種別にみた用材の樹種	359
第13表	時代別にみた用材の樹種	360
第14表	樹種同定結果一覧	361

写真図版目次

- PL.1 前橋台地東南部の俯瞰
PL.2 B区1号住居跡、87・89・96・97・108・116号土坑
PL.3 B区116・117・146・150・204号土坑
PL.4 B区205～208号土坑
PL.5 B区62・65～67号溝、101・102号土坑
PL.6 B区105・109・121・123・125・126・129・140号土坑
PL.7 B区143・145・155・176・180号土坑、704・762ピット
PL.8 C区(980-050グリッド)基準層序、C区水田畦畔基底部痕
PL.9 B区2号住居跡、B区41号溝、111号土坑
PL.10 A区206号土坑、B区11・92・94・106・107・136号土坑
PL.11 C区浅間B軽石直下水田
PL.12 C区浅間B軽石直下水田、南北大畦、畦分岐部分
PL.13 C区浅間B軽石直下水田
PL.14 C区浅間B軽石直下水田面に残る獣の歩行跡、南北大畦
PL.15 A区遺構群全景
PL.16 A区遺構群全景
PL.17 A区1・3・4・9号溝
PL.18 A区3・4号溝
PL.19 A区5～7・10号溝
PL.20 A区8～11号溝
PL.21 A区6・10～13号溝
PL.22 A区14～17号溝
PL.23 A区1号井戸
PL.24 A区1・2号井戸
PL.25 A区3～5号井戸
PL.26 A区6～10号井戸
PL.27 A区11～16号井戸
PL.28 A区17～20・22号井戸
PL.29 A区22～24号井戸、1号集石、12号溝内集石
PL.30 A区54・59・207号土坑
PL.31 A区1～8号土坑
PL.32 A区9～16号土坑
PL.33 A区17～23号土坑
PL.34 A区24～28・30～32号土坑
PL.35 A区33～40号土坑
PL.36 A区41～48・104号土坑
PL.37 A区49～53・55・56号土坑
PL.38 A区57～67号土坑
PL.39 A区68～74号土坑
PL.40 A区75～77・79～83号土坑
PL.41 A区84～91号土坑
PL.42 A区92～99号土坑
PL.43 A区100～107号土坑
PL.44 A区108～115号土坑
PL.45 A区116～123号土坑
PL.46 A区124～131号土坑
PL.47 A区132～139号土坑
PL.48 A区140・141・143～148号土坑
PL.49 A区149～156号土坑、102ピット
PL.50 A区157～162・164・165号土坑
PL.51 A区166～169・71～174号土坑
PL.52 A区176～181・183・184号土坑
PL.53 A区185～192号土坑
PL.54 A区193～200・203号土坑
PL.55 A区201・203～205・208・209・211・212号土坑
PL.56 A区213～216・218～221号土坑
PL.57 A区南部ピット群、1～6号掘立柱建物跡
PL.58 A区2・3・5～9・11・12ピット
PL.59 A区13～18・20ピット
PL.60 A区21～26・29・30ピット
PL.61 A区31～33・36～40ピット
PL.62 A区41～46・48・49ピット
PL.63 A区50～55・58・61ピット
PL.64 A区62～69ピット
PL.65 A区70～77ピット
PL.66 A区78～82・84・87・90ピット
PL.67 A区91・92・94～99ピット
PL.68 A区100・101・103～108ピット
PL.69 A区110・112～114・118・119・121・122ピット
PL.70 A区123～128・130・131・133ピット
PL.71 A区132・134～140ピット
PL.72 A区141～145・147・148ピット
PL.73 A区150～154・156～166ピット
PL.74 A区167・170～177・179～182ピット
PL.75 A区183～185・187～189・191～197ピット
PL.76 A区186・190・198～204・206・207ピット
PL.77 B区全景
PL.78 上空からみたB区全景、B区周辺景観
PL.79 B区西端部分全景、5・6号溝
PL.80 B区1号溝
PL.81 B区1・23号溝
PL.82 B区3～5号溝
PL.83 B区5～7号溝
PL.84 B区8・9・12～14号溝
PL.85 B区14・15・17号溝
PL.86 B区23号溝
PL.87 B区18・19・23号溝
PL.88 B区20・22・24号溝
PL.89 B区24～26・37号溝
PL.90 B区26・28・29号溝
PL.91 B区30～32号溝
PL.92 B区32号溝内80号土坑、34～36号溝
PL.93 B区37・38・40号溝
PL.94 B区42～44号溝
PL.95 B区44～47号溝
PL.96 B区24・47～49・53号溝
PL.97 B区25・37・55～57・63・64・69号溝
PL.98 B区37・64号溝、B区23号溝掘削作業
PL.99 B区南東部ピット群、1～4号掘立柱建物跡
PL.100 B区1～4・6・7号井戸
PL.101 B区7～12号井戸
PL.102 B区13・14・16～18・21・23・25・28号井戸
PL.103 B区26・29・31～35号井戸
PL.104 B区36～38号井戸、203号土坑
PL.105 B区1号墓墳・41号土坑、B区1～3号土坑
PL.106 B区4～7号土坑
PL.107 B区6・8・9・12～14・16・17号土坑
PL.108 B区15・18・20・21・23・24号土坑
PL.109 B区25～29号土坑
PL.110 B区30～34号土坑
PL.111 B区18号井戸、35～40・42号土坑
PL.112 B区43～46・48号土坑
PL.113 B区22・49～55号土坑
PL.114 B区56～62号土坑
PL.115 B区63～69号土坑
PL.116 B区70・72～76・78号土坑
PL.117 B区79・80・82～85・112・113号土坑
PL.118 B区137・138・141・142・147・149・184・187号土坑
PL.119 B区209・211～217号土坑
PL.120 B区1～3・6・7・12～15・18ピット

- PL.121 B区16・17・19～27ビット
- PL.122 B区28～38ビット
- PL.123 B区39～48ビット
- PL.124 B区49～54・11・150・368ビット
- PL.125 C区1～5号溝
- PL.126 C区1～5号土坑
- PL.127 C区6～9号土坑
- PL.128 C区10～13・15・16号土坑
- PL.129 B区1号住居跡、89・116・117・204・208号土坑、その他出土遺物
- PL.130 B区11・90・107・111号土坑、C区大畦出土遺物
- PL.131 A区1・4・12・13・16号溝出土遺物
- PL.132 A区1号井戸出土遺物(1)
- PL.133 A区1号井戸出土遺物(2)
- PL.134 A区1号井戸出土遺物(3)
- PL.135 A区1号井戸出土遺物(4)
- PL.136 A区1号井戸出土遺物(5)
- PL.137 A区1号井戸出土遺物(6)
- PL.138 A区1号井戸出土遺物(7)
- PL.139 A区1号井戸出土遺物(8)
- PL.140 A区1号井戸出土遺物(9)
- PL.141 A区1号井戸出土遺物(10)
- PL.142 A区1号井戸出土遺物(11)
- PL.143 A区1号井戸出土遺物(12)
- PL.144 A区1号井戸出土遺物(13)
- PL.145 A区1・3・8号井戸、16・163・207号土坑出土遺物
- PL.146 A区82ビット、2号集石、その他出土遺物
- PL.147 B区1・2・6号溝出土遺物
- PL.148 B区13・14・19・23号溝出土遺物
- PL.149 B区24号溝出土遺物(1)
- PL.150 B区24号溝出土遺物(2)
- PL.151 B区24号溝出土遺物(3)
- PL.152 B区24号溝出土遺物(4)
- PL.153 B区24・26号溝出土遺物
- PL.154 B区37・56・60・63号溝出土遺物
- PL.155 B区1・4・7・13号井戸出土遺物
- PL.156 B区14・26号井戸出土遺物
- PL.157 B区29・32号井戸、1号墓塚、13・15・17・37・48・212号土坑出土遺物
- PL.158 B区74号土坑出土遺物
- PL.159 B区150・268ビット、その他出土遺物
- PL.160 A区1・19号井戸出土遺物
- PL.161 A区207号土坑、B区1・23号溝出土遺物
- PL.162 B区24号溝出土遺物(1)
- PL.163 B区24・37号溝出土遺物
- PL.164 B区37・61号溝出土遺物
- PL.165 B区1・7・13号井戸出土遺物
- PL.166 B区13～15号井戸出土遺物
- PL.167 B区15号井戸出土遺物
- PL.168 B区23号井戸出土遺物(1)
- PL.169 B区23・24号井戸出土遺物
- PL.170 B区25・26・29号井戸、15・17号土坑出土遺物
- PL.171 B区1・6・23・24・56号溝、27号井戸、16・86号土坑
その他出土遺物
- PL.172 A区12・16号溝、54号土坑出土遺物
- PL.173 A区50・59～61・114号土坑、121ビット、その他、B区
5・20・24・37・38号溝、40号土坑出土遺物
- PL.174 A区4・9・12号溝、4号井戸、176号土坑
B区1・6・22～24・34号溝出土遺物
- PL.175 B区37・38号溝、1号井戸、15号土坑、1号墓塚、C区3号
溝、その他出土遺物
- PL.176 A区1・14号井戸、163号土坑、B区12・35号井戸、15号
土坑、その他出土遺物
- PL.177 A区8号井戸、56号溝、78ビット、1号集石、B区4・13
号井戸、6号溝、その他出土遺物
- PL.178 A区1・4号井戸、B区368ビット出土遺物
- PL.179 A区1・4・8・13号溝、1号井戸、1号集石、104号土
坑、B区47号溝、2・7号井戸出土遺物(A・B区板碑)
- PL.180 A区14・15号井戸、163号土坑
B区6・15号溝、4・11・13号井戸、その他出土遺物
(A・B区五輪塔・地藏菩薩)
- PL.181 木製品・木材組織光学顕微鏡写真(1)
- PL.182 木製品・木材組織光学顕微鏡写真(2)
- PL.183 木製品・木材組織光学顕微鏡写真(3)
- PL.184 木製品・木材組織光学顕微鏡写真(4)
- PL.185 木製品・木材組織光学顕微鏡写真(5)
- PL.186 木製品・木材組織光学顕微鏡写真(6)

発掘調査報告書抄録

書名ふりがな	とくまるたかぜきいせき
書名	徳丸高堰遺跡
副書名	北関東自動車道（高崎～伊勢崎）地域埋蔵文化財発掘調査報告書第31集
巻次	—
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	348
編著者名	大木紳一郎／植崎修一郎
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20050322
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県勢多郡北橋村大字下箱田784-2
遺跡名ふりがな	とくまるたかぜきいせき
遺跡名	徳丸高堰遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんまえばししとくまるまち
遺跡所在地	群馬県前橋市徳丸町13～68
市町村コード	10201
遺跡番号	00523
北緯（日本測地系）	361921
東経（日本測地系）	1390630
北緯（世界測地系）	362032
東経（世界測地系）	1390618
調査期間	19980501-19990430
調査面積	11619
調査原因	北関東自動車道建設工事に伴う事前調査
種別	集落／屋敷／水田
主な時代	古墳／平安／中近世
遺跡概要	集落－古墳－竪穴住居1＋土坑19＋溝4－土器／平安－竪穴住居2＋土坑11＋溝1－土器／中近世－掘立柱建物跡27＋溝55＋井戸62＋墓壇4＋土坑＋ピット／田畑－古墳－水田1／平安－水田1
特記事項	近世絵図と照合できる屋敷構造

第1章 発掘調査の経過

1 調査に至る経緯

北関東自動車道（高崎－伊勢崎）の建設に伴い、計画路線に関わる埋蔵文化財の発掘調査について、群馬県教育委員会スポーツ文化部文化財保護課、県土木部道路建設課高速道路対策室、日本道路公団東京第二建設局の三者で協議した結果、本線部分の発掘調査は財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が受託することとなった。平成7年6月1日付けで県教育委員会と本事業団との間で締結された「北関東自動車道（高崎－伊勢崎）地域埋蔵文化財発掘調査」契約に基づき、平成7年から本格的な発掘調査が実施されることとなった。

徳丸高堰遺跡は、前橋市徳丸町の西端を画する端気川の左岸にあたり、総面積は11,619㎡を測る。平成8年6月、県教育委員会によって行われた事前の試掘調査の結果に基づいて、調査対象範囲と期間算定が行われた。試掘段階で、本遺跡の西半（A・B区）は旧地形が削平されながらも中～近世屋敷跡の

存在、東半（C区）では水田跡の存在が予想された。

端気川を渡す橋梁工事で橋脚部分となる西端の地区を先行させる工事計画との調和を図るため、A～C区のうち橋脚工事区に相当するA区を優先的に発掘調査が開始されることとなった。

本格的な発掘調査の実施は、平成10年5月1日から始まり、調査終了の平成11年4月30日まで、以下の通り調査担当者のべ7名がこれに当たることとなった。

平成10年5月1日～平成10年8月31日

調査担当者 麻生敏隆 勢藤暁美（旧姓瀧野）

調査嘱託員 小宮山達雄

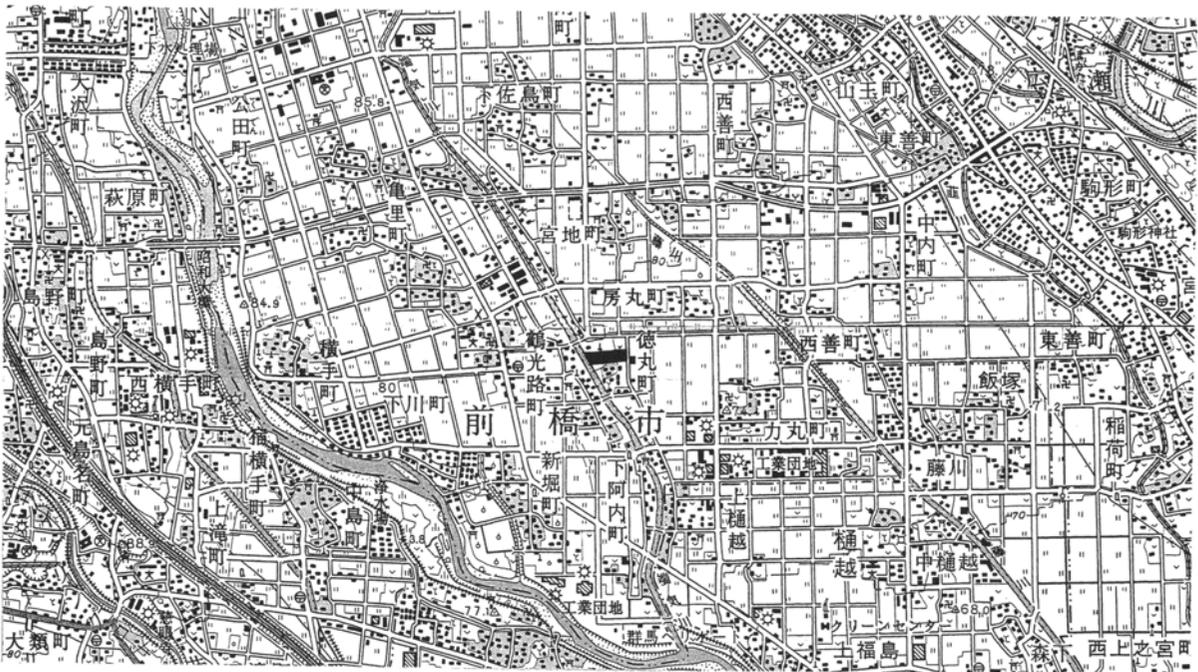
平成10年9月1日～平成11年3月31日

調査担当者 大木紳一郎 南雲芳昭 矢口裕之

西原和久

平成11年4月1日～平成11年4月30日

調査担当者 大木紳一郎 蜂須賀里佳



第1図 徳丸高堰遺跡の位置（国土地理院1/5万「前橋」「高崎」使用）

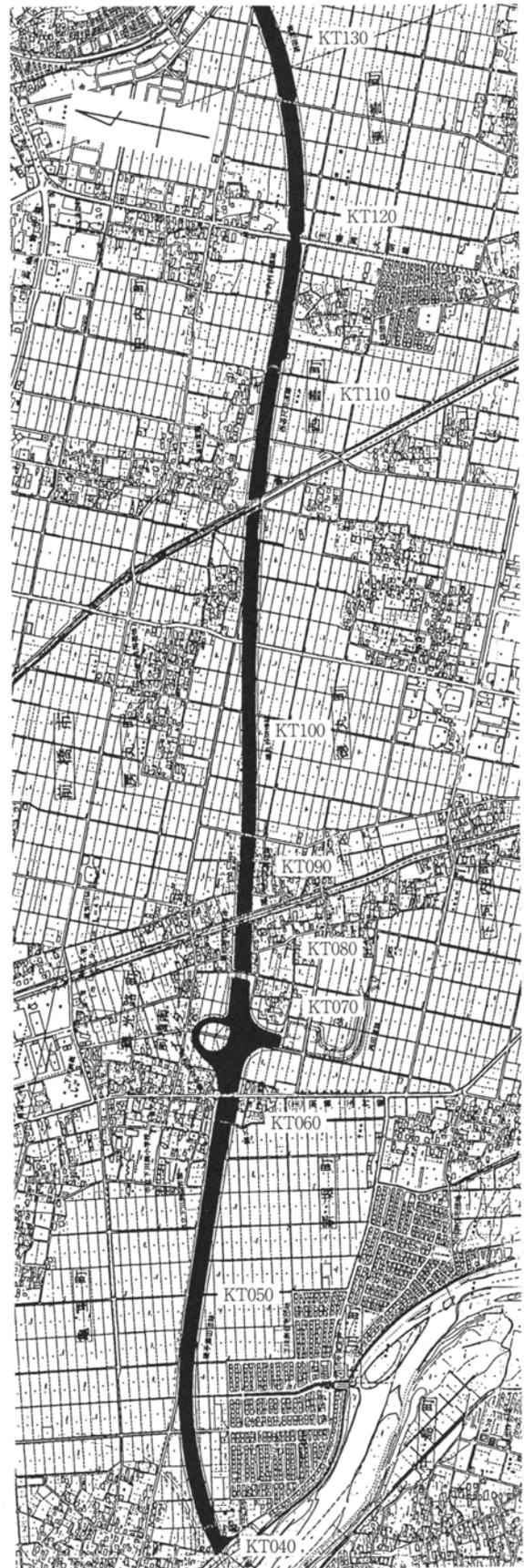
北関東自動車道は、高崎市上滝町の関越自動車道高崎ジャンクションから分岐し、茨城県那珂湊にいたる延長約150kmの高速道路である。群馬県では、このうち高崎ジャンクションから伊勢崎インターまでの約15kmの区間について、先行工事が行われることとなり、これに関わる埋蔵文化財の発掘調査を平成9年度から開始した。

利根川を渡河した路線は、ほぼ直線的に東方に延び、広瀬川右岸までの間約5kmは、ほぼ平坦な水田地帯を通過する。この間は工事区にあわせて、10箇所埋蔵文化財発掘調査区に分けられ、起点に近い西方から順にKT040～KT130の番号が与えられた。本遺跡はそのうちのほぼ中央、KT090にあたる。

現在水田が展開する地形と、事前に実施された試掘調査の結果から、この地域は全域に水田跡が検出されることが確実視され、また集落ののる微高地には中世に遡る屋敷跡の存在が予想された。特に、天仁元年（1108年）に降下したとされる浅間山B軽石に覆われた古代の水田跡は、ほぼ分断することなく連続する遺構であり、その調査成果は前橋市南部に広がる条里型水田の実態を解明するものとして期待された。

掲載の遺跡

番号	遺跡名
KT040	横手南川端遺跡
KT050	横手湯田遺跡
KT060	村中遺跡
KT070	西田遺跡（インターチェンジ）
KT080	鶴光路榎橋遺跡
KT090	徳丸高堰遺跡
KT100	徳丸仲田遺跡
KT110	西善尺司遺跡
KT120	中内村前遺跡
KT130	前田遺跡



第2図 前橋南部における路線図（1：2万）

2 周辺の地形環境

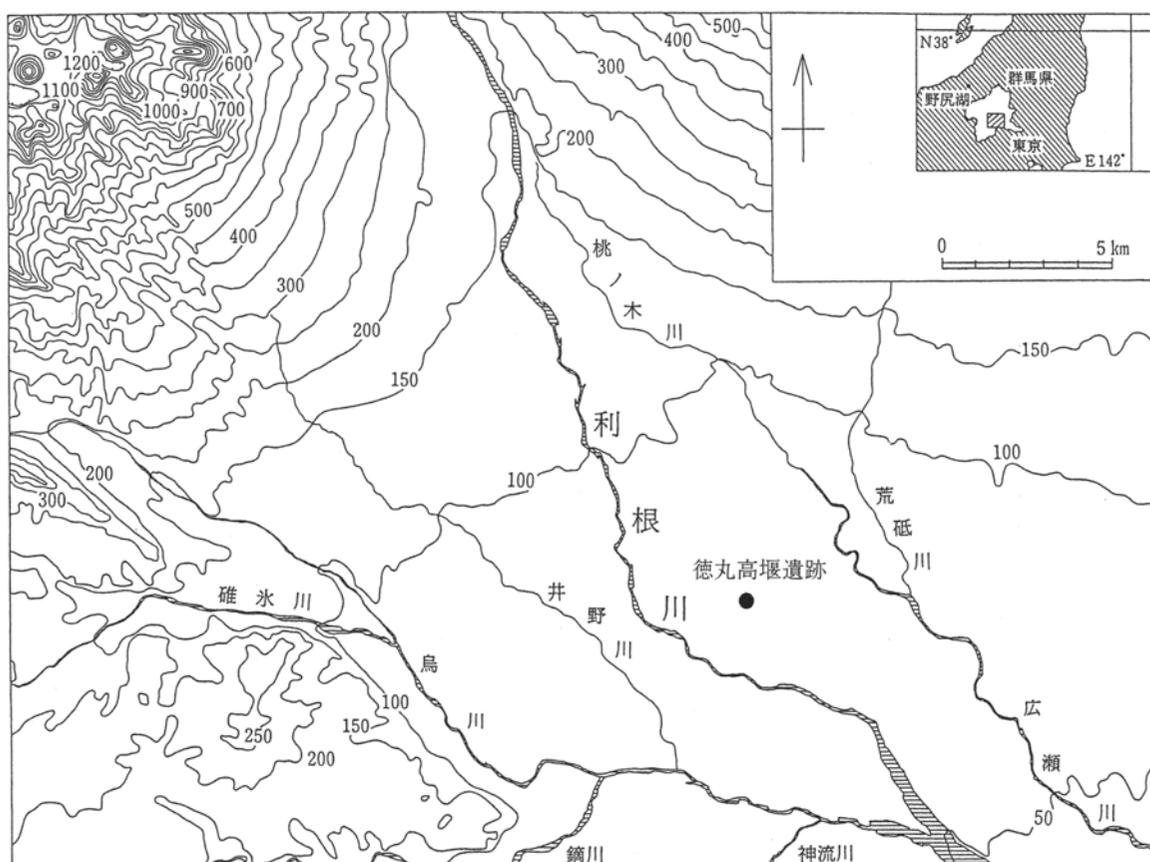
遺跡が立地する前橋市南部の台地は、群馬県のほぼ中央南寄りに位置し、北に赤城山、北西に榛名山、西は岩野谷丘陵に接する。この地形面は「前橋台地」と命名され（新井房雄1962）、その形成史や地形区分などの詳細については『徳丸仲田遺跡（1）』（2001群埋文）に記したのでここでは改めて述べない。

本遺跡では、古墳時代から中世に関わるものが主体を占める。従ってここでは古墳時代以降の遺跡立地に関わりをもつ地形環境について略述するにとどめたい。

本遺跡は、現在の利根川流路の東方約3km地点に位置する（第3図）。ただし、利根川は16世紀代（天文年間説が有力）に現在の流路に変流しており、それ以前は現在の桃ノ木川－広瀬川の流路を流れて

いたと考えられている。従って中世以前における遺跡周辺の地形環境は、榛名山東南麓から南東に緩傾斜する前橋台地面を基盤とし、これを流下する幾筋もの小河川と、そこに形成された小規模な谷、自然堤防状の微高地、沖積低地という地形景観が遺跡形成に大きな影響を与えたと考えられる。

前橋台地上を南東に下る小河川は縄文時代以降に形成され、堅く締まった基盤層の前橋泥流を侵食できずに、網状に分流する浅い小河谷を発達させたと考えられている。本遺跡の東側にあたる徳丸仲田遺跡で検出された埋没河川跡もそのうちのひとつであり、古墳時代前期までには埋没するか、わずかな窪地として残る状態であった。徳丸仲田遺跡の調査成果によれば、本遺跡の東方には、東西方向に約800mの範囲で洪水堆積物や粘性の高い火山灰質の黒ボク土が堆積しており、良好な水田可耕地を提供していた。また、実際に古墳時代前期以降現在に至るま



第3図 群馬県央地域の等高線（「徳丸仲田遺跡（1）」より転載）

で、水田として営まれ続けてきたことが明らかである。

本遺跡周辺の等高線分布をみると、北西から南東にかけて、極めて緩い傾斜をしていることが知れる。本遺跡調査地点の地表標高は77.0～76.5mで、東隣する徳丸仲田遺跡西端の低地面の最低標高値が76.0mを測るから、その比高は最大でも1mである。ただし、本遺跡A・B区では旧地表土が削平された形跡が多いことから、古墳時代～近世の自然地形では現在よりも大きな高低差を想定して差し支えない。本遺跡に残るこの微高地は、端気川を越えて西側対岸の鶴光路町東部に続いている。端気川に沿って北西から南北方向に帯状に延びた幅200～300mの部分がそれにあたり、現在でも集落居住地や畠地として利用されている。

端気川は、徳丸町と鶴光路町の地境となっているが、微高地上を直線的に流下していること、本書で明らかにされるように、発掘調査では旧河道が確認されておらず、むしろ検出された屋敷跡を分断する位置関係にあることから、少なくとも本遺跡地点においては中世以降の人工的な開削によるものと考えられる。本遺跡の西方約1.5kmにある横手湯田遺跡では、古墳時代初頭には存在していたと考えられる埋没河川が知られており、ここまでの間は大きな地形的変化はなかったようだ。それは、この間に位置する西田遺跡・村中遺跡の調査所見からもうかがえる。端気川は現在前橋市街を流れる広瀬川から分流し、玉村町樋越付近で利根川と合流する。この間約8kmの流域で、前橋台地の南東に広がる水田地帯を縦貫する。この地域を横断するように発掘調査を実施した北関東自動車道関連の遺跡では、横手湯田遺跡で1箇所、徳丸仲田遺跡では西端と東端の2箇所で規模の大きい埋没河川が検出されている。そのうち徳丸仲田遺跡東端の埋没河川は、隣接する現藤川の旧河道と想定されたが、北西に延びるその源流方向は端気川と一致すると考えられる。これらの調査所見にみる埋没河川は、端気川の旧流路であった可能性が考えられるが、いずれも古墳時代後期ころに

は埋没が進んでおり、前二者に関しては天仁元年(1108年)の浅間山B軽石降下時点ではすでに平坦になっている。古代～中世における端気川流路を推測した場合、現在までの発掘調査所見によるかぎり、藤川に沿った埋没河川が最もその候補としてふさわしいといえよう。ただし、端気川旧流路を現在の藤川付近に想定すると、広大な水田域の東側に偏るため、西半地域を灌漑したはずの主要水源が不明になってしまう。この地域には浅間山B軽石に覆われた広大な水田の存在が明らかであるから、大規模な灌漑施設や水源となる河川の存在は不可欠だろう。その場合、現利根川付近に河川の存在を想定するか、さらに西側を流れる滝川からの取水なども考慮する必要があるかも知れない。

浅間山C軽石の降下(紀元300年前後頃)以前の弥生時代には、この地域では小河川を利用した小規模な水田経営が可能であったと思われるが、現段階では本遺跡周辺で弥生水田の検出は知られていないし、また遺跡の存在も稀薄である。

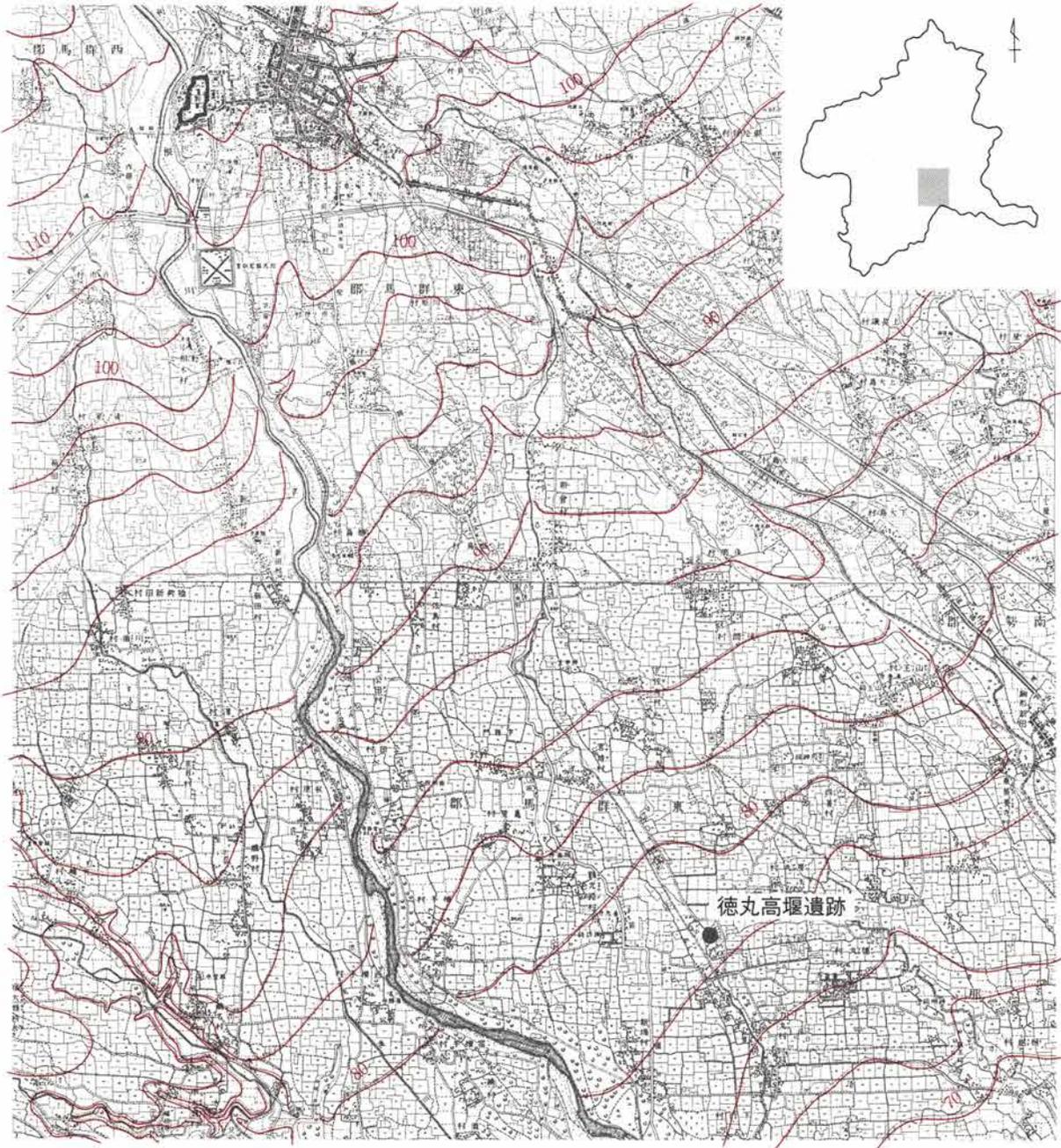
古墳時代前期には、広範囲にわたる大規模水田開発がおこなわれていることから、人為的な灌漑水路の開削はもとより、地形的には広く平坦な水田可耕地がすでに用意されていたと考えてよいだろう。端気川から藤川の、長さ約800mの間、徳丸仲田遺跡で検出された古墳時代前期相当の水田跡はその賜である。

古墳時代後期、榛名山東南麓や大河川沿いの地域に大被害をもたらした榛名山の噴火(6世紀代に2回)も、本地域には大きな地形的変化を与えていないようだ。ただし、徳丸仲田遺跡で検出された藤川旧河道は6世紀後半以降8世紀以前と思われる洪水層によって一旦埋没しており、その上には8世紀以降の集落が形成されている。その後、再び9世紀以降と推定される時期に、広範囲にわたる洪水層の堆積が認められる。本遺跡基準層序のIV層としたのがそれで、すでに形成されていた水田や水路を埋め尽くし、微高地との地形変換部分も不明瞭にしてしまったらしい。これによって、平坦な水田可耕地がさ

らに広がったと考えられる。前橋台地低地域の大部分に展開したと考えられる、浅間山B軽石（1108年降下）直下の水田跡の耕土はいずれもこの洪水層を基土としている。これ以降は、中世における利根川の変流が、生産や流通機構など地域の経済活動はもとより、村落形成や地域の領有支配のあり方にも多

大な影響を与えたことは容易に想像がつく。

近世以降は、天明3年の浅間山噴火で深刻な被害を被ったものの、本地域の地形にはさほど大きな変化は与えなかったようだ。先述の端気川や藤川は、運河や本地域の灌漑用水源として大いに活躍しており、現在にまで至っている。



第4図 遺跡周辺の地形と土地利用（明治18年陸軍迅速測図に加筆）1：50000

3 周辺の歴史的環境

前橋市市街地の南部で盛んに発掘調査が行われ、遺跡の分布状況や個々の具体的な内容について明らかとなってきたのは、高速自動車道路や新幹線などの建設に端を発した大規模な公共開発が始まってからといってよく、特に本遺跡の存する前橋台地東半に形成された広い低地地域の遺跡については、北関東自動車道路建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査成果に負うところが大きい。これは、本地域を横断する大規模なトレンチ調査ともいべきもので、東西方向における遺跡の分布や密度、時代ごとの偏在性を明らかにすることになった。また、前橋市をはじめ高崎市や玉村町などの近隣地域でも、近年において埋蔵文化財の発掘調査例が増加しており、広域面を対象とした遺跡分布の状況も知られるようになりつつある。ここでは現在までに判明している範囲で、特に本遺跡に関連の深い古墳時代以降の遺跡例について概観してみたい。

本地域における旧石器時代～縄文時代は遺跡数が極端に少ない。その中で徳丸仲田遺跡から出土した隆起線文土器は、前橋地域のみならず県内でも最古に位置づけられる縄文文化の存在を明確にした点でおおいに注目される。周辺遺跡からは、前橋市櫛島川端遺跡で撚糸文土器が出土している以外は、周辺の各遺跡から前期～後期の土器片が少数見られる程度で、遺構やまとまった遺物の出土例は現在のところほとんど知られていない。ただし、少数ながらも土器や石器が広範に分布することから、小規模な集落が点在した可能性は否定できまい。

弥生時代の遺跡については、かねてより分布の空白地帯といわれており、現段階でも数遺跡が点在する程度である。本遺跡から南東に約2.5km離れた玉村町一万田遺跡の中期後半の土器棺墓とされる遺構が近辺では唯一の遺構である。西方に約4km離れると、南東流する井野川に沿って弥生時代の集落が濃密に分布する。高崎市の高崎情報団地遺跡、万相寺遺跡、宿大類村西遺跡、鈴ノ宮遺跡、矢島薬師遺跡、

元島名遺跡などがそれで、長期定着集落の様相を示す鈴ノ宮遺跡を除いて、いずれも後期初頭～前半に中心をおく集落遺跡である。井野川流域の弥生遺跡群は、西～北毛地域に分布する中期後半の栗林式（竜見町式）と後期樽式土器を主とする文化圏の南東限に位置しており、後期末になって赤城山南麓地域に集団的移住したとも推測されている分布圏の変化を見せた段階でも、本遺跡のある前橋市南部の低平な地域への進出はほとんど見られなかったらしい。今後新たな遺跡調査例が増えたとしても、この分布状況はおそらく変わることはないと考えられる。一方、本遺跡の南方4km地点にある玉村町上飯島芝根遺跡で発見された中期後半御新田式土器を伴う住居跡は、同時期の栗林式土器分布圏縁辺に位置しており、それぞれの土器分布圏と相互の関係を考察する上で興味深い事例である。御新田式土器は、栃木県南西部に主分布をもち、栗林式と共伴して群馬県域にも点々と分布することが判明している。徳丸仲田遺跡でもまとまった量の土器片が出土しており、これまで知られていなかった御新田式土器を用いる集団を想定する必要があるかもしれない。

本地域の遺跡分布で最も大きな変化は、古墳時代前期に訪れる。稀薄であった弥生時代以前の遺跡分布状態から大きく変わって、太田市周辺地域とともに群馬県内でも最も濃密な遺跡分布を示す。古墳時代前期の遺跡分布密度の異常な高さは、前橋市南部の低平な地域における新たな大開発を示すものと捉えて間違いないだろう。その担い手となったのはS字甕をメルクマルとする石田川式土器を用いる集団と考えられ、周辺の古墳時代前期の集落遺跡の大部分を占める。

集落の分布は、台地縁辺ないしは南東方向に島状に延びる微高地上に立地しており、現在水田化されている平坦な地点でも今後見つかる可能性は高い。特記すべき例として、前橋市山王若宮遺跡の北陸系土器を含む土器群や、玉村町福島曲戸遺跡で石田川式土器の住居跡の以前に南関東的な様相を持つ土器群を出土した住居跡を上げることができ、石田川式

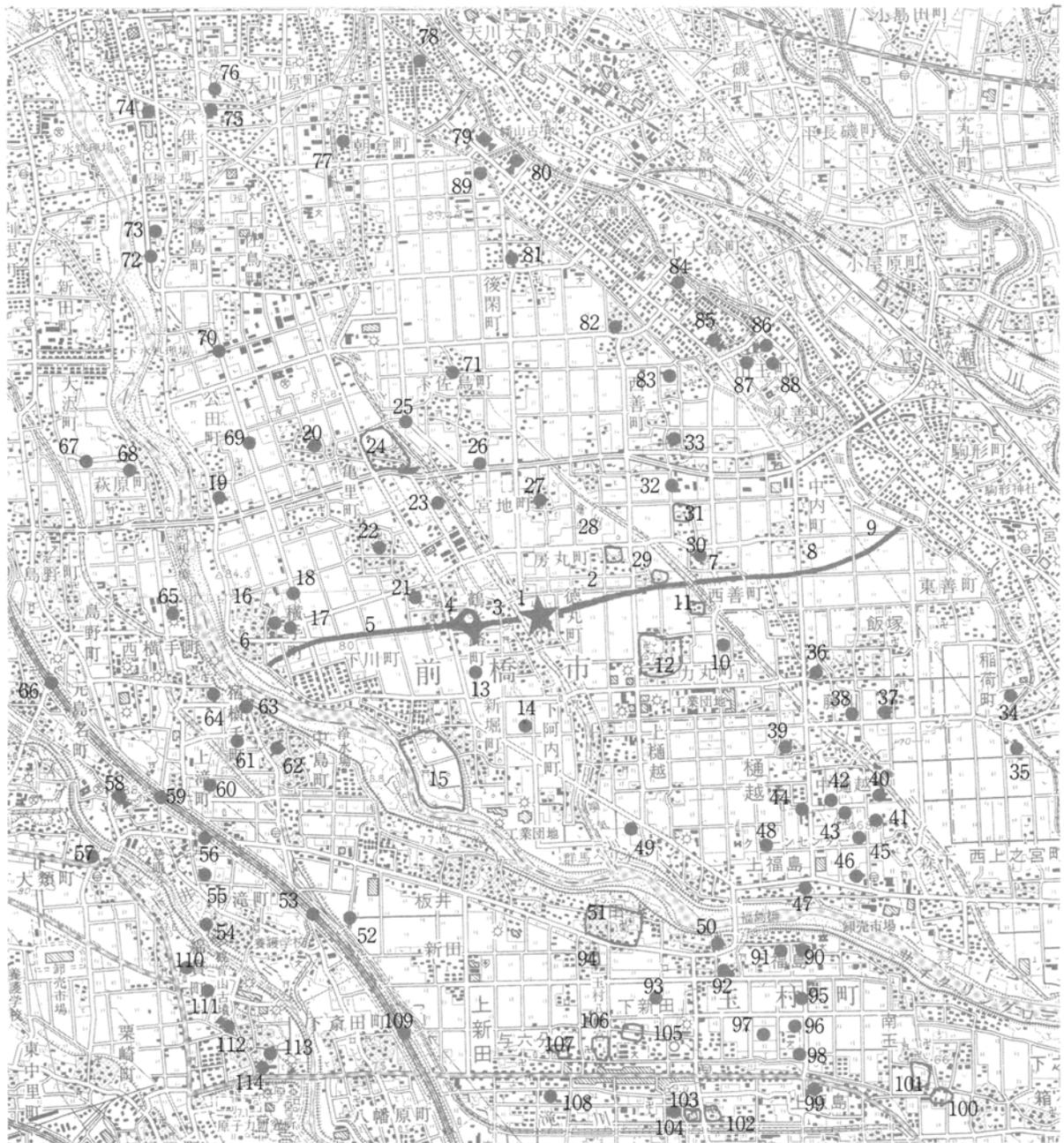
とは異なる土器を用いた先駆的な集団の存在を示唆する例として注目される。本地域の大規模な開発があったことを示す例として、古墳群の存在も見逃せない。本遺跡の北方3～4kmの地点に、県内でも最古段階に位置づけられる前橋天神山古墳（前方後円126m）、八幡山古墳（前方後方130m）をはじめ、朝倉Ⅱ号墳（円23m）など4世紀代の古墳が存在する。これらは、水田可耕地となる前橋市南部に広がる低地帯を見晴らす要部ともいえる台地北端に位置し、また背後の北東には広瀬川低地帯がひろがる。さらに、西方4kmには井野川左岸に元鳥名將軍塚古墳（前方後方91～96m）がある。これらは、新たな地域開発を指導した盟主たちの墓と推測されるが、具体的な支配領域や盟主間の関係など、大和政権の地域支配動向と関連した重要な検討課題を投げかけている。前橋天神山古墳の立地する広瀬川右岸台地上には、その後も連綿と古墳が造築され7世紀代まで続く。5世紀代の大古墳が見られないことに、4世紀からの盟主層の断絶がうかがえるが、生産地としては安定していたであろうことが古墳分布の状況から十分推測される。

古墳時代中・後期の集落遺跡は、前期の遺跡に比べて意外といえるほど少ない。ただし、低地部分の調査で、榛名山噴火に伴うテフラ（6世紀初・6世紀中）に覆われた水田跡が広範に検出されているので、本地域が生産域として継続していたことは間違いない。このことから、台地上のように洪水被害の少ない場所に長期定着集落を営んだ可能性がある。その意味で、広瀬川右岸の台地は良好な立地条件を備えていると思われるが、発掘調査例が少ないため、その具体像については明らかにされていない。

奈良・平安時代にはいと微高地に再び集落形成が始まる。本遺跡の東に隣接する西善尺司遺跡では46軒の住居跡、東方に1.5～2km離れた中内村前遺跡と前田遺跡からは、あわせて260軒近い住居跡が検出されている。このことから、居住環境の良好な場所に大規模集落が存在し、他の平坦地はできる限り水田化した様子を窺い知ることができる。また、

南東に2.5km離れた玉村町一万田遺跡では官衙的建物群が発見されたことは注目に値する。平安時代後期の天仁元年（1108）に降下した浅間山火山灰（As-B）に覆われた水田跡は、台地や微高地を除く平坦地形の大部分で検出されており、本地域における条里形水田研究の格好の資料を提供している。前橋市南部から玉村町にかけての地域は、昭和40年代における耕地整理以前の地割りから、条里地割の存在が注目されており、発掘調査の成果によってAs-B直下の水田面とどのような関係にあるかを明らかにすることが期待される。これまでの検出事例から、一町を基準とする大畦や整然とした東西南北の畦による区画が広範囲に広がることが判明しており、北関東自動車道路関連の調査成果からは、東西方向約5km間の区画の様相が明らかになるはずである。

中・近世については、本地域に数多く見られる環濠屋敷が注目される。本遺跡の南方約500mには、14世紀に大江姓那波氏一族の日向守広宗が居住してから天正18年（1590）に滅亡したと伝えられる力丸城があり、また本遺跡周辺では、徳丸東環濠遺構群や房丸東環濠遺構群などが知られている。発掘調査例では本遺跡のほか、東方では西善尺司遺跡・中内村前遺跡・前田遺跡などで環濠屋敷の存在が明らかになっている。



第5図 周辺の遺跡分布 (国土地理院1/5万「前橋」「高崎」より作成)

第1表 周辺遺跡一覧

1 徳丸高塚遺跡	本報告書掲載内容	8 中内村前遺跡	古墳前期・古代集落、古墳～古代水田、中～近世屋敷跡
2 徳丸仲田遺跡	縄文草創期、古墳～平安の集落・水田、近世屋敷跡	9 前田遺跡	古代の集落・水田、中世屋敷跡
3 鶴光路榎橋遺跡	古代集落、中～近世屋敷跡	10 東力丸環濠遺構群	
4 西田・村中遺跡	古代集落、古墳～古代の水田、近世墓	11 徳丸東環濠遺構群	
5 横手湯田遺跡	古墳前期集落、古墳～古代の水田、中～近世屋敷跡	12 力丸城	力丸氏、15～16世紀城郭
6 横手南川端遺跡	古墳～近世の水田・畠、中～近世屋敷跡	13 下阿内一丁畑遺跡	古墳前期集落、古墳～古代水田
7 西善尺司遺跡	古墳前期集落・墓、古代集落、古墳～古代水田、中～近世屋敷跡	14 下阿内前田遺跡	古墳前期集落、古代水田、中世屋敷跡
		15 新堀城	和田正盛、16世紀
		16 横手環濠遺構群	

- | | | | | | |
|----|-----------------------------|------------------------------------|-----|----------|---|
| 17 | 横手宮田遺跡 | 古墳～中世水田 | 71 | 下佐島環濠集落 | |
| 18 | 亀里平塚遺跡 | 古墳～中世水田、近世墓 | 72 | 櫛島川端遺跡 | 弥生～古代集落・墓 |
| 19 | 三公田環濠遺構群 | | 73 | 上櫛島屋敷 | 16世紀、牛込氏居館 |
| 20 | 亀里環濠遺構群 | | 74 | 六供中京安寺遺跡 | 古墳時代の集落・墓、古代集落 |
| 21 | 鶴光路亀里環濠遺構群 | | 75 | 六供東京安寺遺跡 | 縄文土器、古墳～古代の集落と水田 |
| 22 | 前田屋敷 | | 76 | 六供下堂木Ⅲ遺跡 | 古墳前期・古代集落、古墳～古代水田 |
| 23 | 阿内古城 | 上杉顕定、文明九年 | 77 | 朝倉環濠遺構群 | |
| 24 | 宿阿内城 | 三輪右近、16世紀城郭 | 78 | 朝倉Ⅱ号墳 | 前期円墳、23m |
| 25 | 川曲遺跡 | 古墳後期集落 | 79 | 八幡山古墳 | 前期前方後方墳、130m |
| 26 | 東田遺跡 | 古墳～古代水田 | 80 | 前橋天神山古墳 | 前期前方後円墳、126m |
| 27 | 東宮地環濠遺構群 | | 81 | 後閑環濠集落 | |
| 28 | 房丸東環濠遺構群 | | 82 | 山王環濠集落 | |
| 29 | 徳丸東環濠遺構群 | | 83 | 西善鍛冶屋遺跡 | 古墳～古代の集落 |
| 30 | 横堀環濠遺構群 | | 84 | 亀塚山古墳 | 後期円墳、約40m |
| 31 | 旧西善環濠遺構群 | 須田氏 | 85 | 金冠塚古墳 | 7世紀前方後円墳、56m |
| 32 | 須田屋敷 | 16世紀 | 86 | 上陽12号墳 | 前方後円墳、60m強 |
| 33 | 西善環濠遺構群 | | 87 | 文殊山古墳 | 前期円墳、約50m |
| 34 | 今村城 | 那波氏の被官、長浜越前の居城、16世紀 | 88 | 山王若宮遺跡 | 古墳前期集落 |
| 35 | 今村環濠遺構群 | | 89 | 後閑団地遺跡 | 古墳前期・古代集落 |
| 36 | 藤川環濠集落 | | 90 | 福島曲戸遺跡 | 古墳前期・古代集落、古墳～中世水田、近世畠復旧跡 |
| 37 | 飯塚環濠遺構群 | | 91 | 福島治部前遺跡 | 古代集落、近世復旧跡 |
| 38 | 前通遺跡 | 平安時代の水田 | 92 | 上福島の砦 | |
| 39 | 中樋越屋敷 | | 93 | 斉田竹之内遺跡 | 古墳前期・古代水田、近世畠復旧跡 |
| 40 | 原浦Ⅱ遺跡 | 古墳～古代集落 | 94 | 石原屋敷 | |
| 41 | 原浦遺跡 | 古墳時代溝、古代集落 | 95 | 福島久保田遺跡 | 古墳～中世水田、近世畠復旧跡 |
| 42 | 阿左美環濠遺構群 | | 96 | 福島大島遺跡 | 古墳～古代水田、中世屋敷跡、近世復旧跡 |
| 43 | 阿左美館 | 13～16世紀 | 97 | 福島飯塚遺跡 | 古墳前期集落・前～後期水田、古代集落、古代～中世水田、中～近世屋敷、近世復旧跡 |
| 44 | 松原遺跡 | 古墳～近世、平安時代の紡錘車工房 | 98 | 福島大光坊遺跡 | 古墳前期畠、古代の集落・水田、中世屋敷跡 |
| 45 | 中之坊遺跡 | 古代水田、東山道駅路か | 99 | 上飯島芝根遺跡 | 弥生中期集落、古代集落・水田 |
| 46 | 一万田遺跡 | 弥生中期土器棺、古代官衙遺構か | 100 | 南玉館 | |
| 47 | 上福島中町 | 近世の屋敷跡 | 101 | 玉村城 | |
| 48 | 砂町遺跡 | 古代水田、東山道駅路 | 102 | 観照寺屋敷 | |
| 49 | 柄田添遺跡 | 古代集落と水田、近世の水田と畠 | 103 | 宮下屋敷 | |
| 50 | 宇津木館 | 宇津木氏 | 104 | 内田屋敷 | |
| 51 | 田口下屋敷・温井西屋敷・温井東屋敷・町田屋敷・田村屋敷 | | 105 | 玉村館 | |
| 52 | 上滝社宮司東遺跡 | 古墳前期土坑 | 106 | 玉村八幡館 | |
| 53 | 滝川C遺跡 | 古墳前期土坑 | 107 | 与六屋敷 | |
| 54 | 下滝館 | 足利成氏、大井田氏居館 | 108 | 南東耕地遺跡 | 平安時代の井戸・土坑・溝 |
| 55 | 下滝天水遺跡 | 古墳～古代集落、古墳時代居館か、古墳～古代の水田・畠、中～近世屋敷跡 | 109 | 下斉田滝川A遺跡 | 縄文土坑、古墳～古代の集落と墓 |
| 56 | 上滝五反畑遺跡 | 古墳～古代水田、近世水田復旧跡 | 110 | 綿貫小林前遺跡 | 古墳～古代の集落、中世集落と墓 |
| 57 | 下大類蟹沢遺跡 | 古墳、古墳～古代の集落 | 111 | 綿貫遺跡 | 古墳～古代の集落・墓、廃寺跡 |
| 58 | 元島名将軍塚遺跡 | 前期の前方後方墳、91～96m | 112 | 綿貫親音山古墳 | 6世紀前方後円墳、97m |
| 59 | 上滝遺跡 | 古墳前期～古代の集落、中～近世屋敷跡 | 113 | 綿貫堀米前Ⅱ遺跡 | 縄文土器、古墳～古代集落、中世墓 |
| 60 | 上滝榎町北遺跡 | 古墳～古代・近世水田、中世屋敷跡 | 114 | 不動山東遺跡 | 古墳時代集落 |
| 61 | 宿横手三波川遺跡 | 古墳前期河道、古墳～古代・近世水田、中世屋敷跡 | | | |
| 62 | 田口屋敷 | 田口業祐居館 | | | |
| 63 | 西横手遺跡群(当事業団) | 古墳～古代水田、古代・近世の集落 | | | |
| 64 | 新居屋敷 | | | | |
| 65 | 西横手遺跡群(市教委) | 古墳前期墓、古墳～古代水田、中～近世畠 | | | |
| 66 | 元島名B遺跡 | 14～16世紀の城郭 | | | |
| 67 | 萩原上五丁目遺跡 | 古墳～古代水田 | | | |
| 68 | 萩原団地遺跡 | 古墳～古代水田、近世畠 | | | |
| 69 | 公田池尻遺跡 | 古墳～古代の集落と水田、中世屋敷跡 | | | |
| 70 | 公田東遺跡 | 古墳～古代の集落と水田・畠・墓、中世屋敷跡 | | | |

4 調査の方法と経過

徳丸高堰遺跡の発掘調査は、集落跡と中～近世屋敷跡が占地する微高地部分のA・B区と、水田跡が予想されたC区に大別して行われた。対象地は東西約250mで、現行地割に基づく南北の道路によって全体を西から3区分し、北関東自動車道の起点に近い西側から順にアルファベットを付して、A～C区と呼称した(第6図)。

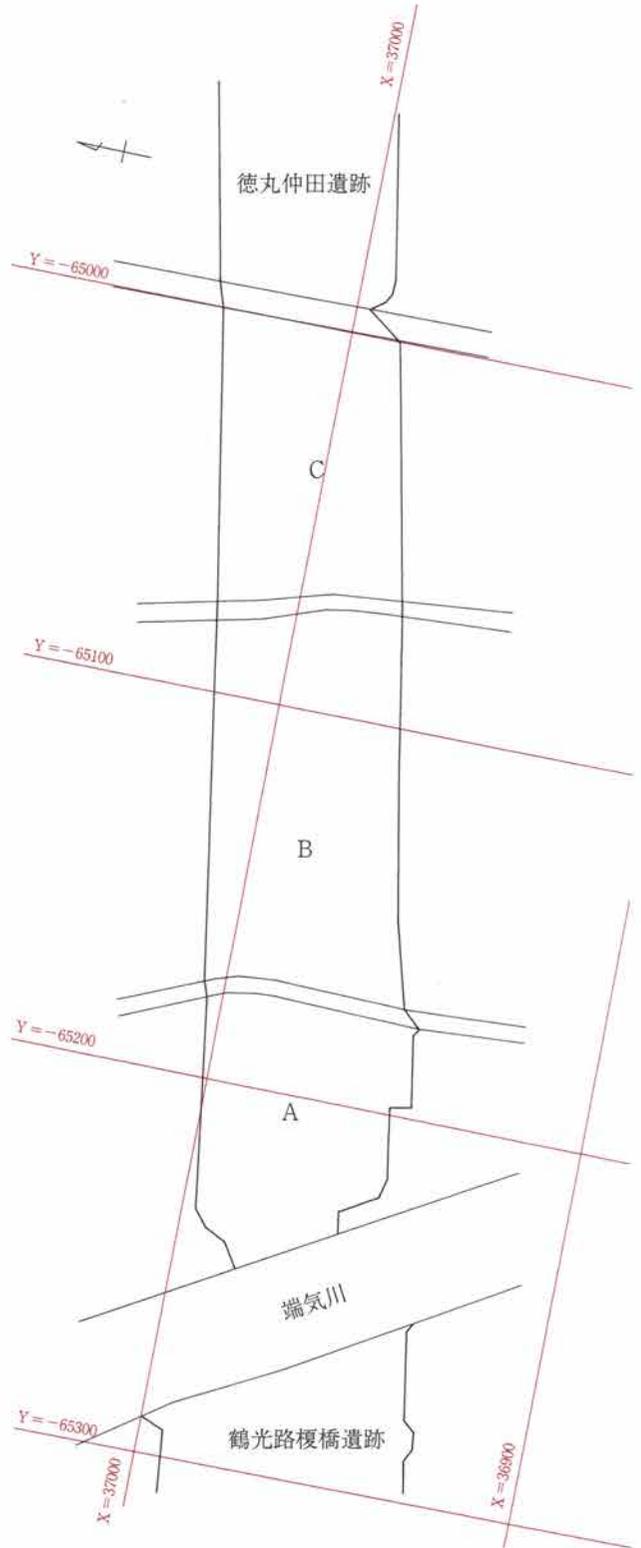
事前の試掘調査によって、文化層までの深さを求め、掘削重機によって調査面までの表土部分を全面的に削除する方法をとった。それによれば、表土層は40cmほどで、遺構検出面に達することが判明したため、表土下30cm強までは掘削重機で表土削除、それ以下については人手で検出作業を行った。

測量については、日本道路公団の基準点(座標系IX: T-6、 $X=36959.890$ ・ $Y=-63796.625$ ・ $H=76.189$ m、及び1 T-5、 $X=36912.731$ ・ $Y=-64406.986$ ・ $H=75.596$ m)を借用して、調査地における任意の基準杭の座標値及び水準値を求めて使用した。この基準杭を基に5m方眼で測量杭を設置し、各グリッドは国家座標値(XY値)で5mを単位として呼ぶこととした。遺構測量は、バルーンによる航空測量と平板測量を併用し、1/20及び1/40縮尺の図面を作成した。

検出された遺構は、平面プランが認定された段階で住居跡・溝・井戸・土坑・ピット等の名称を与え、これに算用数字を付して登録した。ただし、調査の進捗に従い、推測される性格に応じて呼称を替えたものもある。ただし、本報文では検出された遺構の規模や形態から、想定される性格にもとづいて分類し直してあるため、必ずしも分類項目と遺構名称は一致していない。

写真撮影は中型カメラと小型カメラを併用し、被写体にかかわらずモノクロフィルムとカラースライドを用いた。

工事工程との調和を図るため、発掘調査はA区から開始し、続いてB・C区の調査を行った。平成10



第6図 調査区分図と国家座標 (1:2000)

年度ではほぼ全域の発掘調査を終えたが、B区の最古文化面にあたる古墳時代前期の遺構群を残していたため、平成11年度に入り調査に1ヶ月を費やして、全ての調査を完了した。

なお、本遺跡の発掘調査成果について一般市民に公開するため、平成11年3月7日に遺跡見学会を開催した。

整理作業は、平成15年1月から開始し、平成17年3月31日に終了する。

徳丸高堰遺跡日誌抄

平成10年（1998年）

- 5月1日（金）A区調査開始
- 5月4日（月）表土除去、遺構確認作業開始
調査区全体に測量用杭打ち。
- 5月11日（月）遺構調査開始
- 6月2日（火）1号井戸で大量のかわらけ確認
- 7月6日（月）重機による溝掘削調査
- 7月14日（火）1号井戸調査完了
- 7月28日（火）第1面の調査終了、全景空撮
- 7月29日（水）第1面の測量と記録
- 8月3日（月）第2面遺構確認作業、調査開始
- 8月26日（水）第2面調査終了、全景空撮
- 8月28日（金）A区の発掘調査完了
- 8月31日（月）事務所撤去
- 12月1日（火）B区表土削除作業開始
遺構確認作業、早くも溝、井戸を確認し、近世陶磁器の出土をみる。
- 12月3日（木）B区北東部で黒色土中から古墳時代～古代の土器片出土。古代以前の住居跡の存在を予想する。
- 12月10日（木）重機による表土削除作業を終え、調査区全体に測量用杭打ち。
- 12月17日（木）最も規模の大きい1号溝の掘削調査を開始する。

平成11年（1999年）

- 1月6日（水）1号溝の掘削調査再開
- 1月7日（木）掘立柱建物跡の検出作業開始
C区表土削除作業開始
- 1月8日（金）C区でAs-B下水田を確認。
- 1月11日（月）B区で井戸、溝、掘立柱建物跡の調査、C区では水田検出調査を同時に進行。
- 1月19日（火）B区As-B下水田跡の空撮
- 1月22日（金）B区水田耕土の調査開始
- 1月28日（木）B区遺構群（第1面）の空撮
同面の測量と記録を開始。
- 2月18日（木）B区第2面で竪穴住居を検出、C区は第2面の調査終了、埋め戻しを開始
- 2月26日（金）B区とC区境界の現用道路部分の調査開始、表土削除を始める。
- 3月3日（水）徳丸仲田・徳丸高堰遺跡の成果について記者クラブで発表。
- 3月7日（日）徳丸高堰遺跡の現地説明会開催
- 4月7日（水）平成11年度の現場作業開始
- 4月14日（水）B区で古墳時代の遺構調査開始
- 4月26日（月）現場調査終了、撤去作業開始。
- 4月30日（金）現場事務所撤去

平成15年（2003年）

- 1月6日（月）徳丸高堰遺跡の整理作業開始
- 4月1日（火）平成15年度の整理事業開始
- 6月27日（金）遺物復元作業完了

平成16年（2004年）

- 2月4日（水）遺物実測作業完了
- 3月24日（水）遺物写真整理終了
- 4月1日（木）平成16年度整理事業開始
- 8月31日（火）図トレース終了
- 9月29日（水）図版作成終了
- 10月1日（金）～平成17年3月31日（木）
資料類収納、報告書印刷・刊行作業

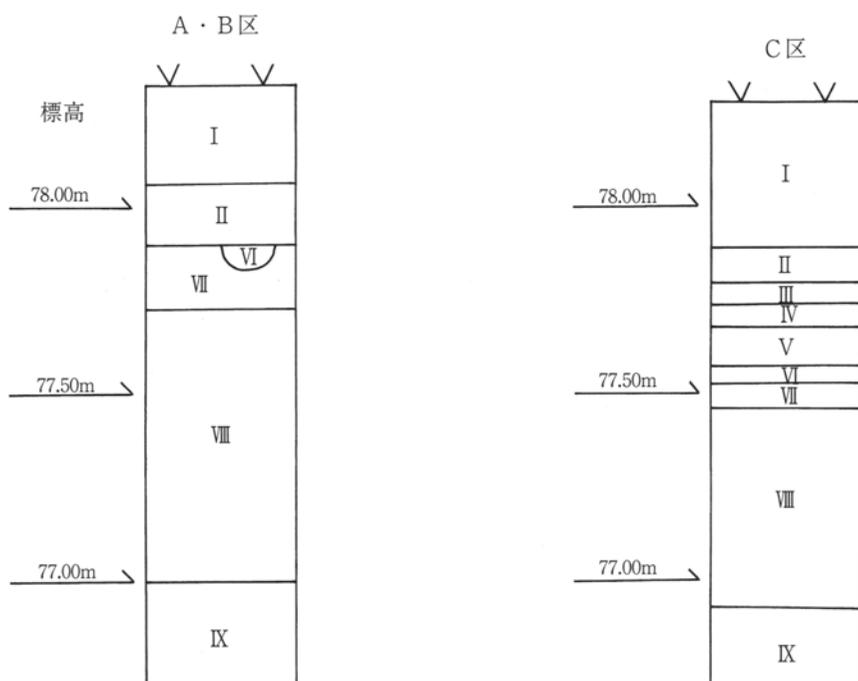
5 遺跡の基準層序

徳丸高堰遺跡の基準層序は、第7図に掲げた前橋台地基準層序に従っている。これについては、『徳丸仲田遺跡(1)』(2001群埋文)に詳述している。

調査区の地形は、低地部分の展開する徳丸仲田遺跡と異なり、やや高い微高地となっている。そのため、畝耕作と宅地化が進んでおり、現表土に近い上位の土層については削平や攪乱が著しい。特に、中世以降に宅地として利用され続けたA・B区では、表土直下ですでに古墳時代遺構の基盤層となる暗灰色シルト質粘土層が現れる。従って、古墳時代以降の水田跡や畝跡を検出する鍵層となるテフラや耕土層は、低地へと傾斜する地形面に位置したC区にのみ見られる。各基準土層の概要は以下の通りである。

- I 一暗褐色から灰褐色で、浅間山A軽石を含むが攪拌が著しい。表土を形成。
- II 一浅間山B軽石を多く含む暗褐色土で、中世以後の耕土と思われる。中～近世屋敷跡に関連する遺構を検出。

- III 一浅間山B軽石一次堆積物。上位に暗紫色、下位に灰色の灰層が見られる。下位から水田跡を検出。C区でのみ見られる。
- IV 一暗灰褐色のシルト質。上位は攪拌されており水田耕土と考えられ、その基土は下位のV層であろう。またIII層に覆われた最上位面には、粘性を帯びる黒色土の薄層が見られる。C区でのみ見られる。
- V 一暗灰色で砂質。ラミナ構造がしばしば見られる洪水起源堆積物。窪地ではVI層との間に榛名山テフラHr-FAの堆積が見られる。
- VI 一浅間山C軽石を多く含む黒褐色シルト。軽石降下後の耕土と思われる。VII層との相違で水田畦畔基底部の痕跡を検出。A・B区では遺構埋土としてのみ見られる。
- VII 一粘性の強い黒褐色土で、軽石を含まない。古墳時代前期以前の遺構を検出。
- VIII 一褐灰色粘質土。前橋泥炭層に比定。本遺跡では明確な層序は確認できないが、YP、SP、BPが含まれる。
- IX 一灰色火山灰質砂礫。前橋泥流堆積物。



第7図 遺跡の基準層序

第2章 古墳時代の遺構と遺物

概要

古墳時代の遺構と遺物はB・C区で検出、その内訳は、竪穴住居跡1棟、土坑19基、溝4条、水田跡、ピット31基である。なお、出土遺物がなくても埋土の特徴で古墳時代と想定可能な遺構も扱う。

1 B区の検出遺構と遺物

(1) 住居跡

B区1号住居跡 (第8図、PL.2)

位置 980-110グリッド

平面形 長方形

規模 3.90×3.40m

施設等 床面、炉、柱穴等は検出されなかった。おそらく掘方部のみ痕跡と思われる。厳密に言えば住居跡との認定も難しい。底面レベルは大差なくほぼ平坦。埋土はAs-C混在の黒色土が10cmほど堆積し、特にローム塊が目立つということもない。

出土遺物 埋土中から前期の土器片が少数出土している。このうち甕2点を図示した。他は小破片である。1はS字甕の口縁～肩部片。口縁の屈曲は弱く断面は厚い。肩の張りも弱くなで肩に近い。外面は櫛状具による斜位刷毛目、内面は指頭押圧とナデ、頸部はヘラナデを施す。2は口縁部片で「く」字状の頸部屈曲から短く外反する。端部はつまみナデによって、やや上端が尖る。外面は斜位、内面は横位の粗い刷毛目を施し、外面は横ナデで仕上げる。

(2) 土坑

B区87号土坑 (第8図、PL.2)

位置 990-110グリッド

形状 平面円形、断面筒形

規模 90×85cm、深さ62cm

出土遺物 古墳前期の土器小破片が数点出土している。図示できるものはない。

B区89号土坑 (第8図、PL.2)

位置 990-110グリッド

形状 平面円形、断面筒形。

規模 64×60cm、深さ57cm。

出土遺物 埋土上層(底面+40cm)で、5世紀代の壺、高杯、椀が出土した(第13図)。壺と椀は完形に復す。

所見 住居跡に伴う貯蔵穴の可能性あり。

B区95号土坑 (第8図)

位置 995-115グリッド

形状 平面楕円形、断面椀形。

規模 32以上×28cm、深さ12cm

出土遺物 なし。

重複 97号土坑と重複、新旧関係不明。

B区96号土坑 (第8図、PL.2)

位置 990-115グリッド

形状 平面円形、断面皿形。

規模 70×66cm、深さ13cm

出土遺物 なし。

重複 99号土坑と重複するが、新旧関係不明。

B区97号土坑 (第8図、PL.2)

位置 995-115グリッド

形状 平面円形、断面三角形。

規模 43×40cm、深さ33cm

出土遺物 型式不明の土師器小片。

重複 95号土坑と重複するが、新旧関係不明。

B区98号土坑 (第8図)

位置 995-115グリッド

形状 平面円形、断面台形。

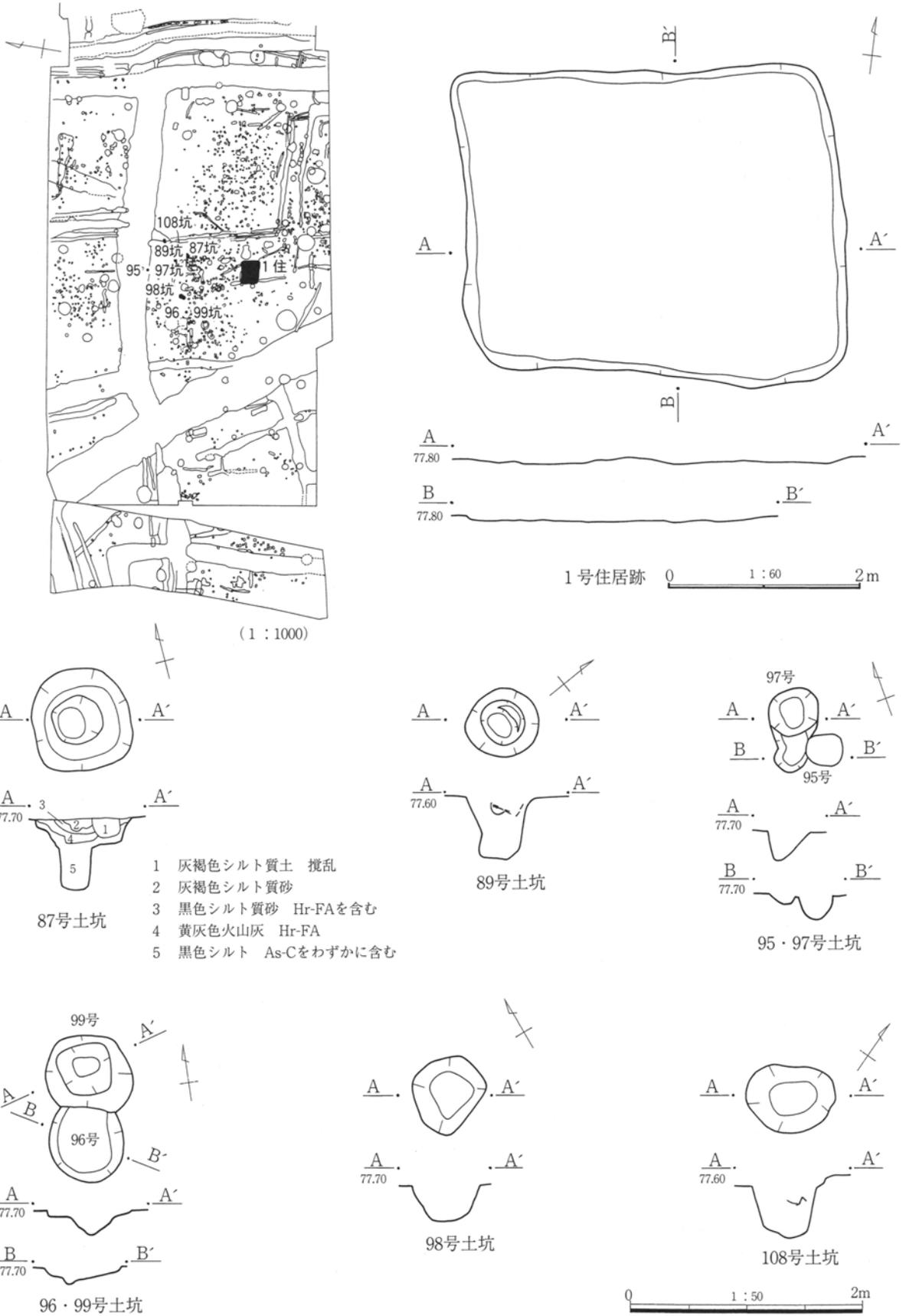
規模 65×58cm、深さ32cm

出土遺物 前期と思われる土師器小片。

所見 住居跡に伴う貯蔵穴の可能性あり。

B区99号土坑 (第8図)

位置 990-115グリッド



第8図 古墳時代の住居跡・土坑

形状 平面隅丸方形、断面三角形。

規模 76×62cm、深さ33cm

出土遺物 型式不明の土師器小片。

重複 96号土坑と重複するが、新旧関係不明。

B区108号土坑（第8図、PL.2）

位置 995-105グリッド

形状 平面楕円形、断面U字形。

規模 78×56cm、深さ54cm

出土遺物 埋土中層（底面+30cm）から甕1個体分の破片出土。短い単口縁で球胴、刷毛目ののち内外面ともヘラケズリ整形（第13図-6）。時期は5世紀代。

B区116号土坑（第9図、PL.2・3）

位置 985-120グリッド

形状 平面円形、断面台形。

規模 135×130cm、深さ85cm

埋土の状況 全体に黒色シルト質土が堆積し、上位にはAs-Cが散見される。

出土遺物 埋土から小型壺、高杯、杯、S字甕の破片が出土（第13図-7~10）。古墳前期の4世紀前~中頃だろう。

B区117号土坑（第9図、PL.3）

位置 985-120グリッド

形状 平面楕円形、断面筒形。

規模 120×84cm、深さ74cm

埋土の状況 砂混じりの黒色シルト質土。

出土遺物 埋土から、完形の壺1点のほか、S字甕と高杯の破片が出土。古墳前期（4世紀前半代と思われる）。

B区142号土坑（第9図）

位置 990-120グリッド

形状 平面楕円形、断面浅い箱形。

規模 90×42cm、深さ9cm

出土遺物 なし。

B区146号土坑（第9図、PL.3）

位置 990-125グリッド

形状 平面不整形、断面は浅い台形。

規模 115×100cm、深さ25cm

埋土の状況 全体に黄色土塊を含むので、人為的埋土の可能性はある。

出土遺物 埋土より古墳前期の甕破片を多く出土。図示資料なし。

B区122・150号土坑（第9図、PL.3）

位置 985-125グリッド

形状 平面不定形、断面凹凸。

規模 180×80cm、深さ30cm

出土遺物 4世紀及び9世紀代の甕及び碗破片が出土。

所見 北側に隣接する2号住居跡の掘方の可能性がある。また、8号掘立柱建物跡の西側柱穴と重複する可能性もあるが、確認できなかった。

B区204号土坑（第9図、PL.3）

位置 990-110グリッド

形状 平面円形。

規模 35×34cm、深さ18cm

出土遺物 口縁の一部を欠く杯（6世紀前半~中）1点が出土（第14図-12）。

B区205号土坑（第9図、PL.4）

位置 985-110グリッド

形状 平面長方形、断面浅い箱形。

規模 52×32cm、深さ12cm

埋土の特徴 大部分が黒色土で埋まり、上位をAs-C混黒色土が覆う。

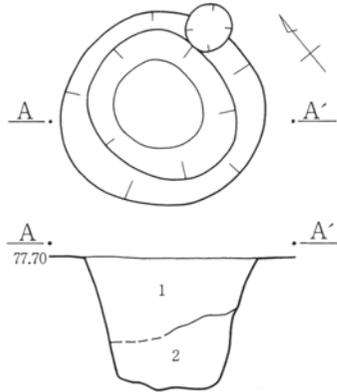
出土遺物 古墳前期のS字甕破片が出土。

重複関係 54号土坑の下から検出。

B区206号土坑（第9図、PL.4）

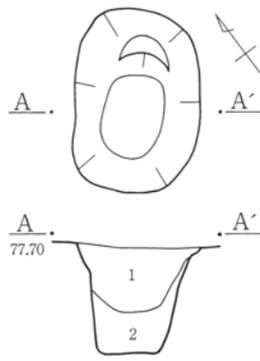
位置 985-115グリッド

形状 平面円形、断面浅い皿形。



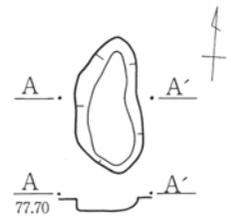
- 1 黒色シルト質土 As-Cを含む
- 2 黒色粘質土 As-Cを少量含む

116号土坑

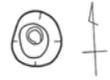


- 1 黒色シルト質土 As-Cを含む
- 2 黒色粘質土 As-Cを少量含む

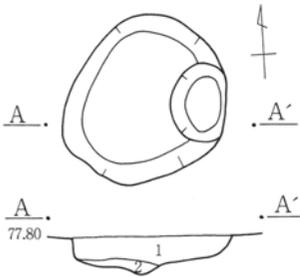
117号土坑



142号土坑

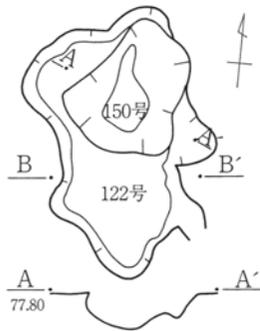


204号土坑

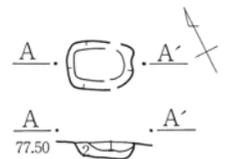


- 1 黒色シルト質土 As-Cを少量含む
- 2 灰黒色シルト質砂 As-Cを少量含む

146号土坑



122・150号土坑

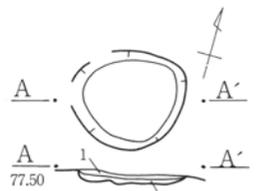


- 1 黒色シルト質土 As-Cを含む
- 2 黒色粘質土 軽石を含まない

205号土坑



208号土坑



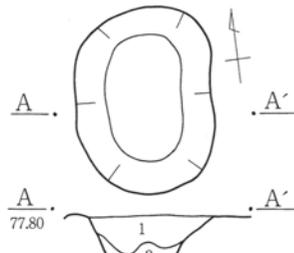
- 1 黒色シルト質土 As-Cを含む
- 2 黒色粘質土 軽石を含まない

206号土坑



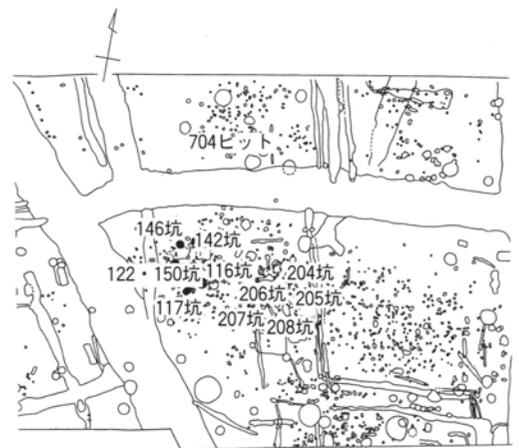
- 1 黒色シルト質土 As-Cを含む
- 2 黒色粘質土 軽石含まない
- 3 灰褐色土 地山土の流れ込み
- 4 黒色粘質土 軟質で地山土粒を含む
- 5 黒色シルト質土 下位に砂多い

207号土坑



- 1 黒色シルト質砂 As-Cを含む
- 2 暗灰色シルト質砂 粘性強くテフラは含まない

704ピット



(1 : 1000)

第9図 古墳時代の土坑

規模 直径70cm、深さ9cm。

埋土の特徴 大部分が黒色土で埋まり、上位をAs-C混黒色土が覆う。

出土遺物 古墳前期のS字甕、壺破片が出土。

重複関係 ピット群の下から検出。

B区207号土坑（第9図、PL.4）

位置 985-115グリッド

形状 平面円形、断面筒形。

規模 65×62cm、深さ80cm

埋土の特徴 大部分が黒色土で埋まり、上位をAs-C混黒色土が覆う。

出土遺物 埋土から古墳前期S字甕破片が出土。

重複関係 ピット群の下から検出。

所見 小規模な井戸ないし貯蔵穴の可能性を考えたい。

B区208号土坑（第9図、PL.4）

位置 980・985-115グリッド

形状 平面は不整円形、断面は平坦な皿状。

規模 82×74cm、深さ18cm

埋土の状況 As-C混黒色土が全体に堆積。

出土遺物 底面に接して直口壺、単口縁甕の大型破片が出土（PL.4参照）。廃棄された一括品と考えられる。古墳前期（4世紀前半）に位置づけられよう。

B区704ピット（第9図、PL.7）

位置 005-120グリッド

形状 平面楕円形、断面台形。

規模 124×90cm、深さ34cm

埋土の特徴 大部分が黒色土で埋まり、上位をAs-C混黒色土が覆う。

出土遺物 甕、高杯など4世紀代の土器片のみ出土。

（3）溝

B区62号溝（第10図、PL.5）

位置 B区中央部。

走向 北東-南西、途中で南東へ分岐部分あり。

規模 幅2.20~0.70m、深さ0.13m。

埋土の特徴 全体に浅間C軽石を含む。

出土遺物 なし。

所見 延長部分が確認できず、浅いことから、溝底面の深い部分のみ検出した可能性がある。

B区65号溝（第10図、PL.5）

位置 B区南東部

走向 西-東。

規模 幅0.39~0.17m、深さ0.10~0.05m。

出土遺物 なし。

所見 中位で断絶するが、浅間C軽石を含む埋土の特徴と規模、走向が一致することから、同一溝と考えたい。

B区66号溝（第10図、PL.5）

位置 B区中央南端

走向 北-南。

断面形 台形。

規模 幅0.80~0.20m、深さ0.30~0.04m。

埋土の特徴 軽石をほとんど含まない暗灰色土が堆積し、その上を浅間C軽石を含む粘質土が覆う。本遺跡における古墳前期の典型的な埋土状況を示している。

出土遺物 なし。

B区67号溝（第10図、PL.5）

位置 B区中央。

走向 北から南西に蛇行する。

規模 幅0.26~0.10m、深さ0.07~0.04m。

出土遺物 なし。

所見 北側に位置する62号溝の分岐溝から連続する可能性も考えられる。

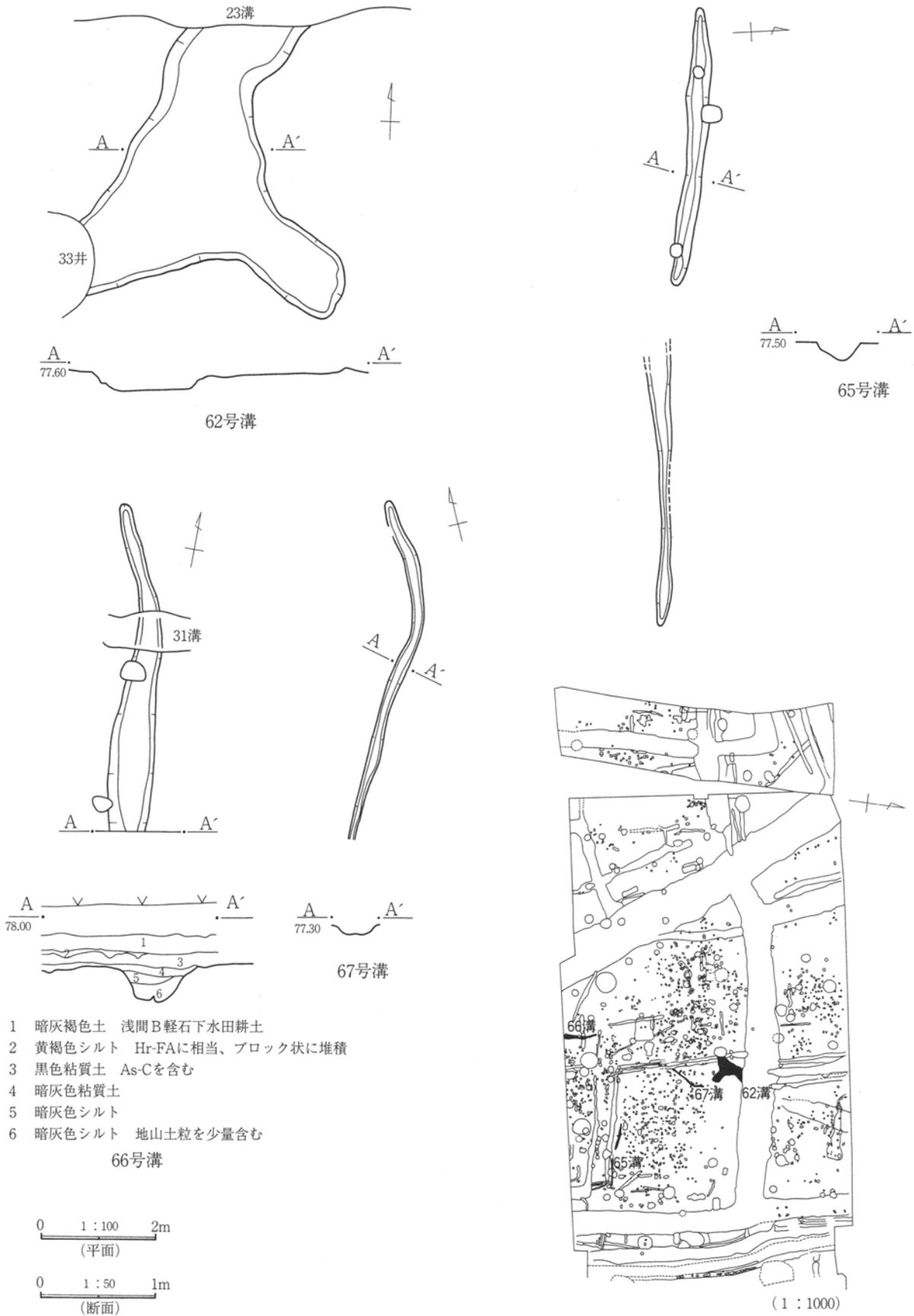
(4) ピット

形状と規模から柱穴の可能性のあるもの、及び性格不明の小規模なピットを一覧表としてここに掲げ

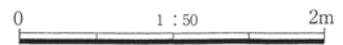
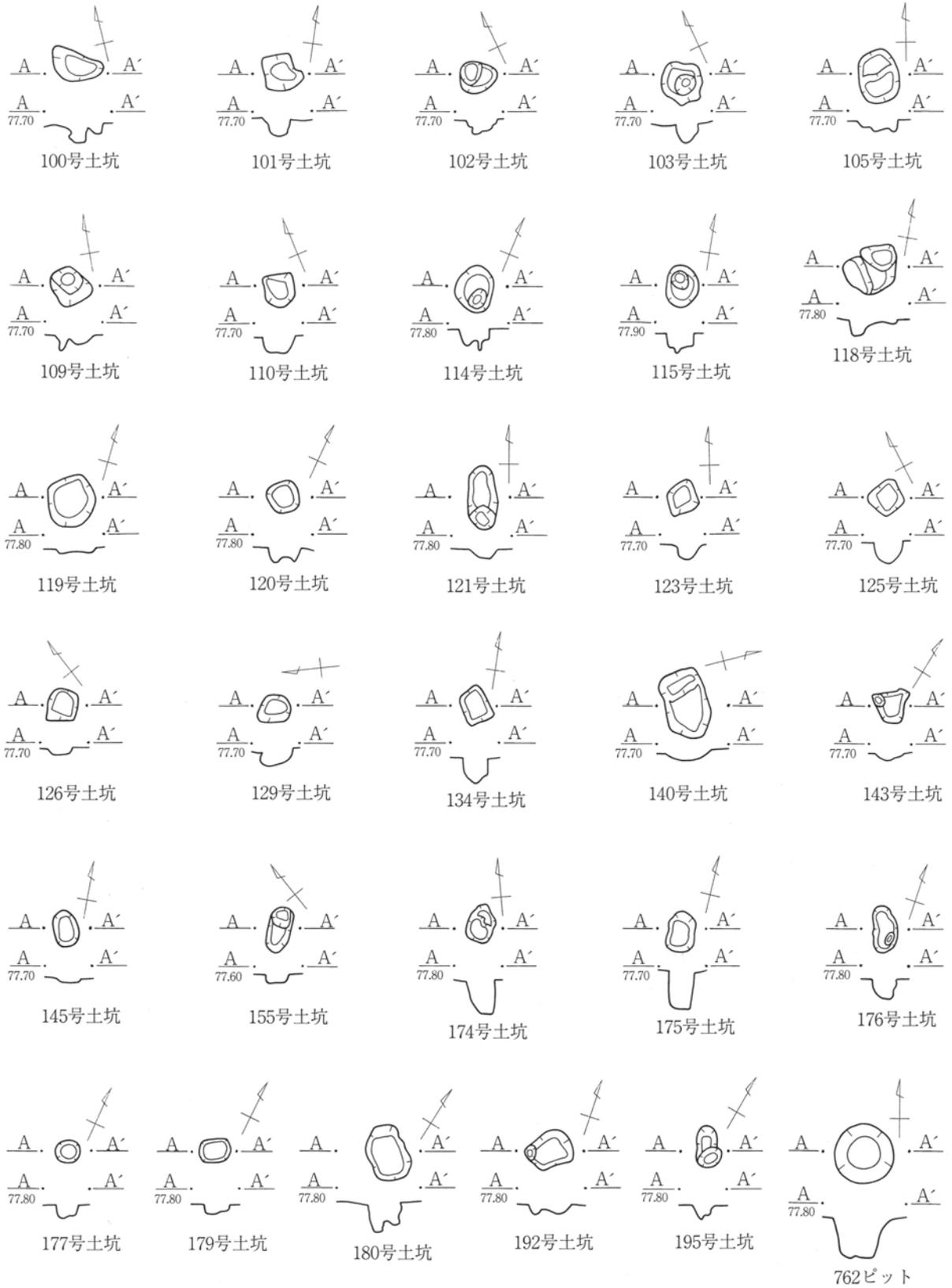
た。いずれも出土遺物は見られず、埋土に浅間C軽石を多く含むことを根拠に、古墳時代として扱った次第である。

第2表 古墳時代の土坑

名 称	位 置	平面形	上端径	深さ (cm)	底標高 (m)	備 考
100号土坑	B区990-115 g	不定形	42×24	19	77.41	
101号土坑	B区995-115 g	不定形	30×25	17	77.47	
102号土坑	B区900-115 g	楕円形	32×26	25	77.37	
103号土坑	B区990-115 g	不整円形	35	19	77.44	
105号土坑	B区995-115 g	楕円形	44×35	13	77.49	
109号土坑	B区985-120 g	不整円形	32×28	37	77.23	
110号土坑	B区985-120 g	不整方形	28×26	15	77.44	
114号土坑	B区985-120 g	楕円形	40×32	30	77.45	土師器小片 3
115号土坑	B区985-120 g	楕円形	35×26	16	77.59	9号掘立柱柱穴重複
118号土坑	B区985-120 g	不定形	48×40	17	77.60	7号掘立柱柱穴重複
119号土坑	B区985-120 g	不整円形	42×40	9	77.59	
120号土坑	B区985-125 g	不整円形	26	14	77.56	
121号土坑	B区985-125 g	楕円形	54×26	15	77.55	
123号土坑	B区995-120 g	不整方形	26×24	14	77.47	土師器小片 2
125号土坑	B区995-120 g	方形	26×26	21	77.45	土師器小片 1
126号土坑	B区990-120 g	方形	25×25	7	77.59	
129号土坑	B区990-120 g	不整方形	25×22	15	77.51	
134号土坑	B区990-120 g	不整方形	28×24	23	77.35	
140号土坑	B区990-125 g	不整方形	60×32	18	77.46	
143号土坑	B区990-120 g	不定形	28×25	6	77.58	
145号土坑	B区990-125 g	楕円形	30×20	10	77.52	
155号土坑	B区980-120 g	楕円形	40×20	12	77.50	
174号土坑	B区985-130 g	不定形	32×22	30	77.37	
175号土坑	B区985-130 g	楕円形	35×20	32	77.34	
176号土坑	B区985-130 g	楕円形	40×22	20	77.48	
177号土坑	B区985-130 g	円形	20	11	77.54	
179号土坑	B区985-130 g	隅丸方形	26×20	10	77.58	
180号土坑	B区985-130 g	不整方形	56×32	39	77.30	
192号土坑	B区990-120 g	不整方形	38×28	15	77.49	8号掘立柱柱穴重複
195号土坑	B区990-130 g	不整形	35×18	18	77.45	
762ピット	B区005-115 g	円形	50	34	77.35	6世紀代と思われる土器片出土



第10図 古墳時代の溝



第11図 古墳時代のピット

2 C区の遺構

(1) 水田跡 (第12図、PL.8)

C区南西端の975・980-045・055グリッドにおいて、上層からの攪乱を受けていない長方形部分(面積約60m²)が遺存しており、テフラ層は確認できなかったが、古墳時代のものと思われる暗灰色粘質土層(層厚5~10cm)の存在が判明した。土層には多量の浅間C軽石(As-C)が含まれており、3世紀末から4世紀初頭に推定される浅間C軽石降下より以後で、Hr-FA(6世紀初頭)及びHr-FP(6世紀半ば)など榛名二ツ岳を給源とする6世紀代の降下テフラの堆積以前の土層と考えられた。この土層は、人為的な水田ないし畠耕土と考えられるもので、その基盤層となる暗灰褐色粘質土層が浅間C軽石を全く含まないことから、その相違を平面的に峻別することで、畦畔の基底プランを検出することができた(第12図)。

畦区画は、ほぼ東西南北の座標に沿った方眼で、畦芯間の距離は、東西方向が3.6~2.3m、南北方向は3.0前後~1.8mである。典型的な極小区画であり、一区画の面積は最小で3m²ほど、大きなものでも7m²前後と推測される。

畦畔基底面が確認された調査面の標高は、77.50m前後で、南西から北東にむかってやや低く傾斜する。畦基底幅は50cm前後を測るが、本来の田面における畦幅は20cm前後ではなかったろうか。中央の極小区画の北西部に、水口状に畦基底の切れた箇所が見られる。

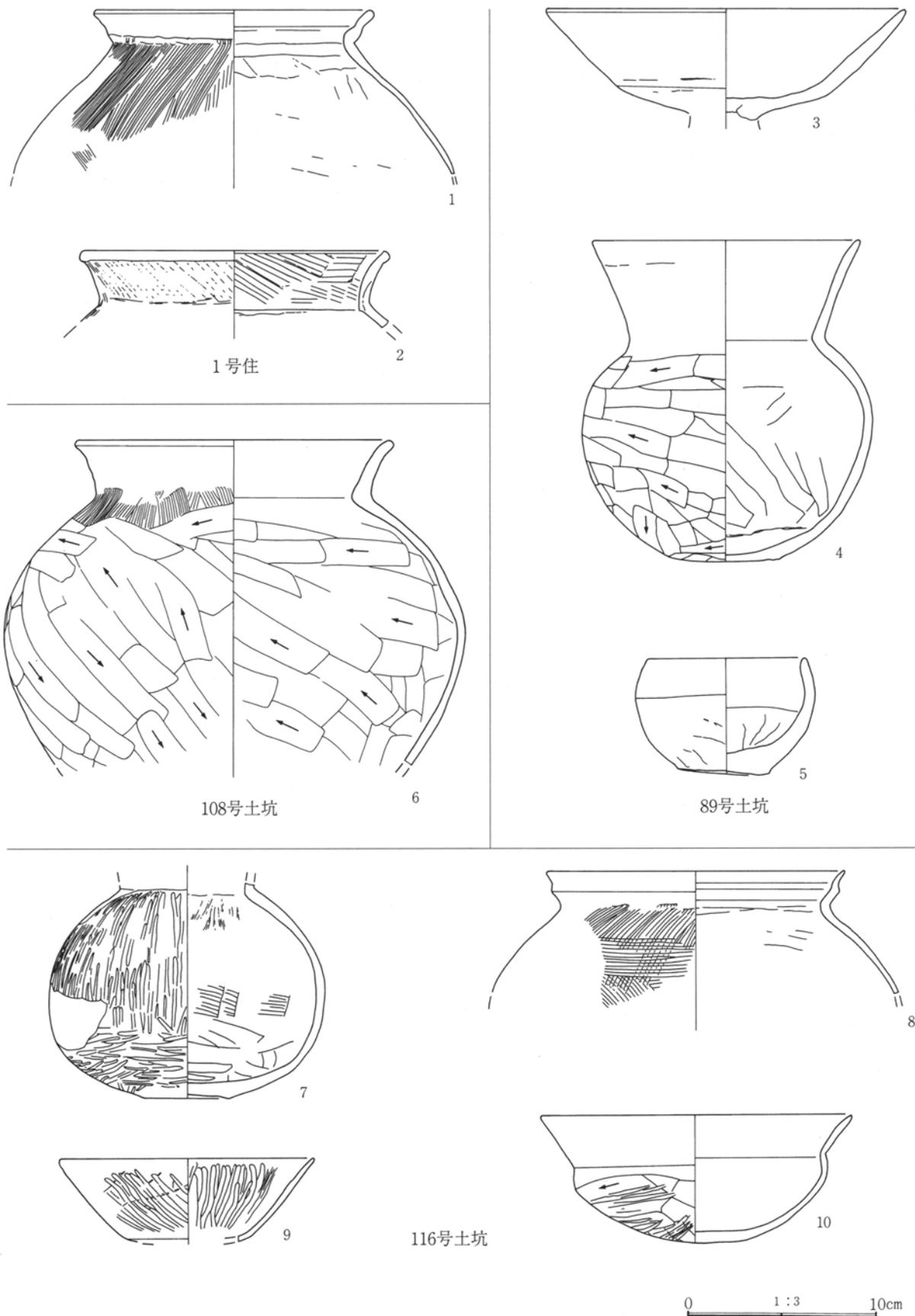
畦基底面が遺存することは、極小区画を構成する畦を含めた荒起こしや畦の造成が毎年行われるのではなかったことを示唆するものだろう。田植えあるいは播種前の田作りでは、区画された田面の表面的な作業、すなわち除草・畦塗り・代掻きなどに限られていたのではなかったろうか。もちろん、配水効率を上げたり修復のために、区画を変えたり新たな畦畔を加えたりすることは当然考えられるとしても、一度造成された区画は変更の必要のない限り、維持されたと考えたい。

水田畦畔区画が確認された地点の中央では、北西から南東方向へ走る小規模な溝が検出された(第12図)。これは幅20~30cm、深さ5cm前後の規模で検出され、中央で小さく屈曲しながらN-70°-Wで直線的に走る。土層は、水田耕土と同じく浅間C軽石を含む暗灰色粘土である。その走向と畦基底面を切ることから、検出された極小区画水田以降の水路と考えられる。

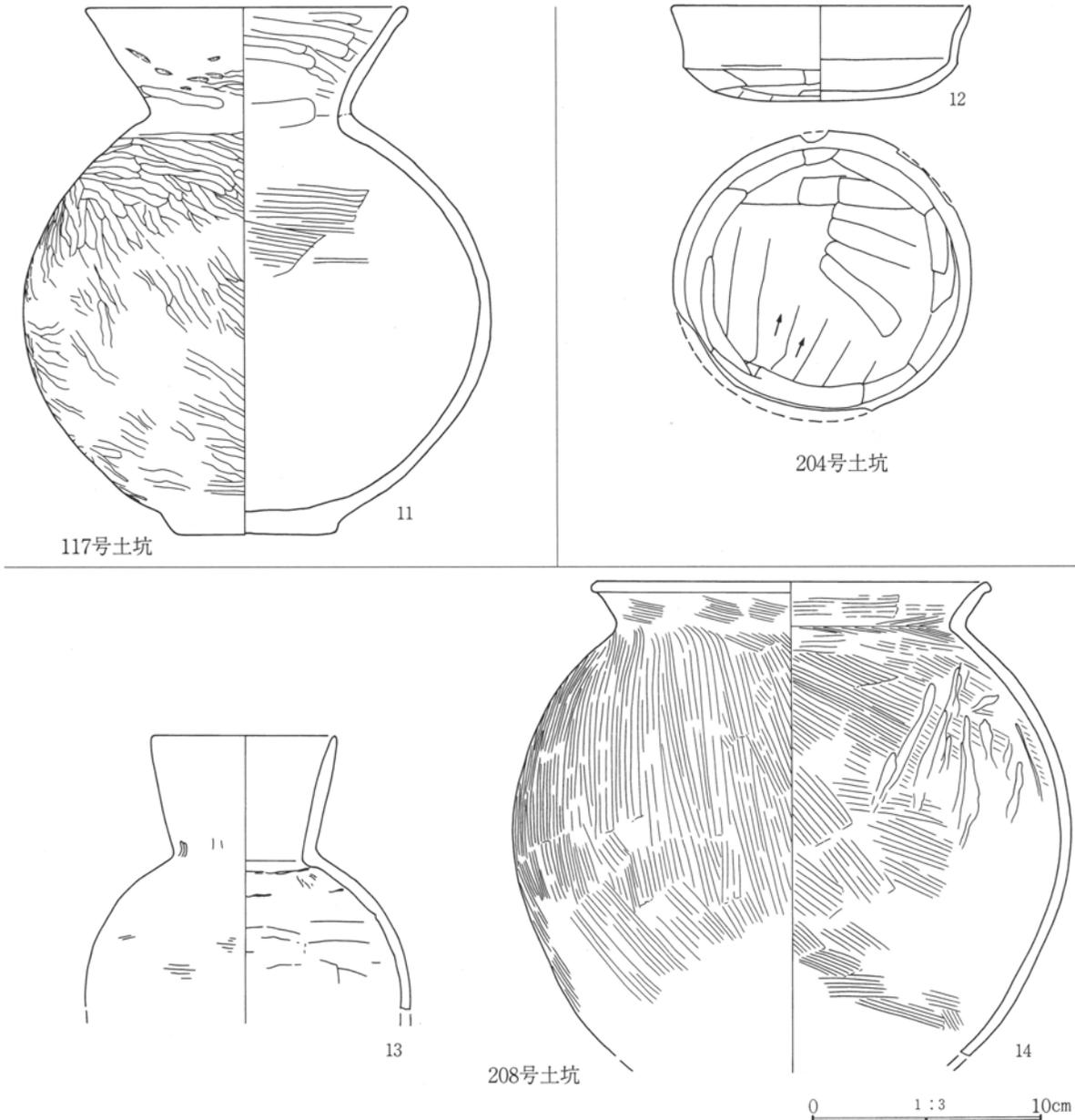
ここで検出された水田畦畔基底面、耕土層、及び水路跡は、以上の所見から4世紀~6世紀半ばのものとして捉えておきたい。



第12図 C区古墳時代水田跡



第13図 古墳時代の遺物 (1)



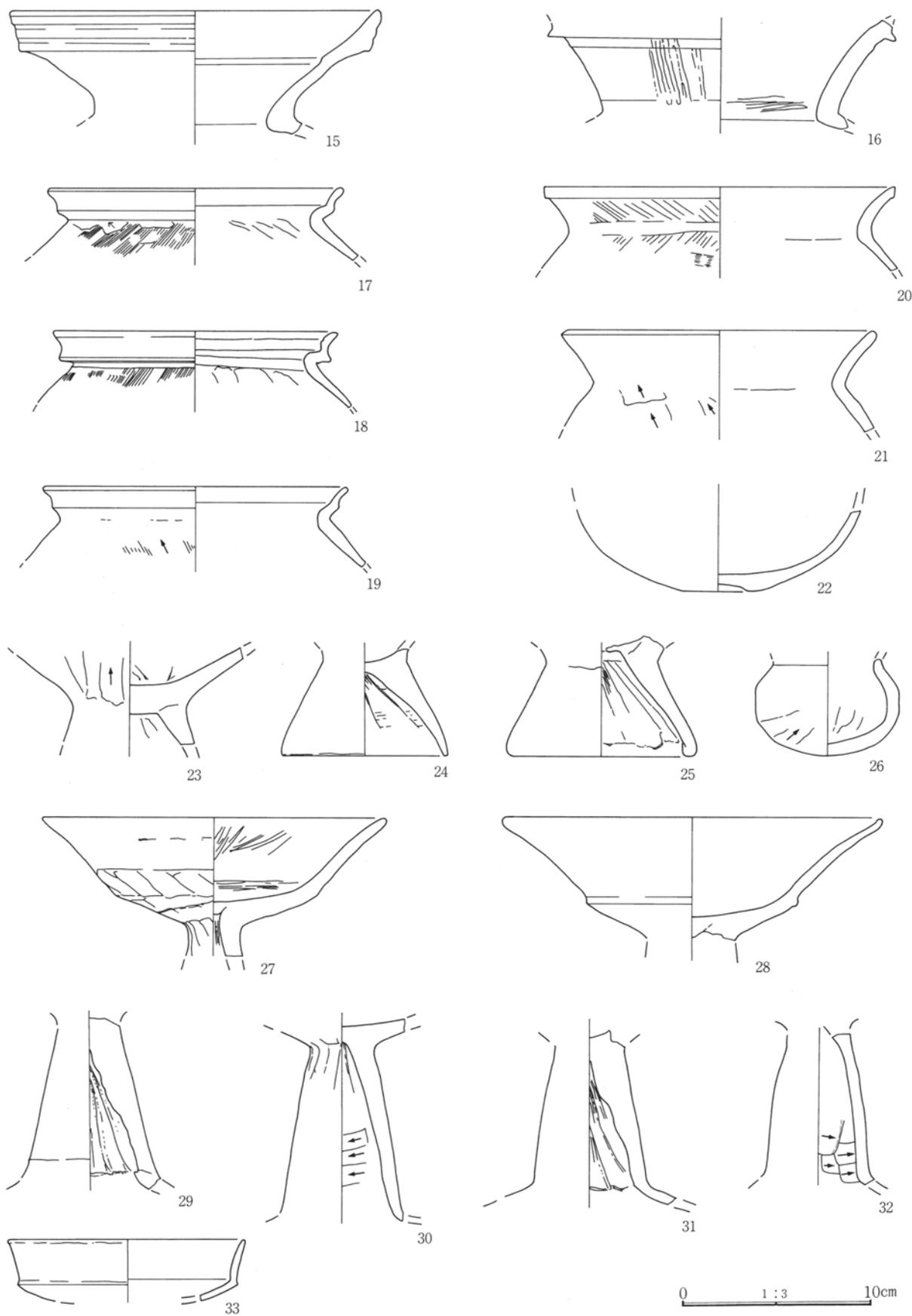
第14図 古墳時代の遺物 (2)

3 遺構外出土遺物

古墳時代に属する出土遺物として認定できたのは土器だけである。これらはいずれもB区出土に限られており、特にB区の中央部に集中分布する。この地点は、1号住居跡をはじめ、古墳時代前期を主体とする土坑やピットが集中する。従ってこれらの出土土器は、この地点に分布する遺構群に伴うものであった可能性が高い。1号住居跡が掘方面しか確認できなかったことを考慮すれば、多数分布する土坑

やピットは、竖穴部分の確認できなかった住居跡に伴う貯蔵穴や柱穴であった可能性も十分に考えられるから、この地点にはほぼ同時期の土器が限定的に出土したこともうなずける。

第15図15～32は、いずれも古墳時代前期の所産で、17～19のS字甕の口縁形状、及び27～32の高杯がいずれも柱状長脚であることから、総体としては4世紀後半代に主体があるとみてよい。33は唯一のA区出土の杯で、6世紀代に下る。この時期の遺物はA～C区を通じて稀少例である。



第15図 古墳時代の遺物 (3)

第3章 古代の遺構と遺物

概要

7世紀以降、平安時代末までのものを扱う。A区で土坑1基、B区では住居跡2棟、溝1条、土坑11基、C区では浅間山B軽石下水田面が検出された。集落に関わる遺構は、古墳時代に引き続いてB区中央付近に分布する傾向がうかがえる。また掘立柱建物跡については、平面形や柱穴の特徴からだけでは中～近世の掘立柱建物跡との峻別が困難であったため、主体を占める中～近世の項で扱っている。

1 A区の遺構と遺物

(1) 土坑

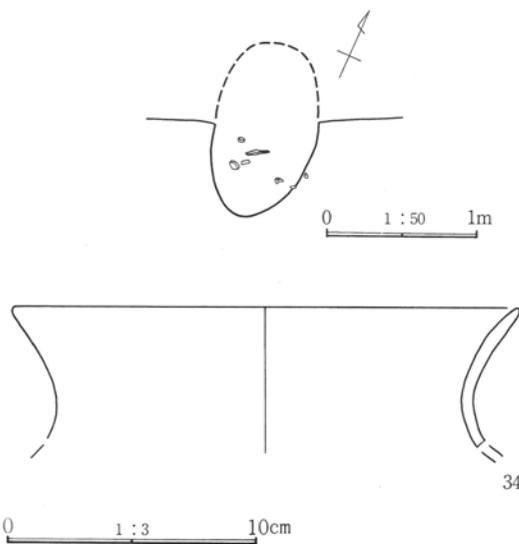
A区206号土坑 (第16図、PL.10)

位置 960・965-230グリッド

形状 平面は楕円形と思われるが、北半は9号溝に切られて不明。

規模 70以上×62cm、深さ不明。

出土遺物 甕口縁片 (第16図) と杯片が出土。8世紀後半の所産と思われる。



第16図 A区206号土坑及び出土遺物

2 B区の遺構と遺物

(1) 住居跡

B区2号住居跡 (第17図、PL.9)

位置 990-125グリッド

平面形 不整長方形と思われる。

規模 不明

施設等 壁、床面は検出されなかった。掘方埋土のプラン、及び東辺に残るカマド底面の痕跡から住居跡と認定した。カマド跡には焼土粒と灰がわずかに見られ、掘り込みは住居プランの掘方面とほとんど変化がない。埋土は地山である黄灰色シルトの土粒を多く含む。プラン内には、南西隅で2基のピットが見られる。これは、調査段階で199号土坑と命名されたが、本住居跡との関係は明瞭にし得なかった。なお、南辺に沿った部分に約80×50cmほどの範囲で炭化物粒の分布が見られたが、おそらく掘方埋土の混在であろう。

出土遺物 掘方埋土内から、8～9世紀代と思われる土師器小片がわずかに出土している。本住居跡の時期推定とするのは難しい。

B区3号住居跡 (第17図)

位置 990-120グリッド

平面形 不整長方形と思われる。

規模 不明

施設等 壁、床面は検出されなかった。掘方の南半における掘り込みが検出されたのみである。掘り込みの深さは検出面から最大値で4cmを測る。その東西長は1.9mを測るが、本来の床面規模は一回り大きかったと考えられる。カマド痕跡や柱穴等は検出できなかった。2号住居跡の東に隣接して、主軸方向もほぼ近似することから、同時ではないものの両者は時期の近接した遺構と考えたい。

出土遺物 掘方埋土から8～10世紀代と思われる器形不明の土師器小片数点が出土した。

(2) 溝

B区41号溝 (第17図、PL.9)

位置 B区南東部

走向 北-南。

規模 幅0.48~0.38m、深さ0.07~0.03m。

断面形状 浅いV字形。

埋土の特徴 灰黒色シルト質砂。砂が多い。

出土遺物 9世紀代の椀、杯、瓶等 (第24図35~44)が埋土中より出土。

所見 短く浅い形状から、本体の底面部分のみ検出したと考えられるが、その機能については明らかにし得ない。C区で検出された浅間山B軽石直下水田に伴う小規模な水路の可能性が考えられようか。

(3) 土坑

B区111号土坑 (第18図、PL.9)

位置 985-120グリッド

形状 平面円形、断面筒形。

規模 1.22×1.20m、深さ0.94m

埋土の状況 ブロック状の暗灰色シルト質土で埋没。人為的な埋め戻しか。

出土遺物 底面付近から埋土中位まで人頭大の自然礫及び粗加工礫が重畳して出土。埋土から9世紀代の杯、椀、須恵器甕が出土 (第25・26図58~66)。

所見 井戸の可能性がある。

B区11号土坑 (第18図、PL.10)

位置 965-095グリッド

形状 平面円形、断面筒形。

規模 直径1.20m、深さ0.59m

埋土の状況 ブロック状の暗灰色シルト質土で埋まる。人為的埋土の可能性が高い。

出土遺物 9世紀代の杯、椀が出土 (第25図48~52)。

B区90号土坑 (第18図)

位置 990-115グリッド

形状 平面隅丸方形、断面楯鉢形。

規模 1.30×1.25m、深さ0.75m

埋土の状況 下層に地山崩落土、中位以上に暗灰色シルト質土が堆積。

出土遺物 7世紀中葉と思われる杯、甕が出土。

B区91号土坑 (第18図)

位置 990-110グリッド

形状 平面円形、断面浅い皿形。

規模 0.50×0.48m、深さ0.12m

埋土の状況 暗灰色シルト質土が堆積。

出土遺物 器形不明の土師器小片が出土。

B区92号土坑 (第18図、PL.10)

位置 985-115グリッド

形状 平面方形、断面箱形。

規模 0.55×0.46m、深さ0.16m

埋土の状況 暗灰色シルト質土が堆積。

出土遺物 9世紀代の椀、甕片が出土。

B区94号土坑 (第18図、PL.10)

位置 985-115グリッド

形状 平面隅丸方形、断面浅い皿形。

規模 0.60×0.60m、深さ0.17m

埋土の状況 暗灰色シルト質土が堆積。

出土遺物 なし。

B区106号土坑 (第18図、PL.10)

位置 985-115グリッド

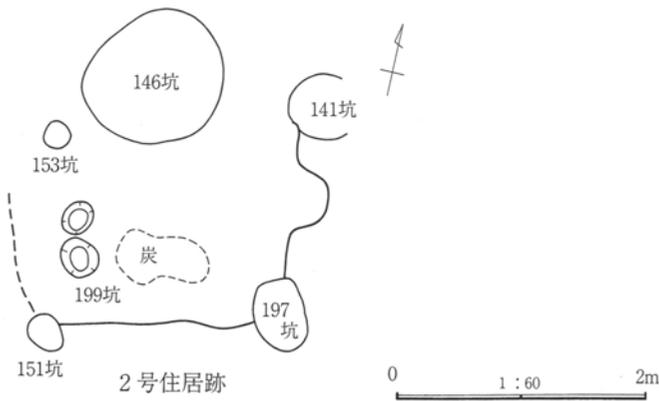
形状 平面方形、断面筒形。

規模 0.45×0.28m、深さ0.40m

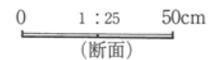
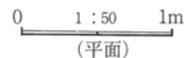
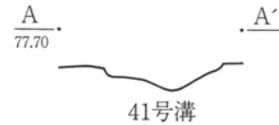
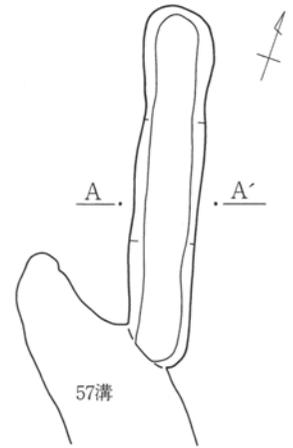
埋土の状況 暗灰色シルト質土が堆積。

出土遺物 なし。

所見 B区4号掘立柱建物跡 (第71図) のP4に切られる。4号掘立柱建物跡は9世紀以降と考えられたが、本土坑はそれよりも古いと考えてよい。



第17図 古代の住居跡・溝

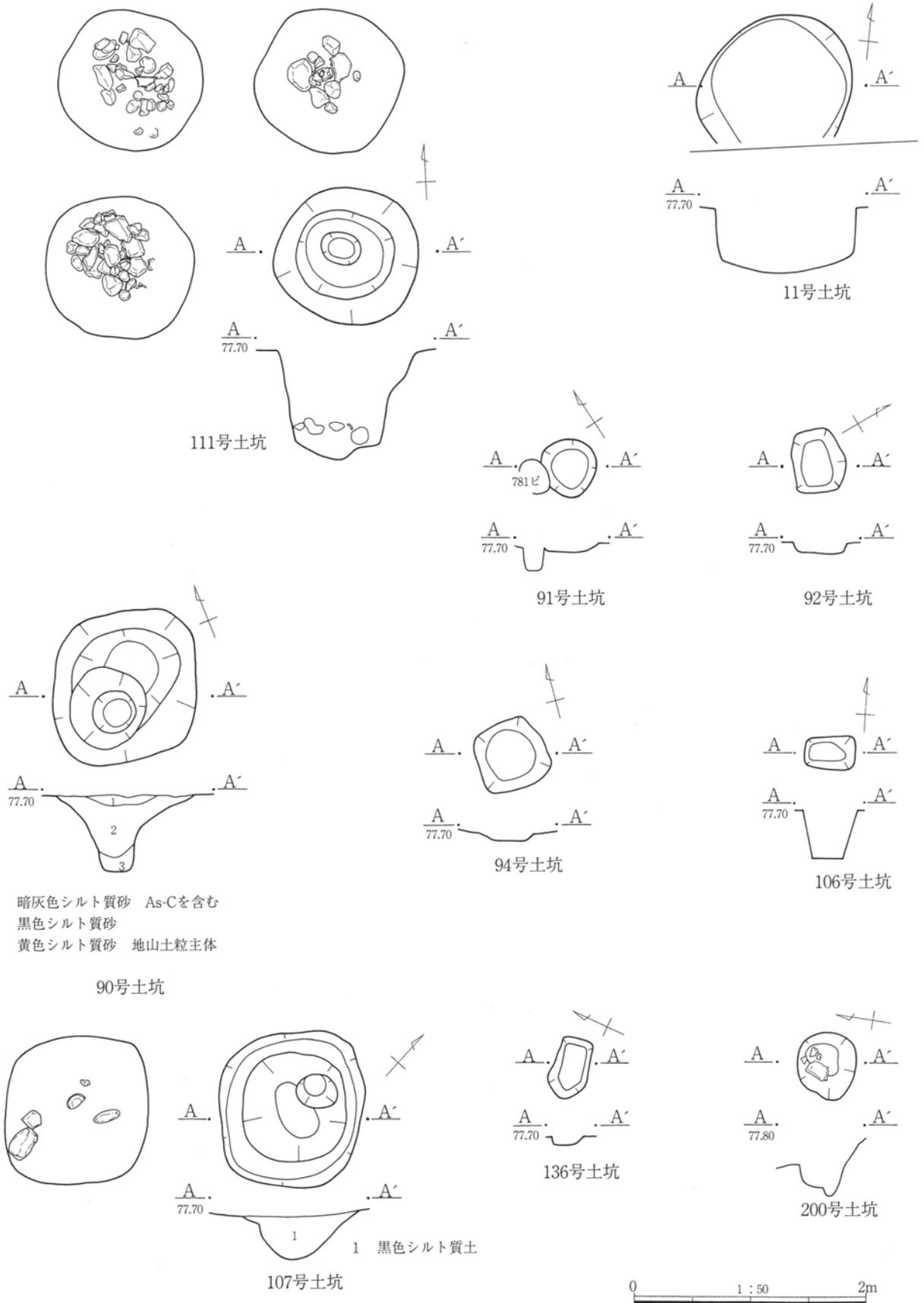


B区107号土坑 (第18図、PL.10)
 位置 990・995-115グリッド
 形状 平面隅丸方形、断面擂鉢形。
 規模 1.35×1.22m、深さ0.58m
 埋土の状況 全体に暗灰色シルト質土が堆積。
 出土遺物 7世紀後半～8世紀初の杯が出土(第25図56)。また、人頭大の垂角礫数点が出土した。

B区136号土坑 (第18図、PL.10)
 位置 995-120グリッド
 形状 平面不整形、断面浅い箱形。
 規模 0.55×0.30m、深さ0.12m
 埋土の状況 暗灰色シルト質土が堆積。
 出土遺物 なし。

B区200号土坑 (第18図)
 位置 995-110グリッド
 形状 平面円形、断面不整筒形。
 規模 0.55×0.52m、深さ0.40m
 埋土の状況 暗灰色シルト質土が堆積。
 出土遺物 9世紀代の椀(第25図57)と瓦片が出土。
 所見 B区23号溝法面で検出されて上位部分が不明だが、底面標高が75.53mと低いことから、井戸の底面部分であった可能性がある。





第18図 古代の土坑

3 C区の遺構と遺物

(1) C区水田跡 (第20図、PL.11~14)

C区では、地表下約40cmで浅間B軽石層が堆積する。その下層には火山灰の薄層が堆積することから、これは1108年(天仁元年)に降下した浅間山の一次堆積テフラ層と認められる。このテフラに覆われた下面で畦畔を伴う水田面が検出された。地形は東隣の徳丸仲田遺跡よりもわずかに高い位置にあって、調査が行われた平成10年現在では畠として利用されている。だが、第21図に示したように、徳丸仲田遺跡のA・B区で検出された同テフラ直下水田と一連の水田区画を構成するのは明らかである。

C区で検出された水田区画は21面に及び、便宜的に北西から南東にかけて順に区画番号を付して呼ぶこととする(第19図)。

区画を構成する畦の走向は、基本的に東西南北の座標に沿っており、④~⑥区画と⑦~⑩区画を分ける畦がN-20°-Eに振れている。また、C区東端の⑭区画と⑮区画間の畦は北東方向に振れ、⑯区画と⑰区画間の畦は湾曲して東方に延びる様相を示す。このような不整形の区画は、地形面の微妙な変化に応じて湛水させるための工夫と考えられ、それは、隣接する徳丸仲田遺跡でも同様に見てきたところである。水田の基盤地形面に埋没河道のある徳丸仲田遺跡A・B区では、地形の窪みにあわせて南北に細長い区画を設けていたが(第21図)、これに比べるとC区では整った方形区画が見られることから、変化の少ない平坦面であったことがうかがい知れる。④⑧⑫区画と③⑤⑨⑬⑯区画を分ける東西畦、⑩⑬⑭区画と⑪⑮⑰区画を分ける東西畦が、方眼区画の基準となる可能性が考えられ、その距

離は21~24mを測る。

また⑦~⑩区画と⑫⑬区画を分ける南北畦、及び⑫⑭⑯区画と⑰~⑳区画を分ける南北畦が縦基準と考えられ、その距離は22~24mを測る。本地域の浅間B直下水田が、この規模による方眼区画を基準として造成されたことは、徳丸仲田遺跡でも確認されている。本遺跡C区の④⑫区画はその基本的な区画を示しており、⑨⑩区画や⑬⑭区画は、田面レベルに応じて東西及び南北に細分した結果と考えられるのである。各区画の全形が判明したのは、⑧⑨⑩⑬⑭の5区画のみで、それぞれの面積は以下の通りである。

⑧区画-174.7m²

⑨区画-166.1m²

⑩区画-293.5m²

⑬区画-156.8m²

⑭区画-243.2m²

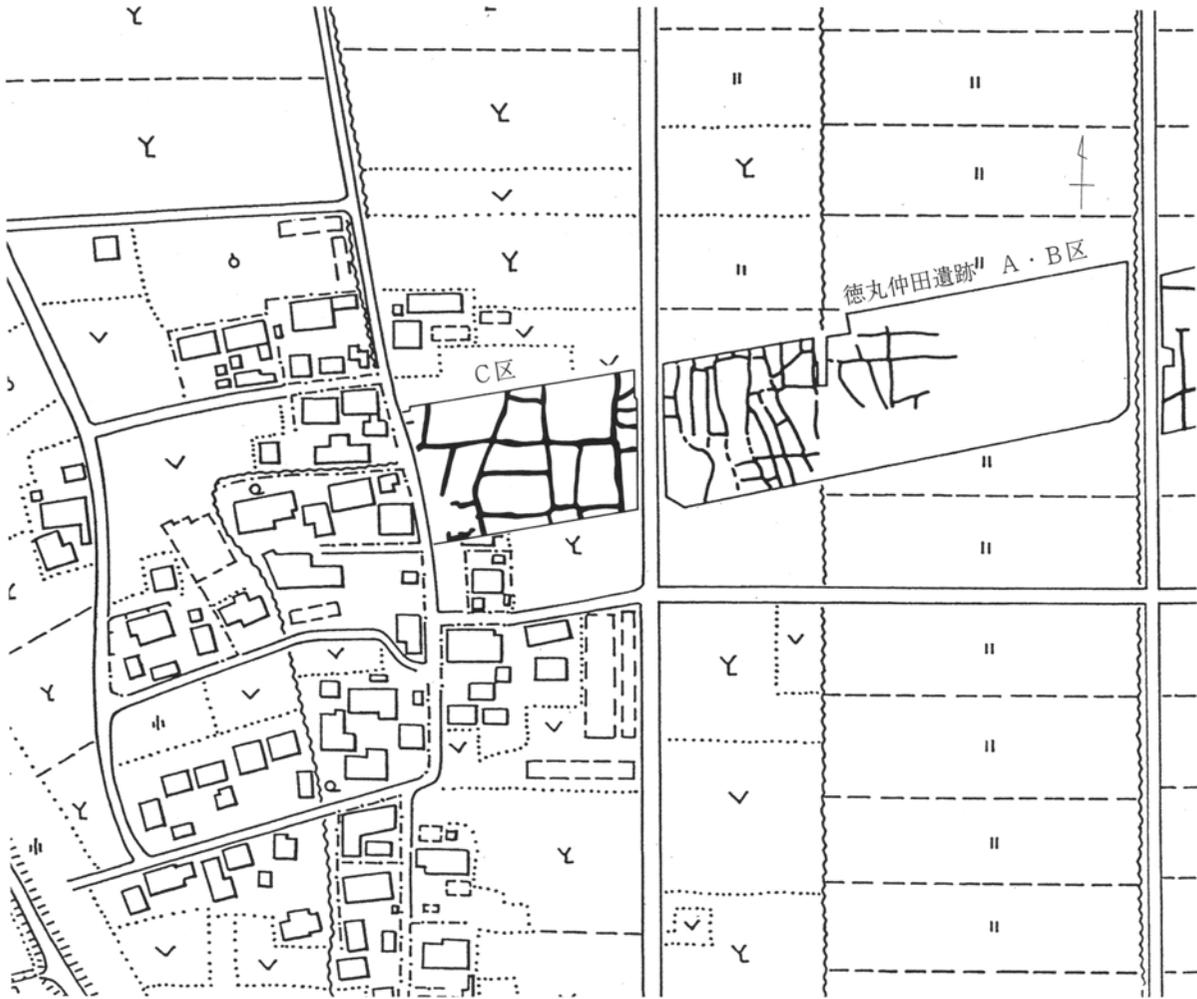
このうち⑬⑭区画を和した400m²が基本区画にほぼ匹敵する面積と推測される。

田面の標高は北西の①②区画で76.80m、東端の⑰~⑱区画が76.60mで、この間約70mの距離で比高20cmを測る。最も大きな面積をもつ⑫区画内では最大10cmの比高を示す。他の区画の田面標高は比較的平準で、区画内では大きくとも5cmほどの比高である。

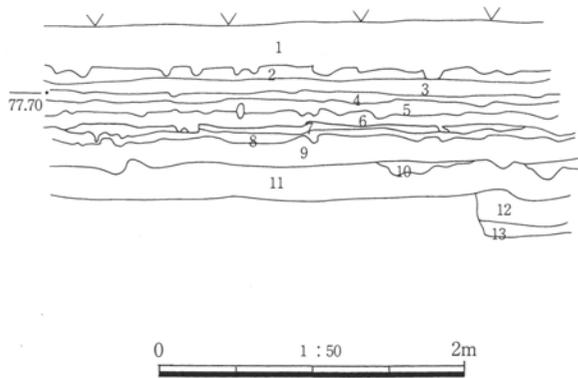


第19図 C区古代水田区画の呼称





第21図 C区と徳丸仲田遺跡A・B区の浅間B軽石下水田 (1:2500)



- 1 表土 浅間A軽石を含む
- 2 黄灰色シルト質砂
- 3 暗灰褐色火山灰質砂 浅間B軽石を多く含む
- 4 浅間B軽石層 下層には厚さ2mmの火山灰層
- 5 暗灰色シルト 浅間B軽石直下水田の耕土
- 6 灰色火山灰質シルト 泥流層で、榛名二ツ岳給源バミスを含む
- 7 暗灰色シルト質粘土 浅間C軽石を多く含む、水田耕土
- 8 暗灰色シルト質粘土 粘性強く、軽石を含まない
- 9 灰色火山灰質シルト
- 10 灰～黄灰色火山灰質シルト 漸移層
- 11 黄灰色火山灰質シルト
- 12 灰色軽石質火山灰 As-YPに相当
- 13 黄灰色火山灰質シルト 礫と砂を含む

第22図 C区の基準層序

畦の断面形状は低い台形で、上面が平坦になっている。その幅は、⑭区画と⑳区画を分ける南北畦で最も広く下端で2.5mを測る。他の畦は1m前後を測る。このことから、前者の畦が大畦として方眼区画の基準線となった可能性は高いと考えられる。また通路を兼ねていたとの推測もできるが、硬化面や薄い互層などの道として機能した痕跡は認められなかった。畦の高さは間近の田面との比高5cm前後が多く、ともすれば区画内高所の田面標高よりも低くなる場所もある。

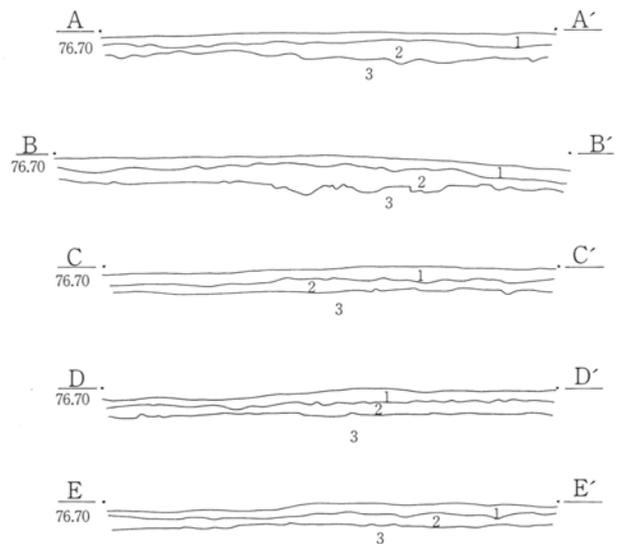
水口は、①区画と②区画の間で1箇所検出された。幅は50cmで田面標高からすれば①→②へ配水したと考えられる。

田面には稲株痕や農作業を示す痕跡などは認められなかったが、⑳区画で偶蹄目のものと思われる蹄の圧痕が一定間隔で並んで検出された。圧痕は半月形の窪み2個一対で、2列に並んで確認された(PL.14)。走向は北西隅から南東に向かっていて、2列間の間隔は30~40cm、列内の圧痕間隔は70cm前後を測る。かなり軟弱な田面のためか、窪み内の形状はかなり崩れており、本来の蹄の形状や規模は不明瞭である。最も遺存状態の良い部分で蹄圧痕と思われる半月形の長さが15cmほどなので、大型偶蹄目であるウシの成獣である可能性が高い。歩行幅は約1.5mと計測されることから、イノシシやヤギ、あるいはウシでも幼獣ではないと思われる。また、その走向から片道歩行であったと考えられ、その場合⑫区画と⑰⑱区画を分ける南北畦を歩行したはずと想定されるが、ここにその圧痕は確認できなかった。畦の最上面は浅間Bテフラの堆積が薄く、後世の攪拌も想定されることから、圧痕の残る畦上面部分は失われてしまったと考えておきたい。この圧痕列をウシの歩行痕と想定してみたわけだが、農作業との関連については定かでない。カラスキやマグワの出土例から、すでに蓄耕は存在していた可能性は高く、また他の農作業でもウマやウシの蓄力は活用されたであろうが、本遺跡での歩行痕によってその具体的な証拠を提示するには至らなかった。

畦の断面観察によれば、耕土の基層となる6層(灰色火山灰質シルト層)のうえに5層(暗灰色シルト層)が乗る構造は区画内の田面と同様で、耕土が攪拌された均質な状態を示す。⑭区画と⑳区画を分ける南北大畦では、ほぼ同様ながら畦に沿った走向で耕土基底面にあたる7層(暗灰色シルト質粘土層)を浅い溝状に掘り窪めた痕跡が認められた(PL.14)。これは畦造成に必要な盛り土のために、他の部分よりも深く掘りこんだためと思われる。

大畦の盛土内より、8世紀半ばの土師器杯1点(第26図-70)が出土した。洪水起源と思われる水田耕土の第6層の堆積時期が、これ以前であることを推測させる好資料である。

なお、①④⑧区画では東西方向、⑫区画では南北方向の小規模な溝が検出されているが、これは田面及び畦を切っており、3層が堆積することから、浅間Bテフラ降下後で中世以降の水路あるいは畦に沿った小溝と考えられる。また、C区を縦断する2条の幅広い溝は近代以降のものである。



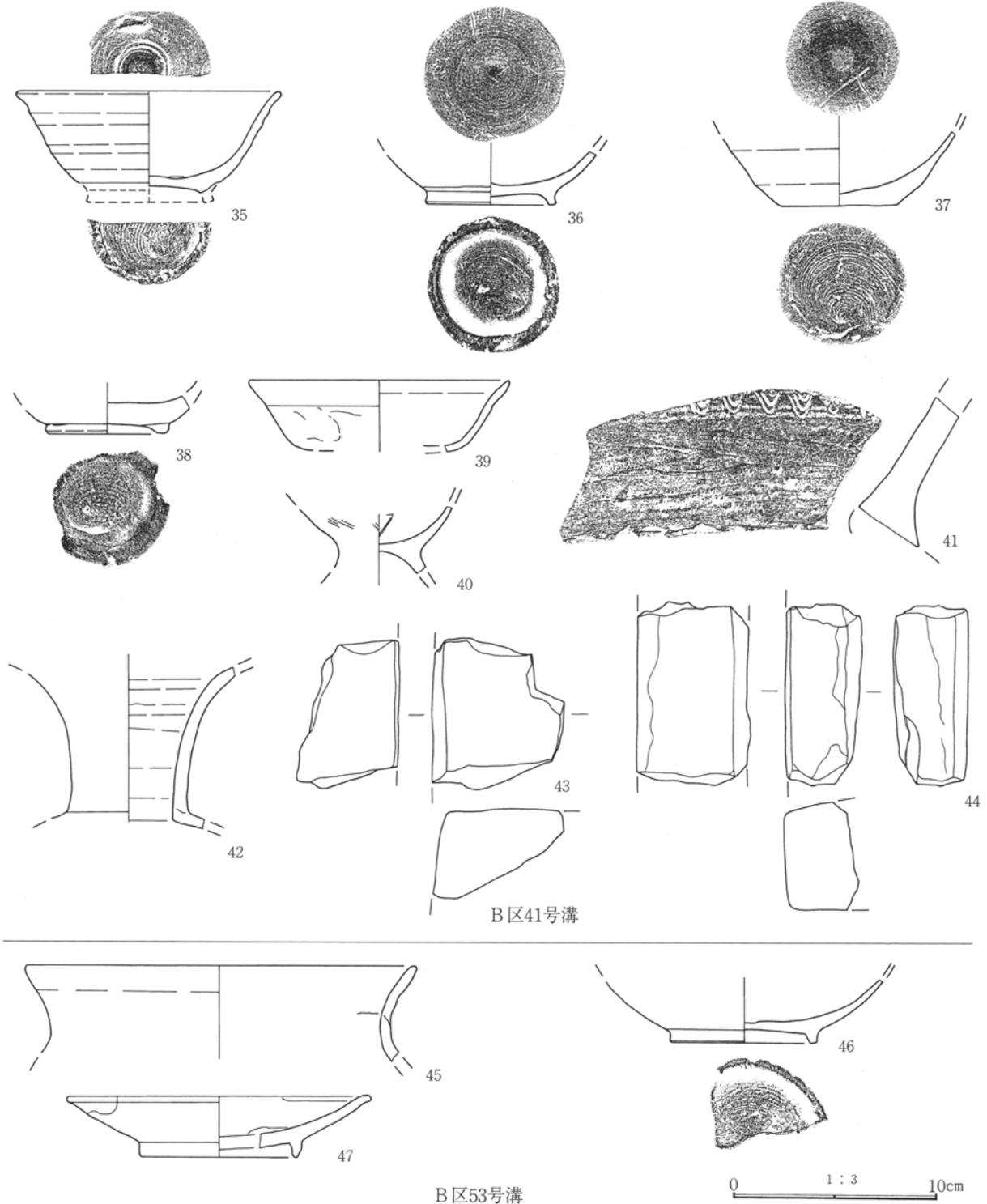
- 1 黒灰色シルト質土 浅間B軽石層直下の水田耕土表層
- 2 暗灰褐色シルト質土 Hr-FPを含む水田耕土
- 3 黒褐色粘質土 As-Cを含む水田基底の地山

0 1:50 1m

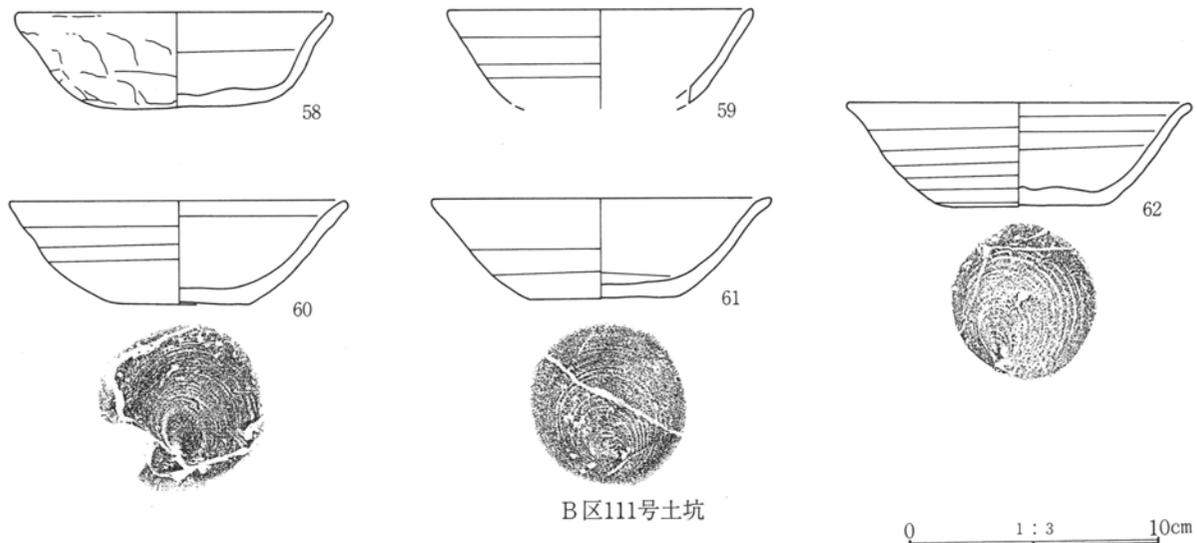
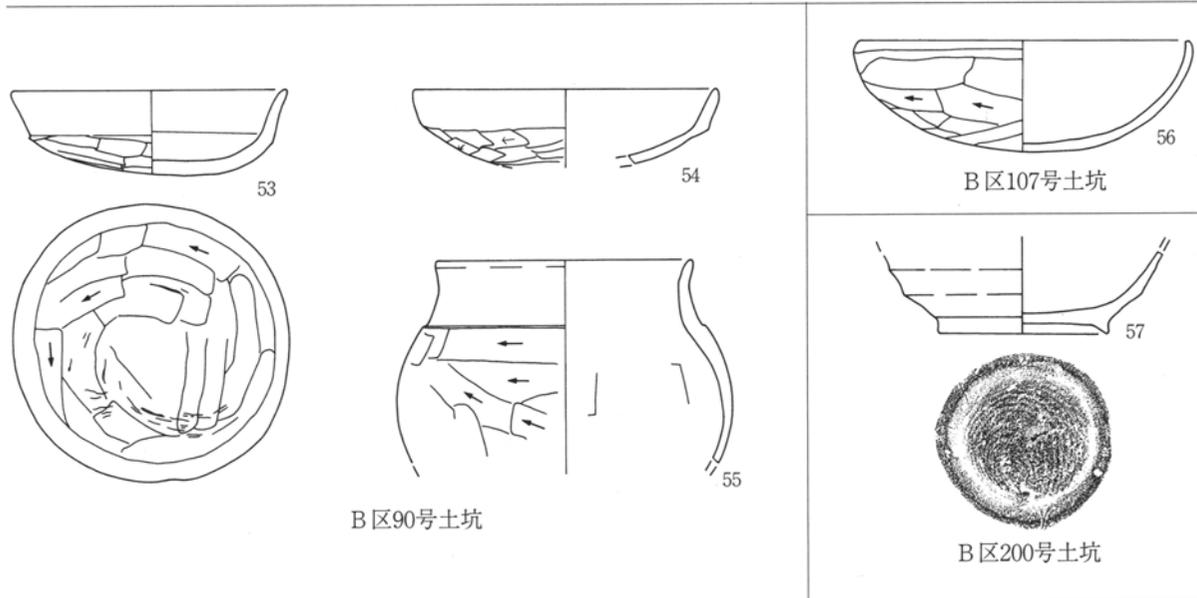
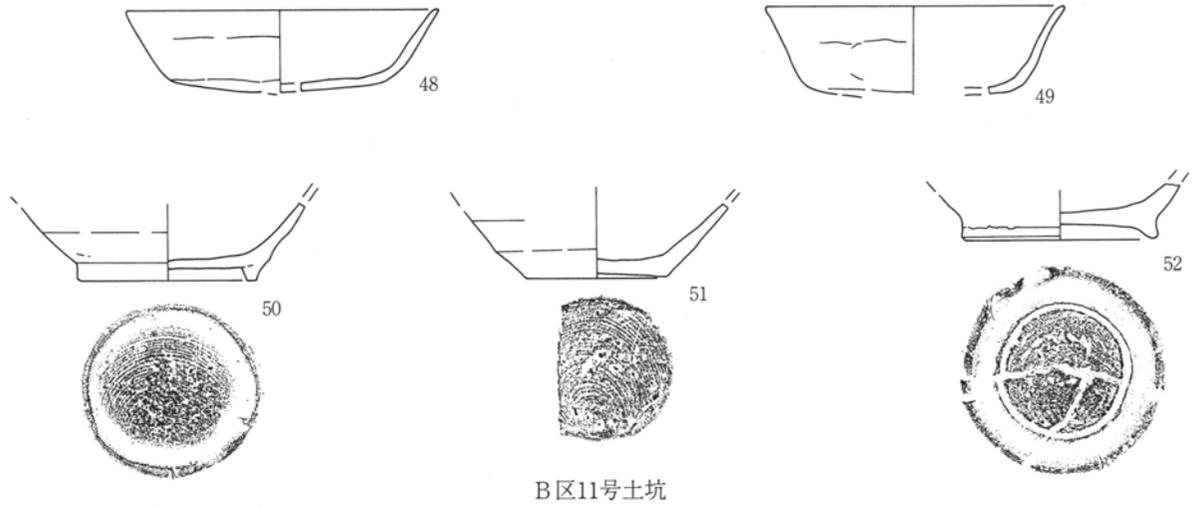
第23図 C区浅間B軽石下水田畦断面図

B区及びC区出土の遺物を第24～26図に掲げた。41号溝、11号土坑、90号土坑、107号土坑、111号土坑、200号土坑出土遺物は、いずれも遺構に伴う資料と考えて良い。ただし、後述するように53号溝は

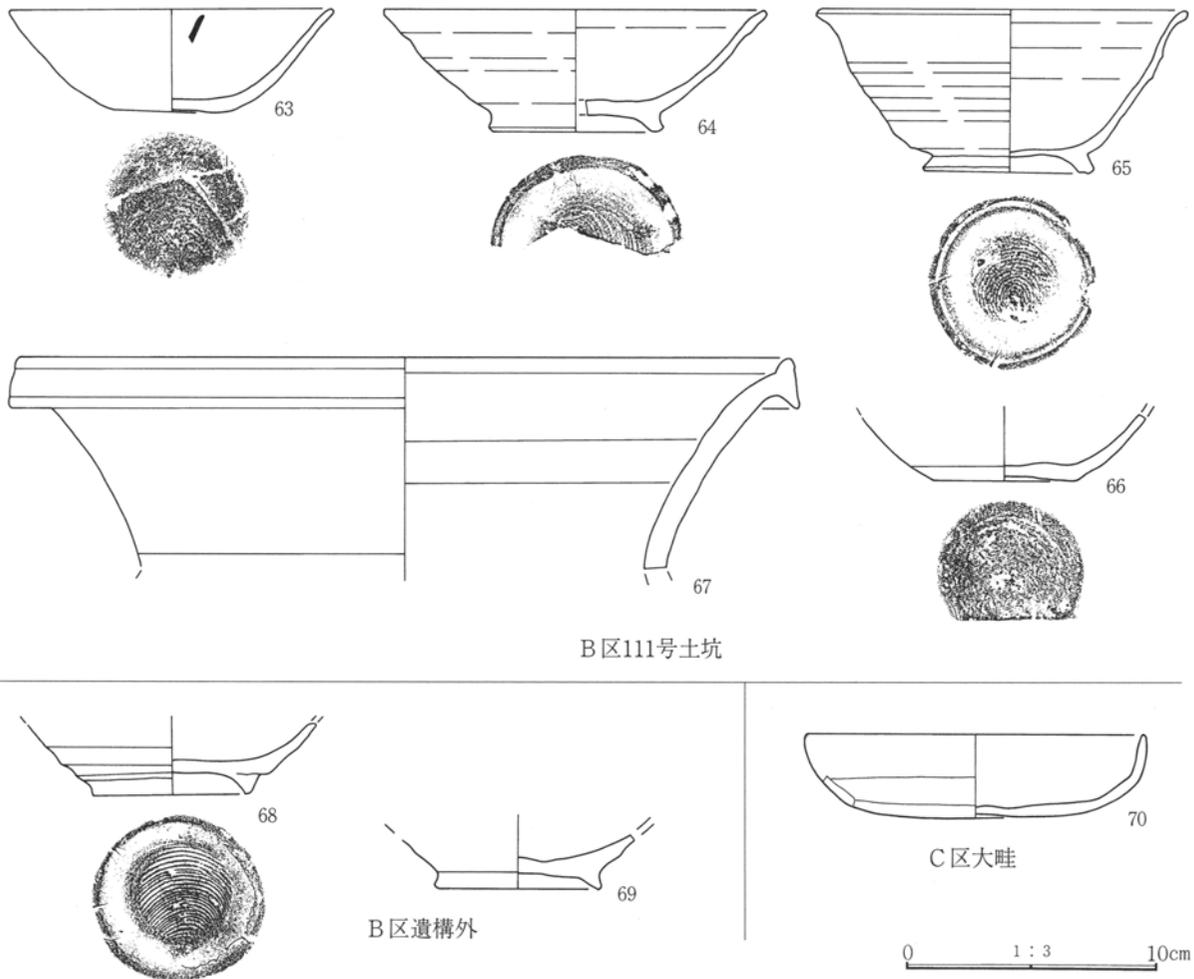
重複遺構からの流れ込みと考えられ、またC区水田大畦出土の杯（70）は水田との関わりを確定できなかった。



第24図 古代の遺物 (1)



第25図 古代の遺物 (2)



第26図 古代の遺物 (3)

4 遺構外出土遺物

遺構に伴わない古代の出土遺物として判明したのは土器だけである。このうち、図示できるのは碗2点(第26図68・69)にとどまる。他にも杯、碗、甕の破片が見られ、これらはいずれもB区中央の980～990-105～120グリッドに集中する傾向がある。この地点は、2棟の住居跡をはじめ井戸の可能性ある遺構や土坑群が分布している。このことから、図示した碗(68・69)もこれらの遺構群に本来は伴っていたと考えて間違いあるまい。

出土遺物の時期は、遺構出土遺物でも示したように、7世紀中頃を上限として9世紀代までを含む。中でも9世紀代のものが主体を占めるようである。

B区53号溝から8世紀後半の甕、光が丘1号窯段階と思われる灰釉皿、9世紀後半代の碗などが出土したが、本溝は近世であることが判明しているため、直接の関係はない。むしろ、これらの出土土器は隣接する2号ないし3号住居跡、あるいは後世の削平で失われてしまった住居跡などに伴うものと考えたい。

第4章 中世・近世の遺構と遺物

概要

本遺跡の中核を占める遺構及び出土遺物は、中世及び近世に属する。特にA区とB区をあわせた約165m、面積にして約7700m²の微高地上には、多くの遺構が密集する。その内訳は、溝77条、井戸62基、墓壇4基のほか土坑とピット多数である。土坑のなかには、井戸ないし墓壇であった可能性のあるものが少なからず混在するが、その証拠が確認できなかった遺構については土坑のまま扱った。なお、掘立柱建物跡はA区で11棟、B区で16棟が検出されたが、出土遺物が皆無であることや、埋土の特徴が不明瞭であることから、時期の限定が極めて困難である。B区では7世紀～9世紀の遺構が存在することから、これに伴う掘立柱建物跡や柱穴も考え得るが、発掘調査及び整理作業でこれらを峻別するのは困難であったため、ここでは存在したことが明らかな中世・近世の屋敷跡に伴う建物跡として一括して扱うこととした。

1 A区の遺構と遺物

(1) 掘立柱建物跡

A区1号掘立柱建物跡 (第30図)

位置 955・960-200・205グリッド

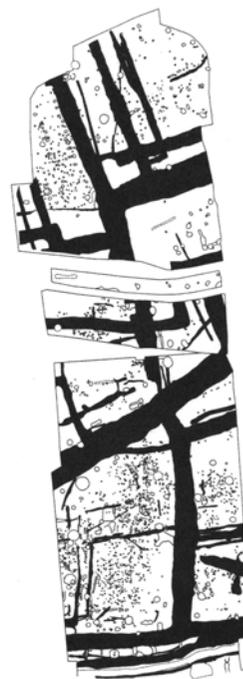
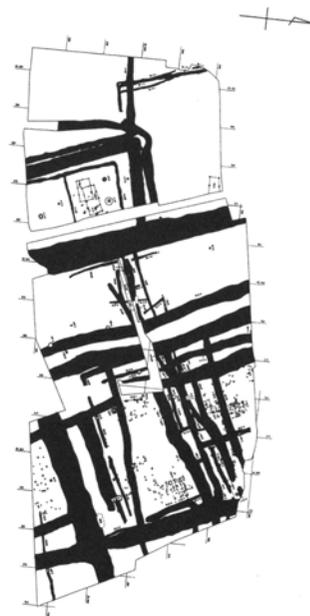
規模 6.75×4.45m

面積 30.04m²

主軸方位 N-68° -E

出土遺物 P1からかわらけ(杯)片、P8から砥石片が出土した。

所見 2間×3間の整った建物。柱間は7尺と8尺を基準とするが、南東辺の柱間は9尺と6.5尺で、ややずれる。また、南西梁間の中央には柱穴は検出されなかった。柱穴の平面形は、方形と楕円形で、計9本のうち、6本には扁平な礫を根石としている。本来は、全てに根石があったと推測される。2号掘立柱建物跡や3号掘立柱建物跡と、北東梁間の柱筋



第27図 鶴光路榎橋遺跡・徳丸高堰遺跡の溝分布図(1:2000)

をほぼ共有しており、当初これらの建物の束柱とも考えられたが、柱筋の微妙なずれと柱穴の掘り直しと考えられる重複関係から、時期の異なる建物と想定した。

A区2号掘立柱建物跡 (第31・32図)

位置 955・960-200~210グリッド

規模 5.50×11.50m

面積 63.25m²

主軸方位 N-68° -E

出土遺物 P 8・13から中～近世の陶器片、P11からは鉄塊と陶磁器及び板碑片が出土した。

所見 2間×5間の建物と想定した。柱間は7尺と9尺を基準とするが、南東辺のP6とP7柱間は14尺と広く、柱穴1本を見落とした可能性がある。また南西梁間のP9～P10間の柱穴も検出できなかった。柱穴の平面形は隅丸方形か楕円形。隅柱となるP1・P4・P9・P10と南東辺側柱穴のP5・P6には根石が見られる。南東辺東側にあるP4～P6にそって、P18～P20が並列しており、部分庇の可能性はある。ただし、その幅は3尺と小規模である。

A区3号掘立柱建物跡（第33図）

位置 955・960-200～215グリッド

規模 19.75×4.70m

面積 928.25m²

主軸方位 N-66° -E

出土遺物 P 2・6・8・14から中～近世陶器片、P7から鉄塊、陶器片、板碑片が出土。

所見 2間×8間の建物と想定した。柱間は6尺と7尺を多用するが、一部では8尺と9尺も見られる。P4～P5とP18～P19の柱間が2尺と短いことから、ここで分離する2棟連結の建物とも考えられる。A区掘立柱建物跡群の主要建物であると思われるが、梁間の規模が短いことや柱間寸法にばらつきがあることから、細長く簡易な建物と想定しておきたい。なお、A区4号掘立柱建物跡は本掘立柱建物跡の西半内区で主軸方向を同じくして位置することから、3号掘立柱建物跡の内部施設に関わる柱穴とも考えられる。柱穴の平面形は隅丸方形、円形、楕円形が見られ、高い規格性はみられない。南辺中央に位置するP17は、他の柱穴に比べて底面レベルが30cmほど深いことから、異なる構造物の柱穴とも想定されたが、周囲に関連する柱穴が見あたらない

ため、本掘立柱建物跡の側柱穴として扱った。

A区4号掘立柱建物跡（第33図）

位置 950・955-210・215グリッド

規模 2.10×3.90m

面積 8.19m²

主軸方位 N-68° -E

出土遺物 P 3から古墳前期と思われる土師器小片1点出土。流れ込みと思われる。

所見 1間×1間の単独長方形建物か、同一主軸上にある3号掘立柱建物跡の内部構造に関わる柱穴の可能性を考えた。4本の柱穴規模がいずれも3号掘立柱建物跡柱穴よりも小さいので、後者の捉え方が有力と思われる。その場合、3号掘立柱建物跡の中央よりもやや南側にずれ、また側柱との対置関係もずれる。柱間は7尺と13尺。

A区5・6号掘立柱建物跡（第34図）

位置 960・965-195～205グリッド

規模 4.20×9.30m

面積 39.06m²

主軸方位 N-23° -W

出土遺物 P 8から寛永銭1、P13から近世陶器片、P21とP22からはかわらけ（杯）の破片が出土。

所見 2間×4間の規模の建物と想定した。西側には1.3m離れて庇あるいは縁と思われる柱列が並ぶ。柱本数は非対称で、南梁間に4本、西側柱は7本ないし8本の柱を用いたらしい。7本の柱穴では、柱根の位置に扁平な礫を置いて根石としているが、他の柱穴では確認できなかった。柱間は6尺と7尺を基準とし、西側柱では3尺と4尺で柱間を分割する。柱穴の平面形は不定形か楕円形で規模も不定。すでに埋没していた8号溝の上に構築され、2号井戸と重複する。北辺に0.5～1mはなれてほぼ併行して走る1号溝は、本掘立柱建物跡の敷地地境を示すと思われる。なお、絵図には2棟の建物のほかに垣根が描かれる（第267図）が、その痕跡は確認できなかった。

6号掘立柱建物跡としたのは、5号掘立柱建物跡南半部に組み込まれて位置し、P1とP2が5号掘立柱建物跡の西側柱列に並ぶので、本来は内部施設の柱穴と考えて良い。

A区7号掘立柱建物跡（第35図）

位置 960・965-190・195グリッド

規模 (3.70×5.80) m

面積 不明。

主軸方位 N-25° -W

出土遺物 なし。

所見 当初は梁間2間の東西に長い長方形建物と考えたが、P3-P10-P6-P11-P12が直線上に並ぶため、これを側柱とする南北棟の建物の存在する可能性がある。柱間は6尺で、P5-P7柱間は10尺・9尺と広い。

A区8号掘立柱建物跡（第35図）

位置 955・960-190グリッド

規模 4.85×(8.40) m

面積 不明

主軸方位 N-25° -W

出土遺物 なし。

所見 P1・4~7を西側柱とする梁間1ないし2間の南北棟建物と思われる。南東半部の柱穴は検出できなかった。主軸が7号掘立柱建物跡と直交することから、本来は両者が1棟の建物であった可能性も考えられる。柱穴は小規模な方形か円形で、根石は見られない。P1-P2の梁間間に柱穴が見あたらないため、柵列の可能性も考えるべきか。

A区9号掘立柱建物跡（第38・39図）

位置 980・985-215・220グリッド

規模 4.70×12.90m

面積 (60.63) m²

主軸方位 N-29° -W

出土遺物 P1とP13でかわらけ(杯)破片が出土。

所見 梁間1間の南北棟建物と想定した。桁側柱

間は20尺・22尺と広く、中間に検出できなかった柱が存在した可能性が高い。柱穴は方形と円形で、P4・P11・P12は底面に割礫を据える。南東隅柱穴は確認できなかった。南北で二間に分割される可能性がある。4号溝と重複する。

A区10号掘立柱建物跡（第38・39図）

位置 980・985-215・220グリッド

規模 (5.15×7.00) m

面積 (36.05) m²

主軸方位 N-60° -E

出土遺物 P1から軟質陶器片出土。

所見 梁間2間の小規模な東西棟だが、東梁間の中間柱穴が確認できなかった。柱間は7尺基準と想定される。P1のみ隅丸方形で規模が大きく、底面に礫を詰めてある。P2・6・8からも礫が出土したが、柱根の固定用か。9号掘立柱建物跡と重複。

A区11号掘立柱建物跡（第38・39図）

位置 975・980-215・220グリッド

規模 3.15×6.60m

面積 20.79m²

主軸方位 N-58° -E

出土遺物 なし。

所見 1×2間の小規模な東西棟建物。北側中央の柱穴が確認できなかった。根石なし。柱穴は円形でP5は他より深い。10号掘立柱建物跡と主軸をそろえて南側に隣接する。同時存在の可能性あり。

A区柵列（第38・39図）

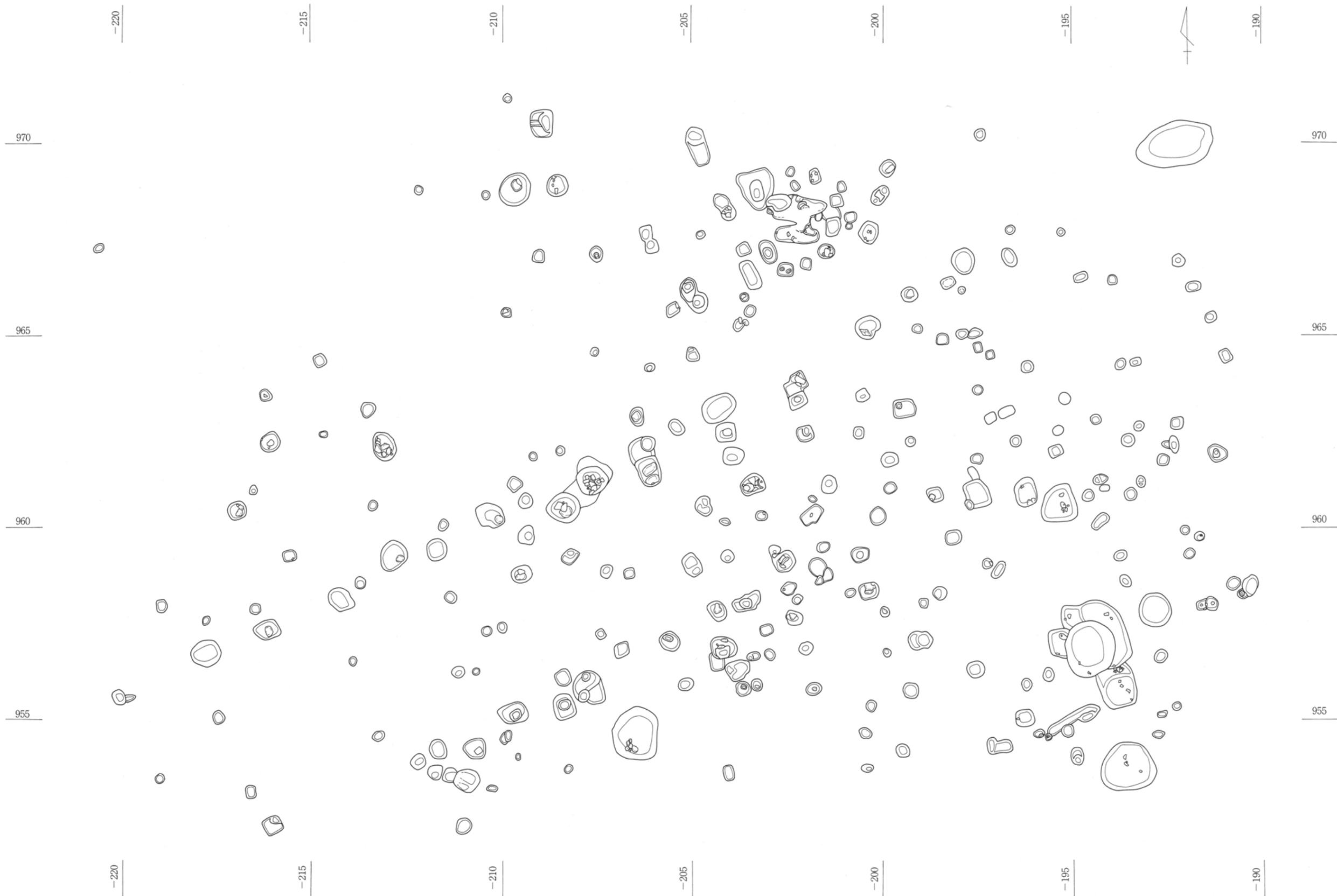
位置 980・985-220・225グリッド

規模 9.50m、12.30m

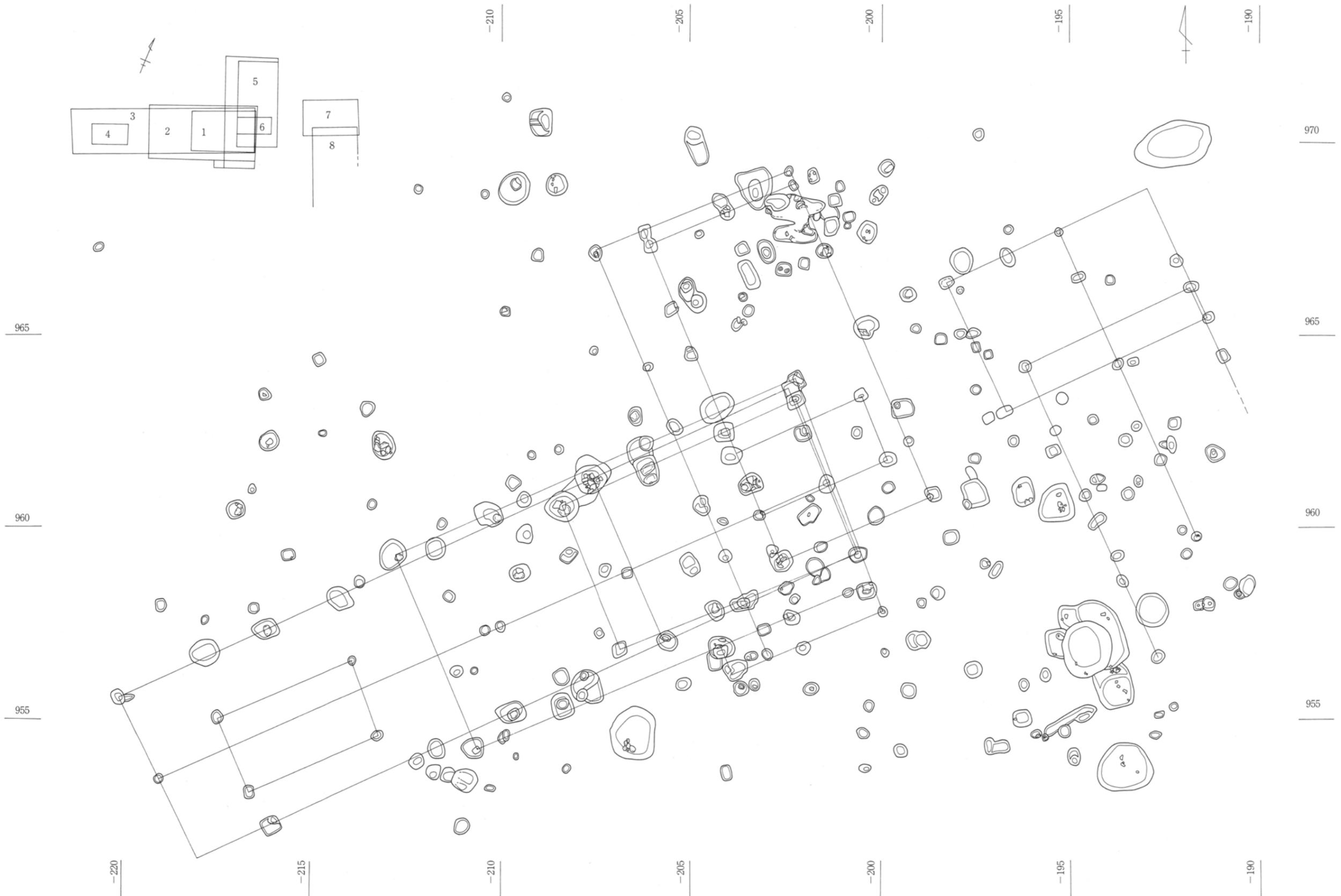
主軸方位 N-32° -W

出土遺物 なし。

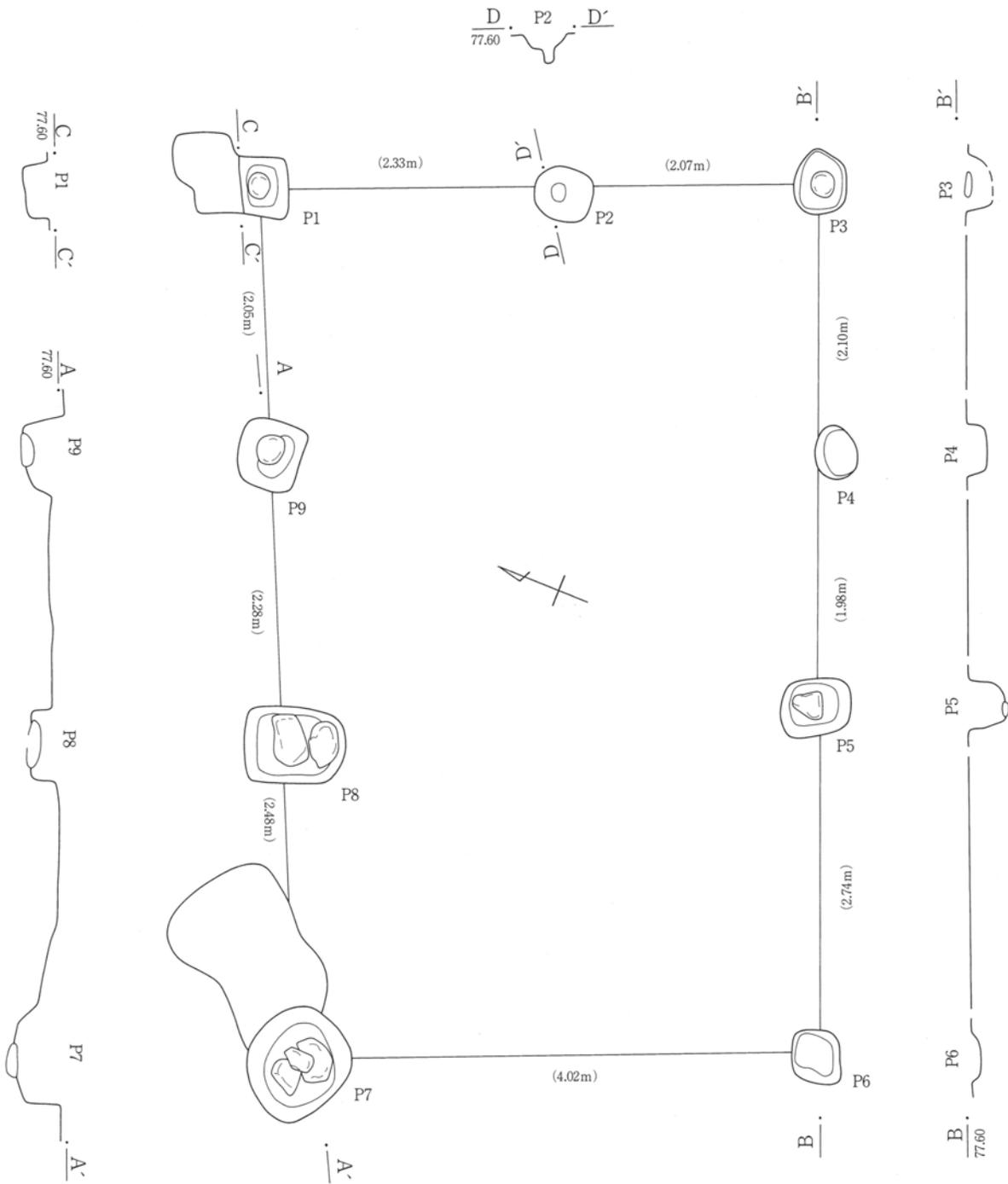
所見 1.2mの間隔を空けて2列検出された。柱間は7尺と10尺を測るが、一定ではない。P5は柱列からややずれる上、底面に根石を置くので、別の建物柱穴の可能性も考えておく必要がある。



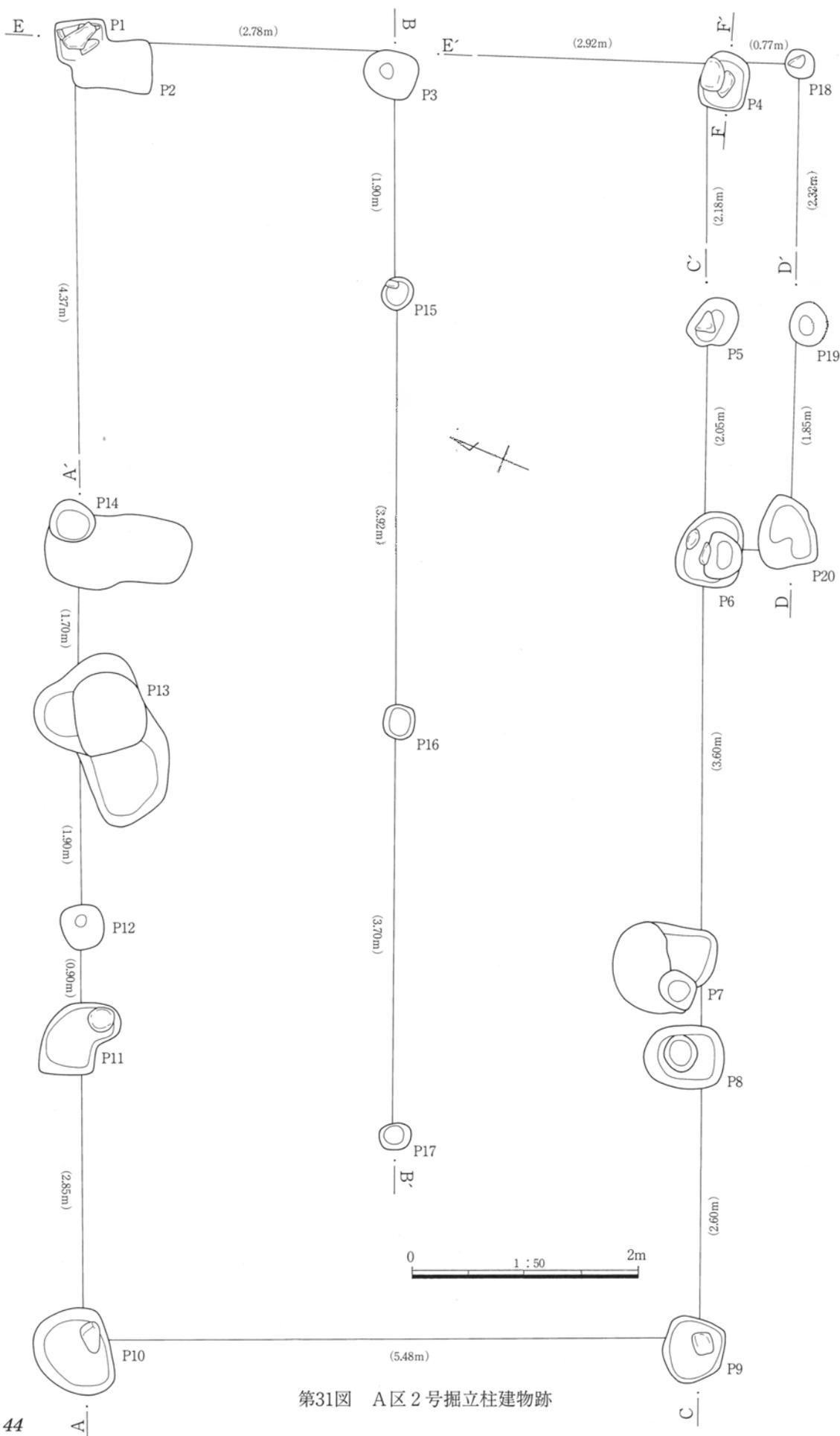
第28図 A区南部柱穴・ピット群の分布 (1:100)



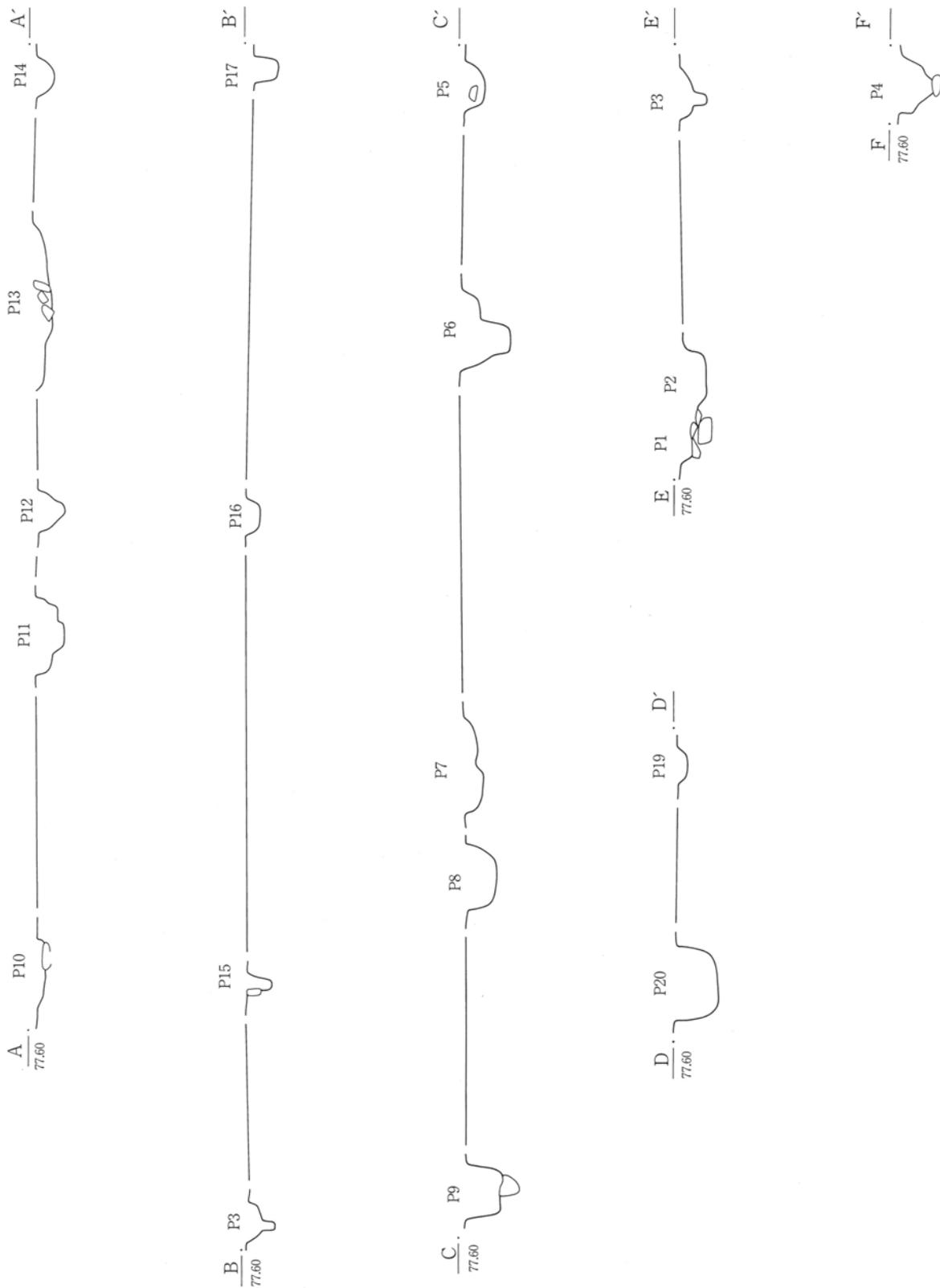
第29图 A区1~8号掘立柱建物跡 (1:100)



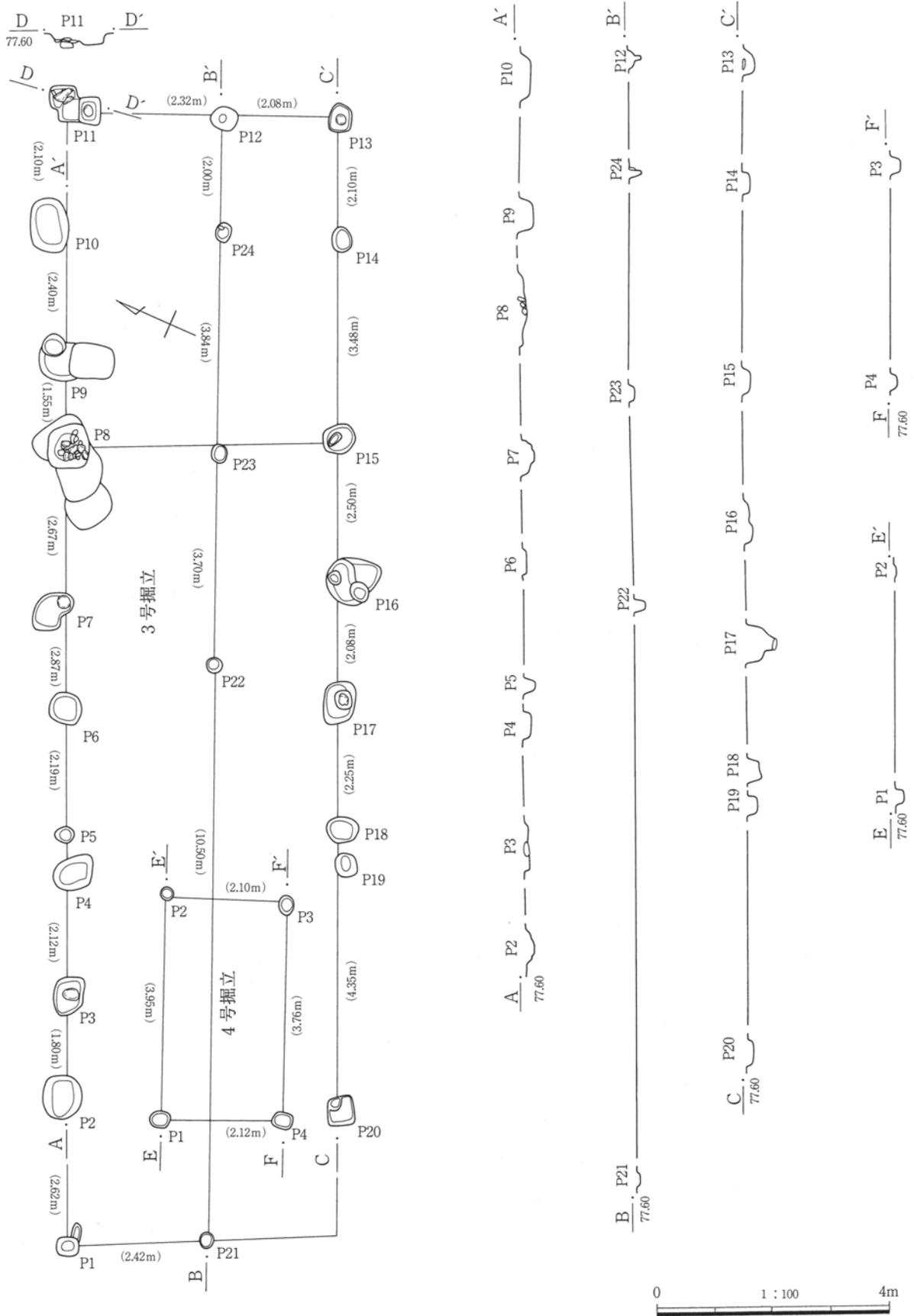
第30図 A区1号掘立柱建物跡



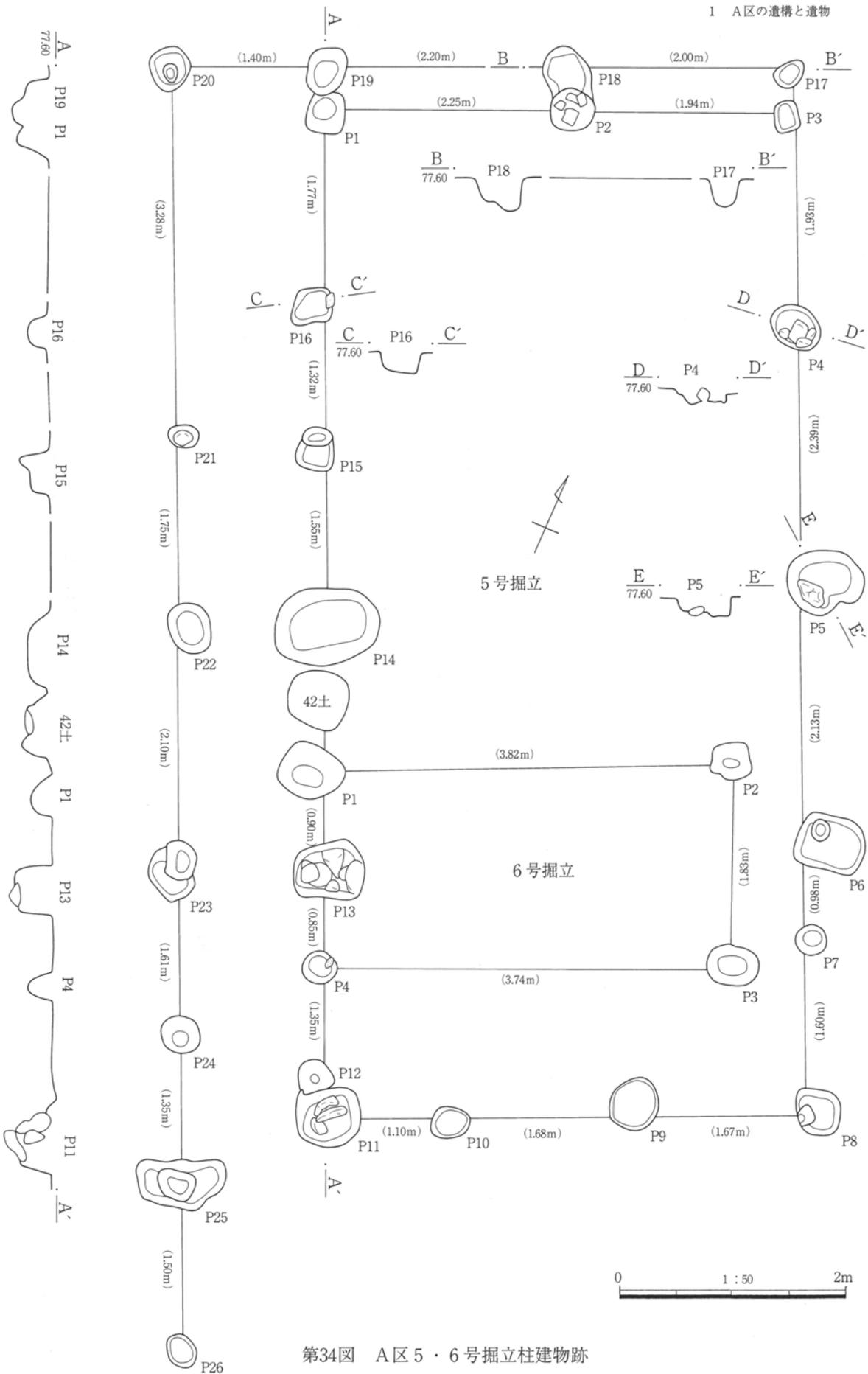
第31图 A区2号掘立柱建物跡



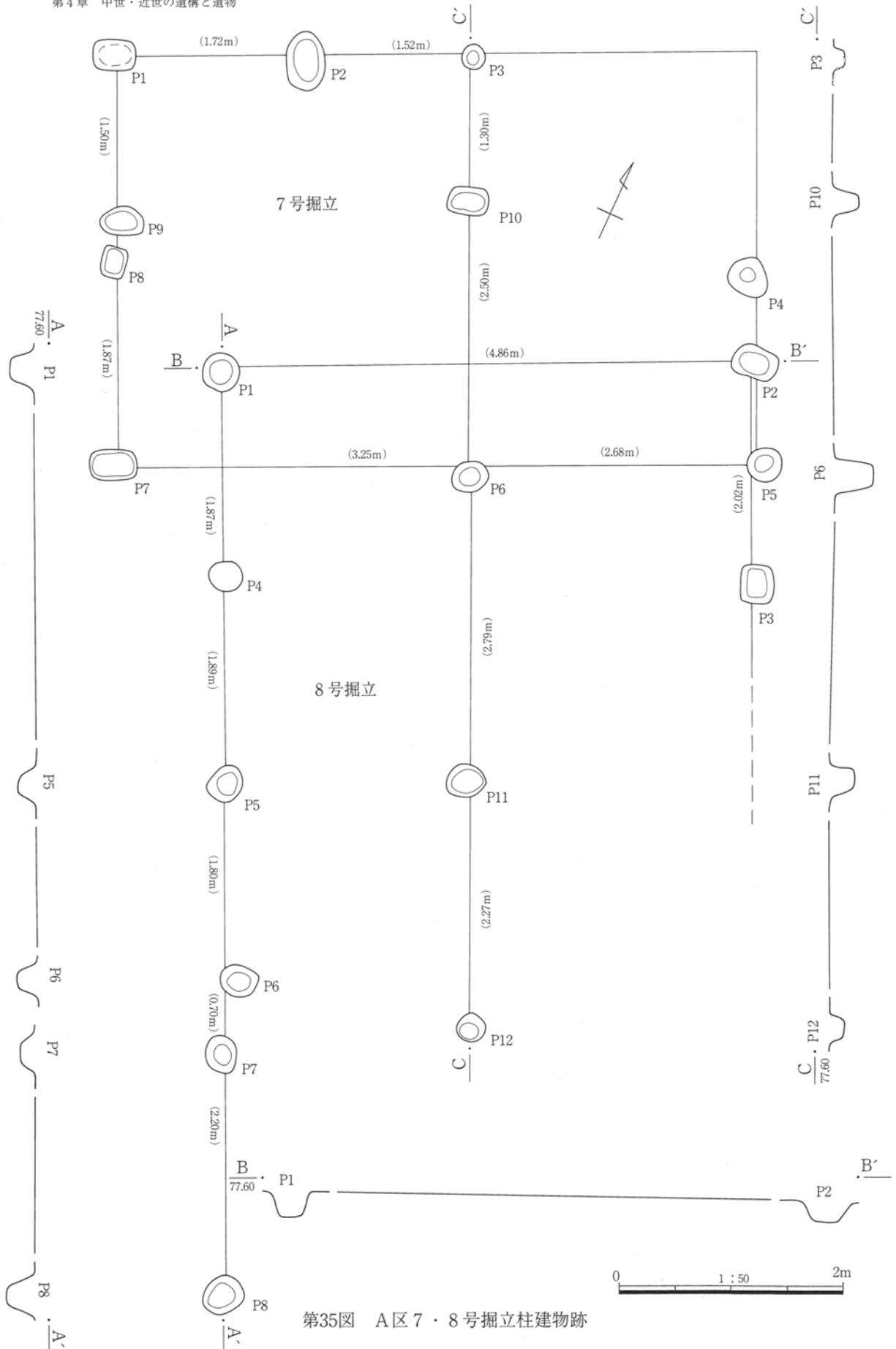
第32図 A区2号掘立柱建物跡柱穴断面

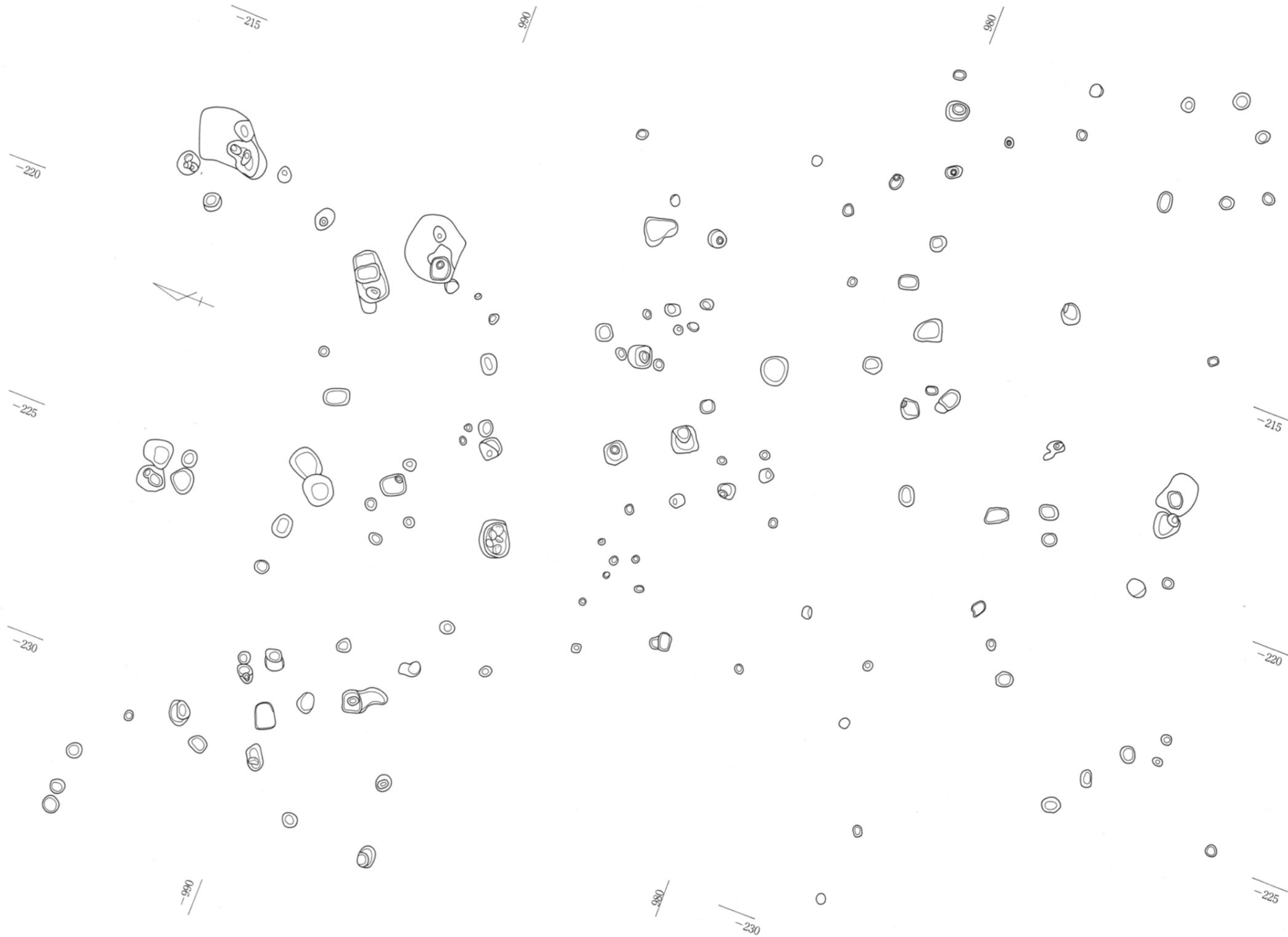


第33図 A区3・4号掘立柱建物跡

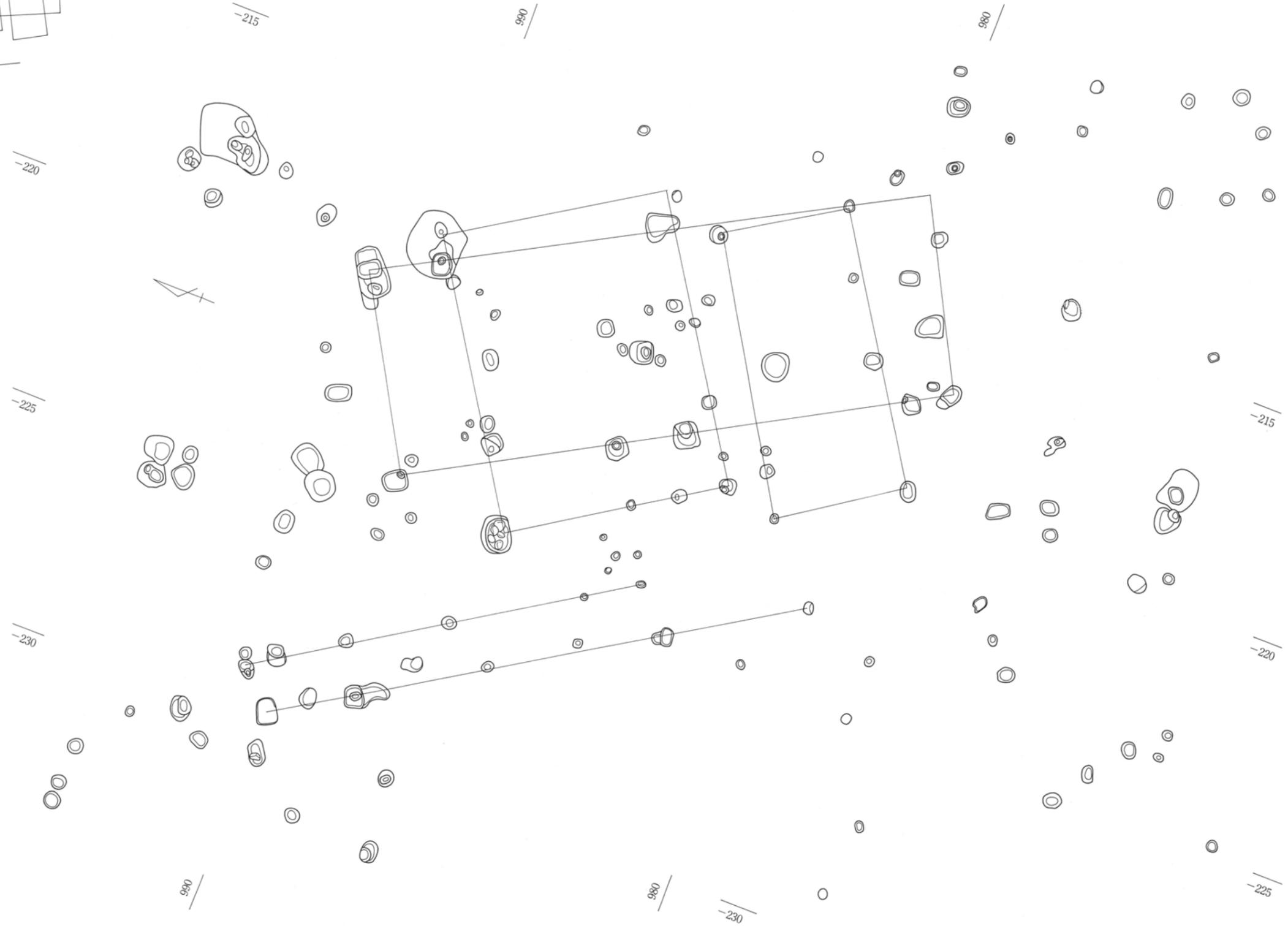
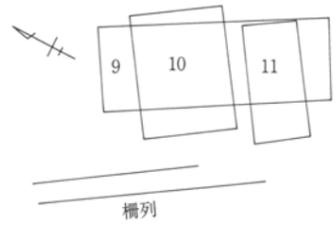


第34図 A区5・6号掘立柱建物跡

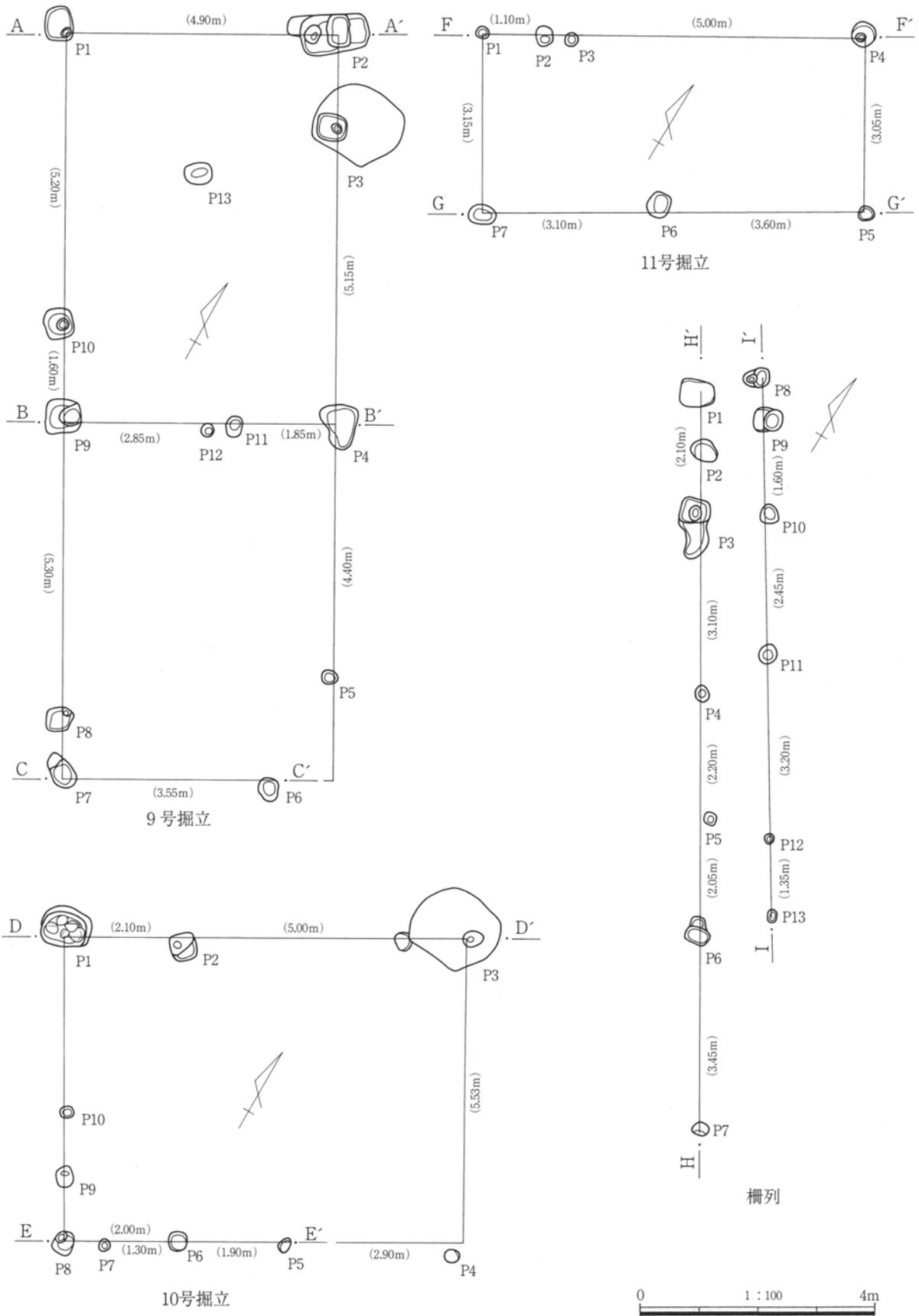




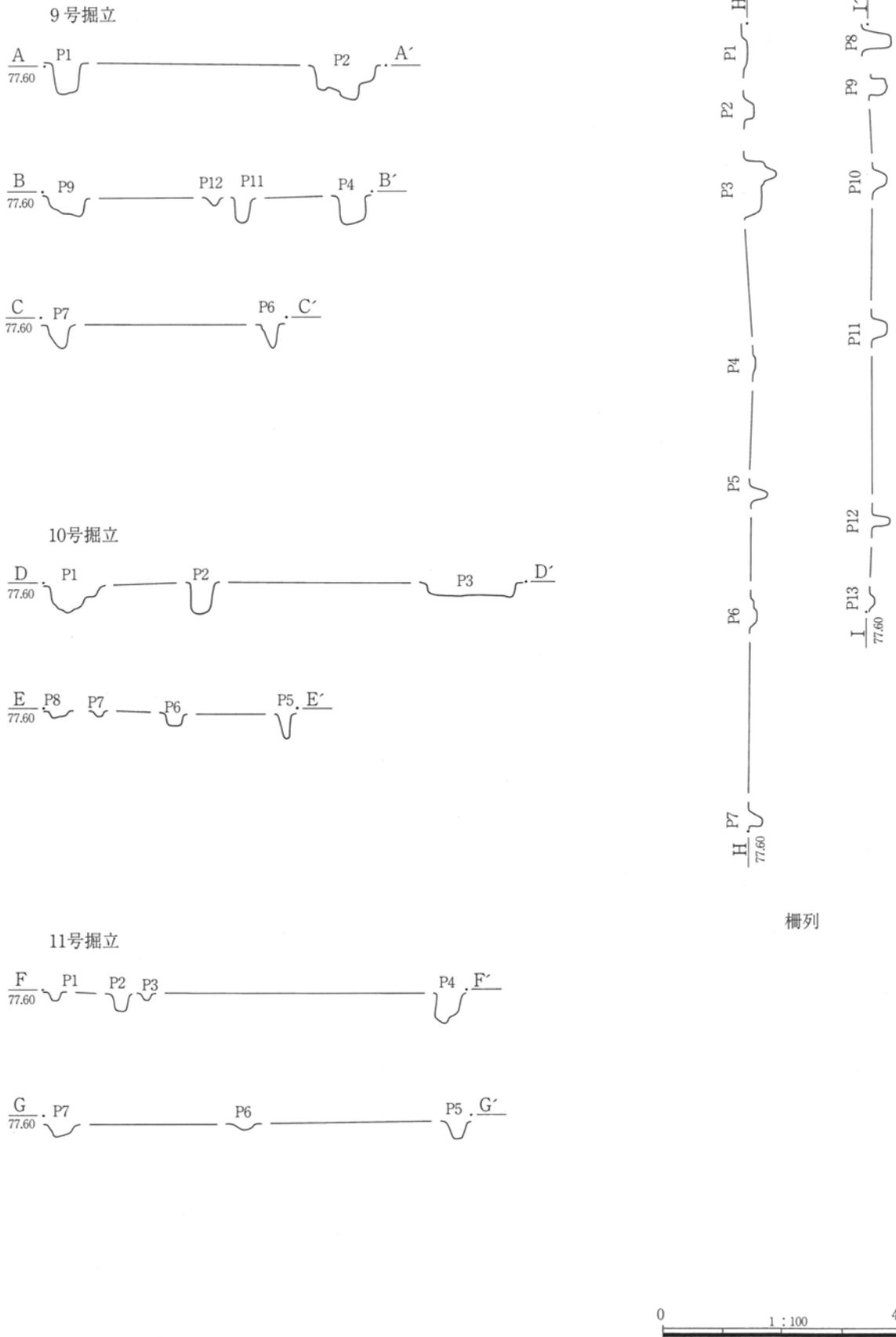
第36図 A区北部柱穴・ピット群の分布 (1:100)



第37图 A区9~11号掘立柱建物跡 (1:100)



第38図 A区9～11号掘立柱建物跡と柵列



第39図 A区9～11号掘立柱建物跡断面

第3表 A区掘立柱建物跡柱穴計測値

A区1号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有 無	備 考
P 1	44a土坑	48×36	31	77.25	○	
P 2	35土坑	48×42	35	77.22		
P 3	36土坑	48×40	(20)	77.42	○	
P 4	32土坑	40×34	14	77.42	○	かわらけ
P 5	25土坑	55×44	34	77.23	○	
P 6	132土坑	39×38	11	77.49		
P 7	130土坑	80×77	36	77.19	○	
P 8	127土坑	76×60	26	77.31	○	砥石
P 9	42土坑	54×50	26	77.28	○	

A区2号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有 無	備 考
P 1	104土坑	47×36<	23	77.47	○	板碑
P 2	44土坑					
P 3	35土坑	48×42	35	77.22		
P 4	122土坑	52×44	33	—	○	
P 5	31土坑	49×37	27	77.32	○	かわらけ
P 6	26土坑	67×55	39	77.19	○	
P 7	133・138土坑	97×86	27	77.29		
P 8	134土坑	68×56	32	77.24		かわらけ、土師片
P 9	8土坑	54×52	30	77.27	○	
P 10	15土坑	77×66	20	77.34	○	礫
P 11	17土坑	66×71	38	77.18	○	鉄片、かわらけ、板碑
P 12	18土坑	38×38	23	77.38		
P 13	19土坑	142×84	36	77.19	○	礫多数、陶器、土師片
P 14	20土坑	41×37	32	77.24		
P 15	124土坑	31×27	26	77.32	○	
P 16	83ピット	29×26	13	77.47		
P 17	—	27×25	20	77.33		
P 18	—	26×26	—	—	○	
P 19	33土坑	37×34	15	77.42		
P 20	27土坑	63×52	34	77.25		

A区3号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有 無	備 考
P 1	5ピット	40×34	15	77.32		
P 2	21土坑	78×68	14	77.38		土師片
P 3	164土坑	61×52	10	77.41	○	
P 4	135土坑	67×57	19	77.35		
P 5	91ピット	31×27	22	77.28		
P 6	16土坑	55×52	9	77.40		おろし皿、灯明皿
P 7	17土坑	66×71	38	77.18	○	鉄片、かわらけ、板碑
P 8	19土坑	142×84	36	77.19	○	礫多数、陶器、土師片

第4章 中世・近世の遺構と遺物

P 9	20土坑	41×37	32	77.24		
P 10	43土坑	93×68	20	77.33		
P 11	44b土坑	43×(36)	21	77.35		
P 12	35土坑	48×42	35	77.22		
P 13	36土坑	48×40	(20)	77.42	○	
P 14	32土坑	40×34	14	77.42	○	かわらけ
P 15	23土坑	55×50	44	77.17		
P 16	133・138土	97×86	27	77.29		
P 17	6土坑	69×53	44	77.11	○	
P 18	9土坑	52×45	24	77.30		
P 19	10土坑	41×36	18	77.40		
P 20	5土坑	49×46	13	77.43		
P 21	7ピット	25×23	6	77.47		
P 22	—	27×27	—	77.33		
P 23	83ピット	29×26	13	77.47		
P 24	124土坑	31×27	26	77.32	○	

A区4号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備考
P 1	22土坑	34×30	13	77.40		
P 2	9ピット	22×21	4	77.48		
P 3	85ピット	33×26	13	77.44		
P 4	106ピット	29×29	19	77.35		

A区5号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備考
P 1	143a土坑	35×38	52	77.00		
P 2	148a土坑	39×38	36	77.20	○	
P 3	157土坑	26×22	25	77.25		
P 4	152土坑	46×39	11	77.35	○	
P 5	46土坑	67×52	25	77.24	○	
P 6	119土坑	61×48	13	77.24		
P 7	161ピット	29×26	25	77.23		
P 8	50土坑	40×38	8	77.44		寛永通寶 1
P 9	110土坑	48×45	12	77.40		
P 10	26ピット	34×30	14	77.42		
P 11	30土坑	57×54	38	77.19	○	
P 12	112土坑	30×30	25	77.32		
P 13	123土坑	63×46	49	77.22	○	陶磁器、礫多数
P 14	43土坑	93×68	20	77.33		
P 15	39ピット	38×31	28	77.24		
P 16	131土坑	35×30	18	77.34	○	
P 17	103ピット	28×21	25	77.27		
P 18	148b土坑	48×38	22	77.30	○	
P 19	143b土坑	40×35<	49	77.03		
P 20	142土坑	38×35	24	77.29		
P 21	82ピット	25×24	11	77.45	○	かわらけ
P 22	125土坑	46×35	24	77.29		かわらけ

P 23	162土坑	48×34	36	77.20		
P 24	13ピット	34×33	26	77.29		
P 25	29土坑	78×40	37	77.20		
P 26	15ピット	30×25	21	77.39		

A区6号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備考
P 1	41土坑	55×48	22	77.33		
P 2	47土坑	33×33	22	77.29		
P 3	49土坑	45×35	19	77.31		
P 4	124土坑	31×27	26	77.32		

A区7号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備考
P 1	150ピット	37×26	—	—		
P 2	154ピット	52×35	14	77.33		
P 3	197ピット	22×21	11	77.34		
P 4	198ピット	35×34	15	77.26		
P 5	200ピット	31×28	14	77.24		
P 6	193ピット	32×29	36	77.07		
P 7	166ピット	42×25	—	—		
P 8	158ピット	28×22	28	77.18		
P 9	157ピット	40×26	39	77.07		
P 10	195ピット	36×25	25	77.21		
P 11	190ピット	30×29	22	77.25		
P 12	188ピット	26×26	18	77.32		

A区8号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備考
P 1	167ピット	32×33	20	77.25		
P 2	199ピット	42×27	17	77.20		
P 3	201ピット	35×30	20	77.18		
P 4	171ピット	31×26	—	—		
P 5	174ピット	33×30	16	77.32		
P 6	181ピット	35×28	19	77.31		
P 7	182ピット	31×29	13	77.34		
P 8	183ピット	36×33	25	77.21		

A区9号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備考
P 1	190土坑	58×49	53	77.13		杯
P 2	200土坑	119×66	63	76.95		
P 3	199土坑	142×126	57	76.90		
P 4	99土坑	77×53	49	77.04		
P 5	87ピット	30×27	28	77.20		
P 6	102土坑	40×33	41	77.08		

第4章 中世・近世の遺構と遺物

P 7	70土坑	103×63	43	77.07		
P 8	71土坑	41×41	37	77.12		
P 9	94土坑	63×57	33	77.18		
P 10	95土坑	50×50	58	76.92		
P 11	98土坑	36×27	47	77.03		
P 12	74ピット	22×21	23	77.26	○	礫
P 13	192土坑	46×38	31	77.37		かわらけ片、紡錘車

A区10号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備 考
P 1	189土坑	86×70	41	77.17	○	礫多数、軟質陶器
P 2	191土坑	58×45	56	77.04		
P 3	199土坑	142×126	57	76.90		
P 4	—	24×20	—	—		
P 5	75ピット	26×19	41	77.09		
P 6	93土坑	33×31	24	77.26		礫
P 7	70ピット	20×19	11	77.43		
P 8	91土坑	41×37	28	77.28		
P 9	90土坑	34×30	39	77.34		
P 10	69ピット	22×18	14	77.42		

A区11号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備 考
P 1	46ピット	21×20	18	77.38		
P 2	92土坑	33×30	31	77.22		
P 3	45ピット	22×21	13	77.41		
P 4	100土坑	43×40	50	77.05		
P 5	87ピット	30×27	28	77.20		
P 6	42ピット	43×38	13	77.34		
P 7	72土坑	47×32	21	77.33		

A区柵列跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備 考
P 1	185土坑	60×45	11	77.60		
P 2	186土坑	45×37	38	77.30		
P 3	187土坑	105×53	57	77.10		
P 4	—	31×25	5	77.48		
P 5	62ピット	21×20	29	77.27	○	
P 6	89土坑	46×43	13	77.43		
P 7	60ピット	26×20	25	77.34		
P 8	—	29×28	5	77.47		
P 9	178土坑	49×40	49	77.19		
P 10	—	32×30	25	77.24		
P 11	147ピット	35×32	18	77.24		
P 12	63ピット	16×16	35	77.21		
P 13	67ピット	22×16	11	77.44		

(2) 溝

A区1号溝(第40図、PL.17)

位置 A区西半中央

規模 検出長28m、幅88~32cm、深さ13cm。底面レベルの高低差ほとんど見られず平坦。

走向 N-70°-E、直線状

出土遺物 18世紀を主体とする江戸時代中頃以降の陶磁器類、板碑片、砥石。中央付近に集中。

所見 8号溝、14号溝の埋没後に開削。東方延長約6mで5号溝と直交する位置関係が見られる。近世絵図(第267図)との照合から、建物のある南側屋敷地を画する溝である可能性が高い。

A区2号溝(第40図)

位置 A区西半中央

規模 検出長23m、幅55~14cm、深さ20cm。底面レベルの高低差ほとんど見られず平坦。

走向 ほぼ東西、直線状

出土遺物 なし。

所見 3号溝、9号溝、14号溝の埋没後に開削。近世以降の地境溝と思われるが、走向が周囲の地割方向と異なり、近代以降の可能性がある。79号土坑と重複するが、新旧関係は不明。

A区3号溝(第41図、PL.17・18)

位置 A区西半中央

規模 検出長18m、幅153~65cm、深さ83cm。底面レベルの高低差はほとんど見られず平坦。合流する4号溝底面よりも最大値で10cm低い。

走向 N-62°-E、直線状に延び4号溝に合流する。

出土遺物 人頭大~拳大の礫。

断面の状況 箱葉研堀状の断面、灰褐色粘土と砂の互層堆積。4号溝に切られる。

所見 4号溝と同走向で、規模や形状が近似することから、同一性格と考えられる。3号溝が洪水埋没と想定されることから、4号溝はその復旧溝と考えられよう。埋土下層にブロック状の堆積が見られ

るので、土居が築かれていた可能性あり。

A区4号溝(第41図、PL.17・18)

位置 A区西半中央

規模 検出長23m、幅194~58cm、深さ71~50cm。3号溝合流点で障子堀状の高まりが見られる以外はほぼ平坦。ただし、西端の幅の狭い部分では底面レベルが30cm高い。

走向 N-60°-E、直線状で東端が5m南側に折れて9号溝に合流する。西端延長は調査区外で判明しない。

出土遺物 多数の礫とともに15世紀に遡りうる内耳土鍋、かわらけ、板碑等が全体的に分布して出土。断面の状況 粘土粒をブロック状に混在する埋土が堆積し、周辺の土居や地表土の流れ込みと思われる。

所見 13号溝と直交するが新旧関係は不明。8号溝や12号溝とともに郭内を区画する堀と考えられる。9・11号掘立柱建物跡に切られることから16世紀以前に開削、埋没したと思われる。

A区5号溝(第42図、PL.19)

位置 A区南東部

規模 検出長22m、幅75cm、深さ17cm。

走向 N-5°-W、ほぼ直線状

出土遺物 なし。

所見 直交する6号・7号溝を切る。屋敷建物に伴う排水溝か。近世絵図を参考にすれば、1号溝とともに建物宅地を区画する性格も考えられる。

A区6号溝(第42図、PL.19)

位置 A区南東端中央

規模 検出長17m、幅116cm、深さ66cm。底面レベルほぼ水平。

走向 N-68°-E、直線状。東西端は不明。

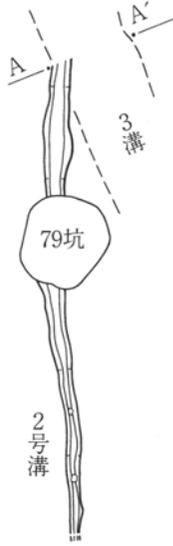
出土遺物 なし。

断面の状況 葉研堀。底面のノロ状の堆積物。

所見 5号溝に切られる。10号溝と直交するが新



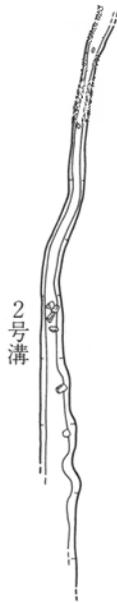
1号溝



2号溝

3号溝

79坑



2号溝

0 1:125 2.5m
(平面)

旧関係は不明。

A区7号溝 (第42図、PL.19)

位置 A区南東部

規模 検出長13m、幅260cm、深さ63cm。底面レベルはほぼ水平。

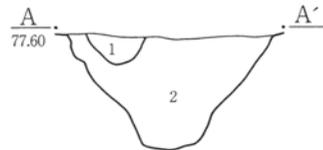
走向 N-68°-E、直線状

出土遺物 なし。

所見 東端で10号溝屈曲部に合流する。6号溝とともに郭内を区画する堀と考えられるが、平行する6号溝との関係は不明。



(1:1000)

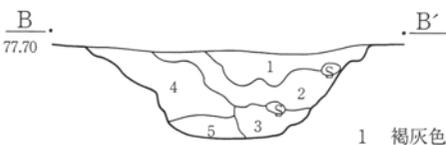
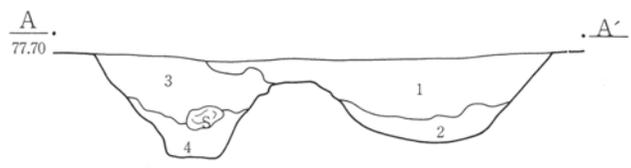
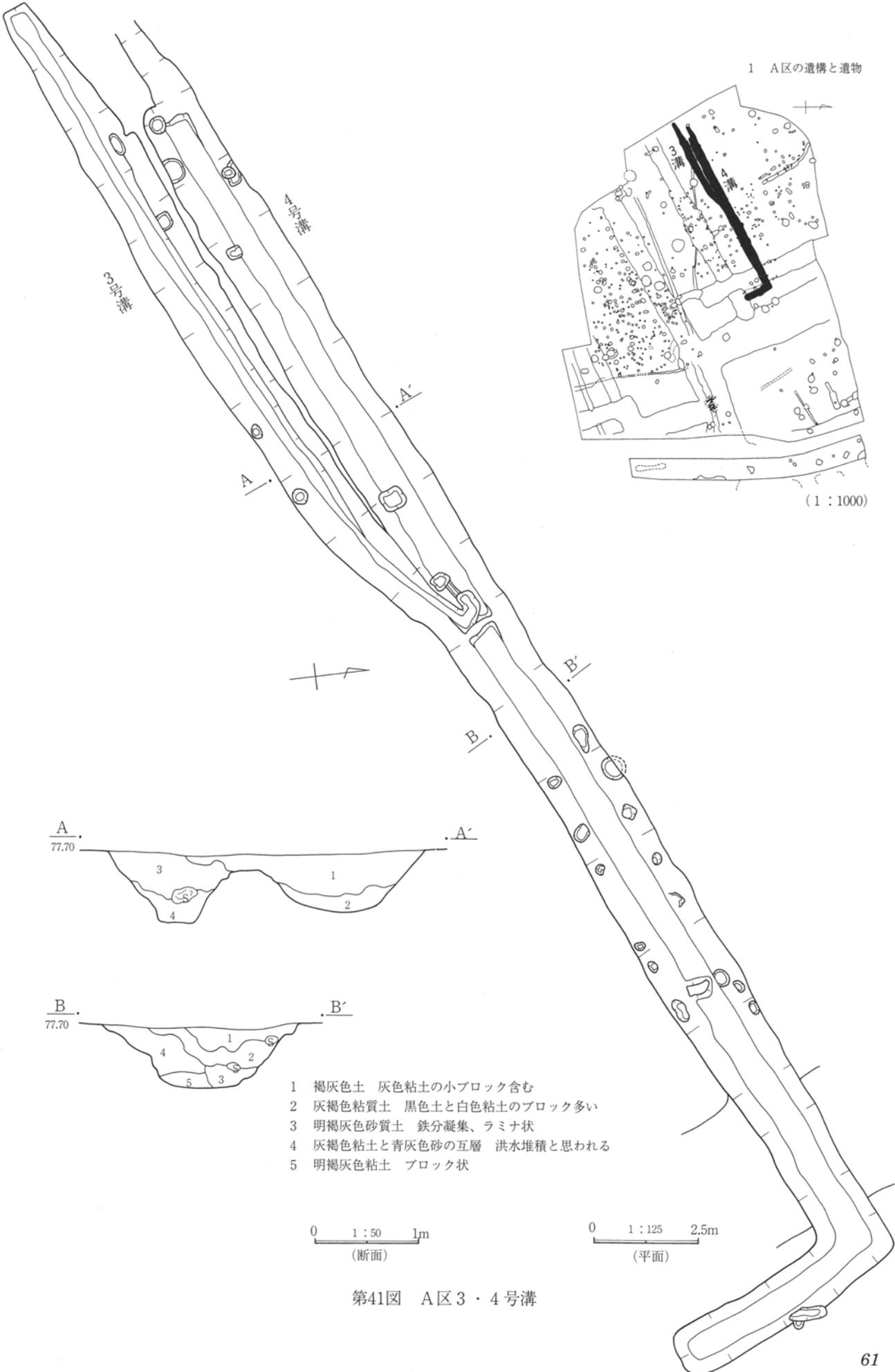


- 1 2号溝埋土
- 2 下層に黒泥土とシルトの互層
上位に人為的堆積の3号溝埋土

0 1:50 1m
(断面)

第40図 A区1・2号溝

1 A区の遺構と遺物

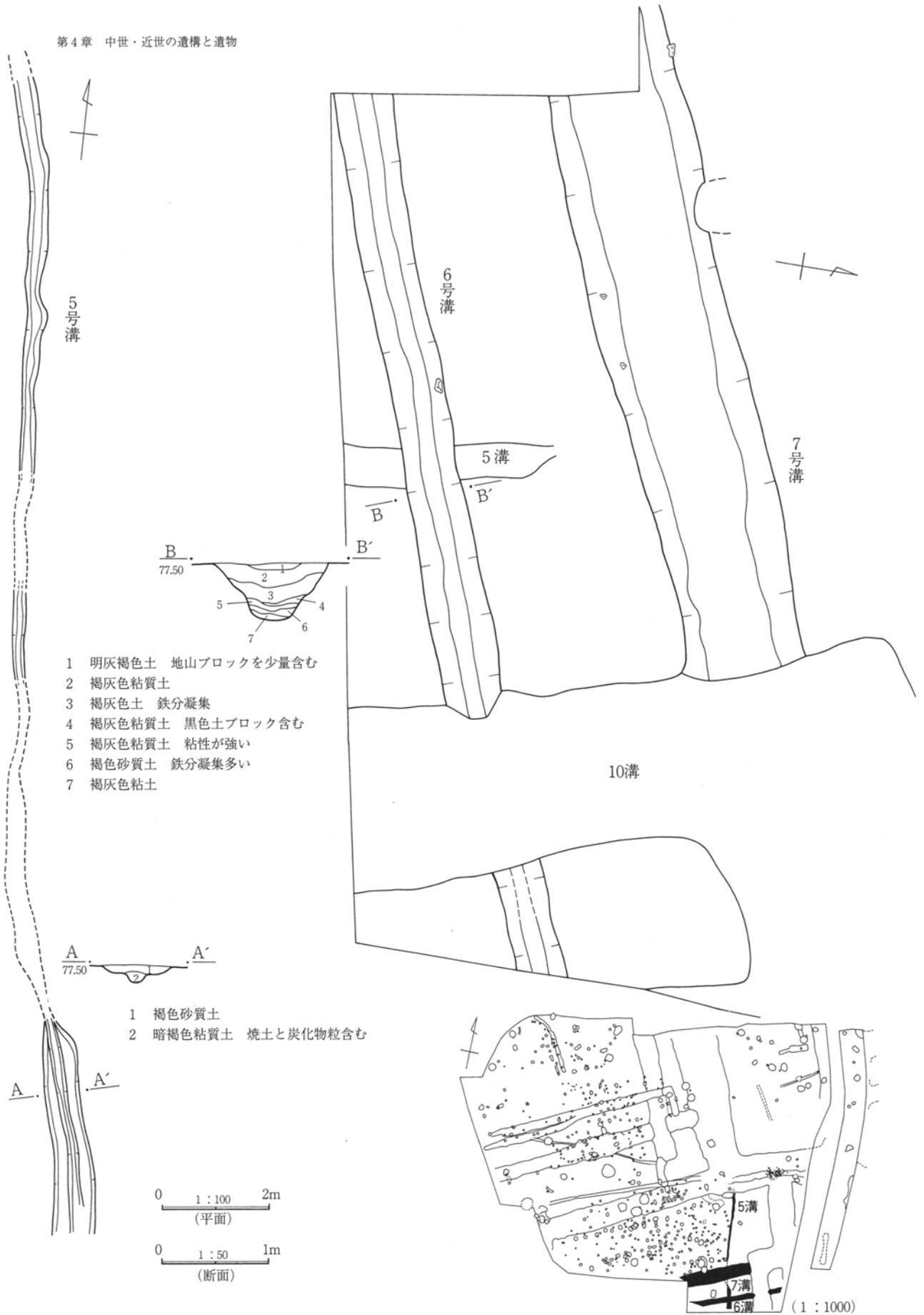


- 1 褐灰色土 灰色粘土の小ブロック含む
- 2 灰褐色粘質土 黒色土と白色粘土のブロック多い
- 3 明褐色灰砂質土 鉄分凝集、ラミナ状
- 4 灰褐色粘土と青灰色砂の互層 洪水堆積と思われる
- 5 明褐色粘土 ブロック状

0 1 : 50 1m
(断面)

0 1 : 125 2.5m
(平面)

第41図 A区3・4号溝



第42図 A区5～7号溝

A区8号溝(第43図、PL.20)

位置 A区西半中央

規模 検出長32m、幅455cm、深さ95cm。底面レベルほぼ水平。

走向 N-60°-E、直線状

出土遺物 時代推定の上限として、15世紀代の常滑大甕、軟質陶器鉢が南際埋土から出土。

断面の状況 箱堀状。2~3度の掘り直しがあったらしい。埋土は下層に黒色粘質土、上層に砂質土が堆積。洪水埋没の形跡は見られない。

所見 東端は12号溝屈曲部に合流。12号溝の底面レベルはほぼ同じ。8号井戸と5号・6号掘立柱建物跡に切られており、17世紀以降にはすでに埋没していた可能性が高い。

A区9号溝(第44図、PL.20)

位置 A区西半中央

規模 検出長39m、幅420cm、深さ96cm。底面レベルほぼ水平。

走向 N-60°-E、直線状

断面の状況 箱葉研堀状、蒲鉾形の断面形を呈するが、中央底面が細い帯状に窪むことから、本来葉研堀だったと思われる。数度にわたる掘り直しの結果だろう。

出土遺物 瀬戸産皿、軟質陶器鉢の他、16~17世紀代の陶器類が主体。

所見 東端は12号溝に合流。底面レベルは12号溝より30cmほど高い。また13号溝と直交するが、新旧関係は不明。西端は端気川で切られる可能性が高い。近世絵図から、16世紀以前に開削され、17世紀以降にはかなり埋没が進んでいたと考えられよう。3号・4号溝との細長い空間(35×4m)は土居が存在した可能性も考えられよう。

A区10号溝(第45・46図、PL.19~21)

位置 A区南東隅部

規模 検出長11m、幅435cm、深さ73cm。底面レベルは南側へ緩く傾斜。

走向 N-20°-W、東へ屈曲して11号溝に合流する。

断面の状況 浅い箱葉研堀状。埋土下層は粘質土、上層は地山土ブロックを含む。埋土観察から掘り直した形跡あり。11号溝に切られる。

出土遺物 なし。

所見 11号溝との合流部分での底面レベル差は10cmほどだが段差はなく連続する。

A区11号溝(第45・46図、PL.20・21)

位置 A区南東端部

規模 検出長18m、幅472cm、深さ90cm。底面レベルほぼ水平。

走向 N-18°-W、直線状で北端は12号溝に合流する。

断面の状況 箱葉研堀状。10号溝埋土を切る土層断面から、10号溝は直交して東に延び、その埋没後に11号溝が開削されたと考えられる。下層には腐食途中の植物を含む粘質泥土、上層には地山ブロックを含む土が堆積する。

出土遺物 なし。

所見 12号溝に合流して止まることから、両者は同時に存在した堀と考えて良い。ただし、近世絵図には見あたらないことから、16世紀代には埋没して機能を失っていた可能性が高い。

A区12号溝(第47図、PL.21)

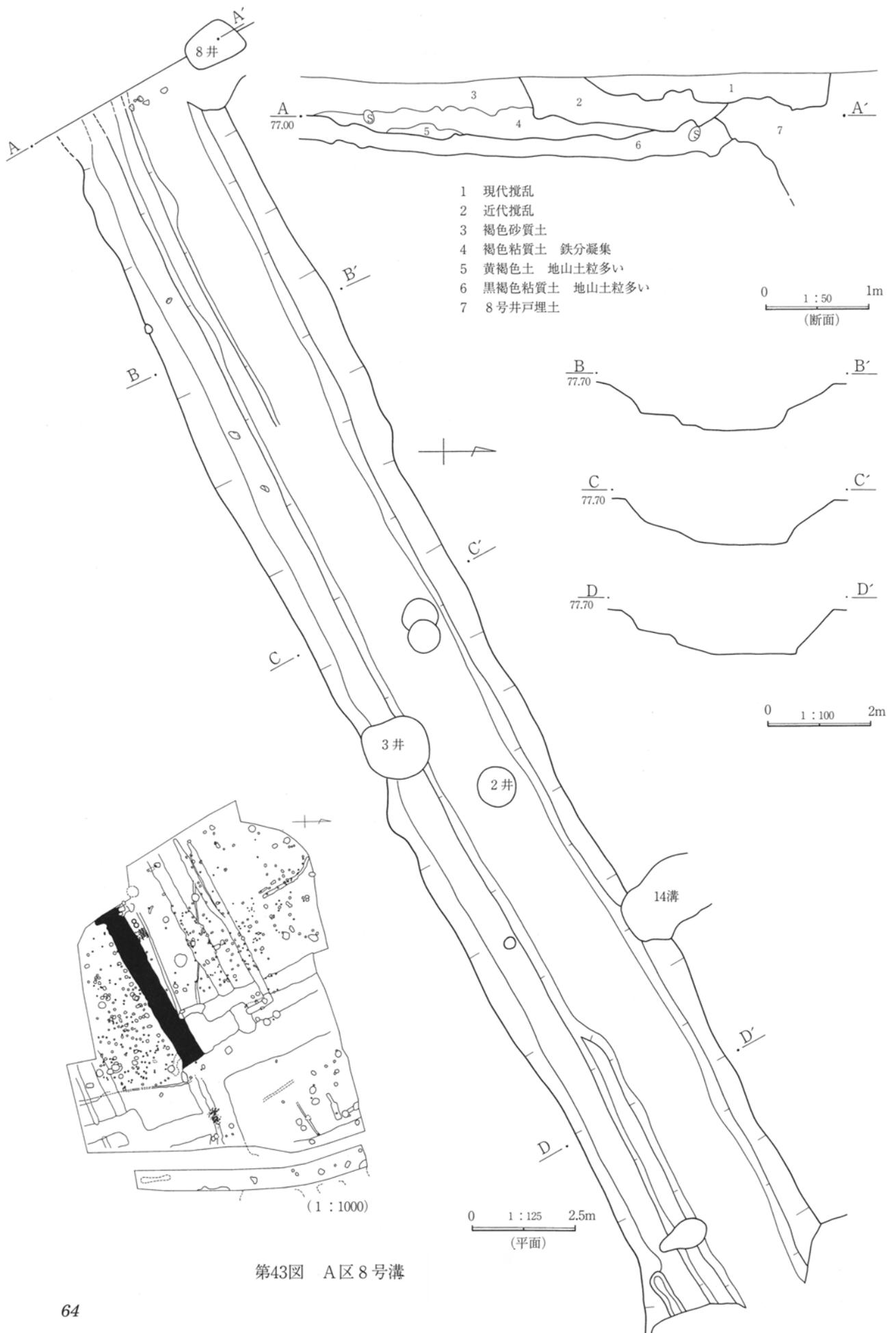
位置 A区北東半部

規模 検出長30+23m、幅830cm、深さ125cm。底面レベルは17号井戸重複付近で窪むが、全体的にはほぼ水平。

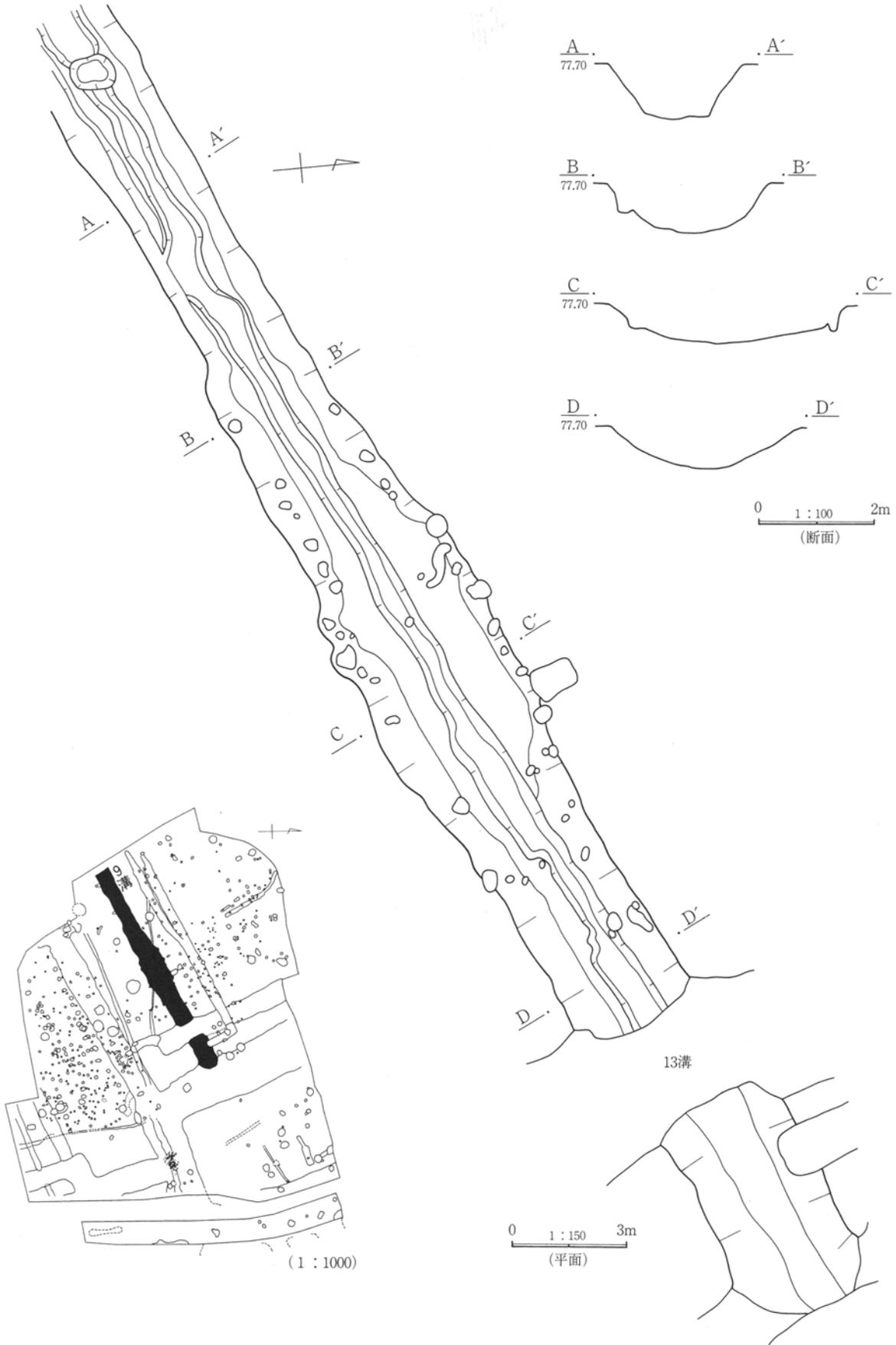
走向 N-25°-W、N-70°-E。ほぼ直角に屈曲。

断面の状況 箱堀状、下層には腐食植物を含む泥質土が堆積する。ある程度埋没した後の掘り直しが見られる。

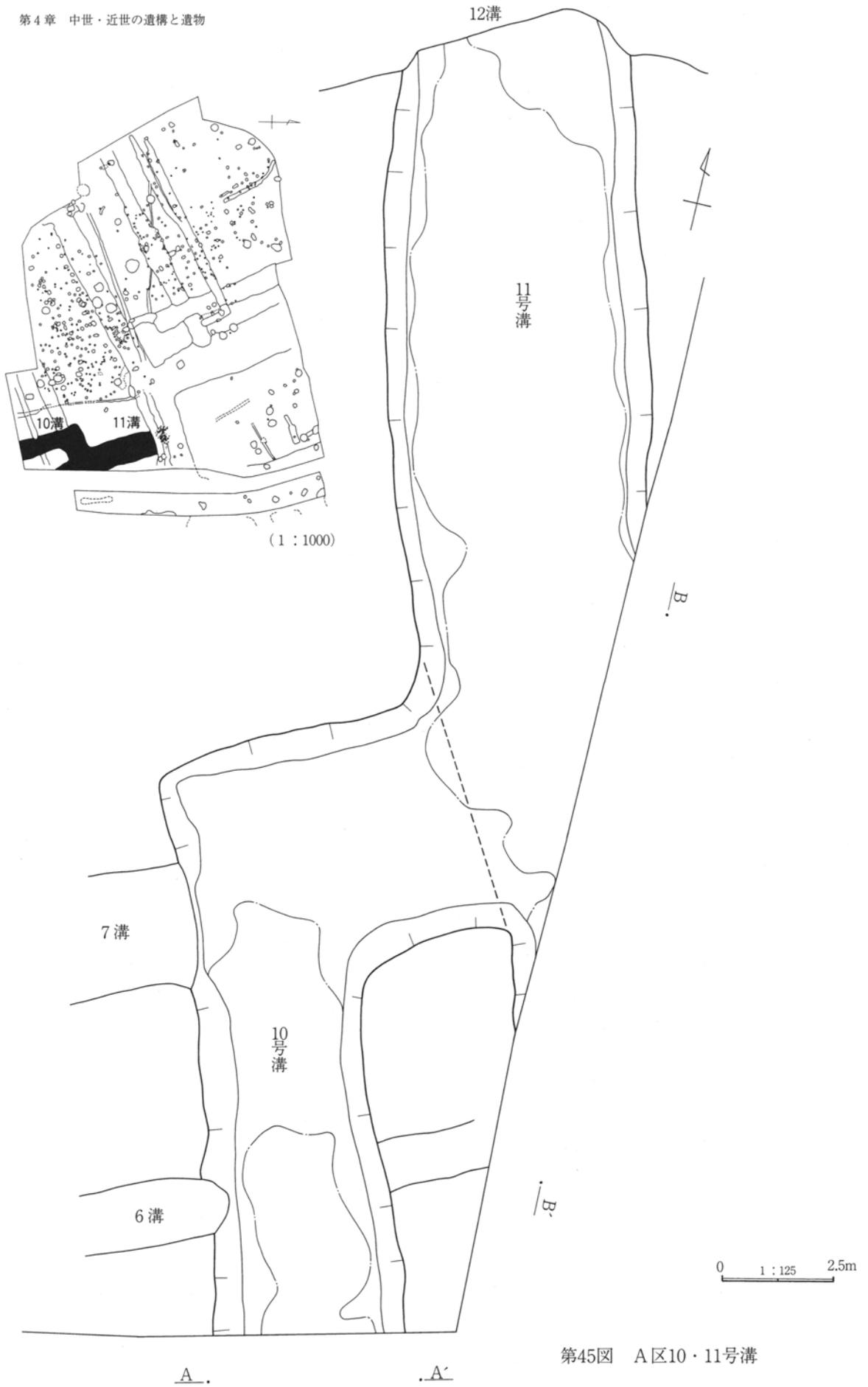
出土遺物 中世~18世紀代の陶磁器類を主体に板碑片、石臼、銭貨等が出土。北端部埋土に多い。



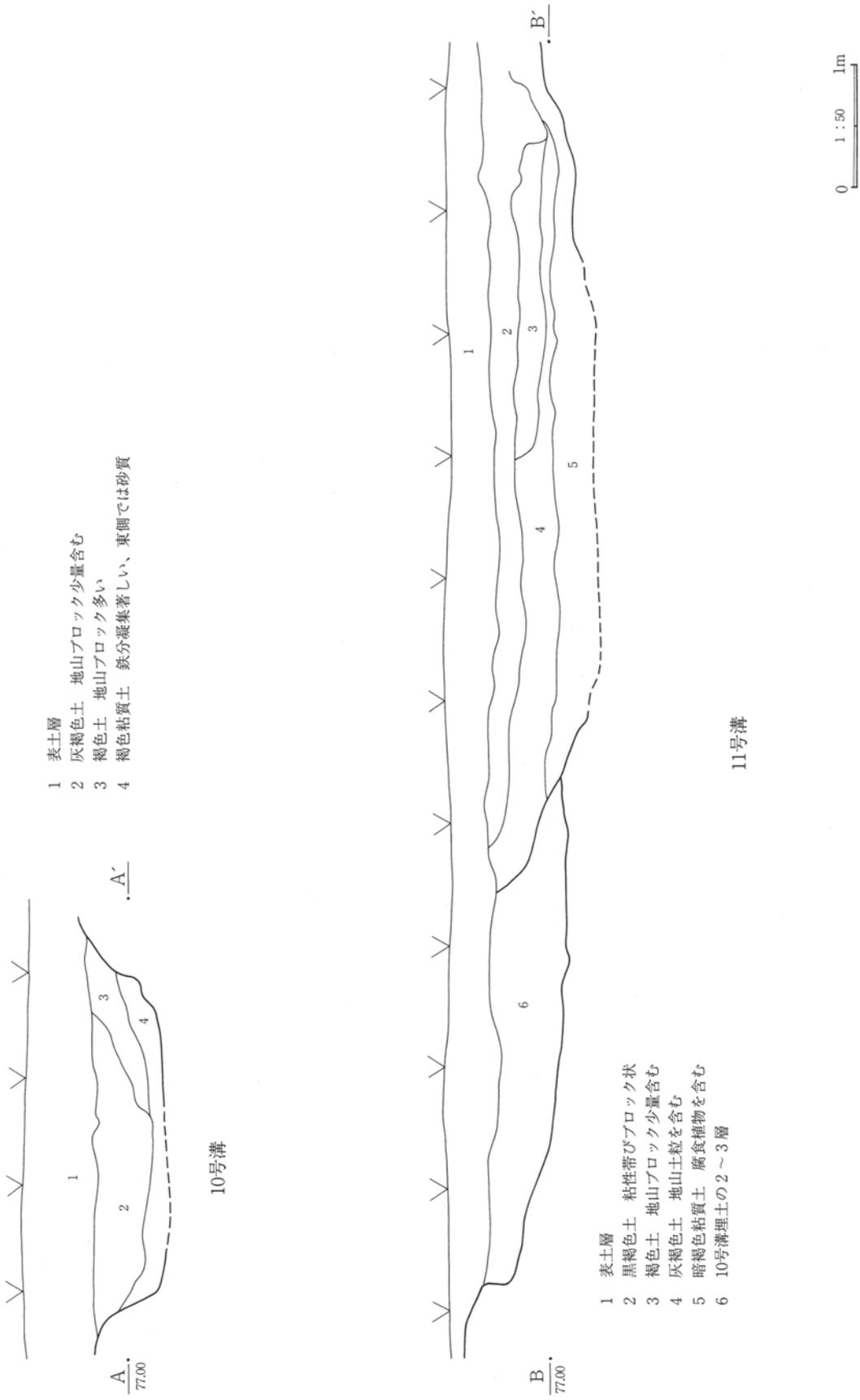
第43図 A区8号溝



第44図 A区9号溝



第45図 A区10・11号溝



第46図 A区10・11号溝土層断面

所見 8号・9号・11号溝が合流して止まることから、これらと同時期に機能していた可能性は高い。だとすれば開削時期は15世紀まで遡るだろう。ただし、近世絵図でも堀として描かれているから、出土遺物に示された18世紀代までは存在したと考えて良い。それが土層断面でみられる掘り直しの芯溝に相当するのではないだろうか。重複する14号井戸と19号井戸は出土遺物から、本溝より新しいと考えられる。

その他 11号溝との合流地点で、集石が見られたので「2号集石」と命名した。拳～人頭大の円礫が3.5×1.5mの範囲に集中して出土。他に羽口とかわらけが出土した。ただし、特別な施設を伴わず、上位から下位まで50cmほどのレベル差があること、他に特殊遺物や土層が見られないことから、窪みに廃棄された礫群と考えたい。これが12号溝埋土内か、後世の廃棄かは確認できなかった。なお、本溝の東端は現道路下で著しい攪乱を受けていて、その延長部が判明しなかったが、走向と規模からB区6号溝に連続するか、あるいは道路下で南北に走るA区16号溝に合流すると考えたい。

A区13・14号溝（第48図、PL.21・22）

位置 A区北半中央

規模 検出長28m、幅380cm、深さ90cm。底面レベルはほぼ水平に続き、9号溝交差付近から以南は10cmほどの深さで段状にくぼむ。

走向 N-30°-W、直線状。

断面の状況 箱堀状、埋土は白色粘土と砂質土の混土で、東側から流れ込むように堆積する。

出土遺物 基部の一部を欠損したのみの板碑が出土。新しいものでは幕末～明治の陶磁器が少量出土。

所見 南端は幅190cm、深さ50cmの14号溝で8号溝に合流する。14号溝は当初からというより、後に開削され8号溝との間の土橋状部分を切断したのではないか。その場合、小規模であることから防御の意味合いよりも、溜水を流す意図と考えたい。なお、

14号溝の西側法面には径30cm前後の小規模なピット2基が約3m離れて検出されたが、本溝に伴う施設との確認はできなかった。一方、13号溝の中間部で4号溝と重複する箇所南北双方で、東西両岸に相対するピット6基が検出された。土層などから本溝に伴うとの確証は得られなかったが、その配置関係から堀を越える橋脚の可能性は考えておく必要があるだろう。また、13号溝は中間で4号溝に切られるが、これと平行する9号溝との新旧関係は確認できなかった。重複遺構の新旧関係から、本遺跡で検出された屋敷跡関連の溝のなかでは、最も古段階に埋没し機能停止したと考えたい。

A区15号溝（第49図、PL.22）

位置 A区北西端

規模 検出長12m、幅88cm、深さ23cm。底面レベルはほぼ水平。

走向 N-30°-W、弱く湾曲して北西へ。

断面の状況 箱堀状、砂質土が堆積するが、洪水埋没とは考えにくい。

出土遺物 近世陶器片1点が出土。

所見 地境あるいは宅地等を区画する小溝と思われるが、他の堀などとの関係は不明。

A区16号溝（第49図、PL.22）

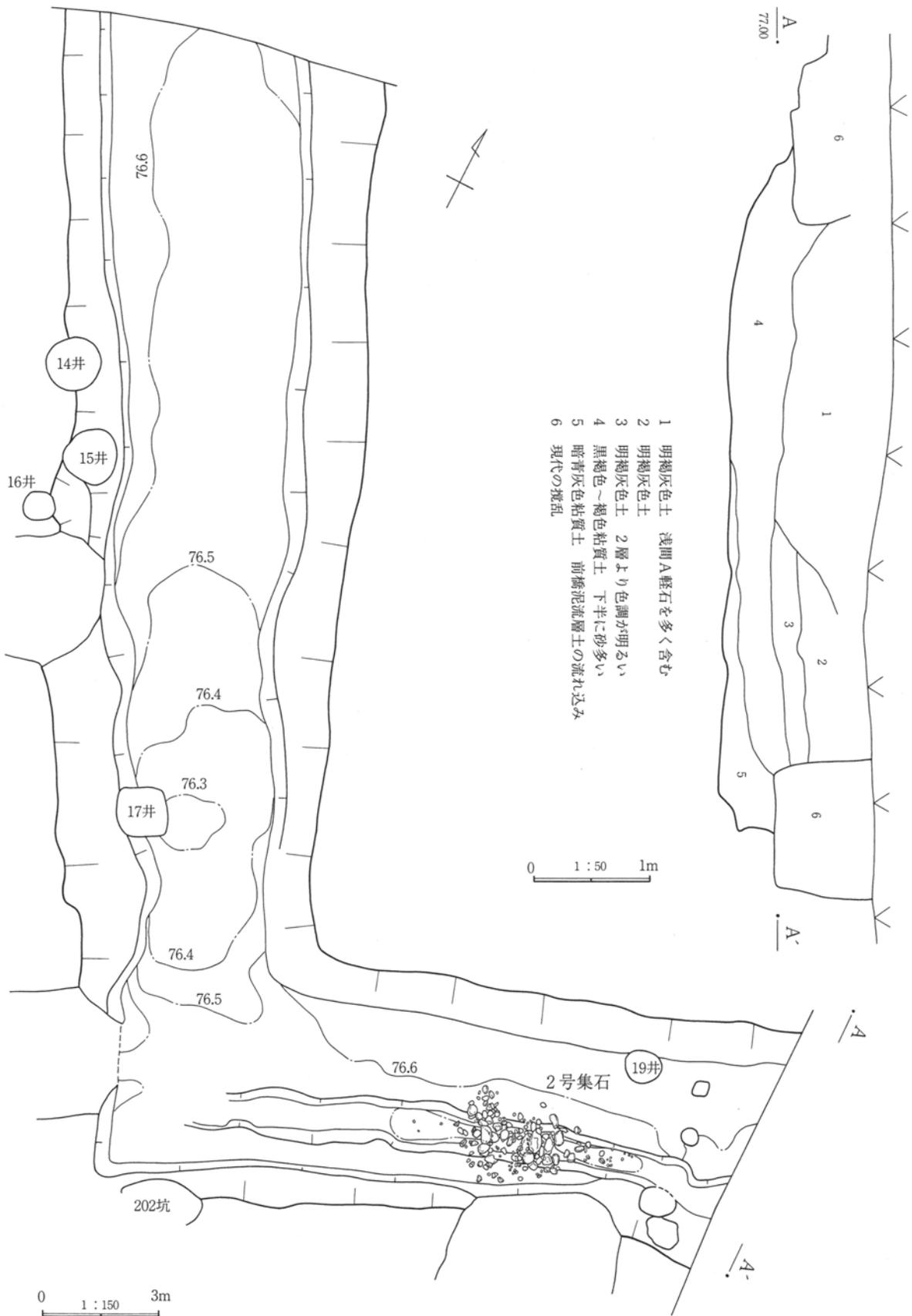
位置 A区東端

規模 検出長14m、幅と深さは不明だが、現道路下で検出されたB区1・2号溝と合流する南北溝法面を東岸とすれば、幅8mを測る。

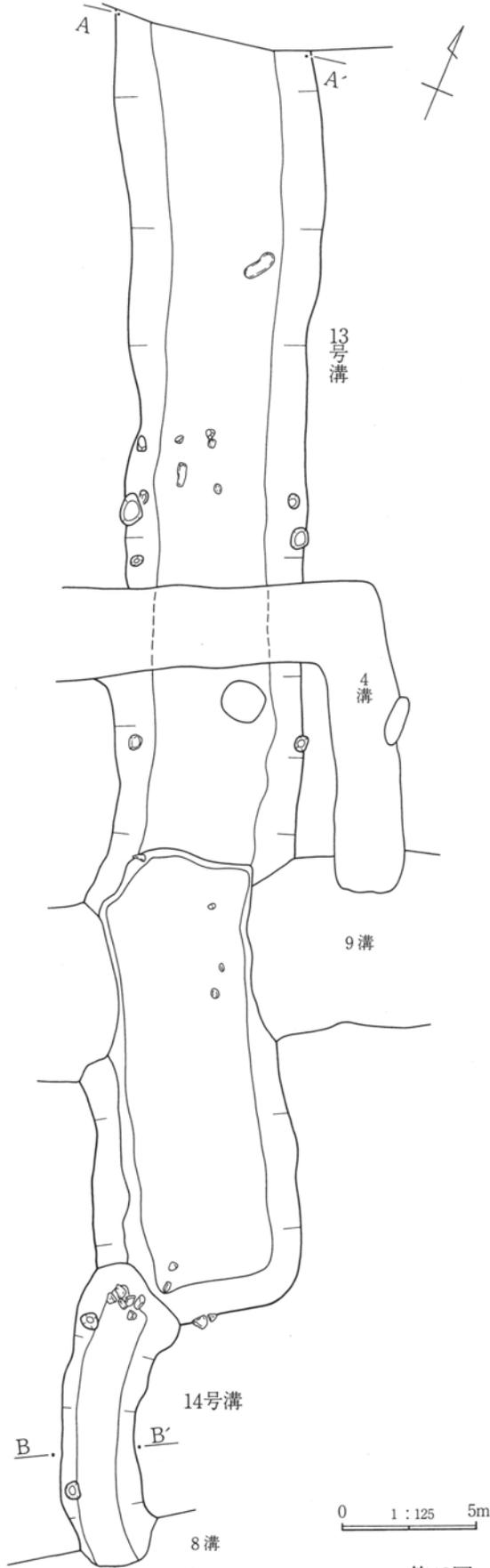
走向 N-20°-W

出土遺物 幕末以降近代の陶磁器類が主体。現道路施設まで機能していたことが推測される。

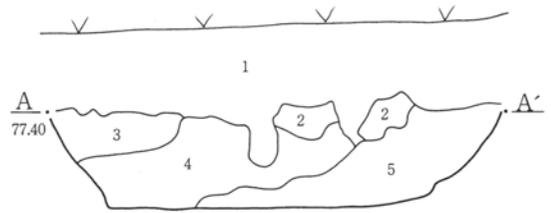
所見 近世絵図には北部末端で閉じる溝として描かれている。それによれば、12号溝とともに方形の郭を構成したと考えられる。南方延長部は攪乱により検出されなかった。



第47図 A区12号溝



(1 : 1000)

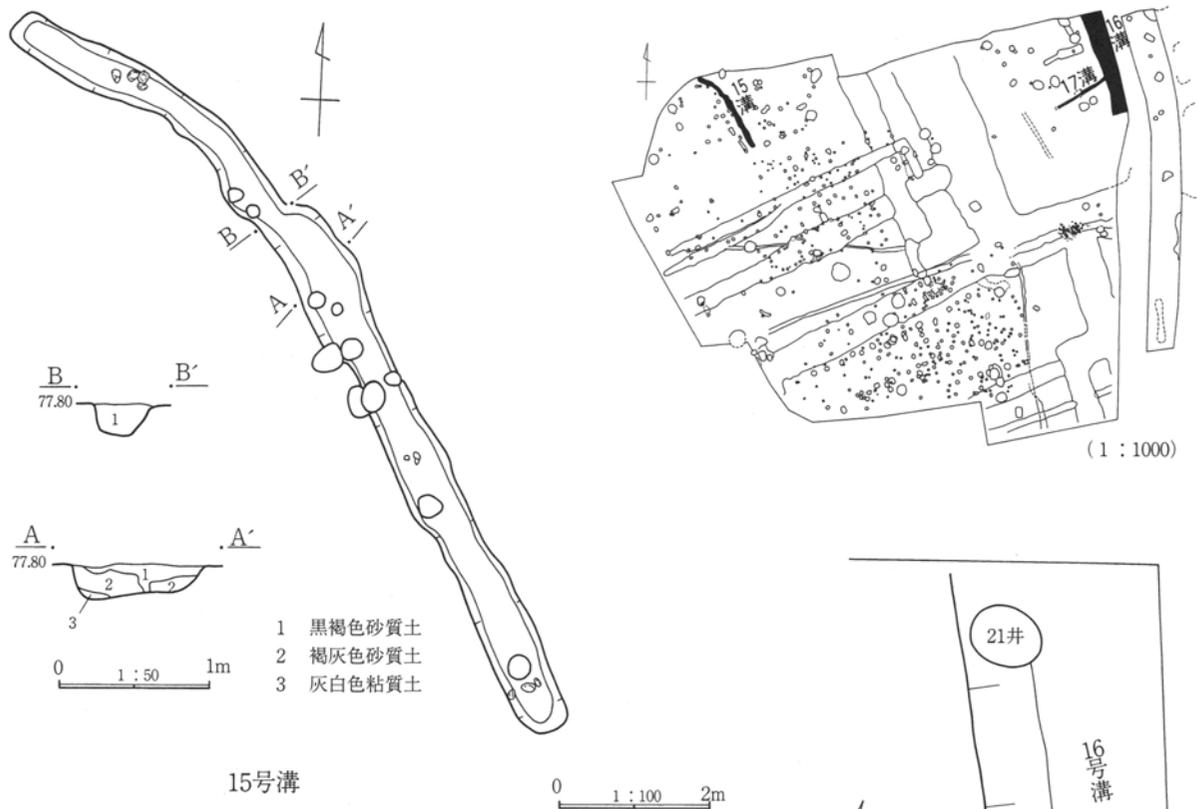


- 1 表土層
- 2 褐灰色粘質土
- 3 黒色粘質土 白色粘土粒を多く含む
- 4 黒褐色粘質土 白色粘土粒と砂質土を含む
- 5 白色粘質土と褐灰色砂質土の混土



- 1 黄灰色土ブロックと黒褐色土ブロックの混土
- 2 黒褐色粘質土

第48図 A区13・14号溝



A区17号溝 (第49図、PL.22)

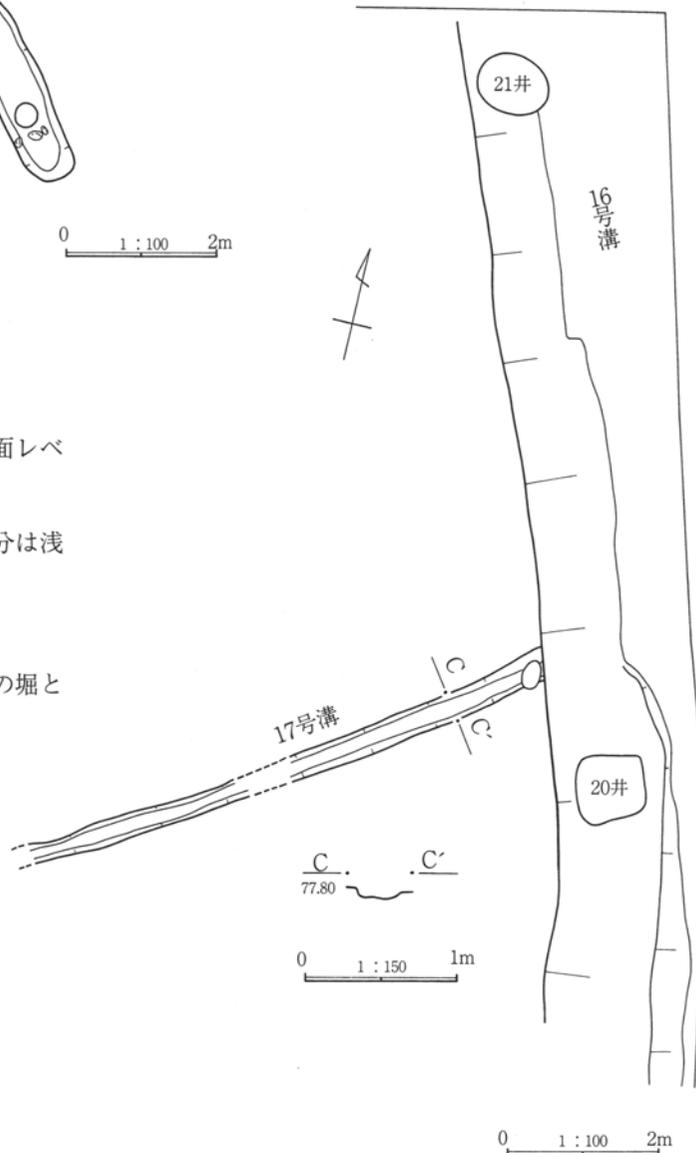
位置 A区北東部

規模 検出長8m、幅37cm、深さ9cm。底面レベルほぼ水平。

走向 N-55°-E、直線状で、西端延長部分は浅くなり検出できなかった。

出土遺物 なし。

所見 地境に関わる小溝と思われるが、他の堀との関係は不明であった。



第49図 A区15~17号溝



第50図 近世絵図と照合する溝

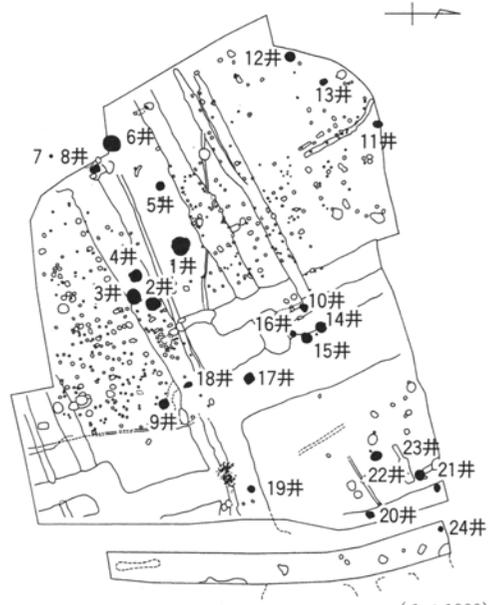
(3) 井戸

概要 中世～近世の井戸はA区で24基が検出された。そのうち24号井戸はB区に位置するが、A区調査時に検出され命名した上で、同時に発掘調査が行われたので、ここでは調査段階での名称に従いA区に含めて扱う。

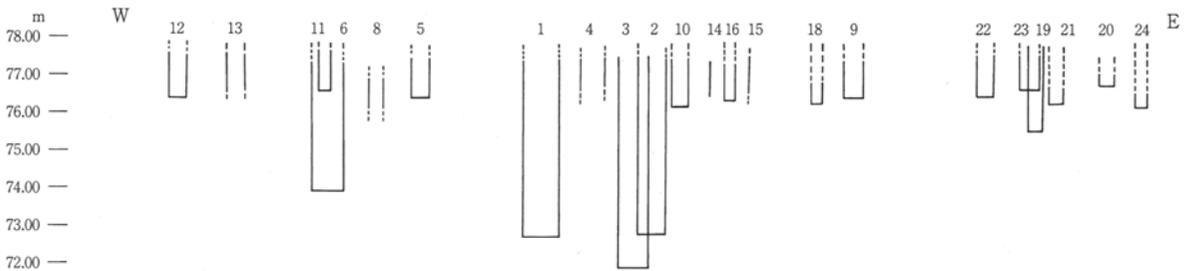
井戸の分布は、A区中央部（1～10・14～18号井戸）と北西端（11～13号井戸）、北東端（20～24号井戸）に大まかな群在状況を示す。ただし、これは時期の異なる井戸の累積分布の結果であり、そのことに特別な傾向を見いだすことはできない。むしろ、中～近世の時間幅のなかで井戸の分布しない空白地の意味が重要だろう。そのような場所は永続的に宅地等の目的で用いられ、井戸はその付属施設としてある程度限定された場所に掘られたと考えられる。A区1～5・9・18号井戸などは、その南側に想定される建物群（1～8号掘立柱建物跡）との位置関係で理解すべきであろう。

井戸の断面分布及び深さの比較を第51・52図に示した。最も深いのは3号井戸で、検出面から5mを越える。1～3・6号井戸の4基は、硬い礫層からなる前橋泥流を深く掘り込み泥流内の砂質層に達する。その他の多くは、標高76m前後の前橋泥流層内の硬質礫層か、その上位のローム層～前橋泥炭層で留まっており、湧出量に限界があったと想定されながらも、井戸としての機能は果たしたようだ。

個々の井戸に関する位置や計測値、出土遺物等のデータは第4表に掲げた。これ以外に主要なものを選んで所見を述べた。



第51図 A区井戸分布図 (1:1000)



第52図 A区井戸断面分布図

第4表 A区中・近世井戸一覧表

遺構番号	グリッド	平面形	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 (m)	出土遺物	備考
1井戸	965・970-210・215	楕円形	250×226	475	72.75	かわらけ、鉢、石臼、板碑、羽口	中世
2井戸	965-205	円形	172×170	445	73.12	板碑、碟、染付碗、内耳鍋	近世
3井戸	960-205	円形	141×172	505	71.97	石、香炉、鉢	近世
4井戸	960-210	円形	150×140	97	77.58	碟、焙烙、砥石、石臼	中～近世
5井戸	965-220	円形	105×100	100	77.26	碟	時期不明
6井戸	960-225	円形	(215)×(205)	(356)	73.90		時期不明
7井戸	955-225	円形	76×64	48	76.00	碟	時期不明
8井戸	955-220	長方形	127×92	71以上	76.18	碟、かわらけ、(石鉢)	(中世)
9井戸	965-190	円形	133×132	107	76.36	碟、かわらけ片	中～近世
10井戸	985-205	楕円形	115×97	126	76.19	碟	4号溝を切る
11井戸	955-225・230	円形	125×92	107	76.61	碟	時期不明
12井戸	980-235	円形	137×134	119以上	76.50	碟	時期不明
13井戸	985-235	楕円形	110×76	105以上	76.58		時期不明
14井戸	985-200	円形	140×137	100	76.43	焙烙、かわらけ、砥石、五輪塔、石臼	中～近世
15井戸	985-200	円形	144×134	103	76.42	碟、板碑、五輪塔	中～近世
16井戸	980-200	円形	80×75	105	76.38	碟、播鉢	中～近世
17井戸	975-195	隅丸方形	128×128	191	74.36		12号溝を切る、近世か
18井戸	970-195	楕円形	118×65	74	76.31		8号溝を切る近世以降
19井戸	975-180	円形	93×85	104	75.60	土管、板	近代か
20井戸	990-125	方形	90×83	89	76.77		16号溝を切る、近代か
21井戸	000-180	円形	96×81	48	76.34		16号溝を切る、近代か
22井戸	990・995-185	円形	148×125	121	76.56	骨	時期不明
23井戸	000-180	円形	127×111	123	76.60		時期不明
24井戸	000-175	円形	72×61	35	76.26		16号溝を切る、近代か

A区1号井戸（第53・54図、PL.23・24）

所見 平面が円形で、開口部が播鉢状にやや開く筒状の掘方で、井戸枠や井桁等の施設は確認できなかった。筒状部の内径は1mと細い。硬い前橋泥流層の部分ではほぼ掘方原形を保っているようだが、地山が砂礫層になる下位部分では掘方壁が崩れて、わずかにえぐれている。底面は平坦で、集水あるいは浄水の機能を果たすような施設や構造は確認できなかった。井戸枠を設けない素掘りの井戸だった可能性もある。

検出した時点で、多量の碟と土器片の集中が見ら

れたが、それは井戸内に投棄された遺物群であることが判明した。出土遺物は検出面から深さ2.5mまでの井戸中位以上に集中して充満しており、下位ではほとんど見られない。従って、井戸の機能が失われてある程度埋没、あるいは埋め戻した後に、これらの投棄が行われたと考えられる。

遺物分布の具体相を把握するために、上位の検出面から順に下げるに従い、面的な分布状況を記録することとした。その面数は13面に及ぶが、あくまでもこれは便宜的な附番であって、等レベル間隔での記録や間層が存在したための面設定ではない。第1

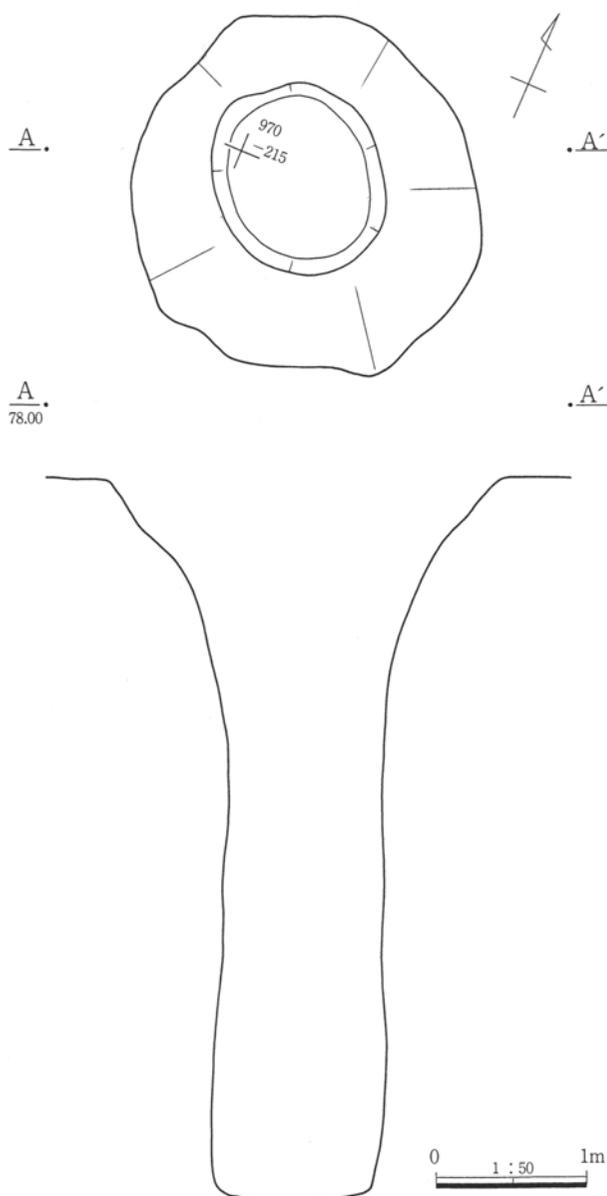
面は検出面に相当し、ここから50cmの深さまでに5面を設定した。遺物の上位レベルではほぼ10cm間隔といっても良いが、当然のことながら大きな遺物に関しては、複数の面にまたがる。検出面から約70cm下位の第8面以下については、遺物分布密度が低いいため、平均して約40cmのレベル間隔に含まれる遺物分布を面として捉えた。従って第8～13面で図化された遺物は、上下レベルで30～40cmの高低差があると理解して欲しい。

第54図は、面毎の遺物分布を内耳土器や鉢などの軟質陶器類、かわらけ（杯）、羽口、陶磁器の4種に分けて表現したものである。質量としては軟質陶器類とかわらけが圧倒的多数を占めるが、軟質陶器類は大型で破片数が多いため、個体数としてはかわらけが主体を占める。かわらけは図示した363個体のほかに約8kg分の破片が出土している。これに比べて陶磁器は青花及び青磁碗、常滑甕の小片が数点しか見られない。羽口は未使用品も含めて6個体分が出土した。第1・2面で中央が空白なのは人頭大の礫があるためで、実際には第1面から13面まで石臼、板碑、五輪塔を含めて礫が投棄されている。第10面以下はほとんどが礫か石造品である。なお、底から約3mの高さにあたる井戸中位の第12面では、径5cm長さ30cmほどの竹片が横たわって出土したが、「息抜き」に使用されたとの確認はできなかった。主体であるかわらけや軟質陶器類は第7面以上の播鉢状に開いた部分から出土する。当時の深さは1m前後であったと考えられるから、祭祀的意味を失い、すでにたんなる廃棄坑となっていた可能性も考えられようか。なお、第1～6面の間で出土遺物の接合関係が多く見られることから、この間の遺物は一括品として捉えることができる。

土器と陶磁器の年代観から、井戸の廃棄は16世紀にはほぼ限定できよう。

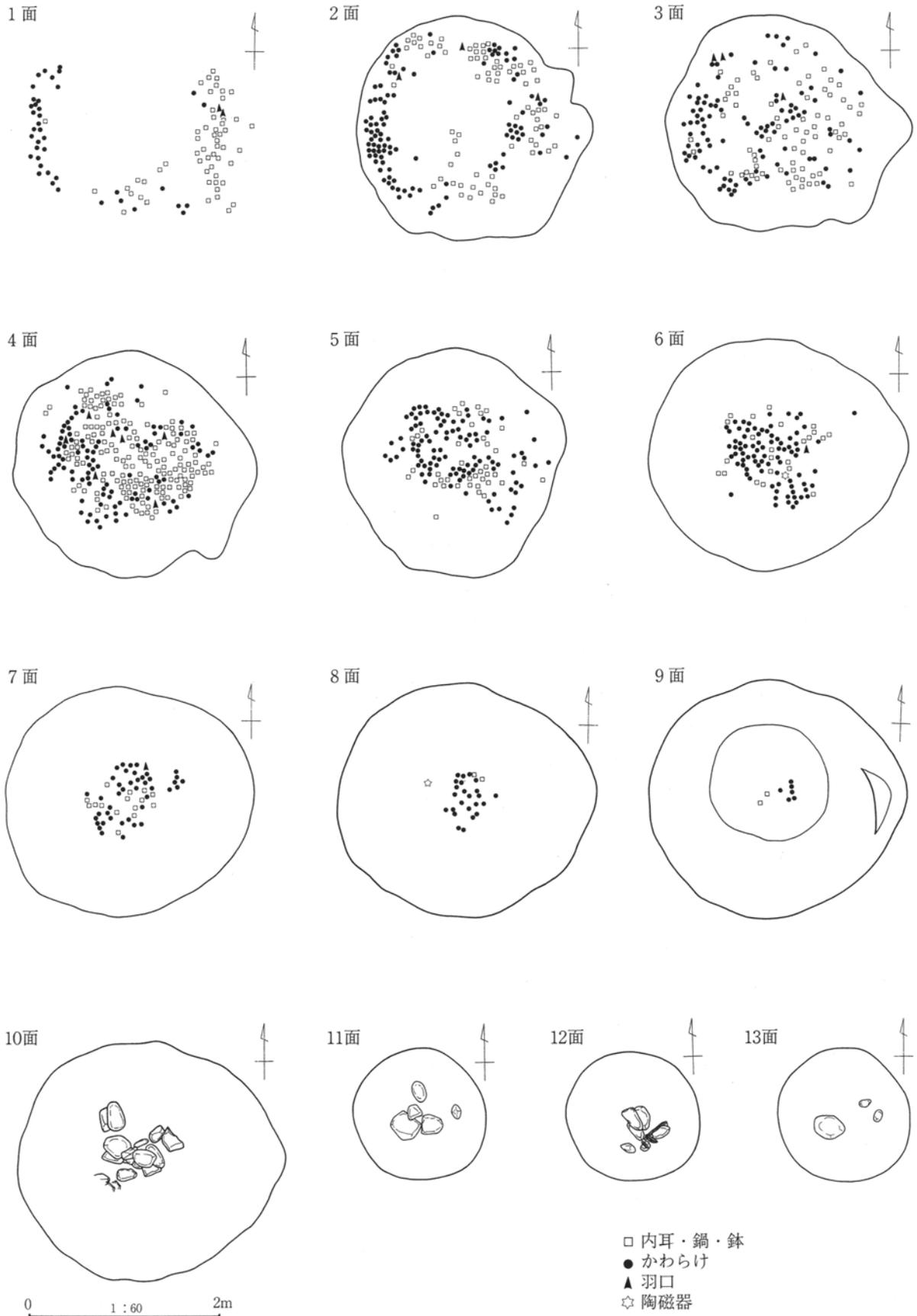
A区2号井戸（第55図、PL.24）

所見 埋没した8号溝を切って開穿されている。1号井戸と同じく、開口部が播鉢状で、細い筒状の



第53図 A区1号井戸

掘方をもつ。筒状部の内径は70～60cm。井戸枠や井桁等は検出されなかった。北側にスロープ状の平坦面がある。検出面から50～100cmの深さで10～30cm大の礫がまとまって出土し、板碑片や染付碗、軟質陶器が混在している。碗の時期から下限は18世紀と考えられる。



第54図 A区1号井戸遺物出土分布図

A区3号井戸 (第56図、PL.25)

所見 1号井戸と同様に、播鉢状に開く開口部と細い筒状の掘方をもつ。筒状部内径は60cm。8号溝を切って開穿される。出土遺物は完形の香炉と鉢片以外はほとんどない。下限は18世紀代か。



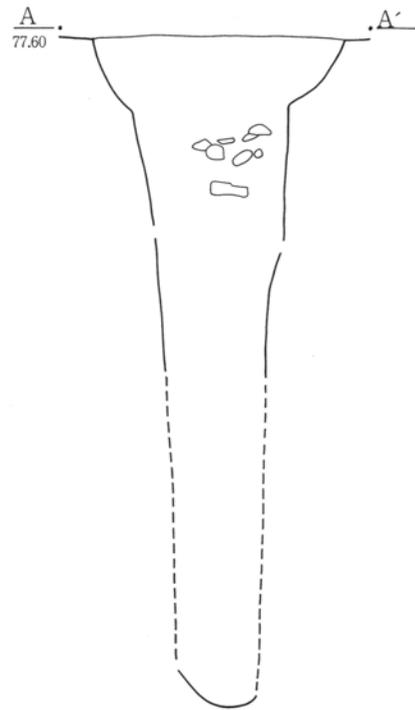
A区4号井戸 (第56図、PL.25)

所見 開口部が播鉢状に開く掘方で、底面までの深さは約1mまで掘削したが、下半は不明。切っている8号溝底面では下部痕跡が認められなかったのので、深さは2m弱と考えられる。播鉢状の部分に10~30cm大の礫で充満している。焙烙のほか、大型砥石、周縁を欠いた石臼片が出土している。18世紀代と捉えておきたい。

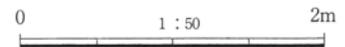


A区5号井戸 (第57図、PL.25)

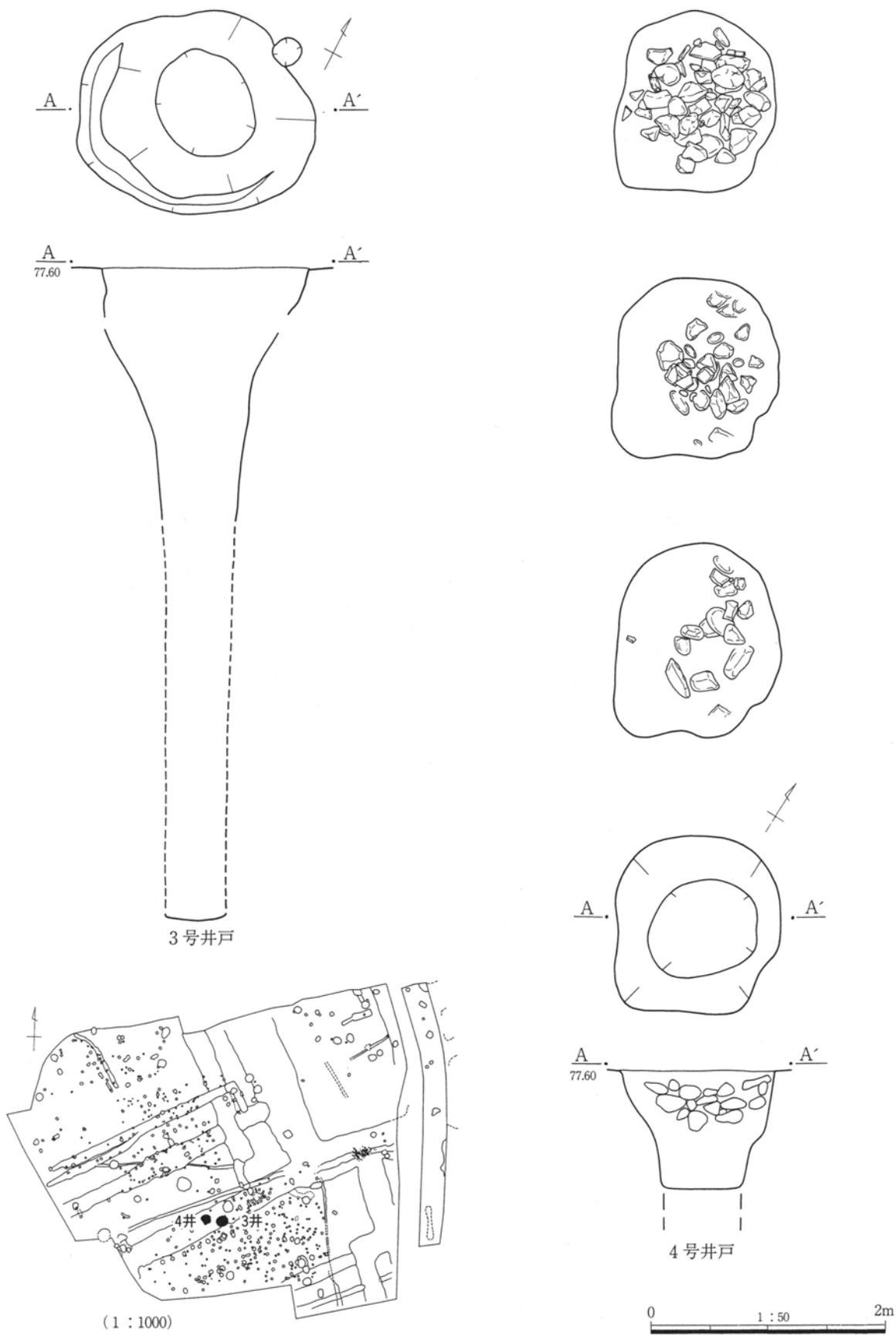
所見 上端平面は円形、底面が隅丸方形、筒状の掘方で、筒状の内径は70cm。検出面からの深さは1m前後で、ローム層中の暗色帯で止まる。量は期待できないが、調査時点で湧水を見る。時期不明。



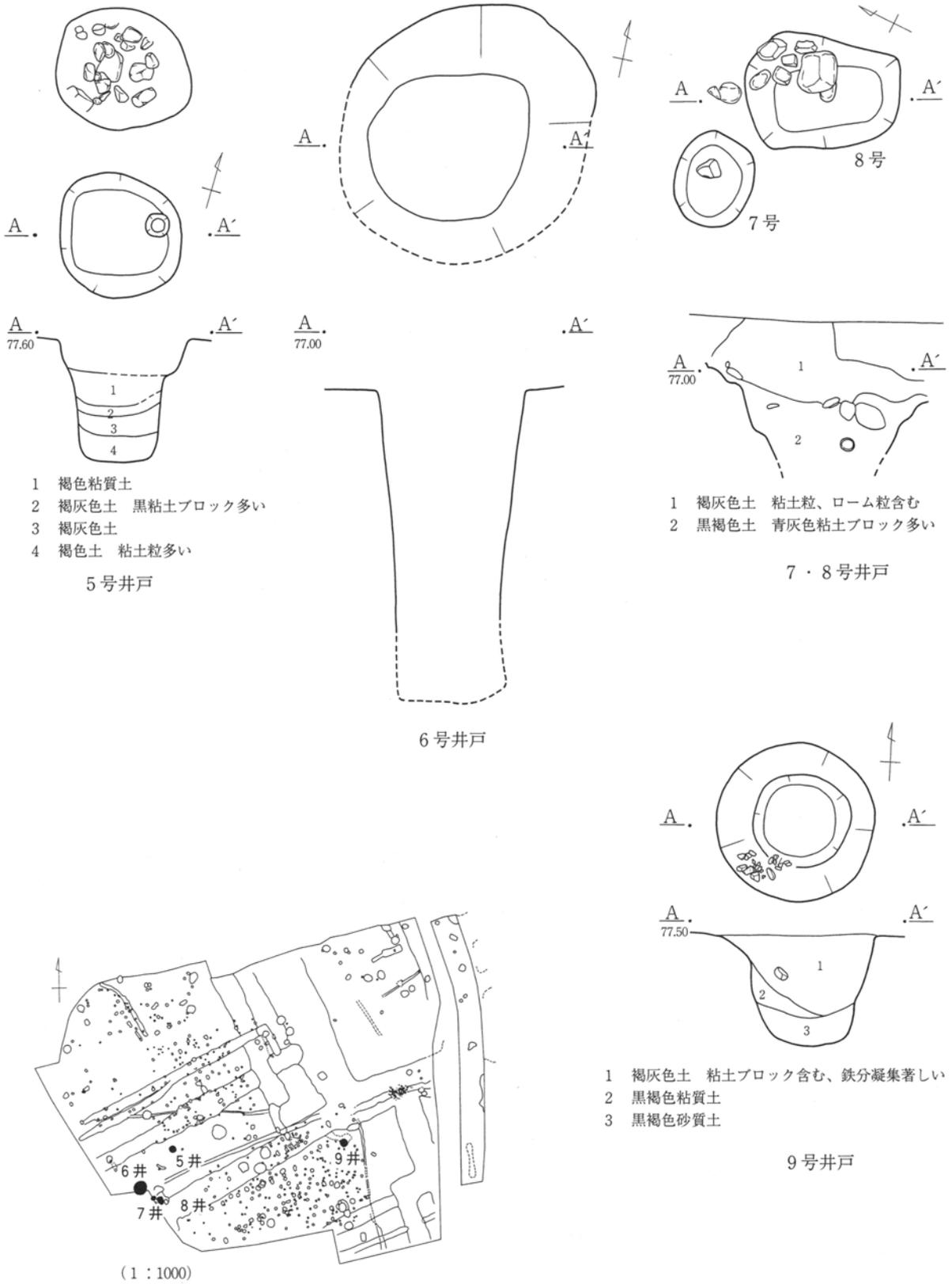
(1 : 1000)



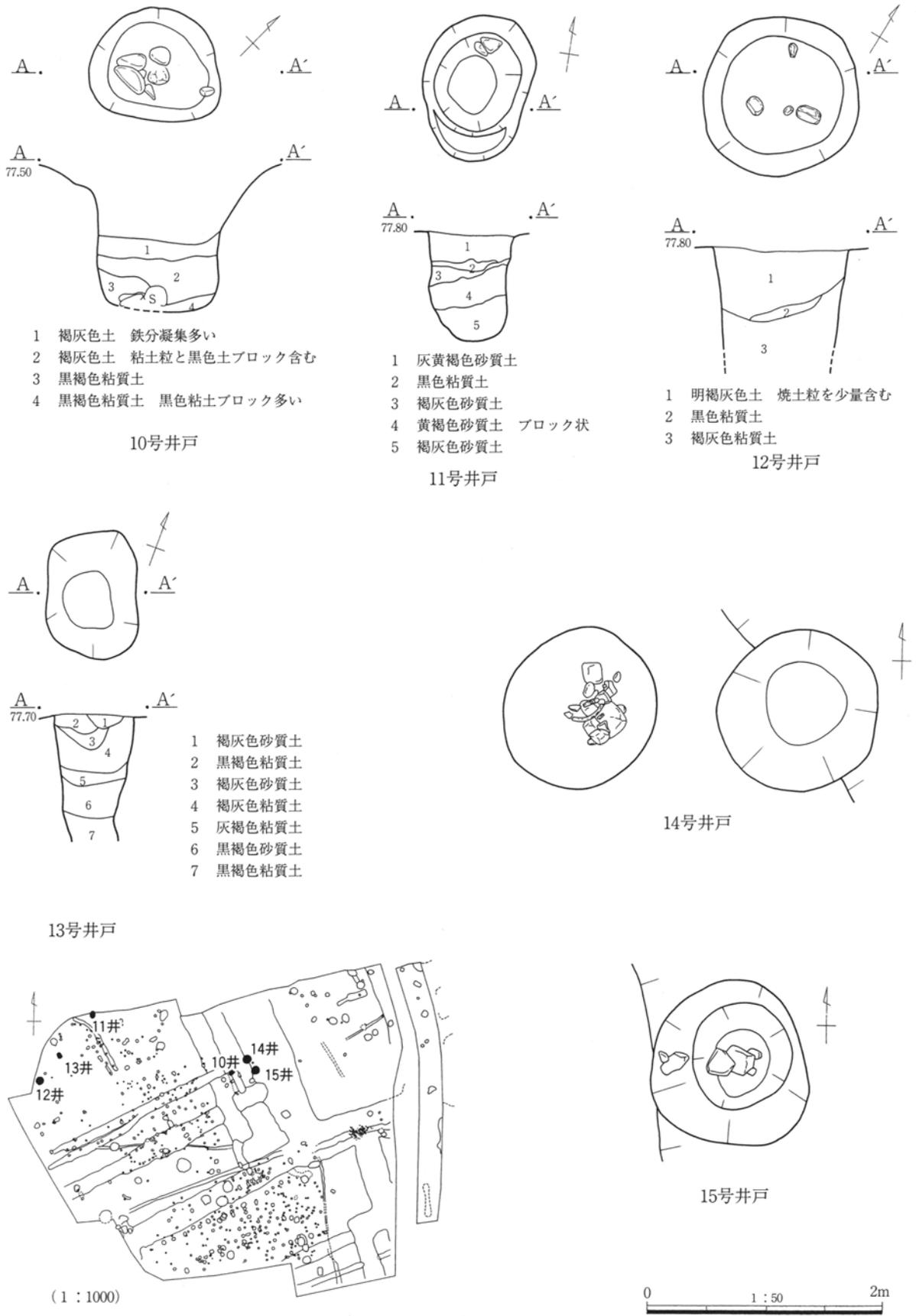
第55図 A区2号井戸



第56図 A区3・4号井戸



第57図 A区5～9号井戸



- 1 褐灰色土 鉄分凝集多い
- 2 褐灰色土 粘土粒と黒色土ブロック含む
- 3 黒褐色粘質土
- 4 黒褐色粘質土 黒色粘土ブロック多い

- 1 灰黄褐色砂質土
- 2 黒色粘質土
- 3 褐灰色砂質土
- 4 黄褐色砂質土 ブロック状
- 5 褐灰色砂質土

- 1 明褐灰色土 焼土粒を少量含む
- 2 黒色粘質土
- 3 褐灰色粘質土

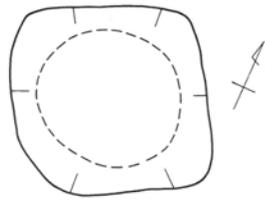
- 1 褐灰色砂質土
- 2 黒褐色粘質土
- 3 褐灰色砂質土
- 4 褐灰色粘質土
- 5 灰褐色粘質土
- 6 黒褐色砂質土
- 7 黒褐色粘質土

第58図 A区10~15号井戸

1 A区の遺構と遺物



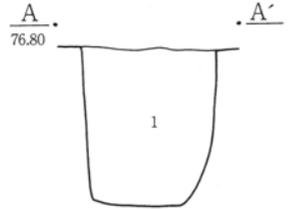
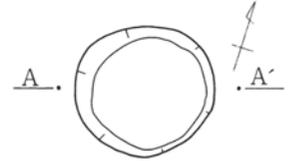
16号井戸



17号井戸



18号井戸

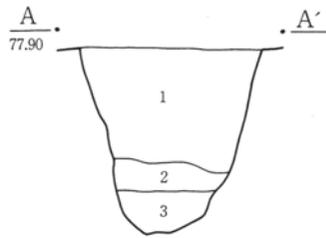
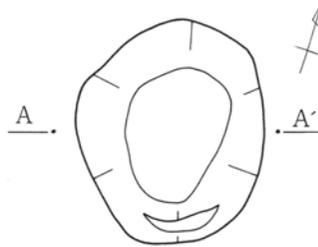


1 にぶい褐色土 鉄分凝集をみる

19号井戸

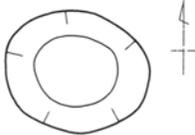


20号井戸

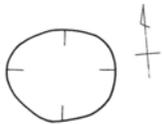


- 1 褐灰色土 粘土ブロックを少量含む
- 2 褐灰色粘質土
- 3 黒褐色粘質土

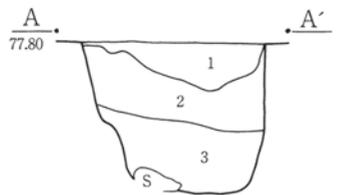
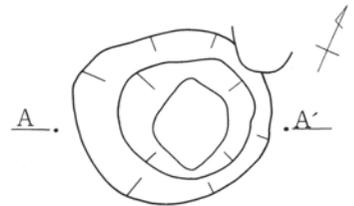
22号井戸



21号井戸



24号井戸

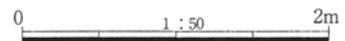


- 1 明褐灰色粘質土 粘土粒多い
- 2 明褐灰色粘質土
- 3 灰白色粘土 ブロック状、地山土の流入

23号井戸



(1 : 1000)



第59図 A区16~24号井戸

A区6号井戸（第57図、PL.26）

所見 内径1mの筒状の掘方をもつ。底面は前橋泥流内砂層に達している。時期不明。

A区8号井戸（第57図、PL.26）

所見 長方形平面を呈し、方形板組の井戸枠があった可能性があるが、検出はされなかった。上位で拳～人頭大の礫、かわらけが出土。下限は16世紀と思われる。

A区9号井戸（第57図、PL.26）

所見 5号井戸と同じくローム層暗色帯で止まる浅い井戸。これと同様の例は10・11・20・22・23号井戸で、内径0.7～1mの円形掘方をもつ。これらは、時期を推定できる遺物は出土していない。なお、22号井戸からは骨片が出土したが、墓であったとの確証は得られなかった。

A区13号井戸（第58図、PL.27）

所見 平面楕円形で、内径50cmの細い筒状の掘方をもつ。底面は不明瞭だが、湧水層に達する。形態や規模で近似するのは16・18・21・24号井戸で、極めて細長いのが特徴。

A区14号井戸（第58図、PL.27）

所見 12号溝の西岸を切るように検出された。円形筒状の掘方で、上位から礫、焙烙、かわらけが出土した。17世紀まで下る可能性がある。

A区20号井戸（第59図、PL.28）

所見 方形で、深さは1.8mに達する。板組の井戸枠が遺存していた。出土遺物はないが、墓の可能性も考えられる。

(4) 墓墳

A区54号土坑（第60図、PL.30）

位置 955-195グリッド

平面形 不整楕円形

規模 90×46cm、深さ25cm

主軸方向 N-42°-W

出土遺物 20～30cm大の礫5点が、北西半に偏って底面から数cm浮いた状態で出土している。廃棄というより、故意に置かれたものと考えたい。北西端の礫の下に散在した状態で寛永通宝10枚が出土した(PL.30)。人骨の出土は見られない。

所見 家屋の存在した近世屋敷地内にあり、1号～8号掘立柱建物跡群の南側空き地に位置する。ただし、建物群と直接の関連があったかとの確証は得られなかった。他の墓と思われる土坑が桶を伴う深い構造をもつのに比べて、非常に浅いのが特徴。横臥土葬の可能性が考えられるが、規模が小さいことや人骨を残さないことから、子供の墓であろうか。

なお、南東半には径35cmの浅い円形ピットが見られるが、本墓墳に伴うというより、建物柱穴のひとつと考えたい。土層断面で両者の重複関係を検討したが、明確な新旧関係は確認できなかった。

A区207号土坑（第60図、PL.30）

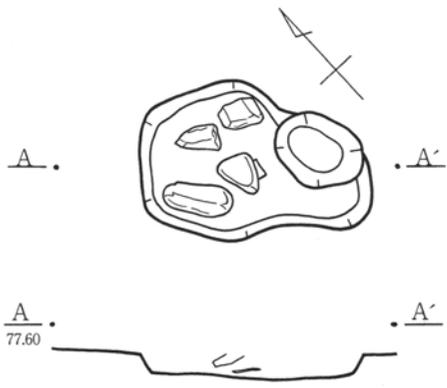
位置 990-180グリッド。16号溝の西側に2mほど離れて検出された。

平面形 円形、断面は台形状で上に開く。底面は平坦である。

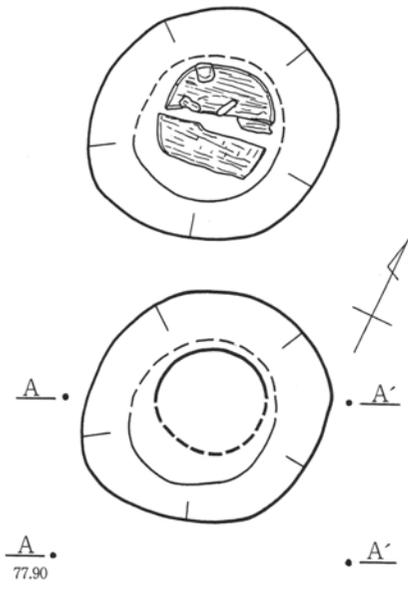
規模 100×92cm、深さ86cm。

埋土の状況 上半の埋土は人為的ともいえるブロック状の堆積土で埋まる。下位の桶内埋土は黒褐色の粘質土が堆積する。桶周囲の壁との狭い空間には地山の前橋泥流を利用した灰白色粘土ブロックを埋めている。

出土遺物 直径90cm（3尺）の底板（1116）を使った桶を中央に埋めている。側板は断面で80cmの高さまで確認できる。桶の底面には、頭骨片、四肢と思われる骨片が残存していたが、遺存状態が不良で鑑

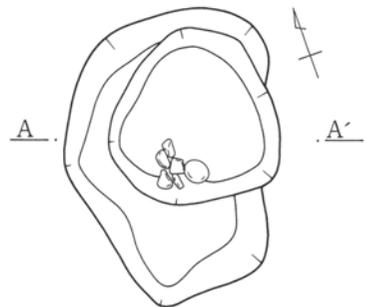
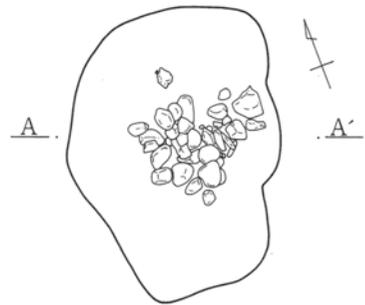
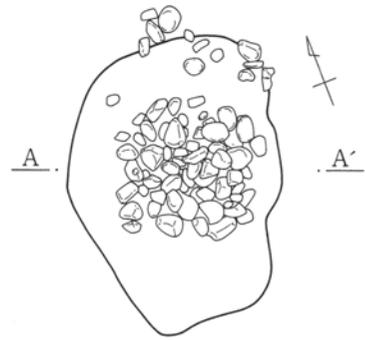
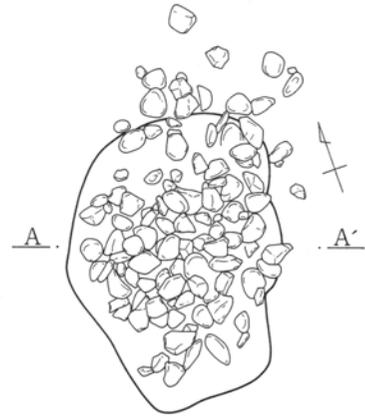
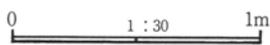


54号土坑



- 1 褐灰色粘質土 ブロック状
- 2 褐灰色粘質土 粘土ブロック含む
- 3 褐灰色粘質土 粘土ブロック少量含む
- 4 黒褐色粘質土 ほぼ均質
- 5 黒褐色粘質土 粘土ブロックが非常に多い

207号土坑



1号集石



第60図 A区墓壙及び集石遺構

定作業に耐えられなかった。他に18世紀代の染付碗3点(600~602)が出土している。ほとんど欠けていないことから廃棄品とは考えにくい。

所見 検出された地点は、遺構の非常に稀薄な空間で、井戸や性格不明の土坑数基が散在する場所にあたる。東側に3m離れて20号井戸が存在しており、これは先記したように方形の墓の可能性もある。本墓壙も人骨や桶の存在から墓と推定したが、疑問もある。埋土の観察から、桶が当初から固定されていたらしく、桶内の埋土が上層の人為的埋土と異なって粘性の強い黒色土で満たされていることだ。このことから、肥桶として使用されていた可能性も考えられる。だとすれば、その状態のまま遺骸を容れて墓に転用したとの憶測もありえようか。

(5) 集石遺構

A区1号集石遺構 (第60図、PL.29)

位置 950-205グリッド。1~6号掘立柱建物跡に隣接する南側に位置する。

平面形 掘方である土坑は、不整楕円形。断面は浅い皿状で、底面は小さな凹凸が多い。

規模 掘方は137×115cm、深さ47cm。集石の範囲は250×150cm。

検出の状況 10~20cm大の円礫を主として掘方内からまとまって出土している。礫の出土レベルは、底面から5~10cm浮いた状態のものが多い。数点については底面に接していたらしい。遺構や出土礫に火を用いた痕跡は見られない。

出土遺物 かわらけ、瓦質鉢、板碑、石臼の破片が出土。礫は自然礫のままのものが大半だが、先端に敲打痕を残す楕円礫3点(1383~1385)とくぼみ石1点(1381)が含まれる。

所見 出土遺物を見る限り、便所や祭祀的な意味より日常品の廃棄と考えられる。礫の出土状態も人為的な様子がうかがえないことから、廃棄物と考えたい。時期は中世と考えられる。

(6) 土坑

ここでは、埋土の特徴や出土遺物から中・近世に属すると考えられる土坑40基を取り上げ、主に平面形で分類して順に掲げた。なお、調査時にピット名を付したが、分類に従い土坑としたものがある。

円形土坑 (第61図)

56・57・59・60・61・62・79・115・169・179・205・213・218号土坑がこれに該当する。平面規模は、径63~144cmの幅があるが、概ね大小の二種に分けられる。桶をはめ込んだ痕跡を底面に残す218号土坑のように、径1mを越える大きいものは墓や肥穴であった可能性がある。また115号土坑は、小規模ながら他に比べて深く、多くの礫が出土した。

方形土坑 (第62図)

67・109・171・175・204・208・209・211・214・215・216・217・221号土坑が該当する。さらに67号土坑のように整った長方形、214号土坑のように隅丸長方形、216・217号土坑のような小規模で隅丸正方形の三種に細別できる。また長方形のものは、長さ1.2m以下と3mを越える208号土坑に分けられる。前者は墓の可能性もある。後者は農作物用の「ムロ」か。なお、217号土坑からは骨片が出土したが、人骨との認定ができず墓として扱わなかった。

楕円形土坑 (第63図)

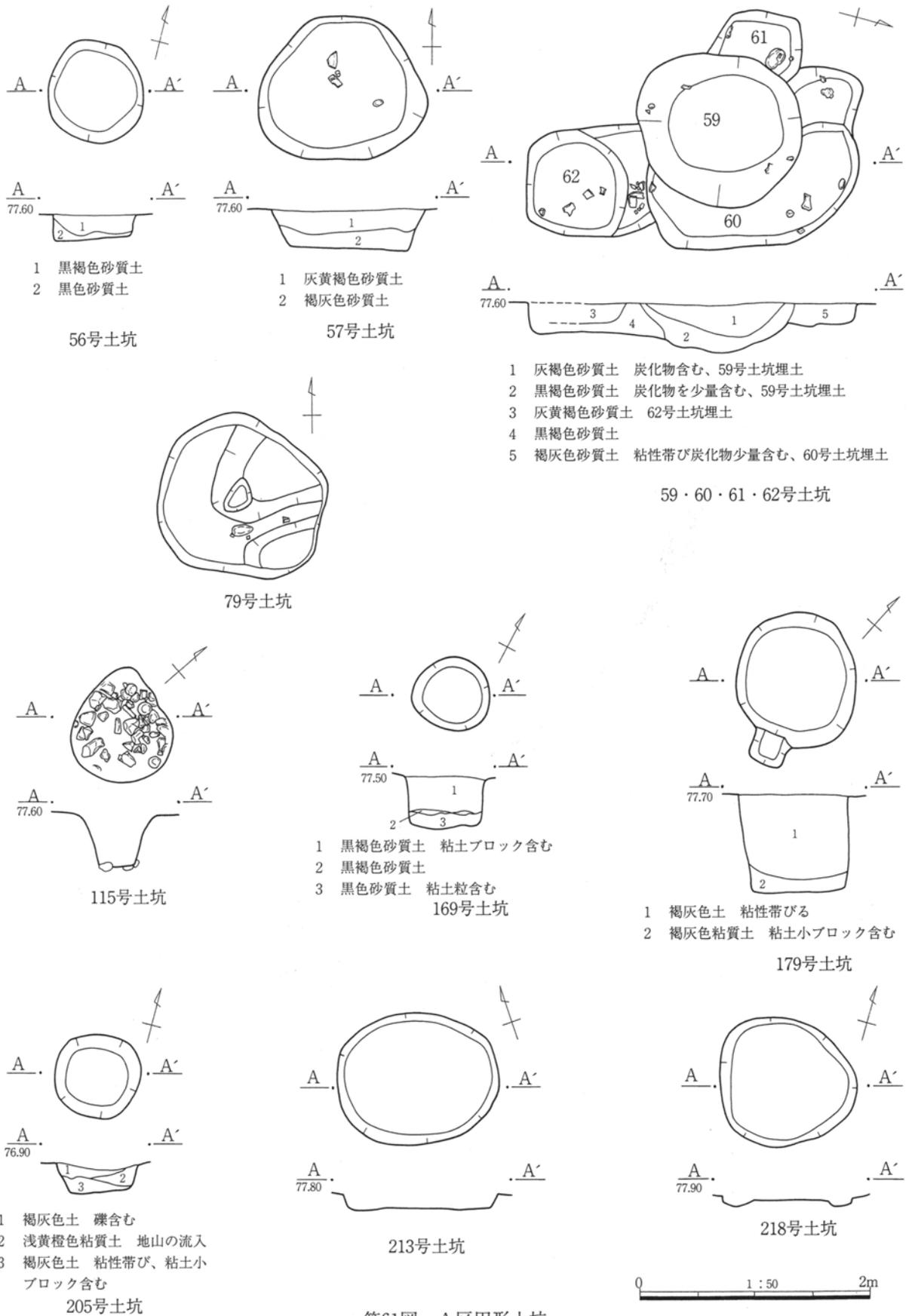
1・4・114・117・194・203号土坑、152ピット・209ピットが該当する。小規模なものが多く、その形状と規模から柱穴の可能性が高いが、柱列と無関係な位置にあるので土坑とした。114号土坑は北宋銭1点が出土したが、墓との確証は得られなかった。

不定形土坑 (第63図)

53・84・163・170・202・212号土坑が該当する。202号土坑は歪んだ平面形だが楕円形として扱っても差し支えない。170号土坑は複数の土坑の重複だろう。163号土坑は、調査区外に過半が出てしまうため規模や平面形が判明しないが、かわらけ、搗鉢、石臼など中世のまとまった遺物が出土している。

第5表 A区中・近世土坑一覧表

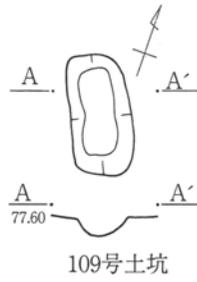
遺構番号	グリッド	平面形	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 (m)	出土遺物	備考
56土坑	955-190	円形	86×84	24	77.23	木片	桶痕跡
57土坑	950-190	円形	146×124	35	77.14	焙烙、鉢	7溝を切る
59土坑	955-190・195	円形	138×133	53	76.97	寛永通寶1	3基重複
60土坑	955-195	不定形	185×140	22	77.26	鉄滓	59土坑が切る
61土坑	955-190・195	不定形	77×43<	26	77.14	碟	
62土坑	955-190	円形	93×93	25	77.24	碟、焙烙、鉢	
79土坑	970-225	円形	144×132	64	76.92	碟、火鉢、かわらけ	2溝と重複
115土坑	970-215	隅丸方形	93×74	52	77.00	碟多数、内耳鍋	
169土坑	980-215	円形	67×63	56	76.92	碟	4溝を切る
179土坑	990-235	円形	118×104	85	76.78	かわらけ	便漕か
205土坑	980-205	円形	77×73	26	76.49		13溝底で検出
213土坑	990-185	円形	141×114	15	77.53	木片、炭、ビニル	現代廃棄坑
218土坑	995-195	円形	117×117	8	77.67	炭、ビニル	現代廃棄坑
67土坑	970・975-210	方形	92×52	20	77.33	碟	9溝を切る
109土坑	965-200	方形	80×40	15	77.37		8溝を切る
171土坑	960-220	方形	140×35	14	77.43		削平溝底部か
175土坑	975-215	方形	124×75	50	76.97		墓塚か
204土坑	955-220	楕円形	86×61	32	76.46		8溝と重複
211土坑	995-185	楕円形	210<×56	11	77.64		
208土坑	995-180・185	方形	306×103	82	76.98		
209土坑	000-185	方形	110<×117	68	77.13	碟、須恵器、鉄滓	堀の一部か
214土坑	990・995-190	楕円形	100×65	34	77.36		
215土坑	995-185・190	方形	87×56	13	77.65		柱穴か
221土坑	000-170・175	方形	61×34	17	76.49	碟	16溝と重複
216土坑	995-190	隅丸方形	56×54	46	77.24	碟	柱穴か
217土坑	995-190	隅丸方形	43×42	65	77.09	骨	柱穴か
1土坑	965・970-200・205	楕円形	104×50	38	77.13	壺、鉢、播り鉢、碗	14溝を切る近世
4土坑	950-210	隅丸方形	91×70	8	77.47		炭化物粒含む
114土坑	970-225	楕円形	53×42	35	77.21	須恵器、天聖元寶1、碟	3溝を切る
117土坑	965-200	楕円形	103×82	32	77.34	碟	9溝を切る
152ピット	965-195	楕円形	68×60	20	77.27		
209ピット	995-190	楕円形	84×67	10	77.66		
194土坑	990-220	楕円形	71×63	54	77.21		203土坑と重複
203土坑	990-220	楕円形	64<×60	62	77.06		194土坑と重複
53土坑	960-190・195	楕円形	96×90	25	77.24	碟、陶器片	
84土坑	975-235	不定形	93×78	46	76.84	碟	柱穴か
163土坑	955-225	円形	66×29<	-	-	皿、内耳、播鉢、石臼	
170土坑	965-200	不定形	133×142	43	77.08	碟、大甕片	8溝を切る
202土坑	965・970-190	楕円形	208×119	42	-	碟多数、碗(18世紀か)	
212土坑	990-180	不定形	115×90	7	77.54		



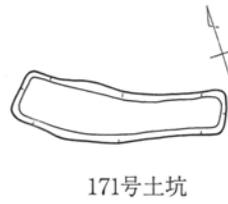
第61図 A区円形土坑



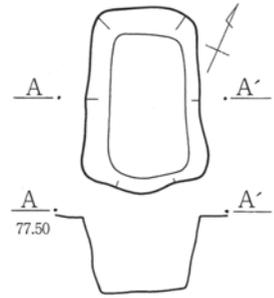
67号土坑



109号土坑



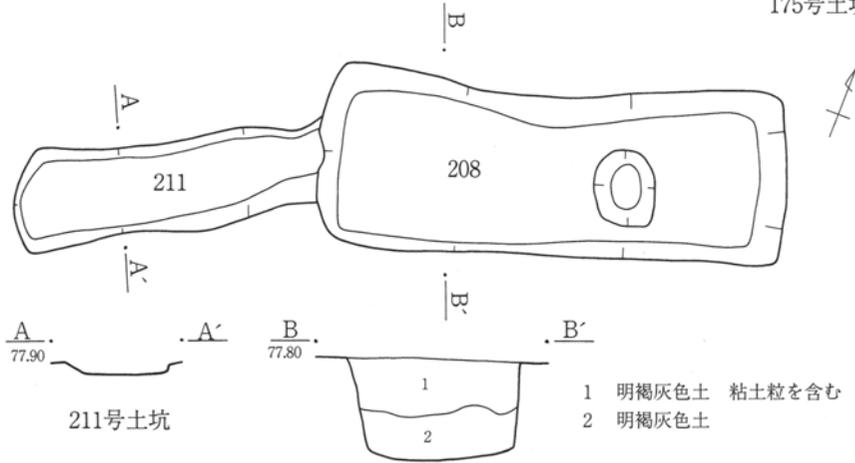
171号土坑



175号土坑



204号土坑

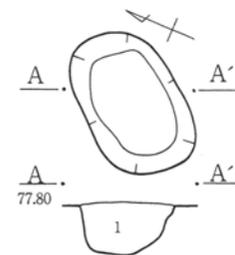


208号土坑

- 1 明褐色土 粘土粒を含む
- 2 明褐色土

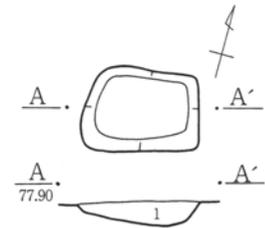


211号土坑



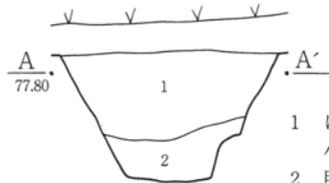
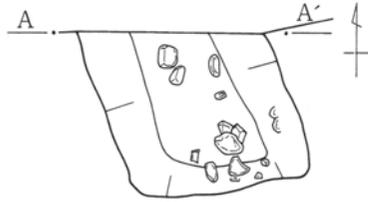
214号土坑

- 1 灰黄褐色土 粘性帯びしまる



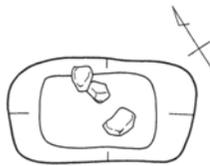
215号土坑

- 1 明黄褐色土 黑色粘土が縞状に入る

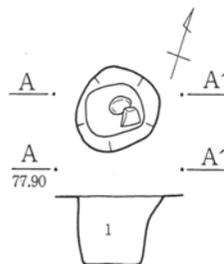


209号土坑

- 1 にぶい橙色土 粘土粒、小ブロック含む
- 2 明褐色土 黑色粘土の薄層はさむ

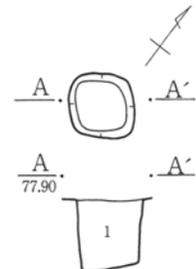


221号土坑



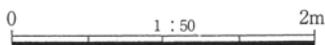
216号土坑

- 1 灰黄褐色土 粘性帯びしまる

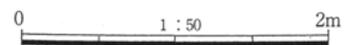
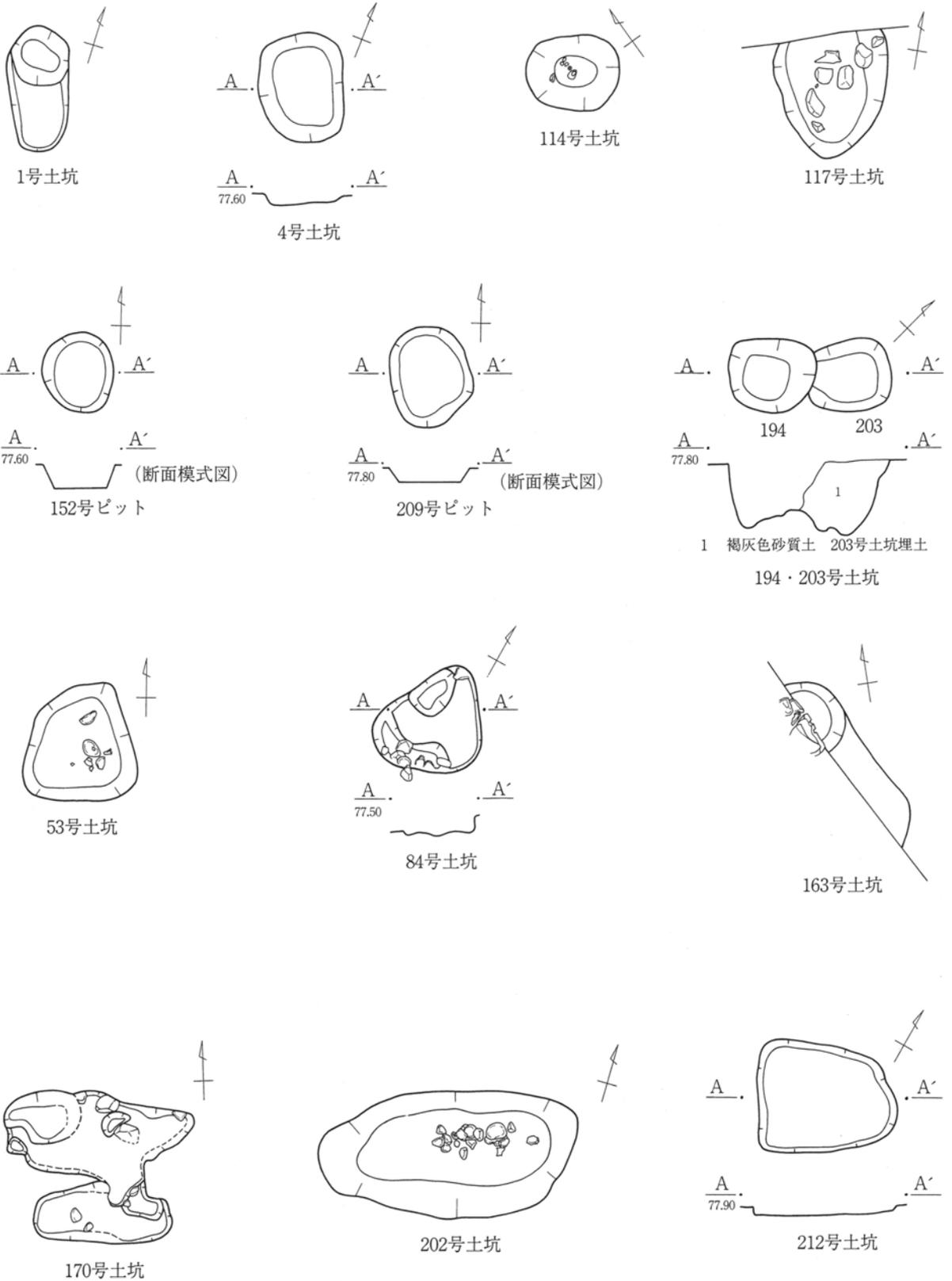


217号土坑

- 1 黒褐色土



第62図 A区方形土坑



第63図 A区楕円形・不定形土坑

2 B・C区の遺構と遺物

(1) 掘立柱建物跡

概要 B区の掘立柱建物跡16棟が検出されている。分布は中央を横切る23号溝を境に北部と南部に分けられ、南部はさらに南西部と南東部に集中する傾向にある。

B区1号掘立柱建物跡 (第66図、PL.99)

位置 005-120グリッド

規模 2.70m(9尺)×3.60m(12尺)

面積 9.72m²

主軸方位 N-7°-W

出土遺物 P11から焙烙片が出土したのみ。

所見 2間×2間の単独長方形建物か、梁間中央の西寄りではP2とP8が検出されたが、主軸上からずれる。柱間寸法は、桁行が6尺等間、梁間は北側9尺、南側10尺で、平面形はやや歪む。柱穴は円形と隅丸方形で著しい規模の差はない。P6とP7には長さ20cmの扁平磔を置いて根石としている。2号掘立柱建物跡、3号掘立柱建物跡とは主軸を異にして重複している。

B区2号掘立柱建物跡 (第67・68図、PL.99)

位置 005・010-115・120グリッド

規模 9.22m(31尺)×3.40m(11尺)

面積 31.35m²

主軸方位 N-75°-E

出土遺物 なし。

所見 B区北部における中心的な建物。1間×4間の東西棟長方形建物と思われる。西側梁間が3.4m、東側梁間が3mでP9とP10で段違いになる。中央にP15が位置しP3・P10と結んで中央で2分割される。このことから、どちらか一方をほぼ同規模で増築したとも考えられる。柱間寸法は6尺・7尺・8尺を用いている。また西半の南側に平行してP16～P20の柱列が検出されたが、距離が2.3m(8尺)と離れ、柱筋もずれるので、付随する柵列と考えるべきかもしれない。この柱列は3号掘立柱建

物跡と重複するので、これが2号掘立柱建物跡の付随施設とするなら、主軸方向を同じくして並列する3号掘立柱建物跡とは時期の前後を考慮する必要がある。P2には13cm大の角磔を置いて柱根の固定を図ったらしい。

B区3号掘立柱建物跡 (第66図、PL.99)

位置 005-120グリッド

規模 3.25m(11尺)×4.20m(14尺)

面積 13.65m²

主軸方位 N-72°-E

出土遺物 なし。

所見 2間×1間の東西棟長方形建物か。梁間中央の南寄りではP5とP6が検出されたが、主軸上からずれる。14尺を測る桁行には中間に柱穴が確認できない。柱間寸法は7尺を基準と考えられる。柱穴は円形で、規模がほとんど同じである。P2には扁平磔を置いて根石としている。2号掘立柱建物跡と主軸を同じくして並列する。両者の間隔は1.8mで、同時存在したならば軒を接する程度か。

B区4号掘立柱建物跡 (第71図、PL.99)

位置 985-115・120グリッド

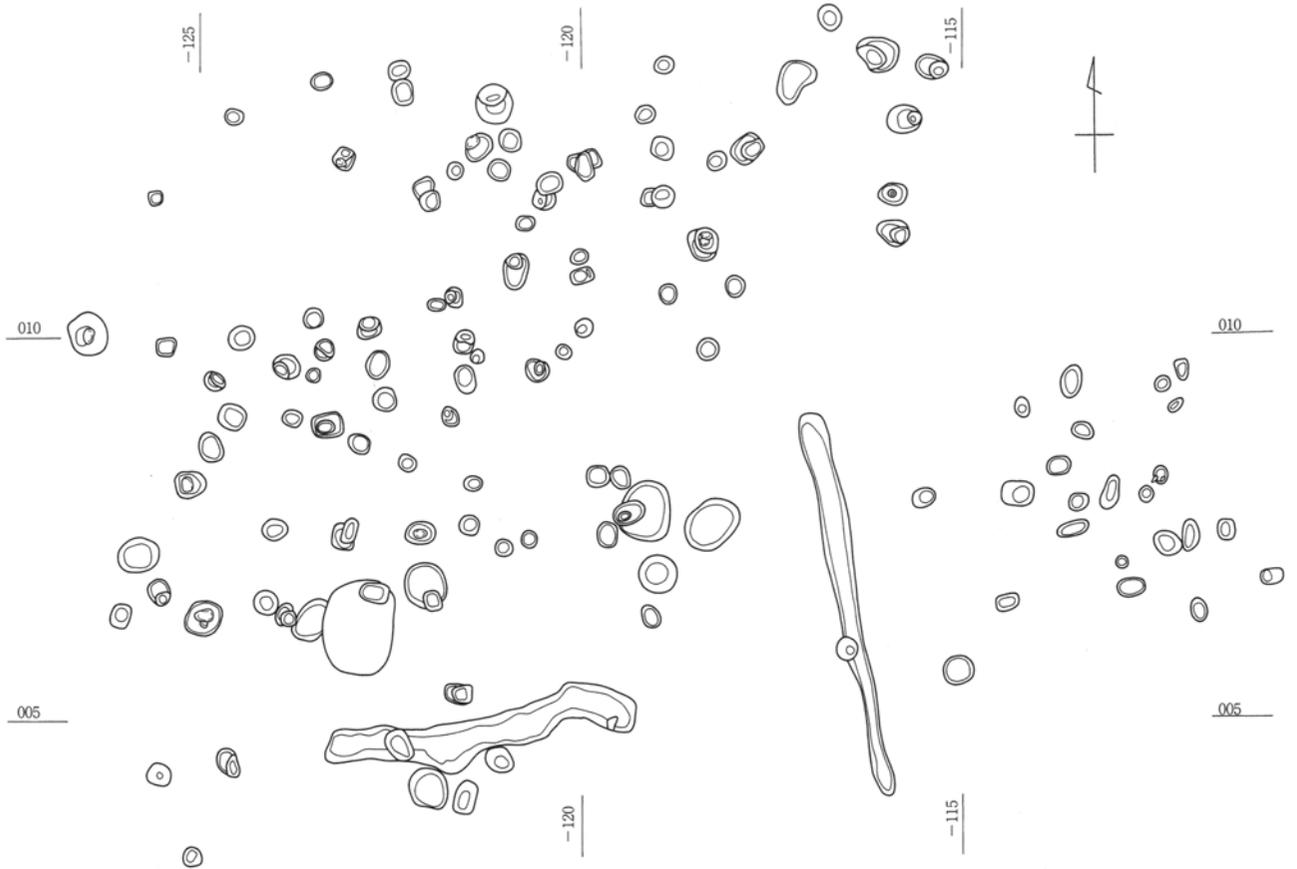
規模 3.50m(11.5尺)×5.05m(17尺)

面積 17.68m²

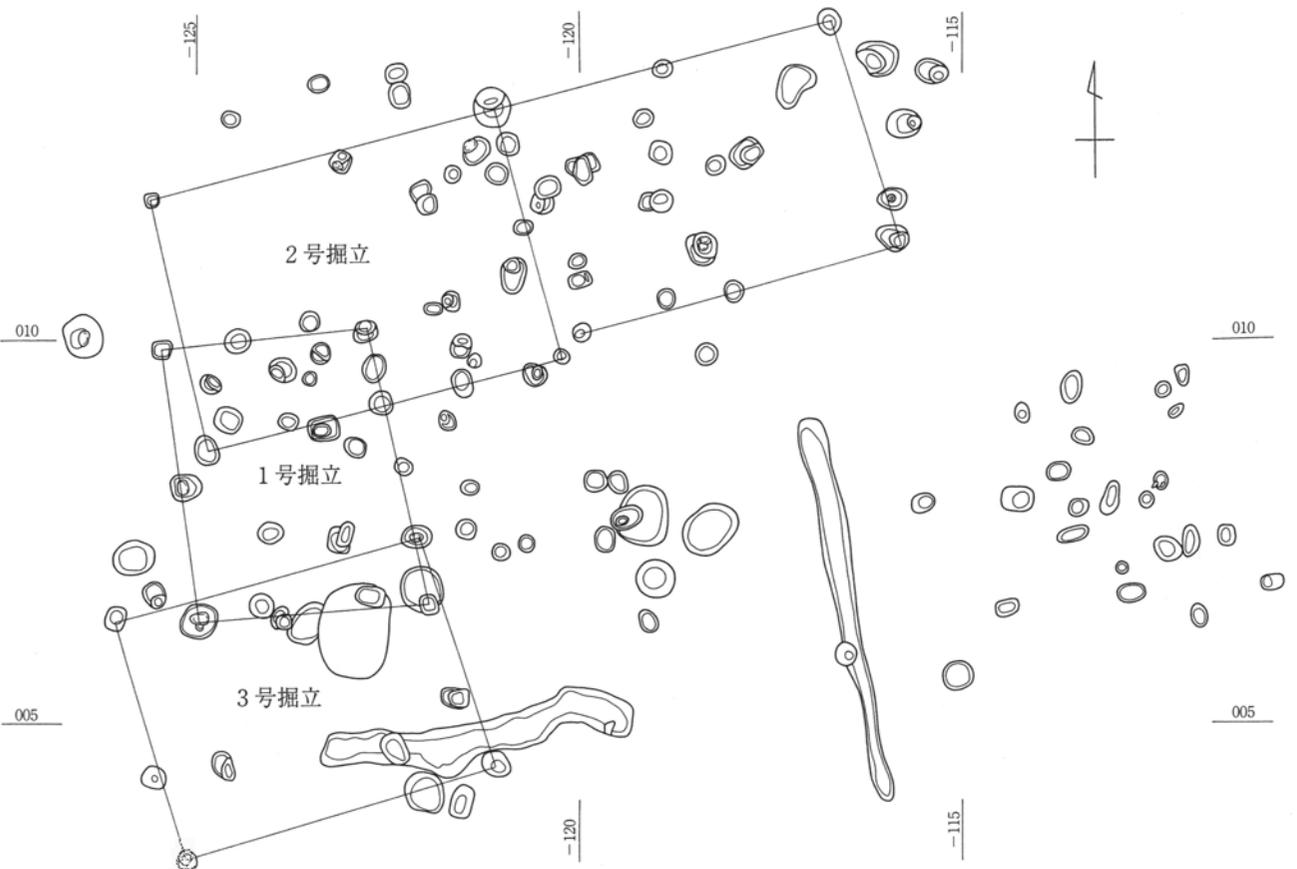
主軸方位 N-76°-E

出土遺物 P1から9世紀代の土師器杯と須恵器甕小破片が出土。

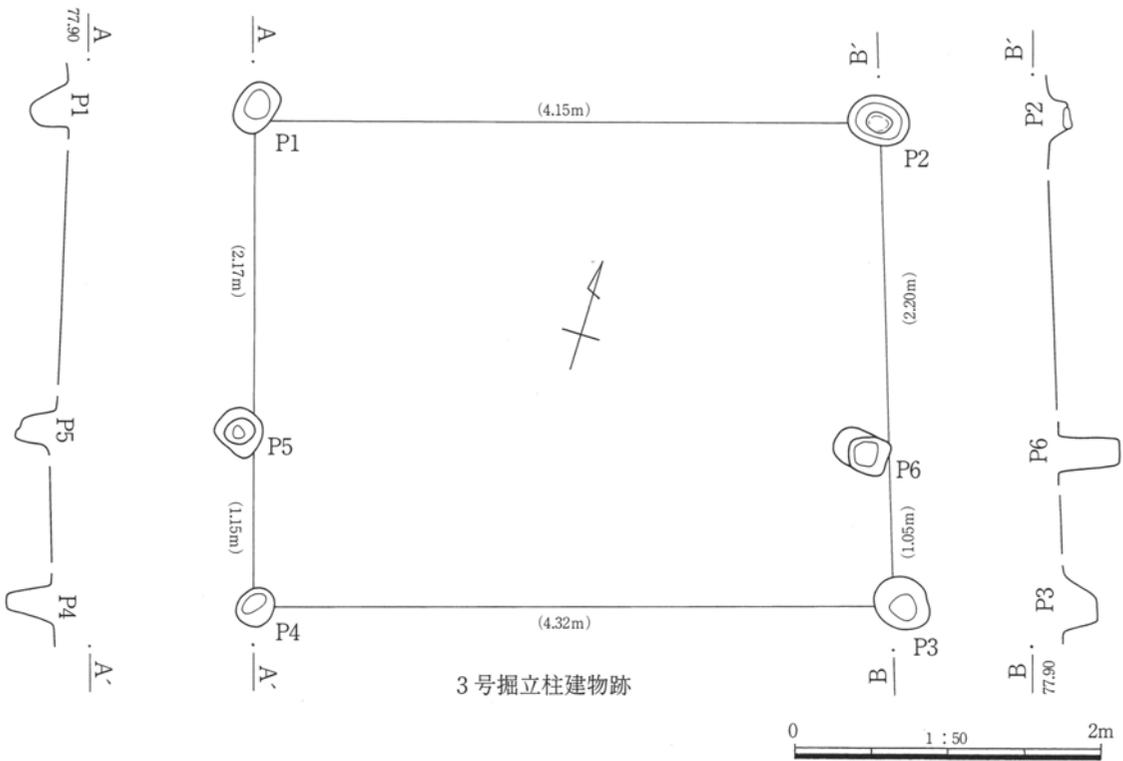
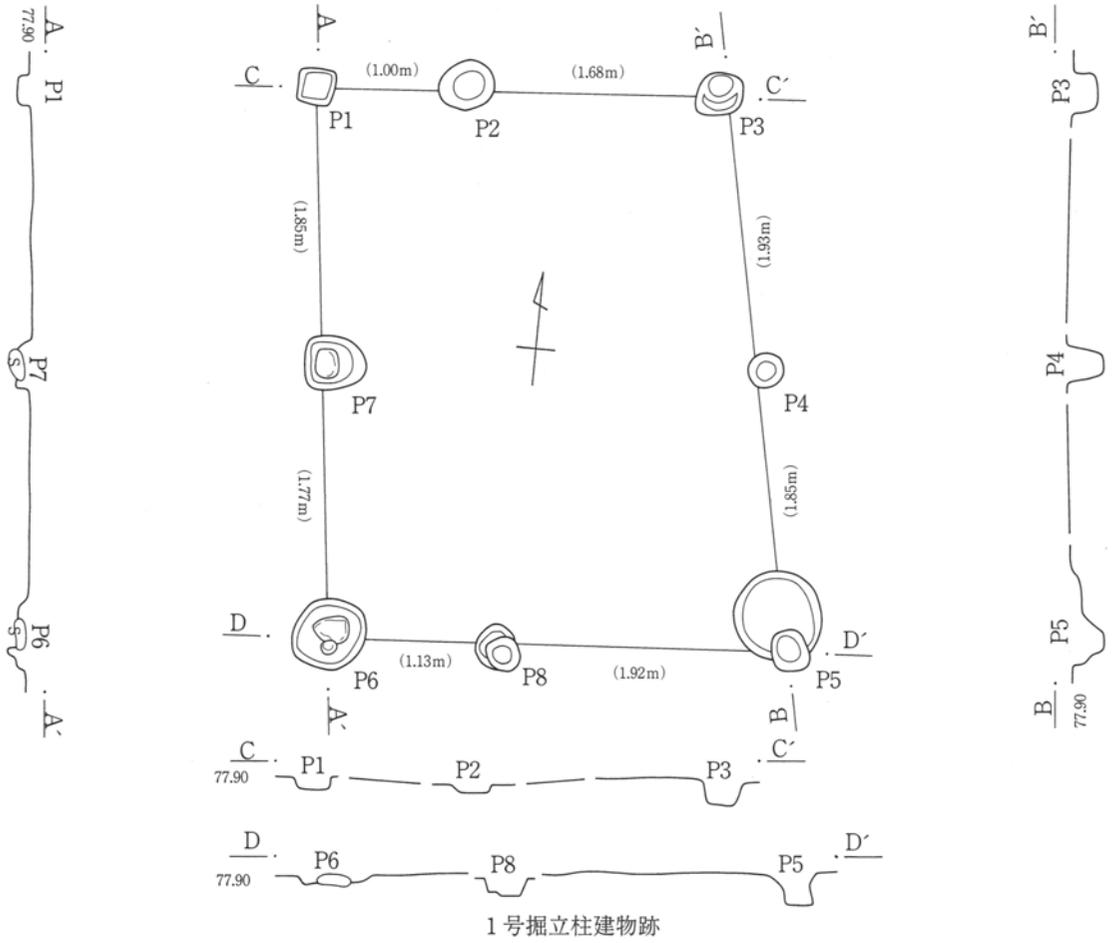
所見 2間×3間の東西棟長方形建物。柱間寸法は梁間側が6尺等間、桁行は5尺・5尺・6尺・7尺を測る。柱穴は円形ないし隅丸方形。P4・P5・P8・P9には径8cm前後を測る、一段と深い柱痕跡が見られる。本掘立柱建物跡は整った平面プランと柱穴形状、及び出土遺物を参考にすれば、中世以降ではなく9世紀代の可能性を考えて良い。その場合には、北側に隣接する2号住居跡との関連が深いと考えるべきだろう。



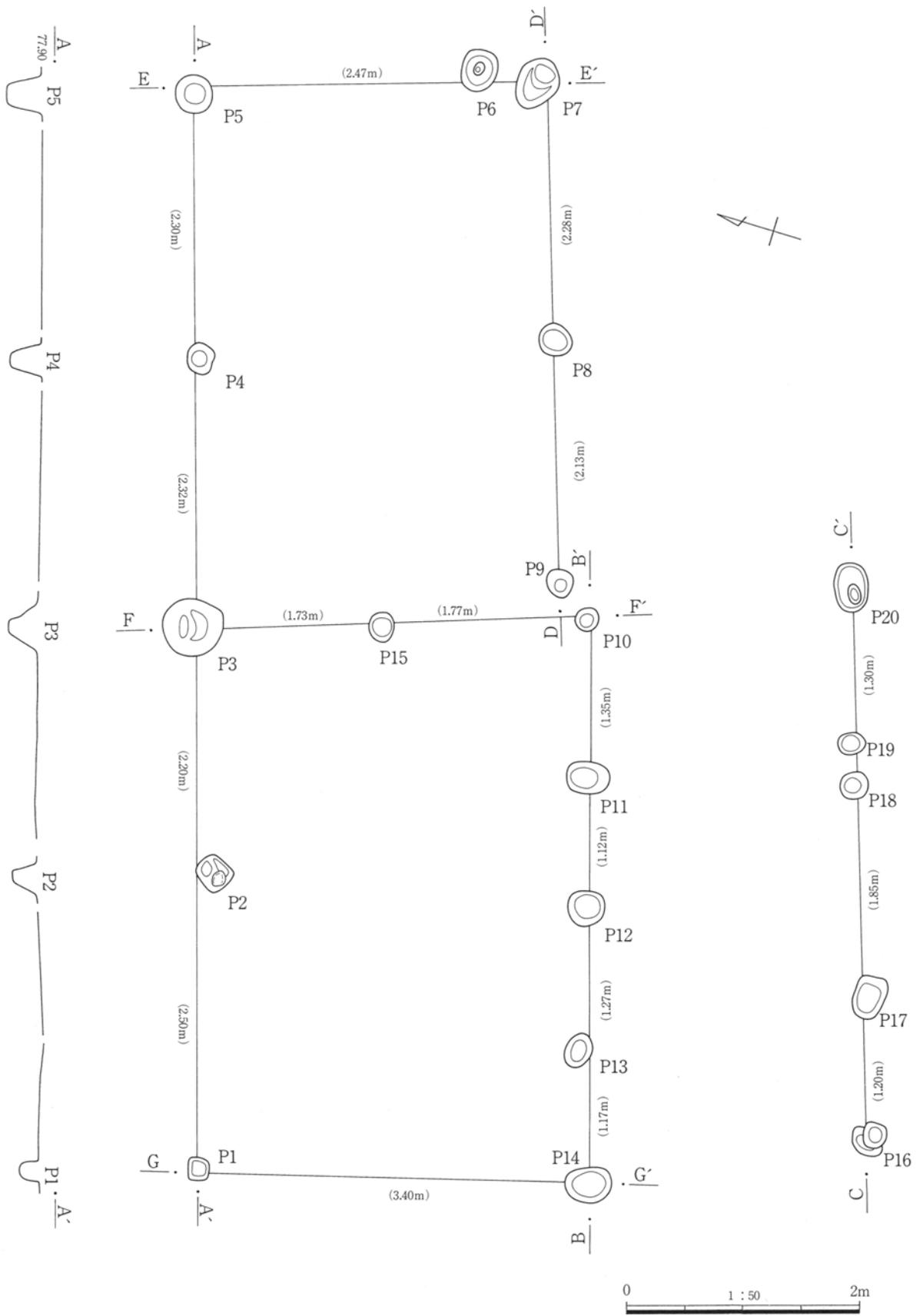
第64図 B区北部柱穴・ピット群の分布 (1:100)



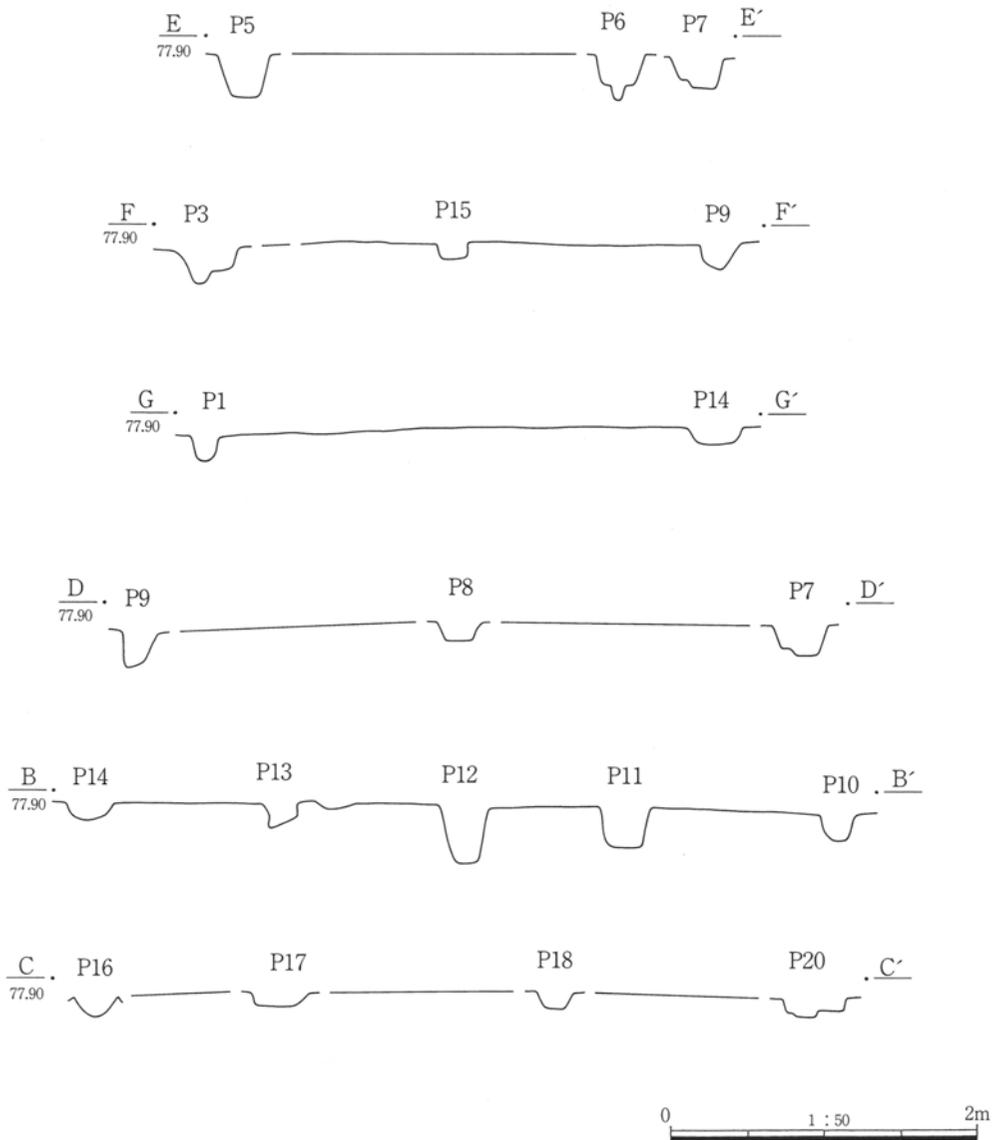
第65図 B区北部1～3号掘立柱建物跡 (1:100)



第66図 B区1・3号掘立柱建物跡



第67図 B区2号掘立柱建物跡



第68図 B区2号掘立柱建物跡柱穴断面図

B区5号掘立柱建物跡（第72図）

位置 985-110・115グリッド

規模 4.05m (13.5尺) × 8.40m (28尺)

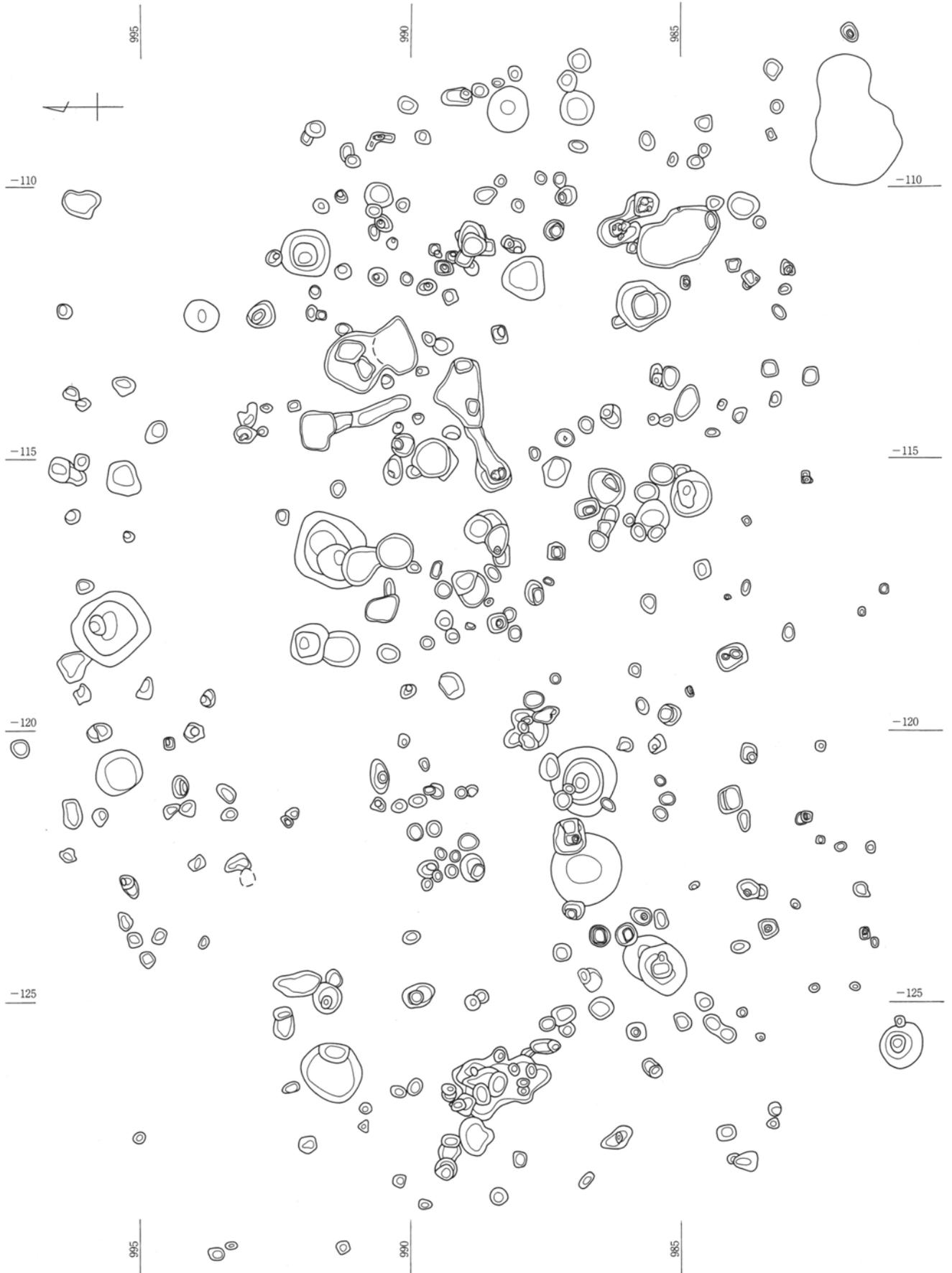
面積 34.02m²

主軸方位 N-75°-E

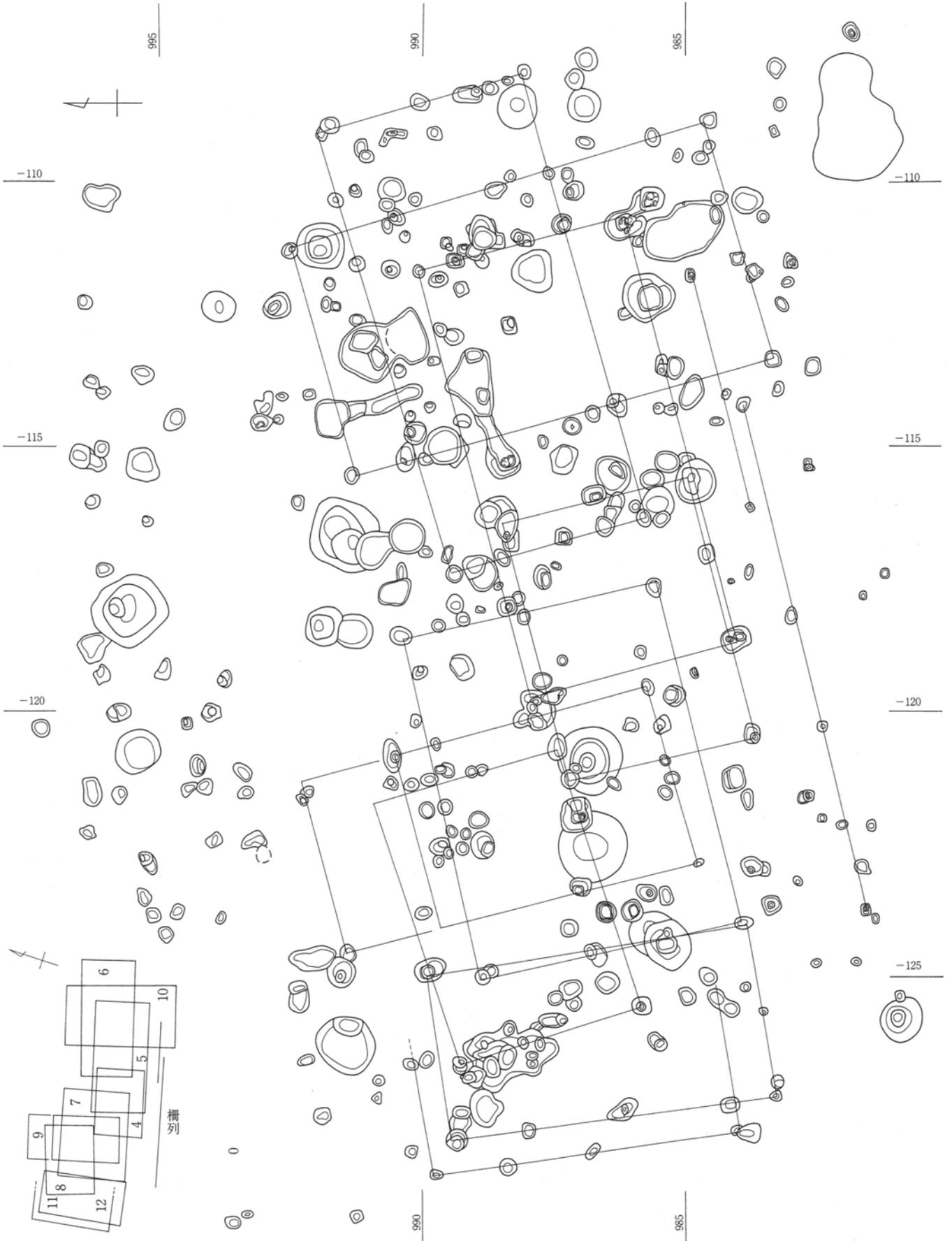
出土遺物 須恵器碗が出土。

所見 2間×5間の東西棟長方形建物。西側梁間中央の柱穴は検出されなかった。柱間寸法は6尺を基準とし、一部で7尺と8尺。柱穴は円形と隅丸方形で、規模がほとんど同じである。P8には拳大の

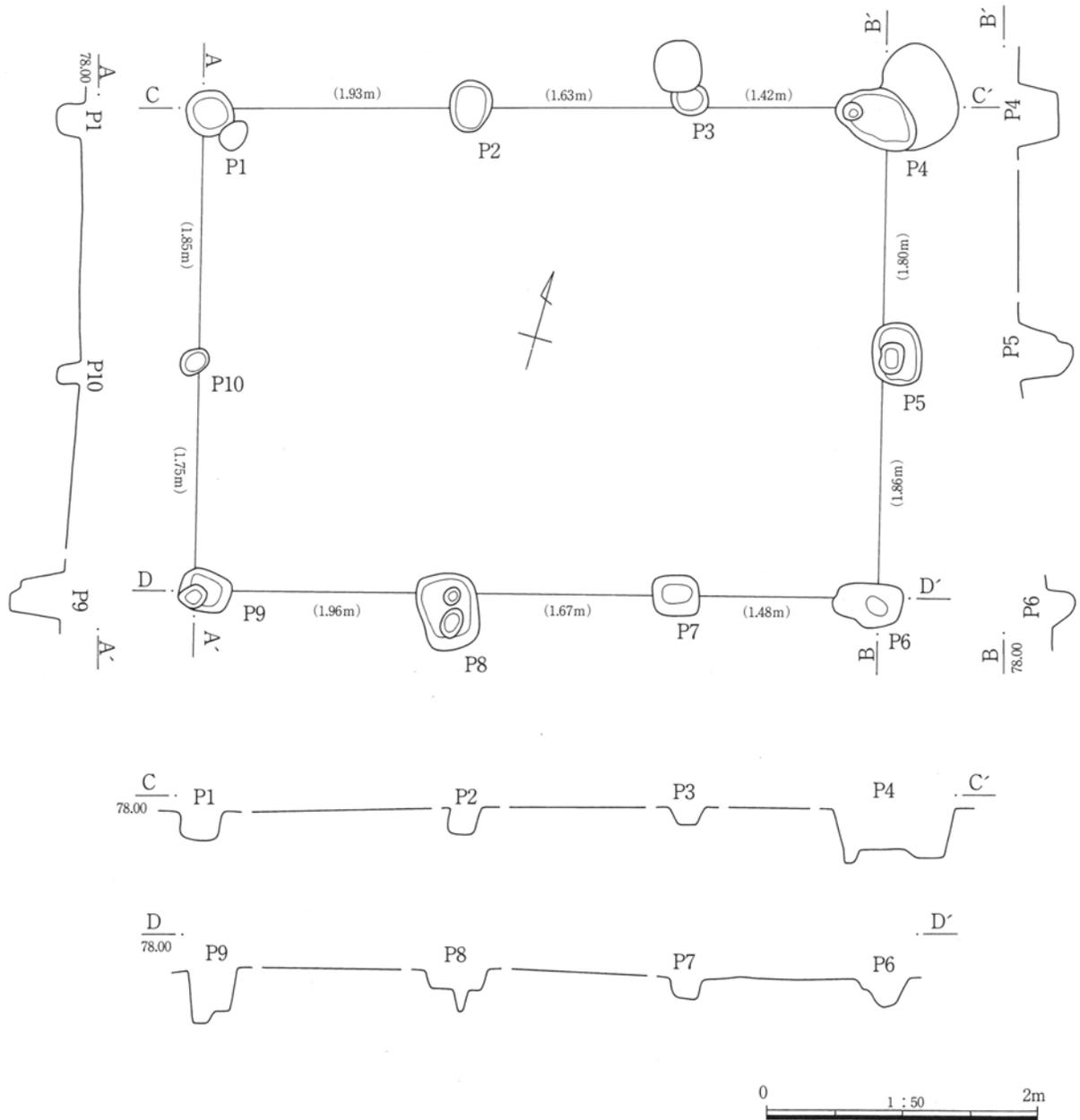
磔4点で柱根を固定したらしい。柱穴のうち、P11は4号掘立柱建物跡P8と掘方を共有する。また、4号掘立柱建物跡P7は、本掘立柱建物跡のP10-P11の間で6尺間隔の場所に位置するので、本掘立柱建物跡柱穴として共有していた可能性も考えられる。4号掘立柱建物跡とは、南側柱筋と柱穴を共有し、1点ながら出土土器の時期がほぼ一致することから、継続的に建て替えられた建物との解釈が可能だろう。



第69図 B区南西部柱穴・ピット群分布 (1:100)



第70図 B区4～12号掘立柱建物跡 (1:100)

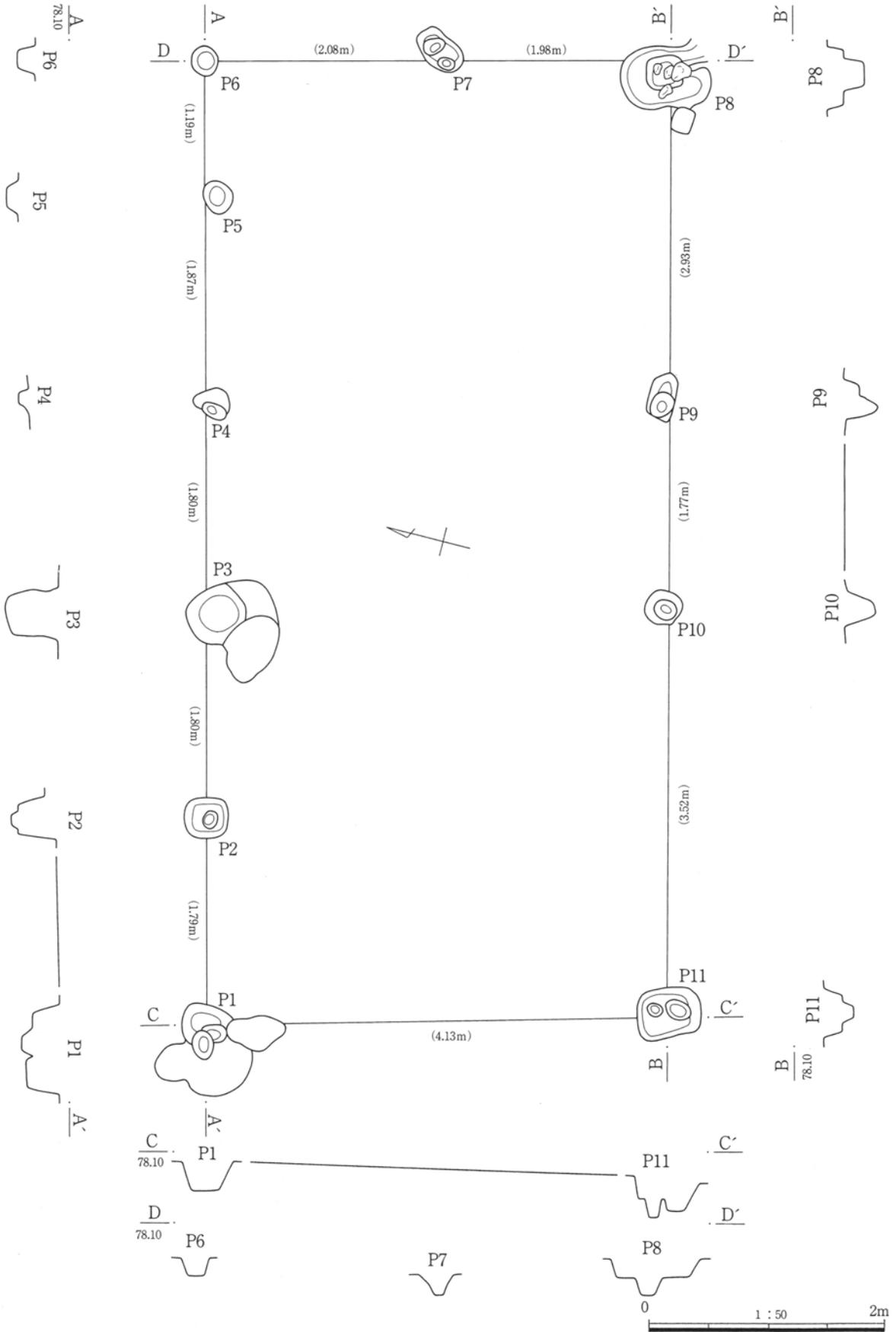


第71図 B区4号掘立柱建物跡

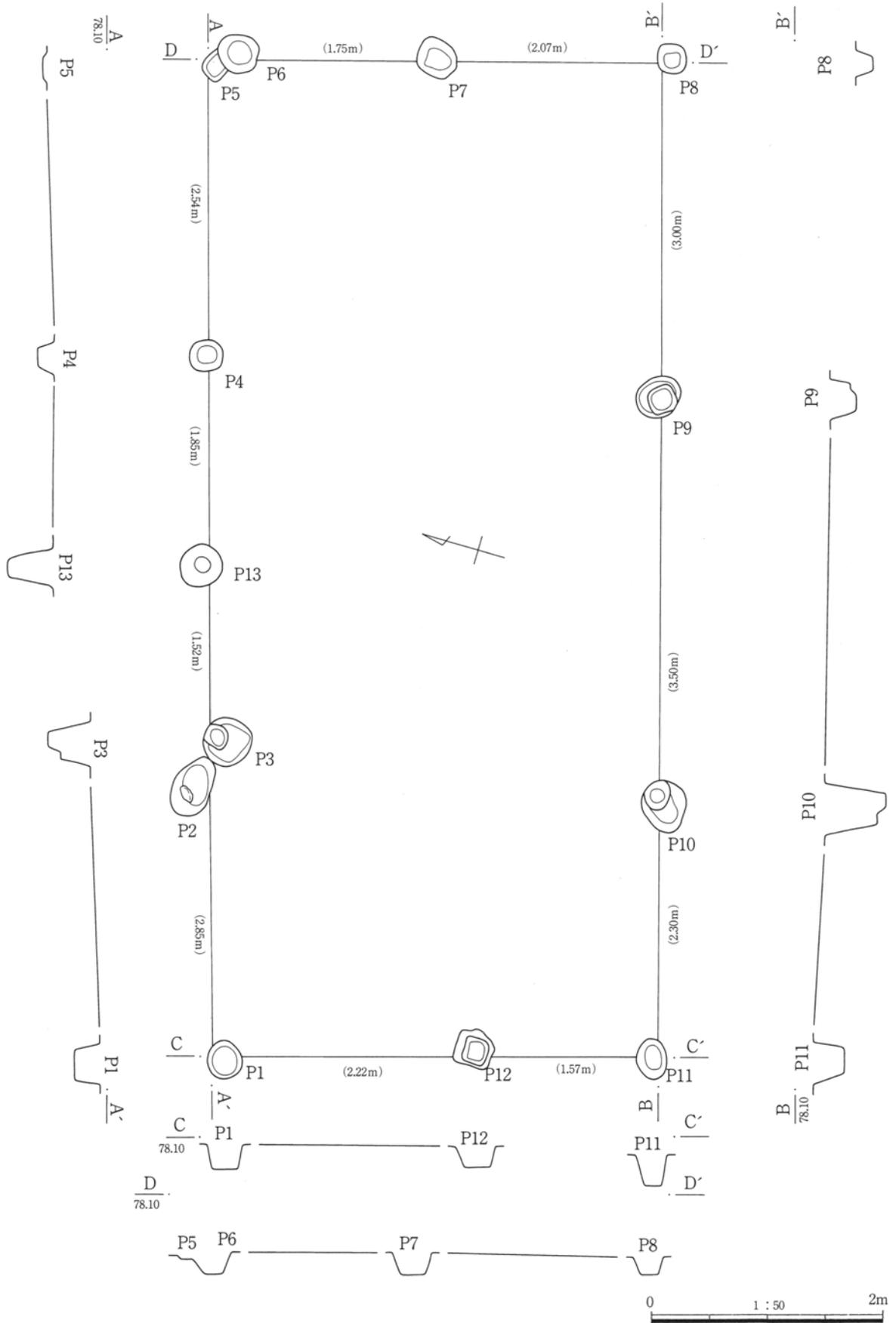
B区6号掘立柱建物跡 (第73図)

位置 985・990-105・110グリッド
 規模 3.95m(13尺)×8.70m(29尺)
 面積 34.37m²
 主軸方位 N-74°-E
 出土遺物 P3から平安時代と思われる土師器小片、P8からは中～近世焙烙片が出土。
 所見 2間×3間の東西棟長方形建物と想定される。北側柱筋中央にP13が位置するが、南側に対応

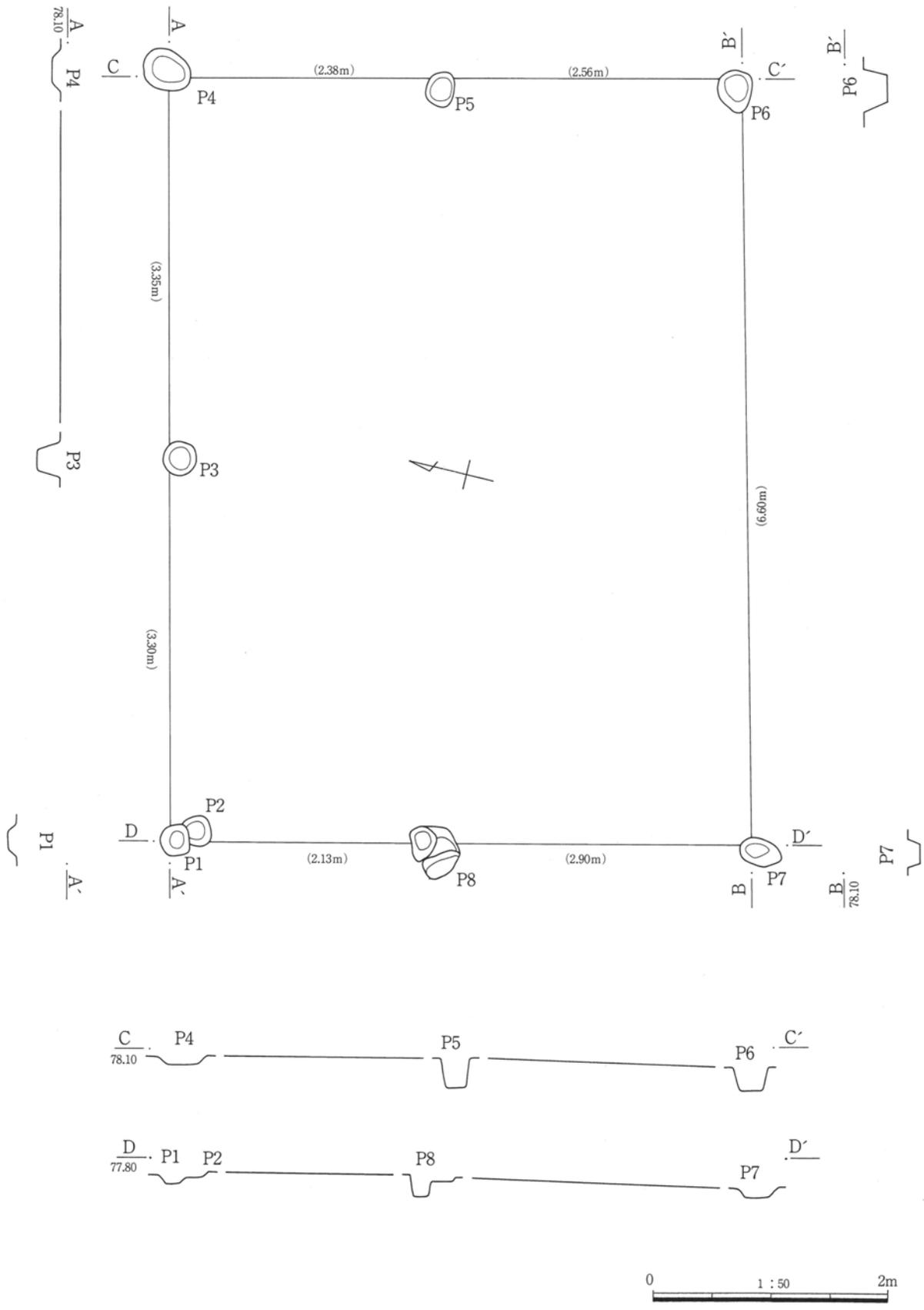
する柱穴は検出されなかった。柱間寸法は6～10尺と一定していない。柱穴は円形か不整の隅丸方形で、規模がほとんど同じ。P2では拳大の礫で柱根を固定したらしい。5号掘立柱建物跡とは主軸方向を同じくして北東方向へ平行移動した位置関係にある。規模もほぼ同じであることから、時期を前後して建て替えられた可能性を考えたい。ただし、その場合P8出土の焙烙片の理解が難しい。



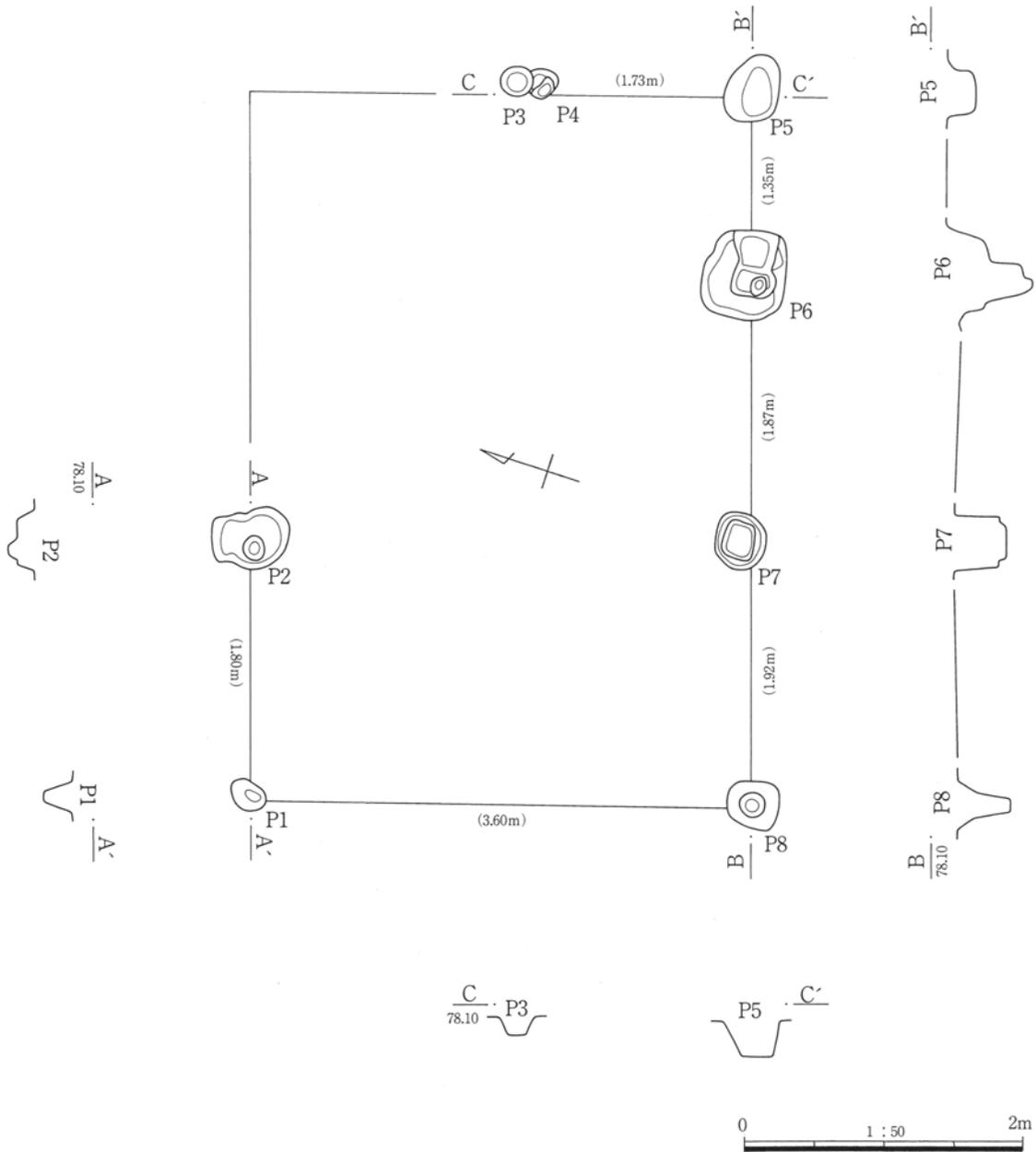
第72図 B区5号掘立柱建物跡



第73図 B区6号掘立柱建物跡



第74図 B区7号掘立柱建物跡



第75図 B区8号掘立柱建物跡

B区7号掘立柱建物跡 (第74図)

位置 980・985-115・120グリッド

規模 4.95m(16.5尺)×6.60m(22尺)

面積 32.67m²

主軸方位 N-76°-E

出土遺物 なし。

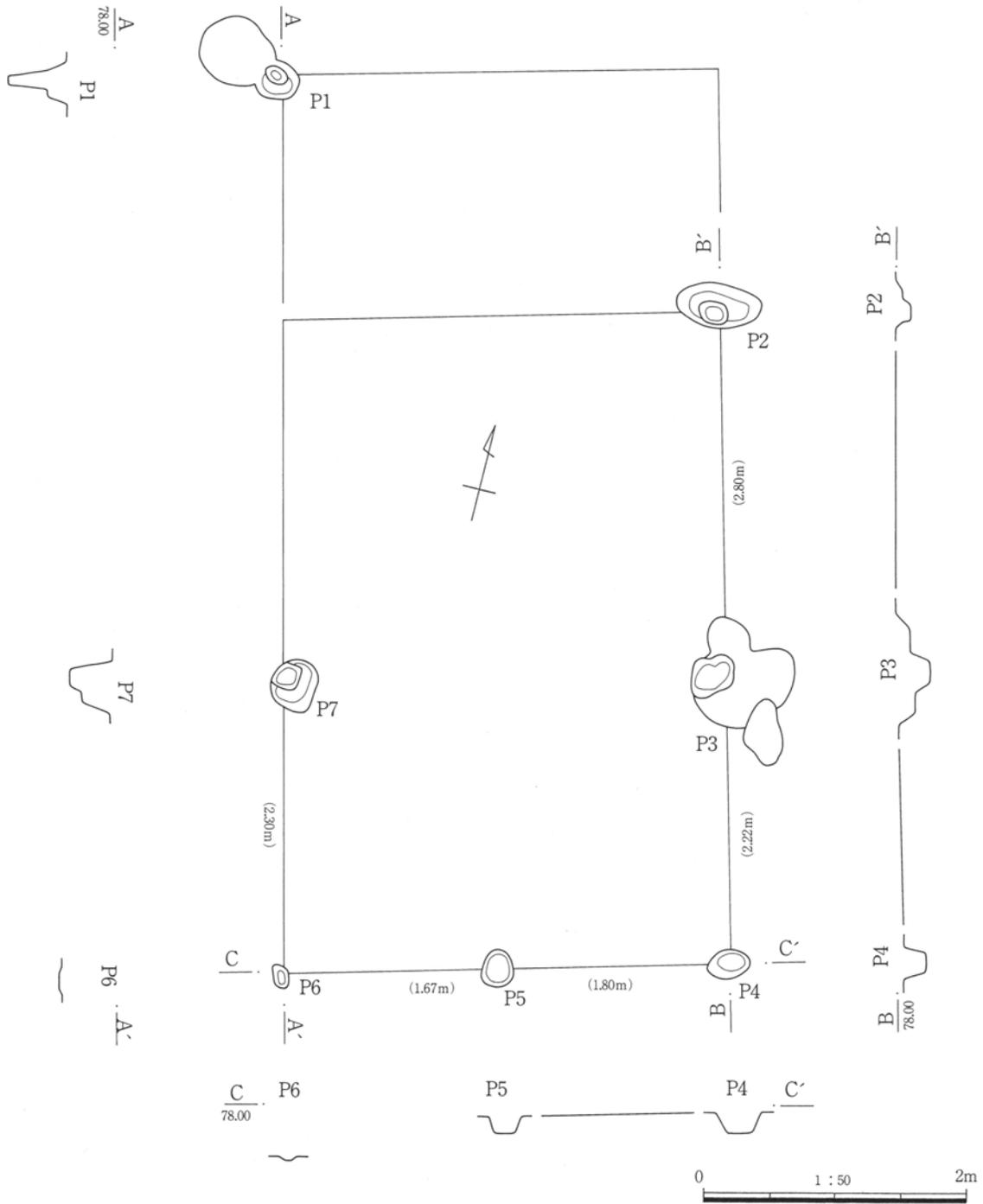
所見 2間×2間の東西棟長方形建物と想定したが、南辺中央の柱穴が検出できなかった。柱間寸法は梁間が10尺・8尺・7尺、桁行が11尺と広い。柱

穴は不整形で深さは一定しない。6号掘立柱建物跡とは、南側柱筋が同一延長線上にあり、約1m離れて東西に直列する位置関係にある。時期推定の根拠は薄弱だが、6号掘立柱建物跡と時期を前後する段階のものとの可能性を考えておきたい。

B区8号掘立柱建物跡 (第75図)

位置 985-120・125グリッド

規模 3.60m(12尺)×5.10m(17尺)



第76図 B区9号掘立柱建物跡

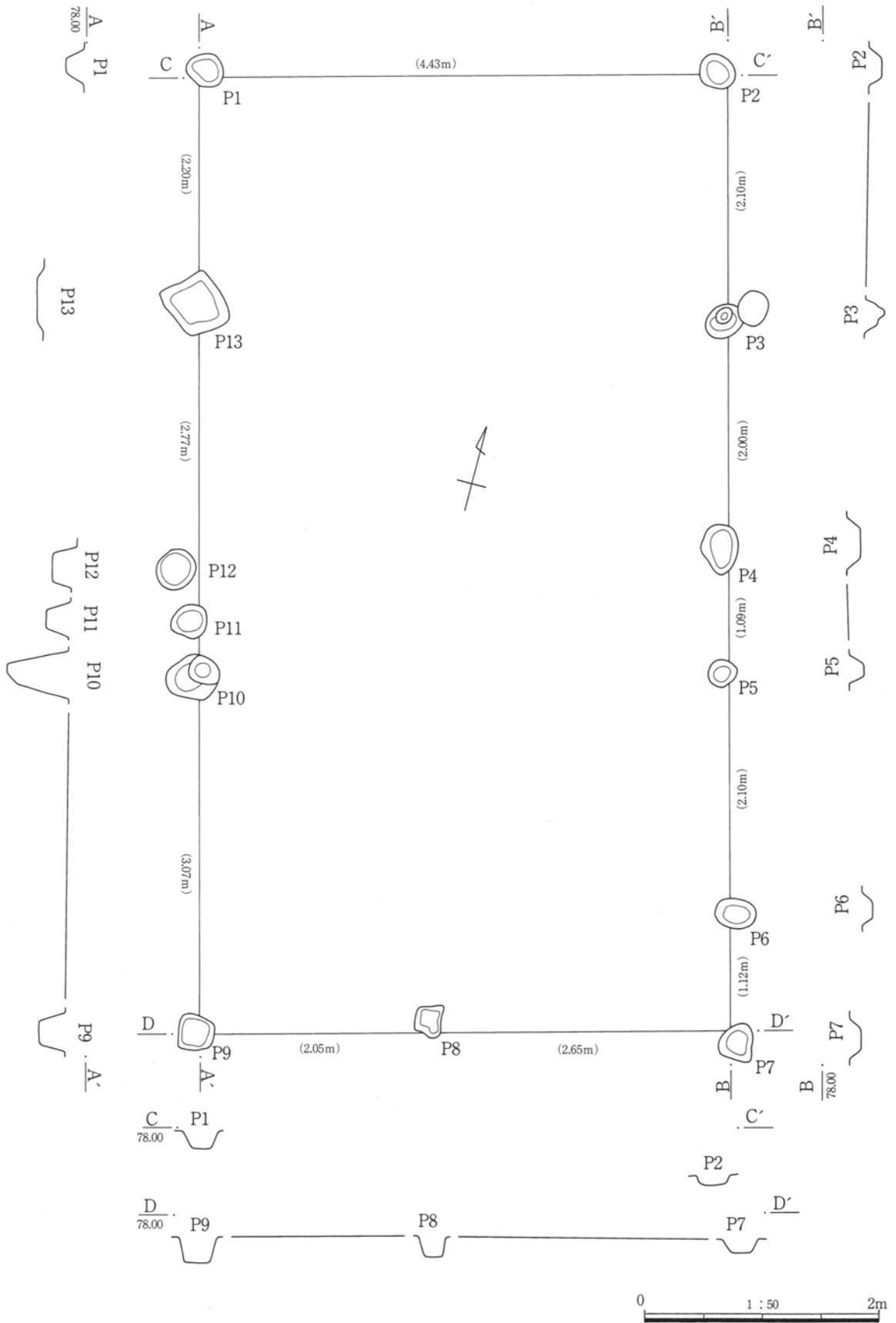
面積 18.36m²

主軸方位 N-72°-E

出土遺物 P6から古墳前期と思われる甕片他数点の小土器片が出土した。

所見 2間×2間の東西棟長方形建物と想定したが、西側梁間中央の柱穴と北東隅柱穴、北側桁行柱

穴が検出できなかった。柱間寸法は6尺基準と想定されるが、南東側では4.5尺、5尺と短い。柱穴は不整円形か隅丸方形で深さは一定しない。南東側に接する4号掘立柱建物跡とは、規模と主軸方向が近似しており、前後する時期のものである可能性がある。



第77図 B区10号掘立柱建物跡

B区9号掘立柱建物跡 (第76図)

位置 985・990-120グリッド
 規模 3.45m (11.5尺) × 6.90m (23尺)
 面積 23.80m²
 主軸方位 N-14°-W
 出土遺物 なし。

所見 2間×3間の南北棟長方形建物と想定したが、南辺中央の北半は西隅柱穴しか検出できなかった。柱間寸法は梁間が5.5尺・6尺・8尺・7尺・9尺と一定しない。柱穴は不整形円形か楕円形で、規模や深さは一定しない。なお、P3は5号掘立柱建物跡P1と掘方が重複する。新旧関係は確認できなかった。南東側に3m離れて直交方向に位置する6号掘立柱建物跡と組合わさる建物配置の可能性があらうか。

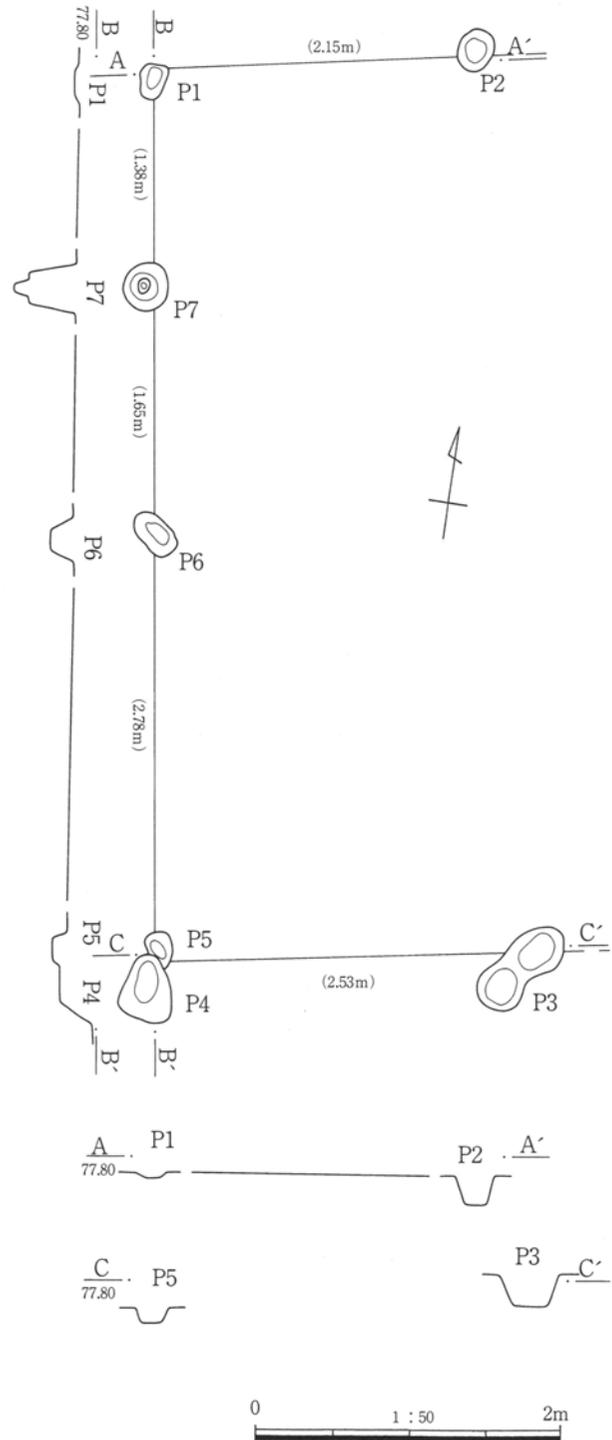
B区10号掘立柱建物跡 (第77図)

位置 980~990-110グリッド
 規模 4.55m (15尺) × 8.20m (27尺)
 面積 37.31m²
 主軸方位 N-15°-W

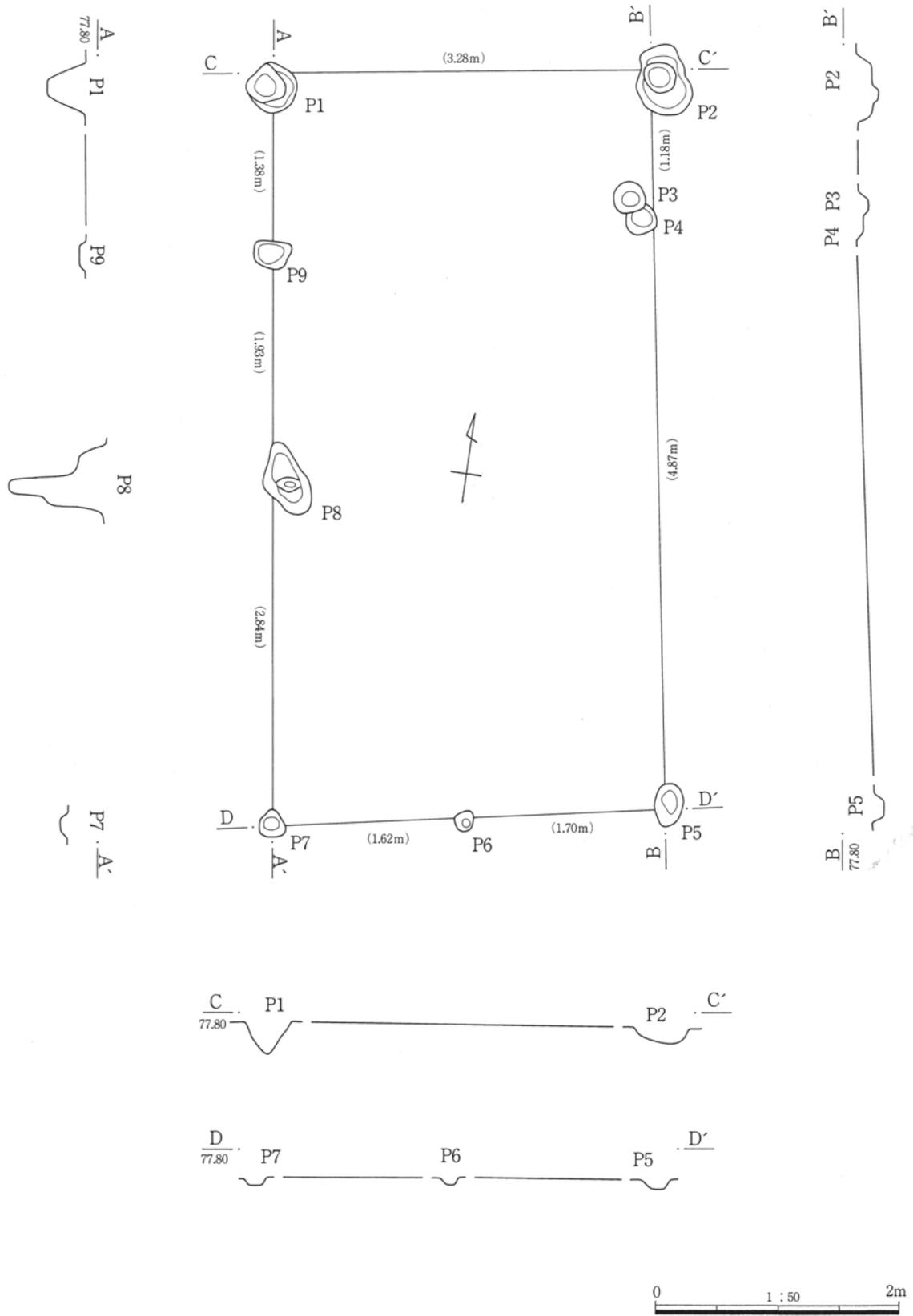
出土遺物 P9から古墳時代前期の甕片が出土。
 所見 2間×5間の南北棟長方形建物と想定したが、北側梁間中央の柱穴、P6に対応する西側桁行きの柱穴が検出できなかった。柱間寸法は7尺を基準とするが、P11-P13は9尺と広い。また、P4-P5、P6-P7は3.5尺と7尺の1/2寸法取りになっている。柱穴は不整形の円形か方形で、深さは一定しないが概ね浅い。5号・6号掘立柱建物跡とは直交するが、7号掘立柱建物跡とは同じ直交方向でも3.3m離れてほぼ平行に並ぶことから、同時存在の可能性も考えられよう。

B区11号掘立柱建物跡 (第78図)

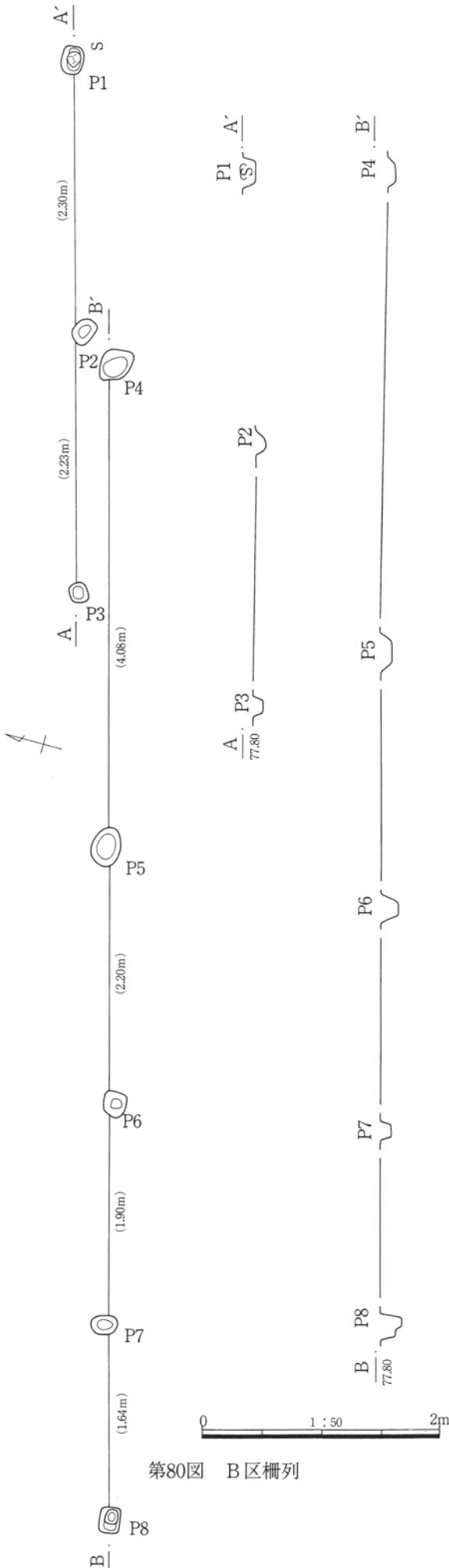
位置 980・985-125グリッド
 規模 - × 5.65m (18.8尺)
 面積 不明
 主軸方位 N-8°-W



第78図 B区11号掘立柱建物跡



第79図 B区12号掘立柱建物跡



第80図 B区柵列

出土遺物 P7から焙烙片出土

所見 梁間不明×2～3間の南北棟長方形建物と想定したが、東半にあたる柱穴が検出できなかった。従って柵のような1条の柱列の可能性もある。柱間寸法は、桁行中央にあたるP6が9尺等間にあり、P7は、4.5尺・5尺とそれをほぼ等分した位置にある。梁間は7尺、8尺と広い。4号～12号掘立柱建物跡がまとまって検出されたA区南西部掘立柱建物跡群の西端で、古代の2号住居跡を切る位置にある。この新旧関係は確認できなかった。

B区12号掘立柱建物跡 (第79図)

位置 980・985-120・125グリッド

規模 3.30m(11尺)×6.00m(20尺)

面積 19.80m²

主軸方位 N-8°-W

出土遺物 P9から時期不明の土師器片出土。

所見 2間×3～4間の南北棟長方形建物と想定したが、北側梁間中央、東側桁行の2本、西側桁行きの1本が検出できなかった。柱間寸法は、梁間で5.3尺と5.7尺、桁行でも4.7尺と6.5尺と半端で一定していない。11号掘立柱建物跡とはほぼ同規模で平行移動した位置で重複することから、相前後した建て替えではないかと考えられる。

B区1号柵列 (第80図)

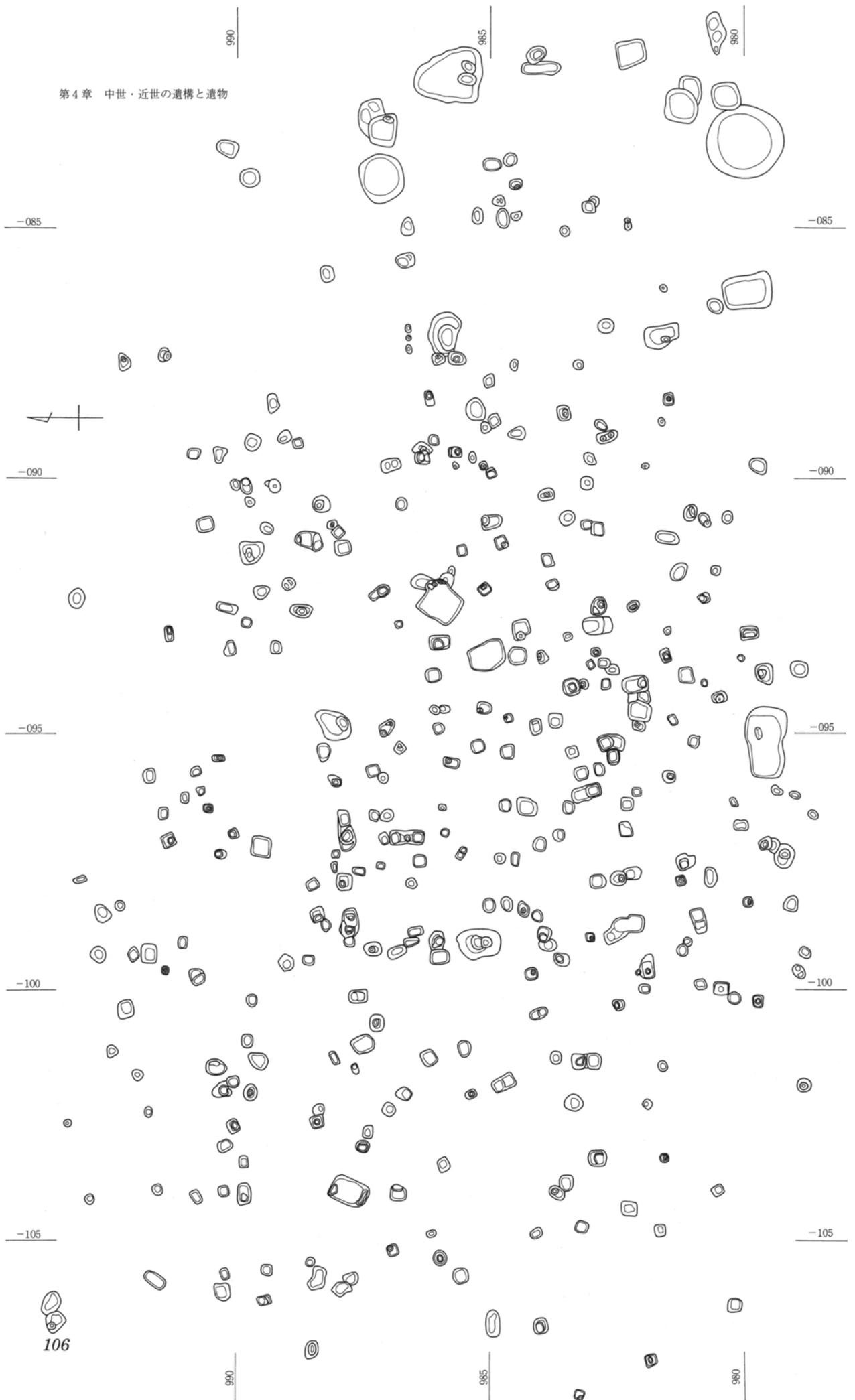
位置 980-110-120グリッド

規模 検出長12.7m

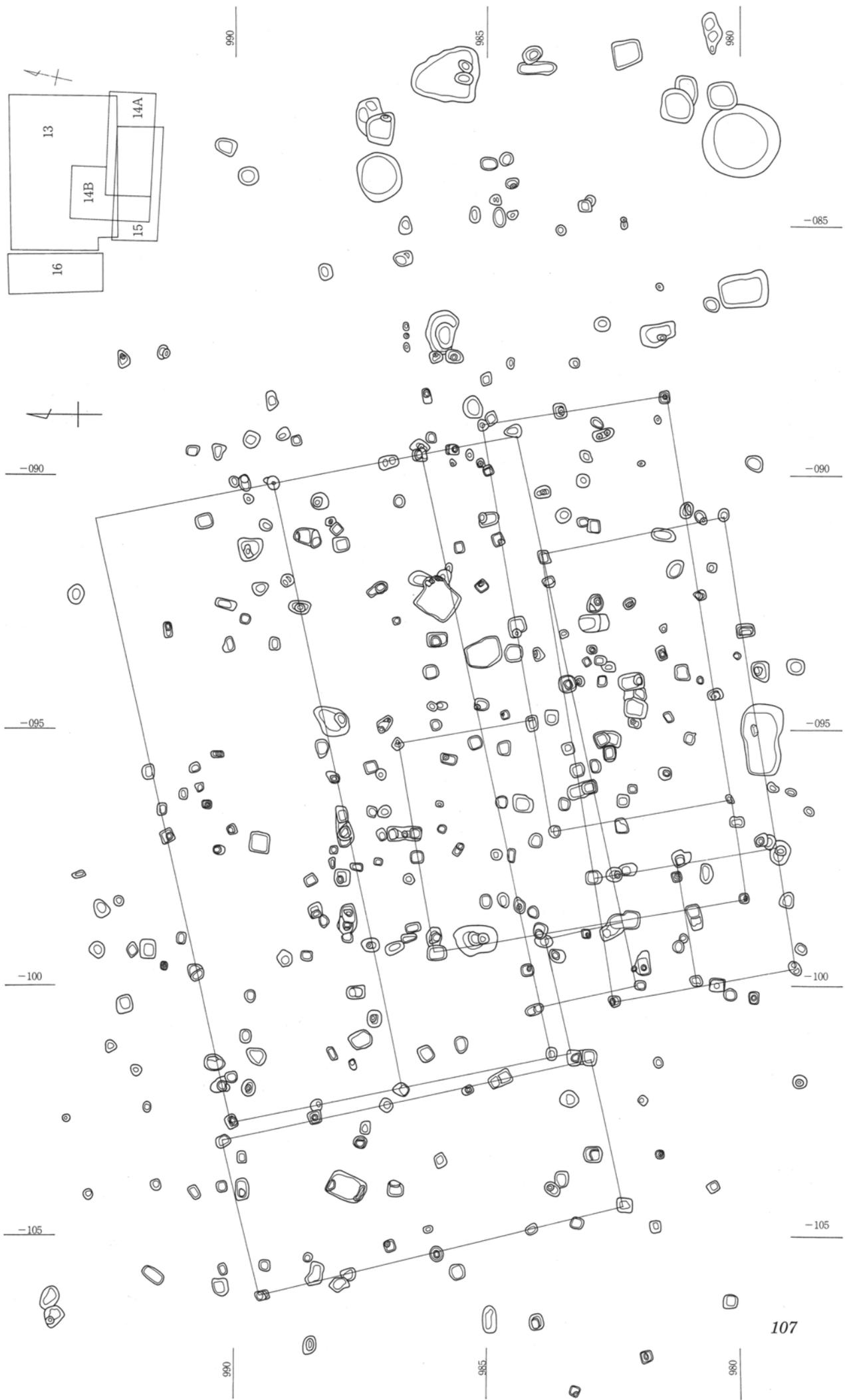
主軸方位 N-76°-E

出土遺物 なし。

所見 P1～P3と、P4～P8の平行する2列が検出されたが、両者は30cmと近接していて、時期の前後するものだろう。4号～12号掘立柱建物跡の9棟の掘立柱建物跡群の南側を画し、特に4号・5号掘立柱建物跡とは0.9m・1.2m離れて平行する。関連する施設と考えたい。



第81図 B区南東部柱穴・ピット群分布 (1:100)



第82图 B区13~16号掘立柱建物跡 (1:100)

B区13号掘立柱建物跡（第83図）

位置 980～990-085～105グリッド

規模 6.55m(22尺)×12.30m(41尺)

面積 80.57m²

主軸方位 N-78°-E

出土遺物 なし。

所見 4間×6間の東西棟長方形建物と想定したが、北東部の柱穴が検出されなかった。南側にはP32～P38の6本の柱列が1.9m離れて平行しており庇かと思われる。さらに南側柱列と50cmの間隔でP24・25・28～31が平行する。拡張による移動ではないか。13号掘立柱建物跡が本掘立柱建物跡の西側に付随する建物、あるいは増築と考えられることから、これにあわせて南側への拡張をはかったものとみられる。P6・P39・P12は北半を東西に2分割する間仕切りの柱穴と思われる。柱間寸法は、6尺を基準としながら、7尺と9尺も一部に見られる。棟下を走るP9～15の柱間は不均等な間尺となっている。柱穴は小規模な円形か方形で、深さは20cm前後の範囲内に収まり大きな高低差はない。P3には柱根を固定するためと思われる棒状磔、P4には扁平磔を置いて根石としている。本掘立柱建物跡はA区南東部掘立柱建物跡群の母屋的存在といてよい。

B区16号掘立柱建物跡（第83図）

位置 980・985-100・105グリッド

規模 3.20m(10.5尺)×7.55m(25尺)

面積 24.16m²

主軸方位 N-12°-W

出土遺物 なし。

所見 13号掘立柱建物跡の西側の附属建物、ないし拡張した部分と考えられる。南北長が13号掘立柱建物跡の桁行よりも1mほど大きい。柱間寸法は6尺と7尺で、P1-P2は10.5尺、P6-P7は10尺を測る。柱穴は不整形で、13号掘立柱建物跡柱穴と近似した規模をもつ。

B区14号掘立柱建物跡（第84・85図）

位置 980・985-090・095グリッド

規模 長方形建物（A案）とL字形建物（B案）を想定してみた。

A案 3.70m(12尺)×8.15m(27尺)

B案 6.35m(21尺)×10.10m(33.5尺)

面積 A案 29.52m² B案48.75m²

主軸方位 N-81°-E

出土遺物 なし。

所見 A案は2間×4間の東西棟長方形建物である。B案はこのA案建物の西側をさらに1間分西方へ、そして北側へ2間分の張り出しを設けるL字形の建物を想定した。ここでは柱筋と柱間寸法がそろっているのが掲げたが、疑問もある。この場合、張り出し部が北側に向くので、冬季の北風を受けたり、日あたりが悪く、使い勝手としてははなはだ都合が悪いのではないか。柱間寸法は6尺、7尺のほかに7.5尺を用いている。柱穴は方形が主で一部に円形がみられる。根石は見られない。

B区15号掘立柱建物跡（第86図）

位置 980-090・095グリッド

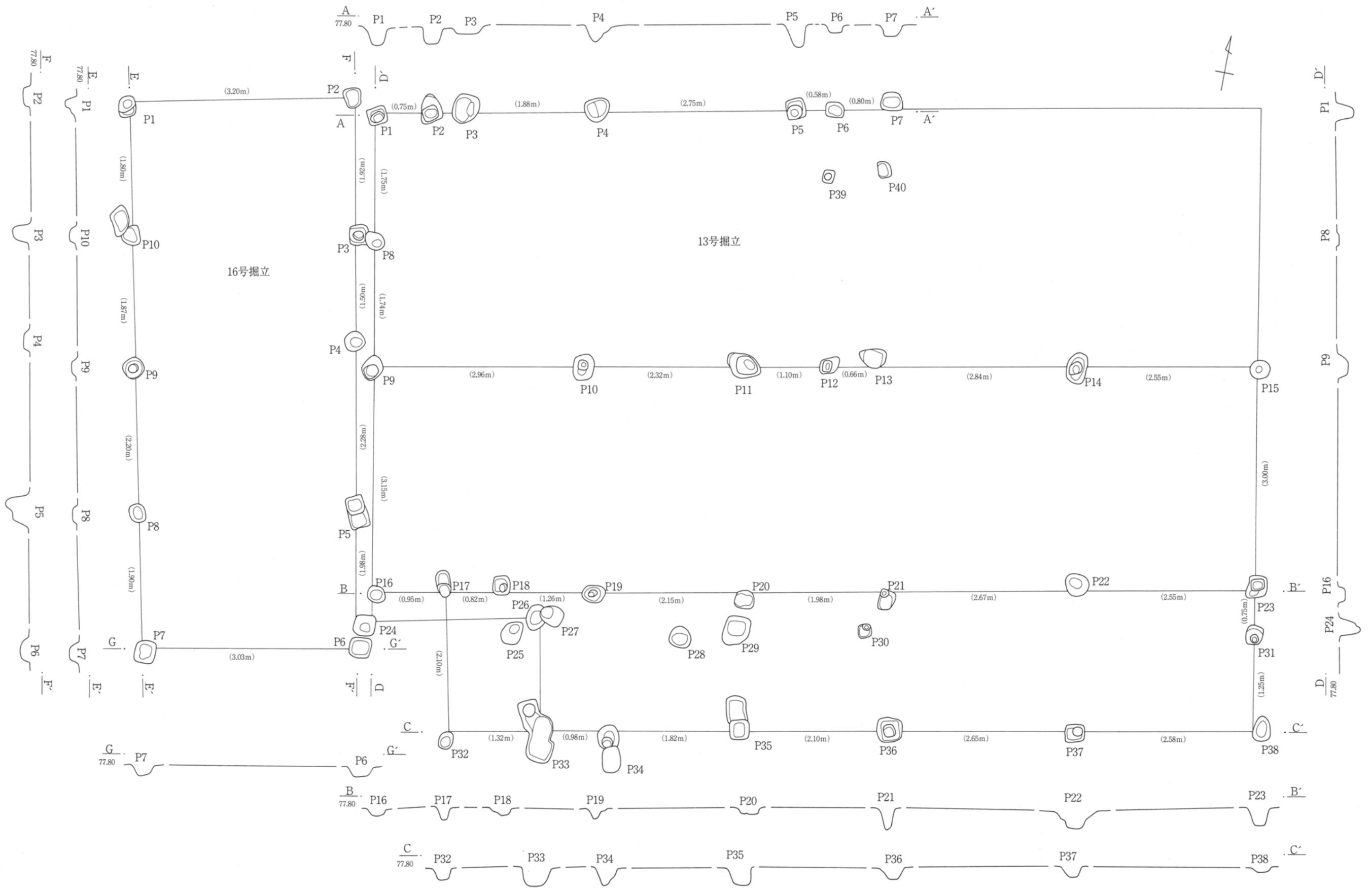
規模 3.65(12尺)×9.05m(30尺)

面積 33.30m²

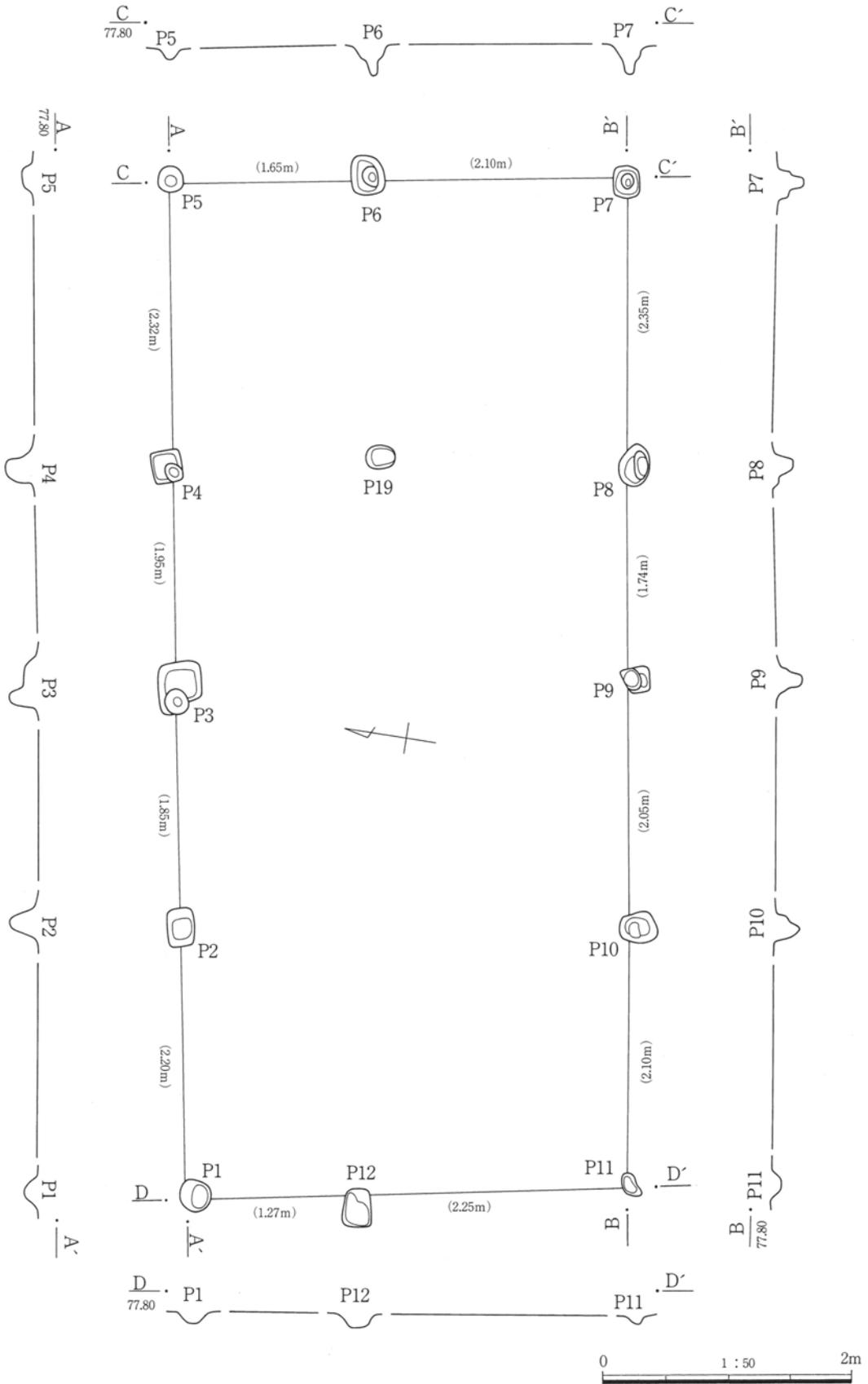
主軸方位 N-81°-E

出土遺物 P10から18～19世紀の陶磁器（徳利、灯火具など）出土。ただし掘方が大きいため後世の土坑と重複した可能性あり。判別はできなかった。

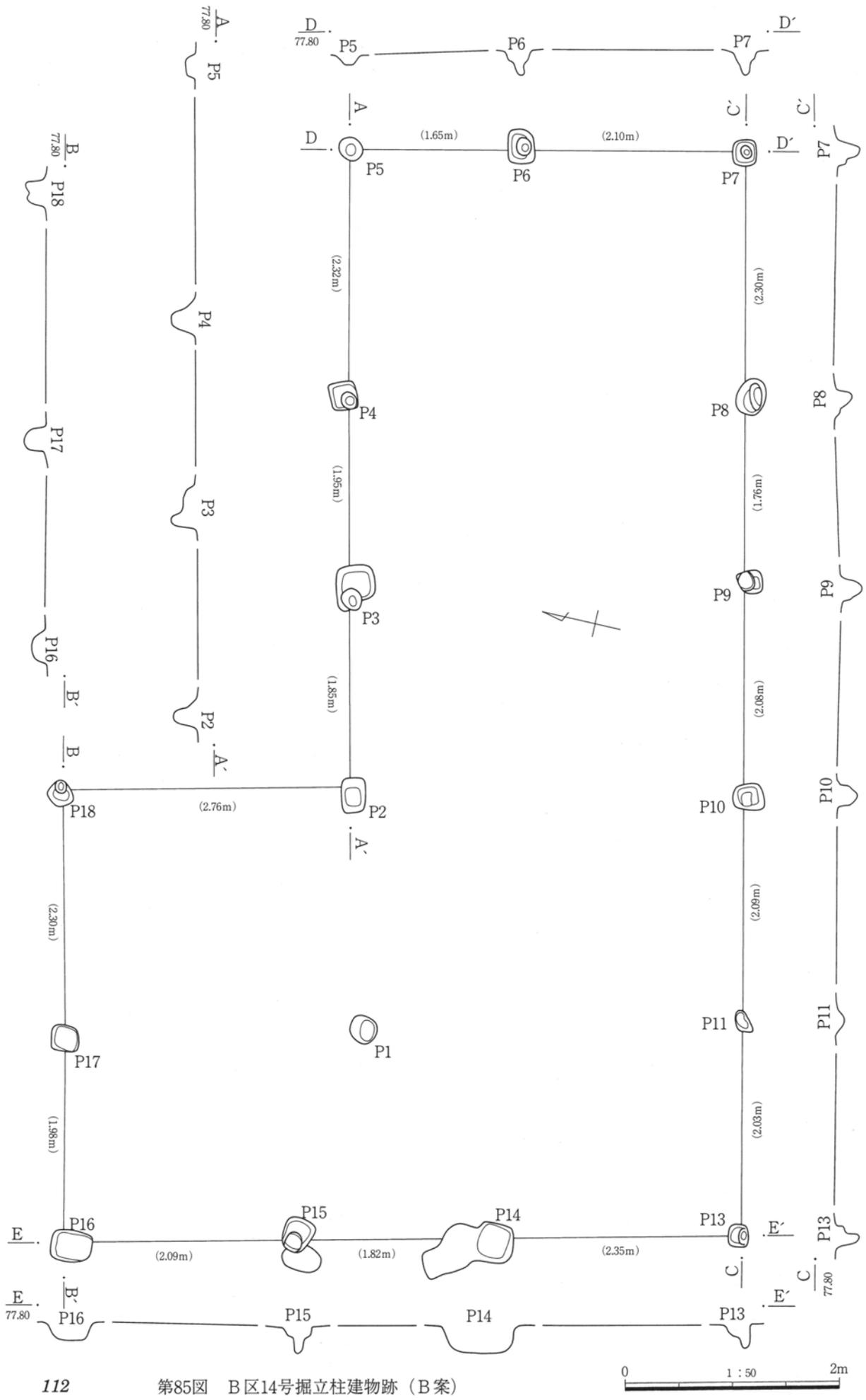
所見 2間×4間の東西棟長方形建物と想定した。西側には間仕切りの柱穴P18・19があり、この部屋の南側と北側には中間に柱P2・P14をたてて柱間を等分している。柱間寸法は、6尺・7尺・8尺のほかに5.5尺と6.5尺がみられる。柱穴は小規模な方形か円形で根石は見られない。14号掘立柱建物跡とは南西に平行移動する位置で重複し、規模や柱穴の近似から、時期を前後して建て替え移動したと考えておきたい。

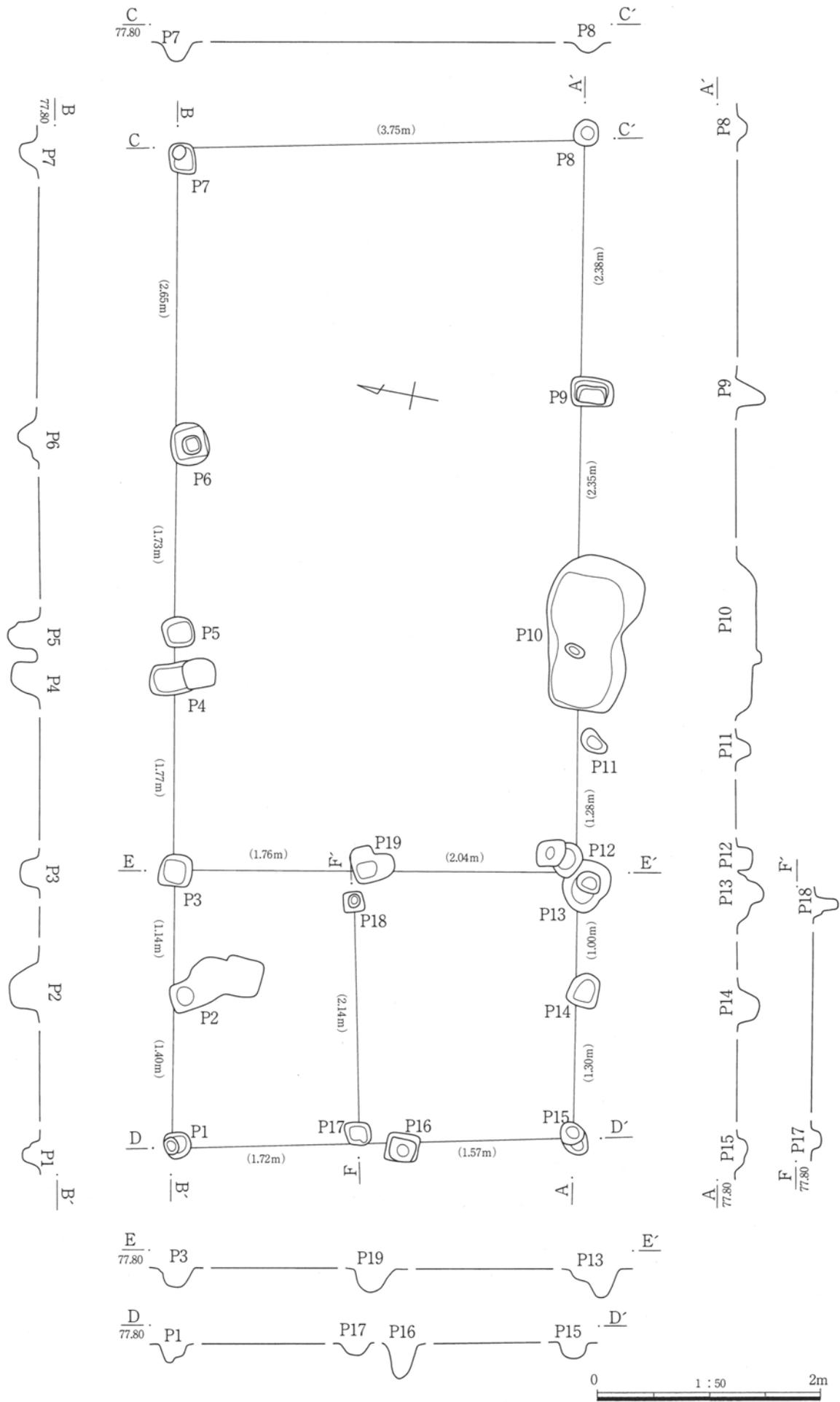


第83图 B区13·16号掘立柱建物迹 (1:50)



第84図 B区14号掘立柱建物跡 (A案)





第86图 B区15号掘立柱建物迹

第6表 B区掘立柱建物跡柱穴計測値

B区 1号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有 無	備 考
P 1	479ピット	25×25	9	77.73		
P 2	763ピット	33×32	7	77.67		
P 3	655ピット	30×28	17	77.61		
P 4	441ピット	24×23	23	77.59		
P 5	487ピット	66×56	22	77.57		
P 6	435ピット	48×48	11	77.63	○	
P 7	434ピット	40×36	11	77.71	○	
P 8	702ピット	32×28	13	77.63		

B区 2号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有 無	備 考
P 1	654ピット	19×19	16	77.58		
P 2	550ピット	30×28	21	77.51	○	
P 3	455ピット	52×50	27	77.47		
P 4	496ピット	27×26	25	77.51		
P 5	505ピット	35×32	29	77.49		
P 6	509ピット	36×35	30	77.48		
P 7	510ピット	46×36	20	77.56		
P 8	1004ピット	30×26	12	77.66		
P 9	754ピット	23×22	23	77.50		
P 10	500ピット	22×20	17	77.58		
P 11	448ピット	36×28	27	77.53		焙烙片
P 12	439ピット	32×31	39	77.42		
P 13	432ピット	28×23	24	77.63		
P 14	433ピット	40×32	15	77.68		
P 15	453ピット	25×21	13	77.65		
P 16	702ピット	32×28	13	77.63		
P 17	486ピット	38×28	9	77.71		
P 18	445ピット	24×22	12	77.69		
P 19	446ピット	24×20	—	—		
P 20	447ピット	42×30	13	77.64		

B区 3号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有 無	備 考
P 1	765ピット	36×26	25	77.49		
P 2	442ピット	41×32	15	77.65	○	
P 3	—	38×35	22	77.48		
P 4	1010ピット	25×25	30	77.36		
P 5	705ピット	33×28	27	77.38		
P 6	—	38×26	38	77.36		

B区 4号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有 無	備 考
P 1	76ピット	36×34	22	77.76		9c代須恵甕、土師杯
P 2	94ピット	37×30	21	77.77		
P 3	102ピット	22×20	14	77.88		
P 4	22土坑	90×46	40	77.70		
P 5	106ピット	44×35	42	77.58		古墳前期小壺片
P 6	593ピット	48×31	19	77.58		
P 7	598ピット	34×30	19	77.62		
P 8	91ピット	54×42	35	77.59		
P 9	71ピット	38×30	41	77.45		
P 10	74ピット	21×18	18	77.78		

B区 5号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有 無	備 考
P 1	92ピット	82×80	34	77.78		碗、9c代椀
P 2	100ピット	38×35	43	77.60		
P 3	49土坑	50×50	49	77.52		
P 4	816ピット	30×28	10	77.57		
P 5	788ピット	28×25	10	77.56		
P 6	—	24×24	16	77.65		
P 7	841ピット	45×28	23	77.43		
P 8	116ピット	75×54	32	77.48		碟
P 9	822ピット	38×23	28	77.37		
P 10	819ピット	29×29	27	77.40		
P 11	91ピット	54×42	35	77.59		

B区 6号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有 無	備 考
P 1	99ピット	32×30	21	77.82		
P 2	112ピット	55×34	26	77.75		碟
P 3	26土坑	42×33	38	77.58		焼土・炭、平安土師器片
P 4	800ピット	32×28	14	77.49		
P 5	807ピット	15<×20	4	77.53		
P 6	806ピット	36×34	19	77.41		
P 7	775ピット	35×32	20	77.40		
P 8	770ピット	25×24	18	77.41		焙烙片
P 9	—	40×34	22	77.57		
P 1 0	109ピット	46×40	53	77.31		
P 1 1	—	36×28	27	77.67		
P 1 2	—	32×32	19	77.83		
P 1 3	794ピット	36×36	50	77.13		

B区 7号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有 無	備 考
P 1	194土坑	26×25	8	77.59		
P 2	193土坑	27×26	5	77.63		
P 3	85ピット	28×28	19	77.84		
P 4	—	44×36	7	77.97		
P 5	101ピット	29×23	26	77.76		
P 6	—	36×30	20	77.73		
P 7	161土坑	36×22	8	77.47		
P 8	118土坑	48×40	17	77.48		

B区 8号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有 無	備 考
P 1	—	28×20	21	77.74		
P 2	197土坑	56×40	18	77.50		
P 3	86ピット	22×21	14	77.88		
P 4	—	20×20	17	77.47		
P 5	88ピット	46×38	26	77.72		
P 6	224ピット	64×62	68	77.33		古墳前期甕片ほか
P 7	66ピット	40×38	38	77.56		
P 8	59ピット	38×37	39	77.53		

B区 9号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有 無	備 考
P 1	201土坑	30×25<	45	77.22		
P 2	—	64×32	14	77.88		
P 3	92ピット	82×80	27	77.75		9c椀、5掘P1と考える
P 4	89ピット	34×24	17	77.79		
P 5	73ピット	28×26	14	77.78		
P 6	158土坑	18×12	2	77.57		
P 7	68ピット	40×32	33	77.65		

B区 10号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有 無	備 考
P 1	113ピット	32×28	16	77.82		
P 2	804ピット	32×30	11	77.48		
P 3	780ピット	32×28	16	77.45		
P 4	—	44×32	9	77.67		
P 5	614ピット	23×21	12	77.64		
P 6	828ピット	34×28	8	77.57		
P 7	619ピット	32×30	11	77.65		
P 8	—	26×22	18	77.63		
P 9	518ピット	30×30	22	77.59		古墳前期甕片
P 10	109ピット	46×40	53	77.31		
P 11	110ピット	30×28	23	77.64		

P 12	111ピット	35×33	21	77.71		
P 13	—	48×44	5	77.57		

B区 11号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備考
P 1	169土坑	23×18	3	77.65		
P 2	—	32×30	15	77.48		
P 3	60ピット	70×24	20	77.64		
P 4	1001ピット	44×32	21	77.57		
P 5	182土坑	23×20	10	77.52		
P 6	166土坑	32×20	15	77.51		
P 7	167土坑	32×32	43	77.26		焙烙片

B区 12号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備考
P 1	148土坑	40×40	31	77.40		
P 2	197土坑	56×40	18	77.50		
P 3	194土坑	26×25	8	77.59		
P 4	193土坑	27×26	5	77.63		
P 5	161土坑	36×22	8	77.47		
P 6	163土坑	16×14	8	77.50		
P 7	181土坑	20×20	7	77.50		
P 8	56ピット	62×33	81	77.08		
P 9	183土坑	30×25	6	77.66		時期不明土師器片

B区 柵列跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備考
P 1	—	25×18	11	77.70	○	
P 2	823ピット	26×22	8	77.60		
P 3	—	17×14	9	77.63		
P 4	—	32×28	6	77.62		
P 5	—	32×24	10	77.66		
P 6	—	20×20	16	77.61		
P 7	—	22×16	10	77.66		
P 8	—	22×17	19	77.57		

B区 13号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備考
P 1	219ピット	27×24	30	77.36		
P 2	220ピット	35×28	28	77.37		
P 3	222ピット	41×33	15	77.52		
P 4	231ピット	36×30	22	77.45		
P 5	233ピット	25×24	32	77.38		
P 6	—	25×18	10	77.61		

第4章 中世・近世の遺構と遺物

P 7	636ピット	28×25	17	77.55		
P 8	—	24×22	14	77.50		
P 9	198ピット	28×25	15	77.48		
P 10	635ピット	34×29	25	77.48		
P 11	265ピット	38×35	43	77.20		
P 12	272ピット	23×23	10	77.55		
P 13	273ピット	37×25	8	77.55		
P 14	976ピット	43×28	13	77.52		
P 15	294ピット	28×25	12	77.51		
P 16	190ピット	25×21	12	77.50		
P 17	304ピット	35×20	19	77.47		
P 18	305ピット	26×24	10	77.53		
P 19	962ピット	26×26	18	77.46		
P 20	353ピット	25×24	12	77.51		
P 21	281ピット	27×22	30	77.34		
P 22	377ピット	32×28	27	77.36		
P 23	296ピット	28×25	24	77.38		
P 24	188ピット	30×30	29	77.34		
P 25	306ピット	30×26	31	77.33		
P 26	309aピット	35×26	18	77.46		
P 27	309bピット	31×25	27	77.36		
P 28	349ピット	29×27	20	77.44		
P 29	350ピット	39×35	25	77.40		
P 30	355ピット	18×18	8	77.51		
P 31	297ピット	25×22	23	77.40		
P 32	316ピット	23×18	17	77.47		
P 33	314ピット	85×36	27	77.36		
P 34	312ピット	32×29	24	77.40		
P 35	346ピット	62×30	27	77.36		
P 36	359ピット	36×34	18	77.44		
P 37	378ピット	27×22	17	77.46		
P 38	646ピット	35×25	5	77.58		
P 39	238ピット	17×16	8	77.60		
P 40	240ピット	22×18	8	77.62		

B区 14号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備 考
P 1	348ピット	25×24	10	77.55		
P 2	356ピット	31×21	22	77.43		
P 3	360ピット	41×36	24	77.38		
P 4	303ピット	24×23	24	77.35		
P 5	—	21×19	8	77.54		
P 6	645ピット	31×26	24	77.39		
P 7	—	24×21	22	77.40		
P 8	955ピット	32×26	17	77.47		
P 9	373ピット	22×20	26	77.37		
P 10	643ピット	30×24	24	77.39		

P 11	334ピット	17×12	7	77.56		
P 12	339ピット	30×23	11	77.52		
P 13	327ピット	20×20	21	77.42		
P 14	314ピット	85×36	27	77.36		
P 15	309bピット	31×25	27	77.36		
P 16	258ピット	38×30	16	77.49		
P 17	267ピット	26×24	22	77.43		
P 18	277ピット	20×20	18	77.46		
P 19	380ピット	23×18	9	77.53		

B区 15号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備 考
P 1	317ピット	23×23	17	77.46		
P 2	314ピット	85×36	27	77.36		
P 3	311ピット	30×28	19	77.46		
P 4	346ピット	62×30	27	77.36		
P 5	344ピット	29×27	30	77.34		
P 6	359ピット	36×34	18	77.44		
P 7	378ピット	27×22	17	77.46		
P 8	953ピット	24×22	10	77.54		
P 9	375ピット	36×26	26	77.35		
P 10	37土坑	145×70	26	77.37	○	近世陶磁器 (18.19c)
P 11	332ピット	24×18	14	77.49		
P 12	329ピット	27×22	20	77.50		
P 13	631ピット	47×37	26	77.36		
P 14	328ピット	31×29	19	77.43		
P 15	540ピット	30×22	14	77.49		
P 16	320ピット	30×25	33	77.36		
P 17	319ピット	22×21	10	77.54		
P 18	324ピット	19×18	22	77.43		
P 19	326ピット	36×32	20	77.42		

B区 16号掘立柱建物跡

柱穴番号	発掘時 登録番号	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 77m以下二桁	根石の 有無	備 考
P 1	206ピット	27×20	16	77.47		
P 2	627ピット	27×24	10	77.55		
P 3	199ピット	27×25	26	77.38		
P 4	975ピット	27×26	6	77.56		
P 5	191ピット	45×26	31	77.31		
P 6	187ピット	30×27	15	77.47		
P 7	543ピット	30×28	16	77.48		
P 8	980ピット	24×21	8	77.55		
P 9	193ピット	28×27	9	77.53		
P 10	—	28×24	9	77.55		

(2) 溝

B区1(2)号溝(第87図、PL.80・81)

位置 B区西半。なお、調査時に平行する2条の溝ととらえ、1号・2号と命名したが、整理作業を進める段階で、これを1号溝(古)・1号溝(新)と改めた。

規模 検出長72m、幅7.8~5.0m、深さ120cm。底面は、細長く浅い升状のくぼみが連続する。古段階の幅4.8m、新段階の幅4.0m。

走向 西南西から屈曲して南南東へ延びる。直線部分はN-40°-W。

断面の状況 箱掘状、法面上位は崩落のためややえぐれる。直線部分では掘り直しの状況が土層断面で観察できる。古段階の溝は西側、新段階のみぞは東側に偏る。新段階溝の断面は底部が狭く薬研堀に近い形状をもつ。B区北西端で確認できる屈曲部の土層断面は古段階の溝埋土で、断面形は台形状。古溝埋土は洪水起源と思われる軽石混の砂層やラミナ状堆積が見られる。

出土遺物 17世紀半ば頃を上限とし、18世紀代を主体として近代までの遺物が出土した。陶磁器類のほかに、石臼、瓦、砥石、小刀、煙管、下駄などの木製品が見られる。南端部には東法面下部で崩れた状態の石垣が検出された。この部分は近・現代でも使用されていたようで、木製品や石臼片、ビニル製品とともに昭和年代に入ってからガラス器が出土している。

所見 古段階溝には下層に砂、上層に土居からの流れ込みか人為的埋土と思われる土塊の多い土が堆積していた。新段階溝は上層でビニル等も出土することから、近現代まで利用されていたことが明らかである。なお近世絵図では、西南西に屈曲する古段階溝部分は道として描かれ、北北西から南南東へ直線的に延びる末端のとじた堀として描かれている(第267図)。この走向で近世~近代に使用されていたと考えられる。屈曲部分にあたる古段階溝はそれ以前に埋没していたと考えられるので、近世初頭以前に機能していた部分と考えられようか。直線部分

の中央付近では西から延びる21号溝と重複合流し、東方へは23号溝が分岐する。なお、南北に延びる53号溝に切れ、また2号・19号・20号・24号井戸が本溝の法面と底面で検出された。溝時代が近世~近代に機能し窪地として遺存していたことを考えれば、これらの井戸は溝以前の中世段階にまで遡りえよう。ただし、土層等による新旧関係の確認はできなかった。

B区3号溝(第89図、PL.82)

位置 B区北西部

規模 検出長12m、幅0.8m、深さ23cm。底面レベル高低差ほとんど見られず平坦。

走向 N-55°-E。直線状

断面の状況 台形状、黒色土ブロックをわずかに含む砂質土で埋没。

出土遺物 なし。

所見 1号古溝の南側に平行して走るが、関連性は不明。1号溝屈曲部で北東端が止まるので、1号溝で区画された郭内構造に関わる溝と考えられる。

B区4号溝(第89図、PL.82)

位置 B区北西部

規模 検出長11.5m、幅0.95m、深さ5cm。南東方向にやや傾斜する。

走向 N-55°-W、直線状に延び南東端で止まる。

出土遺物 なし。

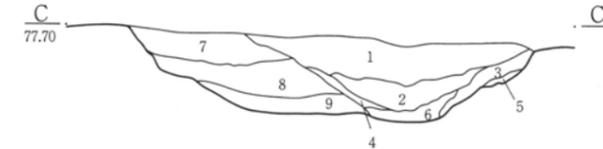
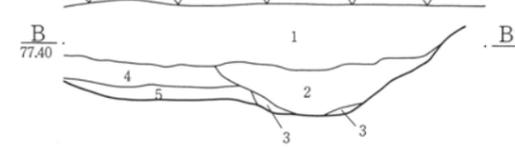
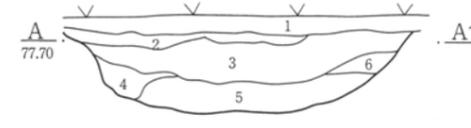
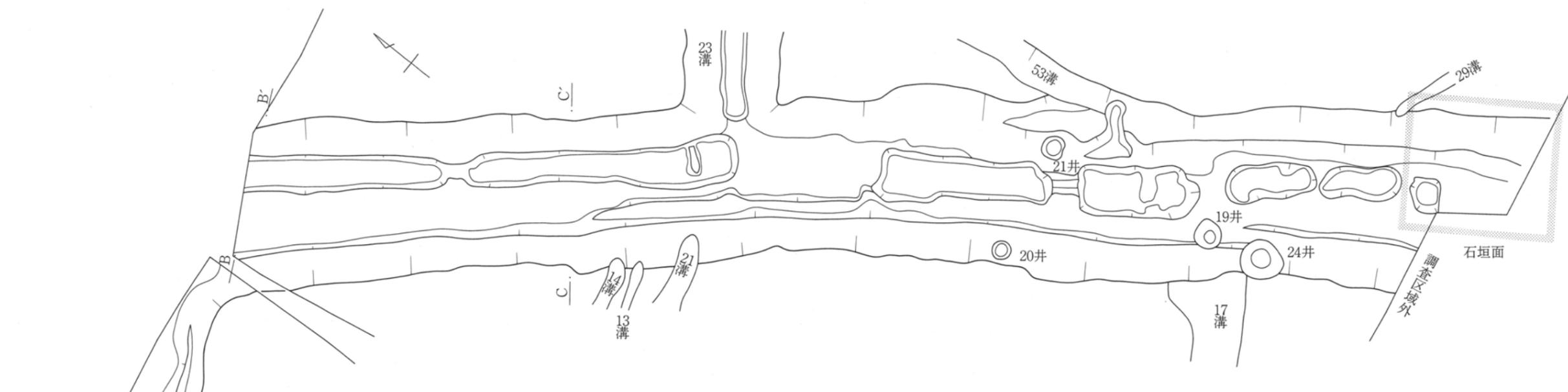
所見 3号溝、1号古溝と重複するが新旧関係は不明。走向が他の溝群と無関係と思われることから、中世以前に遡る可能性も考えられよう。

B区5号溝(第88図、PL.79・82・83)

位置 B区西端

規模 検出長43m、幅3.5m、深さ115cm。

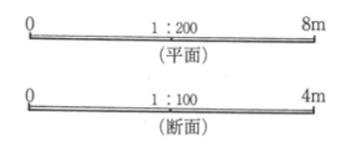
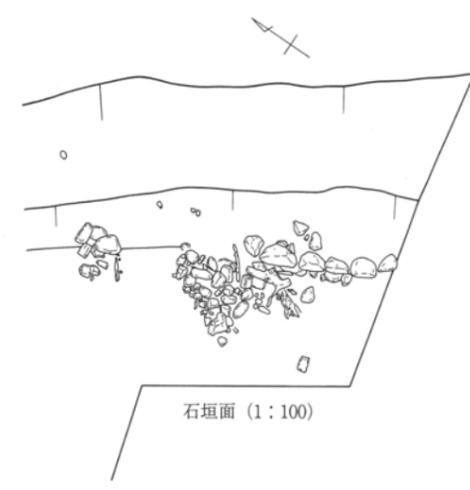
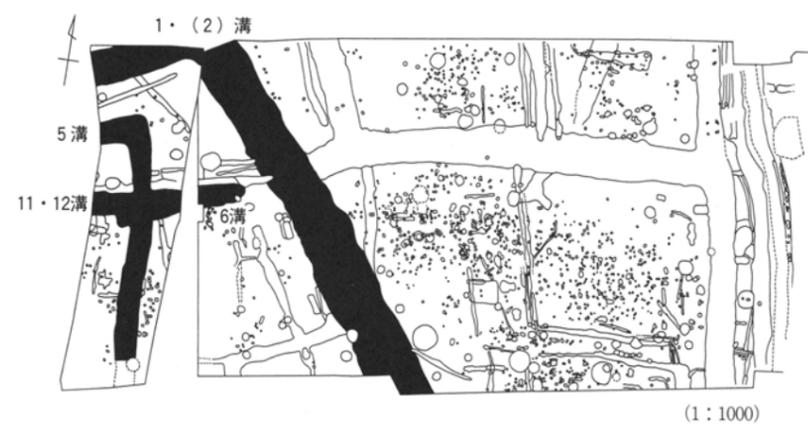
走向 ほぼ直線的に南北に走り、北端で西南西に折れる。西端延長は現道路下でA区16号溝に合流すると思われる。南端は現代の攪乱で検出できなかった。



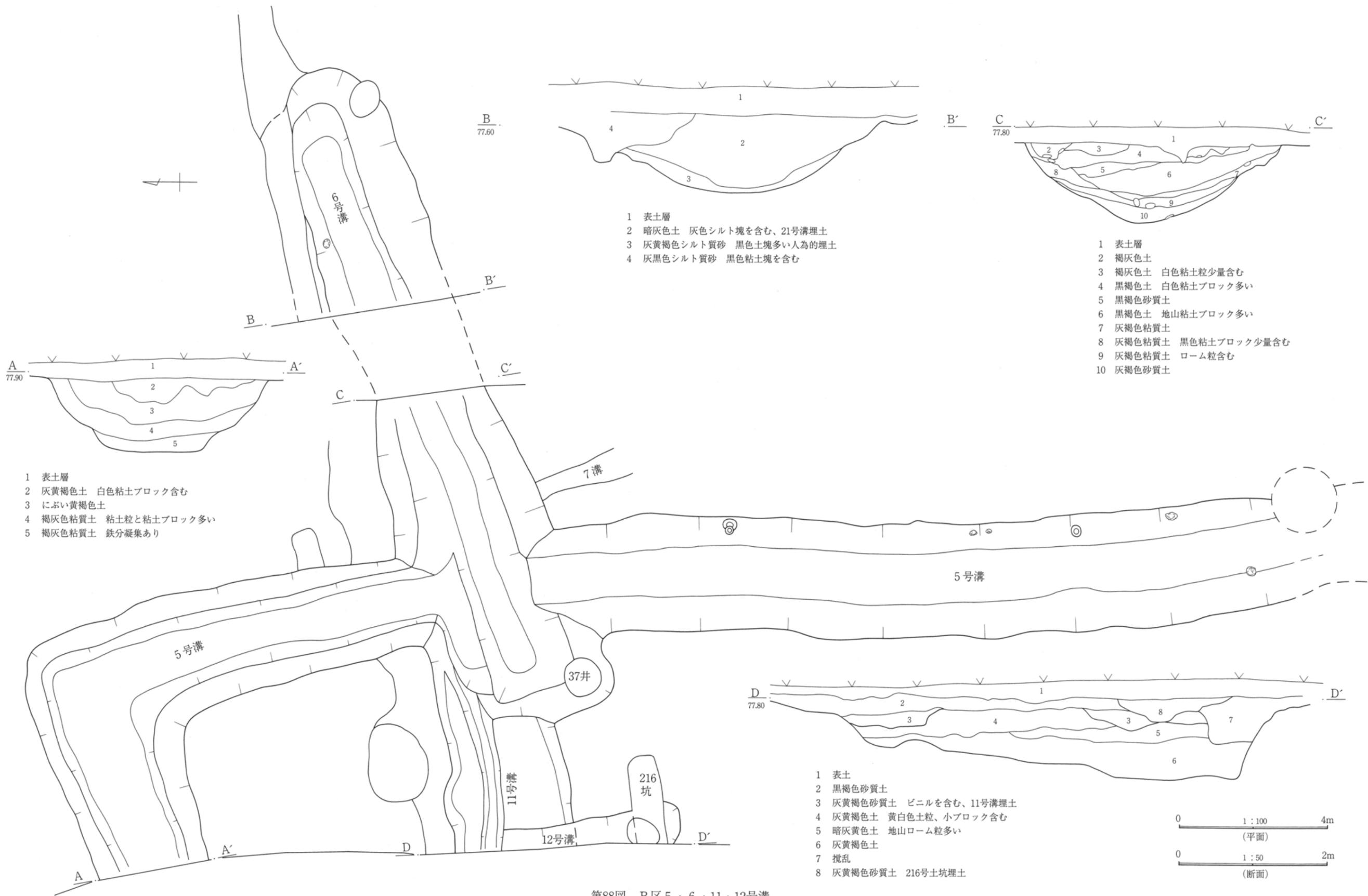
- 1 表土層
- 2 黒褐色砂質土
- 3 灰黄褐色砂質土 地山ローム粒子含み、硬く締まる
- 4 灰黄褐色砂質土
- 5 灰黄褐色砂質土 白色粘土・黒色粘土ブロックを含む
- 6 黄褐色砂質土 炭化物含む、近代攪乱層

- 1 表土層 昭和40年代の客土
- 2 暗灰褐色土 シルト質でラミナ状の砂層を含む
- 3 暗灰褐色粘質土
- 4 灰褐色土 軽石と砂を多く含む、1号古溝埋土
- 5 灰褐色シルト ラミナ状に砂層を含む、1号古溝埋土

- 1 灰褐色シルト質砂 ビニルを含む昭和期客土
- 2 暗灰色幸津シルト
- 3 灰褐色シルト質砂
- 4 灰褐色砂
- 5 灰褐色砂質シルト
- 6 灰黒色土 やや粘性帯びる
- 7 灰黄色シルト質砂 地山ローム塊を多く含む
- 8 灰褐色シルト質砂 鉄分凝集多い
- 9 暗灰色砂質シルト
- 1~6 新溝埋土 7~9 古溝埋土



第87図 B区1(2)号溝



第88図 B区5・6・11・12号溝

た。

断面の状況 浅い箱薬研堀状。地山の土粒を比較的多く含むことから、土居等の流入堆積の可能性が考えられる。

出土遺物 北宋銭1枚が出土した。

所見 6号溝と直交するが新旧関係は不明。1号溝の南西側で、相似形に近くL字状の屈曲を呈する。さらに双方とも南北の大区画となるA区16号溝に合流することから、1号古溝と同様の性格を考えると良いだろう。規模の大きい溝としては極端に出土遺物が少なく、かつ近世陶磁器類がほとんど見られないことから、中世以前に遡るものだろう。

B区6号溝 (第88図、PL.79・81・83)

位置 B区西部中央。

規模 検出長18.8m、幅4.00m、深さ110cm。

走行 N-68°-E。西端はA区12号溝東端と約2.5mの間隔をあけて止まる。また東端は1号溝との間に2.5mの間隔をあけて止まる。

断面の状況 浅い薬研堀状。底面レベルの高低差はほとんど見られず平坦。中位に地山粘土ブロックを含む土層が厚く堆積する。

出土遺物 埋土から陶磁器類ほか砥石などが出土。帰属する時期は、16世紀～17世紀前半のかわらけ・焙烙と、近代の陶磁器類・馬蹄・地藏頭部に時期的に二分される。

所見 配置関係と埋土の特徴から、1号溝・A区12号溝と同時存在した可能性が高いと考えられる。この場合1号溝とA区16号溝で囲まれた台形状の空間を南北に区切る役割を持っていたと考えられる。さらに双方との間に2.5mの土橋を残している。時期は近世初頭以前に遡りうることが考えられ、出土した近代遺物は溝埋没後の廃棄物と理解したい。5号溝と交差するが、5号溝屈曲部と16号溝との間に密閉された小規模な矩形空間が生じるため、5号溝と6号溝は本来同時存在しないと考える。

B区7号溝 (第89図、PL.83)

位置 B区西部中央。

規模 検出長6.8m、幅0.88m、深さ23cm。

走行 N-20°-W。途中で東方向に分岐溝が延びる。南延長部は不明。北端は6号溝と重複。

断面形状 蒲鉾形。

出土遺物 なし。

B区8号溝 (第89図、PL.84)

位置 B区南西部。

規模 検出長5.3m、幅0.3m、深さ15cm。

走行 南北。10号溝と方形区画を構成する方向。

断面形状 箱形。

出土遺物 なし。

所見 5号溝の西側で並行するが、関連性は不明。

B区9号溝 (第89図、PL.84)

位置 B区南西部

規模 検出長2.7m、幅0.4m、深さ15cm。

走行 南北、8号溝と1m強離れて並行する。

断面形状 蒲鉾形。

出土遺物 なし。

所見 213・214号土坑と重複、新旧関係は不明。

B区10号溝 (第89図)

位置 B区南西部

規模 検出長3.0m、幅0.6m、深さ36cm。

走行 東西。

断面形状 箱形。

出土遺物 なし。

所見 8号溝と矩形空間を構成する位置にあるが、関連性は不明。東端が5号溝と重複するが、新旧関係は不明。

B区11号溝 (第88図)

位置 B区西部中央。

規模 検出長6.2m、幅1.7m、深さ28cm。

走行 東西。

断面形状 浅い皿形。

出土遺物 埋土からビニルが出土している。

所見 12号溝埋没後に掘られており、東端で重複する6号溝との新旧関係は確認できなかったが、本溝は現代と思われる。

B区12号溝（第88図、PL.84）

位置 B区西端中央。

規模 幅5.9m、深さ0.9m。

走行 西側が現道下で不明だが、規模と走行から、A区12号溝の東端部と想定できる。

断面の状況 台形状の断面形で、埋土には地山のローム粒や粘土ブロックを多く含む。土層上位で、B区11号溝や216号土坑に切られたと確認できる。

出土遺物 なし。

所見 A区から連続する12号溝の走行は、その延長上2.5mの間隔をあけて6号溝に続く。このことから、6号溝と12号溝は本来一連の溝であり、その中間に8尺ほどの土橋部を掘り残した形態であると言い換えることもできよう。

B区13号溝（第89図、PL.84）

位置 B区西部中央

規模 検出長6.2m、幅0.53m、深さ22cm。

走行 東西、21号溝の北側に平行する。

断面形状 蒲鉾形。

出土遺物 近世焙烙片、砥石が出土。

所見 東端を1号溝と重複するが、新旧関係不明。

B区14号溝（第89図、PL.84・85）

位置 B区西部中央。

規模 検出長5.0m、幅0.75m、深さ26cm。

走行 13号溝の北側にほぼ同規模で平行する。

断面形状 箱形。

出土遺物 近世～近代の陶磁器片が少量出土。

所見 両端を1号井戸、1号溝と重複するが、新旧関係は不明。

B区15号溝（第90図、PL.85）

位置 B区南西部。

規模 検出長22.5m、幅1.8～0.4m、深さ24cm。

走行 N-20°-W

断面の状況 浅い皿形。シルト質砂が堆積している。底面は凹凸があり、北端が閉じていることから流水を目的とはしていない。

出土遺物 板碑片3点、五輪塔片1点、内耳鍋(714)、13世紀後半から14世紀前半と見られる常滑大甕片(715)が出土。近世陶磁器類はない。

所見 1号溝の西側5mの位置で平行して走っており、1号古溝との関連が考えられる。近世遺物がほとんど見られないので、中世段階と捉えたい。

B区16号溝（欠番）

B区17号溝（第90図、PL.85）

位置 B区南西端。

規模 検出長19.2m、幅1.6～3.4m、深さ29cm。

走行 N-62°-E。南西端で南方に屈曲し、その延長は不明。さらに屈曲部から南西方向へ支流が分岐して延びる。

断面の状況 浅い皿形。一部台形状。現表土と同質の堆積土。

出土遺物 なし。

所見 近代以降の溝、暗渠水路と考えられる。

B区18号溝（第91図、PL.87）

位置 B区北部中央。

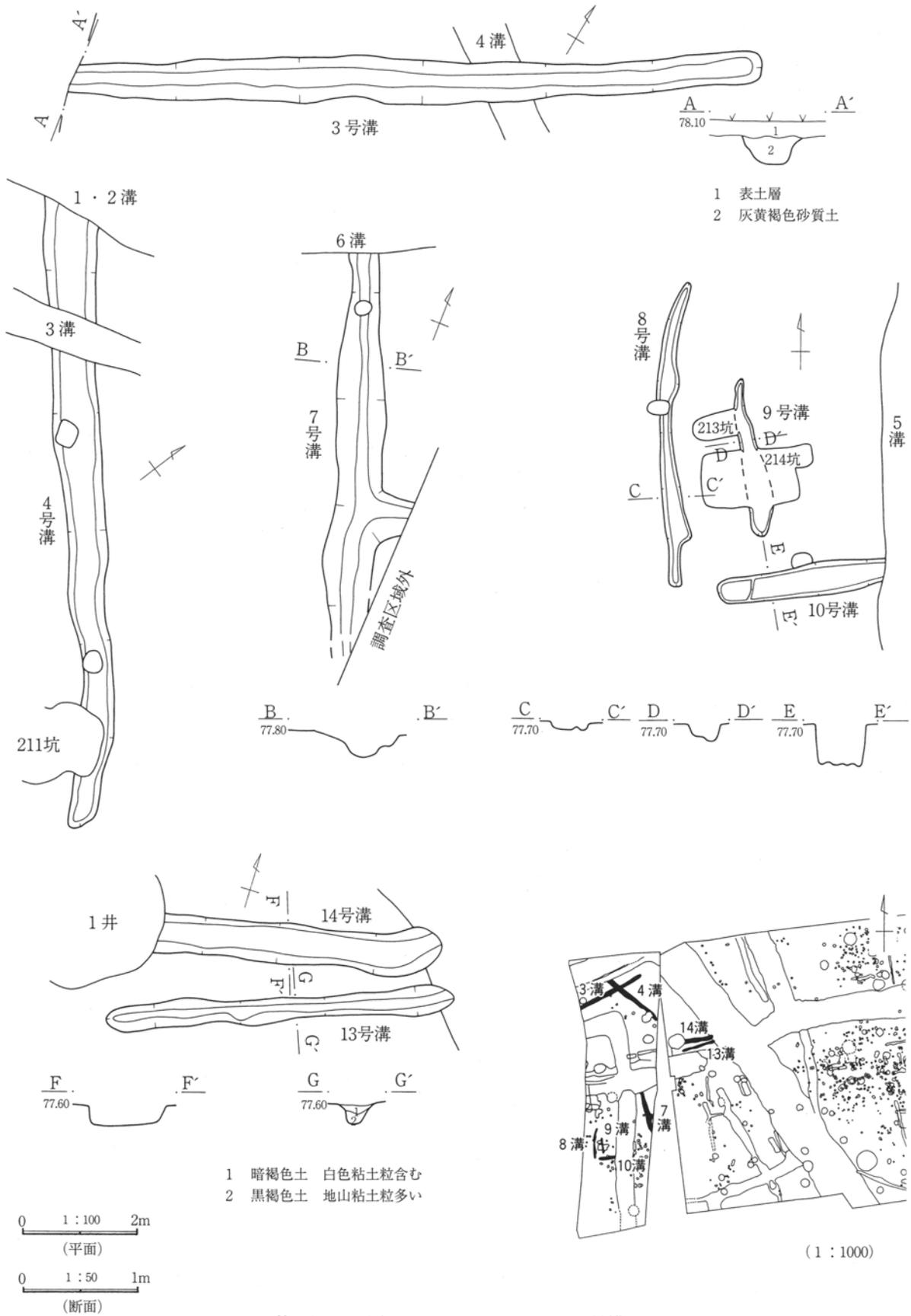
規模 検出長12m、幅0.9～1.22m、深さ30cm。

走行 南北。N-22°-W

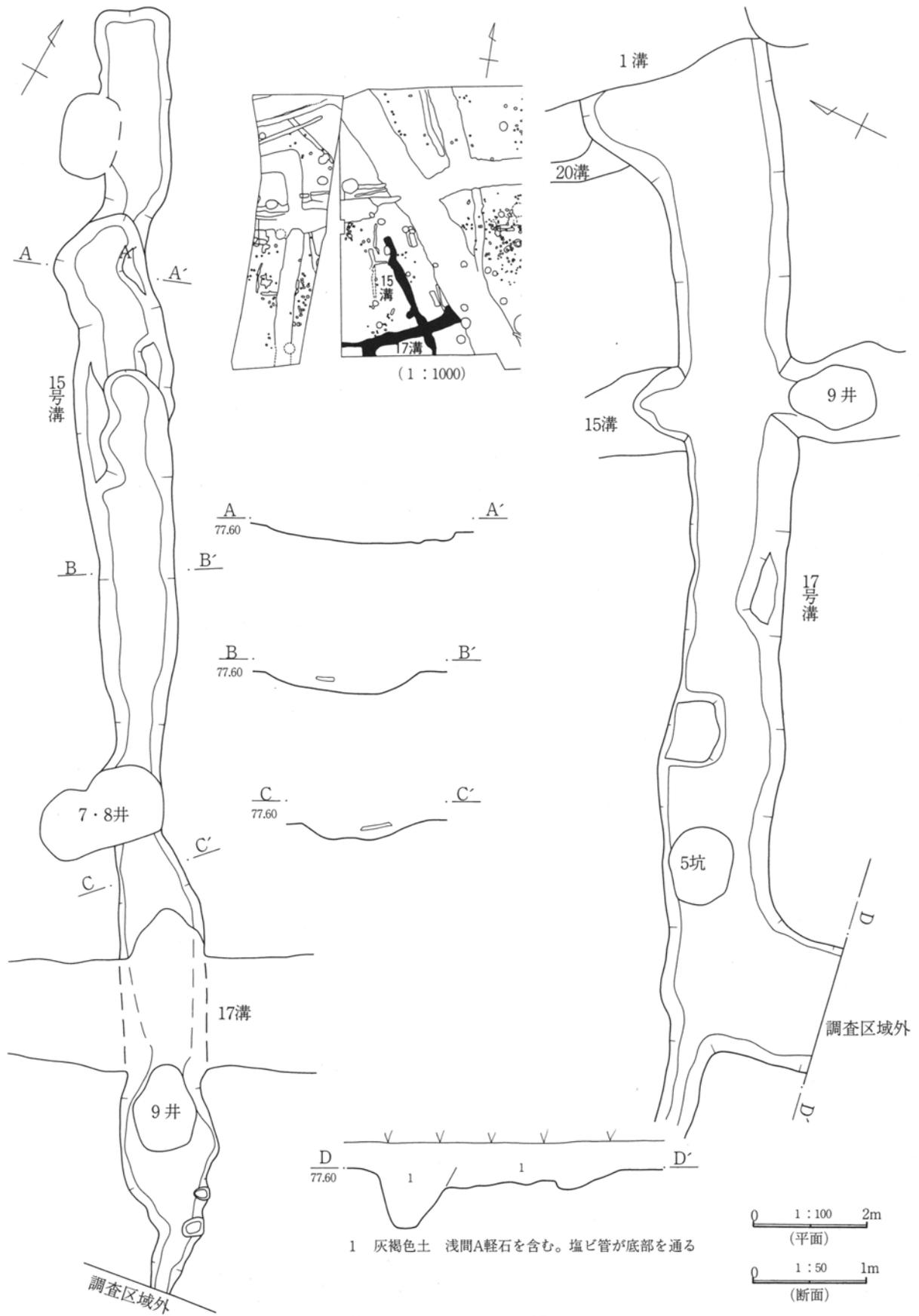
断面の状況 薬研堀状。炭化物を含むシルト質砂が堆積している。底面は平坦、ほぼ水平。

出土遺物 近世（18世紀後半～）の碗のほか陶磁器片が出土。

所見 19号溝の西側に沿って走るが、やや湾曲することや、近接しすぎることから、時期的には異なる存在と考えられよう。



第89図 B区3・4・7~10・13・14号溝



第90図 B区15・17号溝

B区19号溝 (第91図、PL.87)**位置** B区北部中央。**規模** 検出長15m、幅3.9~4.5m、深さ63~89cm。**走行** 南北。N-25°-W**断面の状況** 蒲鉾形。上位には地山土のブロックを多く含む土、下位には砂との互層が見られる。洪水を被った可能性あり。**出土遺物** 近世陶磁器類の破片が少量出土。**所見** 南端は23号溝に合流する。中世~近世の時間幅で考えざるを得ないが、近世絵図には該当する堀は描かれていないから、大部分が埋没していた可能性が考えられる。なお、底面の中央南寄りの位置で円形の小ピット2基が1mの間隔で検出されたが、本溝に伴うことの確認はできなかった。**B区20号溝 (第92図、PL.88)****位置** B区南西部。**規模** 検出長5.1m、幅0.26~0.78m、深さ7cm。**走行** 南北。N-30°-W**断面の状況** 浅い皿形。表土に近い暗褐色土が堆積**出土遺物** 寛永通宝2点が出土。**B区21号溝 (第92図)****位置** B区西部中央。**規模** 検出長25.8m、幅0.9~1.85m、深さ36~66cm。**走行** N-75°-E。6号溝の北側に沿う。**断面の状況** 薬研堀状。6号溝を切って掘り込まれている。底面は東へ15cmの比高で低く傾斜する。**出土遺物** なし。**所見** 6号溝より新しく、1号溝に合流するが、その新旧関係は確認できなかった。6号溝埋没後に新たに東西を画する溝として掘られた可能性がある。近世絵図には該当位置に溝は描かれていない。**B区22号溝 (第92図、PL.88)****位置** B区西部中央。**規模** 検出長8.2m、幅0.29~0.50m、深さ5cm。**走行** 南北。南方延長部は検出できなかった。**断面の状況** 浅い皿形。表土と同質土が堆積。**出土遺物** 砥石2点が出土**所見** 非常に浅く、削平のため本来の形状や規模は確認できない。近代以降の可能性がたかい。**B区23号溝 (第93図、PL.86・87)****位置** B区中央部。**規模** 検出長5.80m、幅4.4~6.3m、深さ84~147cm。**走行** N-85°-E**断面の状況** 浅い薬研堀。全体にシルト質砂が堆積している。底面は升堀状に深く段差をもつ。**出土遺物** 埋土中から、多量の陶磁器のほか、木製品、砥石、煙管等が出土。中世に遡りうるものも数例見られるが、主体は18世紀から19世紀代。**所見** 1号溝から分岐して、24号溝へ続く。東端では北から47号溝が南下して合流するが、近世絵図では、23号溝-24号溝とL字形に屈曲する溝だけが描かれている。また、西側部分では北から19号溝が合流する。これも近世絵図にはない。このことから、本溝は中世以前に遡って開削された可能性が高く、近世以降も継続的に機能し、20世紀には埋没していたとの想定が可能である。屋敷内を南北に分かつ主要な堀として位置づけられ、そのことは、溝の南北で建物群が分割されることにも見られる。ただし、多量の出土遺物に見られるように、近世後期においては埋積が進み、生活廃棄物の捨て場と化していた可能性が高い。**B区24号溝 (第95図、PL.88・89・96)****位置** B区東部。**規模** 検出長32.0m、幅3.57~4.16m、深さ130cm。**走行** N-5°-W。47号溝とは南北方向に直線的、23号溝とは屈曲して連続する。**断面の状況** 箱薬研堀状。シルト質砂が堆積している。底面は部分的に升堀状に深く、わずかながら段差がみられる。

出土遺物 多量の陶磁器類と木製品のほか、板碑片、砥石、煙管、蹄鉄、寛永通宝などが出土。近世陶磁器類を見る限り、17世紀から19世紀のものが主体を占めており、近～現代のものは非常に少ない。

所見 近世には23号溝と連続して矩形区画を構成していたのが明らかだが、開削年代については明らかでない。47号溝と連続して南北に流下していたとするならば、その初源は16世紀以前に遡る可能性も十分に考えられよう。その場合には、屋敷の東限を画する堀であったと捉えられる。

B区25号溝 (第97図、PL.89・97)

位置 B区北部中央

規模 検出長11.9m、幅0.95m、深さ19cm。

走行 N-15°-E

断面の状況 断面形は蒲鉾形、埋土は灰褐色シルト質砂が堆積する。底面レベルはほぼ水平。

出土遺物 なし。

所見 南北走行で南端で23号溝に合流する。やや軸をずらした南側延長上には26号溝が走行する。本溝と並行するほぼ同規模の54・55・56号溝は、23号溝で限られた北側区画を東西に分割する地境の性格を担っているのではあるまいか。また、同時性の確認はできなかったが55号溝とは3.3~3.7mの間隔で並行しており、この間が道路跡であった可能性も考えられる。

B区26号溝 (第94図、PL.89・90)

位置 B区中央。

規模 検出長23.8m、幅1.1m、深さ20~30cm

走行 N-12°-W。北端は23号溝に合流、南端は東方に屈曲して38号溝となる。

断面の状況 断面形は蒲鉾形。底面レベルは水平。

出土遺物 19世紀~明治期の陶磁器類が少量出土。

所見 13~16号掘立柱建物跡のある東側屋敷地を区画する。本溝は2~3条の併走する溝で構成されており、中央には一段の石垣一列が並べられ、東側の溝はその裏込め(第94図38号溝断面模式図参照)

用として、西側溝が本来の流水した溝と考えられる。石垣は南半の9.5m分にわたって検出されており、西側に平坦面をそろえて溝内法としている。近世絵図(第267図)では、東側の「権左衛門後家」屋敷地と西側「権七」屋敷地を画する溝にあたる。

B区27号溝 (第99図)

位置 B区北部中央。

規模 検出長5.1m、幅0.40m、深さ3cm。

走行 N-12°-W

出土遺物 なし。

所見 23号溝の北側で屋敷地を東西に区画する小溝と思われる。

B区28号溝 (第94図、PL.90)

位置 B区中央部。

規模 検出長9.9m、幅0.65m、深さ8cm。

走行 N-16°-W

断面の状況 断面形は浅い蒲鉾形。

出土遺物 なし。

所見 26号溝と8m離れて併走する。46号溝との位置関係は、26号溝と38号溝で構成する矩形と相似形で、同じように屋敷地を区画する溝だろう。

B区29号溝 (第99図、PL.90)

位置 B区南端中央。

規模 検出長9.65m、幅0.8m、深さ6cm。

走行 N-73°-W

出土遺物 なし。

所見 31号溝と交差し1号溝と重複するが、関連性は不明。

B区30・45号溝 (第100図、PL.91・95)

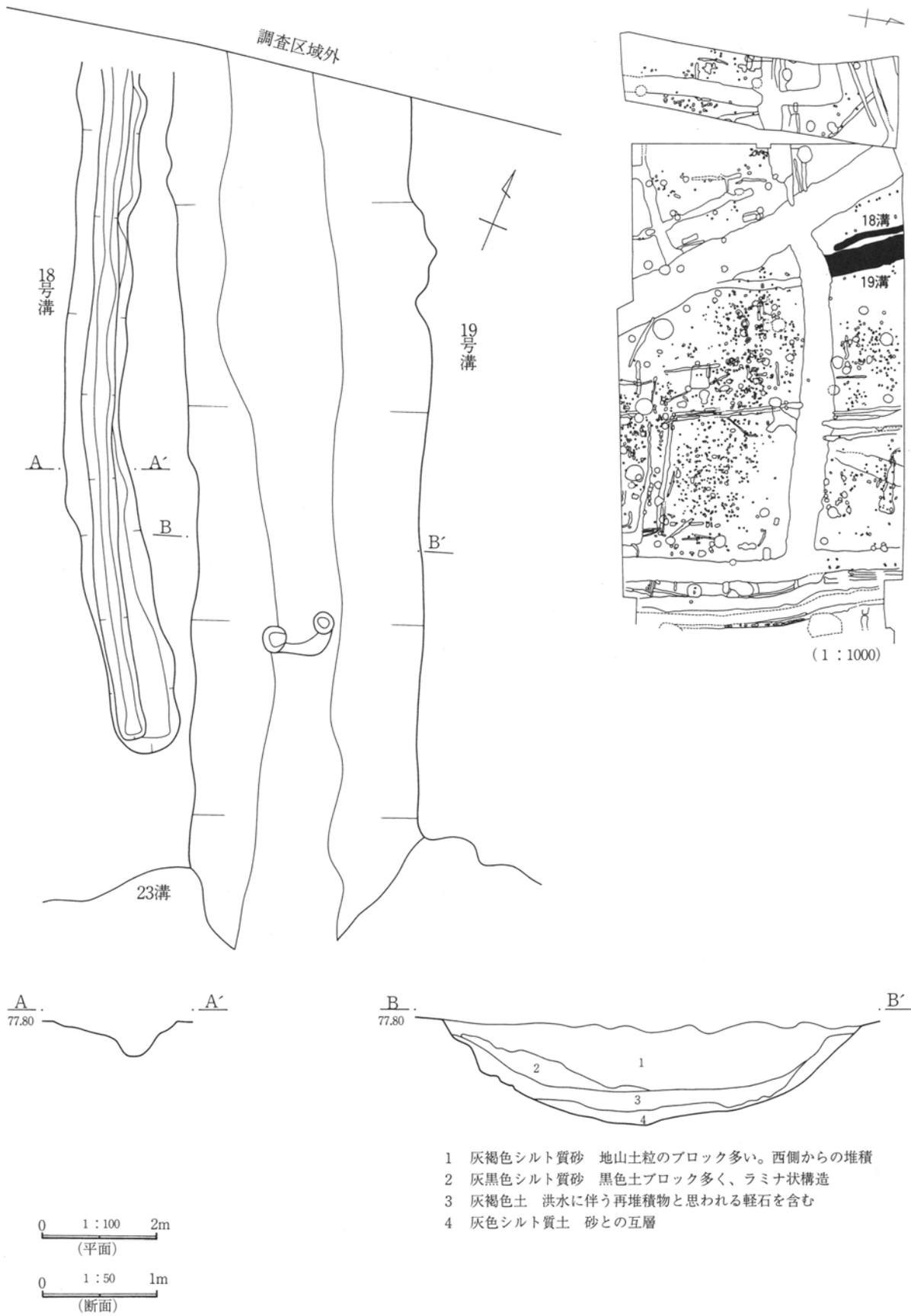
位置 B区南部中央。

規模 検出長11.9m、幅0.3m、深さ6cm。

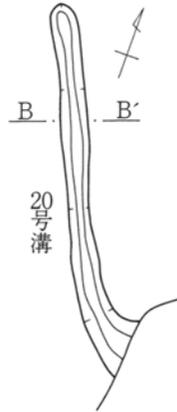
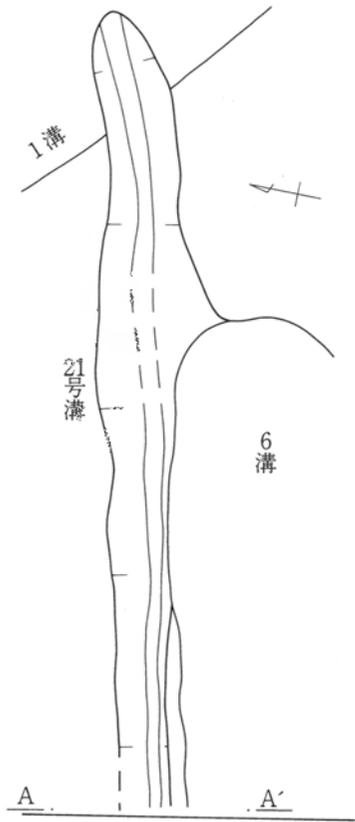
走行 N-26°-W

断面の状況 断面形は浅い蒲鉾形。

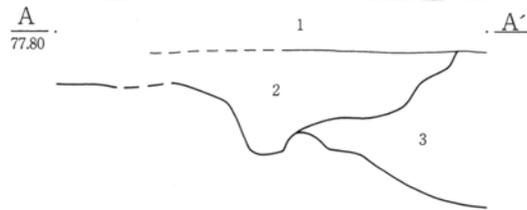
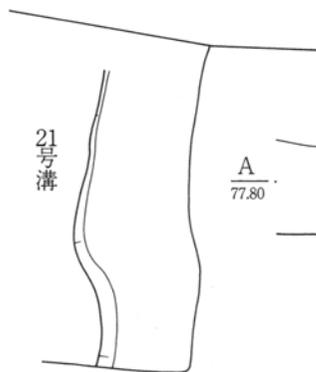
出土遺物 なし。



第91図 B区18・19号溝

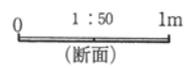
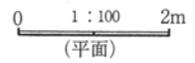
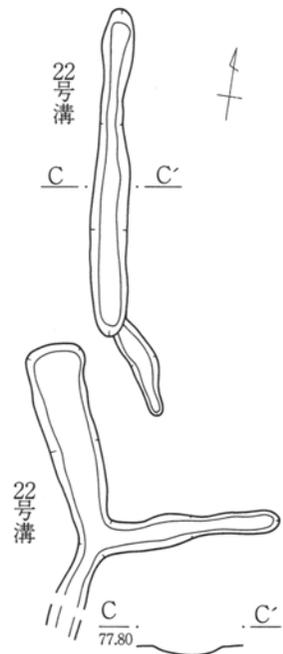
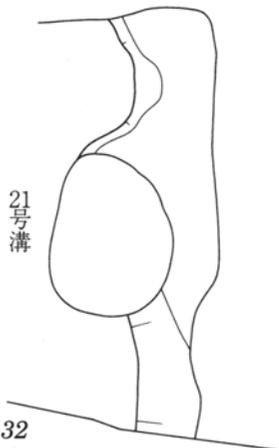


(1 : 1000)

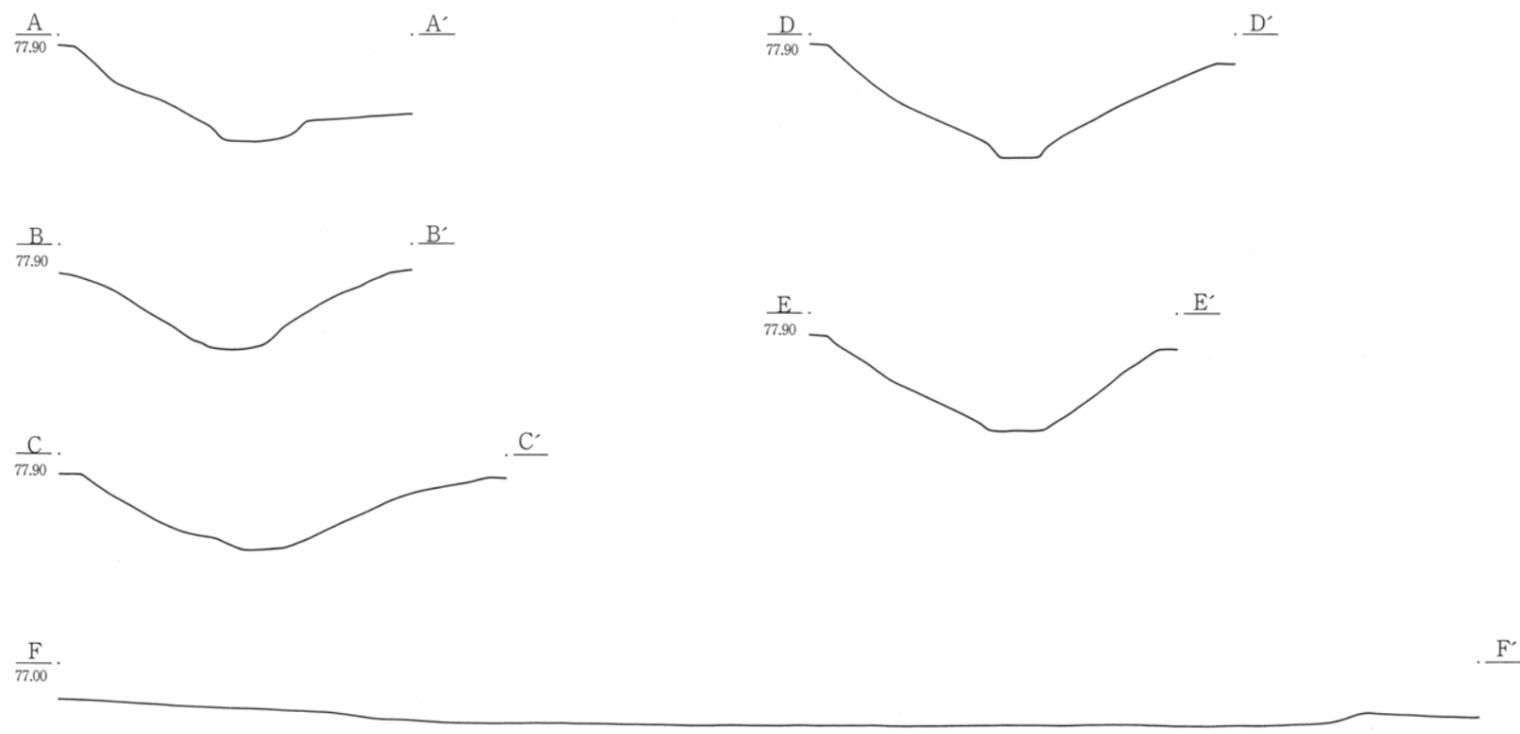
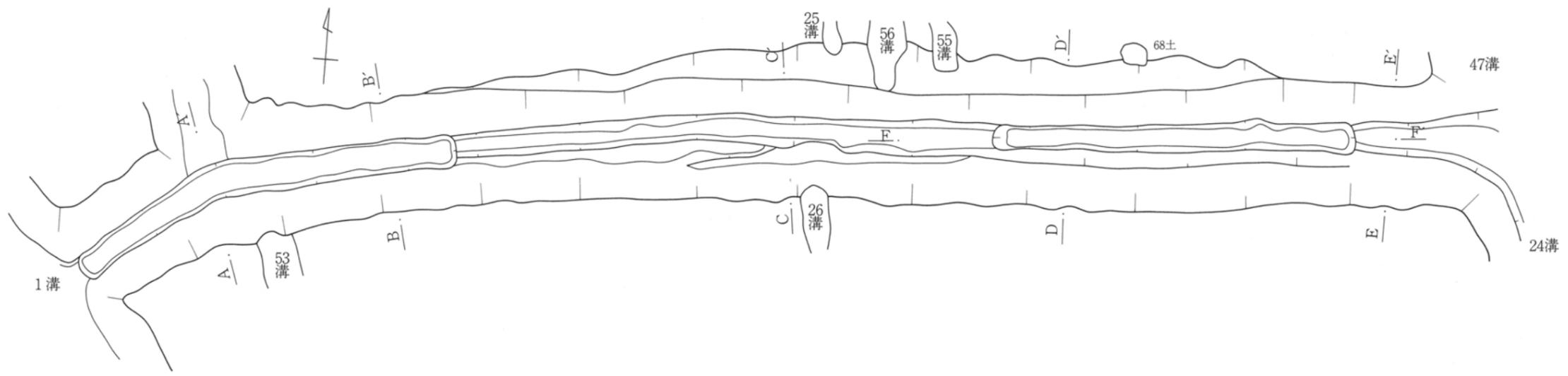


- 1 表土
- 2 暗灰色シルト質砂 シルトブロック含む
- 3 灰黄褐色シルト 6号溝埋土

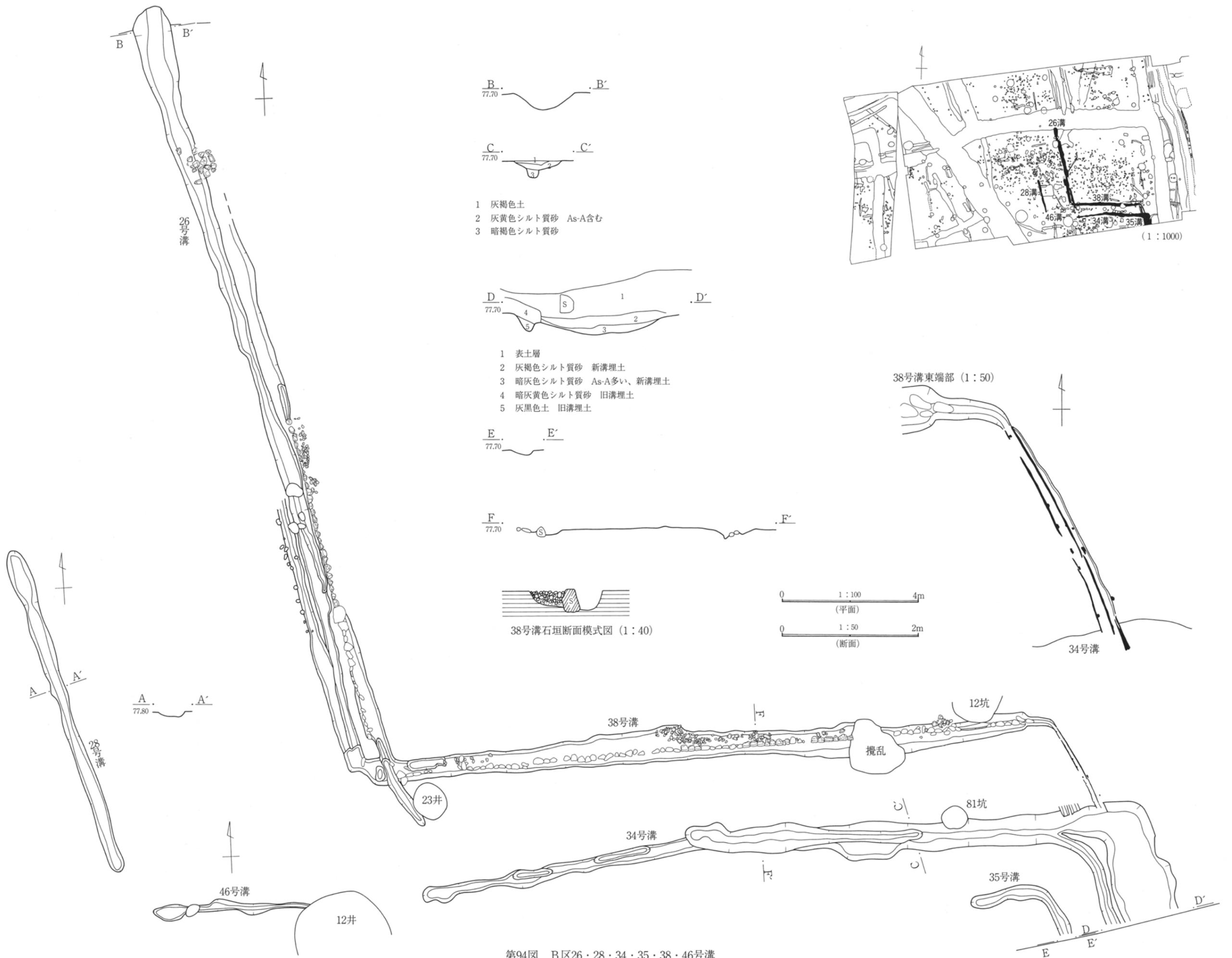
5号溝

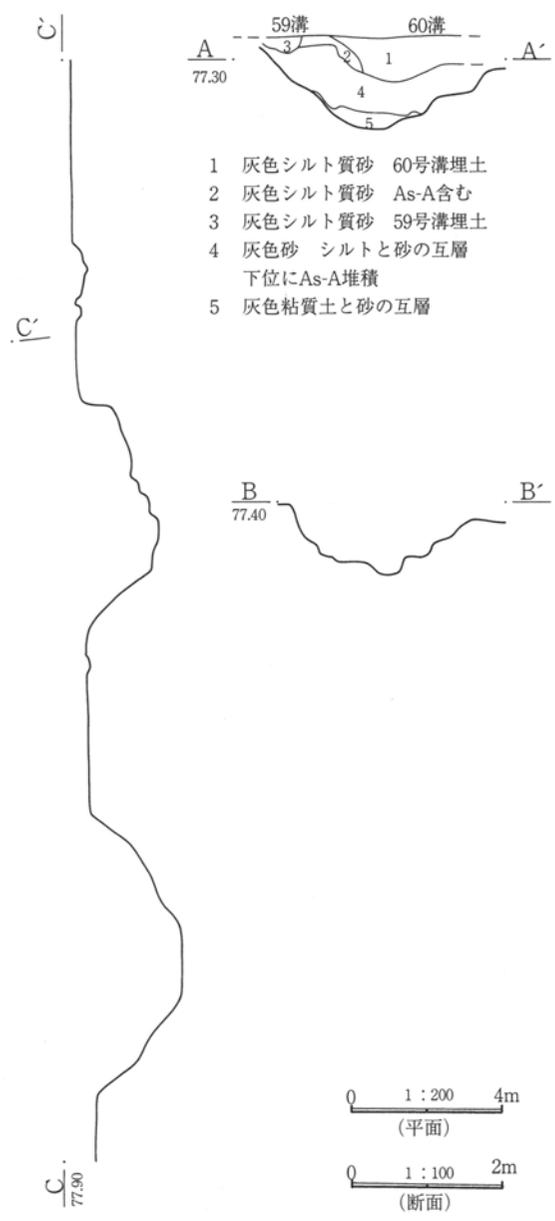
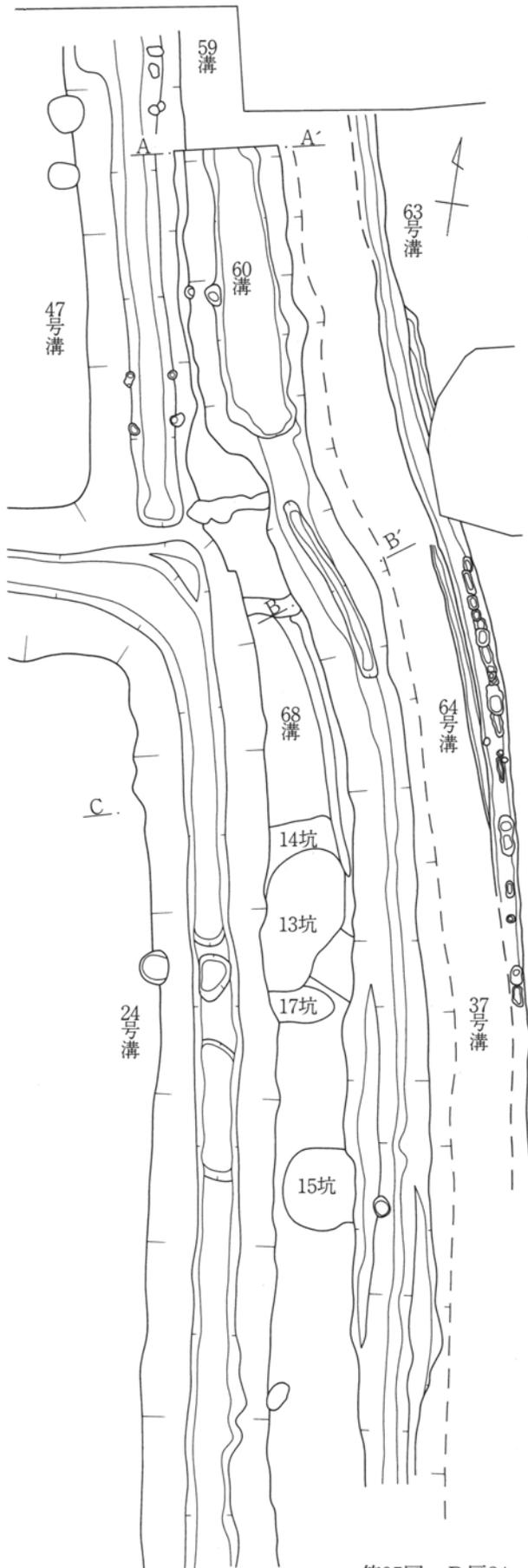


第92図 B区20~22号溝

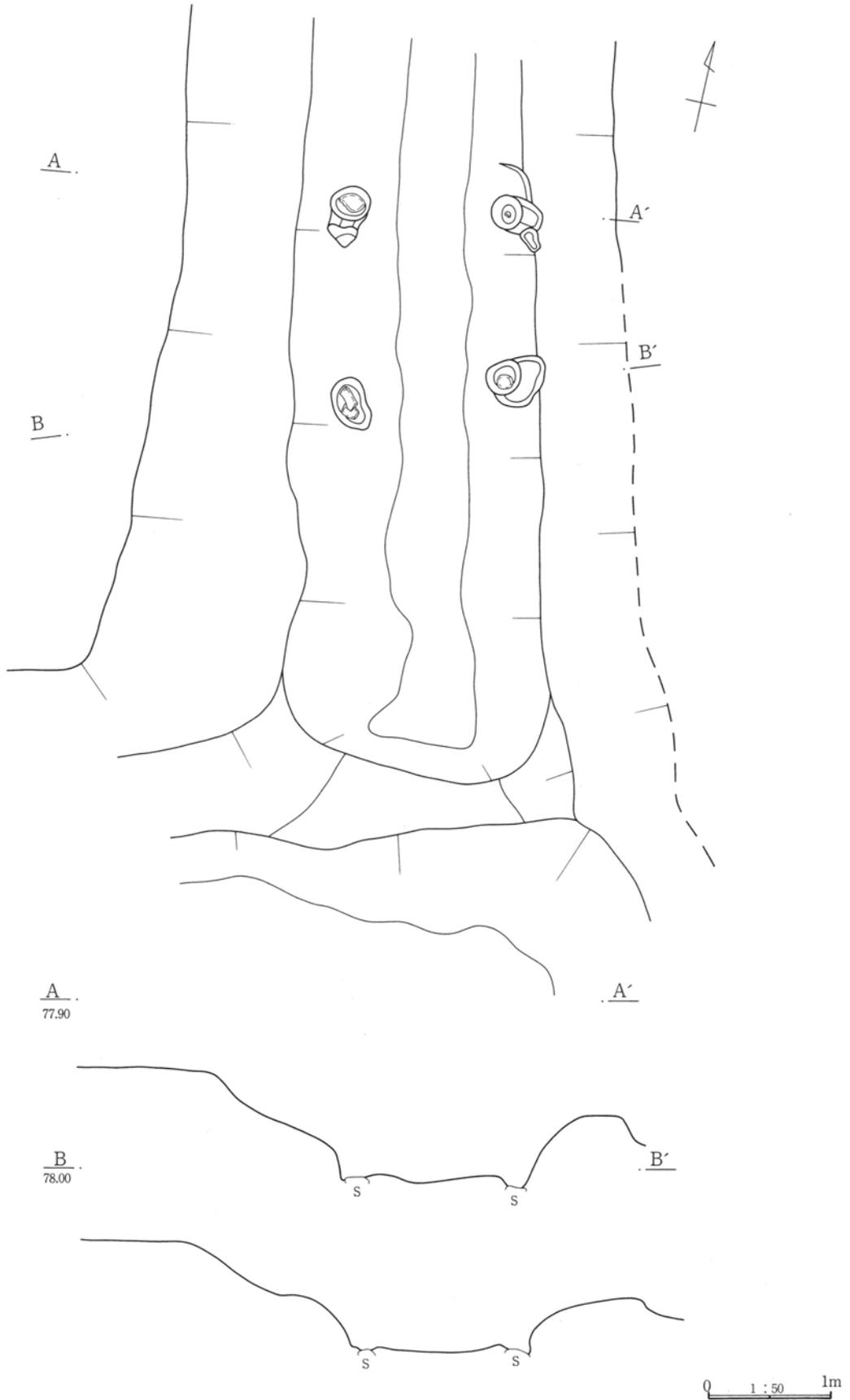


第93图 B区23号沟





第95図 B区24・37・47・63・64号溝



第96図 B区47号溝橋脚柱穴部分

所見 中央で古墳時代の1号住居跡を切る。

B区31号溝 (第99図、PL.91)

位置 B区南端中央。

規模 検出長5.9m、幅0.8m、深さ13cm。

走行 N-80°-E

断面の状況 断面形は浅い箱形。底部は鋭角的で細かい凹凸が著しい。

出土遺物 なし。

所見 性格不明。

B区32号溝 (第99図、PL.91)

位置 B区北東部。

規模 検出長11.7m、幅2.60m、深さ6cm。

走行 東西、西端は細く延びて北へ湾曲し、北方へそのまま延びるようである。

断面の状況 浅い皿形で、表土に近い土層が堆積。

出土遺物 なし。

所見 69号溝を切る。この地点は近世絵図では家屋のない屋敷地として描かれており、その形態の特徴から地割や建物区画とは考えにくく、屋敷地内における池ではないかと考えられる。

B区33号溝 (第99図)

位置 B区東部中央。

規模 検出長3.3m、幅0.4m、深さ10cm。

走行 東西でやや湾曲。

断面の状況 断面形は浅い皿形。

出土遺物 なし。

所見 本来の溝は東西に延びたろうと思われるが、その一部の底に相当する。性格不明。

B区34・46号溝 (第94図、PL.92・95)

位置 B区中央南部。

規模 検出長25.0m、幅0.18~2.32m、深さ7~27cm

走行 N-80~90°-E

断面の状況 断面形は薬研堀状。南端の広い部分は

浅い皿形。

出土遺物 なし。

所見 38号溝と2m離れて併走する。46号溝は西側延長上の同一溝である。26号溝と38号溝で構成する矩形区画と相似形で、同じように屋敷地を区画する溝と思われる。近世絵図では2重の地割線として描かれている。なお、南壁の土層断面では合流する38号溝の樋や溝断面が見られないことから、両者は同時存在か34号溝が切っていると考えて良い。また、この屈曲部は細い溝と太い溝の2重構造で検出されたが、断面観察で後者が前者を切っていることが判明した。

B区35号溝 (第94図、PL.92)

位置 B区南東端。

規模 検出長4.5m、幅0.48m、深さ9cm。

走行 34号溝屈曲部に相似形で屈曲。

断面の状況 断面形は浅い皿形。

出土遺物 なし。

所見 34号溝の南側敷地を囲む小溝だろう。

B区36・52・71・72号溝 (第100図、PL.92)

位置 B区南東端。

規模 検出長13m以上、幅0.32~0.52m、深さ3~10cm。

走行 南北-東西

断面の状況 断面形は浅く歪んだ蒲鉾形。

出土遺物 なし。

所見 36・72号溝は60-61-68号溝と続く南方延長部の溝にあたる。近代以降の道路西側溝と思われる。52・71号溝はここから西側に分岐する溝で、排水溝の可能性が考えられる。

B区37号溝 (第95図、PL.93・97・98)

位置 B区東端。

規模 検出長44.5m、幅1.5~3.6m、深さ67~100cm。

走行 南北、中位でS字状に緩く蛇行する。

断面の状況 断面形は薬研堀状、埋土はシルト質砂と粘質土が堆積し、部分的にラミナ構造もみられる。屈曲部分の底面は30cmほどの高まりになる。

出土遺物 17～19世紀代の陶磁器類、軟質陶器、木製品、銭貨等が出土しており、陶磁器については18世紀代が主体を占める。木製品は桶が多い。

所見 近世絵図によれば、屈曲部で溝を横断する道として描かれる。この部分を境に北側と南側を分割して掘りこんでおり、底面が高くなっていることから、本来埋土によって土橋にしていたと想定される。また、出土遺物の年代観から、近世に機能していたのは確かで、その場合南半で並行する24号溝とはわずか2.5～3mの間隔しかあいていない。近世絵図にもこの空間は描かれているが、その理由は不明。北半部は47号溝に沿って走るが、47号溝が近世にはすでに埋没していたと考えられることから、これに替わる南北堀として新たに開削されたと考えたい。さらに24号溝の東側に沿って南半部に続くことで屋敷全体の東限を画す堀と想定できる。

B区38号溝（第94図、PL.93）

位置 B区東南部。

規模 検出長19.5m、幅0.18m、深さ17cm。

走行 東西N-87°-E。西端は26号溝と連続し、東端は細い溝となって南東に屈曲し樋を設けて34号溝に合流する。

断面の状況 断面形は蒲鉾形。

出土遺物 なし。

所見 26号溝とともに屋敷地を画する溝である。溝の北側法面に石垣を一行設けている。本来の溝流水部分は幅30cm前後であり、石垣北側の溝部分は石垣の裏込めである。近世絵図「権左衛門後家」屋敷地の南側を画す。なお、南東に屈曲する部分の樋は3.2mにわたって検出され、30～40cm間隔で丸太杭を打ち込み、横板を渡している（第94図38号溝拡大図参照）。樋内法幅は12cm。

B区42・43号溝（第100図、PL.94）

位置 B区東南部

規模 検出長3.7及び2.8m、幅0.15～0.3m、深さ2～6cm。

走向 南北

所見 24号溝の西側屋敷地のなかで建物等の施設に伴う小溝と思われる。

B区44号溝（第100図、PL.94・95）

位置 B区中央部

規模 検出長4.3m、幅0.38m、深さ5cm。

走向 N-67°-E

B区47号溝（第95・96図、PL.95・96）

位置 B区北東部

規模 検出長14.8m、幅3.9m、深さ97cm。

走行 N-13°-W。23号溝と24号溝の連続する屈曲部に合流する。

断面の状況 断面形は箱堀、シルト質砂が堆積する。

出土遺物 板碑片と備前徳利片が出土したのみ。

所見 23号溝との合流地点から約3m北側の底面で、4基の柱根石が検出された。根石上面レベルは底面より10cmほど低いだけで、石を据えるだけの掘方であったらしい。根石の南北間は1.8m（6尺）、東西間は1.2m（4尺）を測る。本溝によって区画された西側屋敷地と東側の屋敷外とを結ぶ橋脚であったと考えてよいだろう。なお、本溝の時期は近世陶磁器類がほとんど出土しないこと、近世絵図には描かれていないこと、これに替わる37号溝が開削されているので、中世の堀と考えたい。

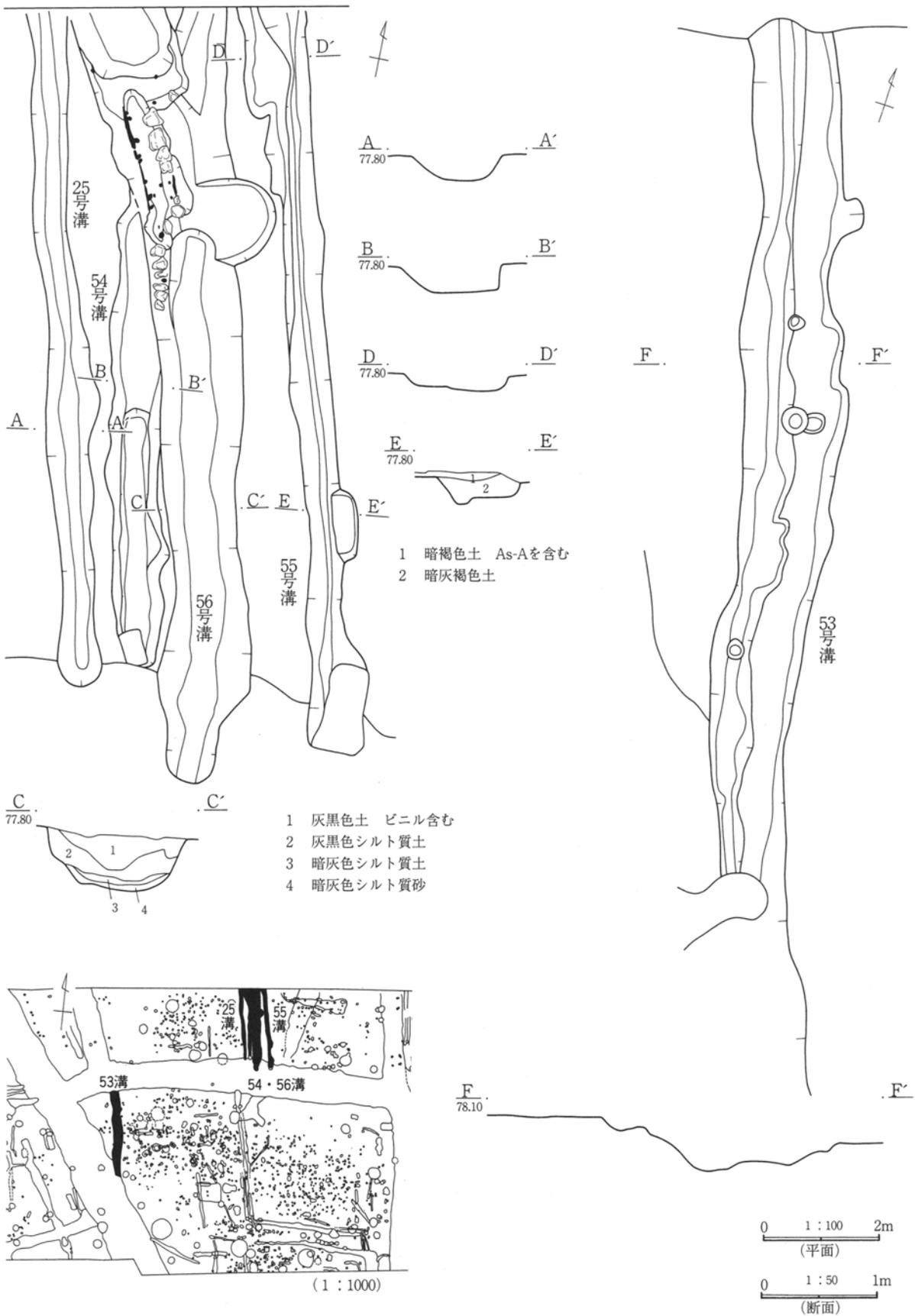
B区48号溝（第100図、PL.96）

位置 B区東南端部

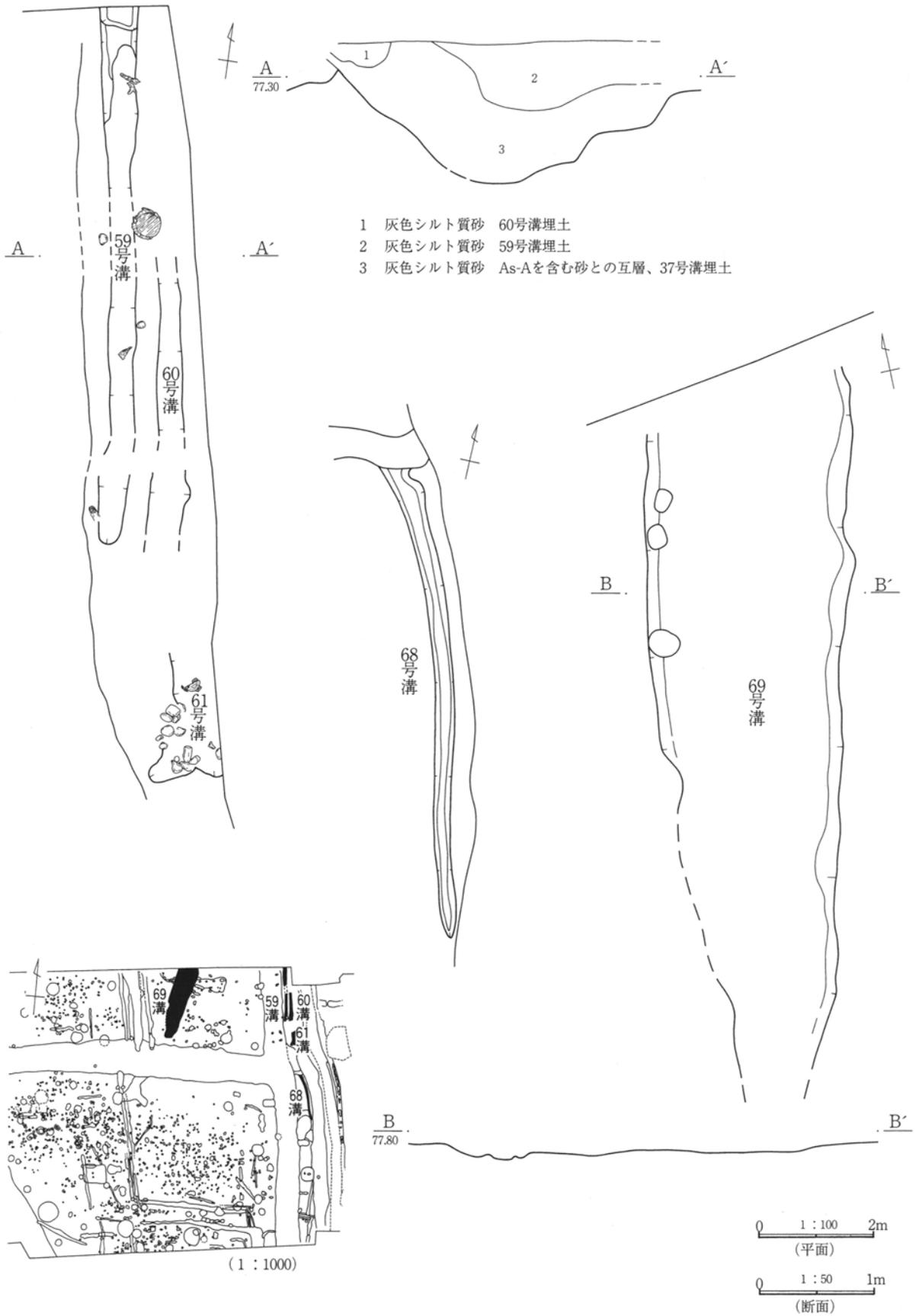
規模 検出長2.5m、幅0.5m、深さ12cm。

走向 北側に湾曲し、24号溝と34号溝を結ぶ。

所見 近世絵図ではこの部分を道が縦断する。溝間を結ぶ排水溝で、渡し板等を架けたと思われる。



第97図 B区25・53～56号溝



第98図 B区59~61・68・69号溝

B区49号溝 (第100図、PL.96)

位置 B区中央南端部

規模 検出長3.7m、幅0.55m、深さ21cm。

走向 12号井戸に切られて不明瞭だが、30-45号溝の南方延長の南北に走る溝と思われる。

出土遺物 なし。

B区50号溝 (第100図)

位置 B区東南端部

規模 検出長1.9m、幅0.34m、深さ3cm。

出土遺物 なし。

所見 34号溝の南屋敷区画に関わると思われるが、わずかな検出で性格不明。

B区54号溝 (第97図)

位置 B区北部中央

規模 検出長8.25m、幅0.70m、深さ28cm。

走向 N-10°-W

断面の状況 断面形は蒲鉾形、埋土は浅間A軽石を含む灰褐色シルト。底面は、南半がやや深い。

出土遺物 なし。

所見 56号溝と弱い角度で交差して北方へ延びるようだ。地境的な性格を想定できようか。

B区55号溝 (第97図、PL.97)

位置 B区北部中央

規模 検出長12.8m、幅0.75m、深さ21cm。

走向 N-15°-W

断面の状況 断面形は薬研堀状ないし蒲鉾形、埋土は浅間A軽石をわずかに含む灰褐色シルトが堆積。

出土遺物 なし。

所見 同規模で並行する25号溝とは、中間に道路の存在を想定することができよう。

B区56号溝 (第97図、PL.97)

位置 B区北部中央

規模 検出長13.5m、幅0.8~1.6m、深さ58cm。

走向 N-15°-W、北端はやや北西方向へ傾く

ようだ。

断面の状況 断面形は蒲鉾形、埋土は下層にシルト、上層にビニルを含む表土と同質の堆積土で埋まる。

出土遺物 明治期に入ってから陶磁器類が出土。ほかに鉄製品破片等が見られる。

所見 溝北半の法面に沿って石垣列約1.4m分が検出された。15~30cm大の角礫を用い、内法に平坦面をそろえて一段分が並べられる。また、石垣の内側には、20~30cm間隔で丸太杭を打ち込み横板をわたして樋としている。杭列及びその痕跡はこの部分にしか確認できないので、溝全体に設けられたのではなく、部分的な設備であったと捉えられる。なお、この部分から北側は一段低い溝となっており、さらにこの部分の東側で1.2×0.9mの半円形張り出しが設けられている。このことから、水流の浄化や溜水施設として利用されたのではないか。

B区57号溝 (第100図、PL.97)

位置 B区東南端部

規模 検出長5.3m、幅0.3~0.8m、深さ15cm。

走向 N-50°-W

出土遺物 なし

所見 周囲の溝方向と異なり斜方向に走る。中世以前の可能性も考えられる。

B区59号溝 (第98図)

位置 B区北東端。

規模 検出長9.4m、幅1.0m、深さ40cm。

走向 N-6°-W

断面の状況 断面形は蒲鉾形。埋土は表土層とほぼ変わらない土で埋没する。

出土遺物 近世~近代の陶磁器類、木製品、ガラス破片等が少量出土。

所見 37号溝埋没後に開削される。37号溝は前述したように、東側を画する道路跡の西側に掘られた溝で、近世後期以降のある段階で埋められ、改めて道路西側溝を掘削されたと思われる。本溝や後述の60・61号溝はこの側溝であった可能性があろう。

B区60・61号溝 (第98図)

位置 B区北西端部。

規模 検出長(9)m、幅4m以上、深さ125cm。

走行 N-16°-W、57号溝に隣接して埋没した37号溝の上を併走する。

断面の状況 断面形は箱葉研堀状。表土層とほぼ同質の土で埋没する。

出土遺物 近世～近代の陶磁器類やガラス片が少量出土する。近世の陶磁器類は、重複する37号溝に帰属する可能性もある。

所見 37号溝埋没後の道路西側溝だろう。中央で近代の便槽桶ないし肥桶に切られる。

B区63号溝 (第95図、PL.97)

位置 B区東端。

規模 検出長32.2m、幅1.2m、深さ13～34cm。

走行 南北に走り、37号溝に沿って緩く蛇行。

断面の状況 断面形は蒲鉾形か箱形。

出土遺物 19世紀～明治期の陶磁器片が少量出土。

所見 底面には30～70cm大の浅いピットが一列に連続して検出され、護岸石垣の石を抜いたものと想定された。37号溝との間には約2.5m(8尺)の幅で帯状の空間があり、現舗装道路面の下位20cm前後で、部分的に硬質路面が見られた。これは近世絵図に描かれた道路面と考えられ、両側側溝の存在も合致する。近世絵図及び現在に残る地割と照合すれば、北方の房丸地区と南方の力丸地区を直線的に結ぶ南北道路と考えられる。道路以東は水田として利用されており、東方の徳丸仲田遺跡では中世～近世屋敷跡に区画する溝等が検出されていないことから、この道路が中～近世屋敷跡の東限を画していたと考えられる。これがどこまで遡りうるかは明確にし得なかったが、道路東側のC区では浅間B軽石水田が営まれているので、古代以前においても、これを境に東西の地形利用が異なると想定できよう。

B区64号溝 (第95図、PL.97・98)

位置 B区東端。

規模 検出長10.2m、幅0.40m、深さ9cm。

走行 63号溝の西側に沿って走る。

出土遺物 なし。

所見 近世の道路側溝を継承した近～現代の水道管施設溝。

B区68号溝 (第98図)

位置 B区東部中央。

規模 検出長8.25m、幅0.5m、深さ8cm。

走行 37号溝の西側に沿って、同じ曲線を描きながら南北に走る。

出土遺物 なし。

所見 調査段階で56号溝と登録したが、整理段階で68号溝に変更した。走向と規模が一致し、延長線上にのることから、60・61号溝の南方延長部にあたる溝と思われる。

B区69号溝 (第98図、PL.97)

位置 B区北部中央。

規模 検出長12.0m以上、幅3.20～3.60m、深さ5～10cm。

走行 N-12°-E

断面の状況 非常に浅い箱形で、底面は平坦。表土層が堆積する。

出土遺物 なし。

所見 調査段階では65号溝として登録したが、整理作業段階で69号溝に変更した。規模や形状が周囲の溝と大きく異なる。近代以降の攪乱か。

B区70号溝 (第100図)

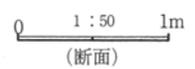
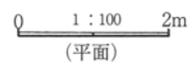
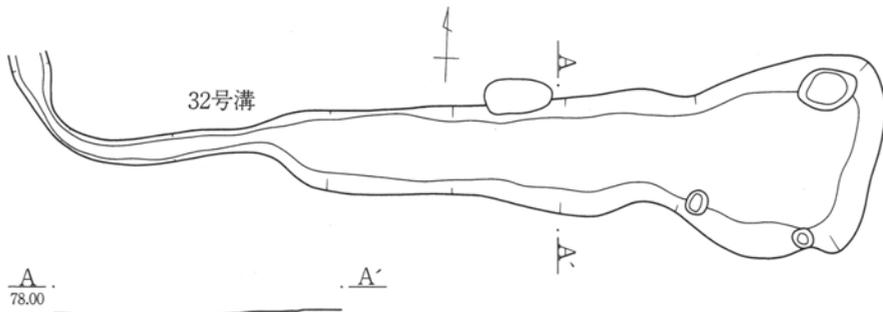
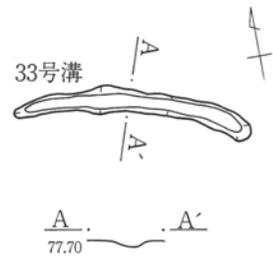
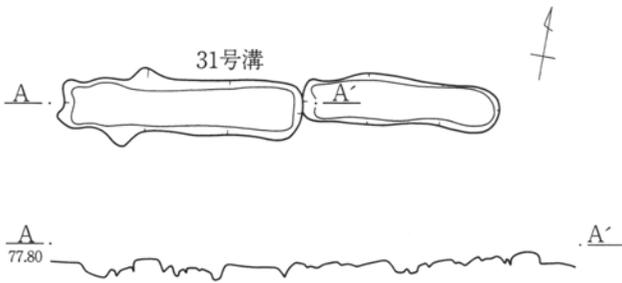
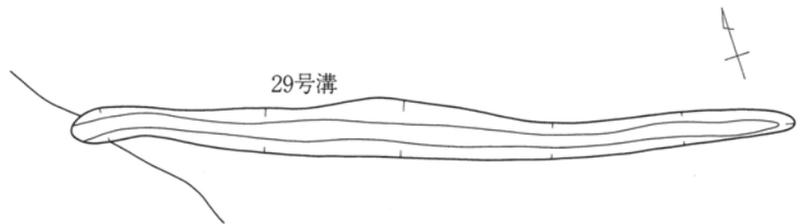
位置 B区北部中央。

規模 検出長4.2m、幅0.6m

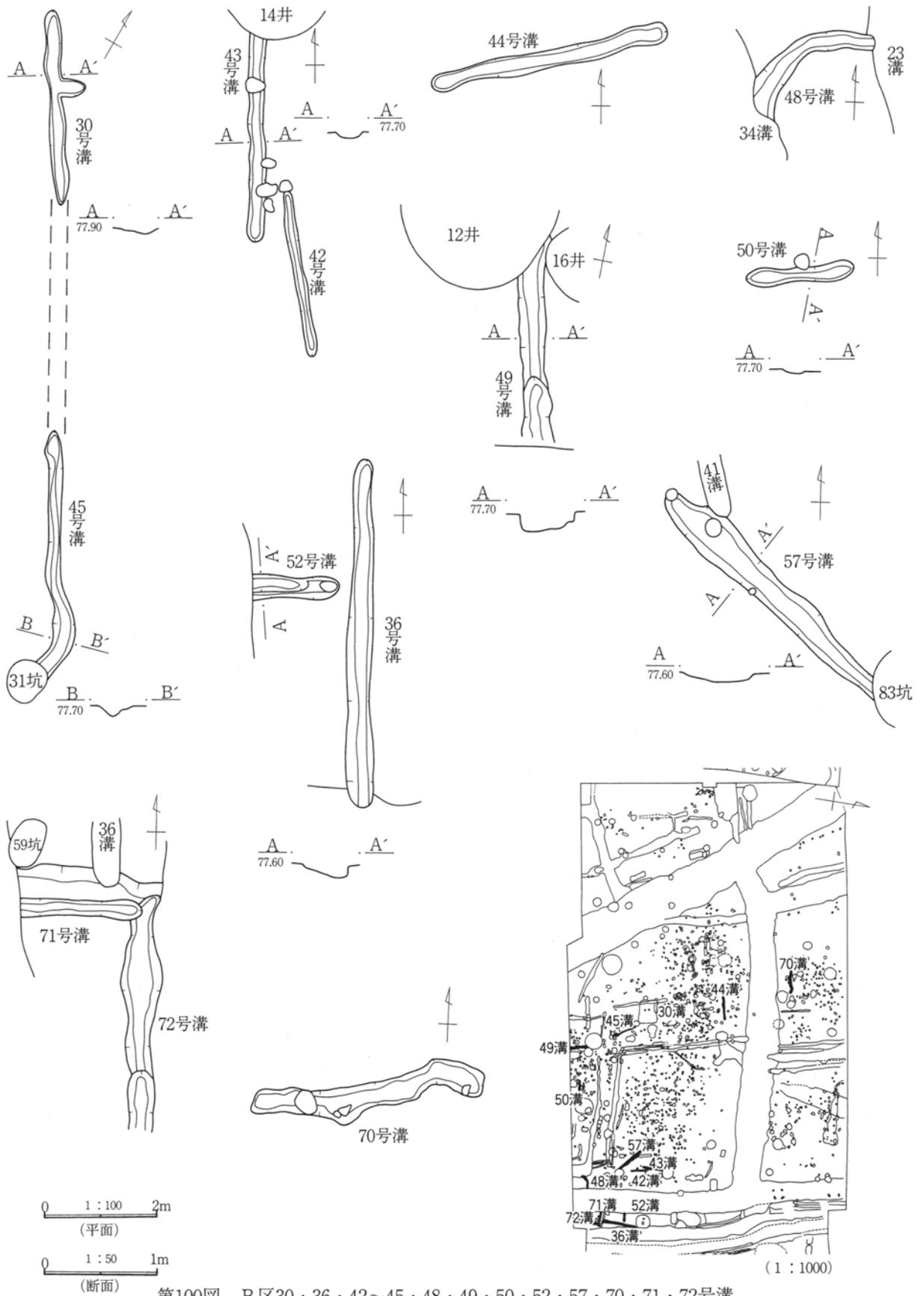
走行 東西方向で、緩く蛇行する。

出土遺物 なし

所見 時期と性格不明。



第99図 B区27・29・31~33号溝



第100図 B区30・36・42～45・48・49・50・52・57・70・71・72号溝

(3) 井戸

概要 B区では、38基の井戸が検出された。ただし、203号土坑については、163cmという深さと土層断面の特徴から、井戸と認定した。

井戸の分布にみる1号溝と23号溝で囲まれたB区中央の空白部分は13～16号掘立柱建物群があり、それを取り囲む井戸分布と考えられる。また垂直分布をみると(第102図)、硬質前橋泥流層を貫いて掘りこむ井戸と、浅くローム中で留まるものがある。前橋泥流は硬質だが、砂層部分で地下水が湧出する。前者は比較的安定した湧水量を保っていたと思われるが、深さ1～1.8mの井戸は、ローム層中の砂質層が硬質前橋泥流層を底面としており、前2者に比べれば安定豊富な湧水量は望めなかったのではないか。

B区1号井戸(第103図、PL.100)

位置 1号溝と6号溝に囲まれた北西部にあり、14号溝と重複する。

断面の状況 上部が掘り鉢形に開き、中位以下は筒状。中位井筒部分は堅い前橋泥流層で崩落した形跡はなく、掘削面には鋤等による痕跡も部分的に見られる。井筒部内径は85～110cm。底面は平坦。開口部から深さ1.5mまでは人為的埋土と思われる黒褐色土、それ以下は自然堆積の黒褐色土が堆積する。湧水層は調査面から1.3m下位の前橋泥流層以下。

出土遺物 上位の掘り鉢状部からは、自然石約150個のほか、板碑片、石臼片、五輪塔地輪、かわらけ、焙烙、施釉陶磁器、瓦、砥石が、下層からは曲物片(1177・1178)、掛け矢(1180)、香炉(1000)、桶底(1176)が、底面付近からは曲物に用いたらしい竹製タガ片(1179)が出土した。

所見 本井戸は素掘り井戸だったと思われる。中世から近世にかけての所産と思われるが、上位埋没土中の陶磁器類から、18世紀代にはほぼ埋没していたと考えたい。

B区2号井戸(第103図、PL.100)

位置 6号溝東端部と重複する。

断面の状況 小規模で深さも1m弱と浅い。断面が筒状で井戸と考えたが、他の井戸のように湧水層に十分達しているとは思えない。

出土遺物 板碑片が出土した。

所見 6号溝との重複による新旧関係は不明で、時期認定は困難だが、中～近世と捉えておく。

B区3号井戸(第103図、PL.100)

位置 1号溝と6号溝の中間地点にある。

断面の状況 筒状で内径は50cmを測る。底面付近40cmまでは自然堆積の黒色泥土、そこから約3mにわたって人為的堆積と思われる粘質土と砂の互層。上層の約50cmは自然堆積と思われる。

出土遺物 上層から近世陶器片、中層下位から焙烙。

所見 筒状部の掘削痕や断面形状が1号井戸と非常に近似する。中～近世と捉えておく。

B区4号井戸(第104図、PL.100)

位置 23号溝の北側区画にある。

断面の状況 上位は掘り鉢形、下半は筒状。底面西側に偏って径20cm深さ10cmの小ピットがあるが、地山の礫を取り除いた跡と推察された。全体に人為的埋土と思われるブロック状の黒褐色土で埋まる。

出土遺物 掘り鉢部埋土から、自然石、五輪塔、石鉢片、羽口片、焙烙、火鉢、天目碗等の破片が出土。

所見 2号掘立柱建物跡と重複するが新旧関係は不明。出土遺物は中世～17世紀代と思われるので、18世紀代には埋没していたと推察される。

B区6号井戸(第104図、PL.100)

位置 23号溝北側に接する。

断面の状況 上位は掘り鉢形、下半は筒状で内径60cm。底部30cmが自然、それ以上は人為的堆積。

出土遺物 中位に多量の自然石が出土したのみ。

所見 時期不明だが、北側の1～3号掘立柱建物跡に付随する井戸か。

B区7号井戸 (第104図、PL.100・101)

位置 B区南西部で15号溝と重複する。

断面の状況 上位は播り鉢形、下半は筒状で内径80cm。底面はほぼ平坦。全体に人為的埋土で埋まる。

出土遺物 播り鉢部埋土から、板碑大型片3点(1426~1428)、焙烙、かわらけが、底面からは曲物片(1182・1183)が出土した。

所見 浅いが、底面で前橋泥流砂層に達し湧水が見られる。出土遺物から16世紀代に埋没したと思われる。

B区8号井戸 (第104図、PL.101)

位置 7号井戸に隣接。

断面の状況 筒状で内径80cm。底面平坦で前橋泥流層に達する。大部分が人為的埋土と思われる。

出土遺物 自然石以外なし。

所見 7号井戸と同規模で隣接する事から、どちらかの掘り替えと思われる。

B区9号井戸 (第105図、PL.101)

位置 南東端、15号溝と重複する。

断面の状況 上部が播鉢状に開き、中位以下が筒状で内径50~60cm。底面平坦で前橋泥流層を1.3m掘り抜く。中~上位に自然堆積の黒褐色砂質土、下位に80cmほどの人為的埋土が堆積する。

出土遺物 灰釉皿、火鉢、皿、内耳鍋が出土。

所見 出土遺物から16世紀代と思われる。

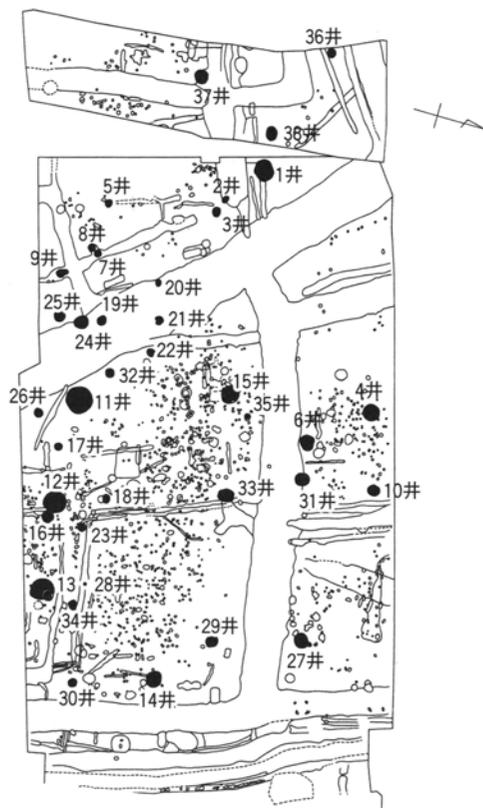
B区10号井戸 (第105図、PL.101)

位置 23号溝北側、1~3号掘立柱建物跡東側。

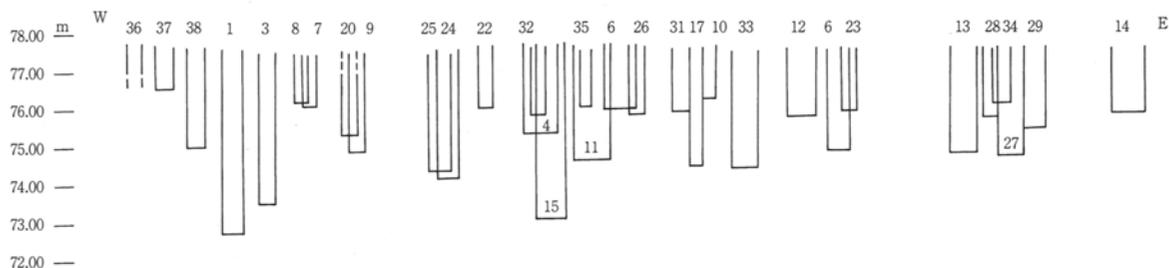
断面の状況 上位は播り鉢形、下半は筒形で、内径70cm。底面は平坦で、前橋泥流層を穿つ。下層に自然堆積と思われる砂質土が0.6mほど堆積し、中~上層はブロックを多く含む人為的埋土で埋まる。

出土遺物 軟質陶器片1点、近世陶磁器類はない。

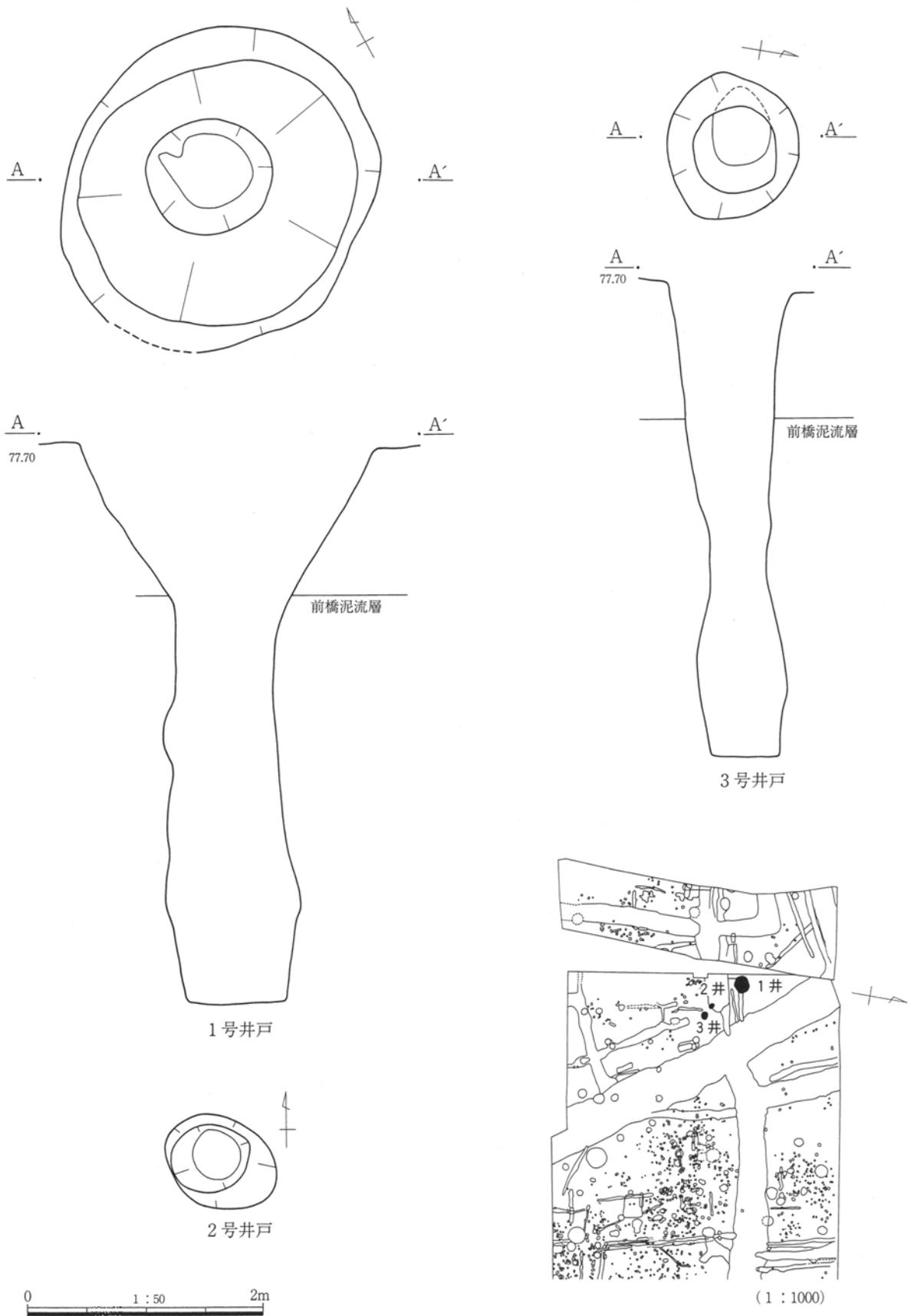
所見 近隣の4・6号井戸と近似し、時間的に連続する中世の井戸群として捉えられよう。



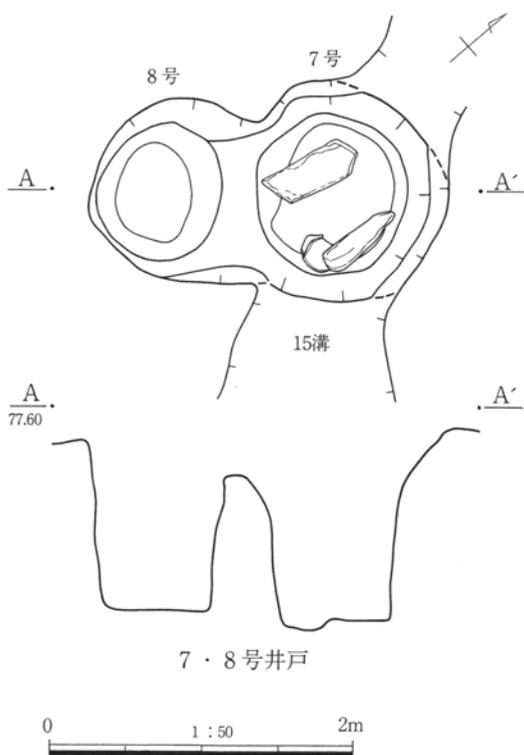
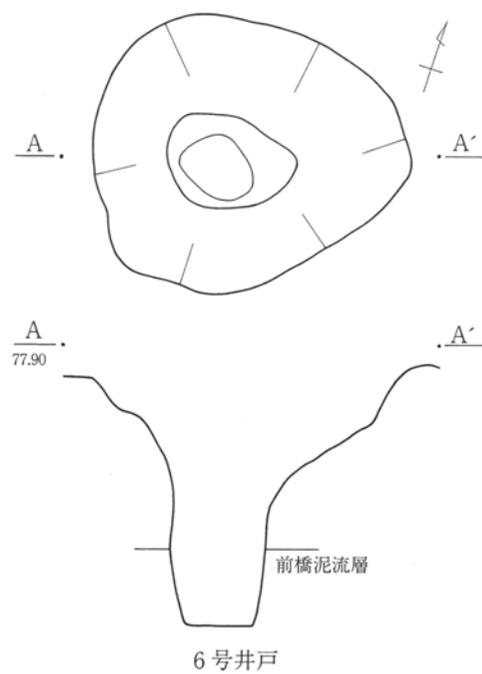
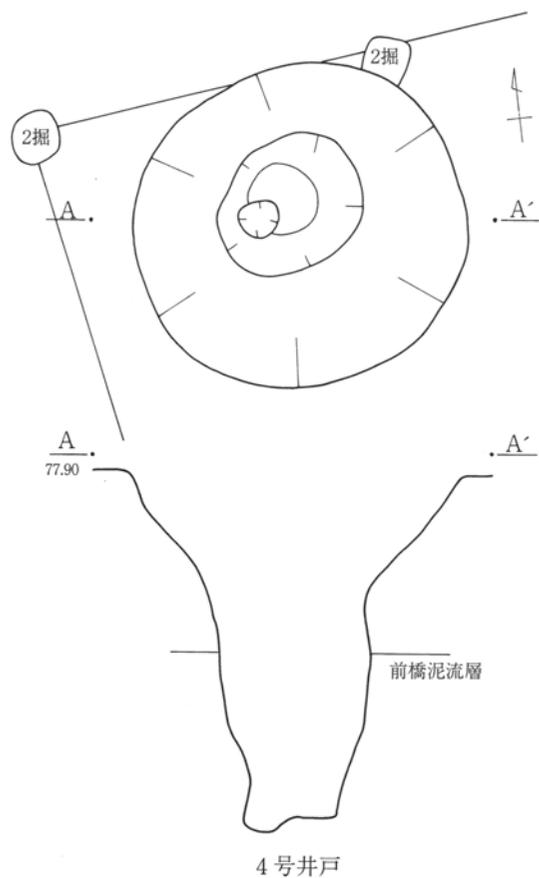
第101図 B区井戸分布図 (1:1000)



第102図 B区井戸断面分布図



第103図 B区1～3号井戸



第104図 B区4～8号井戸

B区11号井戸（第105図、PL.101）

位置 B区南部の1号溝東岸にある。

断面の状況 大きく開く播り鉢形で、下半の筒状部は短く、深さ0.9m、内径65cm。底面は平坦で、前橋泥流層にまで達する。下半には自然堆積土、播り鉢部分下半は大型礫が充満し、上位は自然堆積。

出土遺物 五輪塔、石臼、近世陶磁器類、砥石。

所見 播り鉢状部分の異様な大きさは、井戸枠撤去時の掘削坑か。時期は中～近世と捉えておきたい。

B区12号井戸（第106図、PL.101）

位置 B区南部にあり、34号溝西端に接する。

断面の状況 播り鉢形、下半は短い箱形。底面平面は1.3×1.2mの方形。下層に自然堆積と思われる砂質土が0.5mほど堆積し、中～上層は地山ブロック、礫60個を含む人為的埋土で埋まる。

出土遺物 石臼、瓦、板碑が出土したのみ。

所見 瓦の年代観から近世以降の埋没と思われる。底面形状から方形木組井戸枠の可能性はある。

B区13号井戸（第106図、PL.102）

位置 B区南部の34号溝南側にある。

断面の状況 上半は大きく開く播り鉢形、下半の筒状部は深さ1.5m、内径80cm。底は前橋泥流層にまで達する。底付近30cm部分と中位が自然堆積で、他は人為的埋土。

出土遺物 筒状部から多数の近世陶磁器類、曲物、五輪塔、石鉢、桶底、40個ほどの礫が出土。

所見 近世に埋没したと思われる。

B区28号井戸（第106図、PL.102）

位置 13号井戸と重複して切られる。

断面の状況 筒状で内径70cm。前橋泥流層に達す。

出土遺物 なし。

所見 13号井戸の前身と思われる。

B区14号井戸（第106図、PL.102）

位置 23・24・26・38号溝で囲まれた屋敷区画の

東端にあり、掘立柱建物群の東に位置する。

断面の状況 上半播り鉢状で、下半は短い筒状。底面や中央がややくぼみ前橋泥流層に達する。

出土遺物 灯明皿、焙烙、軟質陶器鉢、施釉陶磁器、砥石、漆器、鋏、桶。

所見 筒状部南側に垂直方向の筒状くぼみを検出。釣瓶にかかわる痕跡か。近世～近代と思われる。

B区15号井戸（第107図）

位置 1・23号溝に区画された南東部にある。

断面の状況 筒状で、下部がやや膨らむ。内径1m。底面は前橋泥流層に達する。

出土遺物 近代以降の陶磁器、ガラス器、木（「金貴大徳」「大安口急急」）。

所見 上位70cmが自然石積み、それ以下が素掘り井筒。昭和30年代に埋めたとの情報あり。

B区16号井戸（第107図、PL.102）

位置 12号井戸に隣接する。

断面の状況 上方へ開く筒状。内径は50～100cm。前橋泥流層に達する。前橋泥流土の多い人為的埋土。

出土遺物 石臼片1点。

所見 埋土の特徴から、隣接する12号井戸掘削土で埋め戻された可能性がある。

B区17号井戸（第107図、PL.102）

位置 B区南端、1号溝東側にある。

断面の状況 筒状で、内径60～70cm。底面は前橋泥流層を掘りこむ。底付近に60cmほどの自然堆積層、それ以上は前橋泥流土を多量に含む人為的埋土。

出土遺物 近世陶器片2点、扁平礫2点。

B区18号井戸（第107図、PL.102）

位置 26号溝の南西脇にある。

断面の状況 筒状で、内径90cm。

出土遺物 なし。

B区19号井戸（第107図）

位置 1号溝南半で、底部調査時に検出。

断面の状況 やや上方に開く筒状。

出土遺物 柱目板片

所見 1号溝との新旧関係は確認できなかった。

B区20号井戸（第108図）

位置 1号溝西側法面で検出。

断面の状況 やや上方に開く筒状、内径70cm。底面は前橋泥流内。前橋泥流土の多い人為的埋土。

出土遺物 なし。

所見 1号溝との新旧関係は確認できなかった。

B区21号井戸（第108図、PL.102）

位置 1号溝中央底部調査時に検出。

断面の状況 筒状で平坦な底面のみ検出。

出土遺物 なし。

所見 1号溝との新旧関係は確認できなかった。

B区22号井戸（第108図）

位置 1号溝南半東端に位置する。

断面の状況 やや上方に開く筒状、内径は70cm。底部は前橋泥流内でとまる。人為的埋土と思われる。

出土遺物 なし。

所見 1号溝との新旧関係は確認できなかった。

B区23号井戸（第108図、PL.102）

位置 26・38号溝の屈曲部南側に隣接する。

断面の状況 やや上方に開く筒状で内径60cm。底面は平坦で、前橋泥流をわずかに掘り込んだところで止まる。黒褐色土主体の人為的埋土で埋まる。

出土遺物 （畜耕具引き手か）、杭、桶、樽

所見 近世～近代か。

B区24号井戸（第108図）

位置 1号溝南半で、西法面調査時に検出。

断面の状況 上半が深い掘り鉢状、下半は筒状で、内径55～65cm。底面は前橋泥流層に達する。大部分は人為的埋土と思われる黒色土と砂質土が堆積。

出土遺物 上半埋土から近世陶磁器類、漆椀4、桶が、下半埋土から桶とタガ片多数が出土。

所見 出土遺物の年代観から、1号溝と同時存在以後と考えられるが、新旧関係は確認できなかった。

B区25号井戸（第109図、PL.102）

位置 1号溝と17号溝の交差する南西部で検出。

断面の状況 上位80cmは段状、中位は筒状、底部付近は円錐状。筒状部内径80cm。底面は前橋泥流層に達する。腐食有機物を含む人為的埋土が堆積。

出土遺物 桶、加工材、石臼片が出土。

所見 上位段状部は石積みであったと思われる。また、底部の膨らみは、改めて掘り増ししたものか。

B区26号井戸（第109図、PL.103）

位置 1号溝南端東側で検出。

断面の状況 やや上に開く筒状。底面は平坦で前橋泥流層に達する。暗褐色土主体の人為的埋土が堆積。

出土遺物 中位～底部付近の埋土から、かわらけ、灯明皿、焙烙、漆椀、砥石、円形板等が出土。

B区27号井戸（第109図）

位置 23号溝東端の北側で検出。

断面の状況 上位は椀状、中位以下は筒状。椀状部内径は130～160cm、筒状部内径は50～80cm。底面は前橋泥流内砂層に達する。下位に黒色砂質土、中位以上に黒灰色粘質土が堆積。

出土遺物 焙烙、軟質陶器鉢、鉄片が出土。

所見 上位の椀状部周囲には人為的埋土で埋め固めてあり、桶を伏せて井戸枠として使用したらしい。

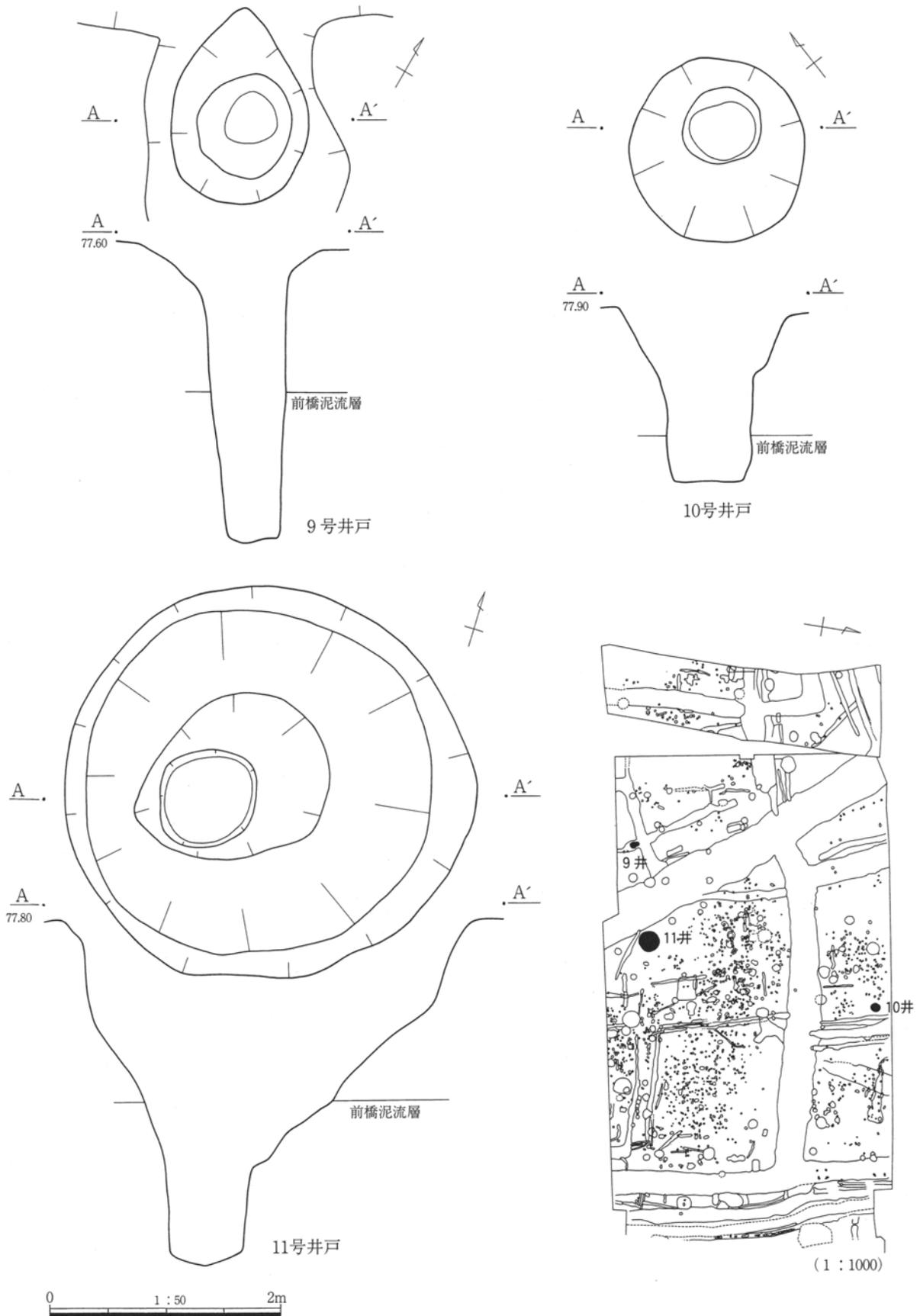
B区29号井戸（第109図、PL.103）

位置 23号溝の東部南側で検出。

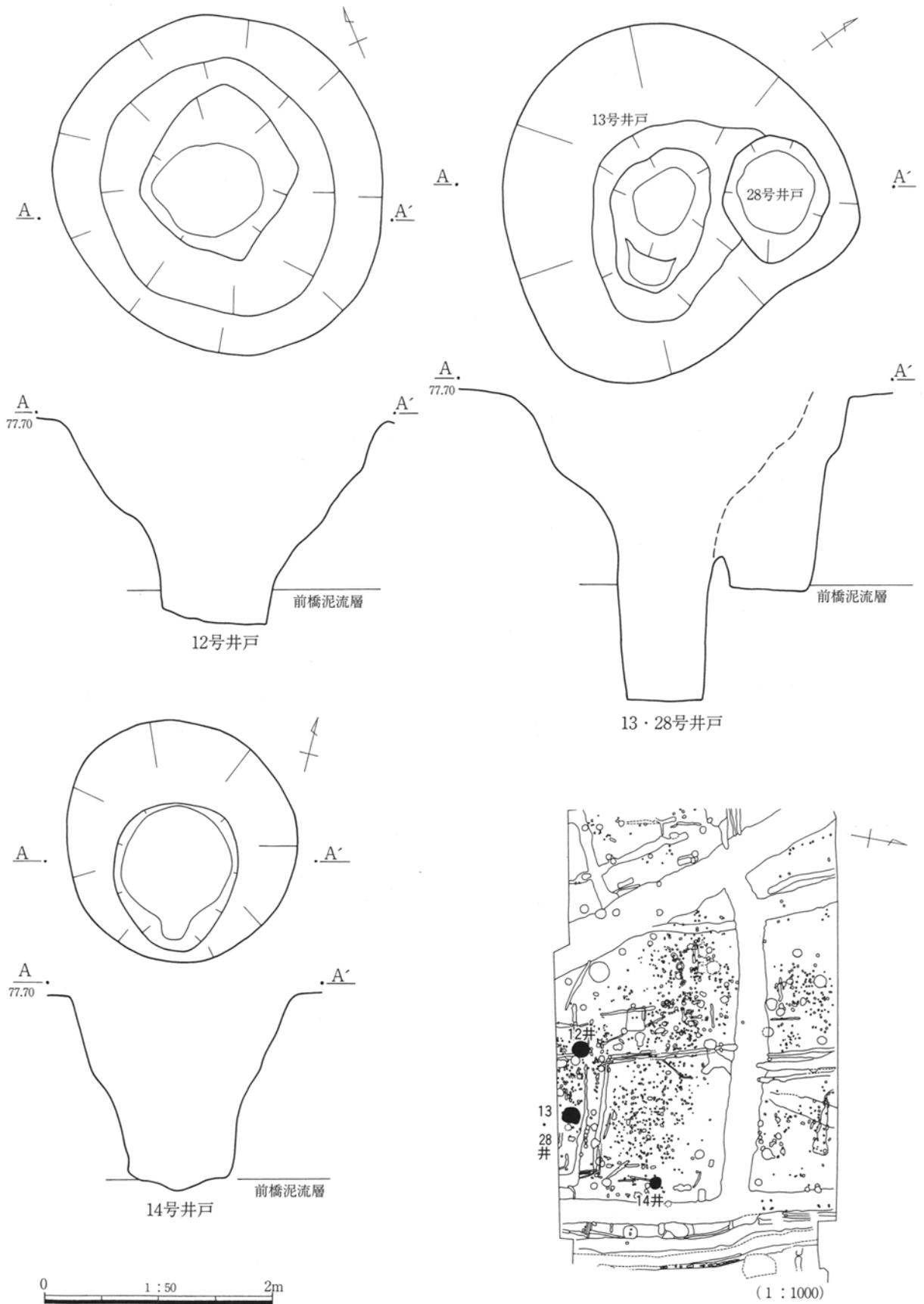
断面の状況 上に開く筒状。底部は前橋泥流層に達する。大部分が人為的埋土の黒褐色土で埋まる。

出土遺物 近世陶磁器、櫛、桶タガが出土。

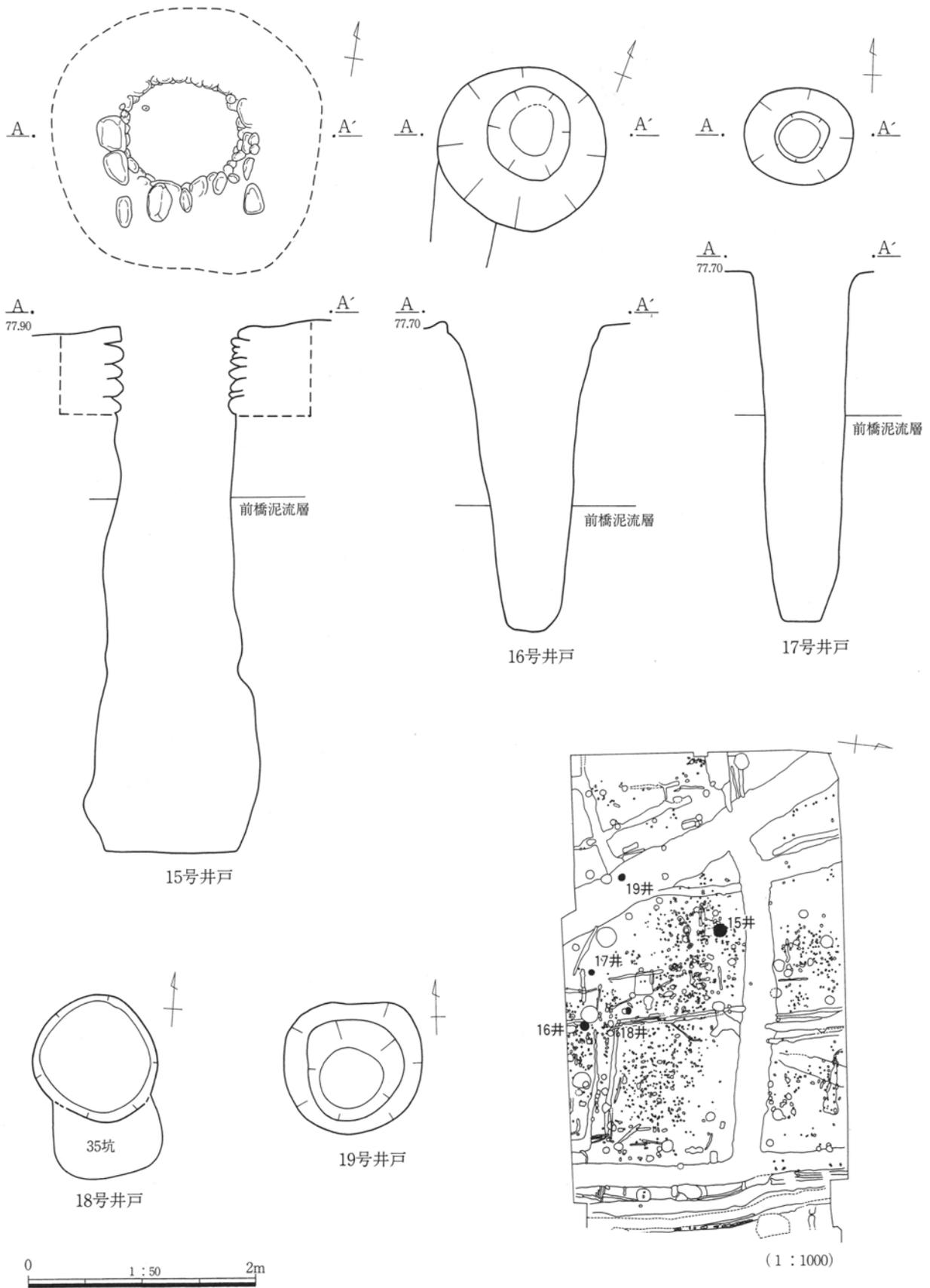
所見 埋没は近世で、屋敷建物（13～16号掘立柱建物跡）に伴うと考えられる。



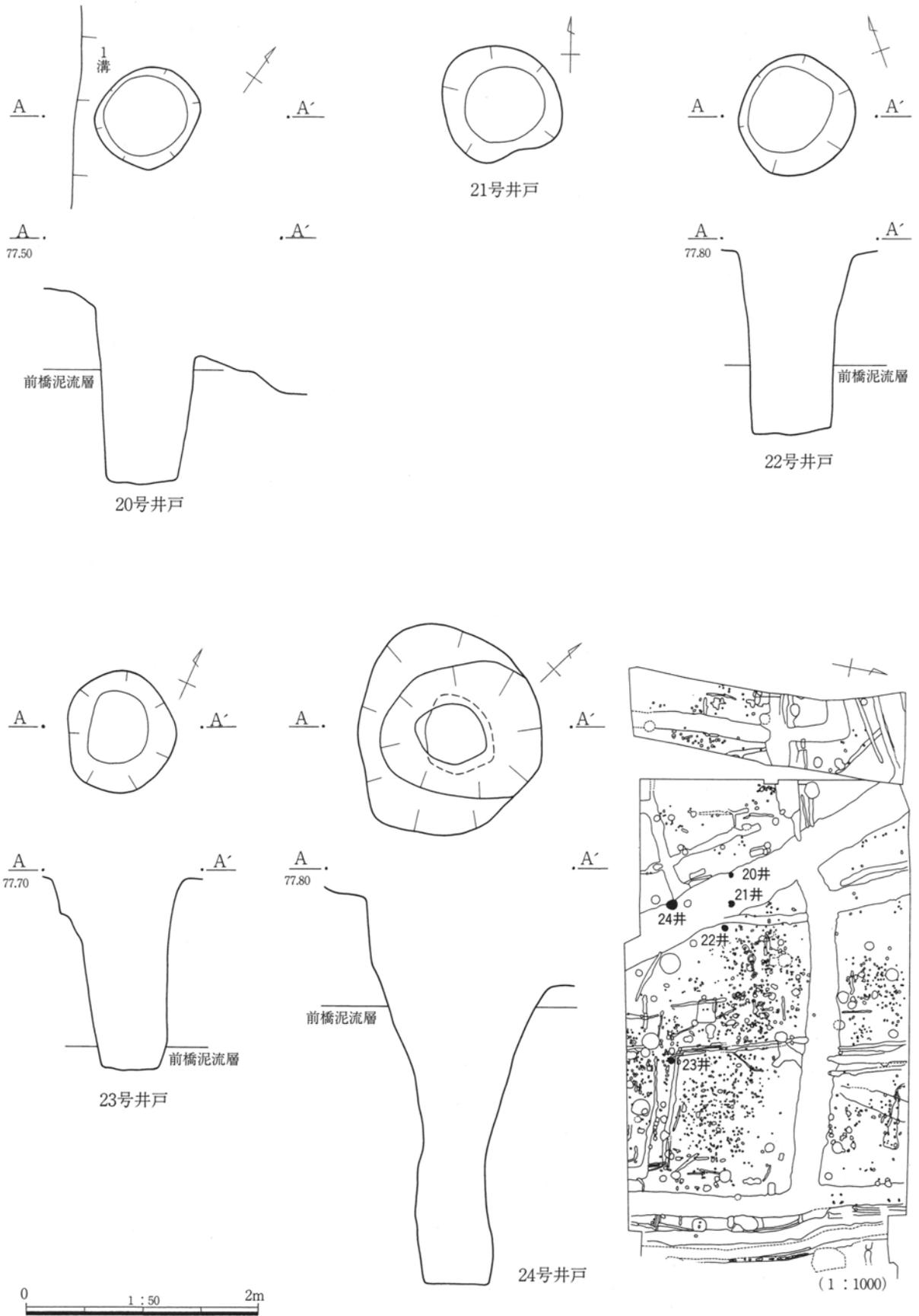
第105図 B区9～11号井戸



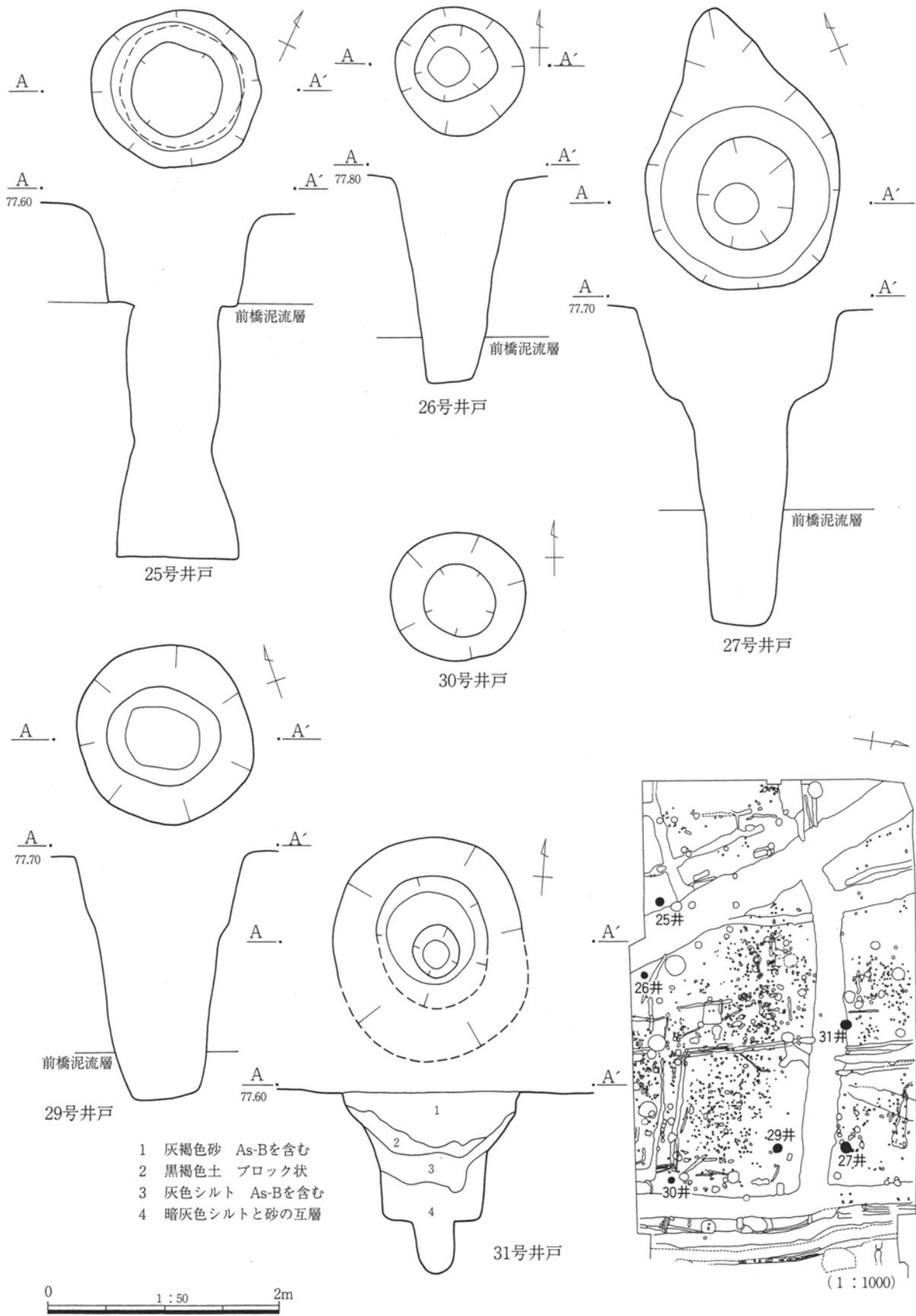
第106図 B区12~14・28号井戸



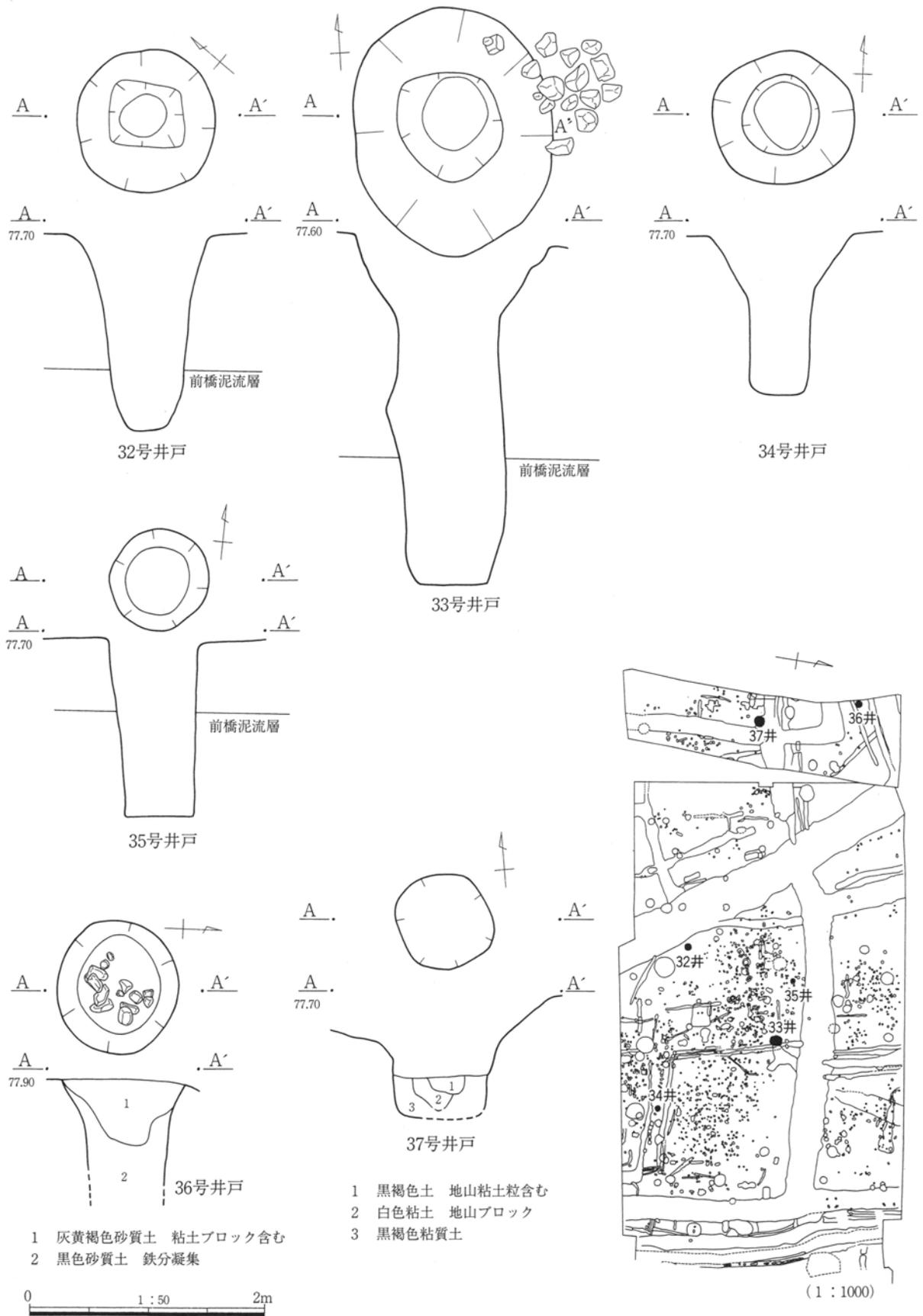
第107図 B区15~19号井戸



第108図 B区20~24号井戸



第109図 B区25～27・29～31号井戸



第110図 B区32~37号井戸

B区30号井戸（第109図）

位置 24号溝南端の西側で検出。

断面の状況 やや上に開く筒状。

出土遺物 なし。

所見 13～16号掘立柱建物跡に伴うと思われる。

B区31号井戸（第109図、PL.103）

位置 23号溝中央の北側法面で検出。

断面の状況 上～中位が太い円柱状、底部付近45cmが筒状で底面は丸みをもつ。下半は砂とシルトの互層、中位以上は地山ブロックの多い人為的埋土。

出土遺物 礫が数点出土した。

所見 石組みで、廃棄時に抜き取られたか。

B区32号井戸（第110図、PL.103）

位置 1号溝南半の東脇で検出。

断面の状況 やや上に開く筒状。底部は前橋泥流層に達する。全体に人為的埋土の黒褐色土が堆積する。

出土遺物 埋土上層からかわらけ6点が出土。

所見 方形の下部平面から、方形井戸枠が組まれていた可能性あり。

B区33号井戸（第110図、PL.103）

位置 26号溝の西脇で検出。

断面の状況 上部が掘り鉢状、中位以下が筒状で、内径80～90cm。底部付近にわずかな自然堆積土が見られるが、大部分は人為的埋土で埋まる。

出土遺物 焙烙、近世陶磁器、砥石、石臼、桶の小片のほか、底部から栗と桃の種実、種核が多数出土。

所見 上部～検出面で人頭～拳大の礫が散在。

B区34号井戸（第110図、PL.103）

位置 34・38号溝の中間部分で検出された。

断面の状況 上半が掘り鉢状、下半が筒状で、内径50cm。底面は平坦で、ローム中で止まる。底部40cmが自然堆積の黒色泥土、それ以上は人為的埋土。

出土遺物 人頭～拳大の礫4点のみ。

所見 調査時でも湧水がほとんど見られない。

B区35号井戸（第110図、PL.103）

位置 23号溝の南側で検出。

断面の状況 筒状で、内径60cm。底面は平坦で前橋泥流層に達する。大部分が人為的埋土で埋まる。

出土遺物 石臼、羽口片のほか、人頭大礫10点。

B区36号井戸（第110図、PL.104）

位置 B区北西端、1・3号溝の中間で検出。

断面の状況 筒状で、内径55cm。底面は確認できなかった。人為的埋土で埋まる。

出土遺物 拳大の礫約20点が出土。

B区37号井戸（第110図、PL.104）

位置 6号溝西端で検出。

断面の状況 筒状で内径80cm。底面は平坦でローム中で止まる。人為的埋土で埋まる。

出土遺物 掘り鉢片。

所見 出土遺物から中世に埋没した可能性あり。

B区38号井戸（第111図、PL.104）

位置 4・5号溝の中間で検出。

断面の状況 上位がやや開く筒状で、内径70cm。底面は前橋泥流内砂層に達する。下半は自然堆積と思われる黒褐色砂質土、上位は人為的埋土で埋まる。

出土遺物 中位に拳大礫多数、焙烙、近世陶磁器、桶が出土。

所見 上位埋土出土のビニルから、現代に埋められたと考えられる。

B区203号土坑（第111図、PL.104）

位置 13号井戸の東側に隣接する。

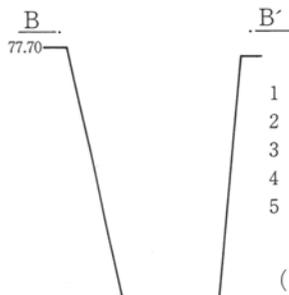
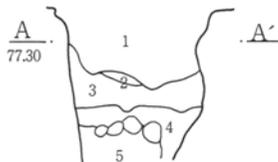
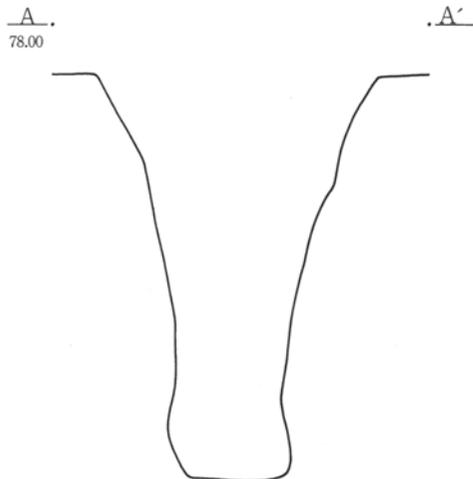
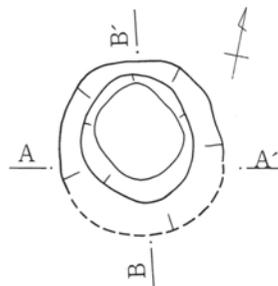
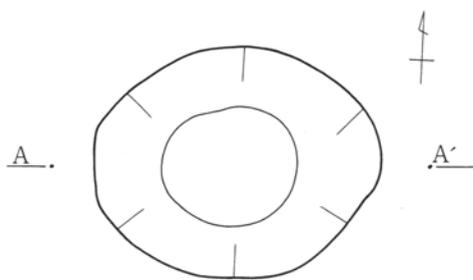
断面の状況 やや上位が開く筒状。底面は平坦で前橋泥流層に達する。人為的埋土と思われる土で埋まり、上位にはコンクリートブロック片も見られる。

出土遺物 近世陶磁器類。拳大礫。

所見 埋土と形状の特徴から、井戸として扱った。近世から使用され、現代に埋められた可能性がある。

第7表 B区中近世井戸計測値

遺構番号	グリッド	平面形	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 (m)	出土遺物	備考
1井戸	990-150	円形	295×265	486	72.76	桶板、掛矢、近世施釉陶磁器、瓦、五輪塔、板碑	
2井戸	985-145	楕円形	104×78	97	76.56	板碑	
3井戸	985-145	円形	125×95	413	73.46	近世陶器、焙烙	
4井戸	010-120	円形	215×210	240	75.40	焙烙、五輪塔、羽口等	
6井戸	000-115	円形	216×195	172	76.01	自然石のみ	
7井戸	970-135	円形	135×110以上	135	76.12	板碑、曲物、焙烙、かわらけ	
8井戸	970-135	円形	115×110以上	125	76.25		
9井戸	965-130・135	円形	150×110筒径67-58	260	74.89	灰釉皿、折縁皿、軟質陶器鉢	
10井戸	010-110	円形	160×158筒径70	152	76.26	軟質陶器	
11井戸	970-115・120	円形	360×356筒径62	302	74.67	陶磁器、瓦、砥石、五輪塔	
12井戸	970-100・105	円形	305×284筒径95	184	75.85	瓦、石臼	
13井戸	970-090・095	円形	290×280	270	74.90	桶、五輪塔、陶器、石臼、曲物	
28井戸	970-090	円形	110×93	177	75.85		
14井戸	985-080・085	円形	222×200	174	75.88	陶磁器、焙烙、灯明皿、漆器、桶、鋏	
15井戸	990-120	円形	(238)×(226)	468	73.15	桶、木札、ガラス器、陶磁器	
16井戸	970-100	円形	150×145	272	74.90	石臼	
17井戸	970-110	円形	92×90	307	74.50	近世陶器片2	
18井戸	975-105	円形	110×110	-	-		
19井戸	970-125・130	円形	123×115	104	75.52	板片	
20井戸	980-135	円形	84×84	170	75.35		
21井戸	980-130	円形	105×100	98	75.86		
22井戸	980-125	円形	108×98	160	76.10		
23井戸	975-100	円形	105×100	168	75.95	桶底、樽、杭、(蕃耕具)	
24井戸	970-125・130	円形	184×160	345	74.18	播鉢、焙烙、桶、漆碗	
25井戸	965-125・130	円形	148×140	308	74.38	桶、穿孔角材、石臼	
26井戸	965-115	円形	115×115	182	75.89	かわらけ、焙烙、漆碗、砥石	
27井戸	005-090	円形	190×180	279	74.82	焙烙、鉢、鉄片	
29井戸	990・995-090	円形	158×152	217	75.48	陶磁器、桶	
30井戸	975-080	円形	115×112	123	76.22		
31井戸	000-110	円形	195×165	158	75.95		
32井戸	975-120	円形	120×120	171	75.88	かわらけ	
33井戸	990・995-105・110	円形	212×180	305	74.44	陶磁器、焙烙、石臼、砥石、桶、種核	
34井戸	975-090	円形	142×112	140	76.19		
35井戸	995-120	円形	80×80	157	76.09	羽口、石臼	
36井戸	995-165	円形	110×105	95<	76.90		
37井戸	980-160	円形	88×88	112	76.60	播鉢	
38井戸	990-155	円形	187×150筒径70	273	75.00	陶磁器、焙烙、桶	
203土坑	970-110	円形	(115)×110	163	75.91	陶磁器	

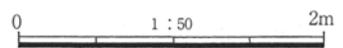


- 1 灰色土 コンクリート、砂含む
- 2 暗灰色砂 As-A含む
- 3 暗灰色シルト ラミナ状
- 4 青灰色シルト
- 5 灰色シルト質砂

(断面模式図)

38号井戸

203号土坑



第111図 B区38号井戸・203号土坑

(4) 墓壙

B区1号墓壙 (第112図、PL.105)

位置 985-085グリッド

規模 楕円形1.00×0.55m、深さ10cm。

検出の状況 人骨1体を、北頭位横臥屈葬状態で検出。胸元に完形のかわれけ1点と6枚の銅銭が出土。

出土遺物 かわれけ1点(1060)、北宋銭6枚

所見 16世紀以前と推測されるA区1号井戸出土のかわれけと近似し、出土銭に寛永通寶が1枚も含まれていないことから、15~16世紀代の墓壙と想定される。人骨鑑定は、第6章に詳述した。



1号墓壙

B区41号土坑 (第112図、PL.105)

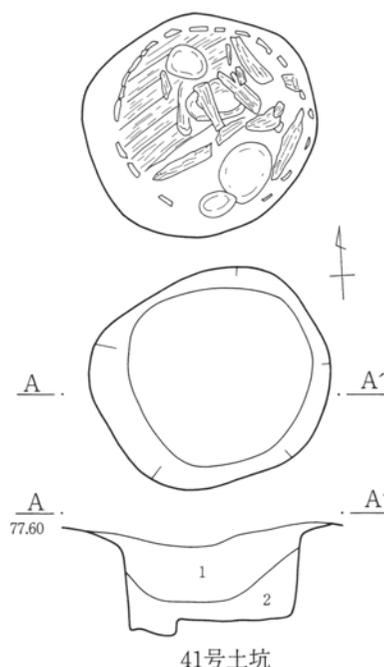
位置 24号溝の西脇で検出、14号井戸に接する。

規模 円形、0.96×0.82m、深さ35cm。

検出の状況 座棺と思われる桶の検出と人骨片の出土から、墓壙として扱った。底面には桶底板が残っており、側板は部分的にはずれて内部に倒れた状態で出土した。埋土は、下層に褐色粘質土、上層に上部を覆った人為的埋土と思われる灰褐色土が堆積。

出土遺物 骨片は遺存状態が悪く、鑑定は不可能。人頭~拳大の礫3点が、底板からやや浮いて出土。

所見 近世~近代と思われる重複する。14号井戸よりは古いと想定できよう。



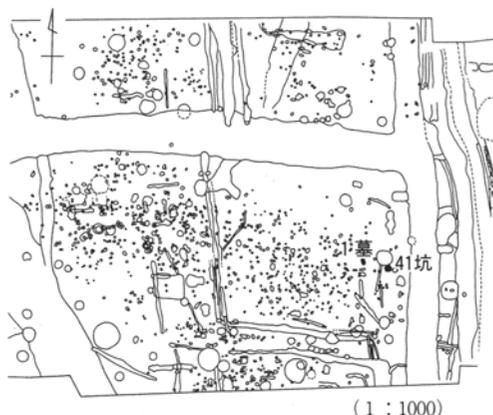
41号土坑

- 1 灰褐色土 粘土ブロック少量含む
- 2 暗褐色粘質土

(5) 土坑・ピット

ここでは、調査段階で土坑ないしピットと登録された遺構のうち、掘立柱建物跡柱穴あるいは墓壙などの性格が判明したもの以外を扱う。主に平面形態別に円・楕円・方形・不定形に分け、その代表的なものについて第8表に掲げ第113~119図に示した。なお、図示のないものについても、後掲の一覧表に計測値等を記載し、出土遺物実測図や遺構写真を掲載してある。

なお、円形土坑のうち、直径1m前後で桶を埋めである76・78号土坑は便槽あるいは墓壙(早桶)の可能性があろう。また、150ピットには完形の軟質陶器播り鉢(1099)が正位で埋め込んであったのは特筆される。

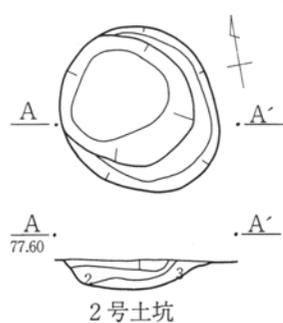


(1:1000)

第112図 B区1号墓壙及び41号土坑

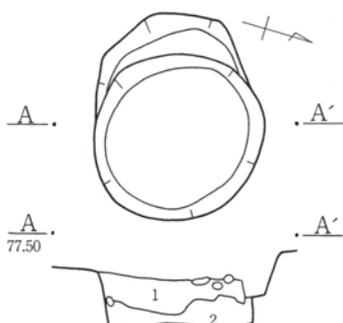
第8表 B区中・近世土坑一覧表

遺構 番号	グリッド	平面形	長径×短径 (cm)	深さ (cm)	底標高 (m)	出土遺物	備考
2土坑	965-140	円形	115×100	21	77.23	陶磁器	
5土坑	965-140	円形	115×110	37	76.86	陶磁器	底面に桶痕跡
6土坑	985-140	円形	112×110	33	77.13		底面に桶痕跡
18土坑	985-120	円形	78<×82	12	77.89		
20土坑	980-125	円形	88×75	41	77.32	土師器片	柱穴か
23土坑	990-115	円形	65×65	10	77.93	焼土・炭、磁器片	24土坑が切る
24土坑	990-115	円形	78×70	31	77.70		
25土坑	985-110・115	円形	74×70	32	77.69	甍片	
29土坑	980-105	円形	240×160	38	77.36	磁器碗、瓦	
30土坑	975-105・110	円形	112×105	13	77.57	土師器小片	
38土坑	975-090・095	円形	97×90	18	77.43		
39土坑	975-085	円形	88×70	14	77.43	かわらけ、焙烙	
42土坑	990-080	円形	104×90	50	77.05		桶底痕跡
58土坑	990-080・085	円形	120×112	55	77.06		
60土坑	990-080・085	円形	130<×118	35	77.23		
61土坑	990-080	円形	76<×78	22	77.41		
62土坑	005-125	円形	156×150	66	77.07	骨片	掘り直しの痕跡
76土坑	005-085	円形	123×120	54	77.01	硯、挿鉢、焙烙、陶磁器	便漕か墓壇
78土坑	015-085	円形	112×108	40	77.27	礫、桶、杭	便漕か墓壇
82土坑	005-115	円形	145×140	52	77.19		便漕か墓壇
83土坑	975・980-080	円形	154×142	45	77.01		便漕か墓壇
842ピット	985-105	円形	83×70	16	77.45		小さな桶底痕跡
1土坑	970-140	方形	105×50	5	77.42		
7土坑	970・975-130・135	方形	285×80	63	76.82	陶磁器、スレート	畠のムロか
8土坑	980・985-140	方形	260×70<	45	76.98	砥石	
16土坑	980・985-140	方形	245×92	35	77.03	鏡	畠のムロか
12土坑	975-085	方形	135×90	24	77.29		
32土坑	975-100	方形	105×100	13	77.50	石、焙烙片	
35土坑	975-105	方形	97×46<	26	77.41	皿、灯明皿	18井戸と重複
15土坑	980・985-070・075	方形	250×220	96	76.51	陶磁器、焙烙、鉢	底西脇にピット1
43土坑	975・980-085	方形	98×64	35	77.22	陶磁器	
48a土坑	970・975-090	方形	76×72<	23	77.38	碗、礫	
48b土坑	970・975-090	方形	80×70	25	77.39		
50土坑	970・975-090	方形	62×62	19	77.40		
51土坑	975-085・090	方形	60×55	12	77.64		
85土坑	980-080	方形	70×60	16	77.33		
86土坑	995-080	方形	200×120	60	76.97	鉄鍋、鋸、釘	4基連続重複
213土坑	970-165	方形	100×44	14	77.52		9溝を切る
214土坑	970-160・165	方形	166×97	20	77.68	皿、砥石	9溝を切る
215土坑	975-165	L字形	156×120	30	77.37		柱穴か
216土坑	980-165	方形	238<×85	34	77.30		
477ピット	985-090	方形	76×72	10	77.52		
920ピット	970-100	方形	82×78	75	76.86		柱穴か
13土坑	990・995-075	楕円形	440×245	114	76.98	碗、灯明皿	24溝を切る
14土坑	990・995-075	楕円形	520×360	30	77.30	南側に礫充填	便所・浄水施設か
17土坑	990-075	楕円形	195<×110	8	77.44	碗、桶、陶磁器、七輪片	
27土坑	985-110	隅丸方	96×85	40	77.41	土師片	柱痕
28土坑	980・985-110	楕円形	165×86	9	77.59	土師片	
34土坑	965-100	楕円形	165<×120	21	77.22		
63土坑	005-120	楕円形	96×65	13	77.64	土師小片	
67土坑	005-090	隅丸方	92×90	20	77.57		
65土坑	005-095	隅丸方	110×84	23	77.45		
68土坑	000・005-095	隅丸方	110×85	44	77.14	かわらけ	
70土坑	010・015-085	不定形	92×80	18	77.39		
211土坑	995-155	不定形	119×114	40	77.28	土師片、石	
210土坑	985-165	不定形	130×-	18	77.64		
44土坑	985-100	不定形	88×65	13	77.50		
46土坑	985-110・115	不定形	125×30	35	77.60	土師小片、スラグ	
47土坑	985-110	不定形	120×86	16	77.71	土師小片	
52土坑	990-110	不定形	95×74	12	77.80		55土坑が切る
55土坑	990-110	不定形	105×105	24	77.72		
761ピット	005-115	不定形	76×72	8	77.63		
764ピット	005-115	不定形	76×60	9	77.62		
212土坑	985・990-155	長方形	330<×180	19	77.44	陶磁器、焙烙、釘	溝の一部か



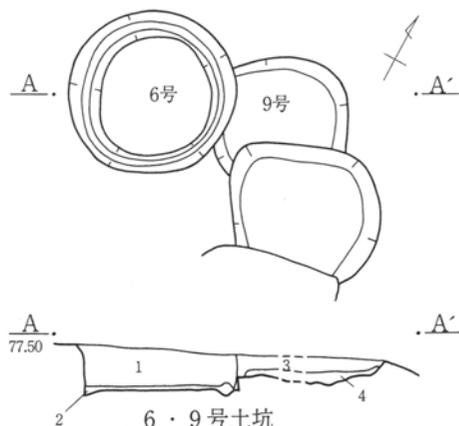
2号土坑

- 1 黄褐色土 粘性帯びる
- 2 褐灰色土 粘性帯び黒色土
ブロック多い
- 3 褐灰色土 地山土粒多い



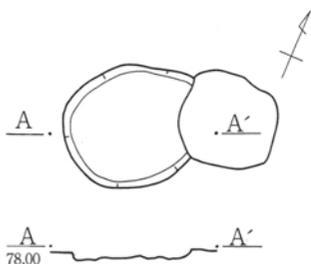
5号土坑

- 1 黒褐色土 やや粘性帯び
As-Aを含む
- 2 黒褐色土 地山土粒を含む

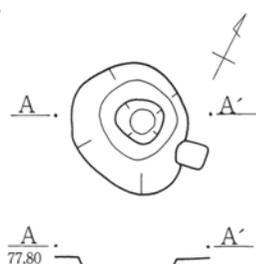


6・9号土坑

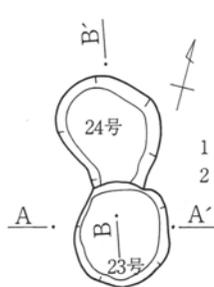
- 1 黄褐色粘質土 As-Aを含む
 - 2 褐灰色粘質土 桶底腐食部分
 - 3 褐色土 焼土粒を少量含む
 - 4 黄橙色土 地山土粒主体
- 1・2-6号土坑 3・4-9号土坑



18号土坑



20号土坑

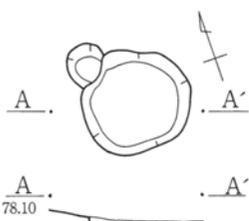


23・24号土坑

- 1 褐色シルト質砂 焼土と炭化物塊含む
- 2 暗褐色シルト質砂 焼土粒含む

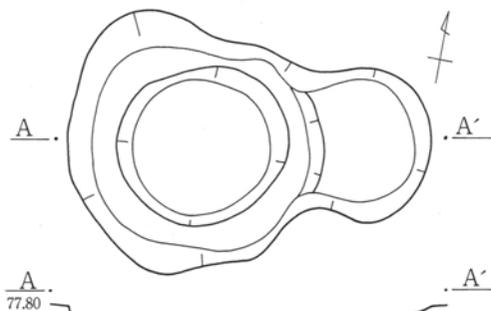


- 1 暗灰色シルト質土 焼土を少量含む
- 2 23号土坑埋土

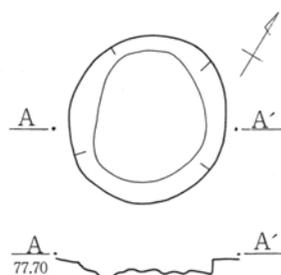


25号土坑

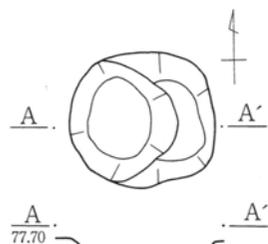
- 1 灰黒色土 炭化物多い
- 2 灰褐色土 炭化物と焼土含む



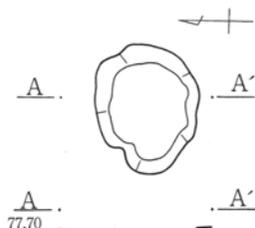
29号土坑



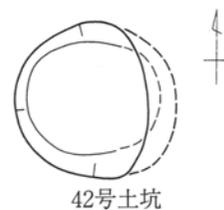
30号土坑



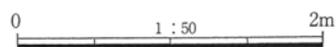
38号土坑



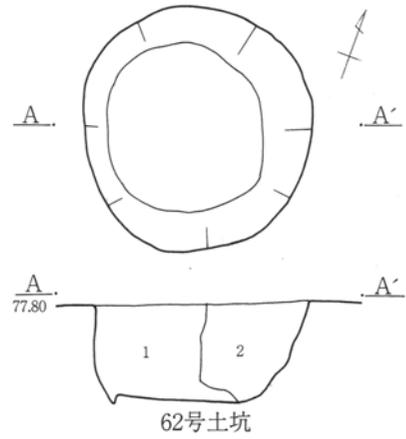
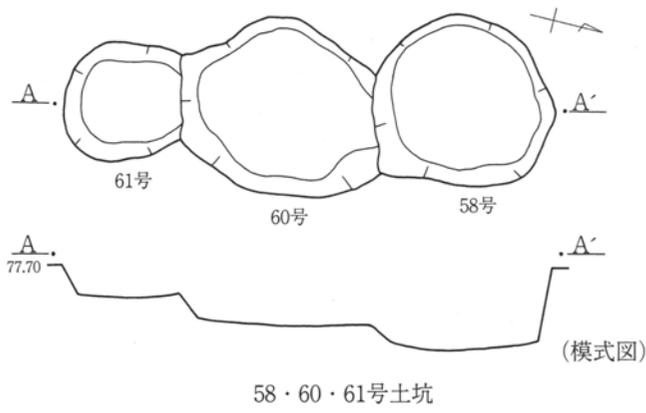
39号土坑



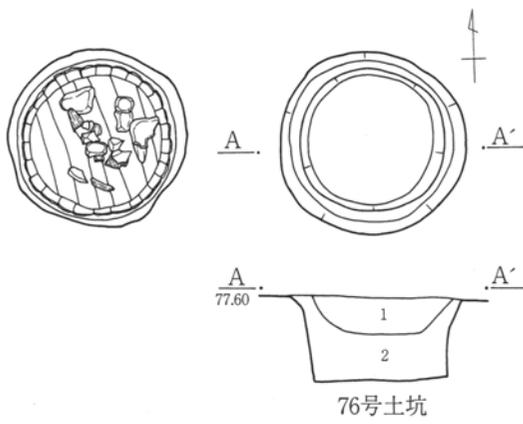
42号土坑



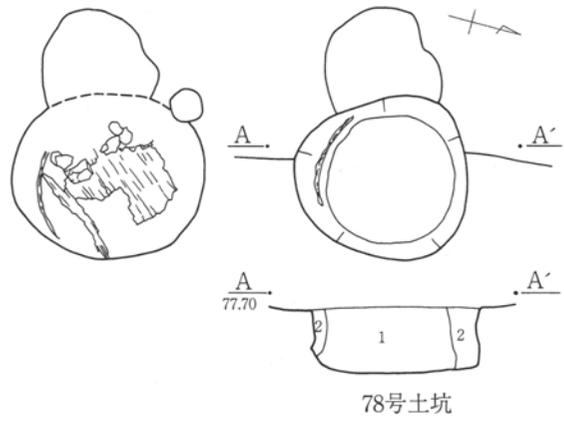
第113図 B区円形土坑 (1)



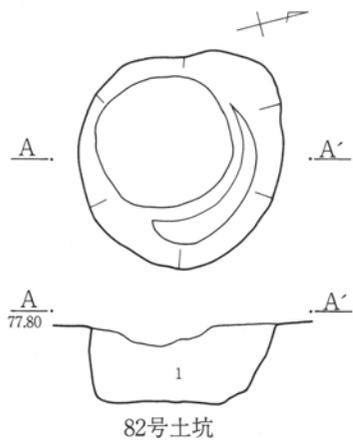
- 1 灰色シルト質砂 地山ブロックを少量含む
- 2 灰褐色土 褐色土ブロック多い



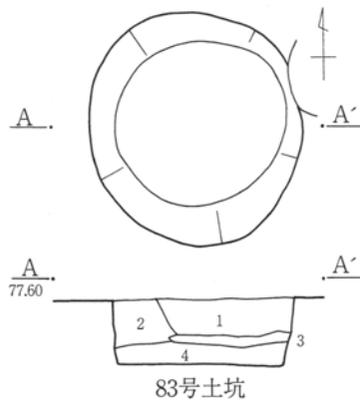
- 1 灰青色シルト質砂 As-Aを少量含む
- 2 青黒色シルト質砂



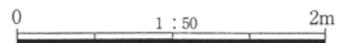
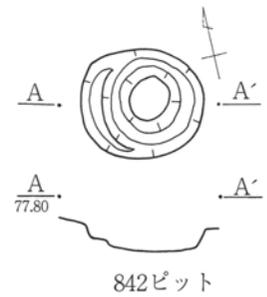
- 1 灰褐色シルト質砂
- 2 黒色土 地山ブロック含む桶外周埋土



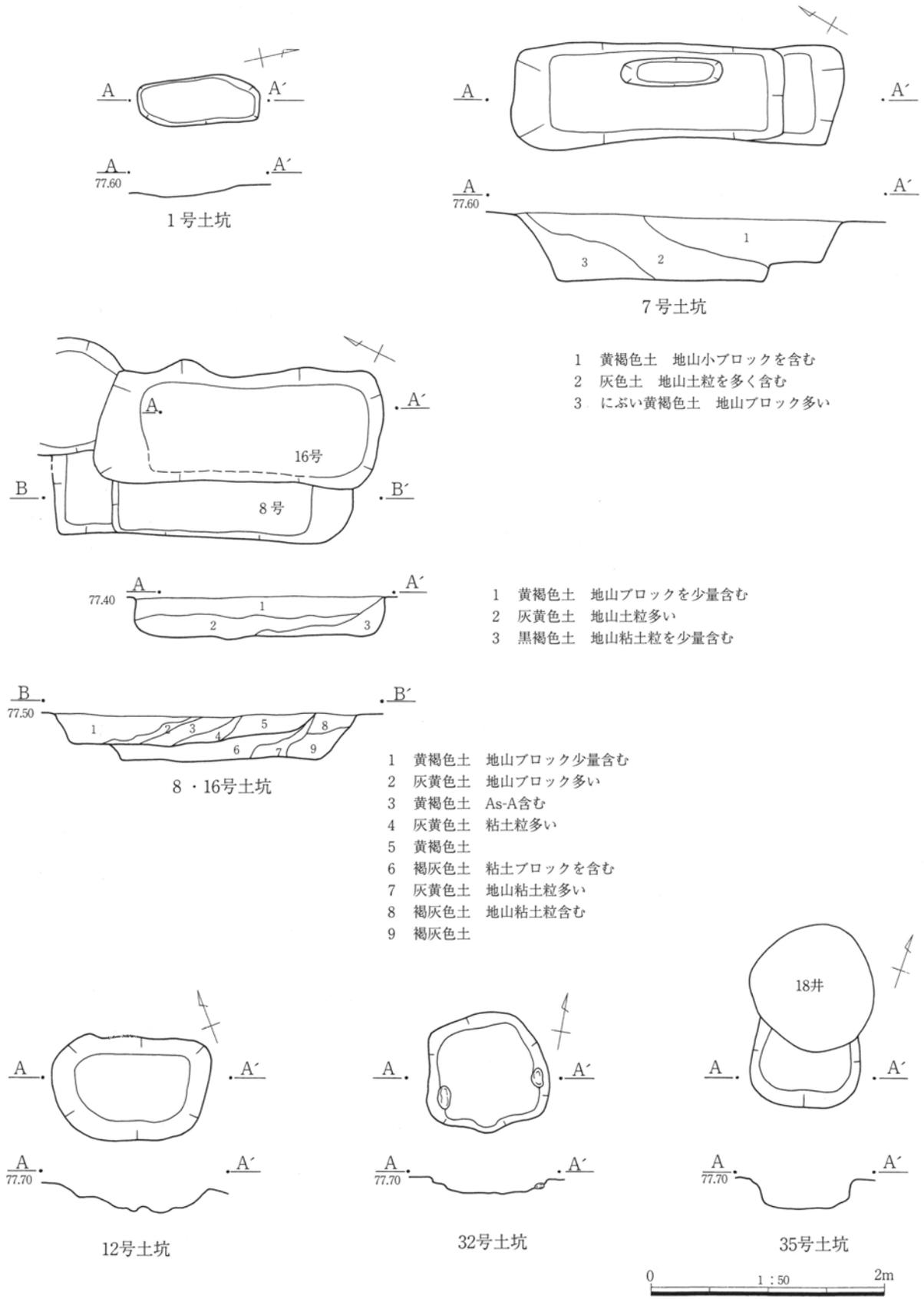
- 1 暗褐色シルト質土 地山ブロック含む



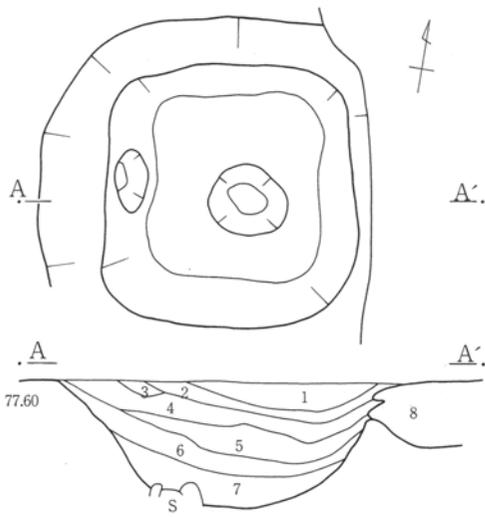
- 1 灰褐色シルト質砂 As-A多い
- 2 灰黒色土 ブロック状
- 3 暗灰褐色土
- 4 灰黒色土 地山ブロック含む



第114図 B区円形土坑 (2)

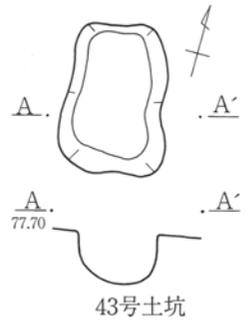


第115図 B区方形土坑 (1)

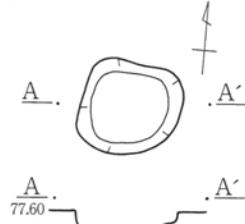


15号土坑

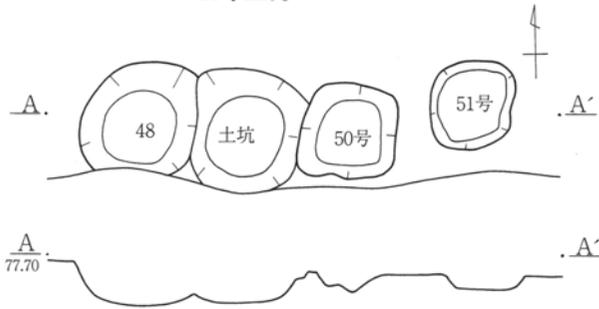
- 1 黄灰色土 砂質で炭化物を少量含む
- 2 灰黒色土 砂質で炭化物を多く含む
- 3 青黒色土 砂質
- 4 灰黄色土 砂質
- 5 灰黒色土 砂質
- 6 灰色土 シルト質で37号溝土粒を含む
- 7 灰青色シルト 前橋泥流土の流れ込み
- 8 37号溝埋土



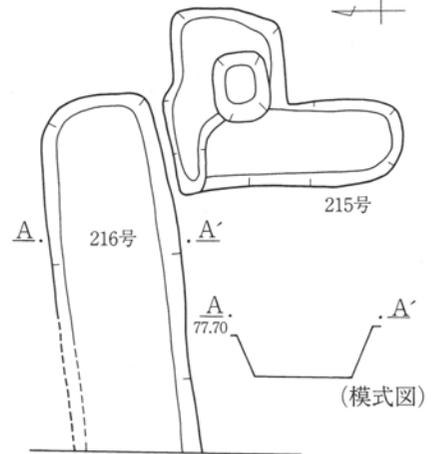
43号土坑



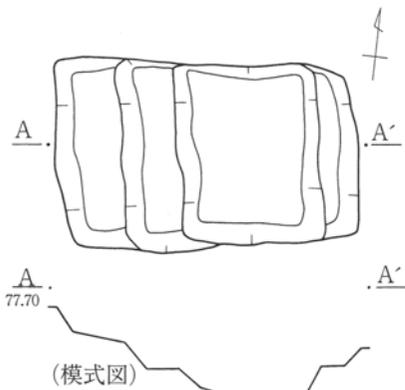
85号土坑



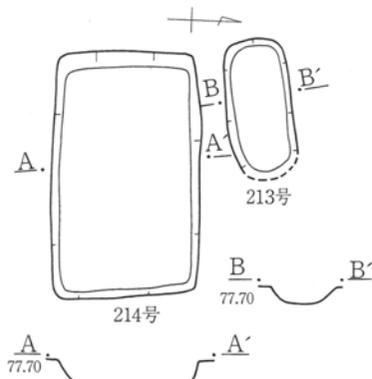
48・50・51号土坑



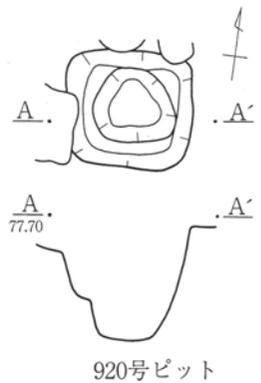
215・216号土坑



86号土坑



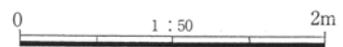
213・214号土坑



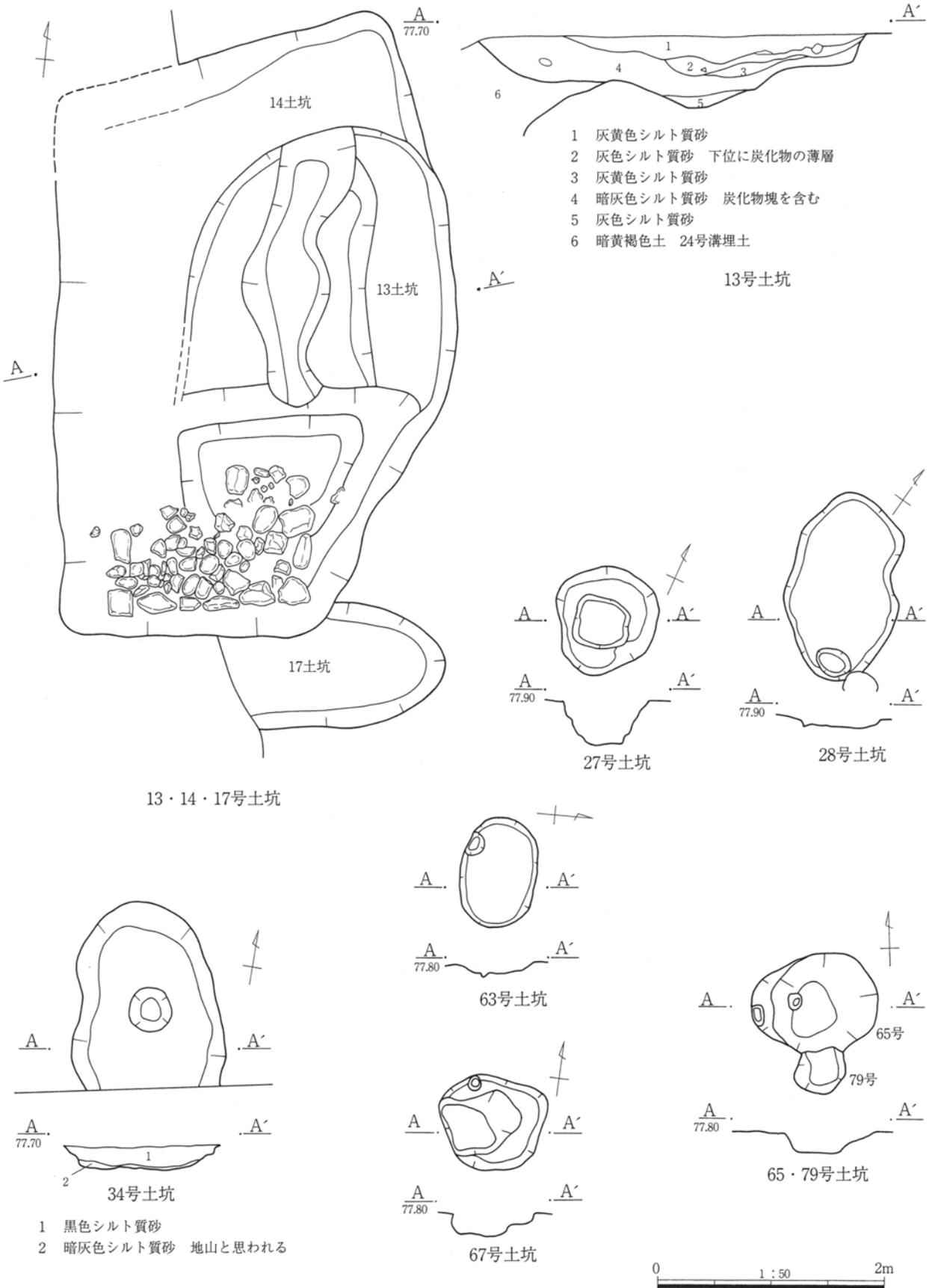
920号ピット



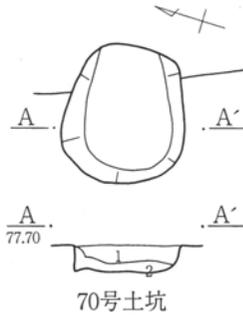
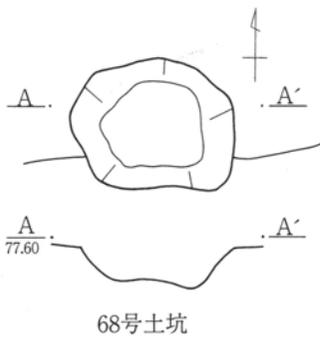
477号ピット



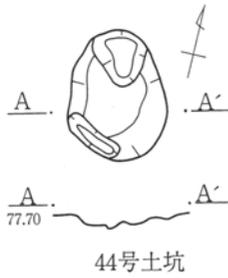
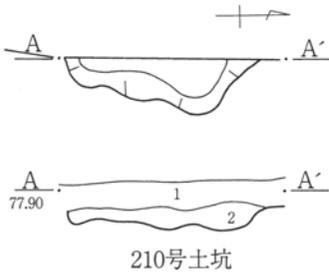
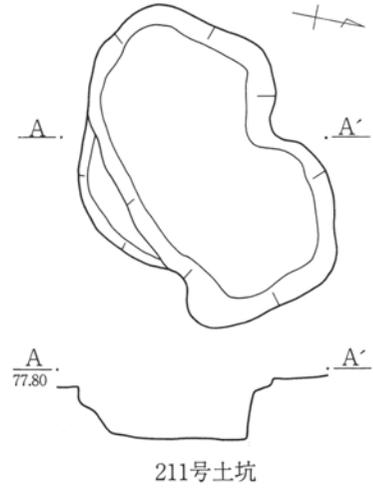
第116図 B区方形土坑 (2)



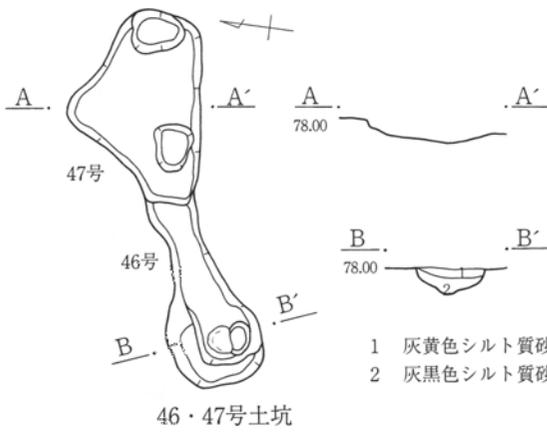
第117図 B区隅丸方形・楕円形土坑



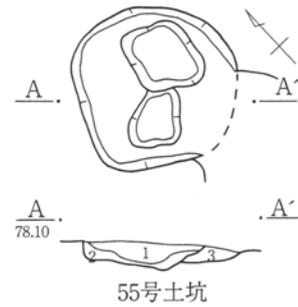
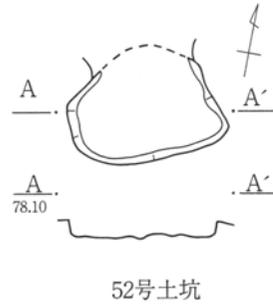
- 1 灰褐色シルト質砂 ブロック状
- 2 暗灰褐色シルト質砂



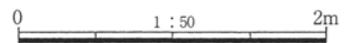
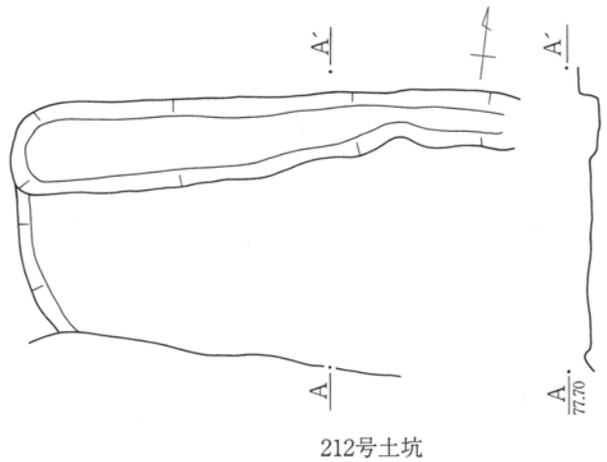
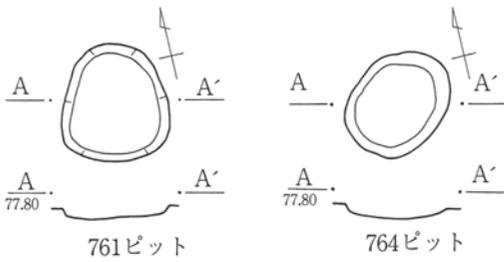
- 1 暗褐色シルト質砂 地山ブロック含む
- 2 黄褐色砂質土



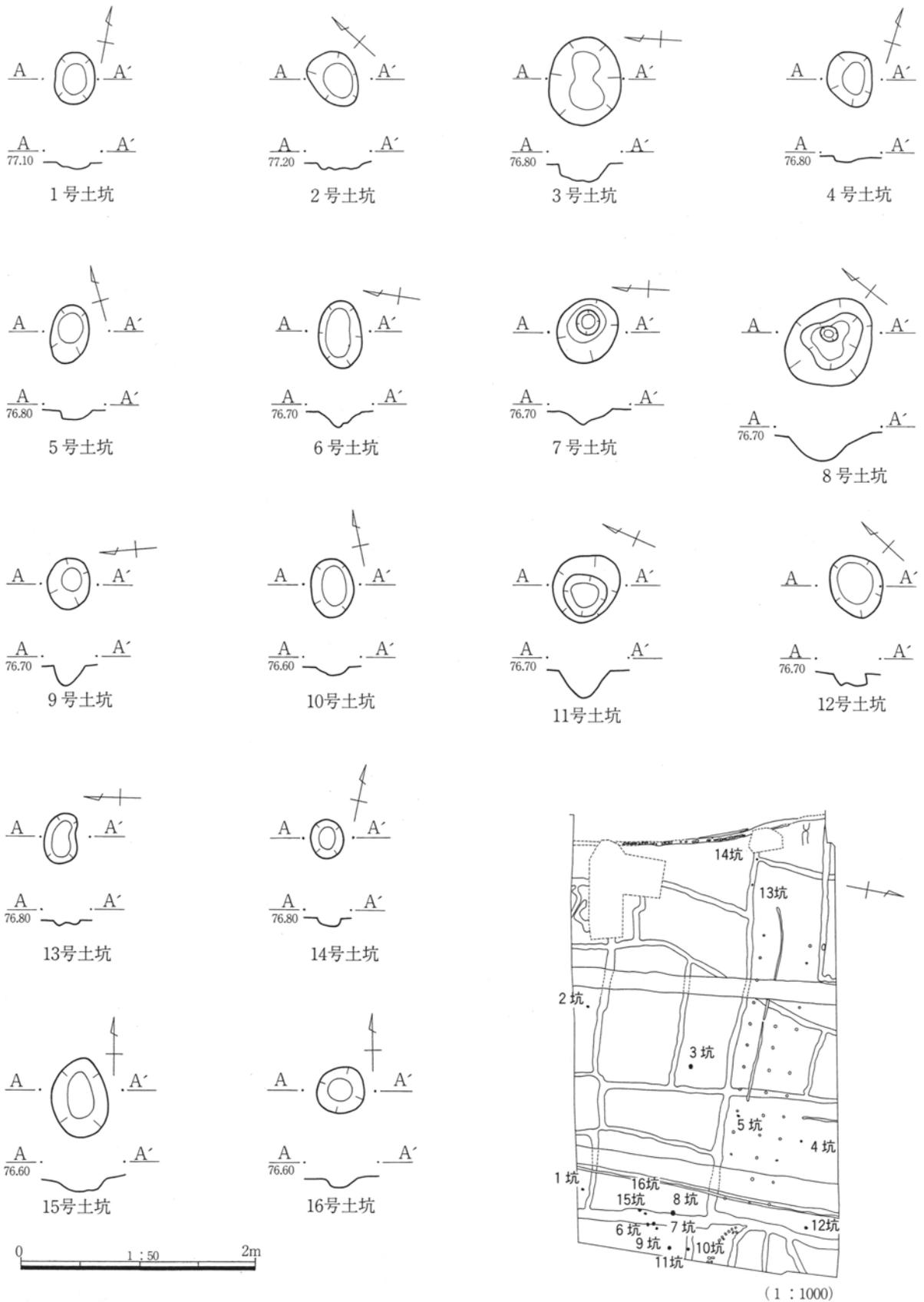
- 1 灰黄色シルト質砂
- 2 灰黒色シルト質砂



- 1 灰褐色シルト質砂
- 2 灰黒色シルト質砂
- 3 暗褐色シルト質砂 As-B混土



第118図 B区楕円形・不定形土坑



第119図 C区土坑

第9表 中・近世土坑及びピット一覧表 (A～C区)

・位置の数字はグリッドを示す。規模は平面での大きさをcm、深さはcm、底標高はmを単位とする。

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
A 1号土坑	965・970-200・205	楕円	104×50	38	77.13	陶磁器	2基重複	63	31
A 2号土坑	955-205	隅丸方	45×40	5	77.50				31
A 3号土坑	950-210	円	46×40	6	77.50				31
A 4号土坑	950-210	隅丸方	91×70	8	77.47		炭化物粒含む	63	31
A 5号土坑	950-215	方	49×46	13	77.43		3掘P20	33	31
A 6号土坑	950・955-205・210	隅丸方	69×53	44	77.11		3掘P17	33	31
A 7号土坑	950-205・210	楕円	29×19	25	77.31				31
A 8号土坑	950-210	隅丸方	54×52	30	77.27		2掘P9	31	31
A 9号土坑	950-210	楕円	52×45	24	77.30		3掘P18	33	32
A10号土坑	950-210	円	41×36	18	77.40		3掘P19	33	32
A11号土坑	955-205	方	42×34	26	77.31		柱穴か		32
A12号土坑	955-205	隅丸方	55×45	18	77.34		柱穴、根石		32
A13号土坑	955-205	不整円	49×43	30	77.26		柱穴か		32
A14号土坑	955-210	円	32×29	11	77.44				32
A15号土坑	955-210	隅丸方	77×66	20	77.34	磔	2掘P10	31	32
A16号土坑	955-210	隅丸方	55×52	9	77.40	灯明皿・おろし皿	3掘P6	33	32
A17号土坑	960-210	L字	66×71	38	77.18	鉄片・かわらけ・板碑	2掘P11・3掘P7	31・33	33
A18号土坑	960-205	円	38×38	23	77.38		2掘P12	31	33
A19号土坑	960-205	楕円	142×84	36	77.19	磔多数・陶器・土師片	2掘P13・3掘P8	31・33	33
A20号土坑	960-205	円	41×37	32	77.24		2掘P14・3掘P9	31・33	33
A21号土坑	955-215	隅丸方	78×68	14	77.38	土師片	3掘P2	33	33
A22号土坑	950・955-215	不整円	34×30	13	77.40		4掘P1	33	33
A23号土坑	955-205	円	55×50	44	77.17		3掘P15	33	33
A24号土坑	955-200・205	隅丸方	61×45	37	77.21		柱穴か		34
A25号土坑	955-200	長方	55×44	34	77.23		1掘P5	30	34
A26号土坑	955-200	隅丸方	67×55	39	77.19		2掘P6	31	34
A27号土坑	955-200	隅丸方	63×52	34	77.25		2掘P20	31	34
A28号土坑	955-200	楕円	35×23	33	77.26		柱穴か		34
A29号土坑	955-200	不整円	78×40	37	77.20		5掘P25	34	
A30号土坑	955-200	円	57×54	38	77.19		5掘P11	34	34
A31号土坑	955-200	楕円	49×37	27	77.32	かわらけ	2掘P5	31	34
A32号土坑	955-200	楕円	40×34	14	77.42	かわらけ	1掘P4・3掘P14	30・33	34
A33号土坑	955-200	円	37×34	15	77.42		2掘P19	31	35
A34号土坑	955-200	楕円	40×34	21	77.36				35
A35号土坑	960-200	円	48×42	35	77.22		1掘P2・2掘P3・3掘P12	30・31・33	35
A36号土坑	955-200	隅丸方	48×40	(20)	77.42		1掘P3・3掘P13	30・33	35
A37号土坑	955-195	隅丸方	45×43	11	77.4				35
A38号土坑	950・955-195	隅丸方	48×46	24	77.27		柱穴か		35
A39号土坑	955-195	不整円	24×25	5	77.46				35
A40号土坑	955-195	楕円	62×43	26	77.27		2基重複		35
A41号土坑	960-200	不整円	55×48	22	77.33		6掘P1	34	36
A42号土坑	960-200	不整円	54×50	26	77.28		1掘P9	30	36
A43号土坑	960-200	隅丸方	93×68	20	77.33		3掘P10・5掘P14	33・34	36
A44a号土坑	960-200	方	48×36	31	77.25		1掘P1	30	36
A44b号土坑	960-200	方	43×(36)	21	77.35		3掘P11	33	36
A45号土坑	960-200	方	44×42	21	77.38		柱穴か		36
A46号土坑	960・965-200	楕円	67×52	25	77.24		5掘P5	34	36
A47号土坑	960-200	方	33×33	22	77.29		6掘P2	34	36
A48号土坑	960-200	方	32×29	19	77.33		柱穴か		36
A49号土坑	960-195	楕円	45×35	19	77.31		6掘P3	34	37
A50号土坑	960-195	不整円	40×38	8	77.44	寛永通宝1	5掘P8	34	37
A51号土坑	960-195	方	72×66	12	77.35		ピット重複		37
A52号土坑	960-195	不整円	74×57	26	77.22	磔		63	37
A53号土坑	960-190・195	楕円	96×90	25	77.24	磔・陶器片		63	37
A54号土坑	955-195	長方	90×46	11	77.39	焙烙・寛永銭10	墓壙	60	30
A55号土坑	950-190	円	47×33	44	77.08		柱穴か		37
A56号土坑	955-190	円	86×84	24	77.23	木片	桶痕跡	61	37
A57号土坑	950-190	円	146×124	35	77.14	鉢・焙烙	7号溝を切る	61	38

第4章 中・近世の遺構と遺物

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
A58号土坑	965-200	方	55×50	23	77.23	碟・土器片			38
A59号土坑	955-190・195	円	138×133	53	76.97	寛永通宝1	3基重複	61	38
A60号土坑	955-195	不定	185×140	22	77.26	鉄滓	59号土坑が切る	61	38
A61号土坑	955-190・195	不定	77×43<	26	77.14	碟		61	38
A62号土坑	955-190	円	93×93	25	77.24	碟・鉢・焙烙		61	38
A63号土坑	960-215	円	55×48	30	77.29	碟	根石、柱穴		38
A64号土坑	965-200・205	円	55×45	40	77.13		柱穴か		38
A65号土坑	965-200・205	円	55×55	45	77.06		柱穴か		38
A66号土坑	960-215	円	49×46	34	77.19	碟	柱穴		38
A67号土坑	970・975-210	方	92×52	20	77.33	碟	墓壙か	62	38
A68号土坑	975-210	円	48×45	45	77.07	碟	柱穴か		39
A69号土坑	975-215	不整方	65×49	25	77.23	碟・土器片			39
A70号土坑	975-215	楕円	103×63	43	77.07		9掘P7	38	39
A71号土坑	975-215	方	41×41	37	77.12		9掘P8	38	39
A72号土坑	975-215	楕円	47×32	21	77.33		11掘P7	38	39
A73号土坑	970・975-215	長方	44×35	35	77.15	碟	柱痕		39
A74号土坑	970-215	円	35×33	22	77.29	碟	柱痕		39
A75号土坑	975-220	方	31×29	22	77.35		柱穴か		40
A76号土坑	970-220	不整円	39×35	64	76.91		柱穴か		40
A77号土坑	970-215・220	円	46×37	71	76.84		柱穴か		40
A78号土坑	965-220	楕円	31×24	14	77.43				
A79号土坑	970-225	円	144×132	64	76.92	火鉢・碟・かわらけ	炭化物含む	61	40
A80号土坑	965-225	楕円	52×43	17	77.40				40
A81号土坑	970-220	長方	40×20	42	77.12		柱痕		40
A82号土坑	970-225	楕円	44×36	57	77.00		柱痕		40
A83号土坑	970-225	円	45×43	35	77.17		柱痕		40
A84号土坑	975-235	不定	93×78	46	76.84	碟	柱穴か	63	41
A85号土坑	975-235	長方	54×41	36	76.99		根石、2基重複		41
A86号土坑	975-235	楕円	42×27	5	77.45		柱痕、根石		41
A87号土坑	975-235	不定	39×35	39	77.24		柱穴か		41
A88号土坑	975-230	方	50×28<	18	77.39		柱穴か		41
A89号土坑	980-220・225	方	46×43	13	77.43		柵P6	38	41
A90号土坑	980-220	隅丸方	34×30	39	77.34		10掘P9	38	41
A91号土坑	980-220	隅丸方	41×37	28	77.28		10掘P8	38	41
A92号土坑	980-220	不整円	33×30	31	77.22		11掘P2	38	42
A93号土坑	980-215	隅丸方	33×31	24	77.26	碟	10掘P6	38	42
A94号土坑	980-220	方	63×57	33	77.18		9掘P9	38	42
A95号土坑	980-220	方	50×50	58	76.92		9掘P10	38	42
A96号土坑	980・985-215	隅丸方	53×53	32	77.18		柱穴か		42
A97号土坑	985-215	隅丸方	40×39	26	77.20				42
A98号土坑	980-215	長方	36×27	47	77.03		9掘P11	38	42
A99号土坑	985-215	不定	77×53	49	77.04		9掘P4	38	42
A100号土坑	980-215	円	43×40	50	77.05		11掘P4	38	43
A101号土坑	975-215	長方	47×36	11	77.36				43
A102号土坑	975-210	方	40×33	41	77.08		9掘P6	38	43
A103号土坑	975・980-210	円	54×46	58	76.91		柱痕		43
A104号土坑	960-200	方	47×36<	23	77.47	板碑	2掘P1	31	36-43
A105号土坑	965-230	長方	50×31	14	77.20	長碟			43
A106号土坑	960-230	方	47×41	30	77.08		柱穴か		43
A107号土坑	960-200	長方	62×39	8	77.49	碟			43
A108号土坑	955-200	円	51×44	14	77.32		3基重複		44
A109号土坑	965-200	方	80×40	15	77.37			62	44
A110号土坑	960-195・200	円	48×45	12	77.40		5掘P9	34	44
A111号土坑	955-200	長方	46×37	5	77.57		柱穴か		44
A112号土坑	955-200	円	30×30	25	77.32		5掘P12	34	44
A113号土坑	955-195	方	44×37	23	77.26				44
A114号土坑	970-225	楕円	53×42	35	77.21	碟・天聖元寶1	柱穴か	63	44
A115号土坑	970-215	隅丸方	93×74	52	77.00	内耳鍋、碟多数		61	44
A116号土坑	970-215	不整円	62×58	50	76.12		柱穴か		45
A117号土坑	965-200	楕円	103×82	32	77.34	碟	柱穴か	63	45
A118号土坑	960-195	方	33×31	8	77.40				45
A119号土坑	960-195	方	61×48	13	77.24		5掘P6	34	45

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
A120号土坑	960-195	円	34×27	33	77.17				45
A121号土坑	955-195	円	36×32	51	77.00				45
A122号土坑	955-200	方	52×44	33	—		2掘P4	31	45
A123号土坑	960-200	長方	63×46	49	77.22	礫多数・陶磁器	5掘P13	34	45
A124号土坑	960-200	円	31×27	26	77.32		2掘P15・3掘P24・6掘P4	31・33・34	46
A125号土坑	960-205	楕円	46×35	24	77.29	かわらけ	5掘P22	34	46
A126号土坑	960-205	円	45×38	20	77.37		柱穴、根石		46
A127号土坑	960-205	方	76×60	26	77.31	砥石	1掘P8	30	46
A128号土坑	960-205	円	24×24	36	77.20				46
A129号土坑	960-205	方	38×35	11	77.45				46
A130号土坑	960-205	円	80×77	36	77.19		1掘P7	30	46
A131号土坑	965-205	方	35×30	18	77.34		5掘P16	34	46
A132号土坑	955-205	方	39×38	11	77.49		1掘P6	30	47
A133号土坑	955-205	円	97×86	27	77.29		2掘P7・3掘P16	31・33	47
A134号土坑	955-205	方	68×56	32	77.24	かわらけ・土師片	2掘P8	31	47
A135号土坑	955-210	楕円	67×57	19	77.35		3掘P4	33	47
A136号土坑	960-210	楕円	76×61	24	77.26	礫多数	柱穴、根石		47
A137号土坑	960-210	円	39×37	34	77.17				47
A138号土坑	955-205	円	97×86	27	77.29		2掘P7・3掘P16	31・33	47
A139号土坑	965-205・210	円	88×82	28	77.19		柱痕		47
A140号土坑	965-205	円	56×57	41	77.11	礫	柱痕		48
A141号土坑	970-205	方	72×59	43	77.09		柱穴か		48
A142号土坑	965-205	不整円	38×35	24	77.29		5掘P20	34	
A143a号土坑	965-205	方	35×38	52	77.00		5掘P1	34	48
A143b号土坑	965-205	楕円	40×35	49	77.03		5掘P19	34	48
A144号土坑	970-205	円	41×38	63	76.89		柱痕		48
A145号土坑	970・975-210	楕円	47×30	25	77.26		柱痕		48
A146号土坑	975-205	円	29×28	34	77.16		柱痕		48
A147号土坑	980-205	隅丸方	67×57	39	77.04	礫			48
A148a号土坑	965-200	円	39×38	36	77.20		5掘P2	34	48
A148b号土坑	965-200	不定	48×38<	22	77.30		5掘P18	34	48
A149号土坑	965-200	方	36×32	22	77.24				49
A150号土坑	965-200	楕円	63×45	24	77.26		柱痕		49
A151号土坑	965-200	方	41×36	29	77.42		柱穴2基		49
A152号土坑	960-200	円	46×39	11	77.35		5掘P4	34	49
A153号土坑	965-200	方	33×27	22	77.22		柱痕		49
A154号土坑	965-195・200	楕円	59×36	24	77.22		柱穴か		49
A155号土坑	965-200	方	33×32	14	77.34		102号ピット重複		49
A156号土坑	965-200	長方	40×28	22	77.26				49
A157号土坑	965-200	長方	26×22	25	77.25		5掘P3	34	50
A158号土坑	955-205	隅丸方	38×32	27	77.35				50
A159号土坑	955-200	円	40×38	12	77.45		柱穴か		50
A160号土坑	—	円	—	24	—		柱穴か		50
A161号土坑	965-205	不整方	32×30	12	77.41				50
A162号土坑	960-200	方	48×34	36	77.20		5掘P23	34	50
A163号土坑	955-225	円	66×29<	—	—	皿・播鉢・石臼・内耳		63	
A164号土坑	955-215	隅丸方	61×52	10	77.41		3掘P3	33	50
A165号土坑	960-210	方	32×30	27	77.24				50
A166号土坑	970-210	円	33×31	28	77.24		柱穴か		51
A167号土坑	—	円	—	32	—		柱穴か		51
A168号土坑	—	円	—	32	—		柱穴か		51
A169号土坑	980-215	円	67×63	56	76.92	礫	4溝を切る	61	51
A170号土坑	965-200	不定	133×142	43	77.08		2基の重複	63	
A171号土坑	960-220	方	140×35	14	77.43		削平溝底部か	62	51
A172号土坑	—	円	—	24	—				51
A173号土坑	965-185	方	74×42	10	77.28		柱穴、根石		51
A174号土坑	—	円	—	—	—		柱穴か		51
A175号土坑	975-215	方	124×75	50	76.97		墓壇か	62	
A176号土坑	980-235	長方	52×34	65	77.04	砥石	柱痕		52
A177号土坑	985-235	円	46×45	43	77.20	礫	柱穴か		52
A178号土坑	990-225	方	49×40	49	77.19		柵P9	38	52

第4章 中・近世の遺構と遺物

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
A179号土坑	990-235	円	118×104	85	76.78	かわらけ	便漕か	61	52
A180号土坑	990-230	円	38×36	34	77.34				52
A181号土坑	990-230	円	36×35	125	76.45		井戸の可能性		52
A183号土坑	990-230	楕円	55×48	37	77.33		柱穴か		52
A184号土坑	985・990-230	隅丸方	59×36	25	77.46		柱穴、根石		52
A185号土坑	985・990-225・230	長方	60×45	11	77.60		櫛P1	38	53
A186号土坑	985-225	楕円	45×37	38	77.30		櫛P2	38	53
A187号土坑	985-225	隅丸方	105×53	57	77.10		櫛P3	38	53
A188号土坑	985-230	楕円	48×40	55	77.13		柱痕		53
A189号土坑	985-220	長方	86×70	41	77.17	礫多数・軟質陶器	10掘P1	38	53
A190号土坑	985-220	方	58×49	53	77.13	杯	9掘P1	38	53
A191号土坑	985-220	方	58×45	56	77.04		10掘P2	38	53
A192号土坑	985-220	方	46×38	31	77.37	かわらけ片・紡錘車	9掘P13	38	53
A193号土坑	990-220	長方	58×39	13	77.55				54
A194号土坑	990-220	楕円	71×63	54	77.21		203土坑と重複	63	54
A195号土坑	990-225	隅丸方	52×41	19	77.50		柱穴か		54
A196号土坑	990-225	不整円	57×52	11	77.57				54
A197号土坑	990-225	不整円	64×57	53	77.15		柱穴か		54
A198号土坑	990-220・225	不整円	66×63	38	77.29				54
A199号土坑	985・990-215	隅丸方	142×126	57	76.90		9掘P3・10掘P3	38	54
A200号土坑	990-215・220	長方	119×66	63	76.95		9掘P2	38	54
A201号土坑	990・995-215	不整方	200×120	18	77.41	碗	ビット重複		55
A202号土坑	965・970-190	楕円	208×119	42	—	礫多数・碗		63	
A203号土坑	990-220	楕円	64<×60	62	77.06		194土坑と重複	63	54・55
A204号土坑	955-220	楕円	86×61	32	76.46		8井戸と重複	62	55
A205号土坑	980-205	円	77×73	26	76.49		13溝底で検出	61	55
A207号土坑	990-180	円	100×92	86	76.77	人骨・碗・桶	墓塚	60	30
A208号土坑	995-180・185	方	306×103	82	76.98			62	55
A209号土坑	000-185	方	110<×117	68	77.13	礫・鉄滓・須恵器	堀の一部か	62	55
A211号土坑	995-185	楕円	210<×56	11	77.64			62	55
A212号土坑	990-180	不定	115×90	7	77.54			63	55
A213号土坑	990-185	円	141×114	15	77.53	礫・炭・ビニル・木片	現代廃棄坑	61	56
A214号土坑	990・995-190	楕円	100×65	34	77.36			62	56
A215号土坑	995-185・190	方	87×56	13	77.65		柱穴か	62	56
A216号土坑	995-190	隅丸方	56×54	46	77.24	礫	柱穴か	62	56
A217号土坑	995-190	隅丸方	43×42	65	77.09	骨	柱穴か	62	
A218号土坑	995-195	円	117×117	8	77.67	炭・ビニル	現代の廃棄坑	61	56
A219号土坑	950-205	不定	—×65	15	—		柱穴、根石		56
A220号土坑	955-210	円	25×25	17	77.14		柱穴か、根石		56
A221号土坑	000-170・175	方	61×34	17	76.49	礫	溝底面のくぼみ	62	56
A1号ビット	955-205	方	32×28	20	77.34				
A2号ビット	950-205	楕円	24×19	8	77.49				58
A3号ビット	950-205	円	18×15	5	77.52				58
A4号ビット	950-210	長方	28×17	5	77.50				
A5号ビット	955-220	円	40×34	15	77.32		3掘P1	33	58
A6号ビット	955-215	楕円	—×18	6	77.40				58
A7号ビット	950-215	円	25×23	6	77.47		3掘P21	33	58
A8号ビット	950-215	円	29×30	5	77.49				58
A9号ビット	955-210	円	22×21	4	77.48		4掘P2	33	58
A11号ビット	955-205	円	34×31	18	77.41				58
A12号ビット	960-200	楕円	27×20	13	77.43				58
A13号ビット	955-200	円	34×33	26	77.29		5掘P24	34	59
A14号ビット	955-200	方	33×28	14	77.45		柱穴か		59
A15号ビット	955-200	楕円	30×25	21	77.39		5掘P26	34	59
A16号ビット	950-195	円	32×32	16	77.34				59
A17号ビット	955-200	楕円	34×28	15	77.46	礫	柱痕		59
A18号ビット	955-200	円	27×24	39	77.17				59
A19号ビット	950-200	楕円	32×21	27	77.31				
A20号ビット	950-200	円	30×28	9	77.47		柱穴か		59
A21号ビット	955-200	円	29×26	11	77.45				60
A22号ビット	950-195	円	36×36	16	77.41				60
A23号ビット	955-195	円	42×41	11	77.43				60

3 A・B・C区土坑及びピット一覧表

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
A24号ピット	955-195	円	21×21	28	77.26		柱穴か		60
A25号ピット	955-200	楕円	29×22	9	77.46				60
A26号ピット	955-200	円	34×30	14	77.42		5掘P10	34	60
A29号ピット	955-190	円	22×22	22	77.27				60
A30号ピット	955-195	楕円	48×25	14	77.35				60
A31号ピット	955-195	円	27×27	15	77.34				61
A32号ピット	970-195	円	29×29	22	77.24				61
A33号ピット	965-200	楕円	34×27	16	77.37	磔			61
A34号ピット	965-200	円	23×20	14	77.38				
A35号ピット	960-205	円	22×22	3	77.52				
A36号ピット	965-210	円	24×24	5	77.49				61
A37号ピット	965-210	円	22×23	9	77.46		柱穴か		61
A38号ピット	970-210	方	24×20	19	77.36		柱穴か		61
A39号ピット	960-200・205	方	38×31	28	77.24		5掘P15	34	61
A40号ピット	970-215	円	26×24	6	77.49				61
A41号ピット	975-215	長方	28×19	29	77.18		柱痕		62
A42号ピット	975・980-215	方	43×38	13	77.34		11掘P6	38	62
A43号ピット	980-215	円	21×20	20	77.28		柱穴か		62
A44号ピット	965-200	円	31×30	15	77.38		柱穴か		62
A45号ピット	980-220	円	22×21	13	77.41		11掘P3	38	62
A46号ピット	980-220	円	21×20	18	77.38		11掘P1	38	62
A47号ピット	975-220	円	25×20	24	77.34				
A48号ピット	970-220	円	25×22	8	77.45		柱穴か		62
A49号ピット	970-220	円	23×19	26	77.30		柱穴か		62
A50号ピット	965-220	円	27×25	25	77.32		柱穴か		63
A51号ピット	970-220	円	37×34	5	77.49				63
A52号ピット	975-215	不定	51×28	24	77.26		柱痕		63
A53号ピット	975-215	長方	55×35	11	77.40				63
A54号ピット	975-220	円	25×23	26	77.30		柱穴か		63
A55号ピット	975-225	方	24×20	16	77.40		柱穴か		63
A56号ピット	975-225	円	23×21	—	—				
A58号ピット	975-230	長方	34×23	44	77.18		柱痕		63
A59号ピット	975-225	円	26×24	—	—				
A60号ピット	975-220	方	26×20	25	77.34		欄P7	38	
A61号ピット	980-220	円	20×19	21	77.40		柱痕		63
A62号ピット	980-225	方	21×20	29	77.27		欄P5	38	64
A63号ピット	980-220	円	16×16	35	77.21		欄P12	38	64
A64号ピット	980-220	円	15×14	9	77.43		柱穴か		64
A65号ピット	980-220	円	19×18	19	77.36				64
A66号ピット	980-220	楕円	15×12	13	77.41				64
A67号ピット	980-220	楕円	22×16	11	77.44		欄P13	38	64
A68号ピット	980-220	円	18×17	13	77.43				64
A69号ピット	980-220	方	22×18	14	77.42		10掘P10	38	64
A70号ピット	980-220	円	20×19	11	77.43		10掘P7	38	65
A71号ピット	985-215	方	25×22	16	77.35				65
A72号ピット	980-215	方	25×21	18	77.32		柱穴か		65
A73号ピット	985-215	円	20×19	6	77.41				65
A74号ピット	980-215	円	22×21	23	77.26	磔	9掘P12	38	65
A75号ピット	980-215	不定	26×19	41	77.09		10掘P5	38	65
A76号ピット	980-215	円	28×24	35	77.15		柱穴か		65
A77号ピット	985-210	楕円	29×24	22	77.29		柱穴か		65
A78号ピット	975-235	円	33×31	52	77.05	くほみ石			66
A79号ピット	970-235	方	58×40	27	77.07		柱穴、根石		66
A80号ピット	980-210	円	28×23	19	77.29				66
A81号ピット	965-200	円	24×25	9	77.43	磔			66
A82号ピット	960-205	円	25×24	11	77.45	かわらけ	5掘P21	34	66
A83号ピット	955-205	方	29×26	13	77.47		2掘P16・3掘P23	31・33	
A84号ピット	955-205	方	26×24	27	77.31				66
A85号ピット	950-215	長方	33×26	13	77.44		4掘P3	33	
A86号ピット	955-215	円	26×20	26	77.27		柱穴か		
A87号ピット	980-210	円	30×27	28	77.20		9掘P5・11掘P5	38	66
A88号ピット	955-190	円	25×17	21	77.27		柱穴か		

第4章 中・近世の遺構と遺物

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
A89号ビット	955-210	円	27×26	8	77.44				
A90号ビット	955・960-210	楕円	33×25	16	77.37				66
A91号ビット	955-210	楕円	31×27	22	77.28		3掘P5	33	67
A92号ビット	960-210	楕円	28×24	17	77.37				67
A93号ビット	960-210	楕円	22×19	6	77.46				
A94号ビット	960-215	円	21×22	30	77.20		柱穴か		67
A95号ビット	965-205・210	円	25×27	23	77.29	磔			67
A96号ビット	970-205	円	22×22	21	77.31				67
A97号ビット	975-210	円	26×24	30	77.20		柱穴か		67
A98号ビット	975-210	円	24×22	28	77.22		柱痕		67
A99号ビット	975-210	隅丸方	39×30	27	77.23		柱痕		67
A100号ビット	980-210	楕円	37×28	35	77.17		柱痕		68
A101号ビット	965-200	方	30×27	14	77.37				68
A102号ビット	965-200	楕円	38×24	23	77.22				49
A103号ビット	965-200	円	28×21	25	77.27		5掘P17	34	68
A104号ビット	955-210	円	18×18	4	77.49		柱穴か		68
A105号ビット	955-210	円	30×30	25	77.30		柱穴か		68
A106号ビット	950-210	円	29×29	19	77.35		4掘P4	33	68
A107号ビット	955-215	方	34×30	9	77.43		柱穴か		68
A108号ビット	960-215	円	32×30	22	77.33		柱穴か		68
A109号ビット	955-215	方	35×29	7	77.45	鉄片			
A110号ビット	970-210	円	29×27	21	77.42				69
A112号ビット	960-220	円	24×22	14	77.42		柱穴か		69
A113号ビット	965-195・200	円	44×40	5	77.41		柱穴、根石		69
A114号ビット	965-195	円	41×40	8	77.39		柱穴、根石		69
A116号ビット	955-195	円	36×30	8	77.40				
A117号ビット	955-195	円	34×29	7	77.43				
A118号ビット	980-235	円	29×24	17	77.44		柱穴か		69
A119号ビット	985-230	楕円	39×24	29	77.39		柱穴か		69
A121号ビット	990-235	円	38×35	33	77.29	至大通寶1	柱穴か		69
A122号ビット	990-235	楕円	38×30	22	77.40				69
A123号ビット	990-235	円	36×35	51	77.12		柱穴か		70
A124号ビット	990-230	円	34×32	33	77.35		柱穴か		70
A125号ビット	990-230	円	24×24	25	77.46		柱穴か		70
A126号ビット	990-230	円	40×35	13	77.58				70
A127号ビット	985-230	円	32×31	58	77.13		柱穴か		70
A128号ビット	985-230	円	40×36	48	77.21		柱穴か		70
A130号ビット	985-220	円	25×24	25	77.40		柱穴か		70
A131号ビット	985-220	円	27×26	43	77.24		柱穴か		70
A132号ビット	985-220	円	30×28	20	77.46		柱穴か		71
A133号ビット	985-225	円	32×26	22	77.44				70
A134号ビット	985-220	円	19×15	16	77.47		柱穴か		71
A135号ビット	985-220	円	18×18	12	77.51				71
A136号ビット	985-220	円	39×34	23	77.38		柱穴か		71
A137号ビット	985-215	不定	24×20	15	77.38				71
A138号ビット	985-215	方	31×25	30	77.25		柱穴か		71
A139号ビット	990-220	円	24×24	56	77.09		柱穴か		71
A140号ビット	990-225	円	32×30	20	77.48		柱穴か		71
A141号ビット	990-220・225	円	38×35	20	77.51		柱穴か		72
A142号ビット	990-215	方	51×41	63	77.02		柱痕		72
A143号ビット	990-215	円	39×34	33	77.31		柱痕		72
A144号ビット	995-215	円	42×41	—	—		柱穴か		72
A145号ビット	995-215	隅丸方	51×49	37	77.30	磔	柱痕		72
A147号ビット	985-225	円	35×32	18	77.24		柵P11	38	72
A148号ビット	985-225	不定	50×28	19	77.44	磔			72
A149号ビット	965-195	円	27×25	10	77.37				
A150号ビット	965-195	長方	37×26	—	—		7掘P1	35	73
A151号ビット	965-195	円	19×20	—	—				73
A152号ビット	965-195	楕円	68×60	20	77.27			63	73
A153号ビット	965-195	円	26×24	14	77.34				73
A154号ビット	965-195	楕円	52×35	14	77.33		7掘P2	35	73
A156号ビット	960・965-195	円	34×26	16	77.31				73

3 A・B・C区土坑及びピット一覧表

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
A157号ピット	960・965-195	楕円	40×26	39	77.07		7掘P9	35	73
A158号ピット	960-195	長方	28×22	28	77.18		7掘P8	35	73
A159号ピット	960-195	方	23×23	7	77.39				73
A160号ピット	960-195	円	28×26	15	77.30				73
A161号ピット	960-195	円	29×26	25	77.23		5掘P7	34	73
A162号ピット	960-195	円	33×26	10	77.37				73
A163号ピット	960-195	長方	34<×22	-	-		柱穴か		73
A164号ピット	960-195	円	29×31	8	77.40		柱穴か		73
A165号ピット	960-195	方	30×27	-	-		柱穴か		73
A166号ピット	960-195	長方	42×25	-	-		7掘P7	35	73
A167号ピット	960-195	円	32×33	20	77.25		8掘P1	35	74
A170号ピット	960-195	円	33×30	-	-		柱痕		74
A171号ピット	960-195	円	31×26	-	-		8掘P4	35	74
A172号ピット	960-195	方	36×28	24	77.22		柱痕		74
A173号ピット	960-190	円	26×26	16	77.29		柱穴か		74
A174号ピット	960-190	円	33×30	16	77.32		8掘P5	35	74
A175号ピット	960-190	楕円	39×28	17	77.30				74
A176号ピット	960-190	楕円	28×16	-	-				74
A177号ピット	960-190	楕円	52×25	18	77.30				74
A179号ピット	960-190	円	35×32	41	77.06		柱穴か		74
A180号ピット	960-190	楕円	30×24	19	77.28		柱穴か		74
A181号ピット	955-190	円	35×28	19	77.31		8掘P6	35	74
A182号ピット	955-190	円	31×29	13	77.34		8掘P7	35	74
A183号ピット	955-190	円	36×33	25	77.21		8掘P8	35	75
A184号ピット	955-190	長方	20<×25	17	77.31				75
A185号ピット	955-190	円	37×34	25	77.20				75
A186号ピット	955-190	不定	29×-	22	77.19		柱痕		76
A187号ピット	955-190	円	28×28	20	77.27				75
A188号ピット	955-190	円	26×26	18	77.32		7掘P12	35	75
A189号ピット	955・960-190	円	26×26	20	77.27				75
A190号ピット	960-190	円	30×29	22	77.25		7掘P11	35	76
A191号ピット	960-190	円	36×33	20	77.26				75
A192号ピット	960-190	円	26×26	31	77.14				75
A193号ピット	960-190	円	32×29	36	77.07		7掘P6	35	75
A194号ピット	960-190	長方	29×20	20	77.23				75
A195号ピット	965-190	長方	36×25	25	77.21		7掘P10	35	75
A196号ピット	965-190	方	25×25	16	77.25				75
A197号ピット	965-195	円	22×21	11	77.34		7掘P3	35	75
A198号ピット	965-190	円	35×34	15	77.26		7掘P4	35	76
A199号ピット	965-190	楕円	42×27	17	77.20		8掘P2	35	76
A200号ピット	965-190	円	31×28	14	77.24		7掘P5	35	76
A201号ピット	960-190	方	35×30	20	77.18		8掘P3	35	76
A202a号ピット	960-190	楕円	46×26	13	77.33				76
A202b号ピット	960-190	楕円	19×20<	7	77.39				76
A203号ピット	960-190	楕円	47×46	19	77.21		柱痕		76
A204号ピット	955-190	円	37×33	8	77.37		柱痕		76
A206号ピット	990-185	楕円	35×22	8	77.59				76
A207号ピット	990-185・190	円	31×32	15	77.56				76
A208号ピット	995-190	円	45×41	15	77.61				
A209号ピット	995-190	楕円	84×67	10	77.66			63	
A210号ピット	995-195	楕円	39×30	18	77.60		柱穴か0		

第4章 中・近世の遺構と遺物

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
B 1号土坑	970-140	方	105×50	5	77.42			115	105
B 2号土坑	965-140	円	115×100	21	77.23	陶磁器		113	105
B 3号土坑	970-145	不定	56<×50	34	77.04				105
B 4号土坑	980-145	楕円	80×50	63	77.06		柱穴2基の掘方		106
B 5号土坑	965-140	円	115×110	37	76.86	陶磁器	底面に桶底痕	113	106
B 6号土坑	985-140	円	112×110	33	77.13		底面に桶底痕	113	106
B 7号土坑	970・975-130・135	方	285×80	63	76.82	陶磁器・スレート	畠のムロか	115	106
B 8号土坑	980・985-140	方	260×70<	45	76.98	砥石		115	107
B 9号土坑	985-140	不定	130<×100	18	77.21				107
B12号土坑	975-085	方	135×90	24	77.29			115	107
B13号土坑	990・995-075	楕円	440×245	114	76.98	碗・灯明皿	24号溝を切る	117	107
B14号土坑	990・995-075	楕円	520×360	30	77.30	南側に礫充填	便所・浄水施設か	117	107
B15号土坑	980・985-070・075	方	250×220	96	76.51	陶磁器・焙烙・鉢	底西脇にピット1	116	108
B16号土坑	980・985-140	方	245×92	35	77.03	鏝	畠のムロか	115	107
B17号土坑	990-075	楕円	195<×110	8	77.44	碗・桶・七輪片		117	107
B18号土坑	985-120	円	78<×82	12	77.89			113	108
B20号土坑	980-125	円	88×75	41	77.32	土師器片	柱穴か	113	108
B21号土坑	985-115	不定	70×60	22	77.81				108
B22号土坑	985-115	楕円	90×46	40	77.70		4掘P4	71	113
B23号土坑	990-115	円	65×65	10	77.93	焼土・炭・磁器片	24土坑が切る	113	108
B24号土坑	990-115	円	78×70	31	77.70			113	108
B25号土坑	985-110・115	円	74×70	32	77.69	甕片		113	109
B26号土坑	990-110	円	42×33	38	77.58	焼土・炭	6掘P3	73	109
B27号土坑	985-110	隅丸方	96×85	40	77.41	土師片	柱痕	117	109
B28号土坑	980・985-110	楕円	165×86	9	77.59	土師片		117	109
B29号土坑	980-105	円	240×160	38	77.36	磁器碗・瓦		113	109
B30号土坑	975-105・110	円	112×105	13	77.57	土師器小片		113	110
B31号土坑	970・975-105	楕円	82×60	17	77.53	礫5	根石、柱穴か		110
B32号土坑	975-100	方	105×100	13	77.50	石・焙烙片		115	110
B33号土坑	970-085・090	不定	—	14	77.44				110
B34号土坑	965-100	楕円	165<×120	21	77.22			117	110
B35号土坑	975-105	方	97×46<	26	77.41	皿・灯明皿	18号井戸重複	115	111
B36号土坑	975-100	楕円	55×46	30	77.32				111
B37号土坑	975-090・095	楕円	145×70	26	77.37	灯明・德利	15掘P10		111
B38号土坑	975-090・095	円	97×90	18	77.43			113	111
B39号土坑	975-085	円	88×70	14	77.43	かわらけ・焙烙		113	111
B40a号土坑	985-080	方	60×56	26	77.33	北宋銭1・石造品	底面板敷、柱穴		111
B40b号土坑	985-080	不定	38<×55	15	77.43				111
B41号土坑	985-080	円	92×85	41	77.11	人骨片・礫・桶	墓塚	112	105
B42号土坑	990-080	円	104×90	50	77.05		桶底痕跡	113	111
B43号土坑	975・980-085	方	98×64	35	77.22			116	112
B44号土坑	985-100	不定	88×65	13	77.50			118	112
B45号土坑	975-105	楕円	70×55	12	77.44	天目碗・砥石	径20cm柱根遺存		112
B46号土坑	985-110・115	不定	125×30	35	77.60	土師小片・スラグ		118	112
B47号土坑	985-110	不定	120×86	16	77.71	土師小片		118	
B48a号土坑	970・975-090	方	76×72<	23	77.38	碗・礫		116	112
B48b号土坑	970・975-090	方	80×70	25	77.39			116	112
B49号土坑	985-115	円	50×50	49	77.52		5掘P3	72	113
B50号土坑	970・975-090	方	62×62	19	77.40			116	113
B51号土坑	975-085・090	方	60×55	12	77.64			116	113
B52号土坑	990-110	不定	95×74	12	77.80		55号土坑が切る	118	113
B53号土坑	985-110	円	85×76	28	77.55				113
B54号土坑	985-110	楕円	65×50	22	77.56		底板か		113
B55号土坑	990-110	不定	105×105	24	77.72			118	113
B56号土坑	990-110	方	70×68	8	77.91				114
B57号土坑	970・975-105	円	80×68	23	77.44		根石、柱穴か		114
B58号土坑	990-080・085	円	120×112	55	77.06			114	114
B59号土坑	975-075	楕円	104×60	35	77.15				114
B60号土坑	990-080・085	円	130<×118	35	77.23			114	114
B61号土坑	990-080	円	76<×78	22	77.41			114	114
B62号土坑	005-125	円	156×150	66	77.07	骨片	掘り直しの痕跡	114	114
B63号土坑	005-120	楕円	96×65	13	77.64	土師小片		117	115

3 A・B・C区土坑及びピット一覧表

区・名称	位 置	平面形	規 模	深 さ	底標高	出 土 遺 物	備 考	挿図No	図版
B64号土坑	005-095	不定	108×85	10	77.50				115
B65号土坑	005-095	隅丸方	110×84	23	77.45			117	115
B66号土坑	005-095	長方	66×52	8	77.57				115
B67号土坑	005-090	隅丸方	92×90	20	77.57			117	115
B68号土坑	000・005-095	隅丸方	110×85	44	77.14	かわらけ		118	115
B69号土坑	005-090	楕円	72×58	12	77.46				115
B70号土坑	010・015-085	不定	92×80	18	77.39			118	116
B72号土坑	005-090	楕円	46×30	26	77.40				116
B73号土坑	005-090・095	方	70×48	13	77.55				116
B74号土坑	010-095	不定	70×52	47	77.21	播鉢	柱穴か		116
B75号土坑	010-095	長方	82×33	20	77.64				116
B76号土坑	005-085	円	123×120	54	77.01	硯・播鉢・焙烙	便漕か墓壇	114	116
B78号土坑	015-085	円	112×108	40	77.27	磔・桶・杭	便漕か墓壇	114	116
B79号土坑	005-095	不整方	40<×40	19	77.47			117	117
B80号土坑	015-090・095	楕円	80×58	36	77.38	磔			117
B81号土坑	970・975-085	円	72×70	15	77.41	播鉢			
B82号土坑	005-115	円	145×140	52	77.19		便漕か墓壇	114	117
B83号土坑	975・980-080	円	154×142	45	77.01		便漕か墓壇	114	117
B84号土坑	980-080	円	58×56	33	77.18		柱根、柱穴		117
B85号土坑	980-080	方	70×60	16	77.33			116	117
B86号土坑	995-080	方	200×120	60	76.97	鉄鍋・鋸・釘	4基連続重複	116	
B88号土坑	990-110	円	55×48	35	77.23		柱穴か		
B104号土坑	995-120	円	85×82	22	77.44		35井戸と同一		
B112号土坑	985-115	楕円	50×38	12	77.47				117
B113号土坑	990-120	楕円	40×22	10	77.54				117
B118号土坑	985-120	不定	48×40	17	77.48		7掘P8	74	
B124号土坑	995-120	不定	36×28	8	77.56				
B127号土坑	990-120	長方	30×24	5	77.61				
B128号土坑	990・995-120	円	23×22	16	77.38				
B130号土坑	990-120	楕円	54×30	26	77.35				
B131号土坑	990-120	円	38×30	15	77.45				
B132号土坑	990-120	円	28×26	22	77.40				
B133号土坑	990-120	不定	30×22	12	77.47				
B135号土坑	995-120	不定	50<×45	14	77.47				
B137号土坑	995-120	円	30×26	15	77.48				118
B138号土坑	995-120	楕円	45×30	15	77.48				118
B139号土坑	990-120	不定	22×16	10	77.47				
B141号土坑	990-120・125	円	54×50	25	77.48		柱穴か		118
B147号土坑	990-125	円	34×30	18	77.43				118
B148号土坑	985-125	円	40×40	31	77.40		12掘P1	79	
B149号土坑	985-125	楕円	45×28	8	77.68				118
B151号土坑	985-125	円	32×28	36	77.42		柱穴か		
B152号土坑	990-125	円	20×16	16	77.52				
B153号土坑	990-125	円	20×20	29	77.40				
B154号土坑	985-125・130	円	26×24	31	77.35		柱穴か		
B156号土坑	980-120	円	14×14	12	77.42				
B157号土坑	980-120	円	16×16	5	77.52				
B158号土坑	980-120	円	18×12	2	77.57		9掘P6	76	
B159号土坑	980-120	円	17×13	13	77.43				
B160号土坑	980-120	円	18×14	-	-				
B161号土坑	980-120	楕円	36×22	8	77.47		7掘P7・12掘P5	74・79	
B162号土坑	980-125	円	20×15	10	77.47				
B163号土坑	980-125	円	16×14	8	77.50		12掘P6	79	
B164号土坑	980-120	円	18×16	-	-				
B165号土坑	980-120	円	20×18	-	-				
B166号土坑	985-125	楕円	32×20	15	77.51		11掘P6	78	
B167号土坑	985-125	円	32×32	43	77.26	焙烙片	11掘P7	78	
B168号土坑	980-125	円	28×22	7	77.49				
B169号土坑	985-125	楕円	23×18	3	77.65		11掘P1	78	
B170号土坑	990-125	円	24×22	12	77.58				
B171号土坑	990-125	方	23×21	10	77.50				
B172号土坑	990-125	楕円	22×16	11	77.47				

第4章 中・近世の遺構と遺物

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
B173号土坑	990-125	円	25×24	7	77.54				
B181号土坑	980-125	円	20×20	7	77.50		12掘P7	79	
B182号土坑	980-125	円	23×20	10	77.52		11掘P5	78	
B183号土坑	985-125	楕円	30×25	6	77.66	時期不明土師器片	12掘P9	79	
B184号土坑	990-115	円	28×26	25	77.38		柱痕		118
B185号土坑	990-120	円	25×20	15	77.48				
B186号土坑	985-120	楕円	22×18	5	77.59				
B187号土坑	985-120	円	32×30	14	77.51				118
B188号土坑	990-120	円	26×24	8	77.58				
B189号土坑	990-120	不定	24×24	11	77.50				
B190号土坑	990-120	方	20×15	-	-				
B191号土坑	990-120	方	72×18	-	-				
B193号土坑	985-120	円	27×26	5	77.63		7掘P2・12掘P4	74・79	
B194号土坑	985-120・125	円	26×25	8	77.59		7掘P1・12掘P3	74・79	
B196号土坑	985・990-120	楕円	34×24	13	77.53				
B197号土坑	985・990-120	楕円	56×40	18	77.50		8掘P2・12掘P2	75・79	
B198号土坑	985-125	不定	42<×42	10	77.61				
B199号土坑	985・990-125	円	32×30	15	77.52				
B201号土坑	990-120	円	30×25<	45	77.22		9掘P1	76	
B202号土坑	985-125	不定	72×60	12	77.59		住居掘方か		
B203号土坑	970-090	円	115×110	163	75.91		桶痕跡、井戸か	111	104
B209号土坑	970-115	方	80×70	62	77.02		柱痕		119
B210号土坑	985-165	不定	130×-	18	77.64			118	
B211号土坑	995-155	不定	119×114	40	77.28	石・土器片		118	119
B212号土坑	985・990-155	長方	330<×180<	19	77.44	陶磁器・焙烙・釘	溝の一部か	118	119
B213号土坑	970-165	方	100×44	14	77.52		9号溝を切る	116	119
B214号土坑	970-160・165	方	166×97	20	77.68	皿・砥石	9号溝を切る	116	119
B215号土坑	975-165	L字	156×120	30	77.37		柱穴か	116	119
B216号土坑	980-165	方	238<×85	34	77.30			116	119
B217号土坑	970-145	円	106×102	46	77.04		桶底痕跡		119
B1号ビット	995-160	円	28×20	7	77.76				120
B2号ビット	995-160	円	33×30	11	77.73		柱穴か		120
B3号ビット	995-160	円	42×35	27	77.52		柱穴か		120
B4号ビット	995-165	円	28×24	18	77.68		攪乱か		
B5号ビット	975-165	円	24×24	5	77.59				
B6号ビット	975-165	楕円	28×22	8	77.58				120
B7号ビット	975-165	円	30×28	9	77.58				120
B8号ビット	970-165	楕円	30×20	11	77.56				
B9号ビット	970-165	楕円	30×18	10	77.55				
B10号ビット	975-165	方	26×26	5	77.57				
B11号ビット	975-165	円	32×30	21	77.46				
B12号ビット	975-160	円	30×30	20	77.51		柱穴か		120
B13号ビット	970-160	円	25×24	10	77.61				120
B14号ビット	970-160	円	25×20	19	77.53				120
B15号ビット	965・970-160	楕円	58×52	29	77.43		柱穴か		120
B16号ビット	970-160	楕円	40×30	23	77.49		柱穴か		121
B17号ビット	970-160	円	40×38	35	77.37		柱穴か		121
B18号ビット	965・970-160	楕円	58×53	42	77.30		柱穴か		120
B19号ビット	975・980-160	方	45×44	10	77.57				121
B20号ビット	995-160	円	55×48	23	77.55		柱穴か		121
B21号ビット	995-155	円	40×30	13	77.41		柱穴か		121
B22号ビット	990・995-155	円	55×50	24	77.57		柱穴か		121
B23号ビット	975-155	円	35×35	12	77.59				121
B24号ビット	975-155	楕円	40×30	23	77.49		柱穴か		121
B25号ビット	975-155	円	28×28	9	77.63		柱穴か		121
B26号ビット	970・975-155	楕円	45×32	24	77.48				121
B27号ビット	970-155	楕円	50×40	83	76.82		柱穴としては深い		121
B28号ビット	970-155	円	28×24	8	77.55				122
B29号ビット	970-155	楕円	32×18	9	77.63				122
B30号ビット	970-155	長方	55×30	19	77.53		柱穴か		122
B31号ビット	970-155	円	45×36	39	77.33		柱穴か		122
B32号ビット	970-155	楕円	52×35	40	77.32		柱穴か		122

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
B33号ピット	970-155	円	35×32	10	77.62				122
B34号ピット	970-155	円	64×50	4	77.67				122
B35号ピット	970-155	楕円	64×35	11	77.61				122
B36号ピット	970-155	隅丸方	55×43	51	77.22		柱痕		122
B37号ピット	970-155	楕円	30×18	6	77.67				122
B38号ピット	970-155	楕円	45×28	3	77.71				122
B39号ピット	970-155	円	40×36	21	77.52		柱痕		123
B40号ピット	970-155	円	36×34	18	77.56		柱穴か		123
B41号ピット	965-155	楕円	34×28	12	77.61		柱穴か		123
B42号ピット	965-155	楕円	40×35	28	77.15		柱穴か		123
B43号ピット	965-155	楕円	50×30	6	77.71				123
B44号ピット	965-155	円	35×30	22	77.55		柱痕		123
B45a号ピット	965-155	円	65×60	5	77.73				123
B45b号ピット	965-155	円	45×45	54	77.23		柱穴か		123
B46号ピット	965-155	方	64×45	47	77.31		柱痕		123
B47号ピット	970-160	楕円	38×25	29	77.37		柱穴か		123
B48号ピット	970-165	楕円	45×35	33	77.34		柱穴か		123
B49号ピット	965-160	円	34×32	18	77.53		柱穴か		124
B50号ピット	960-160	円	20×20	15	77.36		柱穴か		124
B51号ピット	960-160	長方	42×34	26	77.45				124
B52号ピット	960-160	円	35×35	15	77.54		柱穴か		124
B53号ピット	960-160	楕円	24×18	12	77.59		柱穴か		124
B54号ピット	970-165	円	32×28	15	77.51				124
B55号ピット	980-125	楕円	36×30	34	77.45				
B56号ピット	985-125	楕円	62×33	81	77.08		12掘P8	79	
B57号ピット	985-125	楕円	44×31	26	77.60				
B58号ピット	985-125	楕円	42×35	30	77.63				
B59号ピット	985-125	円	38×37	39	77.53		8掘P8	75	
B60号ピット	980-125	楕円	70×24	20	77.64		11掘P3	78	
B61号ピット	980-120・125	円	38×32	33	77.58				
B62号ピット	985-120	方	46×39	28	77.65				
B63号ピット	980-120	楕円	56×32	40	77.42				
B64号ピット	985-120	円	40×32	39	77.54				
B65号ピット	985-120	円	40×40	34	77.58				
B66号ピット	985-120	円	40×38	38	77.56		8掘P7	75	
B67号ピット	985-120	円	31×31	29	77.65				
B68号ピット	985-120	楕円	40×32	33	77.65		9掘P7	76	
B69号ピット	980-120	楕円	38×20	25	77.56				
B70号ピット	980-120	方	48×40	42	77.42				
B71号ピット	980-120	方	38×30	41	77.45		4掘P9	71	
B72号ピット	985-120	円	28×27	20	77.75				
B73号ピット	985-120	円	28×26	14	77.78		9掘P5	76	
B74号ピット	985-120	円	21×18	18	77.78		4掘P10	71	
B75号ピット	985-120	楕円	30×22	11	77.84				
B76号ピット	985-120	円	36×34	22	77.76	杯・9c代須恵堯	4掘P1	71	
B77号ピット	985-120	楕円	23×20	—	—				124
B78号ピット	985-120	円	51×45	38	77.63		柱穴か		
B79号ピット	985-120	円	26×25	14	77.88				
B80号ピット	985-120	円	20×19	30	77.72				
B81号ピット	985-120	円	21×23	24	77.80				
B82号ピット	985-120	円	20×20	10	77.93				
B83号ピット	985-120	円	35×32	17	77.88				
B84号ピット	985・990-120	円	31×31	15	77.87				
B85号ピット	985-120	円	28×28	19	77.84		7掘P3	74	
B86号ピット	985-120	円	22×21	14	77.88		8掘P3	75	
B87号ピット	985-120	楕円	22×17	8	77.96				
B88号ピット	985-120	楕円	46×38	26	77.72		8掘P5	75	
B89号ピット	985-115	楕円	34×24	17	77.79		9掘P4	76	
B90号ピット	985-115	円	40×38	45	77.49				
B91号ピット	980-115	長方	54×42	35	77.59		4掘P8・5掘P11	71・72	
B92号ピット	985-115	楕円	82×80	34	77.78	碗	5掘P1・9掘P3	72・76	
B94号ピット	980-115	楕円	37×30	21	77.77		4掘P2	71	

第4章 中・近世の遺構と遺物

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
B96号ピット	985-115	円	26×25	18	77.86				
B97号ピット	990-115	楕円	62×47	13	77.90				
B98号ピット	985-115	円	34×33	14	77.90				
B99号ピット	985-115	円	32×30	21	77.82		6掘P1	73	
B100号ピット	985-115	隅丸方	38×35	43	77.60		5掘P2	72	
B101号ピット	985-115	円	29×23	26	77.76		7掘P5	74	
B102号ピット	985-115	円	22×20	14	77.88		4掘P3	71	
B103号ピット	985-115	楕円	38×24	26	77.76				
B104号ピット	985-115	円	42×34	61	77.41				
B105号ピット	985-115	不定	86×36	41	77.58				
B106号ピット	985-115	楕円	44×35	42	77.58	古墳前期小壺片	4掘P5	71	
B107号ピット	985-115	楕円	33×29	15	77.75				
B108号ピット	985-115	楕円	48×40	4	77.73				
B109号ピット	985-110	楕円	46×40	53	77.31		6掘P10・10掘P10	73・77	
B110号ピット	985-110	円	30×28	23	77.64		10掘P11	77	
B111号ピット	985-110	円	35×33	21	77.71		10掘P12	77	
B112号ピット	990-115	楕円	55×34	26	77.75	磔	6掘P2	73	
B113号ピット	990-115	円	32×28	16	77.82		10掘P1	77	
B115号ピット	985-110	円	41×37	25	77.53		柱痕		
B116号ピット	985-110	楕円	75×54	32	77.48	磔	5掘P8	72	
B117号ピット	985-110	楕円	58×44	29	77.48	磔	根石、柱穴		
B120号ピット	980-110	方	22×19	12	77.63				
B121号ピット	980-110	方	22×20	17	77.54		柱痕		
B122号ピット	980-110	円	73×65	18	77.50				
B124号ピット	975-115	楕円	30×20	10	77.61				
B125号ピット	975-115	楕円	29×22	9	77.62				
B126号ピット	975-115	不定	45×30	8	77.63				
B127号ピット	975-115	円	18×18	5	77.61				
B128号ピット	975-115	楕円	39×30	8	77.58				
B129号ピット	975-115	円	20×16	11	77.54				
B130号ピット	975-115	方	19×19	7	77.61				
B131号ピット	975-115	方	22×22	7	77.59				
B132号ピット	975-115	円	26×22	7	77.61				
B133号ピット	975-115	円	33×31	11	77.61				
B134号ピット	975-115	円	36×34	15	77.52		柱痕		
B135号ピット	975-115	円	26×22	8	77.60				
B136号ピット	975-110	円	21×20	4	77.62				
B137号ピット	975-110	円	22×22	14	77.52				
B138号ピット	970-110	楕円	29×20	10	77.58				
B139号ピット	970-110	方	26×24	18	77.49				
B140号ピット	965-110	方	26×23	—	—				
B141号ピット	965-105	楕円	34×27	15	77.51				
B142号ピット	965-105	楕円	45×35	33	77.33				
B143号ピット	965-105	方	33×30	22	77.42				
B144号ピット	965-105	不定	52×22<	12	77.53				
B145号ピット	970-105	方	23×20	14	77.51				
B146号ピット	970-105	方	40×38	18	77.49				
B147号ピット	970-105	方	25×22	14	77.52				
B148号ピット	975-105	方	22×16	4	77.63				
B149号ピット	975-105	円	34×27<	24	77.41				
B150号ピット	975-105	円	43×42	34	77.30	完形播鉢	柱穴か		124
B151号ピット	975-105	不定	54×26	22	77.43				
B152号ピット	975-105	円	18×16	19	77.47				
B153号ピット	975-105	円	28×33	10	77.52				
B154号ピット	975-110	円	22×21	20	77.46				
B155号ピット	975-105	楕円	36×26	14	77.53				
B158号ピット	980-105	方	24×23	11	77.52				
B159号ピット	980-105	方	28×22	12	77.54				
B160号ピット	975・980-105	方	22×20	5	77.61				
B161号ピット	975-105	楕円	34×22	6	77.60				
B162号ピット	975-105	楕円	44×30	9	77.55				
B163号ピット	975-105	楕円	51×36	30	77.47		柱穴か		

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
B164号ピット	975-105	楕円	49×38<	21	77.44				
B165号ピット	970-100	楕円	45×28	13	77.50				
B166号ピット	970-100・105	楕円	78×40	18	77.49				
B167号ピット	970-100	円	28×26	14	77.46				
B168号ピット	970-100	円	32×28	10	77.52				
B169号ピット	970-100	方	50×48	14	77.47				
B170号ピット	970-100	楕円	40×32	19	77.43				
B171号ピット	970-100	楕円	66×34	8	77.53				
B172号ピット	970-100	円	38×35	11	77.51				
B173号ピット	970-095	方	28×25	21	77.41				
B174号ピット	975-095	楕円	41×29	10	77.53				
B175号ピット	970-095	円	24×24	7	77.55				
B176号ピット	970-095	方	26×25	11	77.51				
B177号ピット	970-095	円	28×28	8	77.53				
B178号ピット	965・970-095	方	26×28	26	77.35				
B179号ピット	965-095	不定	23×20<	12	77.51				
B182号ピット	975-090	不定	50×40	20	77.37		柱穴か		
B183号ピット	980-100	方	23×20	10	77.54				
B184号ピット	980-100	方	17×16	14	77.49		柱痕		
B185号ピット	980-100	方	18×18	12	77.51				
B186号ピット	980-100	円	20×19	9	77.53				
B187号ピット	980-100	円	30×27	15	77.47		16掘P6	83	
B188号ピット	980-100	円	30×30	29	77.34		13掘P24	83	
B189号ピット	980-100	方	33×33	10	77.51				
B190号ピット	980-100	円	25×21	12	77.50		13掘P16	83	
B191号ピット	980・985-100	方	45×26	31	77.31		16掘P5	83	
B192号ピット	985-100	方	22×16	17	77.45		柱痕		
B193号ピット	985-105	円	28×27	9	77.53		16掘P9	83	
B194号ピット	985-100	方	18×15	15	77.47				
B195号ピット	985-100・105	方	23×21	19	77.44		柱痕		
B196号ピット	985-100	方	26×23	15	77.46				
B197号ピット	985-100	方	25×25	18	77.47				
B198号ピット	985-100	方	28×25	15	77.48		13掘P9	83	
B199号ピット	985-100	方	27×25	26	77.38		16掘P3	83	
B200号ピット	985-100	方	33×26	30	77.32				
B201号ピット	985-100	方	30×27	16	77.48				
B202号ピット	985-100	方	20×12	26	77.37				
B203号ピット	985-100	方	43×36	13	77.50				
B204号ピット	985-100	方	26×16	18	77.46				
B205号ピット	985-105	方	18×18	12	77.53				
B206号ピット	985-105	方	27×20	16	77.47		16掘P1	83	
B207号ピット	985-105	方	23×22	14	77.48				
B208号ピット	990-105	方	36×31	22	77.43		柱穴2基		
B209号ピット	990-105	方	23×17	10	77.48				
B210号ピット	990-105	方	44×25	10	77.55		柱痕		
B211号ピット	990-100	円	20×20	11	77.54				
B212号ピット	990-100	方	20×20	17	77.49				
B213号ピット	990-100	長方	27×20	15	77.49				
B214号ピット	990-100	方	21×16	48	77.19				
B215号ピット	990-100	方	35×33	37	77.34				
B216号ピット	990-100	方	22×21	11	77.52				
B217号ピット	985・990-100	方	45×32	28	77.40				
B218号ピット	985・990-100	方	23×18	10	77.57				
B219号ピット	990-100	方	27×24	30	77.36		13掘P1	83	
B220号ピット	990-100	方	35×28	28	77.37		13掘P2	83	
B221号ピット	985・990-100	方	25×23	9	77.56				
B222号ピット	990-100	楕円	41×33	15	77.52		13掘P3	83	
B223号ピット	985-100	方	23×22	32	77.58				
B224号ピット	985-120	円	64×62	68	77.33	古墳前期甕片ほか	8掘P6	75	
B225号ピット	995-095	楕円	35×25	5	77.75				
B226号ピット	990-095	長方	24×13	7	77.65				
B227号ピット	990-095	円	28×28	16	77.54				

第4章 中・近世の遺構と遺物

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
B228号ピット	990-095	方	23×22	13	77.59				
B229号ピット	990-095	方	37×33	48	77.24				
B230号ピット	990-095	方	16×15	28	77.57		柱痕		
B231号ピット	990-095	楕円	36×30	22	77.45		13掘P4	83	
B232号ピット	990-095	方	23×18	27	77.42				
B233号ピット	990-095	方	25×24	32	77.38		13掘P5	83	
B234号ピット	990-095	円	22×19	16	77.55				
B235号ピット	990-095	方	22×18	7	77.64				
B236号ピット	985-095	方	41×37	24	77.40		柱痕		
B237号ピット	985・990-095	方	19×18	15	77.51		柱痕		
B238号ピット	990-095	方	17×16	8	77.60		13掘P39	83	
B239号ピット	990-095	方	16×16	8	77.64				
B240号ピット	990-095	方	22×18	8	77.62		13掘P40	83	
B241号ピット	990-095	方	24×14	16	77.52		柱痕		
B242号ピット	990-090	方	30×16	23	77.40	皿(菊文)	柱痕		
B243号ピット	985・990-090	方	28×25	17	77.50		柱痕		
B244号ピット	985-090	方	21×20	18	77.46				
B245号ピット	990-090	方	40×17	12	77.54		柱痕		
B246号ピット	990-090	円	58×55	30	77.33				
B247号ピット	990-090	方	35×27	12	77.52				
B248号ピット	990-085	方	23×21	9	77.50				
B249号ピット	985-095	方	31×30	12	77.37				
B250号ピット	985-095	方	22×19	15	77.50				
B251号ピット	985-095・100	方	36×27	26	77.38				
B252号ピット	985-095	方	27×27	15	77.51				
B253号ピット	985-095	円	23×20	9	77.56				
B254号ピット	985-095	方	21×18	8	77.57				
B255号ピット	985-095	方	65×33	28	77.37		柱穴2基		
B256号ピット	985-095	方	40×17	7	77.57				
B257号ピット	985-095	方	41×19	12	77.53				
B258号ピット	985-095	方	38×30	16	77.49		14掘P16	85	
B259号ピット	985-095	楕円	35×30	18	77.46		柱痕		
B260号ピット	985-095	方	22×21	24	77.41		柱痕		
B261号ピット	985-095	方	21×12	8	77.57				
B262号ピット	985-095	方	32×31	28	77.37		柱痕		
B263号ピット	985-095	方	23×15	7	77.58				
B264号ピット	985-095	方	14×14	11	77.54				
B265号ピット	985-095	不定	38×35	43	77.20		13掘P11	83	
B266号ピット	985-095	方	22×18	15	—				
B267号ピット	985-095	方	26×24	22	77.43		14掘P17	85	
B268号ピット	985-095	方	28×27	16	77.48	灯明皿	柱穴3基		
B269号ピット	985-095	方	26×15	31	77.33				
B271号ピット	985-095	方	14×12	12	77.56				
B272号ピット	985-095	楕円	23×23	10	77.55		13掘P12	83	
B273号ピット	985-095	楕円	37×25	8	77.55		13掘P13	83	
B274号ピット	985-095	方	26×24	9	77.55				
B275号ピット	985-095	円	22×21	13	77.52				
B276号ピット	985-090・095	楕円	38×27	20	77.44				
B277号ピット	985-095	方	20×20	18	77.46		14掘P18	85	
B278号ピット	985-090	方	20×20	9	77.55				
B279号ピット	985-095	方	32×20	19	77.48				
B280号ピット	985-095	方	28×28	30	77.35		柱痕		
B281号ピット	980・985-090	長方	27×22	30	77.34		13掘P21	83	
B282号ピット	985-090	方	29×29	9	77.57				
B283号ピット	985-090	円	15×15	16	77.46				
B284号ピット	985-090	不定	43×24	27	77.36				
B285号ピット	985-090	方	40×28	38	77.21				
B286号ピット	980・985-090	方	70×53	7	77.58				
B287号ピット	985-090	方	23×22	13	77.51				
B288号ピット	985-090	方	22×19	15	77.47				
B289号ピット	985-090	方	25×22	14	77.51				
B290号ピット	985-090	方	31×29	17	77.44		柱痕		

3 A・B・C区土坑及びピット一覧表

区・名称	位 置	平面形	規 模	深 さ	底標高	出 土 遺 物	備 考	挿図No	図版
B291号ピット	985-090	方	20×15	20	77.42				
B292号ピット	985-090	方	53×47	28	77.33		柱痕		
B293号ピット	985-090	円	38×34	21	77.42		根石・柱穴		
B294号ピット	985-085・090	円	28×25	12	77.51		13掘P15	83	
B295号ピット	985-085	方	19×18	9	77.53				
B296号ピット	985-085	長方	28×25	24	77.38		13掘P23	83	
B297号ピット	985-085	方	25×22	23	77.40		13掘P31	83	
B298号ピット	985-085	方	21×20	10	77.53		柱痕		
B299号ピット	985-085	方	27×17	28	77.33				
B300号ピット	980・985-085	方	20×17	11	77.53				
B301号ピット	985-085	方	17×15	14	77.50		柱穴か		
B302号ピット	980・985-085	方	26×23	21	77.41				
B303号ピット	980-090	方	24×23	24	77.35		14掘P4	84・85	
B304号ピット	980-100	楕円	35×20	19	77.47		13掘P17	83	
B305号ピット	980-095	方	26×24	10	77.53		13掘P18	83	
B306号ピット	980-095	円	30×26	31	77.33		13掘P25	83	
B307号ピット	980-095	方	27×22	9	77.55				
B308号ピット	980-095	円	23×21	11	77.52				
B309a号ピット	980-095	隅丸方	35×26	18	77.46		13掘P26	83	
B309b号ピット	980-095	方	31×25	27	77.36		13掘P27・14掘P15	83・85	
B310号ピット	980-095	方	18×17	14	77.50		柱痕		
B311号ピット	980-095	方	30×28	19	77.46		15掘P3		
B312号ピット	980-095	円	32×29	24	77.40		13掘P34	83	
B313号ピット	980-095	方	31×25	25	77.38		柱穴2基		
B314号ピット	980-095	方	85×36	27	77.36		13掘P33・14掘P14・ 15掘P2	83・85 86	
B315号ピット	980-095	方	46×27	39	77.24		柱痕		
B316号ピット	980-095・100	方	23×18	17	77.47		13掘P32	83	
B317号ピット	980-100	方	23×23	17	77.46		15掘P1	86	
B318号ピット	980-095	円	24×21	11	77.53				
B319号ピット	980-095	方	22×21	10	77.54		15掘P17	86	
B320号ピット	980-095・100	方	30×25	33	77.36		15掘P16	86	
B321号ピット	980-100	方	24×23	18	77.45				
B322号ピット	980-100	方	23×14	10	77.51		柱痕		
B323号ピット	980-095	方	50×27	14	77.49		柱穴か		
B324号ピット	980-095	方	19×18	22	77.43		15掘P18	86	
B325号ピット	980-095	楕円	40×24	11	77.52				
B326号ピット	980-095	方	36×32	20	77.42		15掘P19	86	
B327号ピット	975-095	方	20×20	21	77.42		14掘P13		
B328号ピット	975-095	方	31×29	19	77.43		15掘P14	86	
B329号ピット	975-095	不定	27×22	20	77.50		15掘P12	86	
B331号ピット	975-095	方	18×18	15	77.48				
B332号ピット	975-095	方	24×18	14	77.49		15掘P11	86	
B333号ピット	980-095	方	28×21	6	77.55				
B334号ピット	980-095	楕円	17×12	7	77.56		14掘P11	84・85	
B335号ピット	980-095	方	23×20	22	77.49				
B336号ピット	980-090	方	22×16	10	77.55				
B337号ピット	980-095	円	26×24	25	77.40		柱穴か		
B338号ピット	980-095	方	18×17	18	77.52				
B339号ピット	980-095	方	30×23	11	77.52		14掘P12	84	
B340号ピット	980-095	方	26×24	27	77.36				
B341号ピット	980-090・095	長方	53×26	28	77.36		柱穴か		
B342号ピット	980-095	方	32×25	28	77.35				
B343号ピット	980-095	方	27×21	8	77.55				
B344号ピット	980-095	方	29×27	30	77.34		15掘P5	86	
B345号ピット	980-095	方	23×23	24	77.42				
B346号ピット	980-095	方	62×30	27	77.36		13掘P35・15掘P4	83・86	
B347号ピット	980-095	方	26×23	17	77.47				
B348号ピット	980-095	円	25×24	10	77.55		14掘P1	84・85	
B349号ピット	980-095	円	29×27	20	77.44		13掘P28	83	
B350号ピット	980-095	楕円	39×35	25	77.40		13掘P29	83	
B351号ピット	980-095	方	26×16	11	77.55				

第4章 中・近世の遺構と遺物

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
B352号ピット	980-095	円	22×21	13	77.52				
B353号ピット	980-095	円	25×24	12	77.51		13掘P20	83	
B354号ピット	980-095	方	28×27	10	77.55				
B355号ピット	980-090	方	18×18	8	77.51		13掘P30	83	
B356号ピット	980-090	長方	31×21	22	77.43		14掘P 2	84・85	
B357号ピット	980-090	方	31×26	16	77.48				
B358号ピット	980-090	方	37×35	7	77.57				
B359号ピット	980-090	方	36×34	18	77.44		13掘P36・15掘P 6	83・84	
B360号ピット	980-090	不定	41×36	24	77.38		14掘P 3	84・85	
B361号ピット	980-090	方	17×15	10	77.54				
B362号ピット	980-090	方	21×18	14	77.49				
B363号ピット	980-090	方	17×14	11	77.50				
B364号ピット	980-090	方	25×19	27	77.36				
B365号ピット	980-090	方	18×18	24	77.40				
B366号ピット	980-090	方	58×36	28	77.34		柱穴か		
B367号ピット	980-090	不定	34×30	16	77.46		柱痕		
B368号ピット	980-090	方	50×35	31	77.30	石製滑車？	4基重複		124
B369号ピット	980-090	方	27×17	25	77.57		柱痕		
B370号ピット	980-090	方	32×27	9	77.55				
B371号ピット	980-090	方	15×14	8	77.55				
B372号ピット	980-090	円	15×13	8	77.58				
B373号ピット	980-090	方	22×20	26	77.37		14掘P 9	84・85	
B374号ピット	980-090	方	13×13	7	77.56				
B375号ピット	975-090	方	36×26	26	77.35		15掘P 9	86	
B376号ピット	975-090	方	35×25	11	77.51				
B377号ピット	985-090	円	32×28	27	77.36		13掘P22	83	
B378号ピット	980・985-090	方	27×22	17	77.46		13掘P37・15掘P 7	83・86	
B379号ピット	980-090	方	27×25	16	77.46				
B380号ピット	980-090	方	23×18	9	77.53		14掘P19	84	
B382号ピット	990-080	長方	38×32	3	77.56				
B383号ピット	985-080	円	36×36	14	77.44				
B384号ピット	985-150	円	23×22	36	77.18				
B385号ピット	985-150	楕円	73×52	25	77.39				
B386号ピット	985-150	円	26×25	—	—				
B387号ピット	985-150	円	28×28	—	—				
B388号ピット	980・985-150	不定	61×19	6	77.55				
B389号ピット	980-150	楕円	62×31	12	77.52				
B390号ピット	980-150	不定	88×83	32	77.35				
B391号ピット	980-150	方	21×17	38	77.31				
B392号ピット	980-150	円	24×24	39	77.30				
B393号ピット	980-150	長方	50×32	45	77.26		柱穴か		
B394号ピット	985-150	円	26×26	21	77.44				
B395号ピット	985-150	円	28×26	19	77.45				
B396号ピット	985-150	円	39×35	41	77.30				
B397号ピット	985-145	円	27×25	41	77.30				
B398号ピット	980-145	楕円	55×45	39	77.30				
B399号ピット	980-145	楕円	35×25	17	77.53				
B400号ピット	980-145	円	40×38	28	77.42				
B401号ピット	975-145	楕円	45×40	44	77.17				
B402号ピット	975-145	円	28×28	35	77.23				
B403号ピット	970-140	円	24×22	26	77.31				
B404号ピット	970-145	円	22×22	15	77.43				
B405号ピット	965-145	円	21×22	18	77.28				
B406号ピット	965-145	不定	48×30	22	77.21				
B407号ピット	965-140	円	23×22	4	77.38				
B408号ピット	965-140	円	27×27	42	77.02				
B409号ピット	965-140	楕円	23×18	15	77.27				
B410号ピット	965-140	楕円	42×32	29	77.12				
B411号ピット	965-140	円	22×19	17	77.25				
B412号ピット	965-140	方	17×15	33	77.06				
B413号ピット	965-140	楕円	30×25	18	77.21				
B414号ピット	970-140	円	26×24	13	77.30				

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
B415号ピット	970-140	円	27×23	30	77.13				
B416号ピット	970-140	円	27×25	31	77.15				
B417号ピット	970-140	円	18×17	22	77.24				
B418号ピット	980-140	楕円	28×18	5	77.46				
B419号ピット	980-140	円	36×36	22	77.30				
B420号ピット	980-140	円	30×28	44	77.06				
B421号ピット	980-140	円	18×18	12	77.34				
B422号ピット	980-135	円	14×14	4	77.41				
B423号ピット	975-135	楕円	42×32	17	77.30				
B424号ピット	975-135・140	楕円	26×20	9	77.41				
B425号ピット	975-140	楕円	88×76	10	77.41				
B426号ピット	965-130	長方	38×28	28	77.28				
B427号ピット	010-120	円	25×22	20	77.57				
B428号ピット	010-120	円	27×23	15	77.60				
B429号ピット	005-120	円	35×33	33	77.47		根石、柱穴		
B431号ピット	005-120	円	20×20	14	77.67				
B432号ピット	005-120	円	28×23	24	77.63		2掘P13	67	
B433号ピット	005-120・125	楕円	40×32	15	77.68		2掘P14	67	
B434号ピット	005-120・125	円	40×36	11	77.71		1掘P7	66	
B435号ピット	005-120・125	円	48×48	11	77.63		1掘P6	66	
B436号ピット	—	—	—	—	—	菊皿1			
B437号ピット	000-120	円	58×52	19	77.50				
B438号ピット	005-120	楕円	38×34	15	77.65				
B439号ピット	005-120	円	32×31	39	77.42		2掘P12	67	
B440号ピット	005-120	円	30×27	24	77.58				
B441号ピット	005-120	円	24×23	23	77.59		1掘P4	66	
B442号ピット	005-120	楕円	41×32	15	77.65		3掘P2	66	
B443号ピット	005-120	円	26×20	13	77.69				
B444号ピット	005-120	円	28×28	24	77.67				
B445号ピット	005-120	円	24×22	12	77.69		2掘P18	67	
B446号ピット	005-120	円	24×20	—	—		2掘P19	67	
B447号ピット	005-115	楕円	42×30	13	77.64		2掘P20	67	
B448号ピット	005-120	楕円	36×28	27	77.53	焙烙片	2掘P11	67	
B449号ピット	005-120	楕円	35×28	15	77.62				
B450号ピット	010-120	楕円	24×16	12	77.65				
B451号ピット	010-120	楕円	49×32	30	77.47				
B452号ピット	010-120	円	36×28	19	77.58				
B453号ピット	010-120	円	25×21	13	77.65		2掘P15	67	
B454号ピット	010-120	円	33×29	20	77.56				
B455号ピット	010-120	円	52×50	27	77.47		2掘P3	67	
B456号ピット	010-115	円	24×24	28	77.49				
B457号ピット	010-115	方	44×38	24	77.54				
B458号ピット	010-115	方	42×40	33	77.45		根石、柱穴		
B460号ピット	005-115	楕円	32×23	16	77.57				
B461号ピット	005-110	円	25×22	15	77.57				
B462号ピット	005-110	円	33×25	5	77.68				
B463号ピット	005-110	円	21×20	5	77.68				
B464号ピット	005-110	不定	24×13	10	77.64				
B465号ピット	005-110	円	23×20	14	77.59				
B466号ピット	005-110	円	21×20	10	77.62				
B467号ピット	005-110	楕円	45×21	11	77.61				
B468号ピット	005-110	楕円	43×21	9	77.63				
B469号ピット	005-110	円	17×16	10	77.60				
B470号ピット	005-110	楕円	38×24	10	77.60				
B471号ピット	005-110	方	30×20	7	77.64				
B472号ピット	005-110・115	円	42×38	16	77.52				
B475号ピット	995-120	円	33×33	13	77.49				
B476号ピット	990-110	楕円	45×35	33	77.63				
B477号ピット	985-090	方	76×72	10	77.52			116	
B478号ピット	005・010-125	円	56×50	43	77.38		根石、柱穴		
B479号ピット	005-125	方	25×25	9	77.73		1掘P1	66	
B480号ピット	005-120	楕円	29×24	26	77.55				

第4章 中・近世の遺構と遺物

区・名称	位 置	平面形	規 模	深 さ	底標高	出 土 遺 物	備 考	挿図No	図版
B481号ピット	005-125	不定	34×29	20	77.58				
B482号ピット	005-120	不定	50×40	—	—				
B483号ピット	000-120	楕円	41×26	16	77.56				
B486号ピット	005-120	楕円	38×28	9	77.71		2掘P17	67	
B487号ピット	005-120	円	66×56	22	77.57		1掘P5	66	
B488号ピット	005-120	方	40×32	27	77.56				
B489号ピット	010-120	円	24<×26	12	77.67				
B491号ピット	010-120	楕円	45×25	19	77.58				
B492号ピット	010-120	円	38×36	11	77.65		根石、柱穴		
B493号ピット	010-120	円	30×29	13	77.64				
B495号ピット	010-115・120	不定	44×38	17	77.59				
B496号ピット	010-115	円	27×26	25	77.51		2掘P4	67	
B497号ピット	010-115	円	34×31	29	77.46				
B498号ピット	010-115	円	29×24	17	77.60				
B499号ピット	010-115	円	26×24	16	77.61				
B500号ピット	005-120	円	22×20	17	77.58		2掘P10	67	
B501号ピット	005-120	円	28×22	23	77.57				
B502号ピット	005-115	楕円	34×28	8	77.69				
B503号ピット	005-115	楕円	30×24	11	77.67				
B504号ピット	010-115	不定	60×37	20	77.59				
B505号ピット	010-115	円	35×32	29	77.49		2掘P5	67	
B506号ピット	010-115	不定	54×48	28	77.49		柱穴か		
B507号ピット	010-115	楕円	44×32	30	77.48				
B508号ピット	010-115	円	47×38	—	—				
B509号ピット	010-115	方	36×35	30	77.48		2掘P6	67	
B510号ピット	010-115	不定	46×36	20	77.56		2掘P7	67	
B512号ピット	005-110	方	46×32	30	77.43				
B513号ピット	005-110	円	26×25	9	77.63				
B514号ピット	005-110	円	29×24	6	77.68				
B515号ピット	005-110	楕円	40×27	7	77.67				
B516号ピット	005-110	楕円	30×23	8	77.60				
B517号ピット	980-110	方	30×30	21	77.61				
B518号ピット	980-110	方	30×30	22	77.59	古墳前期甕片	10掘P9	77	
B519号ピット	980-110	楕円	30×22	17	77.65				
B520号ピット	985-110	円	42×33	18	77.65				
B522号ピット	980-105	方	20×19	20	77.52				
B523号ピット	975-105	不定	115×28	13	77.51				
B524号ピット	980-105	楕円	28×18	4	77.59				
B525号ピット	980-105	方	29×27	26	77.38				
B527号ピット	965・970-105	方	34×32	19	77.47				
B528号ピット	965-100	長方	40×17	26	77.36				
B529号ピット	970-100	不定	60×24	9	77.51				
B530号ピット	970-100	楕円	78×26	48	77.20				
B531号ピット	970-100	円	32×28	21	77.43				
B532号ピット	970-100	円	32×30	20	77.41				
B533号ピット	970-100	円	25×22	11	77.51				
B534号ピット	970-095	円	26×22	25	77.35				
B535号ピット	970-095	円	43×30	30	77.31				
B536号ピット	970-095	円	26×25	4	77.58				
B537号ピット	970-095	不定	55×37	26	77.34				
B538号ピット	975-100	楕円	71×36<	27	77.40				
B539号ピット	975-100	隅丸方	26×25	21	77.40				
B540号ピット	975-095	楕円	30×22	14	77.49		15掘P15	86	
B541号ピット	975-095	方	24×21	16	77.46				
B542号ピット	980-100	方	23×23	29	77.34				
B543号ピット	980-100	方	30×28	16	77.48		16掘P7	83	
B544号ピット	980-100	方	34×29	24	77.40				
B545号ピット	980-100	方	30×25	11	77.52				
B546号ピット	985-100	方	32×32	28	77.34				
B547号ピット	985-100	隅丸方	33×30	26	77.37		柱痕		
B548号ピット	980・985-085	方	23×18	16	77.45				
B550号ピット	010-120	方	30×28	21	77.51		2掘P2	67	

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
B551号ピット	985-105	方	32×29	15	77.47				
B552号ピット	980・985-110	楕円	65×40	15	77.68				
B553号ピット	975-105	楕円	38<×20	20	77.50				
B554号ピット	985-125	円	30×24	33	77.62				
B590号ピット	985-115	楕円	36×28	29	77.34				
B593号ピット	980・985-115	円	48×31	19	77.58		4掘P6	71	
B598号ピット	980-115	方	34×30	19	77.62		4掘P7	71	
B611号ピット	985-105・110	円	22×20	9	77.67				
B613号ピット	985-105	楕円	50×50	8	77.56				
B614号ピット	985-105・110	円	23×21	12	77.64		10掘P5	77	
B615号ピット	985-105・110	円	25×25	9	77.67				
B618号ピット	980-105	円	28×26	10	77.64				
B619号ピット	980-105	円	32×30	11	77.65		10掘P7	77	
B620号ピット	980-105	円	26×24	11	77.62				
B621号ピット	980-105	方	21×14	18	77.57				
B624号ピット	990-105	楕円	40×35	10	77.55				
B625号ピット	990-105	楕円	45×42	—	—				
B626号ピット	990-100	円	21×20	8	77.58				
B627号ピット	990-100	長方	27×24	10	77.55		16掘P2	83	
B628号ピット	985-105	長方	30×26	18	77.40				
B629号ピット	985-100	楕円	26×22	7	77.55				
B630号ピット	980-100	円	30×20<	21	77.45				
B631号ピット	975-095	楕円	47×37	26	77.36		15掘P13	86	
B633号ピット	980・985-095	楕円	82×58	38	77.26		柱穴か		
B634号ピット	985-095	楕円	35×22	5	77.60				
B635号ピット	985-095	楕円	34×29	25	77.48		13掘P10	83	
B636号ピット	990-095	長方	28×25	17	77.55		13掘P7	83	
B637号ピット	990-090	円	35×31	32	77.32				
B638号ピット	990-090	不定	48×45	15	77.52				
B639号ピット	985-095	方	27×40	15	77.48				
B640号ピット	980-090	円	25×18	22	77.40				
B641号ピット	980-090	円	20×18	15	77.47				
B642号ピット	980-090	楕円	28×20	11	77.51				
B643号ピット	980-090	長方	30×24	24	77.39		14掘P10	84・85	
B645号ピット	980-085	方	31×26	24	77.39		14掘P6	84・85	
B646号ピット	980-085	楕円	35×25	5	77.58		13掘P38	83	
B647号ピット	985-085	円	46×38	18	77.45				
B648号ピット	980-085	長方	36×22<	21	77.43				
B649号ピット	980・985-090	楕円	40×25	19	77.43				
B650号ピット	985-085・090	円	40×33	10	77.51				
B651号ピット	985-100	方	23×22	14	77.52				
B652号ピット	985-100	楕円	30×26	15	77.48				
B654号ピット	010-125	方	19×19	16	77.58		2掘P1	67	
B655号ピット	010-120	円	30×28	17	77.61		1掘P3	66	
B695号ピット	990-105	不定	42×38	17	77.50				
B696号ピット	010-135	円	18×18	16	77.53				
B697号ピット	005・010-135	円	34×31	15	77.54				
B698号ピット	010-125	楕円	72×62	19	77.52		柱穴か		
B699号ピット	005-125	楕円	56×46	14	77.60				
B701号ピット	005-120	円	33×32	11	77.66				
B702号ピット	005-120	楕円	32×28	13	77.63		1掘P8・2掘P16	66・67	
B703号ピット	005-120	楕円	60×40	8	77.69				
B705号ピット	000-125	楕円	33×28	27	77.38		3掘P5	66	
B706号ピット	005-115	円	32×30	20	77.45		柱痕		
B707号ピット	005-115	楕円	72×30	5	77.60				
B708号ピット	010・015-105	楕円	42×35	20	77.47				
B709号ピット	010-105	楕円	28×22	17	77.49				
B710号ピット	010-105	楕円	33×25	21	77.49				
B711号ピット	010・015-105	円	27×25	14	77.59				
B712号ピット	015-105	円	30×28	14	77.59				
B713号ピット	015-100	円	38×34	2	77.70				
B714号ピット	010-105	円	23×20	2	77.70				

第4章 中・近世の遺構と遺物

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
B715号ピット	010・015-100	円	20×19	12	77.60				
B716号ピット	015-100	円	18×18	6	77.65				
B717号ピット	015-100	楕円	42×36	28	77.43		柱痕		
B718号ピット	015-100	楕円	40×32	14	77.56				
B719号ピット	015-100	楕円	39×32	23	77.42				
B721号ピット	015-100	不定	28<×40	10	77.60				
B722号ピット	015-100	楕円	43×26	18	77.46				
B723号ピット	015-095	方	35×35	22	77.52		柱穴か		
B724号ピット	010・015-095	楕円	180×43	8	77.67		溝か		
B725号ピット	010-095	楕円	130×32	6	77.68		溝か		
B726号ピット	010-095	楕円	68×30	5	77.67		溝か		
B727号ピット	010-095・100	不定	40×34	27	77.43				
B728号ピット	010-095	円	26×24	6	77.64				
B729号ピット	005-095	円	24×22	4	77.66				
B730号ピット	005-095	円	30×26	3	77.67				
B731号ピット	010-095	楕円	64×44	5	77.65				
B732号ピット	005-095	楕円	23×20	14	77.54				
B733号ピット	005-100	楕円	28×18	19	77.51				
B734号ピット	005-100	円	24×24	11	77.54				
B735号ピット	005-095・100	楕円	74×30	13	77.52				
B736号ピット	005-095	楕円	30×21	5	77.63				
B738号ピット	010-135	円	25×25	9	77.61				
B739号ピット	010-135	楕円	40×23	25	77.46				
B740号ピット	000-130	円	35×32	7	77.55				
B741号ピット	000-130	楕円	52×38	8	77.52				
B742号ピット	005-120	不定	42×38	13	77.63				
B743号ピット	005-120	円	30×28	4	77.73				
B744号ピット	005-120	不定	40×30	10	77.68				
B745号ピット	010-120	円	20×23	16	77.53				
B746号ピット	010-120	円	27×25	16	77.58				
B747号ピット	010-115・120	円	23×22	9	77.59				
B748号ピット	000-125	方	47×47	12	77.42				
B749号ピット	010-120	円	30×27	5	77.63				
B750号ピット	010-120	楕円	32×28	5	77.62				
B751号ピット	010-120	円	55×33	20	77.50		2基重複		
B752号ピット	005・010-120	楕円	30×26	10	77.60				
B753号ピット	005-120	円	19×19	13	77.60				
B754号ピット	010-115・120	円	23×22	23	77.50		2掘P9	67	
B756号ピット	010-120	楕円	35×23	7	77.61				
B757号ピット	010-115	円	24×23	11	77.59				
B758号ピット	005-115	円	29×29	9	77.61				
B759号ピット	005-115	円	27×26	7	77.64				
B760号ピット	005-115	楕円	34×25	6	77.66				
B761号ピット	005-115	不定	76×72	8	77.63			118	
B763号ピット	005・010-120	円	33×32	7	77.67		1掘P2	66	
B764号ピット	005-115	不定	76×60	9	77.62			118	
B765号ピット	005-125	楕円	36×26	25	77.49		3掘P1	66	
B766号ピット	985-105	円	40×39	23	77.36				
B767号ピット	985-105	円	36×35	9	77.48				
B768号ピット	005-095	円	28×28	8	77.41				
B769号ピット	005-095	円	(64)×60	6	77.36				
B770号ピット	985-105	円	25×24	18	77.41	焙烙片	6掘P8	73	
B771号ピット	985-105	円	62×62	20	77.43				
B772号ピット	985-105	楕円	34×23	12	77.52				
B773号ピット	985-105	円	28×25	6	77.54				
B774号ピット	985-105	楕円	58×32	17	77.45				
B775号ピット	985・990-105	円	35×32	20	77.40		6掘P7	73	
B776号ピット	985-105	円	25×24	14	77.47				
B777号ピット	005-090・095	円	76×64	20	77.25		柱穴か		
B778号ピット	990-110	円	24×24	36	77.27				
B779号ピット	990-110	円	20×20	11	77.53				
B780号ピット	990-110	円	32×28	16	77.45		10掘P3	77	

3 A・B・C区土坑及びピット一覧表

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
B781号ピット	990-110	円	30×24	20	77.41				
B782号ピット	985-110	方	20×20	13	77.54				
B783号ピット	985-110	長方	32×26	24	77.34				
B784号ピット	985-110	楕円	37×26	15	77.51				
B785号ピット	985-110	方	27×27	6	77.62				
B786号ピット	985-110	方	23×22	10	77.56				
B787号ピット	985-110	不定	88×66	20	77.47				
B788号ピット	985-110	円	28×25	10	77.56		5掘P5	72	
B789号ピット	990-085	円	35×35	13	77.35				
B790号ピット	985-110	長方	23×15	14	77.53				
B791号ピット	990-115	楕円	40×37	33	77.32	板碑			
B792号ピット	990-110	楕円	28×20	9	—				
B793号ピット	975-085	円	42×41	5	77.30				
B794号ピット	990-110	円	36×36	50	77.13		6掘P13	73	
B795号ピット	990-110	円	29×25	12	77.52				
B796号ピット	985-110	方	32×29	19	77.47				
B797号ピット	970-080	円	52×49	3	77.08				
B799号ピット	990-110	円	22×23	18	77.42				
B800号ピット	990-110	円	32×28	14	77.49		6掘P4	73	
B801号ピット	990-110	楕円	27×20	14	77.47				
B802号ピット	990-110	円	22×22	13	77.50				
B803号ピット	990-110	円	32×27	13	77.25				
B804号ピット	990-110	円	32×30	13	77.48		10掘P2	77	
B805号ピット	990-105	円	25<×25	2	77.61				
B806号ピット	990-105	円	36×34	19	77.41		6掘P6	73	
B807号ピット	990-105	不定	15<×20	4	77.53		6掘P5	73	
B808号ピット	990-110	長方	22×18	15	77.50				
B809号ピット	990-110	円	20×19	13	77.52				
B810号ピット	990-110	不定	16×16	6	77.51				
B811号ピット	990-110	不定	37×27<	24	77.40				
B812号ピット	990-110	円	18×15	15	77.51				
B813号ピット	990-110	楕円	36×33	27	77.36				
B814号ピット	990-110	円	20×20	15	77.51				
B815号ピット	985-110	円	20×15	7	77.62				
B816号ピット	985-110	楕円	30×28	10	77.57		5掘P4	72	
B817号ピット	005-095	隅丸方	60×58	11	77.33				
B818号ピット	985-115	長方	32×18	20	77.50				
B819号ピット	980・985-115	円	29×29	27	77.40		5掘P10	72	
B820号ピット	985-110	方	20×18	—	—				
B821号ピット	985-110	不定	25×20	—	—				
B822号ピット	985-110	円	38×23	28	77.37		5掘P9	72	
B823号ピット	980-110	楕円	26×22	8	77.60		櫛P2	80	
B824号ピット	985-110	楕円	90×70	24	77.43				
B825号ピット	980・985-110	円	27×27	9	—				
B826号ピット	980-105	円	26×22	8	77.57				
B827号ピット	980-080	円	26×27	11	—				
B828号ピット	985-105	円	34×28	8	77.57		10掘P6	77	
B830号ピット	995-110	楕円	42×36	11	77.44				
B831号ピット	995-110	長方	25×23	10	77.45				
B832号ピット	995-110	楕円	28×24	8	77.47				
B833号ピット	990-115	方	24×25	15	77.48				
B834号ピット	995-110	円	28×26	12	77.39				
B836号ピット	995-110	不定	68×50	15	77.39				
B838号ピット	990-105	楕円	44×34	24	77.28				
B839号ピット	990-105	円	24×22	11	77.40				
B840号ピット	980-110	楕円	22×18	3	77.63				
B841号ピット	985-110	楕円	45×28	23	77.43		5掘P7	72	
B842号ピット	985-105	円	83×70	16	77.45		小さな桶底痕跡	114	
B843号ピット	005-095	方	28×24	11	77.41				
B844号ピット	005-090・095	円	40×36	19	77.33		柱痕		
B845号ピット	005-095	円	34×28	10	77.49				
B846号ピット	005-095	円	30×28	4	77.55				

第4章 中・近世の遺構と遺物

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
B847号ピット	005・010-095	円	22×22	12	77.48				
B848号ピット	015-095	円	22×21	14	77.47				
B849号ピット	015-095	楕円	30×23	6	77.55				
B850号ピット	015-095	楕円	30×22	7	77.54				
B851号ピット	015-095	長方	38×24	21	77.40		柱痕		
B852号ピット	015-090	円	24×21	4	77.52				
B853号ピット	015-090・095	円	20×21	15	77.45				
B854号ピット	015-095	円	20×20	12	77.48				
B855号ピット	010-090	円	18×17	11	77.49				
B856a号ピット	985・990-115	円	19×16	11	77.57				
B856b号ピット	985・990-115	円	18×15	7	77.58				
B857号ピット	985-115	方	23×22	29	77.40				
B858号ピット	985-115	方	35×35	35	77.33				
B859号ピット	005-090	楕円	40×31	26	77.27				
B860号ピット	005-090	楕円	42×30	10	77.39		72土坑と同一か		
B861号ピット	015-090	楕円	42×32	33	77.21				
B862号ピット	015-090	円	15×14	6	77.49				
B863号ピット	975-105	円	28×28	10	77.37				
B864号ピット	975-105	円	20×18	18	77.29				
B865号ピット	975-105	円	21×20	12	77.35				
B866号ピット	975-110	円	19×18	11	77.37				
B867号ピット	975-110	円	18×16	8	77.38				
B868号ピット	970-105	円	18×16	11	77.37				
B869号ピット	970-105	円	24×22	34	77.44				
B870号ピット	970-105	円	14×13	6	77.40				
B871号ピット	970-105・110	円	25×24	7	77.40				
B872号ピット	975-100・105	方	62×56	16	77.32				
B873号ピット	990-120	方	23×20	14	77.44				
B874号ピット	965-105	不定	30×20<	23	77.42				
B875号ピット	965-105	方	17×17	5	77.60				
B876号ピット	965-105	不定	19×25<	6	77.57				
B877号ピット	965-105	楕円	22×28	15	77.47				
B878号ピット	965-105	楕円	30×20<	15	77.49				
B879号ピット	965-105	円	28×28	22	77.53				
B880号ピット	970-105	楕円	40×30	9	77.59				
B881号ピット	965-105	円	25×24	9	77.57				
B882号ピット	965-105	長方	35×23	8	77.55				
B883号ピット	965-100・105	不定	30×28	16	77.49				
B884号ピット	965-100・105	不定	46×-	7	77.57				
B885号ピット	965-100・105	楕円	45×30	7	77.55				
B886号ピット	965-100	楕円	45×28	8	77.54				
B887号ピット	965-100	方	28×27	10	77.55				
B888号ピット	965・970-100	方	22×24	20	77.44				
B889号ピット	965-100	円	20×19	18	77.53				
B890号ピット	970-100	円	20×18	26	77.36				
B891号ピット	965・970-100	円	30×27	9	77.53				
B892号ピット	970-100	円	25×24	11	77.51				
B893号ピット	970-100	円	27×25	25	77.37				
B894号ピット	965-100	円	22×22	6	77.55				
B895号ピット	965-100	不定	42×30<	18	77.41				
B896号ピット	965-100	円	38×36	21	77.41				
B897号ピット	965-095・100	不定	28×20<	8	77.50				
B898号ピット	965-095・100	方	39×37	16	77.47				
B899号ピット	965-095	楕円	38×26	12	77.49				
B900号ピット	965・970-095	楕円	50×30	30	77.30		柱穴か		
B901号ピット	965-095	不定	42×45<	38	77.45				
B902号ピット	970-095	楕円	45×34	11	77.50				
B903号ピット	970-100	円	15×13	3	77.58				
B904号ピット	970-100	円	18×16	8	77.54				
B905号ピット	970-100	楕円	36×30	30	77.32				
B906号ピット	970-100	円	30×28	8	77.54				
B909号ピット	970-100	円	22×18	15	77.45				

3 A・B・C区土坑及びピット一覧表

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
B910号ピット	970-105	円	22×20	10	77.55				
B911号ピット	970-105	長方	53×40	9	77.56				
B912号ピット	970・975-100	円	22×20	7	77.56				
B913号ピット	975-100	楕円	36×20	8	77.54				
B914号ピット	970-100	不定	44×24	19	77.44				
B915号ピット	970-100	円	28×26	18	77.45				
B916号ピット	970-100	円	26×21	8	77.55				
B917号ピット	970-100	方	52×35	18	77.45				
B918号ピット	970・975-100	楕円	52×34	18	77.44				
B919号ピット	970-100	円	20×20	7	77.56				
B920号ピット	970-100	方	82×78	75	76.86		柱穴か	116	
B921号ピット	970-095	円	20×18	6	77.55				
B922号ピット	970-095	円	23×20	8	77.53				
B923号ピット	970-095	方	19×16	4	77.58				
B924号ピット	970-095	円	32×29	14	77.47				
B925号ピット	970-095	不定	15×20<	6	77.56				
B926号ピット	970-095	円	22×21	6	77.55				
B927号ピット	970-095	円	27×20	7	77.55				
B928号ピット	970-095	円	24×20	5	77.54				
B929号ピット	970-095	円	18×16	3	77.55				
B930号ピット	970-095	円	35×30	7	77.50				
B931号ピット	970-095	楕円	56×40	17	77.40				
B932号ピット	970-095	円	26×24	8	77.52				
B933号ピット	965・970-095	長方	35×24	14	77.45				
B934号ピット	975-090	不定	42×30<	24	77.35				
B935号ピット	975-095	楕円	38×26	8	77.53				
B936号ピット	975-095	円	30×30	23	77.39				
B937号ピット	975-100	楕円	69×29	14	77.48				
B938号ピット	975-090	楕円	44×24	4	77.54				
B939号ピット	975-090	円	24×22	10	77.46				
B940号ピット	975-090	円	30×26	14	77.43				
B941号ピット	975-085・090	不定	122×80	10	77.47				
B942号ピット	975-085	不定	36×30<	11	77.43				
B943号ピット	980-095	円	18×18	—	—				
B944号ピット	975-090	円	22×20	13	77.50				
B945号ピット	975-090	不定	42×32	26	77.38				
B946号ピット	975-090	円	19×15	7	—				
B947号ピット	980-090	円	14×16	7	77.56				
B948号ピット	980-090	円	24×20	11	77.50				
B949号ピット	980-090	方	20×18	14	77.49				
B950号ピット	980-090	楕円	36×28	6	77.57				
B951号ピット	980-090	楕円	26×20	9	77.53				
B952号ピット	975-085	楕円	36×30	10	77.50				
B953号ピット	980-090	円	24×22	10	77.54		15掘P8	86	
B954号ピット	980-090	円	28×22	6	77.55				
B955号ピット	980-090	円	32×26	17	77.47		14掘P8	84・85	
B956号ピット	980-090	楕円	48×22	6	77.57				
B957号ピット	980-090	円	20<×17	7	77.56				
B958号ピット	980-090	楕円	32×22	17	77.43				
B962号ピット	980-095	円	26×26	18	77.46		13掘P19	83	
B963号ピット	975-100	楕円	30×24	19	77.43	焙烙			
B964号ピット	005-145	円	29×28	12	77.51				
B965号ピット	005-145	円	29×28	12	77.52				
B966号ピット	005-145	楕円	32×24	24	77.40				
B967号ピット	005-145	楕円	42×33	38	77.23				
B968号ピット	005-145	円	30×29	17	77.43				
B969号ピット	000-145	楕円	50×32	24	77.33				
B970号ピット	000-145	楕円	40×27	17	77.41				
B971号ピット	000-140・145	楕円	39×30	17	77.40				
B973号ピット	000-140	楕円	40×32	22	77.44				
B974号ピット	000-140	楕円	32×22	14	77.49				
B975号ピット	985-100	円	27×26	6	77.56		16掘P4	83	

第4章 中・近世の遺構と遺物

区・名称	位置	平面形	規模	深さ	底標高	出土遺物	備考	挿図No	図版
B976号ピット	985-090	楕円	43×28	13	77.52		13掘P14	83	
B977号ピット	975-095	方	17×15	10	77.52				
B979号ピット	980-100	方	24×22	12	77.52				
B980号ピット	980-100	楕円	24×21	8	77.55		16掘P8	83	
B983号ピット	985-090	楕円	30×26	17	77.47				
B984号ピット	985-090	円	26×25	29	77.35				
B985号ピット	985-090	円	18×17	12	77.50				
B986号ピット	985-090	円	24×22	14	77.49				
B987号ピット	985-090	方	22×21	12	77.48				
B988号ピット	985-090	円	19×18	9	77.57				
B989号ピット	985-090・095	不定	64×54	39	77.23				
B990号ピット	985-090	楕円	56×30	27	77.35				
B991号ピット	980-090	円	31×24	25	77.37				
B992号ピット	980-090	円	25×24	20	—				
B993号ピット	980-090	方	23×20	10	77.52				
B994号ピット	985-095	方	16×16	8	77.58				
B995号ピット	980-090	方	25×(20)	16	77.47				
B996号ピット	980-090	方	46×(60)	12	77.51				
B1001号ピット	980-125	楕円	44×32	21	77.57		11掘P4	78	
B1002号ピット	985-115	円	20×20	22	77.76				
B1003号ピット	005-120	円	29×26	18	77.61				
B1004号ピット	010-115	円	30×26	12	77.66		2掘P8	67	
B1005号ピット	010-115	円	30×29	8	77.62				
B1006号ピット	015-090	円	22×18	10	77.45				
B1007号ピット	970-095	円	28×27	5	77.57				
B1008号ピット	990-110	楕円	28×19	7	77.56				
B1009号ピット	005-140・145	長方	60×35	13	77.56				
B1010号ピット	000-125	円	25×25	30	77.36		3掘P4	66	
B1011号ピット	010-100	円	52×48	15	77.42		柱穴か		
C1号土坑	985-005	楕円	44×35	7	76.55			119	126
C2号土坑	980-040	円	50×40	7	76.63			119	126
C3号土坑	000-030	楕円	78×62	12	76.56			119	126
C4号土坑	020-020	円	50×40	5	76.71			119	126
C5号土坑	010-025	楕円	50×32	12	76.62			119	126
C6号土坑	995-005	楕円	58×40	14	76.53			119	127
C7号土坑	995・000-005	円	60×50	20	76.43			119	127
C8号土坑	000-005	円	85×72	21	76.42			119	127
C9号土坑	000-000・005	円	46×35	16	76.48			119	127
C10号土坑	005-000	楕円	50×35	7	76.58			119	128
C11号土坑	000-000	円	62×60	23	76.44			119	128
C12号土坑	025-005	円	54×45	10	76.61			119	128
C13号土坑	005-065	楕円	46×28	6	76.76			119	128
C14号土坑	005-070	円	32×28	8	76.76			119	
C15号土坑	995-005	楕円	60×48	11	76.35			119	128
C16号土坑	995-005	円	42×40	9	76.39			119	128

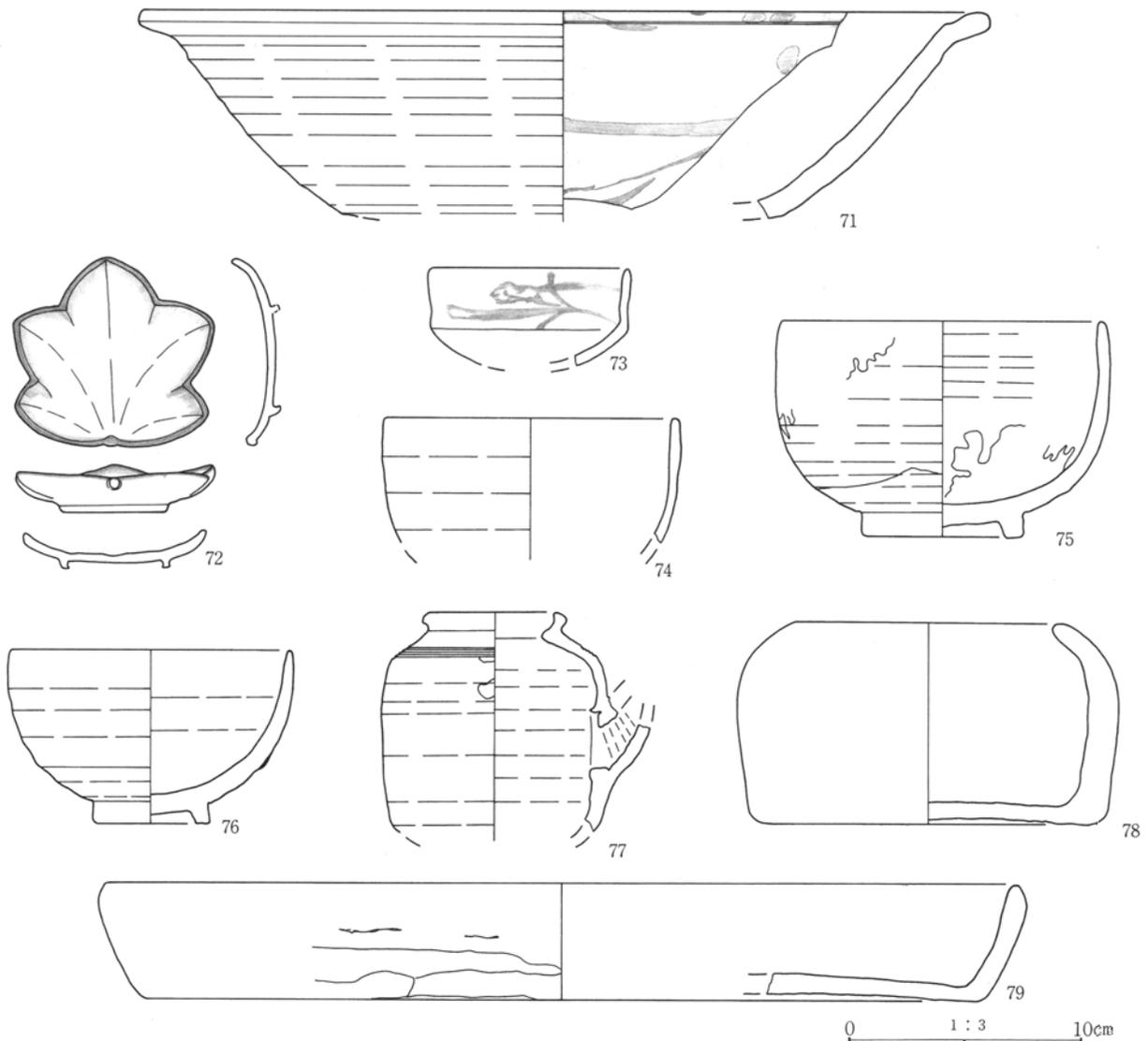
4 出土遺物 (第120~261図、PL.131~180)

中・近世に属する出土遺物について、以下に図示した。掲載順はA区からB区とし、前節で記載した遺構の順に従っている。遺物右下の番号は、全ての掲載遺物の通し番号で、ここでは古墳時代・古代の出土遺物に続けて71番から扱っている。また、出土遺物の種類毎に、陶磁器・土器・土製品類、木製品、金属製品、石製品に大きく分類し、さらに金属製品では「銭貨」、石製品では「砥石」「石臼」「板碑」

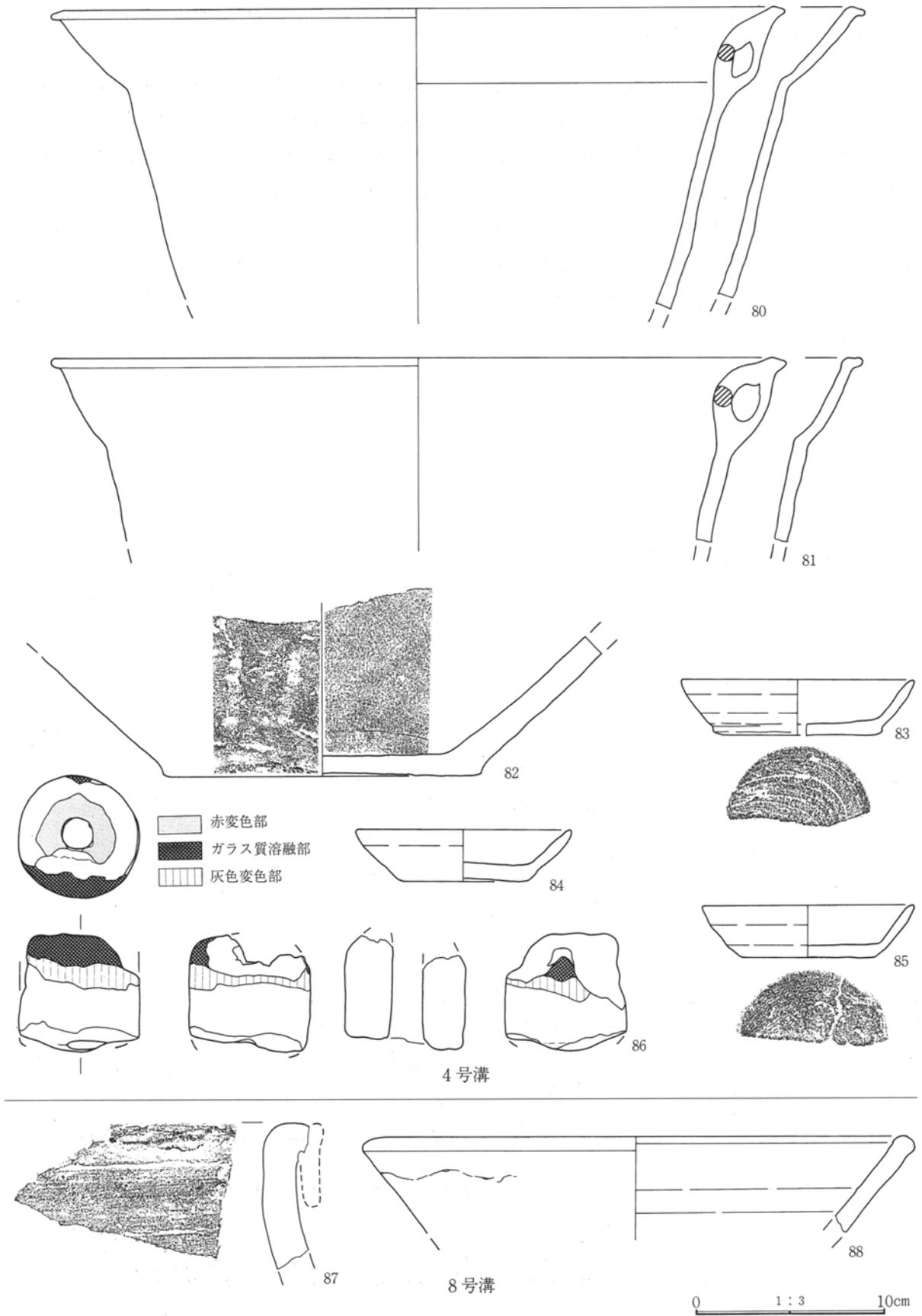
「五輪塔」「その他」と細分し、各々でまとめてある。

遺物の図示表現に関しては、必要に応じて拓影や部分断面を加えてある。また、施釉陶磁器類の釉部分については、煩雑さを避けるために省略したので、写真図版を参考にされたい。

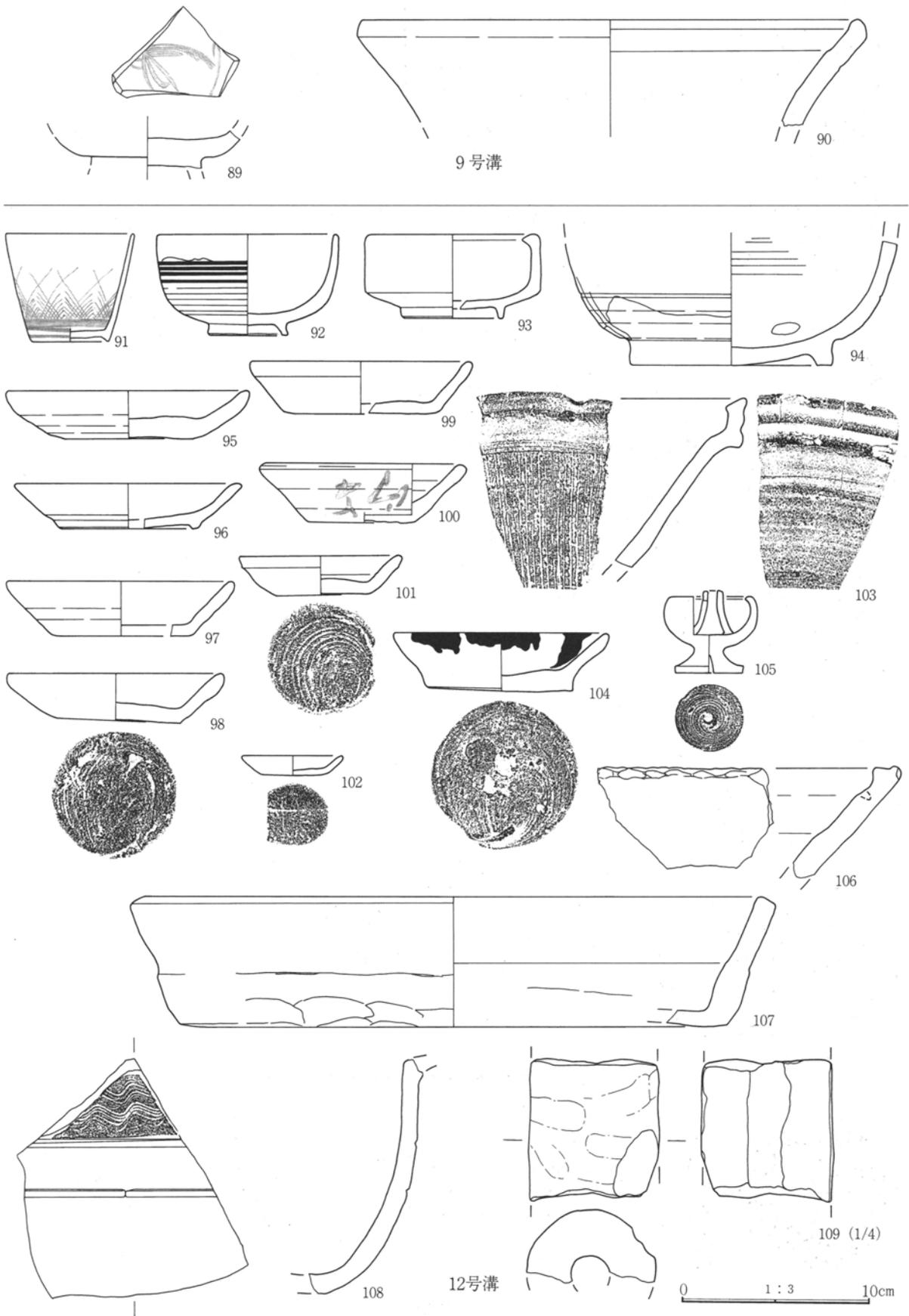
計測値や個々の特徴については、第5章「出土遺物観察表」にまとめてある。



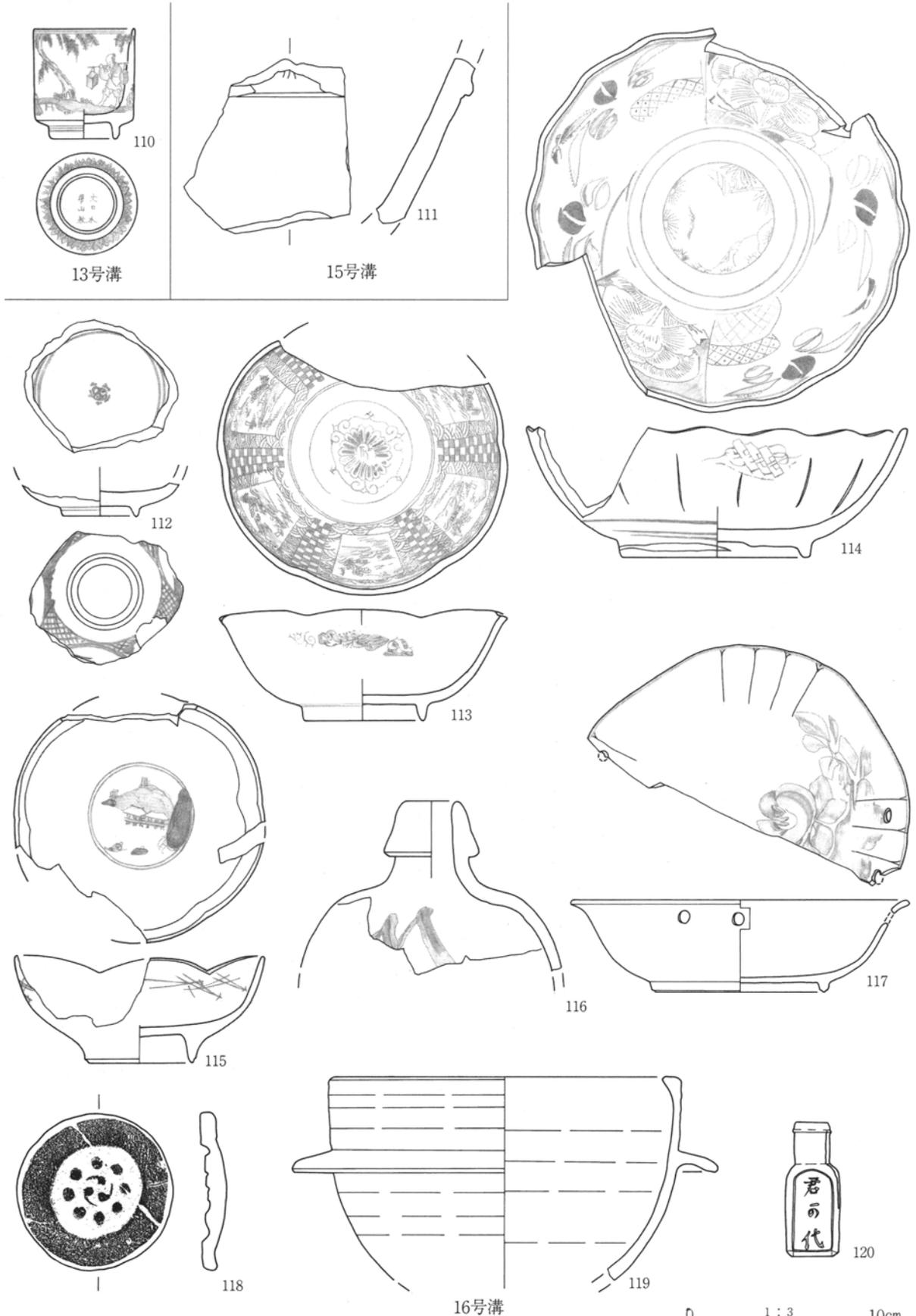
第120図 A区1号溝出土遺物



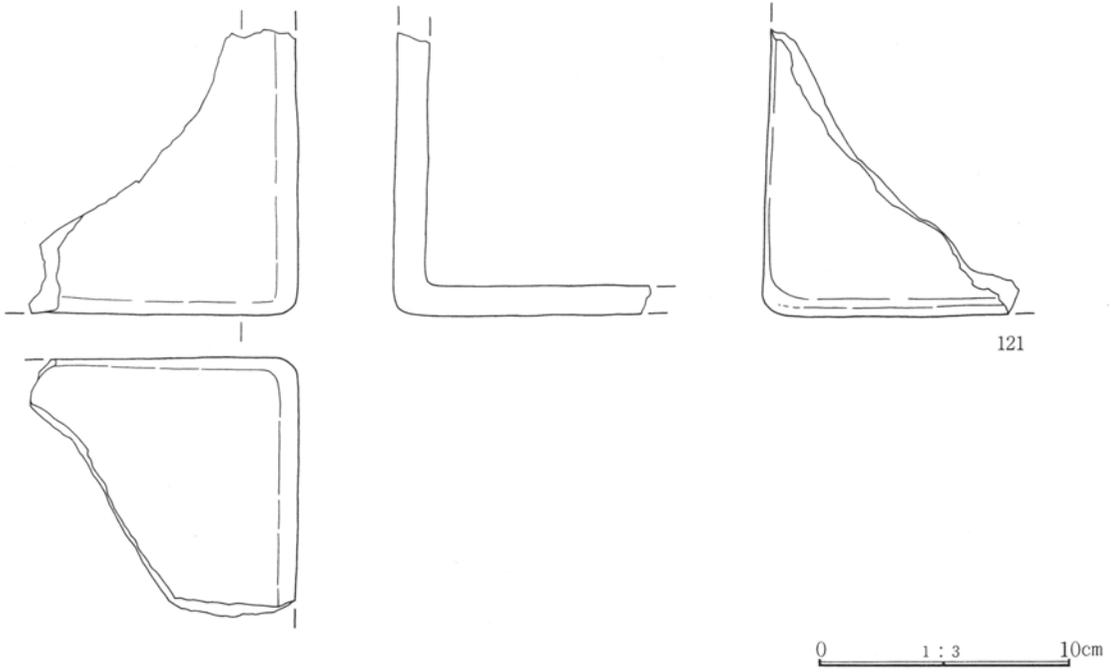
第121図 A区4・8号溝出土遺物



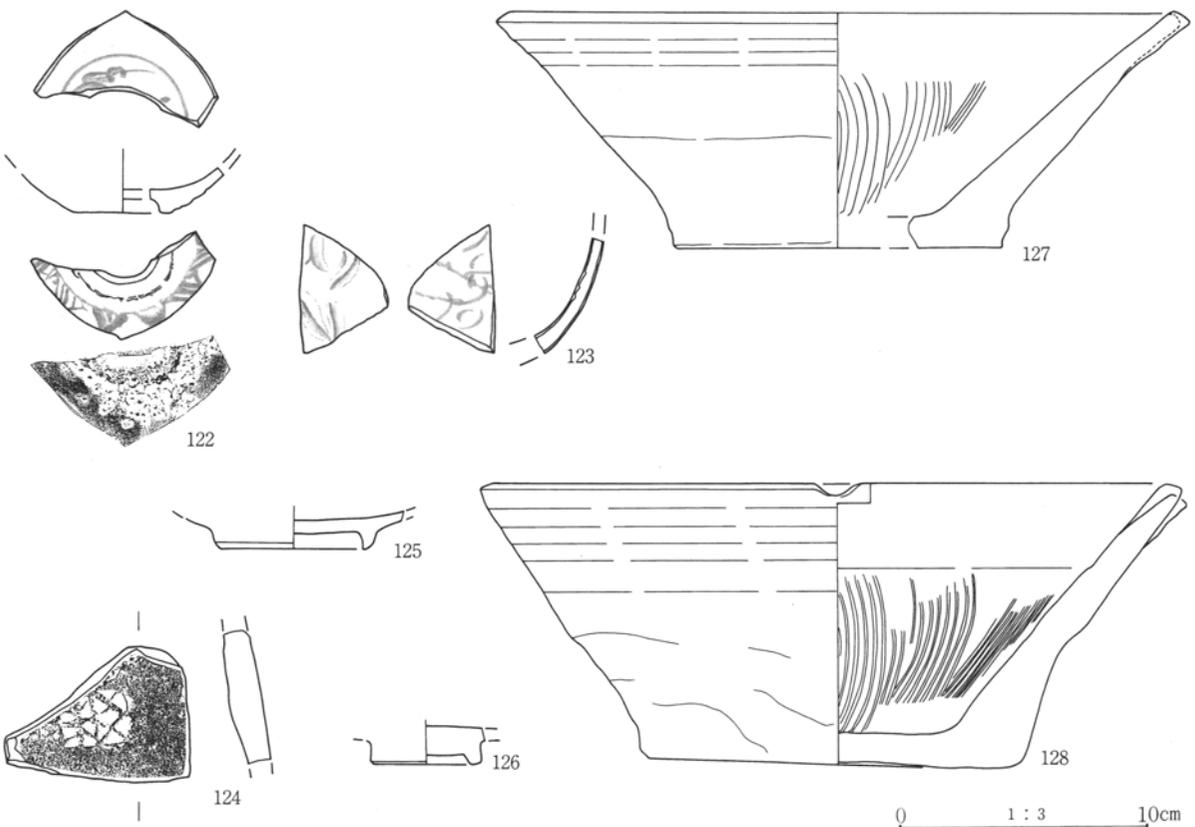
第122図 A区9・12号溝出土遺物



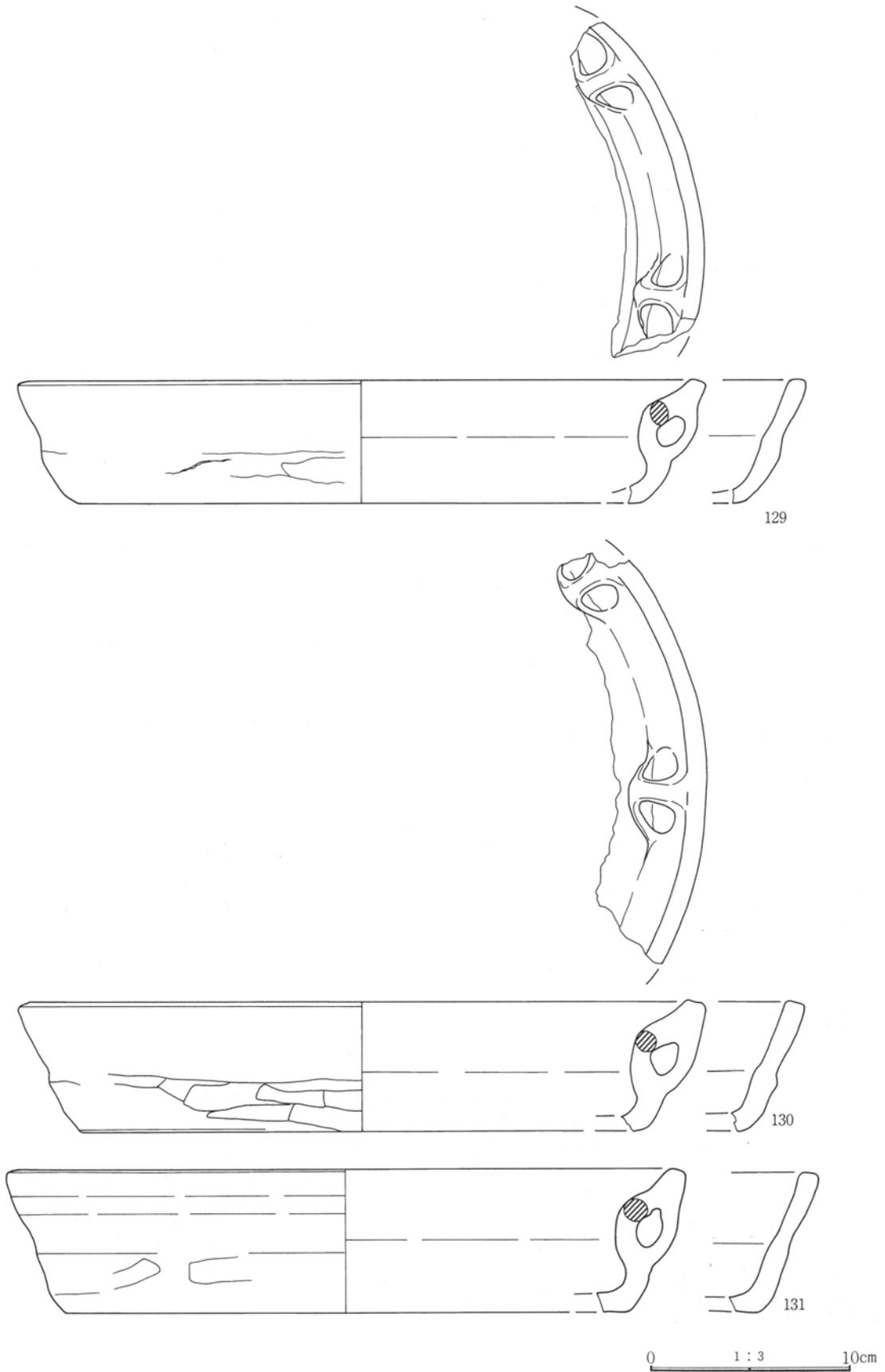
第123図 A区13・15・16号溝出土遺物



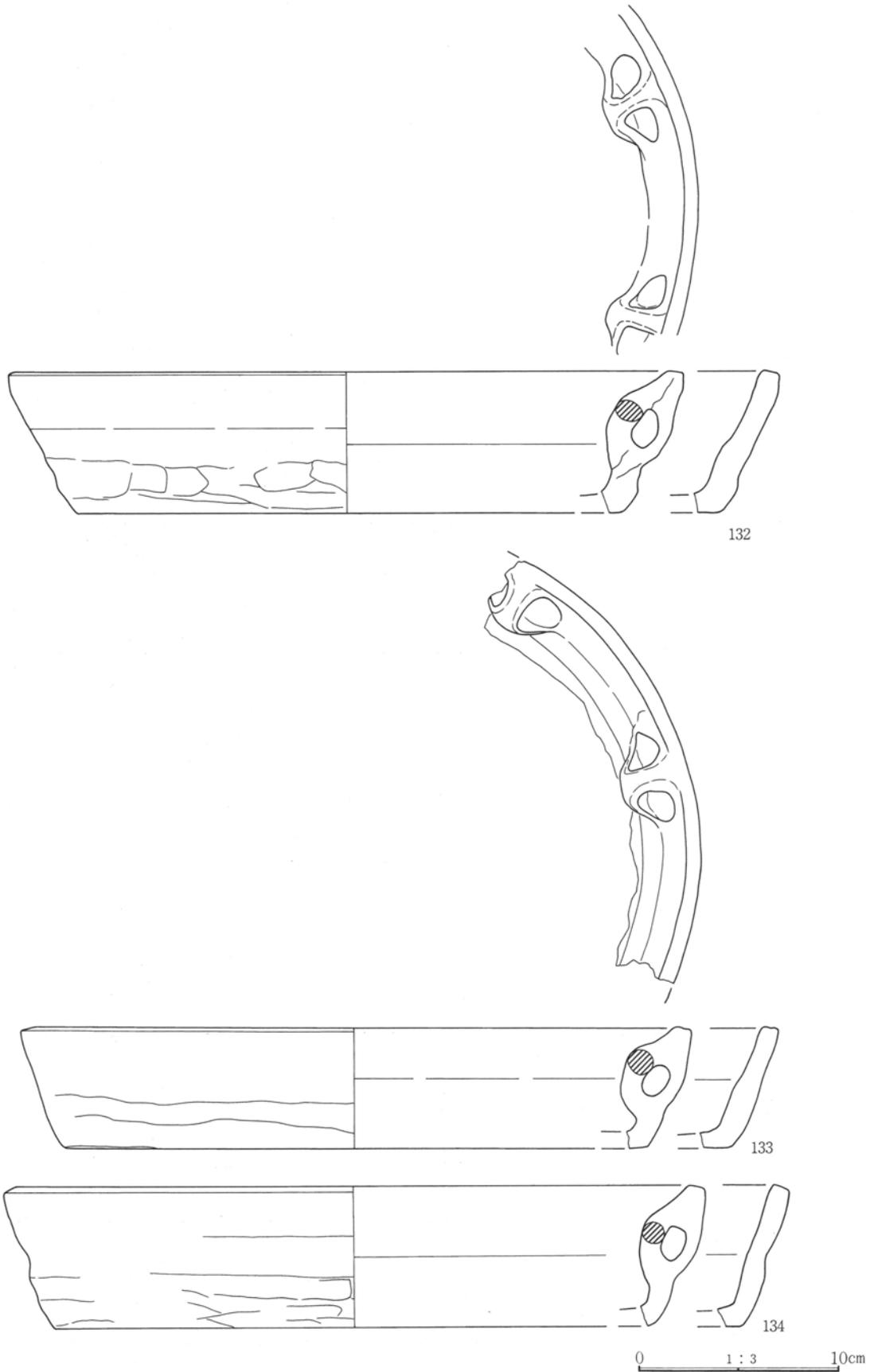
第124図 A区16号溝出土遺物



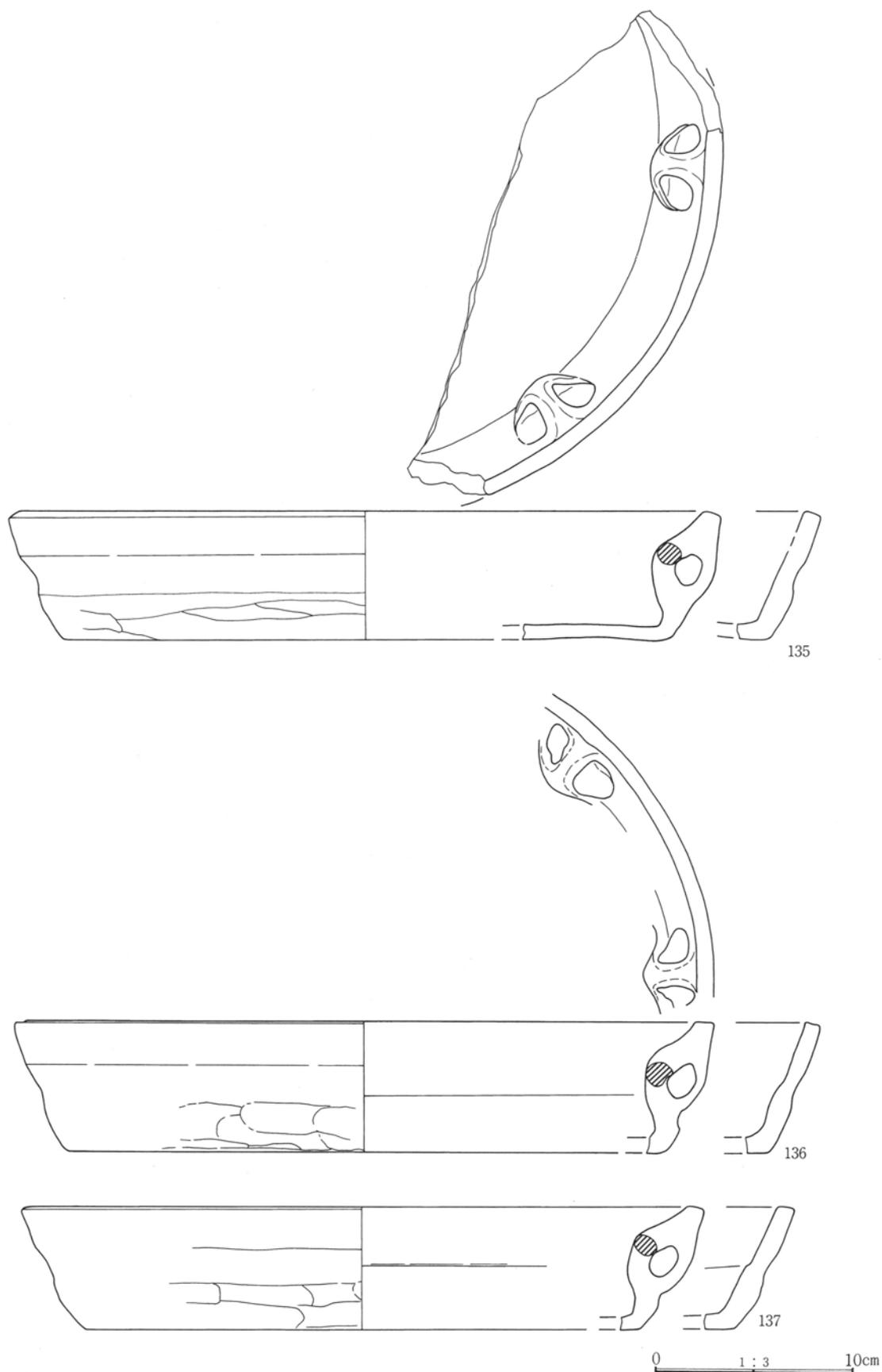
第125図 A区1号井戸出土遺物(1)



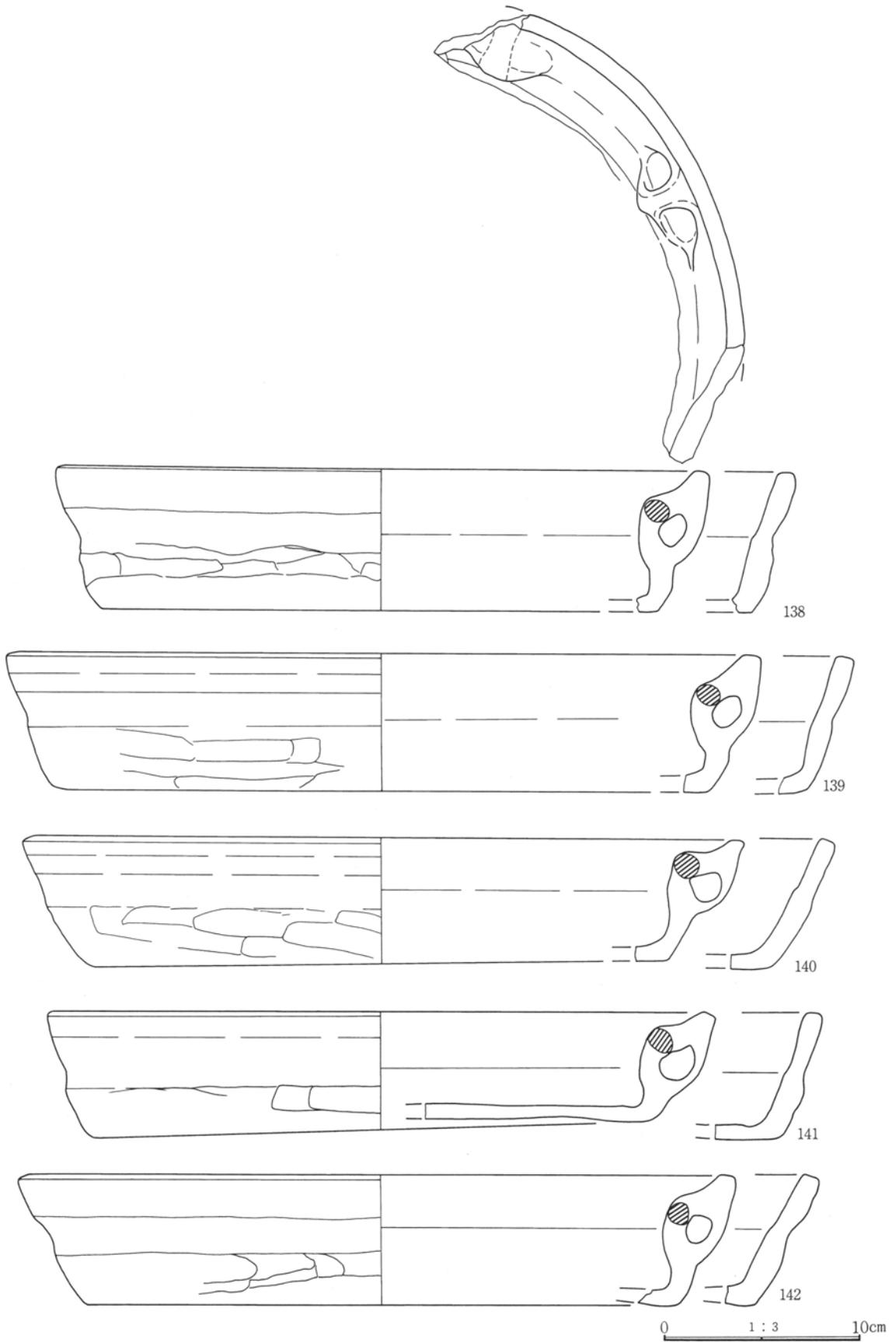
第126図 A区1号井戸出土遺物(2)



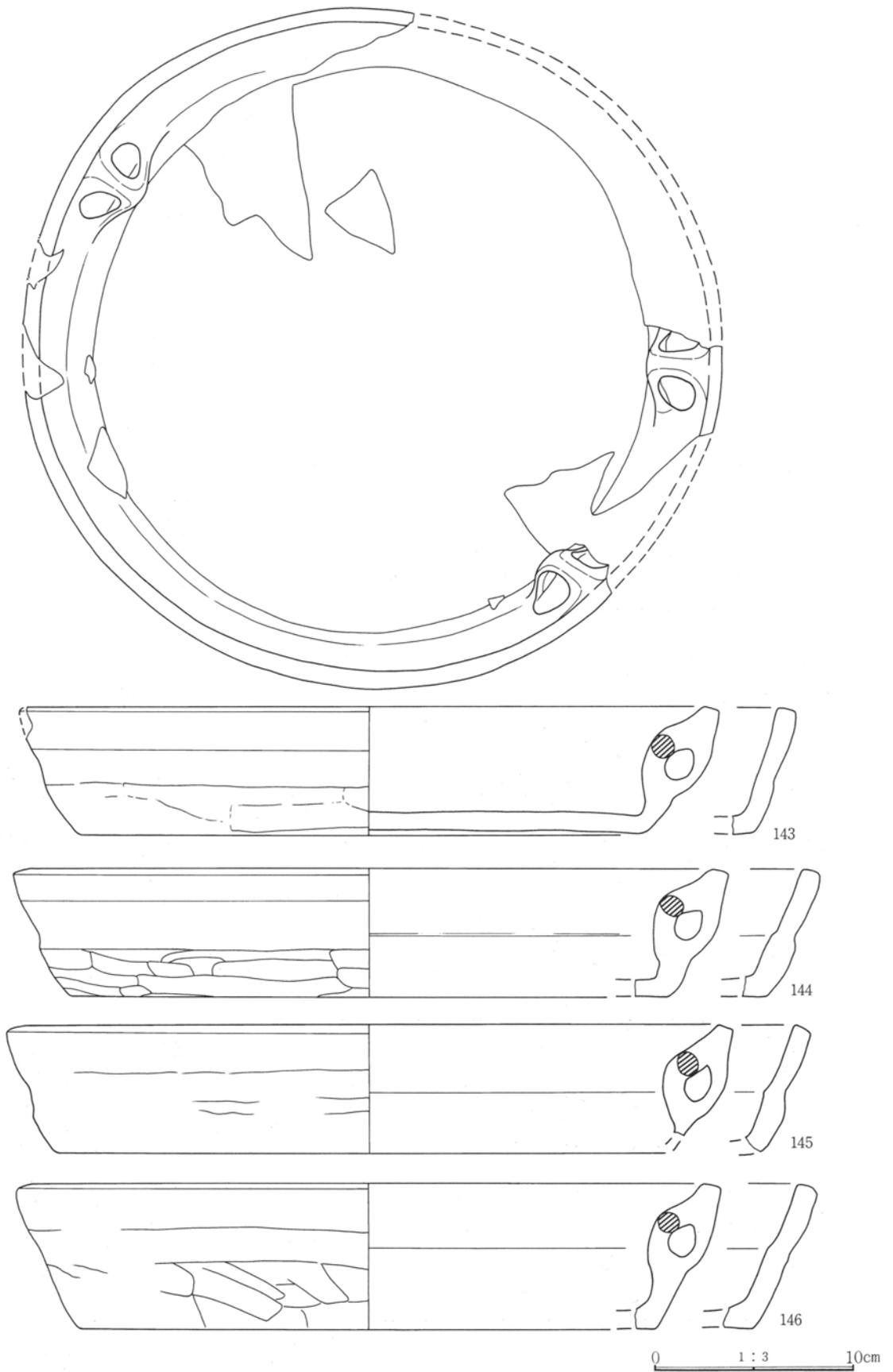
第127图 A区1号井戸出土遺物 (3)



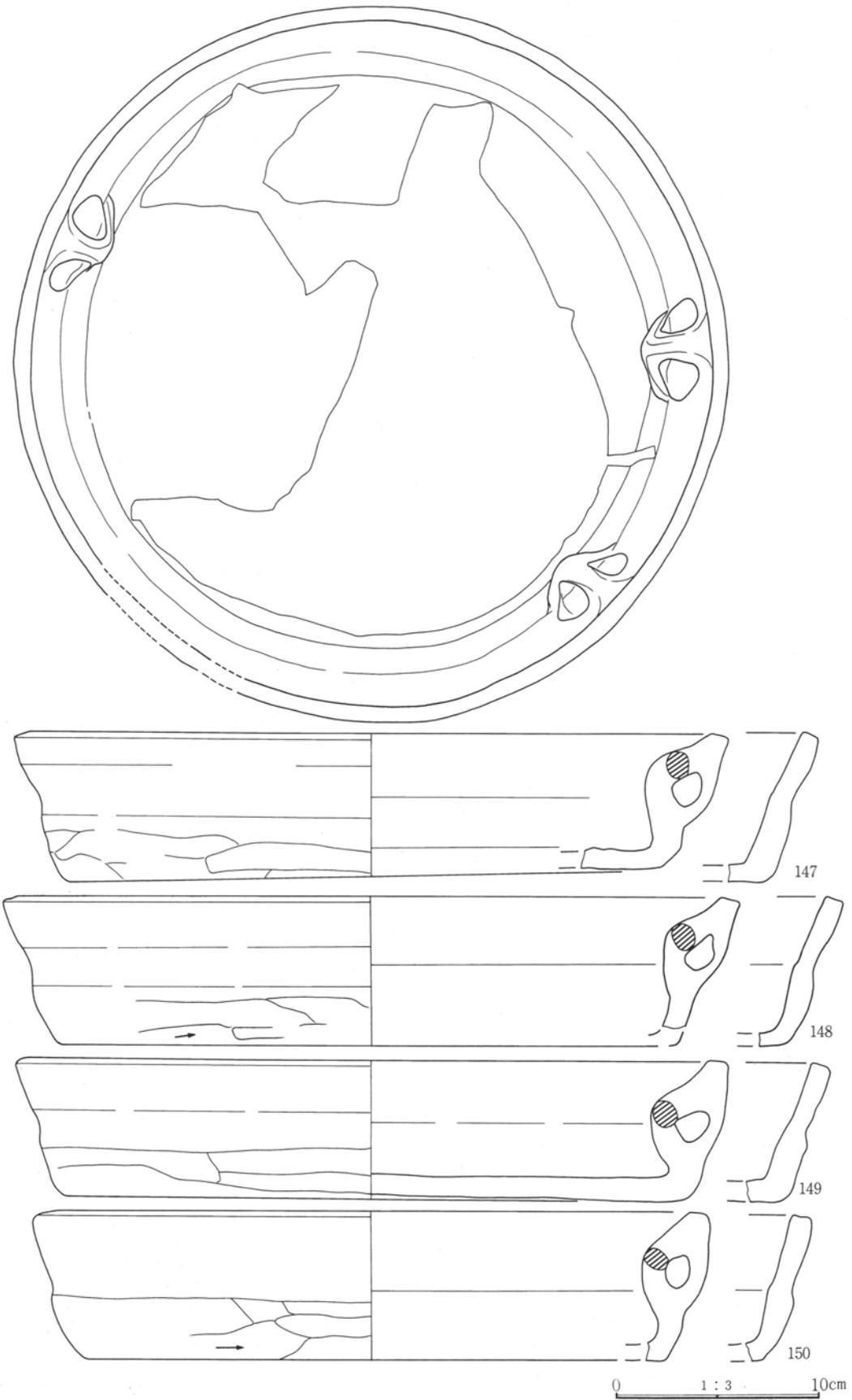
第128図 A区1号井戸出土遺物(4)



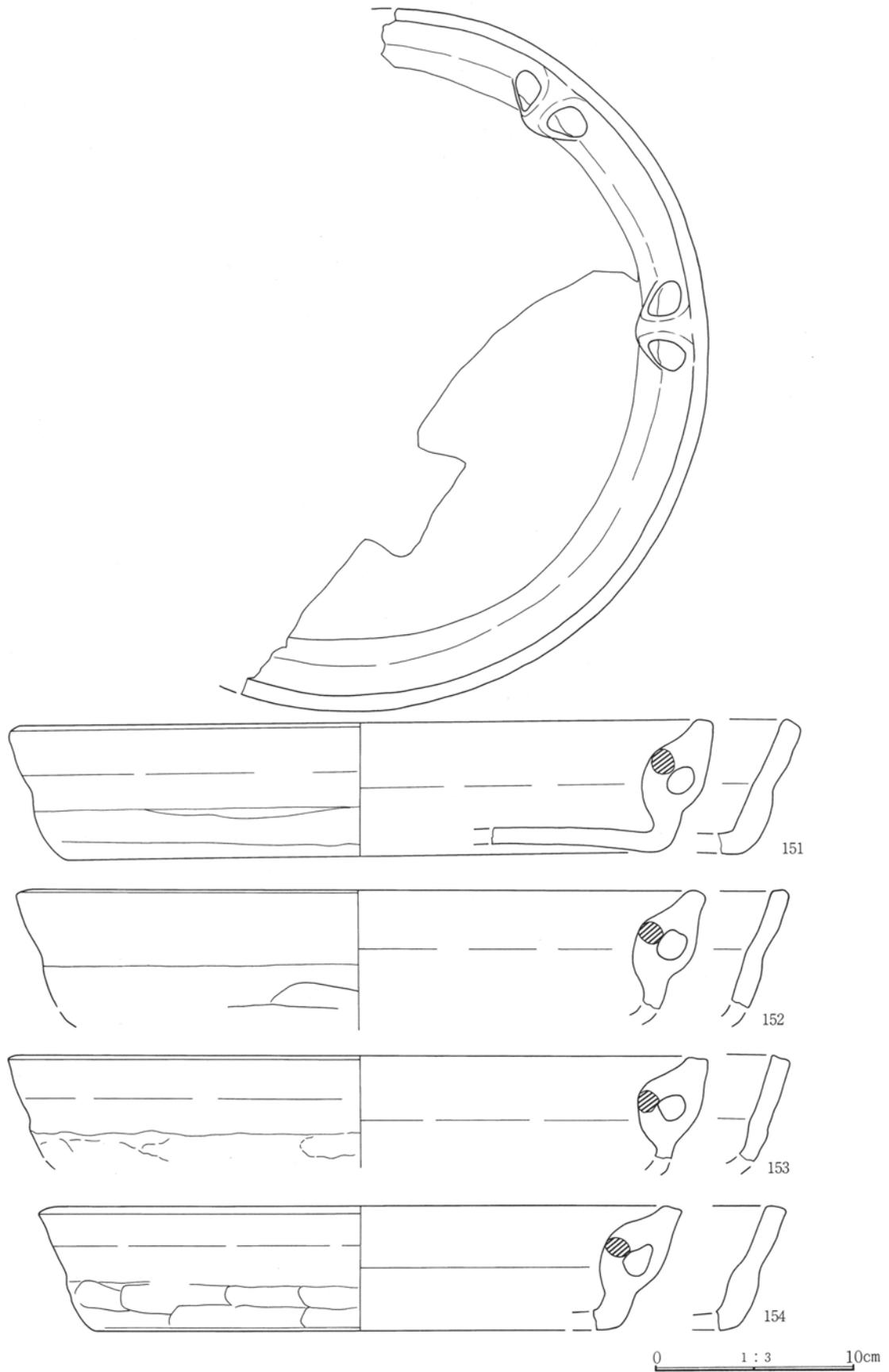
第129図 A区1号井戸出土遺物 (5)



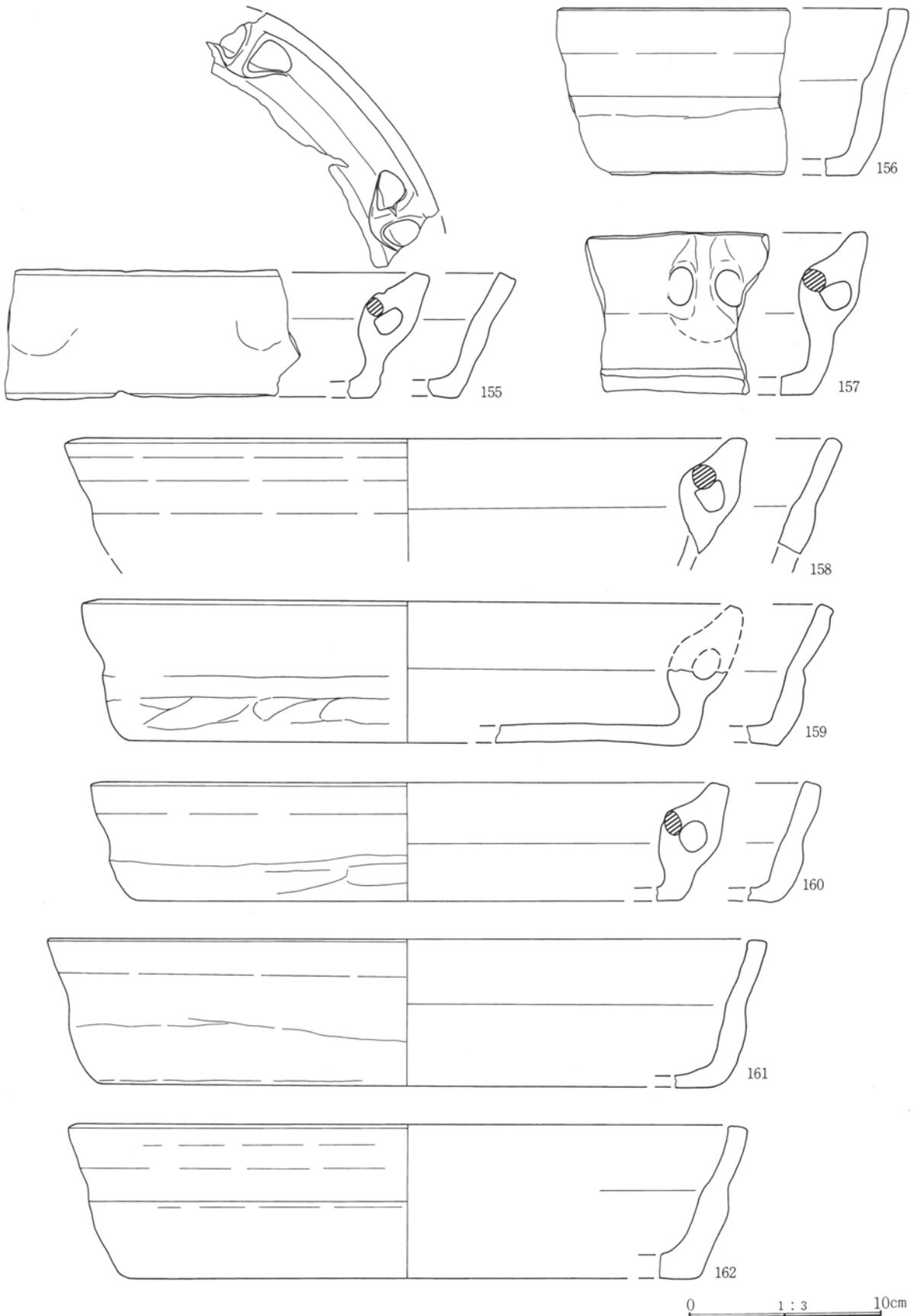
第130図 A区1号井戸出土遺物(6)



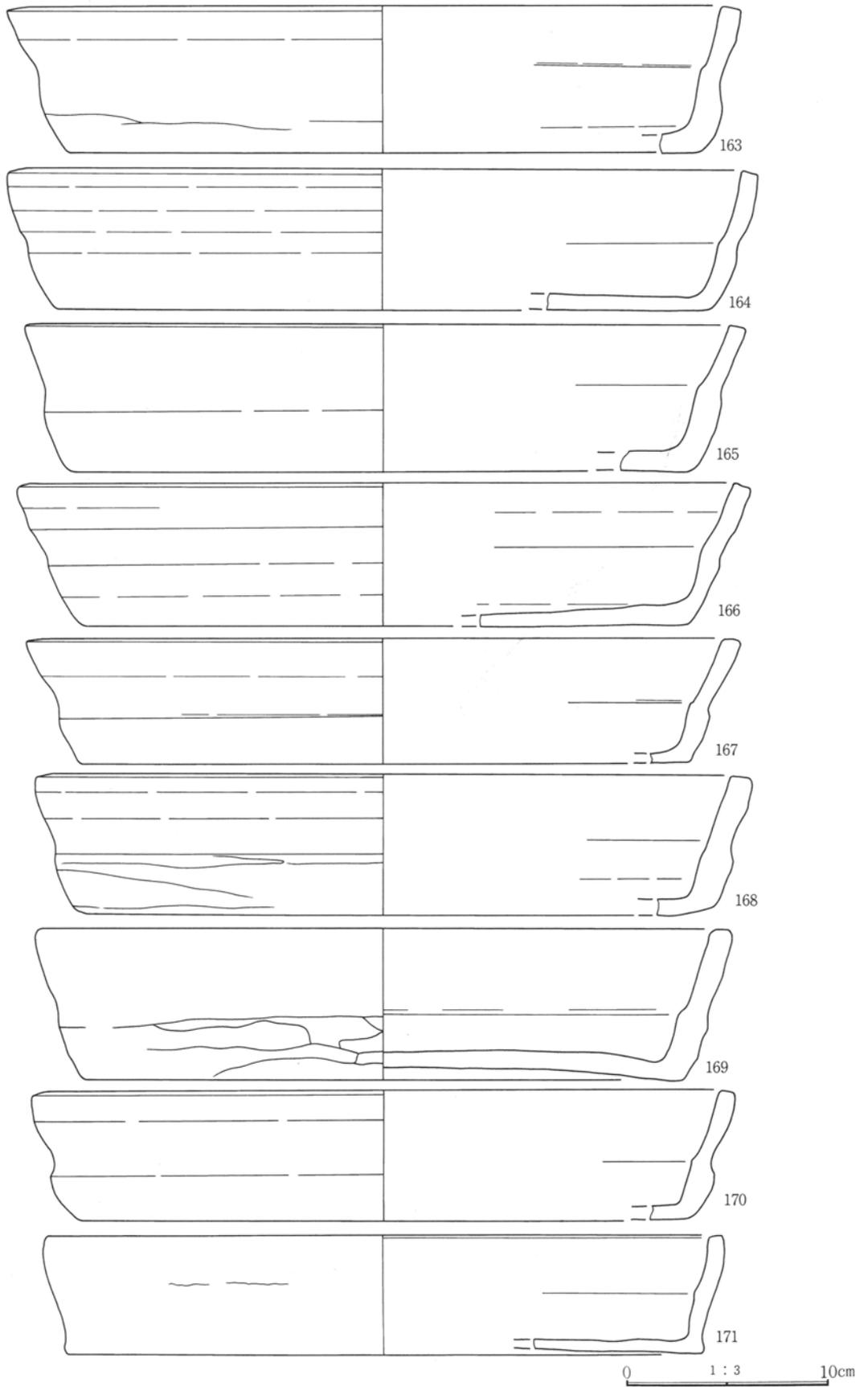
第131図 A区1号井戸出土遺物(7)



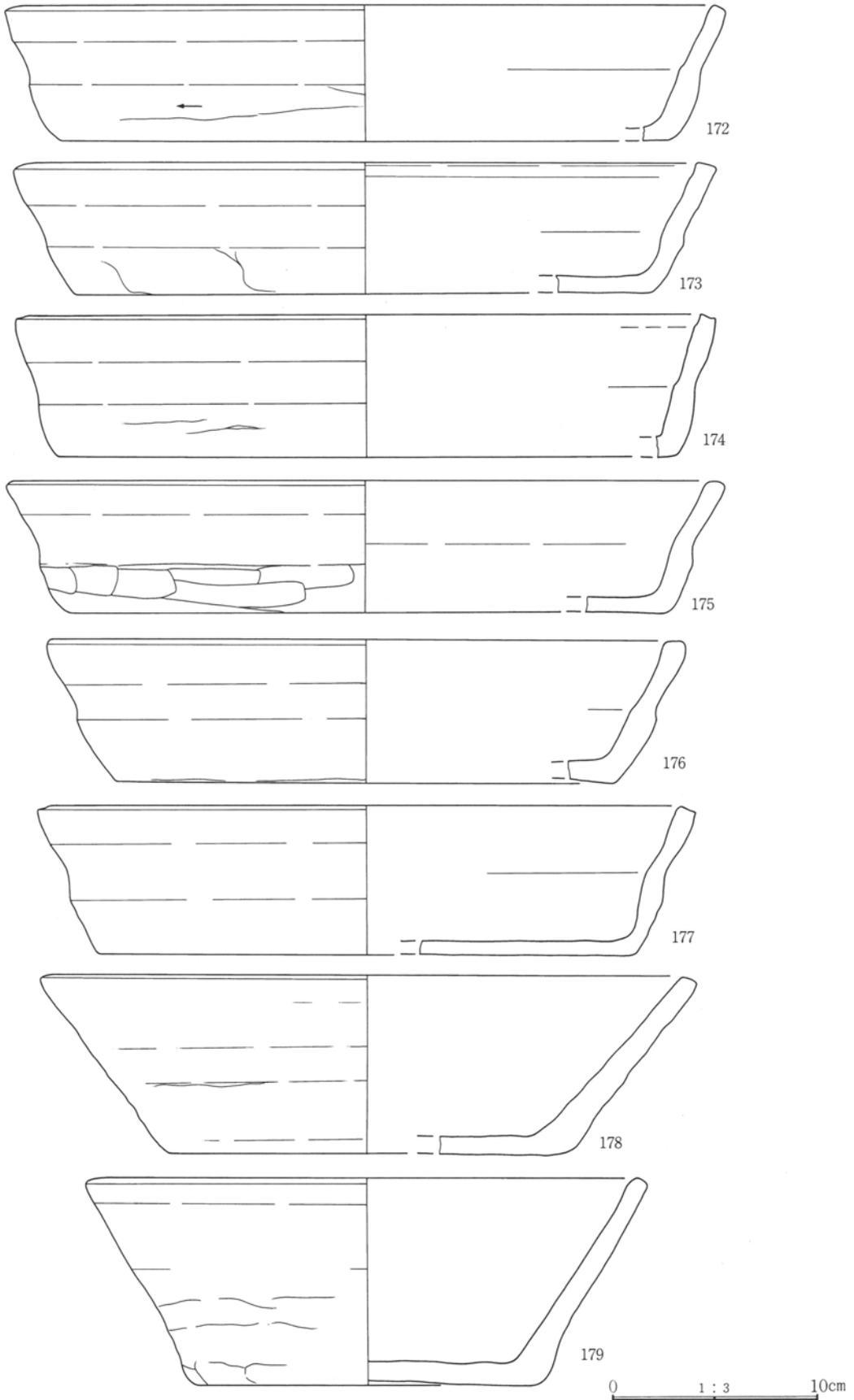
第132図 A区1号井戸出土遺物(8)



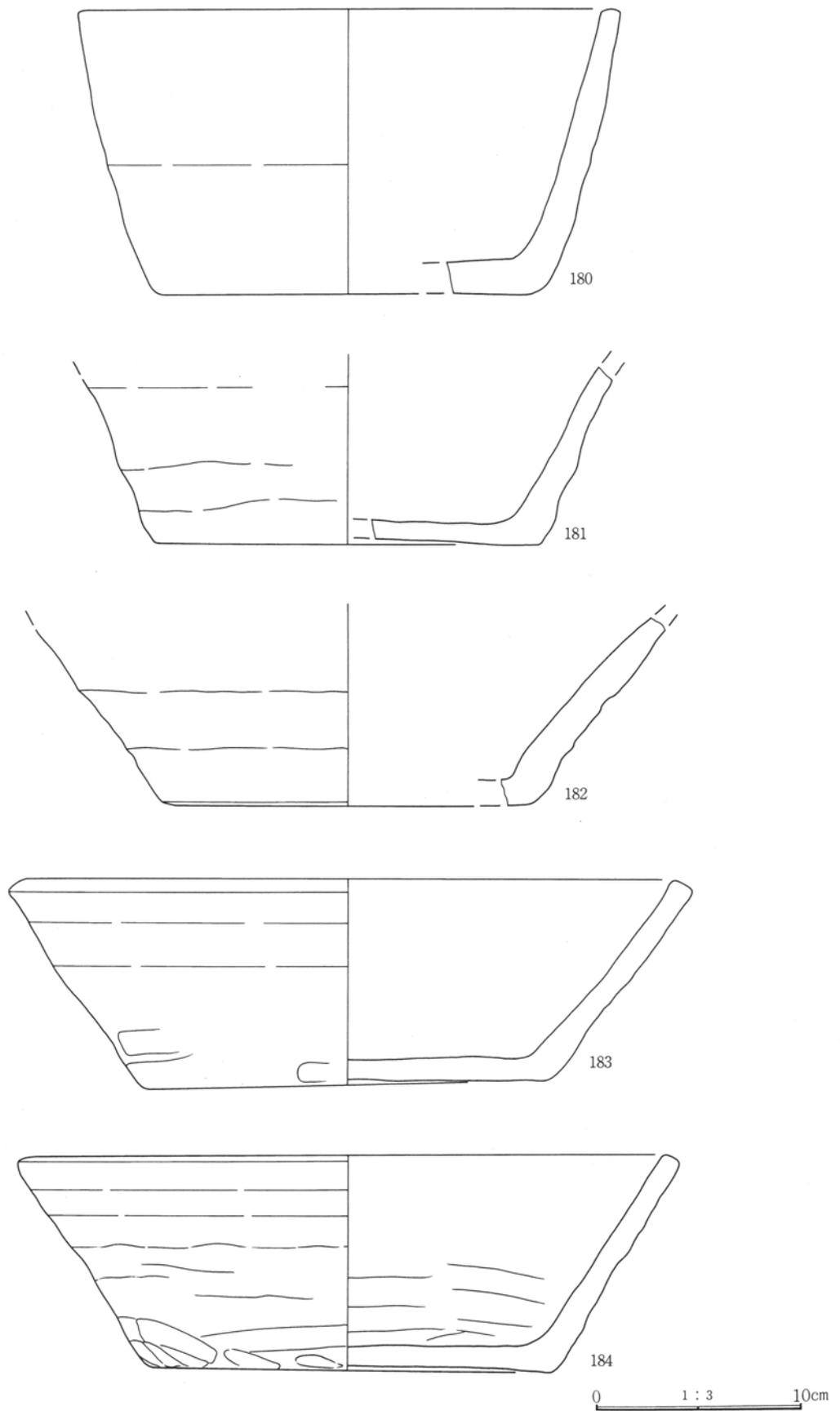
第133図 A区1号井戸出土遺物(9)



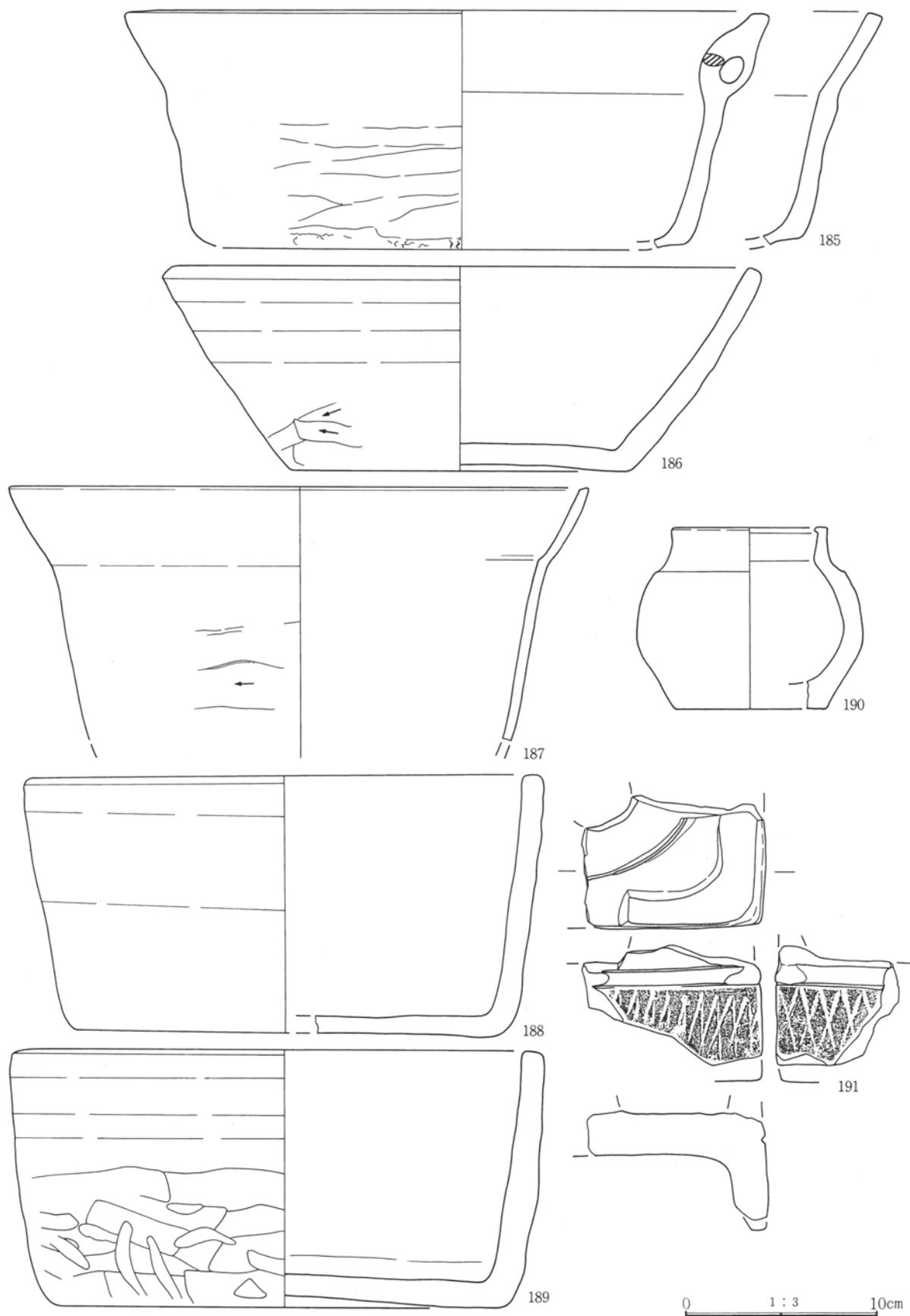
第134図 A区1号井戸出土遺物(10)



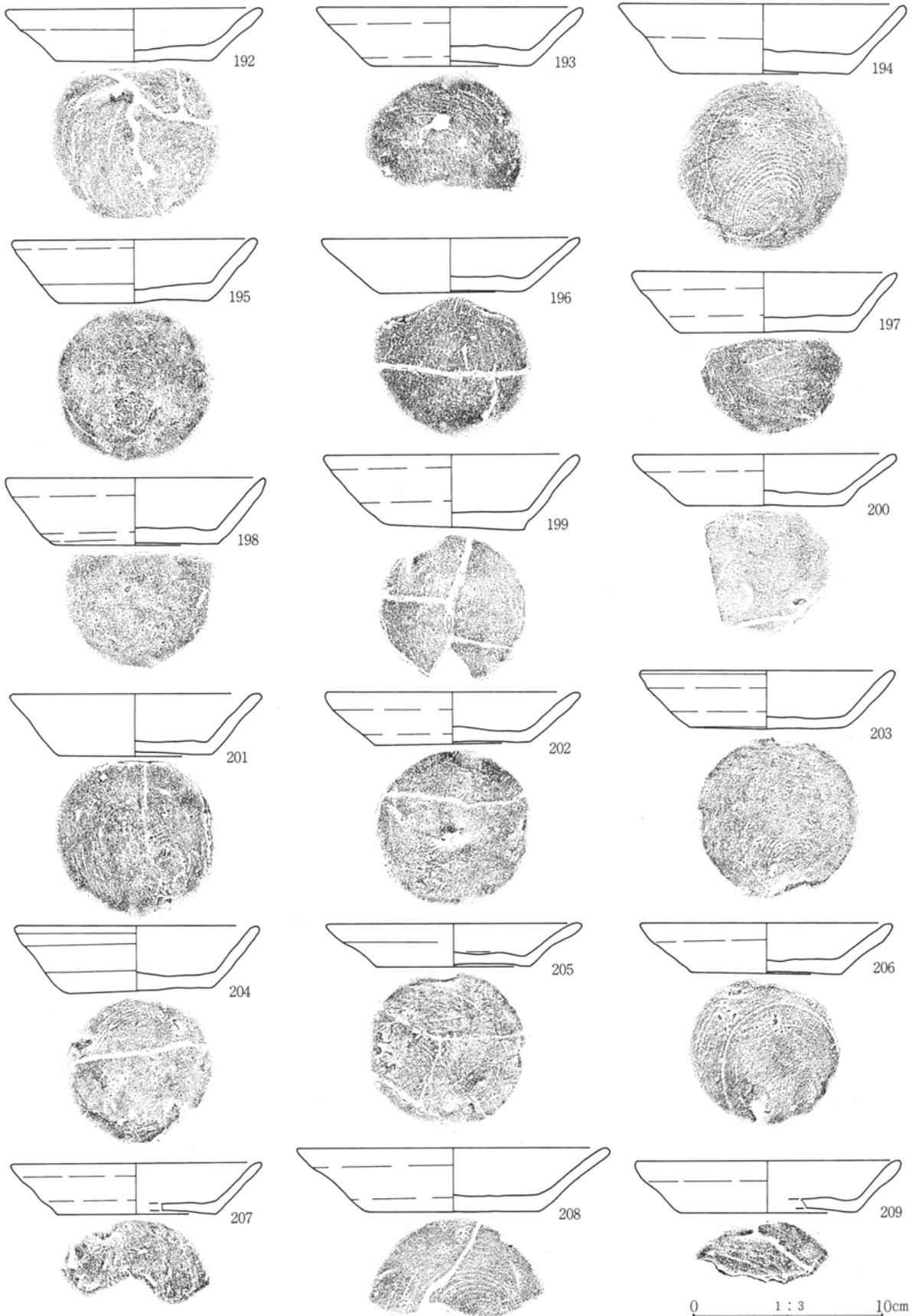
第135図 A区1号井戸出土遺物(11)



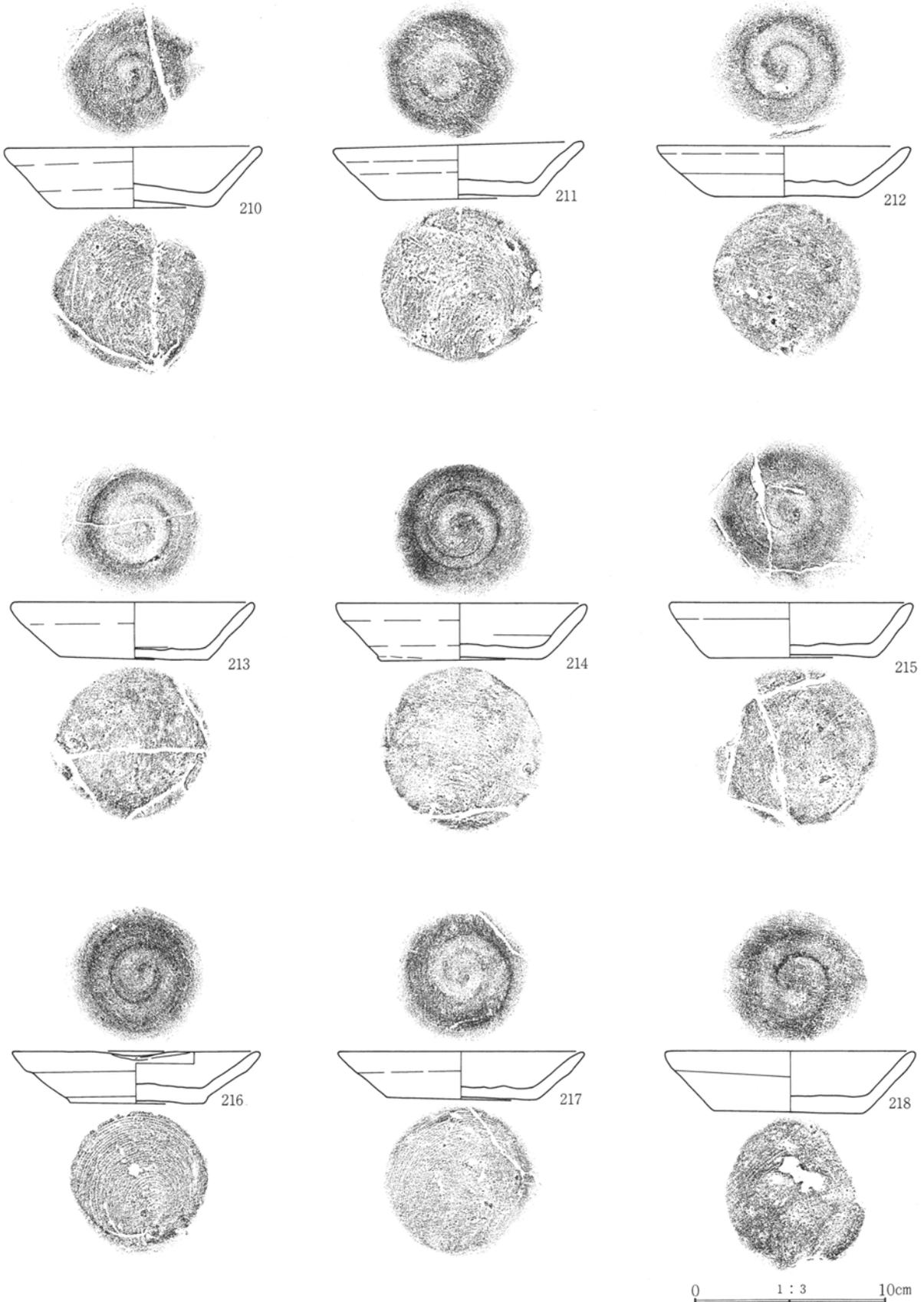
第136図 A区1号井戸出土遺物(12)



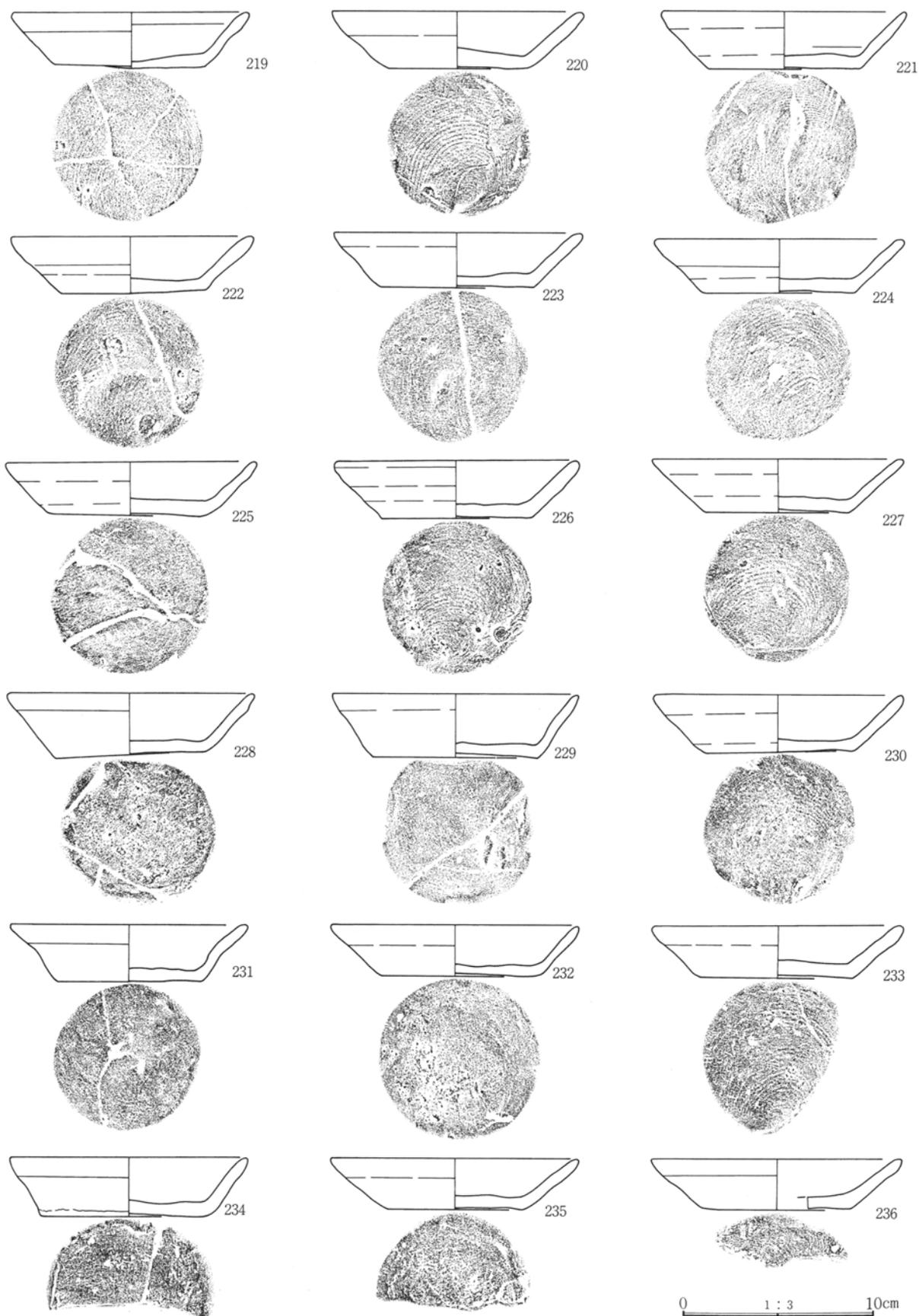
第137図 A区1号井戸出土遺物 (13)



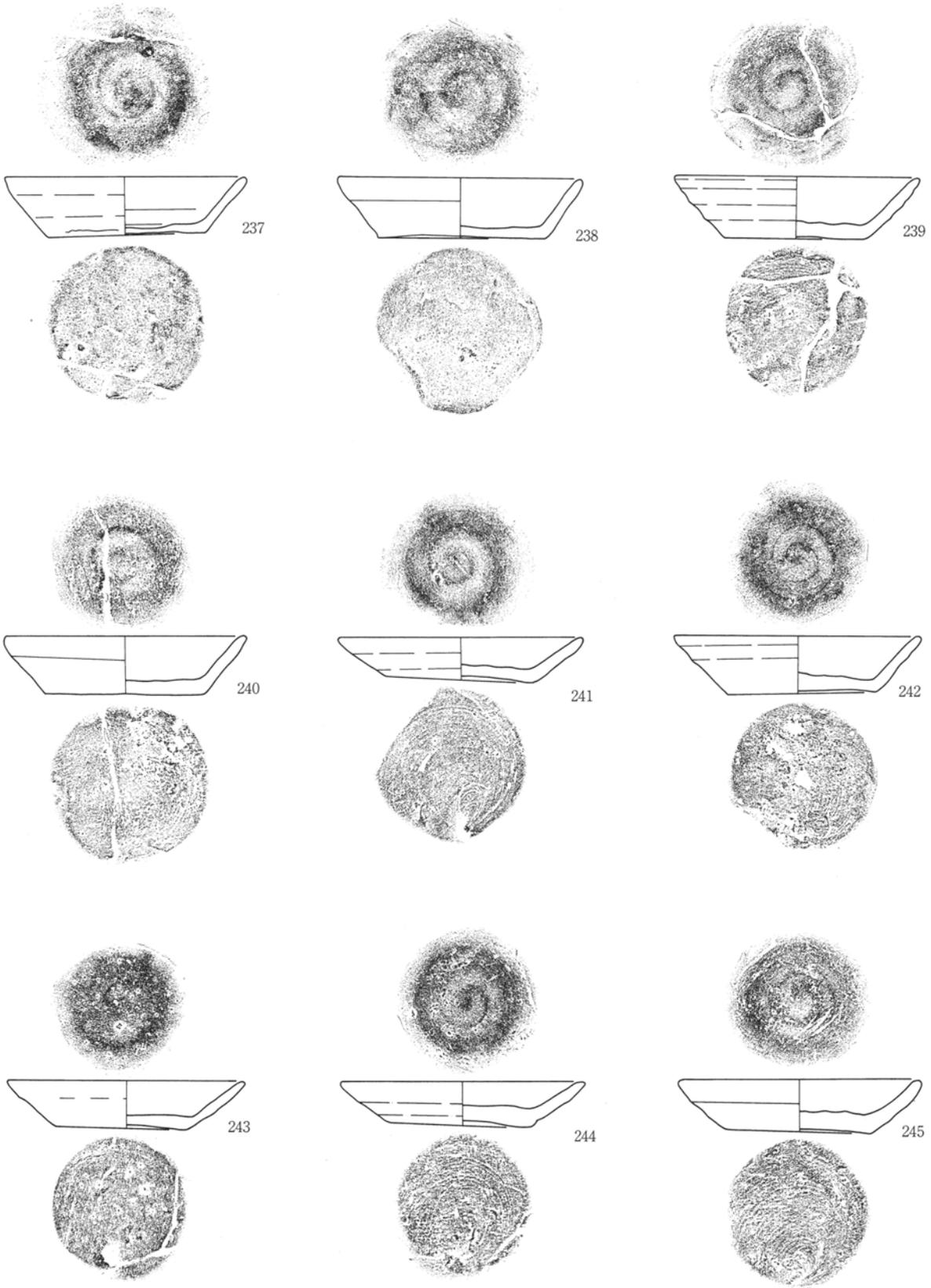
第138図 A区1号井戸出土遺物(14)



第139図 A区1号井戸出土遺物(15)

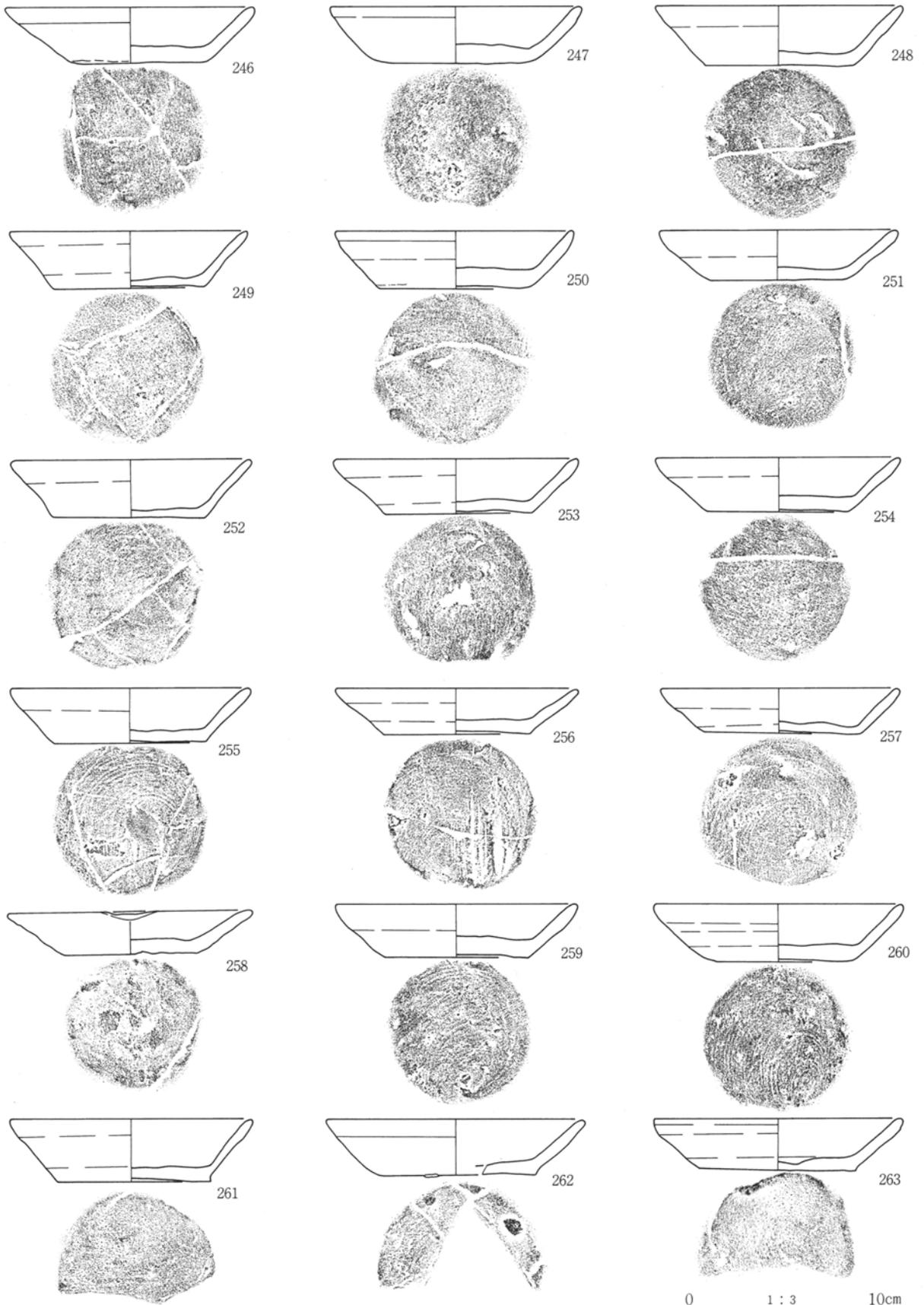


第140図 A区1号井戸出土遺物 (16)

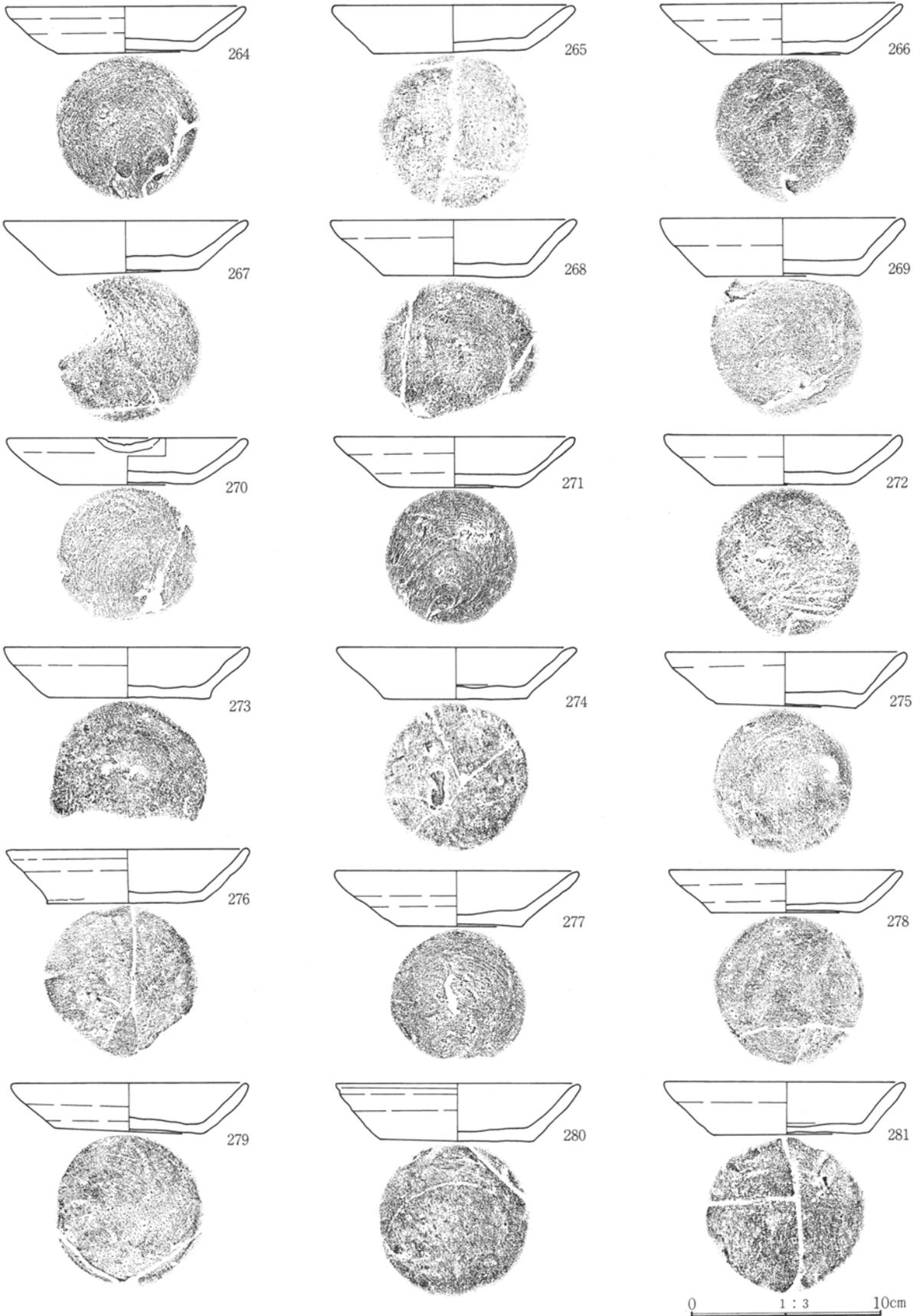


0 1:3 10cm

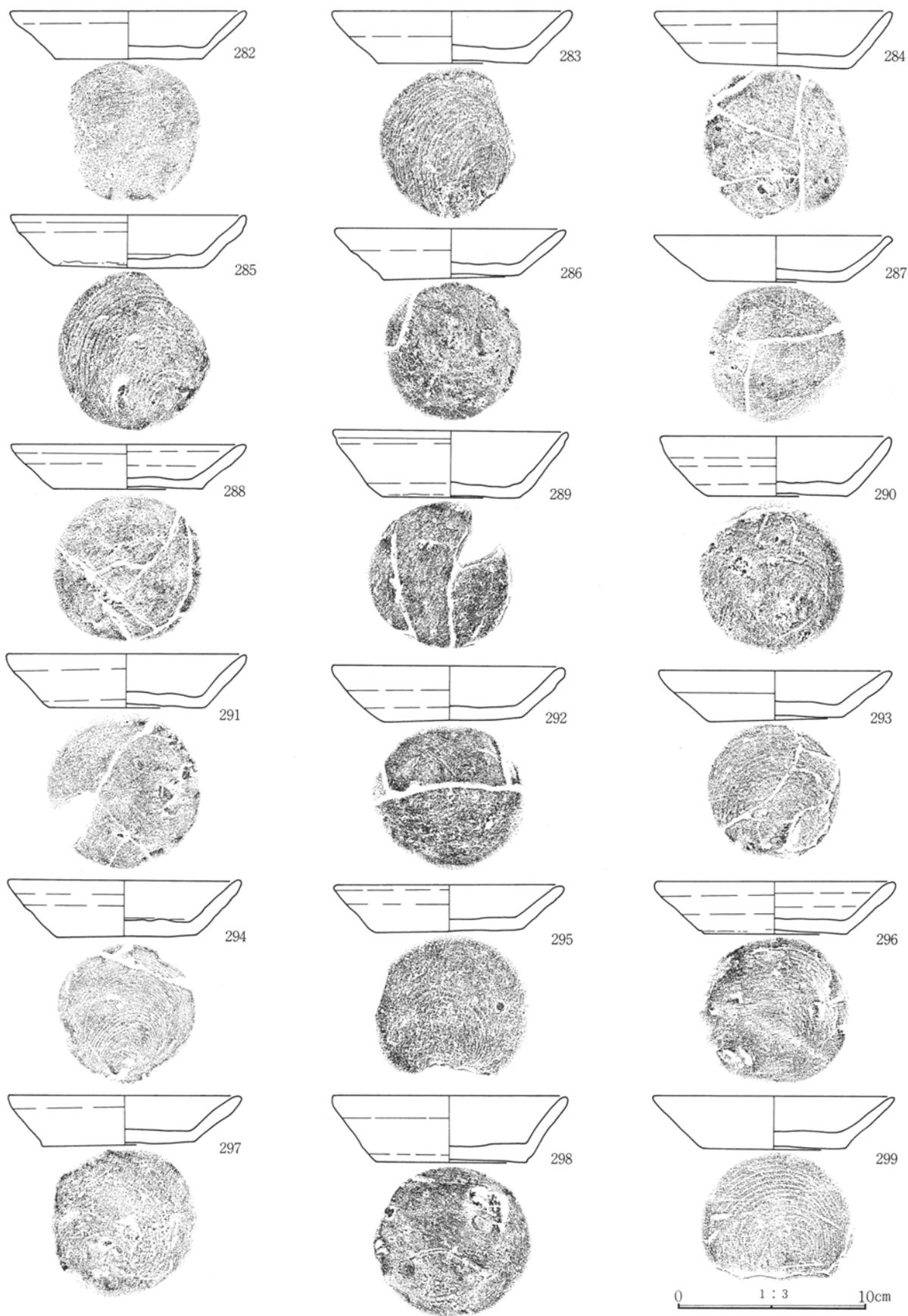
第141図 A区1号井戸出土遺物(17)



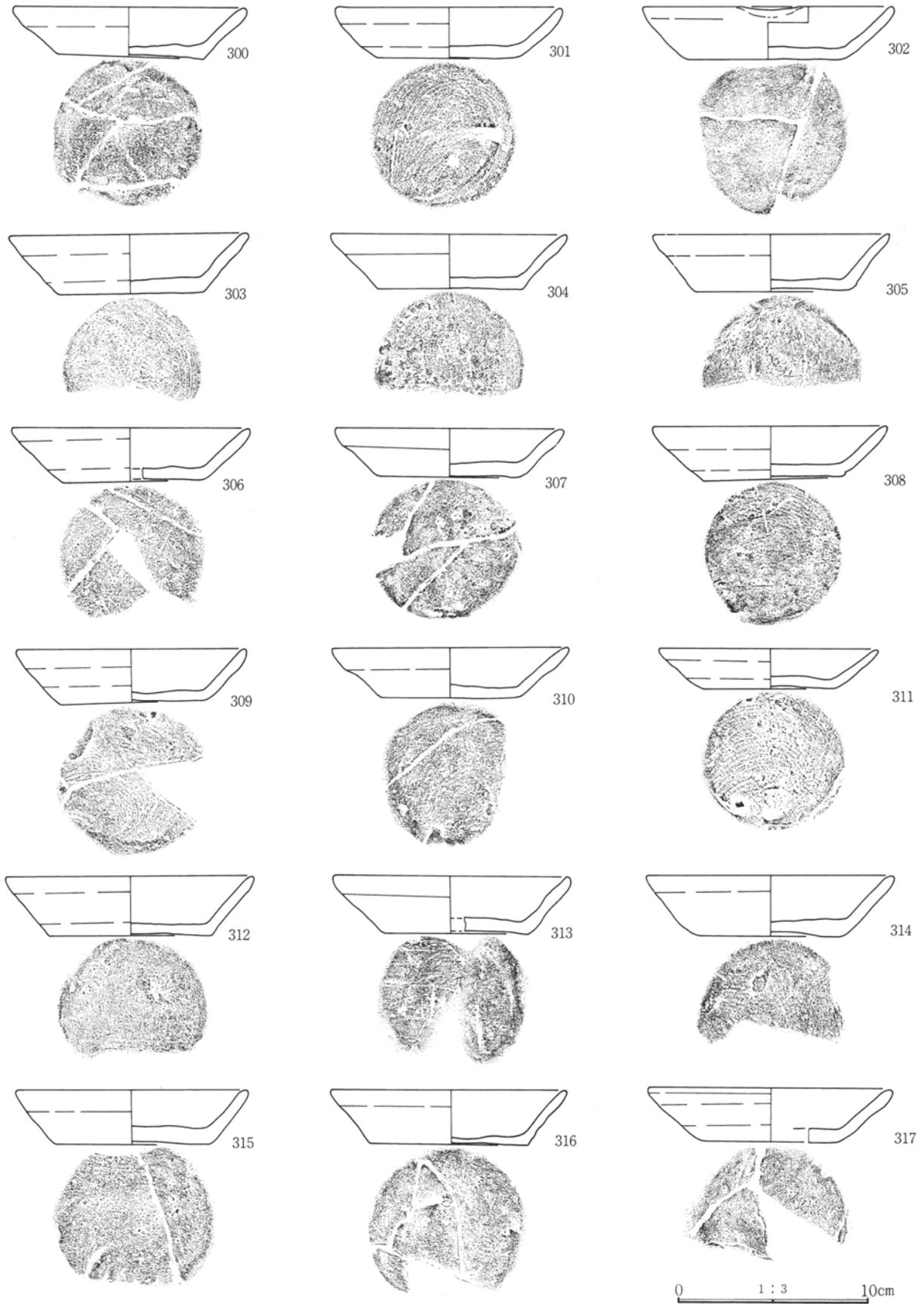
第142図 A区1号井戸出土遺物(18)



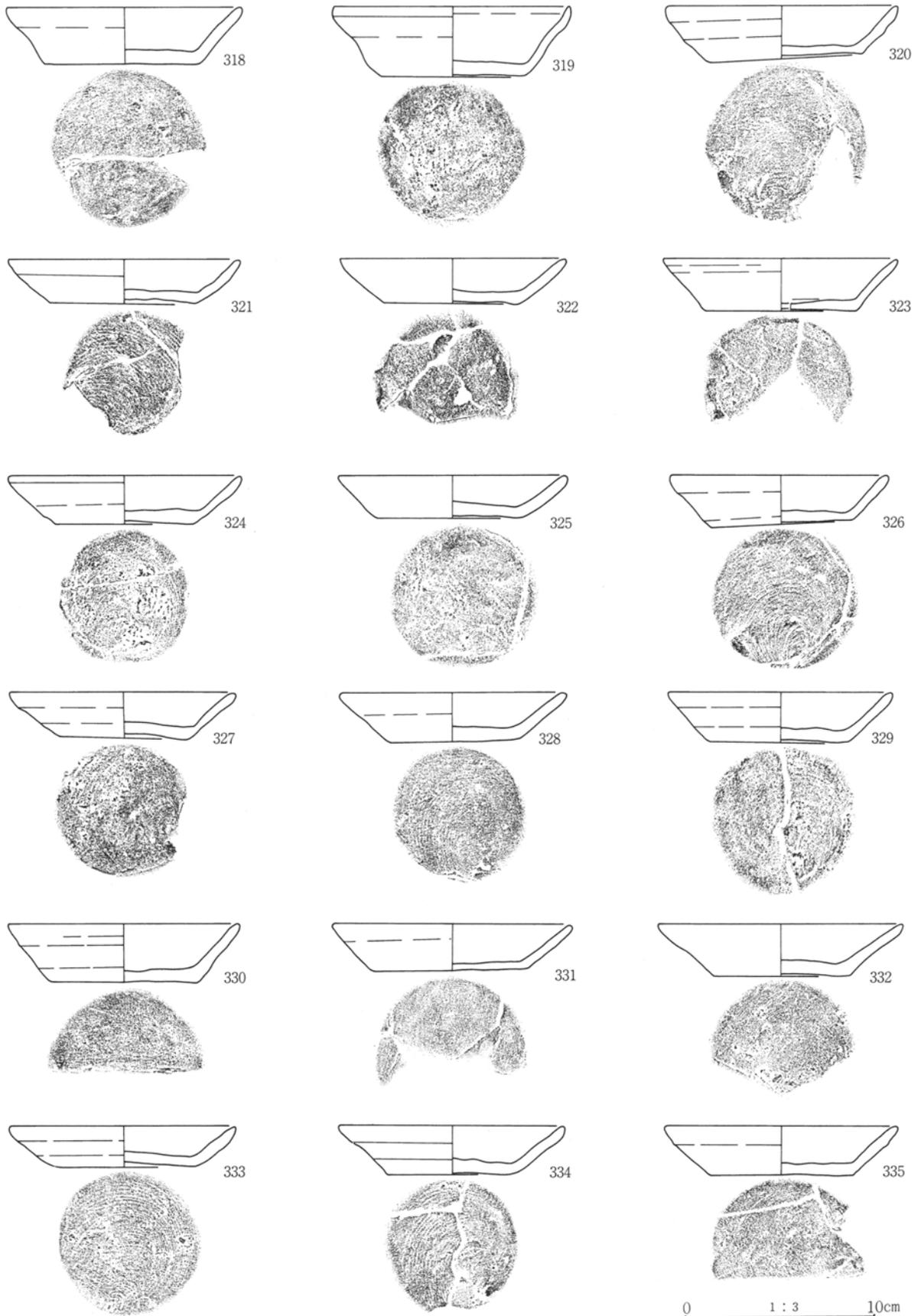
第143図 A区1号井戸出土遺物 (19)



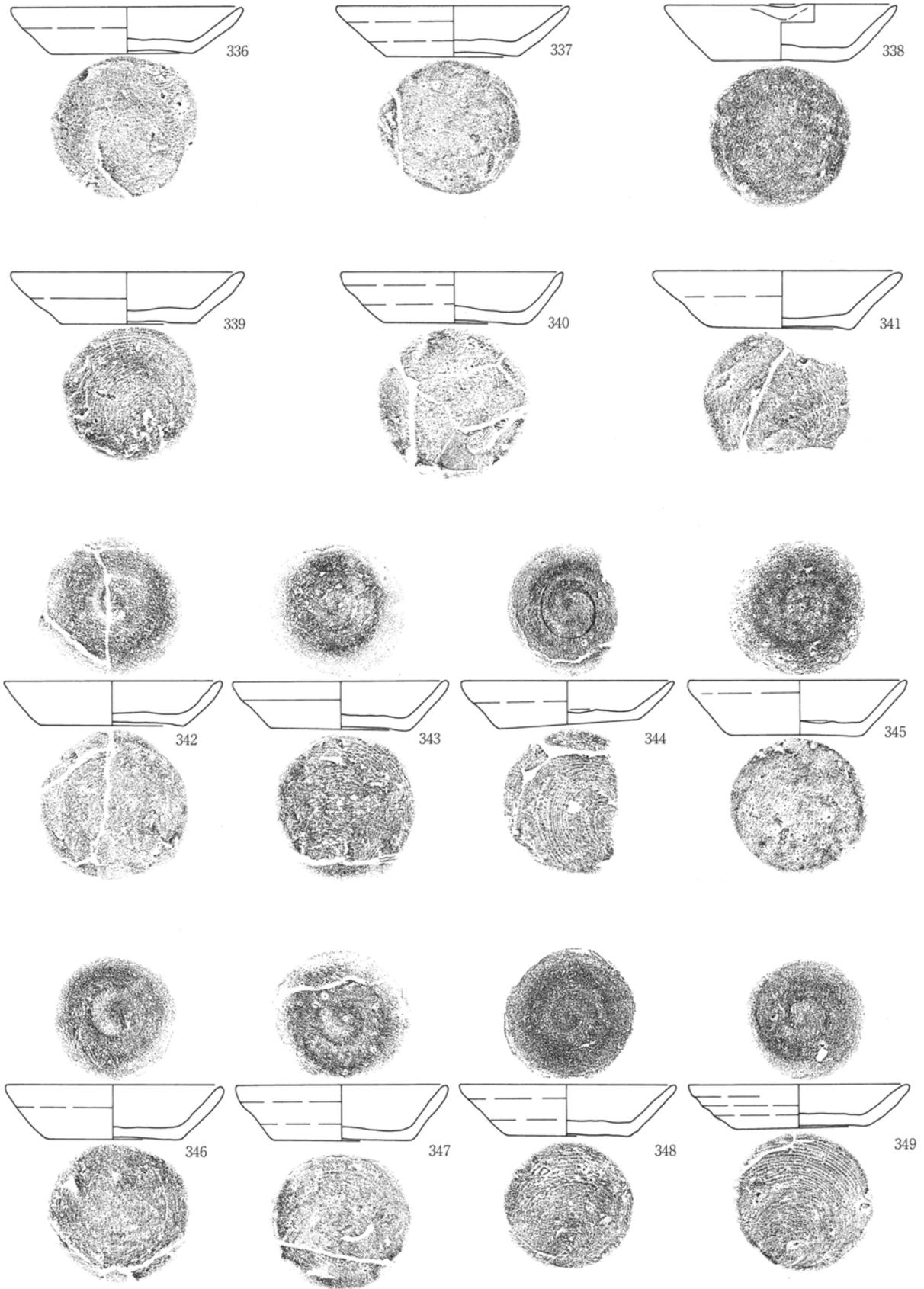
第144図 A区1号井戸出土遺物(20)



第145図 A区1号井戸出土遺物 (21)

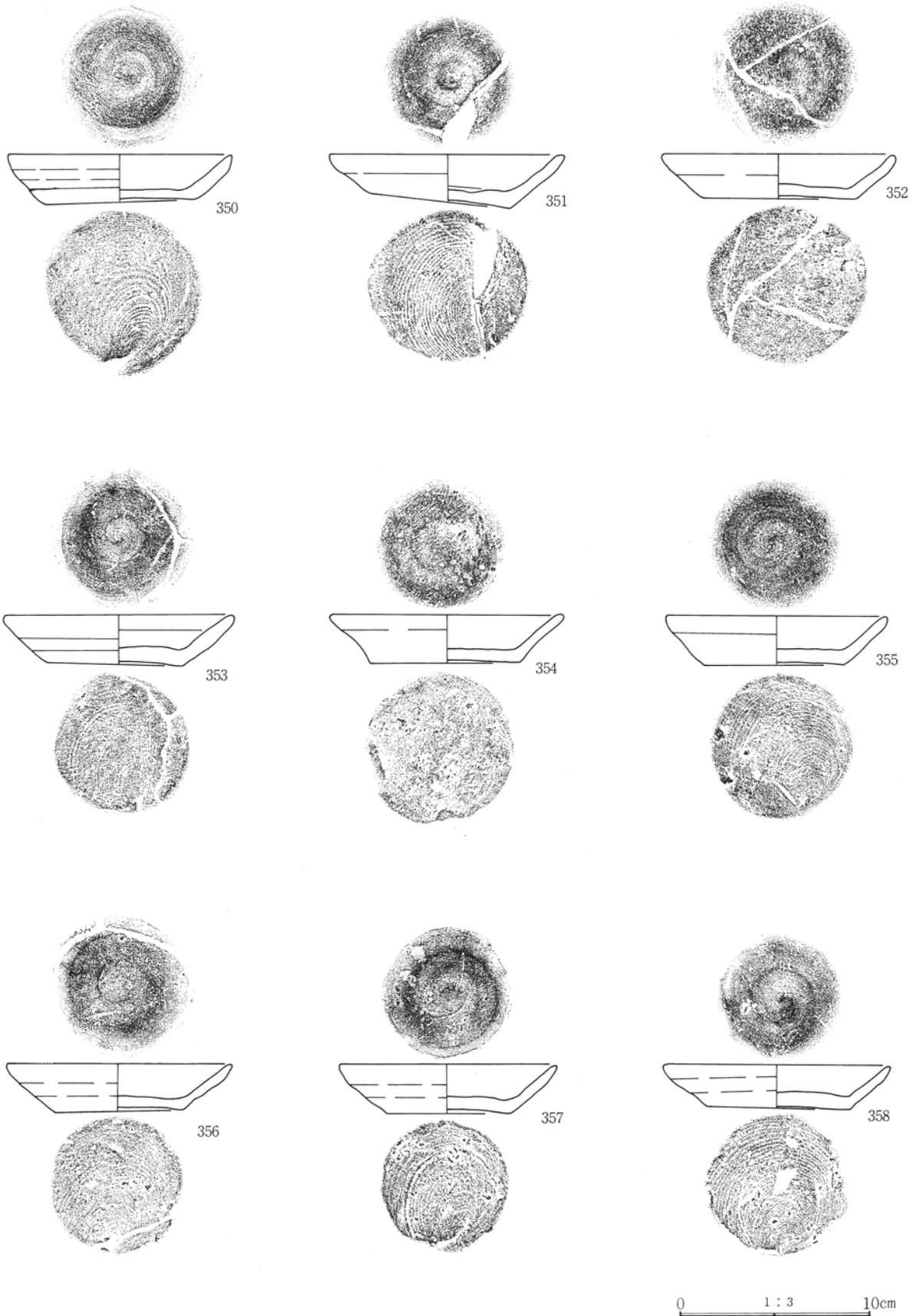


第146図 A区1号井戸出土遺物(22)

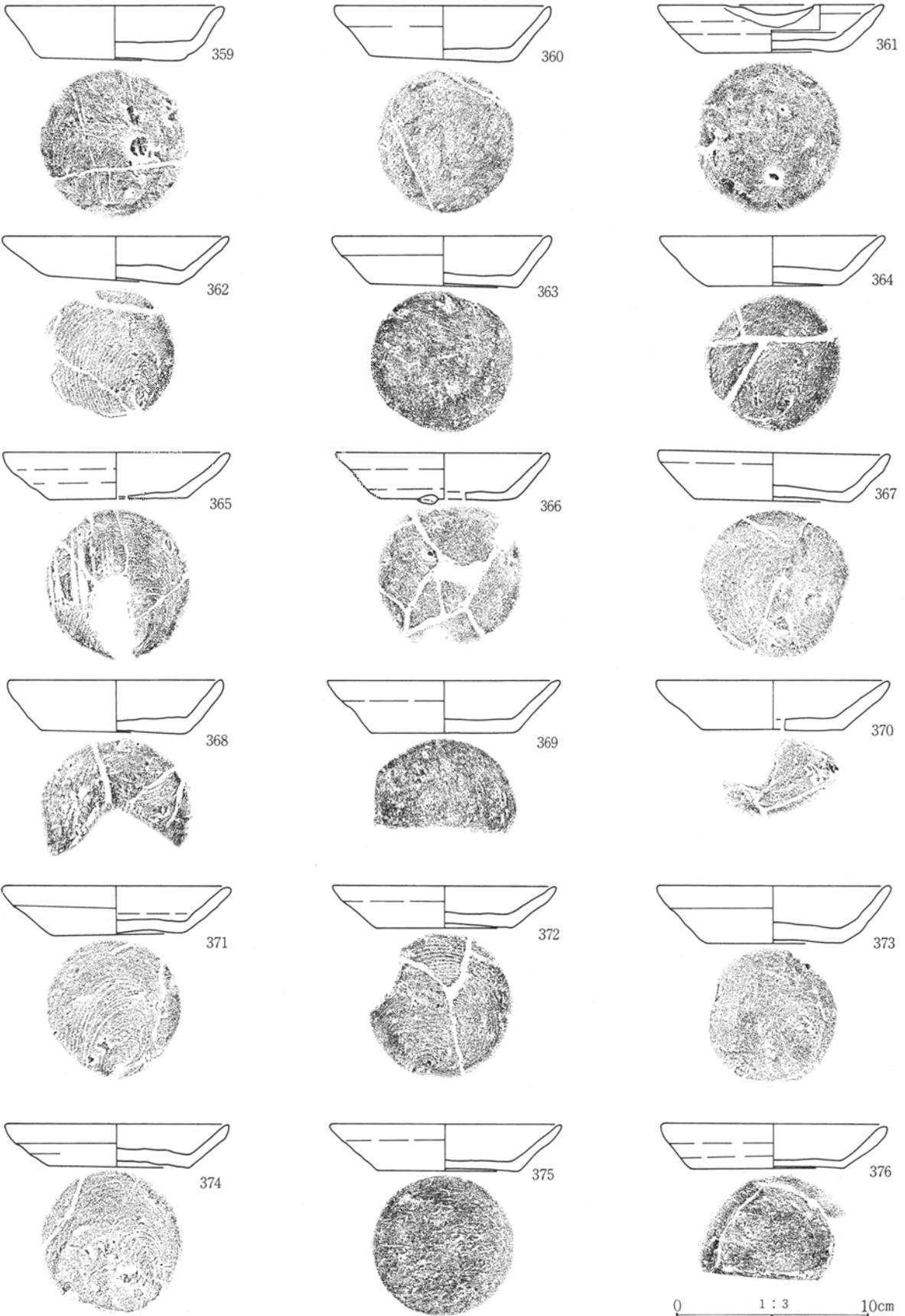


0 1 : 3 10cm

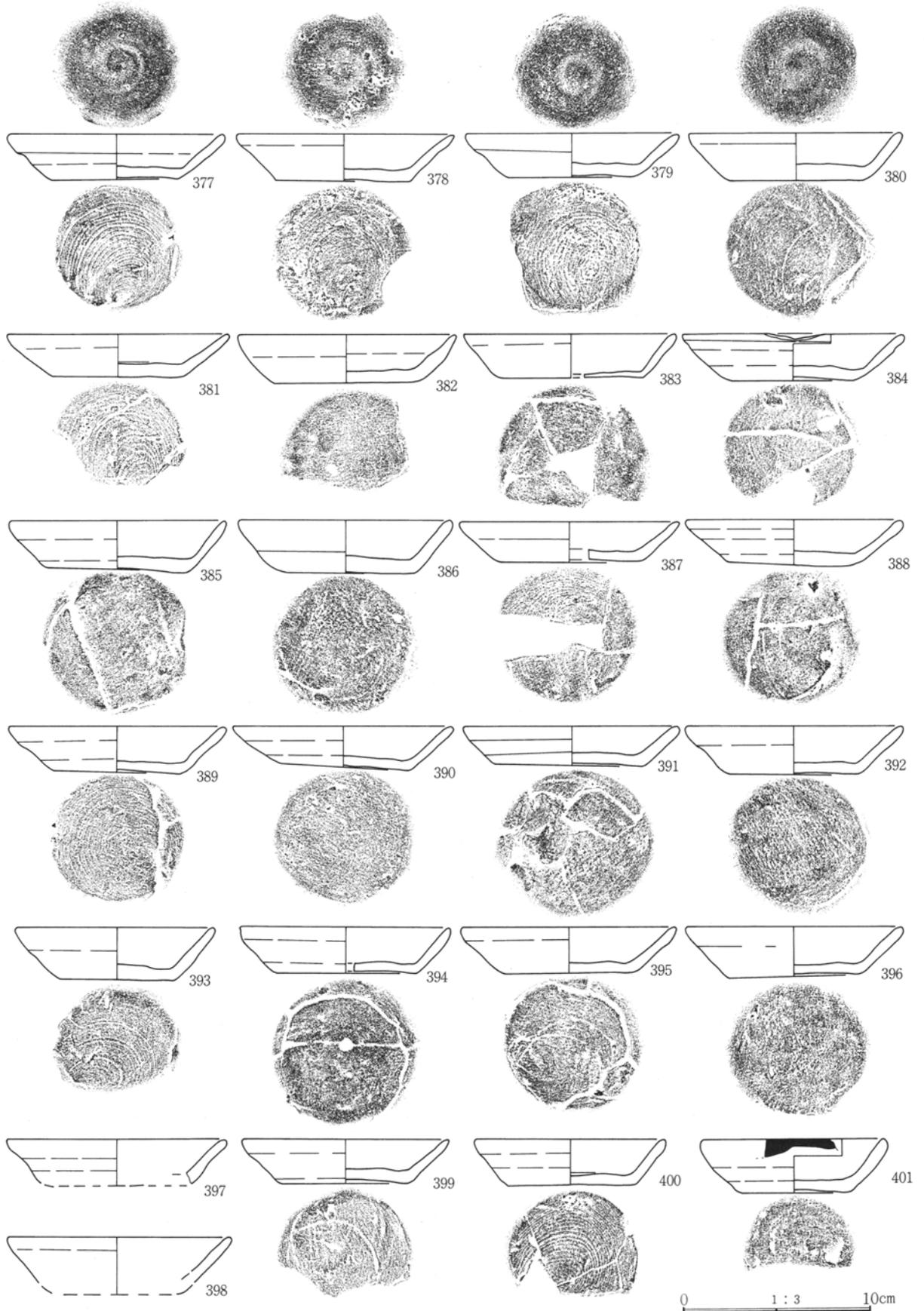
第147図 A区1号井戸出土遺物 (23)



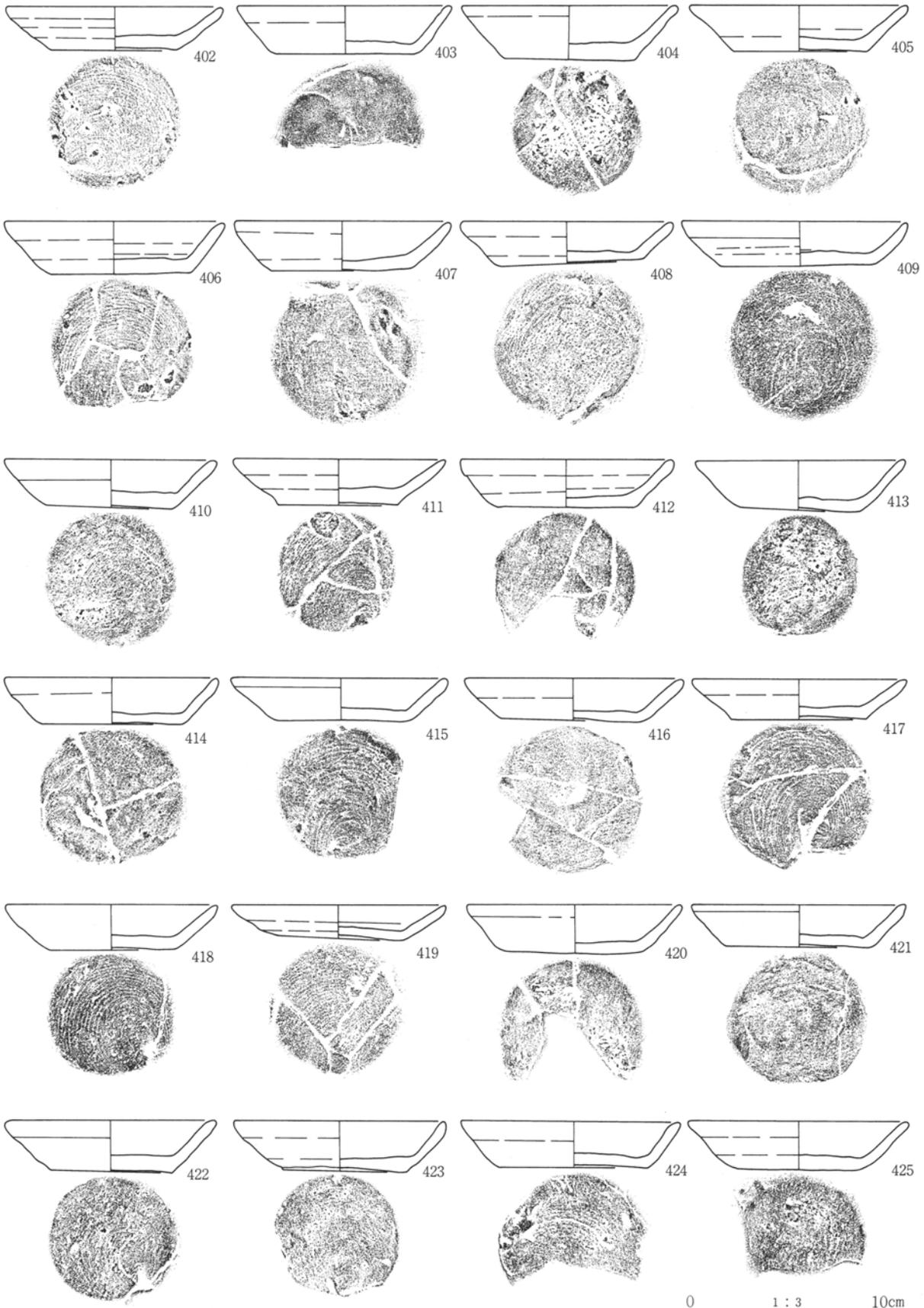
第148図 A区1号井戸出土遺物(24)



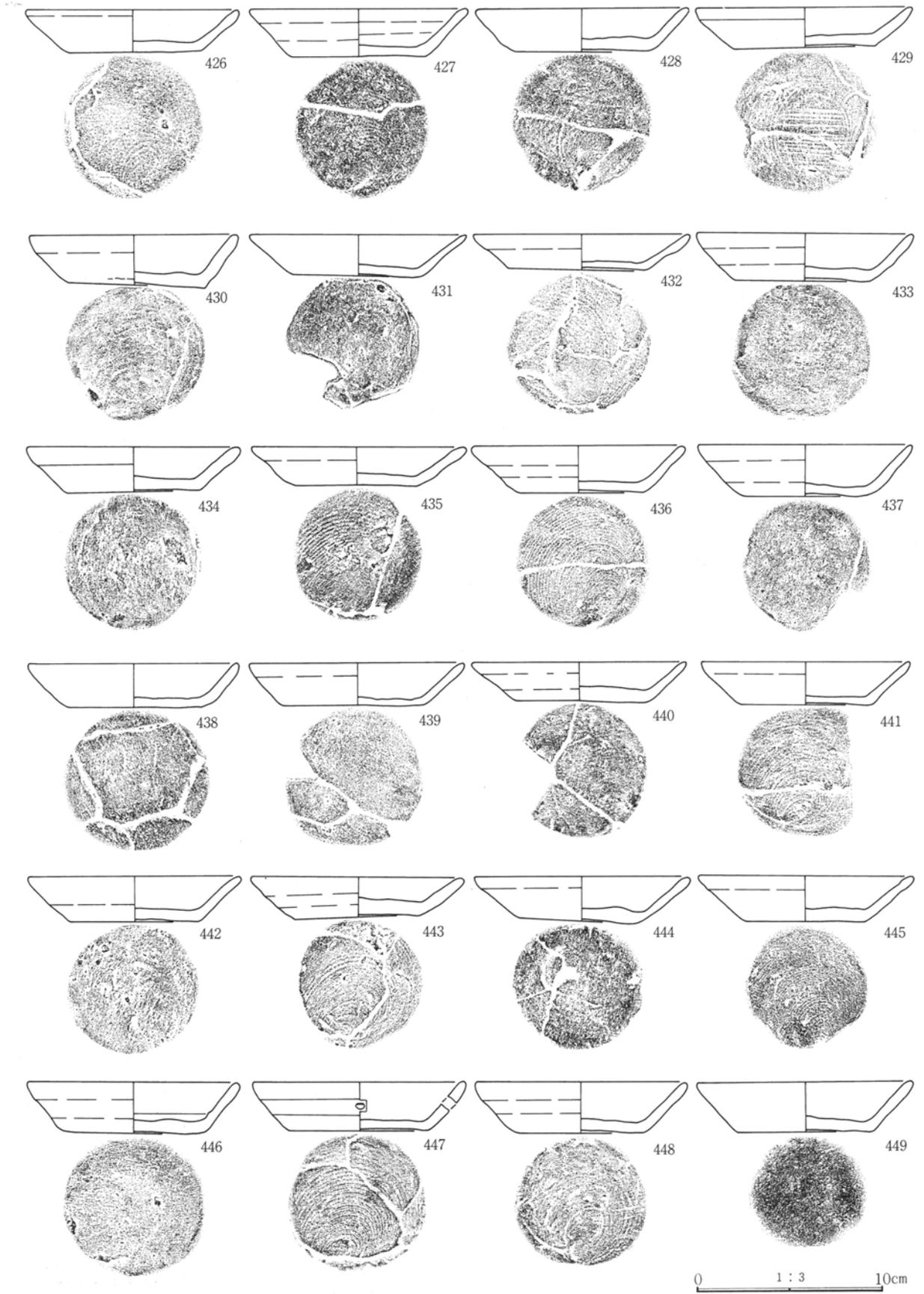
第149図 A区1号井戸出土遺物(25)



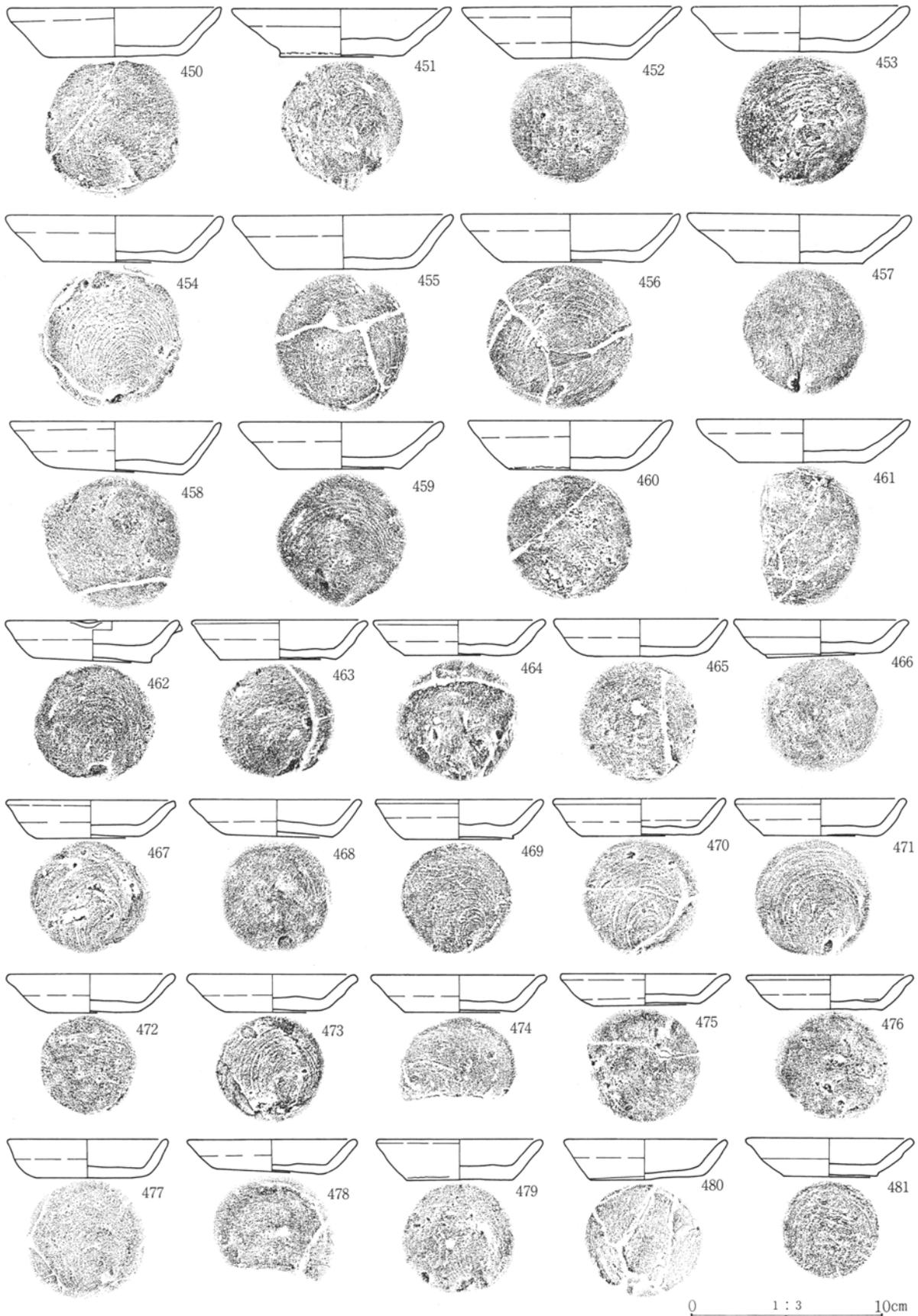
第150図 A区1号井戸出土遺物(26)



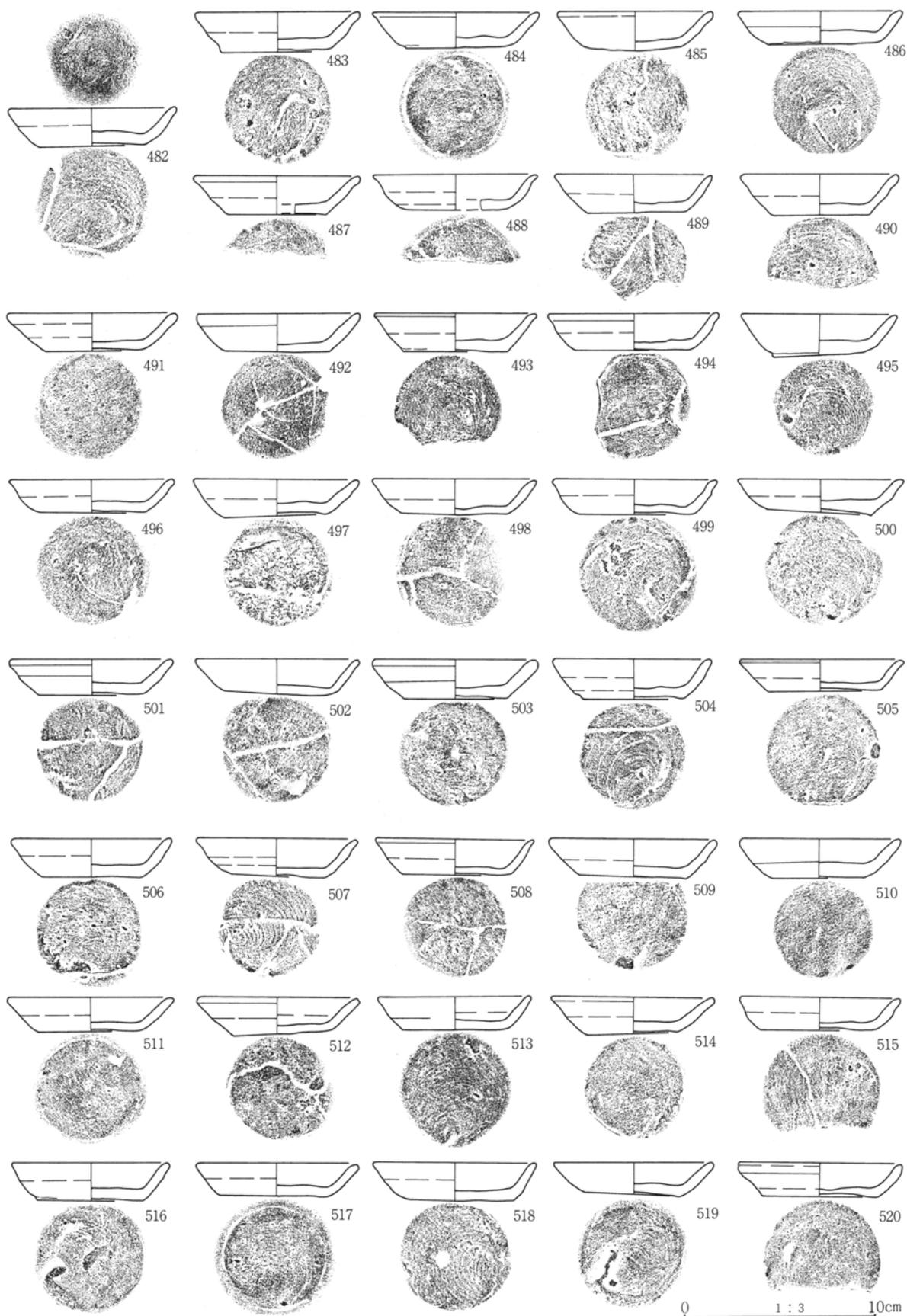
第151図 A区1号井戸出土遺物 (27)



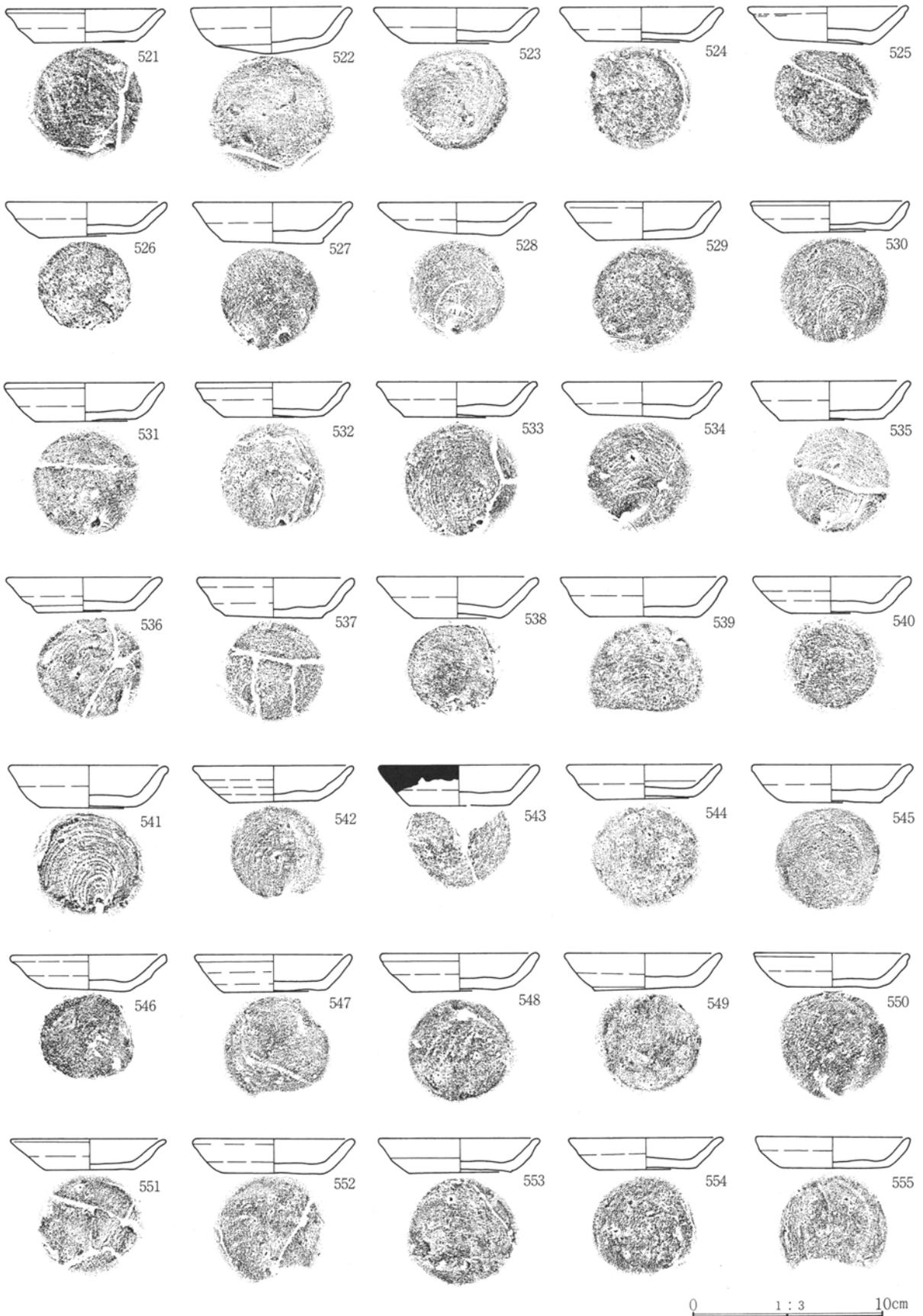
第152図 A区1号井戸出土遺物(28)



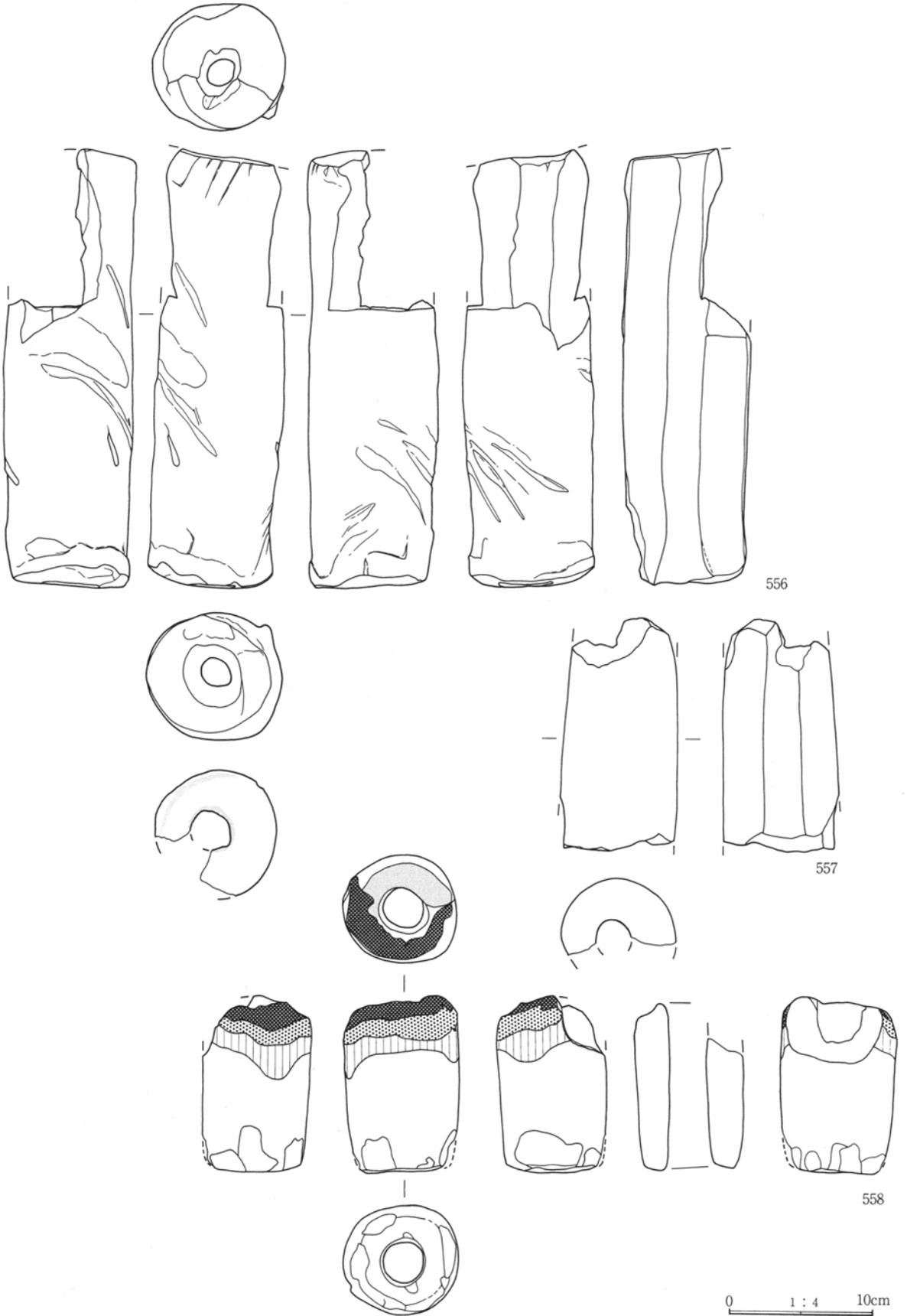
第153図 A区1号井戸出土遺物 (29)



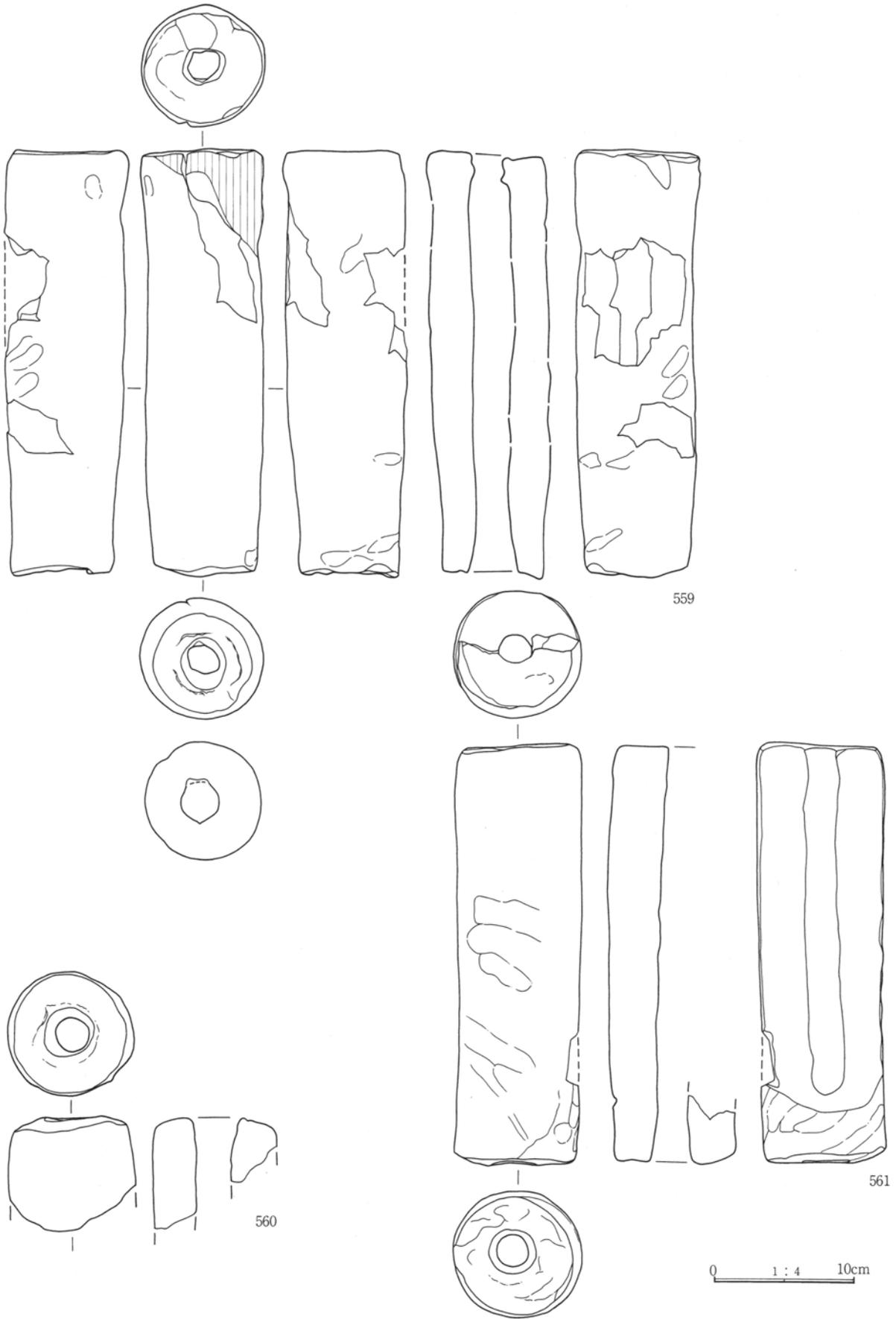
第154図 A区1号井戸出土遺物 (30)



第155図 A区1号井戸出土遺物(31)



第156図 A区1号井戸出土遺物 (32)



第157图 A区1号井戸出土遺物 (33)